

ヨハネの手紙

マタイによる福音書

マルコによる福音書

ヨハネによる福音書

創世記

出エジプト記

民数記

申命記

ヨシュア記

概要

これは、イエスの教えを直接的に、また弟子たちを通して最もよく捉え、さらにその教えの基盤である神の律法を伝えるために、注意深く選ばれた古代ギリシャ語テキストの選集です。これらの後に、他の預言者たちの書(詩編、イザヤ書、エレミヤ書、ダニエル書、ヨナ書、ホセア書など)を読むことを検討してください。

免責事項

この翻訳は、元のギリシャ語七十人訳聖書とビザンティン写本から大規模言語モデルを使用して作成されました。このため、原語の文化や文法の特徴が多く含まれていますが、誤りも含まれている可能性があります。何か奇妙に見える箇所があれば、元のギリシャ語を確認してください。誤りを見つけた場合は、jesusislord@joshuabible.comまでメールでお知らせください。

ライセンス

この翻訳の全部または一部を複製および配布する許可が与えられています。ただし、修正または販売することは許可されていません。誤りを見つけた場合は、jesusislord@joshuabible.comまでメールをお送りください。修正を行い、更新版を提供いたします。

ヨハネの手紙

1 2 3 4 5

マタイによる福音書

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
26 27 28

マルコによる福音書

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

ヨハネによる福音書

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

創世記

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46
47 48 49 50

出エジプト記

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40

民数記

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36

申命記

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31 32 33 34

ヨシュア記

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

ヨハネの手紙

1

初めからあったもの、私たちが聞いたもの、私たちの目で見
たもの、私たちが観察し、私たちの手が触れたもの、命の言葉に
ついて、そしてその生命は現され、私たちは見た、そして証し
し、そしてあなたがたにその永遠の生命を宣べ伝える。それは父
のもとにあり、私たちに現されたのである。私たちが見たこと、
そして聞いたことを、あなたがたに宣言します。それは、あなた
がたもまた私たちと交わりを持つためです。そして私たちの交わ
りは、父と、その御子イエス・キリストとの交わりです。そして
私たちはこれらのことをあなたがたに書きます、私たちの喜びが
満たされるために。

そしてこれは、私たちが彼から聞いて、あなたがたに告げる
知らせです。神は光であり、彼の中には闇が少しもありません。
もし私たちが彼との関係を持っていると言いながら、暗闇の中を
歩むならば、私たちは嘘をついており、真理を行っていない。も
し私たちが光の中を歩むなら、彼自身が光の中にあるように、私
たちは互いに交わりを持ち、そして彼の息子イエス・キリストの
血が私たちをすべての罪から清める。もし私たちが罪を持たない
と言うなら、私たちは自分自身を欺いており、真理は私たちの中
にない。もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は忠実であり
正しい方なので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを
清めてくださる。もし私たちが罪を犯していないと言うなら、私
たちは彼を嘘つきにし、そして彼の言葉は私たちの中にない。

2

私の子供たちよ、私はこれらのことをあなたがたに書く。それはあなたがたが罪を犯さないためである。そしてもし誰かが罪を犯すなら、私たちは父のもとに執り成し者を持っている。正しい方、イエス・キリストを。そして彼自身は私たちの罪についての贖いであり、私たちの罪のみについてではなく、全世界についてもである。そして、このことによって私たちは知る、私たちが彼を知ったということを、もし私たちが彼の戒めを守るならば。私は彼を知っていると言いながら、彼の戒めを守っていない者は嘘つきであり、この者の中に真理はない。しかし、誰でも御言葉を守るなら、まことにその人の中に神の愛が完成されている。このことによって、私たちは自分たちが神の中にいることを知る。彼にとどまると言っている者は、あの方が歩いたように、彼自身もそのように歩むべきである。

兄弟たち、私はあなたたちに新しい戒めを書くのではなく、あなたたちが初めから持っていた古い戒めを書くのです。その古い戒めとは、あなたたちが初めから聞いた言葉なのです。再び、新しい戒めをあなたがたに書く。それは彼においてもあなたがたにおいても真実である。なぜなら、その闇は過ぎ去り、その真実の光がすでに輝いているからである。光の中にいると言いながら、自分の兄弟を憎んでいる者は、今もなお暗闇の中にいるのである。その兄弟を愛している者は光の中に留まり、そして彼の中につまずきはない。しかし、自分の兄弟を憎む者は暗闇の中にいて、暗闇の中を歩んでおり、どこへ行くのか知らない。なぜなら、暗闇が彼の目を盲目にしたからである。

私はあなたがたに書きます、小さい子供たちよ、なぜならあなたがたの罪は彼の名によって赦されているからです。私はあなたがたに書く、父たちよ、なぜならあなたがたは初めからおられる方を知ったからである。私はあなたがたに書く、若者たちよ、なぜならあなたがたは悪しき者に打ち勝ったからである。私はあなたがたに書いた、子供たちよ、なぜならあなたがたは父を知っ

たからである。私はあなたがたに書いた、父たちよ、なぜならあなたがたは初めからおられる方を知ったからである。私はあなたがたに書いた、若者たちよ、なぜならあなたがたは強く、神の言葉があなたがたの内に留まり、あなたがたは悪しき者に打ち勝ったからである。

世を愛してはならない。世にあるものも愛してはならない。もし誰かが世を愛するなら、父の愛はその人の中にない。なぜなら、世界にあるすべてのもの、すなわち肉の欲望と目の欲望と生活の傲慢は、父から出たものではなく、世界から出たものであるからである。そして世界は過ぎ去り、そしてその欲望も過ぎ去る。しかし神の意志を行う者は永遠に留まる。

子供たちよ、最後の時である。そしてあなたがたが聞いたように、反キリストが来る。そして今、多くの反キリストたちが現れた。それゆえ私たちは、最後の時であることを知る。彼らは私たちから出て行つたが、私たちに属していなかった。もし彼らが私たちに属していたなら、私たちと共に留まっていただろう。しかし、彼らが皆私たちに属していないことが明らかにされるためである。そして、あなたがたは聖なる方から塗油を受けており、すべてを知っている。私があなたがたに書いたのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、あなたがたがそれを知っているからであり、そしてすべての偽りは真理から出たものではないからです。嘘つきとは誰か、イエスがキリストであることを否定する者でなくて誰であろうか。この者が反キリストである、父と息子を否定する者である。息子を否定する者は皆、父をも持っていない。あなたたちは、それゆえに、始めから聞いたことを、あなたたちの内に留まらせなさい。もし始めから聞いたことがあなたたちの内に留まるならば、あなたたちもまた、御子と御父の内に留まるでしょう。そして、これは彼自身が私たちに約束した約束、すなわち永遠の命である。私はこれらのことを、あなたがたを欺いている者たちについて、あなたがたに書きました。そして

あなたがたは、彼から受けた油注ぎがあなたがたの中に留まっているので、誰かがあなたがたを教える必要はない。しかし、その油注ぎ自体があなたがたをすべてのことについて教え、それは真実であって偽りではない。そして、それがあなたがたを教えたように、あなたがたは彼の中に留まるだろう。そして今、小さな子供たちよ、彼のうちに留まりなさい。それは、彼が現れる時に、私たちが確信を持ち、彼の来臨の時に彼から恥じ入ることがないためです。もしあなたがたが彼が義であることを知るならば、義を行う者は皆、彼から生まれていることを知りなさい。

3

見よ、父が私たちに与えてくださった愛が何と素晴らしいものであることか。それは私たちが神の子供たちと呼ばれるためである。このゆえに、世はあなたたちを知らない。なぜなら世は彼を知らなかったからである。愛する者たちよ、今、私たちは神の子供です。そして、私たちが何になるかは、まだ現されていません。しかし、私たちは知っています。もし現されるならば、私たちは彼に似た者となるでしょう。なぜなら、私たちは彼をありのままに見るからです。そして、彼にこの希望を持っているすべての者は、あの方が清いように、自分自身を清める。

すべて罪を犯す者は、不法を行っており、罪は不法である。そして、あなたがたは知っている、あの方は私たちの罪を取り去るために現れたこと、そして彼の中には罪がないことを。すべて彼にとどまっている者は罪を犯さない。すべて罪を犯している者は彼を見たこともなく、彼を知ったこともない。子供たち、誰もあなたがたを欺いてはなりません。義を行う者は義しい者です、あの方が義しい者であるように。罪を行っている者は悪魔から出ている、なぜなら悪魔は初めから罪を犯しているからである。このために神の子が現されたのは、悪魔の業を滅ぼすためである。神から生まれた者はみな罪を犯さない。なぜなら神の種が彼の内

に留まっているからである。そして彼は罪を犯すことができない。なぜなら神から生まれたからである。このことによって、神の子供たちと悪魔の子供たちが明らかになる。義を行わない者はすべて神から出た者ではなく、また自分の兄弟を愛さない者も同様である。なぜなら、これはあなたがたが初めから聞いた知らせであり、私たちが互いに愛し合うべきだということである。カインのようであってはならない。彼は悪から出た者であり、自分の兄弟を殺した。そして何のために彼を殺したのか。なぜなら彼の行いは悪であり、しかし彼の兄弟の行いは正しかったからである。驚くな、私の兄弟たちよ、もし世界があなたたちを憎むならば。私たちは知っている、私たちが死から命へ移ったことを、なぜなら私たちは兄弟たちを愛するからである。兄弟を愛さない者は死に留まる。自分の兄弟を憎んでいる者は皆、殺人者である。そしてあなたがたは知っている、すべての殺人者は永遠の命を自分の内に宿していないことを。これによって私たちは愛を知った。なぜならあの方が私たちのために彼の魂を置いたからである。そして私たちは兄弟たちのために魂を置く義務がある。しかし、この世の生活を持ち、自分の兄弟が必要を持っているのを見ながら、彼から自分の心を閉ざす者が、どのようにして神の愛が彼の内に留まるだろうか。私の子供たちよ、私たちは言葉や舌で愛すべきではなく、行いと真理において愛すべきである。そして、このことによって、私たちは真理に属していることを知り、そして彼の御前で私たちの心を確信させるでしょう。もし私たちの心が私たちを責めるなら、神は私たちの心よりも大きく、すべてを知っておられるからです。愛する者たちよ、もし私たちの心が私たちを非難しないならば、私たちは神に対して確信を持つのです。そして、もし私たちが求めるならば、私たちは彼から受け取る。なぜなら、私たちは彼の戒めを守り、彼の前で喜ばれることを行うからである。そしてこれは彼の戒めです、私たちが彼の息子イエス・キリストの名を信じ、彼が戒めを与えたように互いに愛し合うためです。そして彼の戒めを守る者は彼に留まり、彼

自身も彼に留まる。そしてこれによって私たちは知る、彼が私たちに留まることを、彼が私たちに与えた霊によって。

4

愛する者たちよ、すべての霊を信じてはならない。むしろ、その霊が神から出たものであるかどうかを試しなさい。なぜなら、多くの偽預言者たちが世に出て来たからである。このことによって、あなたがたは神の霊を知る。イエス・キリストが肉において来たと告白するすべての霊は、神から出ているのである。そしてすべての霊で、肉において来たイエス・キリストを告白しないものは、神から出たものではない。そしてこれは反キリストのものであり、それが来ると聞いていたが、今すでに世界にいる。あなたがたは神から出た者である、小さい子供たちよ、そしてあなたがたは彼らに打ち勝った、なぜならあなたがたの中におられる方は、世界の中にいる者よりも大きいからである。彼らは世界に属している。このゆえに世界のことを語り、世界は彼らの言うことに耳を傾ける。私たちは神から出た者です。神を知る者は私たちの言葉を聞きます。神から出ていない者は私たちの言葉を聞きません。このことから私たちは真理の霊と迷いの霊を知るのです。

愛されている者たちよ、私たちは互いに愛し合うべきである。なぜなら、愛は神から出ているからである。そして、愛しているすべての者は神から生まれており、神を知っている。愛さない者は神を知らない。なぜなら神は愛だからである。このことにおいて、神の愛が私たちの中に現された。なぜなら、神は彼の独り子である息子を世界に送られたからである。それは、私たちが彼を通して生きるためである。この中に愛がある。それは私たちが神を愛したからではなく、神ご自身が私たちを愛し、私たちの罪の贖いとして御子を遣わされたからである。愛する者たちよ、もし神がこのように私たちを愛して下さったのなら、私たちも

また互いに愛し合う義務があります。神を誰も今まで見たことがない。もし私たちが互いに愛し合うならば、神は私たちの内に留まり、そして彼の愛は私たちの内に完全なものとされている。このことによって私たちは知る。私たちが彼の中に留まり、そして彼自身が私たちの中にいることを。なぜなら、彼がその霊を私たちに与えたからである。そして私たちは見た、そして証言する、父が息子を世界の救い主として送ったことを。誰でもイエスが神の子であると告白するならば、神はその人のうちに留まり、その人も神のうちに留まる。そして私たちは、神が私たちに対して持つておられる愛を知り、また信じた。神は愛である。そして愛にとどまる者は神の中にとどまり、神もその者の中にとどまる。このことにおいて、愛が私たちと共に完成されている。それは、裁きの日に率直さを持つためである。なぜなら、あの方がそうであるように、私たちもこの世界においてそうであるからである。恐れは愛の中にはない。しかし、完全な愛は恐れを外に投げ出す。なぜなら、恐れは罰を持つからである。そして、恐れている者は愛の中で完全にされていない。私たちは彼を愛する、なぜなら彼が最初に私たちを愛したからである。もし誰かが私は神を愛すると言いながら、その兄弟を憎むなら、その人は嘘つきである。なぜなら、見たことのある兄弟を愛さない者が、見たことのない神をどのようにして愛することができようか。そして私たちは彼からこの戒めを受けている。神を愛する者は、その兄弟をも愛さなければならない。

5

イエスがキリストであると信じる者は皆、神から生まれた者であり、そして生んだ方を愛する者は皆、その方から生まれた者をも愛する。このことによって、私たちが神を愛し、その戒めを守る時、私たちは神の子供たちを愛していることを知る。これが神の愛である。すなわち、私たちが彼の戒めを守ることである。そして彼の戒めは重くない。なぜなら、神から生まれたものはす

べて世界に勝ち、そして世界に勝ったこの勝利こそ、私たちの信仰である。世界に勝利を得ているのは誰でしょうか、イエスが神の子であると信じる者でなければ? この方は水と血を通して来られた方、イエス・キリストである。水においてのみではなく、水と血においてである。そして霊が証しするものである。なぜなら霊は真理であるからである。なぜなら、天において証言しているのは三つであり、父と言葉と聖霊であり、そしてこれら三つは一つである。そして地において証言しているのは三つである。霊と水と血、そしてこの三つは一つである。もし私たちが人間の証言を受けるなら、神の証言はより大きい。なぜなら、これは神の証言であり、彼が御子について証言されたものだからである。神の御子を信じる者は、自分のうちにその証言を持っている。神を信じない者は、神を嘘つきとした。なぜなら、神が御子について証言された証言を信じなかったからである。そしてこれがその証言です。なぜなら神が私たちに永遠の命を与えたからです。そしてこの命は彼の息子の中にあります。その息子を持っている者は、その命を持っている。神の息子を持っていない者は、命を持っていない。

これらのことを、神の御子の名を信じているあなたがたに書いたのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知るためであり、また神の御子の名を信じるためである。そして、これは私たちが彼に対して持つ確信である。なぜなら、もし私たちが彼の意志に従って何かを求めるなら、彼は私たちの声を聞いてくださるからである。そしてもし私たちが求めるものを彼が聞くことを知るなら、私たちは彼から求めた要求を持つことを知る。もし誰かが、自分の兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、願い求めなさい。そうすれば神は、死に至らない罪を犯している者たちに命を与えてくださる。死に至る罪がある。その罪については、願い求めるようにとは私は言わない。すべての不正は罪です、そして死に向かわない罪があります。私たちは知っている。神から生まれた者はすべて罪を犯さないことを。しかし神から生

まれた者は自分自身を守り、そして邪悪な者は彼に触れない。私たちは神から出た者であることを知っており、全世界は悪の中に横たわっている。私たちは知っている。神の御子が来て、私たちに理解力を与えてくださったことを。それは私たちが真実の方を知るためである。そして私たちは真実の方の中にいる。彼の御子イエス・キリストの中にいる。この方は真実の神であり、永遠の命である。

子供たちよ、偶像から自分自身を守りなさい。アーメン。

マタイによる福音書

1

イエス・キリストの世代の書、ダビデの子、アブラハムの子。アブラハムはイサクを生んだ。イサクはヤコブを生んだ。ヤコブはユダと彼の兄弟たちを生んだ。ユダはタマルからパレスとザラを生み、パレスはエスロムを生み、エスロムはアラムを生んだ。アラムはアミナダブをもうけ、アミナダブはナアソンをもうけ、ナアソンはサルモンをもうけた。サルモンはラハブからボアズをもうけ、ボアズはルツからオベデをもうけ、オベデはエッサイをもうけた。エッサイは王ダビデを生んだ。王ダビデはウリヤの妻からソロモンを生んだ、ソロモンはレホボアムをもうけ、レホボアムはアビヤをもうけ、アビヤはアサをもうけた。アサはヨサファテを生み、ヨサファテはヨラメを生み、ヨラメはオジアンを生んだ。ウジヤはヨタムを生み、ヨタムはアハズを生み、アハズはヒゼキヤを生んだ。ヘゼキヤはマナセを生み、マナセはアモンを生み、アモンはヨシヤを生んだ。ヨシヤはバビロン捕囚の時にエコニヤとその兄弟たちを生んだ。

バビロン捕囚の後、エコニヤはサラテルを生み、サラテルはゼルバベルを生んだ。ゼルバベルはアビウデをもうけ、アビウデはエリアキムをもうけ、エリアキムはアゾルをもうけた。アゾルはザドクを生み、ザドクはアキムを生み、アキムはエリウデを生んだ。エリウデはエレアザルを生み、エレアザルはマタンを生み、マタンはヤコブを生んだ。ヤコブはヨセフを生んだ。そのヨセフはマリアの夫であり、そのマリアからイエスが生まれた。そのイエスはキリストと呼ばれる。したがって、アブラハムからダビデまでのすべての世代は十四代、ダビデからバビロン捕囚までの世代は十四代、そしてバビロン捕囚からキリストまでの世代は十四代である。

しかしイエス・キリストの誕生はこのようであった。彼の母マリアがヨセフと婚約していたが、彼らが一緒になる前に、彼女は聖霊によって胎に宿していることが見出された。ヨセフは彼女の夫であり、正しい人であって、彼女を公に辱めることを望まず、密かに離縁しようと思った。これらのことを彼が考えた後、見よ、主の天使が夢の中で彼に現れて言った、ヨセフ、ダビデの子よ、あなたの妻マリアを迎えることを恐れるな。なぜなら、彼女の中に生まれたものは聖霊から出たものであるから。彼女は息子を産むであろう。そしてあなたはその子の名をイエスと名付けるであろう。なぜなら、彼こそが自分の民を彼らの罪から救うからである。これはすべて、預言者を通して主によって言われたことが満たされるために起こった。見よ、処女が身ごもり、男の子を産む。そして人々はその子をエマヌエルと呼ぶ。これは訳せば神は我らと共にいますという意味である。

目覚めたヨセフは、眠りから、主の天使が彼に命じたように行い、そして彼の妻を迎え入れた。そして彼は、彼女が初子の息子を産むまで、彼女を知らなかった。そして彼はその名をイエスと呼んだ。

2

そして、イエスがユダヤのベツレヘムで、ヘロデ王の治世の日々に生まれた時、見よ、東から魔術師たちがエルサレムに到着した。どこにおられますか、お生まれになったユダヤ人の王は？ 私たちは東方で彼の星を見たので、彼を礼拝するために来ました。ヘロデ王は聞いて動揺し、そして全エルサレムが彼と共に動揺した。そして民の全ての祭司長たちと書記官たちを集めて、彼らからキリストはどこで生まれるのかを尋ねた。彼らは彼に言った、ユダヤのベツレヘムです。なぜなら預言者を通してこのように書かれているからです。そしてあなた、ベツレヘム、ユダの地よ、あなたは決してユダの指導者たちの中で最も小さいものでは

ない。なぜなら、あなたから指導者が出るからである。その者は私の民イスラエルを牧するであろう。

その時、ヘロデは密かに魔術師たちを呼び、彼らから現れた星の時を正確に知った。そして彼らをベツレヘムへ送って言った、行って、その子供について正確に調査せよ。そして見つけたら、私に報告せよ。私も来て彼を礼拝できるように。彼らは王の言葉を聞いて出発した。すると見よ、東方で見た星が彼らを導き、ついに来てその子供がいる場所の上に留まった。その星を見て、彼らは非常に大きな喜びをもって喜んだ。そして家に来て、彼らはその子供を彼の母マリアと共に見た。そして倒れ伏して彼を礼拝した。そして彼らの宝物を開いて、彼に贈り物、黄金と乳香とミルラを捧げた。そして夢で警告を受けてヘロデのもとへ戻らないようにと、彼らは別の道を通して自分たちの地へ帰って行った。

彼らが退去した後、見よ、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。起きて、その子供とその母を連れてエジプトへ逃げなさい。そして私があなたに言うまでそこにいなさい。なぜならヘロデがその子供を滅ぼすために探そうとしているからである。彼は起き上がり、夜のうちにその子供と彼の母を連れて、エジプトへ退いた。そして彼はヘロデの死まで、そこにいた。それは主によって預言者を通して語られたことが満たされるためであった。エジプトから私は私の息子と呼んだ。

その時、ヘロデは魔術師たちによって欺かれたことを知って、非常に怒り、人を送ってベツレヘムとその全地域にいる二歳以下の男児を皆殺しにした。これは魔術師たちから詳しく聞いておいた時期に基づいていた。その時、預言者エレミヤによって言われたことが成就した。ラマにおいて声が聞かれた。嘆きと泣くことと大いなる悲しみが。ラケルが自分の子供たちのために泣い

ており、慰められることを望まなかった。なぜなら彼らはもういないからである。

ヘロデが死んだが、見よ、主の天使がエジプトにいるヨセフに夢で現れた。言って、起き上がって、その子供とその母親を連れて、イスラエルの地へ行け。なぜなら、その子供の魂を求めている者たちは死んだからである。しかし、彼は起き上がって、その子供とその母を連れて、イスラエルの地へ来た。

しかし、アルケラオスが彼の父ヘロデの代わりにユダヤを治めていると聞いて、そこへ行くことを恐れた。そして夢で警告を受けて、ガリラヤの地方へ退いた。そして来て、ナザレと呼ばれる町に住んだ。それは預言者たちを通して言われたナザレ人と呼ばれるだろうということが満たされるためであった。

3

しかしその日々に、バプテスマのヨハネがユダヤの荒野で宣べ伝えながら来た。そして言った、悔い改めよ、天の王国が近づいたのだから。これは、預言者イザヤによって語られたことである。荒野で叫んでいる者の声、主の道を準備せよ、彼の小道をまっすぐにせよ。

しかし、そのヨハネ自身は、ラクダの毛から作られた衣を着て、腰には革の帯を締めていた。そして彼の食物はイナゴと野蜜であった。その時、エルサレムと、ユダヤ全土と、ヨルダンの周辺地域全体が、彼のもとへ出て行っていた。そして彼らは、自分たちの罪を告白しながら、ヨルダン川で彼によって洗礼を受けていた。

しかし、多くのパリサイ人たちとサドカイ人たちが彼のバプテスマに来ているのを見て、彼らに言った。まむしの子孫たち

よ、誰があなたがたに、来ようとしている怒りから逃れることを示したのか。したがって、悔い改めにふさわしい実を作りなさい。そして、自分たちの中で私たちには父アブラハムがいると言おうなどと思うな。なぜなら、私はあなたがたに言うが、神はこれらの石からアブラハムのために子らを起こすことがおできになるからである。すでに斧はその木々の根元に横たわっている、したがってすべての良い実を作らない木は切り倒され、そして火に投げ込まれる。

私は確かに水であなたたちに悔い改めへの洗礼を受ける。しかし私の後に来る方は私よりも強く、私は彼のサンダルを運ぶにも値しない。彼はあなたたちに聖霊と火で洗礼を受けるだろう。彼の手に箕を持ち、彼は自分の脱穀場を徹底的に清め、自分の穀物を倉庫に集めるが、もみ殻は消えない火で焼く。

その時、イエスはガリラヤからヨルダン川のヨハネのもとへ来られた。彼から洗礼を受けるためであった。しかしヨハネは彼を妨げて言った、私があなたによって洗礼を受ける必要があるのに、あなたが私のところに来るのですか。答えて、イエスは彼に言った、今は許しなさい。このように私たちがすべての義を満たすことがふさわしいからです。その時、彼は彼を許した。そして洗礼を受けたイエスは、すぐに水から上がった。すると見よ、天が彼に開かれ、神の霊が鳩のように降りてきて、彼の上に来るのを見た。そして見よ、天から声があって言った、これは私の愛する息子、私はこれを喜ぶ。

4

その時、イエスは悪魔の誘惑を受けるため、御霊によって荒野に導かれた。そして四十日四十夜断食した後、彼は空腹になった。そして試す者が彼に近づいて言った、もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように言いなさい。しかし彼

は答えて言った、書かれている、人はパンのみによって生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる。その時、悪魔は彼を聖なる都へ連れて行き、神殿の頂に立たせた。そして彼に言う、もしあなたが神の子であるなら、自分自身を下に投げよ。なぜなら彼はあなたについて御使いたちに命じられる。そして彼らは手であなたを支える。あなたが石に足を打ちつけることのないようにと書かれているからである。

イエスは彼に言った、再び書かれている、あなたの神である主を試みてはならないと。

再び、悪魔は彼を非常に高い山へ連れて行き、そして彼に世界の全ての王国とそれらの栄光を示す。そして彼に言う、これら全てをあなたに与えよう、もしひれ伏して私を崇拜するなら。その時、イエスは彼に言われた、サタンよ、退け。あなたの神である主を礼拝し、ただ彼にのみ仕えよと書かれているからである。その時、悪魔は彼を去らせた。そして見よ、天使たちが近づいて来て、彼に仕えた。

イエスは、ヨハネが引き渡されたと聞いて、ガリラヤへ退いた。そして、ナザレを去り、ゼブルンとナフタリの境界にある海沿いのカペルナウムに来て住んだ。預言者イザヤによって語られたことが成就するためにゼブルンの地とナフタリの地、海への道、ヨルダンの向こう、異邦人のガリラヤ、暗闇に座っていた人々は大きな光を見た、そして死の影の地に座っていた者たちに光が昇った。

その時から、イエスは宣べ伝え、そして言い始めた。悔い改めなさい。天の御国が近づいたからである。

ガリラヤの海のそばを歩いていると、二人の兄弟、ペトロと呼ばれているシモンと彼の兄弟アンデレが、海に網を投げている

のを見た。彼らは漁師だったからである。そして彼らに言った、私について来なさい。あなたたちを人間を捕る漁師にしよう。彼らは直ちに網を置いて、彼に従った。そして、そこから進んで、他の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブと彼の兄弟ヨハネが、彼らの父ゼベダイと共に船の中で彼らの網を繕っているのを見て、彼らと呼んだ。しかし彼らはすぐに船と彼らの父を去って、彼に従った。

そしてイエスはガリラヤ全体を回り、彼らの集会で教え、王国の良い知らせを宣べ伝え、民の中のすべての病気とすべての病に仕えた。そして彼の評判は全シリアへと広まった。そして人々は彼のもとに、様々な病気と苦痛に苦しめられているすべての病人、悪霊に取りつかれた者、てんかんの者、中風の者を連れて来た。そして彼は彼らを癒した。そして多くの群衆が彼についていった。ガリラヤから、デカポリスから、エルサレムから、ユダヤから、そしてヨルダンの向こう側から。

5

群衆を見て、彼は山に登った。そして彼が座ると、彼の弟子たちが彼のもとに近づいた。そして彼は口を開いて、彼らにこう言って教えた。霊において貧しい人々は祝福されている、なぜなら天の王国は彼らのものであるから。悲しむ者たちは祝福されている、なぜなら彼らは慰められるからである。柔和な者たちは祝福されている、なぜなら彼らが地を相続するからである。義に飢え渴いている者は祝福されている、なぜなら彼らは満たされるであろうから。幸いなるかな、慈悲深き者たち、彼らは慈悲を受けるであろうから。心の清い人々は幸いである。彼らは神を見るであろう。平和を作る者たちは祝福されている。なぜなら、彼らは神の子らと呼ばれるからである。義のために迫害された者は祝福される、なぜなら天の王国は彼らのものであるから。あなたがたは、私のゆえに、人々があなたがたをのしり、迫害し、偽って

あなたがたに対してあらゆる悪口を言うとき、祝福されている。喜び、そして喜べ。なぜなら、あなたがたの報いは天において大きいからである。このように、彼らはあなたがたより前の預言者たちを迫害したのである。

あなたたちは地の塩である。しかしもしその塩が味を失ったなら、何によって塩気を取り戻せようか?それはもはや何の役にも立たず、ただ外に投げ捨てられて人々に踏みつけられるだけである。あなたたちは世界の光である。山の上に置かれた都市は隠れることができない。また、ランプを灯して、それをバスケットの下に置くこともしない。しかし、ランプスタンドの上に置く。そして、それは家の中にいるすべての者たちに輝く。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。それは、人々があなたがたの良い業を見て、天におられるあなたがたの父に栄光を帰するためである。

私が律法または預言者たちを破壊するために来たと思ってはならない。私は破壊するために来たのではなく、成就するために来たのである。まことに、私はあなたがたに言う。天と地が過ぎ去るまで、律法から一点一画も決して過ぎ去ることはない。すべてが成就するまでは。それゆえ、もしこれらの最も小さい戒めの一つを破り、そのように人々に教える者は、天の王国において最も小さい者と呼ばれるであろう。しかし、それを行い、そして教える者は、天の王国において偉大な者と呼ばれるであろう。私はあなたがたに言う。もしあなたがたの義が律法学者たちとパリサイ人たちのものよりも勝っていないなら、あなたがたは決して天の王国に入ることはない。あなたがたは聞いた、古代の人々に殺してはならないと言われたことを。しかし誰でも殺す者は、裁きに対して有罪となるだろう。しかし私はあなたがたに言う。みだりに自分の兄弟に対して怒る者はすべて、裁きに対して有罪となるであろう。また、自分の兄弟にラカと言う者は、議会に対して有罪となるであろう。また、愚か者と言う者は、火のゲヘナへと

有罪となるであろう。もしあなたがあなたの贈り物を祭壇に捧げ、そしてそこであなたの兄弟があなたに対して何か含むところがあることを思い出すならば、そこにあなたの贈り物を祭壇の前に置き、まず行ってあなたの兄弟と和解し、それから来てあなたの贈り物を捧げよ。あなたの敵と道を共にしている間に、速やかに和解しなさい。そうでなければ、敵があなたを裁判官に引き渡し、裁判官があなたを下役に引き渡し、あなたは牢獄に投げ込まれるだろう。まことに、私はあなたに言う。あなたが最後のクアドランスを返すまで、決してそこから出ることはない。

あなたがたは聞いた、古代の人々に姦淫してはならないと言われたことを。しかし私はあなたがたに言う、女を欲望するために見る者はすべて、すでに心の中で彼女と姦淫を犯したのである。もしあなたの右の目があなたをつまづかせるなら、それをえぐり出してあなたから投げ捨てよ。なぜなら、あなたの全身がゲヘナに投げ込まれるよりも、あなたの肢体の一つが減びる方があなたにとって有益だからである。そしてもしあなたの右の手があなたを罪に陥れるなら、それを切り落としてあなたから投げ捨てよ。なぜならあなたの肢体の一つが減びて、あなたの体全体がゲヘナに投げ込まれないことが、あなたにとって有益だからである。

誰でも自分の妻を離婚する者は、彼女に離婚証明書を与えよと言われた。しかし私はあなたがたに言う、姦淫の理由を除いて自分の妻を離婚する者は、彼女を姦淫させることになり、そして離婚された女と結婚する者は姦淫を犯すのである。

再び、あなたがたは聞いた。古代の人々に言われた、偽りの誓いをしてはならない、しかし主にあなたの誓いを果たさなければならぬと。しかし私はあなたがたに言う、まったく誓ってはならない、天にかけても誓ってはならない、なぜならそれは神の玉座であるから。地を指して誓ってはならない。それは神の足台

だからである。エルサレムを指して誓ってはならない。それは大いなる王の都だからである。また、あなたの頭にかけて誓ってはならない。なぜなら、あなたは一本の髪を白くすることも黒くすることもできないからである。あなたがたの言葉は、はい、はい、否、否、とせよ。しかし、これらを超える過剰なものは、悪から出るものである。

あなたがたは聞いた、目には目を、歯には歯をと言われたことを。しかし私はあなたたちに言う、悪い者に抵抗するな。誰でもあなたの右の頬を打つなら、他の頬も彼に向けよ。そして、あなたを訴えて下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。そして誰かがあなたに一マイル行くことを強制するなら、彼と共に二マイル行きなさい。あなたに求める者には与えなさい。そして、あなたから借りようとする者を拒んではならない。

あなたがたは聞いた、あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎めと言われたことを。しかし私はあなたがたに言う。あなたがたの敵を愛しなさい。あなたがたを呪う者を祝福しなさい。あなたがたを憎む者によく行いなさい。そしてあなたがたを虐待し迫害する者のために祈りなさい。あなたがたが天におられるあなたがたの父の息子となるために、なぜなら彼は自分の太陽を邪悪な者たちと善良な者たちの上に昇らせ、正しい者たちと不正な者たちの上に雨を降らせるからである。もしあなたがたを愛している者たちをあなたがたが愛するなら、どんな報いがあるだろうか? 取税人たちも同じことを行うではないか? そして、もしあなたがたが自分の友人たちだけに挨拶するなら、何か特別なことをしているだろうか。取税人たちもそのようにしているではないか。したがって、あなたがたは完全な者となるであろう、ちょうどあなたがたの天におられる父が完全であるように。

あなたがたの施しを人々の前で行って彼らに見られるようにしないように注意しなさい。そうでなければ、天におられるあなたがたの父から報いを受けることはない。したがって、あなたが施しをするときは、偽善者たちが会衆の中や路地するように、人々によって栄光を受けるために、あなたの前でラッパを鳴らしてはならない。まことに私はあなたたちに言う、彼らは既に自分たちの報酬を受け取っている。しかし、あなたが施しを行うとき、右手が何をしているか左手に知らせてはならない。あなたの施しが秘密においてあるように。そうすれば、秘密において見ておられるあなたの父が、公然とあなたに報いてくださるだろう。

そして、あなたが祈る時、偽善者たちのようであってはならない。なぜなら、彼らは会衆の中や通りの角に立って祈ることを愛しているからである。それは人々に現れるためである。まことに私はあなたたちに言う、彼らは既に彼らの報いを受け取っている。しかし、あなたが祈るときは、あなたの奥の部屋に入り、あなたの戸を閉じて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れたところで見ておられるあなたの父が、公に報いてくださるだろう。

祈る時には、異邦人たちのように無駄口を言ってはならない。彼らは多弁であれば聞き入れられると思っているからである。だから、彼らに似てはならない。あなたがたの父は、あなたがたが彼に求める前に、あなたがたが必要としているものを知っているからである。このように、したがって、あなたがたは祈りなさい。天におられる私たちの父よ、あなたの名が聖とされますように。御国が来ますように。御心が天においてと同じく地の上においてもなされますように。私たちの日ごとのパンを、今日私たちに与えてください。そして私たちの負債を私たちに赦してください、私たちも私たちの負債者たちを赦すように、私たちを誘惑に導き入れず、悪しき者から私たちを救い出してください。な

ぜなら、王国と力と栄光は永遠にあなたのものだからです。アーメン。

もしあなたがたが人々の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もまたあなたがたを赦すだろう。もしあなたがたが人々の罪を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪を赦さないだろう。

しかし、あなたがたが断食するときは、偽善者たちのように陰気な顔をしてはならない。彼らは断食していることを人々に見せるために、自分の顔をやつれさせるからである。まことに、私はあなたがたに言う。彼らは既に自分の報いを受けている。しかし、あなたは断食するときには、あなたの頭に油を塗り、あなたの顔を洗いなさい。あなたが断食していることを人々に現れないようにしなさい。しかし、秘密にいるあなたの父に現れなさい。そして秘密に見ているあなたの父が、公にあなたに報いるだろう。

あなたがたは地上に宝を蓄えてはならない。そこでは蛾と錆が滅ぼし、そして盗人たちが押し入って盗む。しかし、あなたがたは天に宝を蓄えなさい。そこでは蛾も錆も滅ぼすことがなく、また泥棒が掘り破って盗むこともない。あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからである。

体のともしびは目です。だから、もしあなたの目が澄んでいれば、あなたの体全体が明るくなるでしょう。もしあなたの目が邪悪であるならば、あなたの体全体は暗いであろう。それゆえ、もしあなたの内にある光が闇であるならば、その闇はどれほどであろうか。

誰も二人の主人に仕えることはできない。なぜなら、一方を憎んでもう一方を愛するか、または一方に執着してもう一方を軽

蔑するからである。あなたたちは神と富とに仕えることはできない。

このゆえに、私はあなたがたに言う。あなたがたの魂のために、何を食べようか、何を飲もうかと心配するな。また、あなたがたのからだのために、何を着ようかと心配するな。魂は食物より大切ではないか。そして、からだは衣服より大切ではないか。天の鳥を見なさい。彼らは蒔かず、刈り取らず、倉に集めもしない。それなのに、あなたがたの天の父は彼らを養っておられる。あなたがたは彼らよりもっと価値があるのではないか。しかし、あなたがたの中の誰が、心配することによって、自分の寿命に一キュビトを加えることができようか。そして衣服について何を心配するのか?野の百合がどのように成長するか考えなさい。労することもなく、紡ぐこともない。しかし私はあなたがたに言う、ソロモンでさえも、彼のすべての栄光において、これらの一つのように身にまとうことはなかった。もし神が、今日あり明日炉に投げ込まれる野の草をこのように着せるなら、まして多くあなたたちを着せないだろうか、信仰の少ない者たちよ。だから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配するな。なぜなら、これらすべてを諸国民は求めているからである。あなたがたの天の父は、あなたがたがこれらすべてを必要としていることを知っておられる。しかし、まず神の王国と彼の義を求めなさい、そうすればこれらすべてのものがあなたがたに加えられるであろう。だから、明日のことを心配するな。明日は明日が自分のことを心配するだろう。その日の苦労は、その日だけで十分である。

7

裁くな、そうすればあなたがたが裁かれることがないように。あなたがたが裁く裁きで、あなたがたは裁かれ、あなたがたが量る量りで、あなたがたに量られるであろう。なぜあなたは兄

弟の目の中のちりを見るが、あなた自身の目の中の梁には気づかないのか。あるいは、どうしてあなたの兄弟にあなたの目からちりを取り出させてくださいと言えるだろうか。見よ、あなた自身の目の中に梁があるのに。偽善者よ、まずあなたの目から梁を取り除きなさい、そうすればその時、あなたの兄弟の目から塵を取り除くために明瞭に見えるだろう。

神聖なものを犬たちに与えてはならない。また、あなたたちの真珠を豚たちの前に投げてはならない。そうしないと、彼らがそれらを足で踏みつけ、振り向いてあなたたちを引き裂くかもしれない。

求めなさい、そうすればあなたたちに与えられるだろう、探しなさい、そうすれば見つけるだろう、叩きなさい、そうすればあなたたちに開かれるだろう、求める者は皆受け、探す者は見つけ、叩く者には開かれる。あるいは、あなたがたのうちの誰が、自分の息子がパンを求めるならば、石を彼に与えるだろうか? そして、もし魚を求めるならば、蛇を与えるだろうか。それゆえ、もしあなたがたが邪悪でありながらも、自分の子供たちに良い贈り物を与えることを知っているならば、まして天におられるあなたがたの父は、彼に求める者たちに良いものを与えてくださるのではないか。

それゆえ、人々にしてもらいたいと思うことはすべて、そのようにあなたがたも彼らにしなさい。これこそが律法と預言者だからである。

狭い門を通して入りなさい。なぜなら、滅びへと導く門は広く、その道は広々としているからである。そして、それを通して入る者は多い。何と狭い門であり、苦しめられた道であることか、生命へと導く道は。そしてそれを見つめる者たちは少ない。

注意しなさい、偽預言者たちから。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、内側では貪欲な狼である。彼らの果実からあなたがたは彼らを知るだろう。まさか茨からぶどうを、またはあざみからいちじくを集めるだろうか? このように、すべての良い木は美しい実を結び、腐った木は悪い実を結ぶ。良い木は邪悪な果実を作ることができない、そして腐った木は良い果実を作ることができない。良い実を作らないすべての木は切り倒され、そして火の中へ投げ込まれる。それゆえ、彼らの実から、あなたがたは彼らを知るだろう。

私に主よ、主よと言う者が皆、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父の意志を行う者が入るのである。多くの者たちがあの日に私に言うだろう、主よ、主よ、私たちはあなたの名において預言し、あなたの名において悪霊を追い出し、あなたの名において多くの奇跡を行ったではありませんかと。そしてその時、私は彼らに告白するだろう、私は決してあなたたちを知らなかった。私から離れよ、無法を働く者たちよ。

それゆえ、私のこれらの言葉を聞いてそれを行う者はすべて、岩の上に自分の家を建てた賢い人にたとえられるであろう。そして雨が降り、川が来て、風が吹き、あの家に打ち付けた。そしてそれは倒れなかった。なぜなら岩の上に基礎を置かれていたからである。そして、私のこれらの言葉を聞いて、それらを行わないすべての者は、愚かな男に似せられるだろう。その者は自分の家を砂の上に建てた。そして雨が降り、川が押し寄せ、風が吹いて、あの家に打ち付けた。そしてそれは倒れ、その崩壊は甚だしかった。

そして、イエスがこれらの言葉を完了したとき、群衆たちは彼の教えに驚嘆した。なぜなら彼は、権威を持つ者として彼らを教えていたのであり、律法学者たちのようではなかったからである。

8

彼が山から降りてきたとき、多くの群衆が彼に従った。そして見よ、一人のらい病人が来て彼を拝し、主よ、もしあなたが望まれるなら、私を清めることがおできになりますと言った。そしてイエスは手を伸ばして彼に触れ、私は望む、清められよと言った。するとすぐに彼のらい病は清められた。そしてイエスは彼に言う、誰にも言ってはならない。しかし行って、あなた自身を祭司に示し、モーセが命じた贈り物を捧げよ、彼らへの証しのために。

彼がカペルナウムに入ると、百人隊長が彼に近づき、懇願して言った主よ、私の子供が家で麻痺して横たわっており、ひどく苦しんでいます。そしてイエスは彼に言う、私が来て彼を癒そう。そして百人隊長は答えて言った、主よ、私はあなたが私の屋根の下に入られるのにふさわしくありません。しかし、ただ言葉でおっしゃってください。そうすれば私の僕は癒されるでしょう。そしてなぜなら、私も権威の下にある人間であり、私自身の下に兵士たちを持っています。そして私がこの者に行けと言え行き、他の者に来いと言え来ます。そして私の奴隷にこれをしろと言え、します。イエスはこれを聞いて驚き、従っている者たちに言った、まことに、あなたがたに言う、イスラエルの中でも、これほど大きな信仰を私は見つけたことがない。私はあなたがたに言う、多くの者たちが東と西から来て、天の王国でアブラハム、イサク、ヤコブと共に食卓に着くだろう。しかし、王国の息子たちは外側の暗闇へ投げ出されるだろう。そこには泣くことと歯ぎしりがあるだろう。そしてイエスはその百人隊長に言った、行きなさい。あなたが信じたとおりになるように。そして彼の僕はその時に癒された。

そしてイエスがペテロの家に来て、彼の義母が横たわって熱で苦しんでいるのを見た。そして彼は彼女の手に触れた。すると

熱は彼女を去り、彼女は起き上がって彼に仕えた。夕方になると、人々は悪霊に憑かれた多くの者たちを彼のもとに連れて来た。そして彼は言葉で霊たちを追い出し、病んでいるすべての者たちを癒した。イザヤ預言者が語ったことが成就されるために、彼自身が私たちの弱さを取り、病気を負った。

イエスは自分の周りに多くの群衆がいるのを見て、向こう岸へ行くように命じた。そして、一人の律法学者が近づいて彼に言った、先生、あなたがどこへ行かれても、私はあなたについて行きます。そしてイエスは彼に言う、狐たちは巣穴を持っており、天の鳥たちは巣を持っている。しかし人の子はどこにも頭を横たえる所を持っていない。別の弟子が彼に言った、主よ、まず私に去って私の父を葬ることを許してください。しかし、イエスは彼に言った。私に従いなさい。そして、死者たちに彼ら自身の死者を葬らせなさい。

そして彼が船に乗り込むと、彼の弟子たちが彼に従った。そして見よ、大きな地震が海で起こった。その結果、船は波に覆われた。しかし彼は眠っていた。そして彼の弟子たちが近づいて、彼を起こし、主よ、私たちを救ってください、私たちは滅びていますと言った。そして彼は彼らに言う、何故あなたたちは臆病なのか、信仰の小さい者たちよ。その時、起き上がって風たちと海を叱責した。そして大きな風が起こった。そして人々は驚いて言った、この方はいったいどのような方なのか。風も海も彼に従うのだから。

そして彼が向こう岸のゲルゲセネ人の地に来たとき、墓から出て来る二人の悪霊憑かれた者が彼に会った。彼らは非常に荒々しく、そのため誰もあの道を通り過ぎることができなかった。そして見よ、彼らは叫んで言った、私たちとあなたに何の関係があるのか、イエス、神の子よ。あなたは時の前にここに来て私たちを苦しめるのか。彼らから遠く離れたところに、多くの豚の群れ

が草を食べていた。そして悪霊たちは彼に懇願して言った、もしあなたが私たちを追い出すなら、豚の群れの中へ去ることを私たちに許可してください。そして彼は彼らに行けと言った。すると出て行った者たちは豚の群れの中へ去り、見よ、豚の群れ全体が崖を下って海へ突進し、水の中で死んだ。家畜を飼っていた者たちは逃げ、町へ行って、すべてのことと悪霊に憑かれた者たちのことを報告した。そして見よ、町中の人々がイエスに会うために出て来た。そして彼を見ると、彼らは自分たちの地域から去るように懇願した。

9

そして船に乗り込んで渡り、自分の町に来た。そして見よ、彼らは彼に、寝台の上に横たわっている中風の者を運んでいた。そしてイエスは彼らの信仰を見て、その中風の者に言った、勇気を出しなさい、子よ、あなたの罪は赦されている。そして見よ、律法学者たちの何人かが自分たち自身の中で言った、この者は冒涇している。そしてイエスは彼らの思考を見て言った、なぜあなたがたはあなたがたの心の中で邪悪なことを思うのか? というのは、何がより容易であるか、あなたの罪は赦されていると言うことか、それとも起きて歩けと言うことか。しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持つことをあなたがたが知るために、その時、中風の者に言う、起き上がって、あなたの寝床を取り上げて、あなたの家へ行け。そして起き上がって、彼の家へ去った。しかし群衆は見て驚嘆し、そのような権威を人間たちに与えた神に栄光を帰した。

そしてイエスがそこから通り過ぎる時、マタイと呼ばれる人が徴税所に座っているのを見た。そして彼に私に従えと言う。そして彼は立ち上がってイエスに従った。そして彼が家の中で食事の席に着いていた時、それが起こった。見よ、多くの徴税人たちと罪人たちが来て、イエスと彼の弟子たちとともに食事の席に着

いていた。そしてパリサイ人たちは見て、彼の弟子たちに言った、なぜあなたたちの教師は税取りたちや罪人たちと食事をするのか? しかしイエスは聞いて彼らに言った、強い者たちは医者が必要としない、しかし病んでいる者たちは必要とする。行って学びなさい、何であるかを。私は慈悲を欲し、犠牲を欲しないと。なぜなら私は義人たちを呼ぶために来たのではなく、罪人たちを悔い改めへと呼ぶために来たからである。

その時、ヨハネの弟子たちが彼のもとに来て言った、なぜ私たちとファリサイ派の人々は度々断食するのに、あなたの弟子たちは断食しないのですか。そしてイエスは彼らに言った、花婿が一緒にいる間、婚礼の客は悲しむことができるだろうか。しかし花婿が彼らから取り去られる日が来る。その時彼らは断食するだろう。誰も縮んでいない布の継ぎを古い衣に当てない。なぜなら、その継ぎ当てが衣から引き離され、さらにひどい裂け目ができるからである。また、新しいぶどう酒を古い革袋に入れることもしない。もしそうすれば、革袋は破れ、ぶどう酒はこぼれ出て、革袋も駄目になる。むしろ、新しいぶどう酒は新しい革袋に入れる。そうすれば両方とも保たれる。

これらのことを彼が彼らに話している時、見よ、一人の支配者が近づいて来て、彼に礼拝し、言った、私の娘がたった今死にました。しかし来て、あなたの手を彼女の上に置いてください。そうすれば彼女は生きるでしょう。そしてイエスは起き上がって彼に従い、彼の弟子たちも従った。そして見よ、十二年間出血している女が、後ろから近づいて彼の衣の房に触れた。彼女は自分自身の中で言っていた、もし私が彼の衣に触れさえすれば、私は救われるだろうと。しかしイエスは振り返り、彼女を見て言った、勇気を出しなさい、娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。そしてその女性はその時から救われた。そして、イエスは支配者の家に来て、笛吹きたちと騒いでいる群衆を見て、彼らに言う。退け、その少女は死んでいないのだから、眠っているの

だ。そして彼らは彼を嘲笑った。しかし群衆が追い出された時、入って彼女の手を掴んだ、そしてその少女は起き上がった。そして、この噂はあの地全体へと広まった。

そして、イエスがそこから通り過ぎていると、二人の盲人が彼に従い、叫びながら言った、ダビデの子よ、私たちに憐れんでください。家に来たとき、盲人たちが彼に近づいた。そしてイエスは彼らに言う、わたしがこれをする事ができると信じるか？彼らは彼に言う、はい、主よ。その時、彼らの目に触れて言った、あなたがたの信仰のとおり、あなたがたになるように。そして彼らの目が開かれた。そしてイエスは彼らに厳しく警告して言った、誰にも知らせしてはならない。しかし、出て行った者たちは、あの地全体で彼のことを広めた。

彼らが出て行くと、見よ、人々は悪霊に取り憑かれた口のきけない人を彼のもとに連れて来た。そして悪霊が追い出されると、その哑者は話した、そして群衆たちは驚いて言った、このようなことはイスラエルの中で決して現れたことがなかった。しかしパリサイ人たちは言っていた、悪霊たちの支配者によって悪霊たちを追い出している。

そしてイエスはすべての都市と村を行き巡り、彼らの会衆において教え、王国のよい知らせを宣べ伝え、民の中のすべての病氣とすべての疾患に仕えた。

群衆を見て、彼は彼らを憐れんだ。なぜなら、彼らは羊飼いを持たない羊のように、疲れ果て、投げ捨てられていたからである。その時、彼は弟子たちに言う、確かに収穫は多いが、働く者たちは少ない。それゆえ、収穫の主に祈りなさい、働き手たちを御自分の収穫に送り出してくださるように。

そして彼は十二人の弟子たちを召し、彼らに汚れた霊たちに対する権威を与えた、それらを追い出し、すべての病とすべての病気を癒すために。しかし十二使徒たちの名前はこれらである。最初はペトロと呼ばれるシモン、そして彼の兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブ、そして彼の兄弟ヨハネ、ピリポとバルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイと呼ばれたレバイ、カナン人シモンと、イスカリオテのユダ、すなわち彼を引き渡した者。

これら十二人を、イエスは彼らに命じて言いながら送った、異邦人たちの道へ行くな、そしてサマリア人たちの町へ入るな、むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところへ行きなさい。行きながら、宣べ伝えなさい、天の王国が近づいたと言いながら。病人を癒し、ハンセン病患者を清め、死者を起こし、悪霊を追い出さなさい。無償で受けたのだから、無償で与えなさい。金も銀も青銅も、あなたがたの帯の中に獲得してはならない。袋も、二枚の下着も、サンダルも、杖も道に持って行くな。働き手は自分の食物を受けるに値するからである。あなたがたがどの町または村に入ろうとも、そこで誰がふさわしいかを尋ね、そして出発するまでそこに留まりなさい。その家に入るときには、この家に平和がありますようにと言って挨拶しなさい。そしてもしその家が価値あるならば、あなたがたの平和をその上に来させよ。しかしもし価値ないならば、あなたがたの平和はあなたがたのもとへ戻らせよ。そしてもし誰があなたたちを受け入れず、またあなたたちのことばを聞かないならば、その家またはその町の外へ出て行く時、あなたたちの足のほこりを振り落としなさい。まことに、私はあなたがたに言う。審判の日には、ソドムとゴモラの地の方が、あの町よりも耐えやすいであろう。

見よ、私はあなたがたを狼たちの真ん中に羊のように送る。それゆえ、蛇のように賢く、鳩のように無垢でありなさい。注意しなさい、人間たちから。なぜなら彼らはあなたがたを会議に引

き渡し、そして彼らの会堂においてあなたがたを鞭打つだろうから。そして、あなたがたは私のゆえに、指導者たちや王たちの前に連れて行かれ、彼らと諸国民への証言とされるだろう。しかし、彼らがあなたがたを引き渡す時、どのように、または何を話すか心配してはならない。なぜなら、その時に、何を話すべきかがあなたがたに与えられるからである。なぜなら、話しているのはあなたたちではなく、あなたたちの父の霊があなたたちの中で話しているからである。兄弟は兄弟を死に引き渡し、父は子供を引き渡し、子供たちは親に立ち向かい、彼らを死に至らしめるだろう。そして、あなたがたは私の名のゆえにすべての人々によって憎まれるだろう。しかし、終わりまで耐えた者は救われるだろう。しかし、彼らがこの町であなたがたを迫害するときは、別の町へ逃げなさい。まことにあなたがたに言う、人の子が来るまで、あなたがたはイスラエルの町々を巡り終えることはないであろう。弟子は教師より上ではなく、奴隷もその主人より上ではない。弟子にとって、その教師のようになることで十分であり、奴隷にとって、その主人のようになることで十分である。もし彼らが家の主人をベルゼブルと呼んだなら、まして彼の家族たちをどれほどそう呼ぶだろうか。したがって彼らを恐れてはならない。なぜなら、覆われているもので明らかにされないものは何もなく、隠されているもので知られないものはないからである。私があなたがたに暗闇の中で言うことを、光の中で言いなさい。そして、あなたがたが耳に聞くことを、屋根の上で宣べ伝えなさい。そして、体を殺すが魂を殺すことのできない者たちを恐れてはならない。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。二羽の雀は一アサリオンで売られているではないか。そして、それらのうちの一羽も、あなたがたの父なしには地に落ちることはない。あなたたちの頭の髪の毛はすべて数えられている。したがって、恐れるな。あなたたちは多くの雀たちより価値がある。

したがって、人々の前で私を告白する者は誰でも、私もまた天におられる私の父の前でその者を告白するであろう。しかし誰でも人間たちの前で私を否定するならば、私もまた天にいる私の父の前で彼を否定するだろう。

私が地上に平和をもたらすために来たと思ってはならない。私は平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのだ。私は来たのです、人をその父に対立させ、娘をその母に対立させ、嫁をその姑に対立させるために。そして人の敵は彼の家族である。

父または母を私よりも愛する者は、私にふさわしくない。そして息子または娘を私よりも愛する者は、私にふさわしくない。そして、自分の十字架を取らず、私の後に従わない者は、私にふさわしくない。自分の魂を見つけた者はそれを失うだろう、そして私のために自分の魂を失った者はそれを見つけるだろう。

あなたがたを受け入れる者は私を受け入れ、そして私を受け入れる者は私を送った方を受け入れるのです。預言者を預言者の名において受け入れる者は、預言者の報酬を受けるだろう、そして正しい者を正しい者の名において受け入れる者は、正しい者の報酬を受けるだろう。そして、もしこれらの小さい者の一人に、弟子の名において冷たい水一杯だけでも与えるなら、まことにあなたがたに言う、彼は決してその報いを失うことはない。

11

そしてイエスが彼の十二人の弟子たちに指示することを終えたとき、彼はそこから去って、彼らの町々で教え、宣べ伝えるために行った。

しかし、ヨハネは牢獄でキリストの業を聞いて、彼の弟子のうち二人を送った。彼に言った、あなたが来るべき方なのか、それとも別の人を待つべきなのか。そしてイエスは答えて彼らに言った、行って、あなたがたが聞き、また見ることをヨハネに報告しなさい。盲人は再び見え、足の不自由な者は歩き、らい病患者は清められ、耳の聞こえない者は聞き、死者は起こされ、貧しい者は良い知らせを告げられる。そして、私に躓かない者は祝福されている。

これらの者たちが進んで行く間に、イエスは群衆たちにヨハネについて言い始めた、何を見るためにあなたがたは荒野へ出て行ったのか？風によって揺らされている葦か？しかし、あなたがたは何を見に出て行ったのか？柔らかい衣を着た人か？見よ、柔らかい衣を着ている者たちは王の宮殿にいる。しかし、あなたがたは何を見るために出て行ったのか。預言者か。そうだ、わたしはあなたがたに言う、預言者よりも優れた者である。この者について書かれているのは、見よ、私はあなたの前に私の使者を送る。彼はあなたの道をあなたの前に備えるであろうということである。

まことに、私はあなたがたに言う、女から生まれた者たちの中で、バプテスマのヨハネより大きい者は起こされていない、しかし天の王国における最も小さい者は彼より大きい。しかし、バプテスマのヨハネの日々から今まで、天の王国は力で取られており、暴力的な者たちがそれを奪っている。というのは、全ての預言者たちと律法は、ヨハネまで預言したからである。そして、もしあなたがたが受け入れることを望むなら、彼は来ようとしているエリヤである。耳を持つ者は聞くべし。

しかし、この世代を何に比べようか？それは市場に座っている子供たちに似ている。彼らは自分たちの仲間に呼びかけて言う、私たちはあなたたちに笛を吹いたが、あなたたちは踊らなか

った。私たちはあなたたちに哀歌を歌ったが、あなたたちは嘆かなかった。ヨハネは食べることも飲むこともせずに来たので、彼らは彼は悪霊に取り憑かれていると言う。人の子が来て、食べたり飲んだりしていると、彼らは言う、見よ、大食いであどう酒飲みの人、取税人たちや罪人たちの友だ。そして知恵はその子供たちによって義とされた。

その時、彼は非難し始めた、彼の最も多くの奇跡が行われた都市たちを、彼らが悔い改めなかったので。災いだ、汝に、コラジンよ。災いだ、汝に、ベツサイダよ。なぜなら、もしツロとシドンにおいて、汝らにおいて起こった力が起こっていたならば、彼らは昔に粗布と灰の中に座って悔い改めていただろう。しかし、わたしはあなたがたに言う、裁きの日には、ティルスとシドンの方が、あなたがたよりも耐えやすいであろう。そしてあなた、カペルナウムよ、天にまで高められた者よ、ハデスにまで引き下ろされるであろう。なぜなら、もしソドムであなたに起こった力が起こっていたならば、今日まで残っていたであろうから。しかし、わたしはあなたがたに言う、裁きの日には、ソドムの地の方があなたよりも耐えやすいであろう。

その時、イエスは答えて言った。父よ、天と地の主よ、私はあなたに感謝します。なぜなら、あなたはこれらのことを賢い者や知的な者から隠し、それらを幼子たちに明らかにされたからです。はい、父よ、このようにあなたの前で御心が成ったからです。すべては私の父によって私に引き渡された。そして父でなければ誰も息子を知らず、また息子でなければ、そして息子が明らかにしようと望む者でなければ、誰も父を知らない。来なさい、私のもとへ、すべての労働し、重荷を負っている者たちよ。そうすれば私があなたたちに休息を与えよう。私のくびきをあなたがたの上に負い、私から学びなさい。なぜなら私は柔和で心が謙遜だからです。そうすればあなたがたの魂に安息を見つかるでしょう。私のくびきは良く、私の荷は軽いからです。

その時、イエスは安息日に穀物畑を歩いて行った。そして彼の弟子たちは空腹になり、穂を摘んで食べ始めた。パリサイ人たちは見て彼に言った、見よ、あなたの弟子たちは安息日にすることが許されていないことをしている。しかし彼は彼らに言った、あなたがたは読んだことがないのか、ダビデが彼自身と彼と共にいた者たちが空腹だった時に何をしたかを? どのようにして神の家に入り、供えのパンを食べたか。それらは彼が食べることも、彼と共にいる者たちが食べることも許されておらず、ただ祭司たちだけに許されていたのに。あるいは、あなたがたは律法の中で読まなかったのか。安息日に祭司たちが神殿の中で安息日を汚すが、無罪であるということを。私はあなたがたに言う、神殿よりも大きいものがここにある。もしあなたがたが私は憐れみを欲し、犠牲を欲しないとは何であるかを知っていたならば、あなたがたは無実の者たちを非難しなかったであろう。人の子は安息日の主でもあるからです。

そして、そこから去って、彼らの会衆の中へ来た。そして見よ、そこに手が萎えた人がいた。そして彼らは彼に尋ねて言った、安息日に癒すことは許されるか? 彼らが彼を告発するためであった。しかし彼は彼らに言った、あなたがたのうちの誰か、一匹の羊を持っている人がいて、もしそれが安息日に穴に落ちたら、それをつかんで起こさないだろうか? それゆえ、人間は羊よりもどれほど優れているのか。したがって、安息日に善いことを行うことは許されている。その時、彼はその男に言った、あなたの手を伸ばしなさいと。そして彼は伸ばした。するともう一方の手のように健康に回復された。しかしパリサイ人たちは出て行って、彼に対して会議を開き、彼を滅ぼすために相談した。しかしイエスは知って、そこから退いた。そして多くの群衆が彼に従い、そして彼は彼らすべてを癒した。そして彼は、彼を明らかにしないように、彼らを叱責した。それは、預言者イザヤによって

語られたことが成就するためであった。見よ、わたしが選んだわたしの僕、わたしの愛する者、わたしの心が喜ぶ者。わたしは彼の上にわたしの霊を置く。そして彼は諸国民に裁きを告げるであろう。彼は争わず、叫ばず、誰も通りで彼の声を聞くことはないだろう。砕かれた葦を彼は折ることなく、くすぶる亜麻を彼は消すことなく、彼が裁きを勝利へともたらずまで。そして、彼の名において諸国民は希望を抱くだろう。

その時、悪霊に憑かれた盲目で口のきけない人が彼のもとに連れて来られた。そして彼はその人を癒したので、その盲目で口のきけない人は話すことも見ることもできるようになった。そして、すべての群衆は驚いて言った、まさか、この人はダビデの子、キリストではないだろうか。しかしパリサイ人たちは聞いて言った、この者は悪霊たちを追い出すのは、悪霊たちの支配者ベルゼブルによる以外にない。イエスは彼らの思いを知って、彼らに言った、自らに敵対して分裂したすべての王国は荒廃し、自らに敵対して分裂したすべての町または家は立ち行かないであろう。そしてもしサタンがサタンを追い出すなら、彼は自分自身に対して分裂したことになる。それゆえ、どのようにして彼の王国は立つだろうか?そしてもし私がベルゼブルによって悪霊を追い出すのであれば、あなたがたの息子たちは何によって追い出すのか?それゆえ、彼ら自身があなたがたの裁き人となるであろう。もしも私が神の霊によって悪霊たちを追い出すならば、それゆえ神の王国があなたがたに到来したのである。あるいは、まず強い者を縛らなければ、どうして誰かが強い者の家に入って、その器を奪うことができようか。そうすれば、その家を略奪するだろう。私と共にいない者は私に敵対しており、私と共に集めない者は散らしている。

このゆえに、私はあなたがたに言う。すべての罪と冒涇は人々に赦されるであろう。しかし、霊に対する冒涇は人々に赦されないであろう。そして、もし誰かが人の子に逆らう言葉を言う

ならば、それは彼に赦されるであろう。しかし、もし誰かが聖霊に逆らって言うならば、それは彼に赦されないであろう、今の世においても、来たるべき世においても。

或いは木を良くし、その実を良くせよ、或いは木を腐らせ、その実を腐らせよ、なぜなら実からその木は知られるからである。毒蛇の子らよ、邪悪であるあなたがたが、どうして良いことを話すことができようか?なぜなら、心のあふれ出るものから、口は話すのだから。良い人はその良い宝庫から良いものを取り出し、悪い人はその悪い宝庫から悪いものを取り出す。しかし私はあなたがたに言う、人々が話すすべての怠惰な言葉について、彼らは裁きの日にそれについて言葉を返すだろう。なぜなら、あなたの言葉から、あなたは義とされ、そして、あなたの言葉から、あなたは罪に定められるからである。

その時、律法学者たちとパリサイ人たちのうちのある者たちが答えて言った、先生、私たちはあなたからしるしを見たいのです。しかし彼は答えて彼らに言った、邪悪で姦淫の世代がしるしを求めるが、この世代には預言者ヨナのしるし以外、しるしは与えられないだろう。ちょうどヨナという預言者が大きな魚の腹の中に三日三晩いたように、そのように人の子も地の心の中に三日三晩いるであろう。ニネベの人々は、この世代と共に裁きの中で立ち上がり、この世代を断罪するだろう。なぜなら彼らはヨナの宣言によって悔い改めたからである。そして見よ、ヨナより偉大な者がここにいる。南の女王はこの世代と共に裁きにおいて起き上がり、そしてそれを断罪するだろう、なぜなら彼女は地の果てからソロモンの知恵を聞くために来たからである、そして見よ、ソロモンより大きい者がここにいる。

しかし、汚れた霊が人から出て行くと、水のない場所を通して休息を求めるが、見つからない。その時言う、私の家へ戻ろう、そこから出て行ったところへと。そして来て見つける、空い

ていて、掃き清められ、飾られているのを。その時、行って、自分自身よりも悪い七つの他の霊たちを自分と共に連れて行き、入った後そこに住む。そして、あの人の最後の状態は最初の状態よりも悪くなる。このように、この悪い世代にも成るであろう。

まだ彼が群衆たちに話している間に、見よ、彼の母と兄弟たちが外に立っていて、彼に話すことを求めている。そして誰かが彼に言った、見よ、あなたの母とあなたの兄弟たちが外に立って、あなたに会おうとしています。しかし彼は、彼に言っている者に答えて言った、誰が私の母で、誰が私の兄弟たちなのか。そして彼は弟子たちに向かって手を伸ばして言った、見よ、私の母と私の兄弟たちである 天にいる私の父の意志を行う者は誰でも、私の兄弟、姉妹、そして母である。

13

しかしその日、イエスは家を出て、海のそばに座っていた。そして多くの群衆が彼のもとに集まったので、彼は船に乗って座り、そして群衆は皆、岸边に立っていた。そして彼は多くのことをたとえ話で彼らに話して言った、見よ、種をまく者が種をまくために出て行った。そして彼が種を蒔いている間に、あるものは道の傍らに落ちた、そして鳥たちが来てそれらを食い尽くした。しかし他のものは岩地に落ちた。そこには土が多くなかった。そして土の深さがないために、直ちに芽を出した。太陽が昇ると焼かれ、そして根を持たないために枯れた。しかし他のものは茨の上に落ち、茨が生い茂ってそれらを窒息させた。しかし他のものは良い土地の上に落ち、実を結んだ。あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍であった。耳を持つ者は聞くべし。

そして弟子たちが近づいて彼に言った、なぜあなたは譬えて彼らに話すのですか? 彼は答えて彼らに言った、あなたがたには天の王国の秘義を知ることが与えられているが、あの者たちには

与えられていない。持つ者には与えられ、豊かになる。しかし、持たない者は、持っているものまでも取り去られる。このゆえに、私は彼らにたとえ話で話す。それは、見ていても見ず、聞いていても聞かず、また理解しないためである。恐らく彼らが立ち返るべきである。そして次にイザヤの預言が彼らに満たされるであろう。その預言は言っている、聞くことで聞くであろうが、決して理解しないであろう。そして見ながら見るであろうが、決して見ないであろう。この民の心は鈍くされた。彼らは耳で重く聞き、目を閉じた。それは、目で見、耳で聞き、心で理解し、立ち返ることがないためである。そうすれば私は彼らを癒すであろう。

しかし、あなたがたの目は祝福されている。なぜなら見るからである。そしてあなたがたの耳も祝福されている。なぜなら聞くからである。まことに、私はあなたがたに言う。多くの預言者たちと正しい者たちは、あなたがたが見ているものを見ることを望んだが、見なかった。そして、あなたがたが聞いているものを聞くことを望んだが、聞かなかった。

したがって、あなたたちは種を蒔いた人のたとえ話を聞きなさい。王国の言葉を聞いても理解しないすべての者について、邪悪な者が来て、その心に蒔かれたものを取り去る。これが道のそばに蒔かれたものである。岩の多い場所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐに喜びをもってそれを受け入れる者のことである。しかし、彼は自分自身の中に根を持たず、一時的である。言葉のゆえに苦難または迫害が生じると、すぐにつまずく。しかし茨の中に蒔かれた者、この者は言葉を聞く者である。そしてこの時代の思い煩いと富の欺きが言葉を窒息させ、実を結ばなくなる。しかし、良い地に蒔かれた者、これは言葉を聞いて理解する者である。この者は実を結び、ある者は百倍、ある者は六十倍、ある者は三十倍を生み出す。

別のたとえ話を彼は彼らに語って言った、天の王国は、自分の畑に良い種を蒔いた人に似ている。人々が眠っている間に、彼の敵が来て、穀物の間に毒麦を蒔いて、去った。しかし草が芽生えて実を結んだ時、その時雑草も現れた。家の主人の奴隷たちが近づいてきて彼に言った、主よ、あなたはあなたの畑に良い種を蒔いたのではありませんか。それなのに、どこから雑草が生えているのですか。しかし彼は彼らに言った、敵である人がこれをしたのだ。しかし奴隷たちは彼に言った、それでは、私たちが行ってそれらを集めることをお望みですか？彼は言った、いいえ、雑草を集める時に、それらと一緒に穀物まで根こぎにしようといけないから。両方を収穫まで一緒に成長させておきなさい。そして収穫の時に、私は刈り取る者たちに言うだろう、まず雑草を集めて、それらを束に縛り、焼き尽くすために。しかし穀物は私の倉へ集めなさいと。

別のたとえ話を彼は彼らに示して言った、天の王国は、からしの子粒に似ている。それを取った人が自分の畑に蒔いた。それは確かにすべての種の中で最も小さいものであるが、成長すると、すべての野菜の中で最も大きいものとなり、木になる。その結果、天の鳥たちが来て、その枝々の中に巣を作る。

彼は別のたとえ話を彼らに語った。天の王国はパン種に似ている。ある女がそれを取って小麦粉三升の中に隠すと、全体が発酵した。

これらすべてのことを、イエスは譬えで群衆に語られた。そして譬えなしには、彼らに何も語られなかった。預言者によって語られたことが成就されるために、私はたとえ話で私の口を開き、世界の基礎から隠されていたことを語るだろうと言われた。

その時、群衆を残して、彼は自分の家に入った。そして彼の弟子たちが彼に近づいて言った、畑の毒麦のたとえ話を私たちに

説明してください。そして彼は答えて彼らに言った、良い種を蒔く者は人の子である 畑は世界である。良い種、これらは王国の息子たちである。毒麦は悪の息子たちである。そして、それらを蒔いた敵は悪魔である。そして収穫は時代の終わりである。そして刈り取る者たちは天使たちである。それゆえに、ちょうど雑草が集められて火で燃やされるように、この時代の終わりにおいてもそのようになるであろう。人の子は自分の使者たちを遣わし、彼らは彼の王国からすべてのつまずきの石と不法を行う者たちを集めるだろう。そして彼らは、彼らを火の炉の中へ投げ入れるだろう。そこには嘆きと歯ぎしりがあるだろう。その時、正しい者たちは彼らの父の王国において太陽のように輝き出るだろう。聞くための耳を持つ者は聞くがよい。

再び、天の王国は畑の中に隠された宝に似ている。それを見つけた人は隠し、喜びのあまり行って、持っているすべてを売り、あの畑を買う。

再び、天の王国は、良い真珠を探している商人の人に似ています。一つの貴重な真珠を見つけた者は、去って、持っていた全てのものを売り、そしてそれを買った。

再び、天の王国は、海に投げ入れられ、あらゆる種類のものを集めた地引き網に似ている。それが満たされた時、それを海岸に引き上げて、座って良いものを容器に集め、しかし腐ったものは外に投げ捨てた。このように時代の終わりにおいてそうなるでしょう。天使たちが出て行き、正しい者たちの中から邪悪な者たちを分離するでしょう。そして彼らは、彼らを火の炉の中へ投げ入れるだろう。そこには嘆きと歯ぎしりがあるだろう。イエスは彼らに言う、あなたがたはこれらすべてを理解したか?彼らは彼に言う、はい、主よ。そして彼は彼らに言った、このゆえに、天の王国へと訓練されたすべての書記は、自分の宝庫から新しいものと古いものを取り出す家の主人に似ている。

そしてイエスがこれらのたとえ話を終えたとき、そこから去った。そして彼は自分の故郷に来て、彼らの会衆の中で彼らを教えていたので、彼らは驚かされて言った、この人にこの知恵とこれらの力はどこから来たのか。この者は大工の息子ではないか。彼の母はマリヤムと言われ、彼の兄弟たちはヤコブ、ヨセ、シモン、そしてユダではないか。そして彼の姉妹たちは、すべて私たちのところにいるではないか。それなのに、この人はこれらすべてをどこから得たのか。そして彼らは彼に躓いた。しかしイエスは彼らに言った、預言者は、自分の故郷と自分の家においてでなければ、名誉を失われることはない。そして彼は、彼らの不信のゆえに、そこで多くの力あるわざを行わなかった。

14

あの時、領主ヘロデはイエスの噂を聞いた。そして彼は家来たちに言った、この者はあの洗礼者ヨハネである。彼は死者の中から起こされた。それゆえ、これらの力が彼の内に働いているのだ。なぜなら、ヘロデは、ヨハネを捕らえて彼を縛り、彼の兄弟ピリポの妻ヘロディアのために牢獄に入れたからである。というのは、ヨハネが彼にあなたが彼女を持つことは許されていないと言っていたからである。そして彼を殺すことを望んでいたが、群衆を恐れた。なぜなら彼らは彼を預言者と見なしていたからである。ヘロデの誕生日が催されていた時、ヘロディアスの娘が真ん中で踊り、そしてヘロデを喜ばせた。そこから彼は誓いと共に、彼女が求めるものは何でも彼女に与えることを約束した。そして彼女は、母に促されて、ここで大皿の上にバプテスマのヨハネの頭を私に与えてくださいと言う。そして王は悲しんだが、誓いのため、そして共に食卓についていた者たちのために、与えるよう命じた。そして、人を送って、牢獄でヨハネの首を切った。そして彼の頭は大皿の上に運ばれ、その少女に与えられた。そして彼女はそれを母に運んだ。そして彼の弟子たちが近づいて、その体を取り上げて埋葬し、そして来てイエスに報告した。

しかしイエスはこれを聞いて、そこから船で人里離れた場所へ退かれた。そして群衆たちはこれを聞いて、町々から徒歩で彼に従った。そしてイエスは出て行き、多くの群衆を見て、彼らに憐れみを抱き、彼らの病人たちを癒した。夕方になったが、彼の弟子たちが彼に近づいて言った、この場所は荒れた地であり、時間はすでに過ぎました。群衆を解散させてください、彼らが村々へ行って自分たちのために食べ物を買えるように。しかしイエスは彼らに言った、彼らが去る必要はない。あなたたちが彼らに食べ物を与えなさい。しかし彼らは彼に言う、ここには五つのパンと二つの魚しか持っていません。しかし、彼は言った、それらをここに私のところへ持って来なさい。そして群衆たちに草の上に横になるよう命じた後、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて祝福し、そしてパンを裂いて弟子たちに与え、弟子たちは群衆たちに配った。そして全ての者が食べて満たされた。そして残った断片を十二の満ちた籠に取り上げた。しかし、食べていた者たちは、女たちと子供たちを別として、およそ五千人の男たちであった。

そしてイエスは直ちに弟子たちに、自分が群衆を解散させるまで、船に乗り込んで先に向こう岸へ行くよう強いた。そして群衆を解散させて、祈るために一人で山に登った。夕方になると、彼は一人でそこにいた。その船はすでに海の真ん中にあり、波によって苦しめられていた。なぜなら風が逆だったからである。しかし夜の第四の見張りの時に、イエスが海の上を歩いて彼らの方へ行った。そして弟子たちは、海の上を歩いている彼を見て動揺し、幻影だと言って、恐怖のあまり叫んだ。しかし、イエスは直ちに彼らに話しかけて言われた、勇気を出しなさい。わたしである。恐れてはならない。答えて、ペテロは彼に言った、主よ、もしあなたであるなら、私に水の上を歩いてあなたのもとへ来るよう命じてください。彼は来なさいと言った。そしてペテロは船から降りて、水の上を歩いてイエスのもとへ来た。しかし強い風を見て恐れ、沈み始めて叫んで言った、主よ、私を救ってください

い。しかしイエスはすぐに手を伸ばして彼をつかみ、そして彼に言った、信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。そして彼らが船に乗り込むと、風は止んだ。そして船の中に来た者たちは、彼を崇拜して言った、真にあなたは神の子です。

そして横切った後、彼らはゲネサレトの地に来た。そしてその場所の男たちは彼を認識して、その周辺地域全体に使いを送り、そして彼に病んでいる者たち全てを連れてきた。そして彼らは、彼の衣の房にただ触れることさえできるようにと、彼に懇願していた。そして触れた人々は皆、救われた。

15

その時、エルサレムから来た律法学者たちとパリサイ人たちがイエスに近づいて言った、なぜあなたの弟子たちは長老たちの伝統を破るのですか?彼らはパンを食べる時に手を洗わないからです。しかし、彼は答えて彼らに言った、なぜあなたがたもまた、あなたがたの伝統によって神の戒めを違反するのか。神は命じて言われた、父と母を敬え、そして父または母を悪く言う者は死をもって死ぬ。あなたたちはしかし言う、誰でも父または母に私から得られるはずのものは供え物ですと言えば、その人は自分の父または母を敬わなくてもよいと。そして、あなたがたは自分たちの伝統のために、神の戒めを無効にしたのです。偽善者たちよ、イザヤはあなたがたについてよく預言した、言って、この民は口と唇では私に近づき私を敬うが、その心は私から遠く離れている。しかし、人間の戒めを教えとして教えながら、彼らは無駄に私を崇拜する。

そして群衆を召集して彼らに言った、聞いて理解しなさい。口に入るものは人を汚さない、しかし口から出るもの、これが人を汚す。その時、彼の弟子たちが近づいて彼に言った、パリサイ人たちがその言葉を聞いてつまづいたことを知っていますか? し

かし彼は答えて言った、私の天の父が植えなかったすべての植物は根こそぎにされるだろう。彼らを放っておきなさい。彼らは盲人の案内人である盲人です。もし盲人が盲人を導けば、両者とも穴に落ちるでしょう。ペテロは答えて彼に言った、このたとえ話を私たちに説明してください。しかしイエスは言った、今もお、あなたがたは理解していないのか？ まだあなたたちは理解しないのか。口に入るものはすべて腹に進み、そして便所に排出されるということを。しかし、口から出て来るものは心から出て行き、それらが人を汚すのである。なぜなら、心から邪惡な思考、殺人、姦淫、淫行、盗み、偽証、冒瀆が出て来るからである。これらは人を汚すものである。しかし、洗わない手で食べることは人を汚さない。

そしてイエスはそこから出て行き、ティルスとシドンの地方へ退いた。そして見よ、カナンの女がその地方から出て来て、彼に叫んで言った、私を憐れんでください、主よ、ダビデの子よ、私の娘がひどく悪霊に憑かれています。しかし彼は彼女に一言も答えなかった。そして彼の弟子たちが近づいて来て、彼に尋ねて言った、彼女を去らせてください、なぜなら彼女は私たちの後ろで叫んでいるからです。しかし彼は答えて言った、私はイスラエルの家の失われた羊のところへ以外には送られていない。しかし、彼女は来て彼に礼拝し、主よ、私を助けてくださいと言った。しかし答えて言った、子供たちのパンを取って小さい犬たちに投げることは良くない。彼女は言った、はい、主よ、小犬たちも自分の主人たちの食卓から落ちるパン屑を食べますから。その時、イエスは答えて彼女に言った。ああ、女よ、あなたの信仰は大きい。あなたが望むようになれ。そして彼女の娘はその時から癒された。

そして、イエスはそこから去って、ガリラヤの海のそばに来た。そして、山に登って、そこに座っていた。そして多くの群衆が、足の不自由な人々、盲人、耳の聞こえない人々、不具の

人々、そして他の多くの人々を連れて彼のもとに近づき、彼らをイエスの足もとに置いた。そしてイエスは彼らを癒した。そのため群衆たちは驚嘆した。耳の聞こえない者たちが聞き、口のきけない者たちが話し、不具の者たちが健康になり、足の不自由な者たちが歩き、盲人たちが見ているのを見て。そして彼らはイスラエルの神に栄光を帰した。

しかしイエスは彼の弟子たちを召して言った、私は群衆を憐れむ、なぜなら彼らはすでに三日間私と共に留まっており、食べる物を持っていないからだ。そして私は彼らを空腹のまま解放したくない、道で彼らが疲れ果てるといけなから。そして彼の弟子たちは彼に言った、荒野において、どこから私たちにそれほど多くのパンがあつて、これほど多くの群衆を満たすことができるのでしょうか。そしてイエスは彼らに言った、あなたたちはパンをいくつ持っていますか。彼らは言った、七つです、そして少しの小さい魚です。そして彼は群衆たちに、地の上に横たわるように命じた。そして七つのパンと魚を取り、感謝してからそれを裂き、弟子たちに与えた。そして弟子たちは群衆に与えた。そして、すべての人々が食べて満たされた。そして、残った断片で満ちた七つのかごを取り上げた。しかし食べていた者たちは、女たちと子供たちを除いて、四千人の男たちであつた。そして群衆を解散させて、船に乗り込み、マグダラの地方に来た。

16

そしてパリサイ人とサドカイ人が近づいて来て、彼を試みながら、天からのしるしを彼らに示すよう尋ねた。しかし彼は答えて彼らに言った、夕方になると、あなたがたは晴天だと言う。天が赤いからである。そして朝には、今日は冬になる、天が赤くどんよりしているからと言う。偽善者たちよ、天の様子は見分けることを知っているが、時のしるしは知ることができないのか。邪悪で姦淫の世代が印を求めるが、この世代には印は与えられな

い、ヨナの預言者の印以外には。そして彼らを残して去って行った。

そして彼の弟子たちが向こう側に来た時、パンを取ることを忘れた。そしてイエスは彼らに言った、パリサイ人たちとサドカイ人たちのパン種から注意して気をつけなさい。しかし彼らは、私たちはパンを取らなかったと言いながら、互いに論じ合っていた。しかし、イエスはそれを知って彼らに言った、信仰の少ない者たちよ、なぜあなたがたは自分たちの間でパンを持って来なかったことについて論じているのか。まだあなたたちは理解しないのですか。あの五千人のための五つのパンと、あなたたちが幾つのかごを受け取ったかを思い出さないのですか。四千人の七つのパンのことも、幾つの籠を取ったかも覚えていないのか。どうしてあなたがたは理解しないのか。私があなたがたに言ったのはパンについてではなく、パリサイ人たちとサドカイ人たちのパン種に注意を払うようにということだったのを。その時、彼らは理解した。彼が言ったのは、パンのパン種から注意を払うことではなく、パリサイ人たちとサドカイ人たちの教えから注意を払うことであると。

イエスがピリポのカイサリア地方に来たとき、弟子たちに尋ねて言われた、人々は人の子である私を誰だと言っているか。彼らは言った、ある者たちは洗礼者ヨハネ、他の者たちはエリヤ、また他の者たちはエレミヤ、あるいは預言者の一人だと言っています。彼らに言う、しかし、あなたたちは私を誰だと言うのか。答えてシモン・ペトロは言った、あなたは生ける神の子、キリストです。そして答えて、イエスは彼に言った、祝福されているあなたは、シモン・バルヨナよ、なぜなら肉と血があなたに明らかにしたのではなく、天におられる私の父が明らかにしたのだから。そして私もあなたに言う、あなたはペテロである、そして私はこの岩の上に私の集会を建てるだろう、そしてハデスの門はそれに打ち勝たないだろう。そして私はあなたに天の王国の鍵を与

えるだろう、そしてもしあなたが地上で縛るならば、それは天において縛られているだろう、そしてもしあなたが地上で解くならば、それは天において解かれているだろう。その時、彼は自分の弟子たちに、彼がキリストであるイエスだということを誰にも言わないように命じた。

その時から、イエスは彼の弟子たちに、彼がエルサレムへ行き、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目に起こされることが必要であると示し始めた。そしてペテロは彼を脇に連れて行き、彼を叱責し始めて言った。主よ、神の憐れみがありますように。これは決してあなたに起こってはなりません。しかし彼は振り向いてペテロに言った、私の後ろに行け、サタンよ、あなたは私のつまずきの石である、なぜならあなたは神のことを考えず、しかし人間のことを考えるからだ。

その時、イエスは弟子たちに言った、もし誰かが私の後に従って来ることを望むなら、自分自身を否定し、自分の十字架を取り上げ、そして私に従いなさい。というのは、誰でも自分の魂を救おうと欲する者は、それを失うだろう。しかし、誰でも私のために自分の魂を失う者は、それを見つけるだろう。人はもし全世界を得ても、自分の魂を失うならば、何の益があるだろうか?あるいは人は自分の魂と引き換えに何を差し出すことができるだろうか?なぜなら、人の子は、その父の栄光のうちに、その天使たちと共に来ようとしており、その時、おののをその行いに応じて報いるであろう。まことに、私はあなたがたに言う。ここに立っている者たちの中には、人の子が彼の王国において来るのを見るまで、決して死を味わわない者たちがいる。

そして六日の後、イエスはペテロとヤコブと彼の兄弟ヨハネを連れて行き、彼らを高い山へ人里離れて連れて行った。そして彼らの前で変容し、その顔は太陽のように輝き、その衣は光のように白くなった。そして見よ、彼らにモーセとエリヤが現れ、彼と語り合っていた。ペテロが答えてイエスに言った、主よ、私たちがここにいては良いことです。もしあなたが望むなら、ここに三つの幕屋を作りましょう。一つはあなたに、一つはモーセに、そして一つはエリヤに。彼がまだ話している間に、見よ、明るい雲が彼らを覆った。そして見よ、雲から声が言った、これは私の愛する息子である。私は彼を喜ぶ。彼の言うことを聞け。そして弟子たちはこれを聞いて、顔を地に伏せ、非常に恐れた。そしてイエスが近づいて彼らに触れ、言った、起きなさい、恐れてはいけない。彼らは目を上げたが、イエスただ一人のほかは誰も見なかった。そして彼らが山から下って行くとき、イエスは彼らに命じて言った、人の子が死者の中から復活するまで、誰にもその幻を話してはならない。そして彼の弟子たちは彼に尋ねて言った、それでは、なぜ律法学者たちはエリヤが最初に来ることが必要だと言うのですか。しかしイエスは答えて彼らに言った、エリヤは確かに最初に来て、すべてを回復するだろう。しかし私はあなたがたに言う、エリヤはすでに来たが、彼らは彼を認識しなかった。しかし彼らは彼に対して望んだだけのことを行った。このように、人の子もまた彼らによって苦しむことになる。その時、弟子たちは、バプテスマのヨハネについて彼らに言ったのだと理解した。

そして彼らが群衆のところに来たとき、ある人が彼に近づき、彼の前にひざまずいて言った 主よ、私の息子を憐れんでください。月に打たれており、ひどく苦しんでいます。しばしば火の中に倒れ、しばしば水の中に倒れます。そして私は彼をあなたの弟子たちのところに連れてきましたが、彼らは彼を癒すことができませんでした。イエスは答えて言った、ああ、不信仰で曲がった世代よ。いつまで私はあなたがたと共にいるのか。いつまであ

なたがたを耐え忍ばなければならないのか。彼をここに、私のもとに連れて来なさい。そしてイエスが彼を叱責すると、悪霊は彼から出て行き、その子供はその時から癒された。その時、弟子たちが個人的にイエスのもとに近づいて来て言った、なぜ私たちはそれを追い出すことができなかったのですか? しかしイエスは彼らに言った、あなたがたの不信仰のためである。まことに私はあなたがたに言う、もしあなたがたがからし種一粒ほどの信仰を持つならば、この山にここからそこへ移れと言え、それは移るだろう。そして何もあなたがたには不可能ではないだろう。しかし、この種類は祈りと断食によらなければ出て行かない。

彼らがガリラヤに戻っていた時、イエスは彼らに言った、人の子は人々の手に引き渡されようとしている。そして彼らは彼を殺すだろう、そして三日目に彼は復活するだろう。そして彼らは非常に悲しんだ。

彼らがカペルナウムに来たとき、ディドラクマを徴収する者たちがペテロに近づいて言った、あなたがたの教師はディドラクマを納めないのですか。彼ははいと言う。そして彼が家に入った時、イエスが彼に先んじて言った、シモン、あなたは思うか? 地の王たちは誰から税や貢ぎを取るのか? 彼らの息子たちからか、それとも他国の者たちからか? ペテロは彼に言う、他者たちからです。イエスは彼に言った、それゆえ、息子たちは自由なのです。しかし彼らを怒らせないために、海へ行って釣り針を投げ、最初に上がった魚を取り上げ、その口を開けばスタテル貨幣を見つけるだろう。それを取って、私とあなたの代わりに彼らに与えなさい。

18

その時、弟子たちがイエスのもとに来て言った、それでは、天の王国において誰がより大きいのですか。そしてイエスは子供を

呼び寄せた後、それを彼らの真ん中に立たせて言った。本当に私はあなたたちに言う、もしあなたたちが転じて、その子供たちのようにならなければ、決してあなたたちは天の王国に入ることはない。誰でも、この子供のように自分自身を謙遜する者、この人こそが天の王国において最も偉大な者である。そして、誰でも私の名において、このような子供一人を受け入れるなら、私を受け入れるのである。しかし、もし誰かが、私を信じているこれらの小さい者たちの一人をつまずかせるならば、彼にとっては、ロバの挽き臼が彼の首に掛けられて、海の深みに沈められる方が有益である。つまずきによって世界に災いあれ。つまずきが来ることは必然であるからだ。しかし、つまずきをもたらすその人に災いあれ。もしあなたの手、またはあなたの足が、あなたをつまずかせるならば、それらを切り落として、あなたから投げ捨てなさい。二つの手、または二つの足を持ったまま永遠の火に投げ込まれるよりも、足が不自由な者、または手が不自由な者として命に入る方が、あなたにとって良いのです。もしあなたの目があなたをつまずかせるなら、それを引き抜いてあなたから投げ捨てなさい。二つの目を持ったまま火のゲヘナに投げ込まれるよりも、片目で生命に入る方があなたにとって良いのです。見よ、これらの小さい者たちの一人を軽蔑してはならない。なぜなら、あなたがたに言うが、彼らの天使たちは天において、常に天におられる私の父の顔を見ているからである。なぜなら人の息子は失われたものを救うために来たからである。

あなたがたには何と思われるか。もしある人に百匹の羊がいて、そのうちの一匹が迷ったなら、九十九匹を山に残して、行って迷っているものを探さないだろうか。そしてもしそれを見つけることになれば、まことにあなたたちに言うが、迷わなかった九十九匹よりも、それについて喜ぶのである。このように、天におられるあなたがたの父の御前では、これらの小さい者の一人が減ぶことは御心ではない。

もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って、あなたと彼だけの間で彼を戒めなさい。もし彼があなたの言うことを聞くなら、あなたはあなたの兄弟を得たのである。もし聞かないなら、あなたと共にまだ一人または二人を連れて行け、二人または三人の証人の口によってすべての言葉が立てられるために。もし彼らの言うことを無視するなら、集会に言いなさい。もし集会の言うことも無視するなら、その人をあなたにとって異邦人や取税人のようにしなさい。まことに、私はあなたがたに言う。あなたがたが地上で縛るものはすべて、天においても縛られ、あなたがたが地上で解くものはすべて、天においても解かれるであろう。再び、まことに、私はあなたがたに言う。もしあなたがたのうちの二人が地上で、彼らが求めるすべての事柄について同意するならば、それは天におられる私の父から彼らになされるであろう。なぜなら、二人または三人が私の名において集められているところ、そこに私は彼らの真ん中にいるからである。

その時、ペトロが近づいて言った、主よ、私の兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回まで彼を赦すべきでしょうか。七回までですか。イエスは彼に言う、私はあなたに七回までとは言わない。七十回七回までだ。

このゆえに、天の王国は、自分の僕たちと決算をしようと望んだ一人の王に譬えられた。彼が決済を始めたとき、一万タラントの負債者が一人、彼のもとに連れて来られた。しかし彼が返すことができなかったので、彼の主は彼と彼の妻と子供たちと彼が持っていたすべてのものを売って返済するように命じた。そこで、その奴隷はひれ伏して彼を拝み、主よ、私をお待ちください。そうすれば、すべてをお返しいたしますと言った。しかし、その奴隷の主人は憐れみを持ち、彼を解放して、借金を免除した。しかし、その奴隷は出て行って、彼の仲間奴隷の一人を見つけた。その者は彼に百デナリを負っていた。そして彼を捕まえて絞めながら言った、もし何か負っているなら私に返せ。そこで、

彼の仲間の奴隷は彼の足元にひれ伏して、彼に懇願して言った、私を待ってください。そうすればあなたに返済します。しかし彼は望まなかった。そして去って行って、彼が負債を返すまで、彼を牢獄に投げ込んだ。

しかし、彼の仲間の奴隷たちは起こったことを見て、非常に悲しみ、そして来て、彼らの主にすべての起こったことを詳しく説明した。その時、彼の主は彼を呼び寄せて、彼に言う、邪悪な奴隷よ、あの負債の全てを私はあなたに許した、なぜならあなたは私に懇願したからだ。あなたも、私があなたを憐れんだように、あなたの仲間の奴隷を憐れむべきではなかったのか。そして彼の主は怒って、彼に負わされているすべてのものを返すまで、彼を拷問者たちに引き渡した。このように、私の天の父も、もしあなたがたがおの自分の兄弟をその過ちについて心から赦さないなら、あなたがたに同じようになさるであろう。

19

そして、イエスがこれらの言葉を終えた時、ガリラヤから去り、ヨルダンの向こう側のユダヤの境界へ来た。そして多くの群衆が彼に従い、そして彼はそこで彼らを癒した。そして、パリサイ人たちが彼に近づき、彼を試みて、彼に言った、人が自分の妻をすべての理由によって離縁することは許されているか。しかし彼は答えて彼らに言った、あなたがたは読んだことがないのか。初めに造られた方が、彼らを男と女に造り、そして言われたことを。このゆえに、人は自分の父と母を離れ、自分の妻と結ばれ、二人は一体となるであろう。それで、もはや二つではなく、一つの肉である。それゆえ、神が結び合わせたものを、人は引き離してはならない。彼らは彼に言う、それでは、なぜモーセは離縁状を与えて彼女を離縁することを命じたのですか。彼は彼らに言う、モーセはあなたがたの心の頑なさのゆえに、あなたがたの妻を離縁することを許したが、初めからそうではなかった。私はあ

なたがたに言う、誰であろうと姦淫を理由とせず自分の妻を離婚し、他の女と結婚する者は姦淫を犯すのであり、そして離婚された女と結婚した者も姦淫を犯すのである。彼の弟子たちは彼に言う、もし人と妻の関係がこのようであるなら、結婚しない方がよい。しかし彼は彼らに言った、すべての人がこの言葉を受け入れるわけではない、ただそれが与えられた人々だけが。なぜなら、母の胎からそのように生まれた宦官たちがおり、人々によって宦官にされた宦官たちがおり、また天の王国のために自ら宦官となった宦官たちがいるからである。これを受け入れることができる者は、受け入れよ。

その時、子供たちが彼のもとに連れて来られた。彼が彼らの上に手を置き、祈るためであった。しかし弟子たちは彼らを叱った。しかし、イエスは言った、子供たちを来させなさい、そして彼らが私のところに来ることを妨げてはならない。なぜなら、天の王国はそのような者たちのものであるから。そして彼らに手を置いて、そこから去って行った。

そして見よ、一人が近づいて来て彼に言った、良い教師よ、私が永遠の生命を持つために、何か良いことを私は為すべきでしょうか。しかし、彼は彼に言った、何故、私を良いと言うのか。神である唯一の方以外、誰も良い者はいない。しかし、もしあなたが命に入ることを望むなら、戒めを守りなさい。彼に言う、どのようなものですか?するとイエスは言った、殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではならない、偽証してはならない、父と母を敬い、そしてあなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。若者は彼に言った、これらすべてを私は若い頃から守ってきました。まだ何が足りないのでしょうか。イエスは彼に言った、もしあなたが完全でありたいと欲するなら、行って、あなたの所有物を売り、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つであろう。そして来て、私に従いなさい。しかし、その若い男はその言葉を聞いて、悲しみながら去って行っ

た。なぜなら、多くの財産を持っていたからである。そしてイエスは弟子たちに言った、まことにあなたがたに言う、金持ちが天の王国に入ることは困難である。再び、しかし私はあなたがたに言う。ラクダが針の穴を通ることの方が、金持ちが神の王国に入るよりも容易である。しかし、これを聞いて彼の弟子たちは非常に驚いて言った、それでは誰が救われることができるのか。しかし、イエスは彼らを見つめて言った、人間にとってこれは不可能であるが、神にとってはすべてが可能である。その時、ペテロが答えて彼に言った、見よ、私たちは全てを捨てて、あなたに従いました。それでは私たちには何があるのでしょうか? しかしイエスは彼らに言った、まことに、あなたがたに言う。あなたがた、私に従った者たちは、再生において、人の子が彼の栄光の王座に座る時、あなたがたもまた十二の王座に座り、イスラエルの十二部族を裁くであろう。そして、私の名のために、家々、または兄弟たち、または姉妹たち、または父、または母、または妻、または子供たち、または畑を捨てたすべての者は、百倍を受け取り、そして永遠の命を相続するだろう。しかし、多くの最初の者が最後になり、最後の者が最初になるだろう。

20

天の王国は、朝早く出て行って自分のぶどう園で働く労働者たちを雇おうとした、ある家の主人に似ている。そして労働者たちと一日一デナリウスで同意した後、彼は彼らを自分のぶどう園へ送った。そして第三の時頃に出て行くと、市場で何もせずに立っている他の者たちを見た。そして彼らに言った、あなたたちもぶどう園へ行きなさい。そして正しいものを、あなたたちに与えよう。彼らは去った。再び出て行って、六時頃と九時頃に、同様に行った。第十一の時刻ごろ、出て行って、怠けて立っている他の者たちを見つけた。そして彼らに言う、何故ここに一日中怠けて立っているのか。彼らは彼に言う、誰も私たちを雇いませんでした。彼は彼らに言う、あなたたちもぶどう園へ行きなさい、そ

して正しいものを受け取るでしょう。夕方になると、ぶどう園の主人は自分の管理人に言った、労働者たちを呼んで、彼らに賃金を支払いなさい、最後の者たちから始めて最初の者たちまで。そして第十一時ごろに来た者たちは、それぞれデナリオンを受け取った。最初に来た者たちは、より多く受け取るだろうと考えたが、彼らもまた一デナリオンずつ受け取った。しかし受け取った者たちは家の主人に対して不平を言った これらの最後の者たちは一時間働いただけなのに、あなたは彼らを、一日の重荷と暑さを担った私たちと等しくしたと言っている。しかし彼は答えて彼らの一人に言った、仲間よ、私はあなたに不正をしていない。あなたは一デナリオンで私に同意したではないか。あなたのものを取って行きなさい、しかし私はこの最後の者にもあなたと同じように与えたい、あるいは、私が自分のもので自分の望むことをするのは許されないのか？私が善いからといって、あなたの目は邪悪なのか？ このように、最後の者が最初になり、最初の者が最後になるだろう。なぜなら、多くの者が招かれているが、選ばれる者は少ないからである。

そしてイエスがエルサレムへ上って行く時、その道で十二人の弟子たちを自分のもとに取り、彼らに言った、見よ、私たちはエルサレムへ上る。そして人の子は祭司長たちと律法学者たちに引き渡され、彼らは彼を死に定めるだろう。そして彼らは彼を諸国民に引き渡し、嘲り、鞭打ち、十字架につけるだろう。そして三日目に彼は起き上がるだろう。

その時、ゼバダイの息子たちの母が、自分の息子たちと共に彼に近づき、礼拝しながら彼に何かを求めた。しかし彼は彼女に言った、何を望むのか。彼女は彼に言う、私のこの二人の息子たちが、一人はあなたの右に、一人はあなたの左に、あなたの王国で座るように言ってください。しかしイエスは答えて言った、あなたがたは自分が何を求めているのか知らない。あなたがたは私が飲もうとしている杯を飲むこと、または私が受けるバプテスマ

を受けることができるか。彼らは彼に言う、私たちはできます。そして彼は彼らに言う、確かにあなたがたは私の杯を飲み、私が受ける洗礼をあなたがたも受けるであろう。しかし私の右と私の左に座ることは、私が与えるものではなく、私の父によって準備されている者たちのためのものである。そして、十人は二人の兄弟について聞いて憤慨した。しかしイエスは彼らを召し寄せて言った、あなたがたは知っている、国々の支配者たちは彼らを支配し、偉大な者たちは彼らに権力を行使することを。あなたがたの間ではこのようにあってはならない。しかし、あなたがたの間で偉大になりたいと思う者は、あなたがたの僕となるであろう。そして、もしあなたたちの中で第一でありたいと望む者がいれば、その者はあなたたちの奴隷となるだろう。ちょうど人の子が仕えられるために来たのではなく、仕えるために、そして彼の魂を多くの者の代わりに身代金として与えるために来たように。

そして彼らがエリコから出て行くと、大勢の群衆が彼に従った。そして見よ、二人の盲人が道のそばに座っていて、イエスが通り過ぎていると聞いたので、彼らは叫んで言った、私たちが憐れんでください、主よ、ダビデの子よ。しかし群衆は彼らを叱って黙らせようとした。しかし彼らはより大きく叫んで言った、私たちが憐れんでください、主よ、ダビデの子よ。そしてイエスは立ち止まって彼らを呼び、言った、あなたがたは何を私にしてほしいのか。彼らは彼に言う、主よ、私たちの目が開かれますように。憐れみを持ったイエスは彼らの目に触れた。そしてすぐに彼らの目は見えるようになり、彼らは彼に従った。

21

そして彼らがエルサレムに近づき、オリーブの山に向かってベツファゲに来た時、イエスは二人の弟子たちを送った。彼らに言った、あなたがたの向かいにある村へ行きなさい。そうすればすぐに、ろばがつながれていて、その子ろばと一緒にいるのを見

つけるだろう。それらをほどいて、私のところに連れて来なさい。そしてもし誰かがあなたがたに何か言ったら、主がそれらを必要としていますと言いなさい。そうすればすぐに送り返していただきます。しかし、これらすべては預言者によって語られたことが成就するために起こった。シオンの娘に言いなさい。見よ、あなたの王が来られる。柔和で、ろばと、荷を負う獣の子である子ろばに乗って。

しかし弟子たちは行って、イエスが彼らに命じたとおりにした。彼らは雌ろばと子ろばを連れて来て、それらの上に自分たちの衣服を置き、その上に座った。そして最も大きい群衆は自分たちの衣服を道に敷いた。他の者たちは木々から枝を切り、道に敷いていた。そして群衆は、先に進んでいる者たちと従っている者たちは叫んでいた、言って、ホサナ、ダビデの息子に。祝福されているのは主の名において来ている者。ホサナ、最も高き所において。

そして彼がエルサレムに入ると、町全体が震えてこの人は誰なのかと言った。しかし、群衆たちは言っていた、この方はガリラヤのナザレ出身の預言者イエスである。

そしてイエスは神の神殿に入り、神殿で売り買いしているすべての者たちを追い出し、両替商たちの机を倒し、鳩を売っている者たちの座を倒した。そして彼らに言う、書かれている、私の家は祈りの家と呼ばれるだろう、しかしあなたがたはそれを強盗の洞窟にした。

そして、足の不自由な人々と目の見えない人々が神殿で彼のもとに来て、彼は彼らを癒した。しかし祭司長たちと律法学者たちは、彼が行った驚くべきことたちと、神殿の中で叫んでいる子供たちがダビデの子にホサナと言っているのを見て、憤慨した。そして彼に言った、あなたはこれらの者たちが何を言っているか聞

いているか。しかしイエスは彼らに言った、はい。あなたたちは決して読んだことがないのか、幼子たちと乳飲み子たちの口から賛美を備えたということ。そして彼らを残して、都の外へ出て行き、ベタニアへ向かい、そこに泊まった。

朝、都市へ戻る途中で、彼は空腹になった。そして道の上に一本のいちじくの木を見て、それに近づいたが、その中に葉だけしか見つけられなかった。そして彼はそれに言った、もはやあなたから永遠に果実が生じることはない。そしてそのいちじくの木はすぐに枯れた。弟子たちはそれを見て驚き、どのようにしてすぐにいちじくの木が枯れたのかと言った。しかし、イエスは答えて彼らに言った、まことに、あなたがたに言う。もしあなたがたが信仰を持ち、疑わなければ、このいちじくの木に起こったことをするだけでなく、たとえこの山に持ち上げられて、海に投げ込まれよと言っても、それは起こるであろう。そして、祈りの中で信じながら求めるものはすべて、あなたがたは受け取るでしょう。

そして彼が神殿に来たとき、教えている彼に祭司長たちと民の長老たちが近づいて言った、何の権威でこれらのことをあなたは行うのか、そして誰があなたにこの権威を与えたのか。しかしイエスは答えて彼らに言った、私もあなたたちに一つの言葉を尋ねよう。もしそれを私に言うなら、私もあなたたちに、何の権威でこれらのことをするのか言おう。ヨハネの洗礼はどこから来たのか、天からか、それとも人間からか?彼らは自分たち同士で論じ合って言った、もし私たちが天からと言え、彼は私たちにそれならなぜあなたがたは彼を信じなかったのかと言うだろう、しかしもし私たちが人間からと言え、私たちは群衆を恐れる。なぜなら、すべての人々がヨハネを預言者として認めているからである。そして彼らはイエスに答えて言った、私たちは知りません。彼もまた彼らに言った、私もあなたがたに言わない、何の権威によってこれらのことを私がするのかを。

あなたたちにはどう思われるか?ある人が二人の子供を持っていた。そして最初の者に近づいて言った、子供よ、今日私のぶどう園で働きに行きなさい。しかし彼は答えて望みませんと言った。しかし後で後悔して行った。そして二番目の者に近づいて、同様に言った。しかし彼は答えて私が行きます、主よと言った。しかし彼は行かなかった。二人のうち誰が父の意志を行ったのか?彼らは彼に言う、最初の者です。イエスは彼らに言う、まことに私はあなたたちに言う、取税人たちと娼婦たちがあなたたちより先に神の王国へ入る。ヨハネは正義の道においてあなたがたのところに來たが、あなたがたは彼を信じなかった。しかし徴税人たちと娼婦たちは彼を信じた。あなたがたは見ていながら、後になっても悔い改めて彼を信じることをしなかった。

別のたとえ話を聞きなさい。ある家の主人がいて、彼はぶどう園を植え、その周りに垣根を巡らし、その中に酒ぶねを掘り、塔を建て、それを農夫たちに貸して旅立った。しかし果実の時が近づいたとき、彼は自分の奴隷たちを農夫たちのもとへ送って、自分の果実を受け取らせようとした。そして農夫たちは彼の奴隷たちを捕らえて、ある者を打ち、ある者を殺し、ある者を石打ちにした。再び、最初のものたちより多い他の奴隷たちを送ったが、彼らも同様にした。しかし後で、彼は自分の息子を彼らのもとに送り、彼らは私の息子を尊重するだろうと言った。しかし、農夫たちは息子を見て、彼ら自身の中で言った、この者は相続人である。来い、彼を殺して、彼の相続財産を奪おう。そして彼を捕まえて、ぶどう園の外に追い出し、殺した。したがって、そのぶどう園の主人が來るとき、あの農夫たちに何をするだろうか。彼らは彼に言う、悪い者たちをひどく滅ぼし、そのぶどう園を他の農夫たちに貸すだろう。彼らは定められた時に果実を彼に返すだろう。イエスは彼らに言う、あなたがたは聖書において一度も読んだことがないのか。建てる者たちが拒絶した石、これが隅の頭石となった。これは主から起こったことであり、私たちの目には驚くべきことである。

このゆえに、私はあなたがたに言う。神の王国はあなたがたから取り去られ、その実りを行っている国民に与えられるだろう。そして、この石の上に落ちる者は砕かれ、この石が落ちる者の上には、それは彼を粉碎するだろう。祭司長たちとパリサイ人たちは彼の譬え話を聞いて、彼が彼らについて語っていることを知った。そして彼らは彼を捕らえようとしたが、群衆を恐れた。なぜなら人々は彼を預言者と見なしていたからである。

22

そして、イエスは答えて、再び彼らにたとえ話で言った、天の王国は、自分の息子のために結婚式を催した王に似せられた。そして彼は自分の奴隷たちを送って、婚礼に招かれていた者たちを呼ばせたが、彼らは来ようとしなかった。再び他の奴隷たちを送り、言った。招かれた者たちに言え。見よ、私の最上の食事を準備した。私の雄牛たちと肥えた家畜が屠られ、すべて準備ができた。婚宴に来い。しかし彼らは無視して去った、一人は自分の畑へ、一人は自分の商売へ。しかし残りの者たちは彼の奴隷たちを捕らえて侮辱し、殺した。しかし、その王はそれを聞いて怒り、彼の軍隊を送って、あの殺人者たちを滅ぼし、彼らの都市を焼いた。その時、彼は自分の僕たちに言った、婚宴の準備は整っているが、招かれた者たちはふさわしくなかった。それゆえ、道の辻へ行きなさい、そして、見つけた者を皆、婚礼に招きなさい。そして、その奴隷たちは道々へ出て行き、見つけただけの者すべてを、悪い者も良い者も集めた。そして婚礼は客で満たされた。王が宴席に着いている者たちを見るために入ったが、そこに結婚の衣服を着ていない人を見た。そして彼に言う、友よ、どうして婚礼の衣服を持たずにここに入って来たのか。しかし彼は黙らされた。その時、王は召使いたちに言った。彼の足と手を縛って、彼を持ち上げ、外の暗闇へ投げ出せ。そこには泣き叫びと歯ぎしりがあるだろう。多くの者が招かれているが、選ばれる者は少ない。

その時、パリサイ人たちは行って、言葉で彼を毘にかけするために会議を開いた。そして彼らは、ヘロデ党の者たちとともに自分たちの弟子たちを彼のもとに送り、こう言った。先生、私たちはあなたが真実な方であり、神の道を真理に基づいて教えておられることを知っています。そしてあなたは誰のことも気にかけません。なぜなら、人の顔色を見ないからです。それゆえ私たちに言ってください、あなたはどう思われますか?カエサルに貢ぎ物を納めることは許されていますか、それとも許されていませんか?しかし、イエスは彼らの邪悪さを知って言った、なぜ私を試すのか、偽善者たちよ。私に税の貨幣を見せなさい。すると彼らは彼にデナリウスを持ってきた。そして彼らに言う、この像と碑文は誰のものか?彼らは彼に言う、カエサルのです。その時彼は彼らに言う、それゆえ、カエサルのものはカエサルに返しなさい、そして神のものは神に。そして聞いて彼らは驚き、彼を残して去って行った。

その日に、復活がないと言っているサドカイ人たちが彼のもとに来て、彼に尋ねた。言って、先生、モーセは言いました、もし誰かが子供を持たずに死んだなら、彼の兄弟が彼の妻と結婚し、彼の兄弟のために子孫を起こすであろうと。私たちの間には七人の兄弟がいました。そして最初の者が結婚して死にました。そして子孫を持たず、彼の妻を彼の兄弟に残しました。同様に、二番目も三番目も、七人まで。最後に、その女も死んだ。したがって、復活の時には、その女は七人のうち誰のものになるのか?なぜなら全員が彼女を妻としたからである。イエスは答えて彼らに言った、あなたがたは聖書も神の力も知らないで、迷っている。なぜなら、復活においては結婚することもなく、結婚させられることもなく、天にいる神の天使たちのようであるからである。しかし、死者の復活について、神があなたがたに語られたことを、あなたがたは読まなかったのか。私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。神は死者の神ではなく、生きている者の神である。そして群衆たちは彼の教えを聞いて驚いた。

しかしパリサイ人たちは、彼がサドカイ人たちを黙らせたと聞いて、一緒に集まった。そして彼らのうちの一人、法律家が、彼を試みながら尋ねて言った、先生、律法の中でどの戒めが大きいですか? そしてイエスは彼に言った、あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。これは第一の、そして偉大な戒めである。第二のものはこれに似ている。あなたは、あなたの隣人をあなた自身のように愛するであろう。これら二つの戒めに、律法全体と預言者たちが掛かっている。

パリサイ人たちが集まったとき、イエスが彼らに尋ねた。言って、あなたがたはキリストについてどう思うか。誰の息子か。彼らは彼に、ダビデの息子ですと言う。彼らに言う、それではどのようにダビデは霊において彼を主と呼んで言っているのか。主が私の主に言われた、私の右に座りなさい。私があなたの敵をあなたの足台とするまで。

もしダビデが彼を主と呼ぶならば、どのようにして彼の息子であるのか。

そして誰も彼に言葉を答えることができず、あの日から誰も彼にもはや尋ねることを敢えてしなかった。

23

その時、イエスは群衆たちと彼の弟子たちに話した。律法学者たちとパリサイ人たちはモーセの座に着いたと言っている。したがって、彼らがあなたがたに守るように言うことはすべて、守り、行いなさい。しかし、彼らの行いに従って行ってはならない。なぜなら、彼らは言うが、行わないからである。彼らは重くて担い難い荷を縛り、人間たちの肩の上に置くが、しかし彼ら自身の指でそれらを動かそうとはしない。しかし彼らは、人々に見

られるために、自分たちのすべての行いを行う。なぜなら彼らは自分たちの経札を広げ、自分たちの衣服の房飾りを大きくするからである。彼らは宴会における名誉の場所と、会衆における上座を愛する。そして市場での挨拶を、そして人々によってラビ、ラビと呼ばれることを。しかし、あなたたちはラビと呼ばれてはならない。なぜなら、あなたたちの教師は一人、キリストであり、あなたたちは皆、兄弟だからである。地上で誰かをあなたがたの父と呼んではならない。なぜなら、あなたがたの父は唯一であり、天におられる方だからである。また教師と呼ばれてはならない。なぜなら、あなたがたの教師は唯一であり、キリストだからである。しかし、あなたがたのうちで最も大きい者は、あなたがたの僕となるであろう。しかし、誰でも自分自身を高める者は謙遜させられ、自分自身を謙遜させる者は高められるだろう。

災いだ、あなたがたに、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜなら、あなたがたはやもめたちの家々を食い尽くし、そして口実として長く祈っているからだ。このゆえに、あなたがたはより大きな裁きを受けるであろう。災いだ、あなたがたに、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜなら、あなたがたは人々の前で天の王国を閉ざすからだ。あなたがたは入らず、入ろうとしている者たちも入ることを許さない。災いだ、あなたがたに、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜなら、あなたがたは海と乾いた地を巡って一人の改宗者を作るが、彼がそうになると、あなたがたは彼をあなたがた自身の二倍のゲヘナの子とするからだ。災いだ、あなたがた盲目の案内者たちよ。あなたがたは言っている、誰でも神殿にかけて誓う者は、何でもない。しかし誰でも神殿の金にかけて誓う者は、負い目がある。愚か者たちよ、そして盲目な者たちよ。いったい何がより大きいのか。金か、それともその金を聖別する神殿か。そして、祭壇にかけて誓う者は何でもないが、その上の供え物にかけて誓う者は義務を負う。愚か者たちよ、盲目な者たちよ。何がより大きいのか。贈り物か、それとも贈り物を聖別する祭壇か。

したがって、祭壇にかけて誓う者は、それとその上にあるすべてのものにかけて誓うのである。そして神殿において誓った者は、神殿において、そしてそこに住まわれる方において誓うのである。そして天において誓った者は、神の玉座において、そしてその上に座っている方において誓うのである。災いだ、あなたがた律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。あなたがたはミントとディルとクミンの十分の一税を納めるが、律法のより重要なこと、すなわち正義と憐れみと誠実さを軽んじている。これらこそ行うべきであり、あれらもおろそかにすべきではなかった。盲目の案内者たちよ、ブヨは濾し取るが、ラクダは飲み込んでいる者たちよ 災いだ、あなたがた律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜなら、あなたがたは杯と皿の外側を清めるが、内側は強奪と不正で満ちているからだ。盲目的なパリサイ人よ、まず杯と皿の内側を清めよ、そうすればそれらの外側も清くなる。災いだ、あなたがたに、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜなら、あなたがたは白く塗られた墓に似ているからだ。それらは外からは確かに美しく見えるが、内側は死んだ者の骨とすべての汚れに満ちている。このように、あなたがたは外からは確かに人々に正しい者として現れるが、内からは偽善と不法に満ちている。災いだ、あなたがたに、律法学者たちとパリサイ人たちよ、偽善者たちよ。なぜなら、あなたがたは預言者たちの墓を建て、義人たちの記念碑を飾るからである。そしてあなたがたは言う、もし私たちが私たちの父たちの時代にいたら、私たちは預言者たちの血において彼らの共犯者ではなかっただろう。このようにして、あなたがたは自分自身に対して、預言者たちを殺した者たちの息子であることを証言している。そしてあなたたちは、あなたたちの父たちの量を満たしなさい。蛇たち、毒蛇の子孫よ、どうしてゲヘナの裁きから逃れることができようか。このゆえに、見よ、私はあなたがたに向かって預言者たちと知恵ある者たちと律法学者たちを送る。そして彼らの中からあなたがたは殺し、十字架につけるであろう。そして彼らの中からあなたがたはあなたがたの会堂において鞭打ち、町から町へと

迫害するであろう。それは、地上に注がれたすべての正しい血が、あなたがたの上に来るためである。正しいアベルの血から、あなたがたが神殿と祭壇の間に殺したバラキヤの子ザカリヤの血に至るまで。まことに、あなたがたに言う。これらのすべてが、この世代の上に来るだろう。エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、遣わされた者たちを石打ちにする者よ、何度私はあなたの子供たちを集めようと望んだことか、鳥が自分のひなを翼の下に集めるように。しかしあなたがたは望まなかった。見よ、あなたがたの家は荒れ果てたまま、あなたがたに残される。私はあなたたちに言う、あなたたちは今から私を見ることは決してない、あなたたちが祝福されているのは主の名において来る者と言うまでは。

24

そしてイエスが神殿から出て行くと、彼の弟子たちが神殿の建物を彼に見せようと近づいた。しかしイエスは彼らに言った、あなたがたはこれらすべてを見ないのか。まことに私はあなたがたに言う、ここに石の上に石が残されることはなく、すべて破壊される。彼がオリーブの山の上に座していると、弟子たちが個人的に彼のところに来て言った、私たちに言ってください、これらのことはいつ起こるのでしょうか、そしてあなたの臨在と時代の完成のしるしは何でしょうか。そしてイエスは答えて彼らに言った、誰かがあなたたちを惑わすことがないように気をつけなさい。多くの者が私の名において来て、私がキリストであると言い、多くの者を惑わすだろう。あなたたちは戦争と戦争の噂を聞こうとするだろう。見よ、動揺してはならない。なぜならすべてのことが起こる必要があるが、しかしまだ終わりではないからである。なぜなら、国民は国民に対して立ち上がり、王国は王国に対して立ち上がるだろう。そして飢饉と疫病と地震が方々で起こるだろう。しかし、これらすべては産みの苦しみの始まりである。その時、彼らはあなたたちを苦難に引き渡し、あなたたちを

殺すだろう。そして、あなたたちは私の名のゆえに、すべての国々によって憎まれるだろう。そしてその時、多くの者がつまづき、互いを引き渡し、互いを憎むだろう。そして多くの偽預言者たちが現れ、多くの人々を惑わすだろう。そして、無法が増えるために、多くの人々の愛は冷めるだろう。しかし終わりまで耐えた人は、救われるだろう。そして、この王国の良い知らせは、すべての諸国民への証言として、全世界で宣べ伝えられるだろう。そして、その時、終わりが来るだろう。それゆえ、あなたがたが預言者ダニエルを通して語られた荒廃の忌まわしいものが聖なる場所に立っているのを見るときには、読む者は理解せよ。その時、ユダヤにいる者たちは山々へ逃げよ。屋根の上にいる者は、自分の家から物を取り出すために下に降りてはならない。そして畑にいる者は、自分の衣服を取るために後ろに戻ってはならない。しかし、あの日々において胎内に子を宿している者たちと、授乳している者たちには災いがある。祈りなさい。あなたがたの逃亡が冬にならないように、また安息日にもならないように。なぜなら、その時、世界の始まりから今まで起こったことがなく、また決して起こることのないような大きな苦難があるだろう。そしてもしあの日々が短縮されなかったなら、すべての肉は救われなかっただろう。しかし選ばれた者たちのゆえに、あの日々は短縮されるだろう。その時、もし誰かがあなたがたに見よ、ここにキリストがいるまたはここにと言っても、信じてはならない。なぜなら偽キリストたちと偽預言者たちが現れ、大きなしるしと不思議を行い、できれば選ばれた者たちをも惑わそうとするからである。見よ、私は前もってあなたがたに告げた。もし彼らがあなたがたに見よ、荒野にいたと言っても、出て行ってはならない。見よ、奥の部屋にいたと言っても、信じてはならない。稲妻が東から出て西まで現れるように、人の子の出現もそのようであるだろう。死体のあるところに、驚たちが集まるだろう。

しかし、それらの日々の苦難の後、直ちに太陽は暗くなり、月はその光を放たず、星々は天から落ち、天の諸力は揺り動かさ

れるだろう。

そしてその時、人の子のしるしが天に現れるだろう。そしてその時、地のすべての部族が嘆き、人の子が天の雲の上に、力と大いなる栄光と共に来るのを見るだろう。そして彼は大きなラッパの音と共に彼の使者たちを送り、彼らは天の果てから果てまで、四方の風から、彼の選ばれた者たちを集めるだろう。しかし、そのいちじくの木からたとえ話を学びなさい。その枝がすでに柔らかくなり、葉が芽吹くとき、夏が近いことを知りなさい。このように、あなたがたも、これらすべてを見るときには、それが戸口の近くにあることを知りなさい。まことに、私はあなたがたに言う。これらのことがすべて起こるまで、この世代は決して過ぎ去らない。その天とその地は過ぎ去るだろう、しかし私の言葉は決して過ぎ去らないだろう。しかし、その日とその時については、誰も知らない。天の天使たちも知らない。ただ私の父だけである。ノアの日々がそうであったように、人の子の現れもそのようになるだろう。なぜなら、ちょうど洪水の前の日々に、人々が食べたり飲んだり、結婚したり結婚させたりしていたように、ノアが箱舟に入った日まで、そして彼らは洪水が来てすべての者を取り去るまで知らなかった。このように人の子の到来もあるだろう。その時、二人が畑にいるだろう。一人は取られ、一人は残される。二人の女が粉挽き場で挽いていると、一人は取られ、一人は残される。だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは自分たちの主がいつ来られるのか知らないのだから。しかしあのことをあなたがたは知りなさい。もし家の主人が泥棒が何時の見張りに来るかを知っていたなら、見張っていただろうし、自分の家が掘り破られることを許さなかっただろう。このゆえに、あなたがたも備えができていなさい。なぜならば、あなたがたが思わない時に、人の子が来るからである。

それでは誰が、忠実で賢明な奴隷であるのか。その者を彼の主人が自分の奉仕の上に任命し、時に応じて彼らに養いを与える

ために? 祝福されるのは、あの奴隷である。その主人が来たとき、そのようにしているのを見つけるであろう者は。まことに、あなたがたに言う。彼は自分のすべての所有物の上に彼を任命するだろう。もしあの悪い奴隷が心の中で私の主人は来るのが遅れていると言うならばそして彼の仲間の奴隷たちを打ち始め、酔っている者たちと共に食べたり飲んだりする、あの奴隷の主人は、彼が期待しない日に、そして彼が知らない時間に来るだろう。そして彼を二つに切り、彼の部分を偽善者たちと共に置くだろう。そこには嘆きと歯ぎしりがあるだろう。

25

その時、天の王国は十人の処女たちに似せられるだろう。彼女たちは自分たちのともしびを取って、花婿の出迎えに出て行った。しかし、彼らのうち五人は賢く、五人は愚かであった。愚かな者たちは、自分たちのランプを取ったが、自分たちと共に油を取らなかった。しかし、賢い者たちは、彼女たちのともしびと共に、彼女たちの器の中に油を取った。しかし花婿が遅れている間に、全員がまどろみ、そして眠っていた。真夜中に叫び声が起こった。見よ、花婿が来る。彼を迎えに出て行け。その時、全てのその処女たちが起き上がり、彼女たちのランプを整えた。そして愚かな者たちは賢い者たちに言った、私たちにあなたたちの油を分けてください、なぜなら私たちのたいまつは消えかかっているからです。しかし賢い者たちは答えて言った、おそらく私たちとあなたたちに十分ではないだろう。むしろ売っている者たちのところへ行って、自分たちのために買いなさい。彼女たちが買いに出かけている間に花婿が来た。そして準備のできていた者たちは彼と共に婚礼に入り、戸は閉ざされた。後で、残りの処女たちも来て、主よ、主よ、私たちに開けてくださいと言った。しかし彼は答えて言った、まことにあなたがたに言う、私はあなたがたを知らない。だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、人の子が来るその日も、その時も知らないのだから。

ちょうど旅に出る人が自分の奴隷たちを呼んで、彼らに自分の所有物を引き渡したように、そして、ある者には五タラントを与え、ある者には二タラントを、ある者には一タラントを、各々の能力に応じて与え、そして直ちに旅立った。五タラントを受け取った者は出かけて行き、それを使って働き、別に五タラントを儲けた。同様に、二つを受けた者も、別の二つを得た。しかし、一つを受け取った者は去って地面を掘り、彼の主人の銀を隠した。しかし長い時の後、あの奴隷たちの主人が来て、彼らと清算をする。そして、五タラントを受け取った者が近づいて、他の五タラントを差し出して言った。主よ、あなたは私に五タラントをお委ねになりました。ご覧ください、私はそれらによって他の五タラントを得ました。彼の主は彼に言った、よくやった、良い忠実な僕よ。お前は少ないものに忠実であった。多くのものの上にお前を任命しよう。お前の主の喜びの中に入りなさい。近づいて、二つのタラントを受け取った者も言った、主よ、あなたは私に二つのタラントを委ねました。ご覧ください、私はそれらの上に他の二つのタラントを得ました。彼の主は彼に言った、よくやった、良い忠実な僕よ。お前は少ないものに忠実であった。多くのものの上にお前を任命しよう。お前の主の喜びの中に入りなさい。近づいて来た一タラントンを受け取った者も言った、主よ、私はあなたを知っていました。あなたは厳しい人で、蒔かなかったところで刈り取り、散らさなかったところから集める人だと。そして恐れて立ち去り、あなたのタラントを地中に隠しました。ご覧ください、あなたのものをお持ちです。しかし彼の主は答えて彼に言った、邪悪で怠惰な奴隷よ、あなたは知っていた、私が蒔かなかった所で刈り取り、散らさなかった所から集めることを。したがって、あなたは私の銀を銀行家たちに預けることが必要だった、そして来て、私は利子と共に私のものを受け取っただろう。したがって、彼からそのタラントを取り上げて、十タラントを持っている者に与えなさい。なぜなら、すべて持っている者には与えられ、豊かになるだろう。しかし、持っていない者からは、その持っているものさえも取り去られるだろう。そしてその

役に立たない奴隷を外側の暗闇へ投げ出せ。そこには泣くことと
歯ざしりがあるだろう。

しかし、人の子が彼の栄光の中に、そしてすべての聖なる天使たちと共に来る時、その時彼は彼の栄光の玉座の上に座るだろう。そして、すべての国々が彼の前に集められるだろう、そして彼は彼らを互いから分けるだろう、ちょうど羊飼いが羊を子山羊から分けるように。そして彼は羊たちを彼の右に、山羊たちを左に立てるだろう。その時、王は彼の右にいる者たちに言うだろう。来なさい、私の父に祝福された者たちよ。世界の基礎から、あなたがたのために準備された王国を相続しなさい。私は空腹だったので、あなたたちは私に食べ物を与えた。私は喉が渴いたので、あなたたちは私に飲み物を与えた。私は異邦人だったので、あなたたちは私を迎え入れた。私は裸であった、そしてあなたたちは私に着せてくれた、私は病気であった、そしてあなたたちは私を見舞ってくれた、私は牢獄にいた、そしてあなたたちは私のもとに来てくれた。その時、正しい者たちが彼に答えて言うだろう、主よ、いつ私たちはあなたが飢えているのを見て養い、または渴いているのを見て飲ませたでしょうか。しかし、いつ私たちはあなたを異邦人として見て迎え入れ、または裸として見て着せたでしょうか。しかし、いつ私たちはあなたが弱っているのを、あるいは牢獄にいるのを見て、あなたのもとに来たでしょうか。そして王は答えて彼らに言うだろう、まことに、私はあなたがたに言う、あなたがたが私のこれらの最も小さい兄弟たちの一人にしたことは、私にしたのである。その時、左にいる者たちにも言うだろう。私から離れて行け、呪われた者たちよ、悪魔とその天使たちのために準備された永遠の火へと。私は空腹だったのに、あなたがたは私に食べ物を与えなかった。私は喉が渴いたのに、あなたがたは私に飲み物を与えなかった。私は異邦人でしたが、あなたがたは私を迎え入れませんでした。裸でしたが、あなたがたは私に着せませんでした。弱く牢獄にいましたが、あなたがたは私を訪れませんでした。その時、彼らも彼に答えて言うだろう

う、主よ、いつ私たちはあなたが飢えているのを、或いは渴いているのを、或いは異邦人であるのを、或いは裸であるのを、或いは弱っているのを、或いは牢獄の中にいるのを見て、あなたに仕えなかったのでしょうか? その時、彼らに答えて言うだろう、まことにあなたがたに言う、これらの最も小さい者たちの一人にしなかった限り、私にもしなかったのである。そして、これらの者は永遠の罰へと去るだろう、しかし正しい者たちは永遠の命へと去るだろう。

26

そして、イエスがこれらすべての言葉を終えたとき、彼は弟子たちに言った。あなたがたは知っている、二日の後に過越祭が起こり、人の子が十字架につけられるために引き渡されることを。その時、祭司長たちと律法学者たちと民の長老たちが、カイアファと呼ばれる大祭司の中庭に集められた。そして彼らは、イエスを欺きによって捕らえて殺すために相談した。彼らは言った、祭りの最中ではいけない。民の中で騒動が起こらないようにするために。

しかしイエスがベタニヤで、らい病人シモンの家におられた時、非常に高価な香油の雪花石膏の壺を持った女が彼に近づき、横たわっている彼の頭の上にそれを注いだ。しかし、彼の弟子たちはそれを見て憤慨し、この浪費は何のためかと言った。なぜなら、この香油は高く売って、貧しい人々に施すことができたからである。しかしイエスは知って、彼らに言った、なぜあなたがたはこの女に労苦を与えるのか。彼女は私に対して良い働きを行ったのだから。貧しい人々は常にあなたがたと共にいるが、私は常にあなたがたと共にいるわけではない。なぜなら、この女はこの香油を私の体の上に注いで、私を埋葬するためにそうしたのだから。まことに、私はあなたたちに言う。この福音が全世界で宣べ

伝えられるところではどこでも、この女が行ったことも彼女の記念として語られるであろう。

その時、十二人の一人、イスカリオテのユダと呼ばれる者が、祭司長たちのところへ行って言った あなたがたは私に何を与えようとするのか。そうすれば私はあなたがたに彼を引き渡そう。彼らは彼に銀貨三十枚を支払うことにした。そしてその時から、彼は彼を引き渡す機会を探し求めた。

種なしパンの祭りの最初の日、弟子たちがイエスに近づいて言った、どこで私たちはあなたのために過越の食事を準備すればよいでしょうか。しかし彼は言った、町へ行って、ある人のところへ行き、彼に言いなさい、教師が言います、私の時は近い、あなたのところで私の弟子たちと共に過越の食事をしますと。そして弟子たちは、イエスが彼らに命じたとおりにし、過越の食事を準備した。夕方になると、彼は十二人と共に食卓に着いた。そして彼らが食事をしている時、言った、まことに、あなたがたに言う、あなたがたのうちの一人が私を裏切るだろう。そして非常に悲しみながら、彼らは彼に言い始めた、彼らの各々が、まさか私ではありませんよね、主よ？しかし答えて言った、私と共に皿の中に手を浸した者、この者が私を引き渡すだろう。人の子は、彼について書かれているとおりに行く。しかし、人の子が裏切られるその人には災いがある。その人は生まれなかった方が良かった。答えたが、彼を引き渡そうとしているユダが言った、まさか私ではないでしょう、ラビ？彼に言う、あなたが言った。彼らが食べている間、イエスはパンを取り、感謝の祈りを捧げてからそれを裂き、弟子たちに与えて言った、取って食べなさい、これは私の体である。そして杯を取り、感謝してから、彼らに与えて言った、これからすべての者が飲みなさい。これは私の血であり、新しい契約の血であり、多くの人々のために注がれ、罪の赦しへと至るものである。しかし私はあなたがたに言う、私は今か

らこのぶどうの木の果実から飲まない、あの日まで、その時私はそれをあなたがたと共に新しく私の父の王国で飲む。

そして賛歌を歌った後、彼らはオリブの山へ出て行った。その時、イエスは彼らに言う、あなたがた全員は、この夜、私につまずくであろう。なぜなら、私は羊飼いを打つ、そして群れの羊は散らされるであろうと書かれているからである。

しかし私が起こされた後、私はあなたがたをガリラヤへ先導する。しかし、ペトロは答えて彼に言った。たとえすべての者があなたにつまずいても、私は決してつまずきません。イエスは彼に言った、まことに、あなたに言う。この夜、雄鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを否定するだろう。ペテロは彼に言った、たとえ私があなたと共に死ななければならぬとしても、私は決してあなたを否定しません。同様に、すべての弟子たちも言った。

その時、イエスは彼らと共にゲツセマネと呼ばれる場所へ来て、弟子たちに言う、私があそこへ行行って祈るまで、ここに座っていなさい。そしてペテロとゼベダイの二人の息子たちを連れて行き、悲しみ苦しみ始めた。その時、イエスは彼らに言う、私の魂は死ぬほど非常に悲しい。ここに留まり、私と共に見張っていなさい。そして少し前に進んで、彼は自分の顔の上に倒れ、祈りながら言った、私の父よ、もし可能であるなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし、私が欲するようではなく、あなたが欲するようになしてください。そして弟子たちのところに来て、彼らが眠っているのを見つけ、ペテロに言う、このようにあなたがたは一時も私と共に見張ることができなかったのか。目を覚まして祈っていなさい。誘惑に陥らないために。霊は確かに熱心であるが、肉は弱い。再び二度目に去って行って、祈って言った、私の父よ、もしこの杯が、私がそれを飲まない限り、私から過ぎ去ることができないなら、あなたの御心がなされますように。そして来てみると、彼らが再び眠っているのを見つけた。彼

らの目は重くなっていたからである。そして彼らを残して去り、再び三度目も同じ言葉で祈った。その時、彼は弟子たちのところに来て、彼らに言う、まだ眠って休んでいるのか。見よ、時が近づいた。そして人の子は罪人たちの手に引き渡される。起きなさい、行こう。見よ、私を引き渡す者が近づいた。

そして彼がまだ話している間に、見よ、十二人の一人であるユダが来た。そして彼と共に、剣と棒を持った大勢の群衆が祭司長たちと民の長老たちから来た。しかし、彼を引き渡す者は、彼らに印を与えて言った、私が口づけする者、それが彼である。彼を捕らえよ。そして直ちに近づいてイエスに喜べ、ラビと言い、そして彼に口づけした。しかし、イエスは彼に言った、仲間よ、そのためにあなたはここにいるのだ。その時、近づいて来た者たちは、イエスに手をかけて、彼を捕らえた。そして見よ、イエスと共にいた者の一人が手を伸ばして彼の剣を引き抜き、そして大祭司の奴隷を打って、彼の耳を切り落とした。その時、イエスは彼に言う、あなたの剣をその鞘に戻しなさい。なぜなら、剣を取る者は皆、剣によって滅びるからである。それとも、私が今すぐ私の父に願い求めることができず、父が私に十二軍団以上の天使たちを与えてくださらないと思うのか? それではどのようにして、このように成ることが必要であると書物たちは満たされるのか。その時、イエスは群衆たちに言った、あなたたちは強盗に対するかのように、剣と棒を持って私を捕らえに出て来た。毎日私はあなたたちのところで神殿に座って教えていたのに、あなたたちは私を捕らえなかった。しかしこれはすべて、預言者たちの書が満たされるために起こった。その時、弟子たちは皆、彼を見捨てて逃げた。

そして、イエスを捕らえた者たちは、彼を大祭司カイアファのもとへ連れて行った。そこには律法学者たちと長老たちが集まっていた。しかしペトロは、大祭司の中庭まで遠くから彼に従っていた、そして中に入って下役たちと共に座り、その終わりを見

ようとしていた。しかし、祭司長たちと長老たちと議会全体は、イエスを死に至らしめるために、彼に対する偽証を探し求めていた。そして彼らは見つけなかった、そして多くの偽証者たちが進み出たが、彼らは見つけなかった。しかし後に二人の偽証者たちが進み出た。私は言った。この者は言った、私は神の神殿を破壊し、三日のうちにそれを建てることができると。そして大祭司は立ち上がって彼に言った、何も答えないのか。これらの者たちがあなたに対して証言していることは何なのか。しかしイエスは沈黙していた。そして大祭司は答えて彼に言った、生ける神によってあなたに命じる。あなたがキリスト、神の子であるかどうか私たちに言いなさい。イエスは彼に言う、あなたが言った。しかし、わたしはあなたがたに言う、今からあなたがたは人の子が力の右に座り、天の雲に乗って来るのを見るだろう。その時、大祭司は自分の衣を引き裂いて言った。彼は冒瀆した。我々にまだ証人が必要だろうか。見よ、今あなたがたは彼の冒瀆を聞いたのだ。あなたたちにはどう思われるか?彼らは答えて言った、死に値する。その時、彼らは彼の顔に唾を吐き、彼を打った。そしてある者たちは彼を平手打ちした。言って、私たちに預言せよ、キリストよ、あなたを打ったのは誰か。

そのペテロは外の中庭に座っていた、そして一人の女中が彼に近づいて言った、あなたもガリラヤ人のイエスと共にいました。しかし彼は、彼ら全ての前であなたが何を言っているのか私は知らないと言いながら否定した。彼が門へ出て行くと、別の女が彼を見て、そこにいる人々に言う、この者もナザレ人イエスと共にいました。そして再び彼は誓いと共に否定した、私はその人を知らない。しばらくして、そこに立っていた者たちが近づいてペテロに言った、本当にあなたも彼らの仲間だ、なぜならあなたの話し方があなたを明らかにするからだ。その時、彼は呪い始め、そして誓った、その男を知らない。そして直ちに雄鶏が鳴いた。そしてペテロは、イエスが彼に言った言葉を思い出した。

雄鶏が鳴く前に、あなたは三回私を否定するだろうと。そして外に出て行って、激しく泣いた。

27

朝になったが、すべての祭司長たちと民の長老たちはイエスに対して会議を開き、彼を死に至らしめるために決議した。そして彼を縛った後、連れて行き、総督ポンティウス・ピラトに引き渡した。

その時、彼を引き渡したユダは、彼が罪に定められたのを見て、後悔し、三十枚の銀貨を祭司長たちと長老たちに返した。言って言った、私は無実の血を引き渡して罪を犯した。しかし彼らは言った、それが我々に何の関係があるのか?お前が見るがよい。そして神殿に銀貨を投げ捨てて退き、去って首を吊った。そして祭司長たちはその銀貨を取って言った、それらを宝物庫に投げ入れることは許されない、なぜならそれは血の代価であるから。評議会を開いて、彼らは陶工の畑を買い、外国人たちの埋葬のためにした。それゆえ、あの畑は血の畑と呼ばれた、今日まで。その時、預言者エレミヤを通して語られた言葉が成就した。そして彼らは三十枚の銀貨を取った。それはイスラエルの子らが値をつけた者の価格である。そして彼らはそれらを陶工の畑に与えた、主が私に命じたように。

しかしイエスは総督の前に立った。そして総督は彼に尋ねて言った、あなたはユダヤ人の王なのか。するとイエスは彼に言った、あなたがそう言っている。そして祭司長たちと長老たちによって告発されている間、彼は何も答えなかった。その時、ピラトは彼に言う、彼らがあなたに対してどれだけ多くのことを証言しているか、あなたは聞かないのか?そして彼は彼に一言も答えなかった。総督は非常に驚いた。祭りごとに、指導者は群衆が望む囚人を一人解放することに慣れていた。彼らはその時、バラ

バと呼ばれる著名な囚人を持っていた。彼らが集められたので、ピラトは彼らに言った、あなたがたのために誰を釈放することを望むか。バラバか、それともキリストと呼ばれるイエスか。彼は知っていた、彼らがねたみのために彼を引き渡したことを。彼が裁きの座に座っていた時、彼の妻が彼に使いを送って言った、あなたとあの正しい人とは何の関係ありませんように、なぜなら私は今日、彼のことで夢の中で多くの苦しみを受けたからです。しかし、祭司長たちと長老たちは、群衆たちを説得して、バラバを求め、イエスを滅ぼすようにさせた。答えて、指導者は彼らに言った、二人のうちどちらをあなたがたに釈放することを望むか。彼らは言った、バラバを。ピラトは彼らに言った、それでは、キリストと呼ばれるイエスを私はどうしようか?彼ら全員が彼に言った、十字架につけられよ。しかし、指導者は言った。彼は一体何の悪を行ったというのか。しかし、彼らは激しく叫び続けた。十字架につけよ。ピラトは、何も益することなく、むしろ騒動が起こるのを見て、水を取り、群衆の前で手を洗って言った。私はこの正しい人の血について無罪である。あなたたちが責任を負うがよい。そして、すべての人々が答えて言った、彼の血は私たちの上に、そして私たちの子供たちの上に。その時、彼は彼らにバラバを解放したが、イエスを鞭打ってから、十字架につけられるために引き渡した。

その時、総督の兵士たちはイエスを引き取って官邸に連れて行き、全部隊を彼のもとに集めた。そして彼らは彼を脱がせて、彼に緋色の外套を着せた。そして茨で冠を編んで、彼の頭の上に置いた。そして葦を彼の右手に置いた。そして彼の前に跪いて、彼を嘲笑しながら言った、喜べ、ユダヤ人の王よ。そして彼に唾を吐いて、その葦を取り、彼の頭を打っていた。そして彼らが彼を嘲笑したとき、彼らは彼からその外套を剥ぎ取り、そして彼に彼の衣服を着せ、そして彼らは彼を十字架につけるために連れ去った。

出て行くと、彼らはキュレネ人で名をシモンという人を見つけ、この者に彼の十字架を担がせるために強制した。そして、ゴルゴタと呼ばれる場所に來た。それは頭蓋骨の場所と呼ばれている。彼らは彼に胆汁を混ぜた酢を飲ませようとした。そして彼は味わったが、飲もうとしなかった。彼を十字架につけた後、彼らは彼の衣服をくじを投げて分けた。そして座りながら、彼らはそこで彼を見守っていた。そして彼らは、彼の頭の上に、書かれた彼の罪状を置いた。これはユダヤ人の王イエスである。その時、二人の強盜が彼と共に十字架につけられた、一人は右に、そして一人は左に。そして通り過ぎていた者たちは、彼らの頭を振りながら、彼を冒瀆していた。そして言った、神殿を破壊し三日で建てる者よ、自分自身を救え。もし神の子であるなら、十字架から降りよ。同様に、祭司長たちも律法学者たち、長老たち、そしてパリサイ人たちと共にあざけりながら言っていた 他者たちを救ったが、自分自身を救うことができない。もしイスラエルの王であるなら、今十字架から降りよ、そうすれば我々は彼を信じるだろう。神に信頼した、今彼を救い出せ、もし彼を望むなら、なぜなら神の子であると言ったのだから。そして彼と一緒に十字架につけられた強盜たちも、彼を罵っていた。

しかし第六の時から第九の時まで、暗闇がすべての地の上に起こった。そして第九の時について、イエスは大きな声で叫んで言った、エリ、エリ、ラマ、サバクタニ。これは私の神よ、私の神よ、なぜ私をお見捨てになったのですかである。そこに立っていた者たちのうちの何人かは、聞いて、この者はエリヤを呼んでいると言っていた。そして直ちに彼らのうちの一人が走り、スポンジを取り、酢で満たし、葦に付けて、彼に飲ませた。その他の者たちは言った、待て、エリヤが彼を救いに來るか見てみよう。しかしイエスは再び大きな声で叫んで、霊を放った。そして見よ、神殿の幕が上から下まで二つに裂かれた。そして地が震われ、岩々が割られた。そして墓が開かれ、眠りについた聖なる者たちの多くの体が起こされた。そして墓から出て行き、彼の復活

の後、聖なる都市へ入り、多くの人々に現れた。しかし、百人隊長と彼と共にイエスを見張っていた者たちは、地震と起こった出来事を見て非常に恐れ、真にこの人は神の子であったと言った。そこには、遠くから見ている多くの女たちもいた。彼女たちはガリラヤからイエスに従い、彼に仕えていた。その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセの母マリア、そしてゼベダイの息子たちの母がいた。

夕方になったとき、アリマタヤ出身の金持ちの男が来た。その名はヨセフといい、彼自身もイエスの弟子になっていた。この者はピラトに近づいた後、イエスの体を求めた。その時、ピラトは体を引き渡すよう命じた。そして、ヨセフはその体を取り、それを清い亜麻布に包んだ。そして彼はそれを岩に切った彼の新しい墓に置き、そして墓の戸に大きな石を転がして去った。そこには、マグダラのマリアともう一人のマリアがいて、墓の向かいに座っていた。

その次の日、それは準備の日の後であるが、祭司長たちとパリサイ人たちはピラトのもとに集まった。主よ、私たちは思い出しました。あの詐欺師はまだ生きているときに、三日の後に私は起こされると言いました。したがって、三日目まで墓を安全にするよう命じなさい。そうしないと、彼の弟子たちが夜に来て彼を盗み、民に死者の中から起こされたと言うかもしれない。そうなれば、最後の迷いは最初のものよりも悪いものとなるだろう。ピラトは彼らに言った、警備兵がいる。行つて、お前たちの知る通りに安全にせよ。彼らは行つて、警備隊と共に石を封印して墓を確保した。

28

安息日が終わって遅く、安息日の最初の日が明け始める頃、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に来た。そして見

よ、大きな地震が起こった。というのは、主の天使が天から降りて来て、近づいて戸から石を転がし、そしてその上に座っていたからである。そして彼の姿は稲妻のようであり、彼の衣は雪のように白かった。しかし彼への恐怖から、見張りをしていた者たちは震え、死人のようになった。しかし、天使は答えて女たちに言った、あなたたちは恐れてはいけません。私は知っています、なぜならあなたたちは十字架につけられたイエスを探しているからです。ここにはいない、言ったように起こされたからである。来て、主が横たわっていた場所を見なさい。そして速く行って、彼の弟子たちに言いなさい、彼は死者たちから起こされたと。そして見よ、彼はあなたたちより先にガリラヤへ行く。そこであなたたちは彼を見るでしょう。見よ、私はあなたたちに言った。そして彼女たちは墓から急いで出て行き、恐れと大きな喜びをもって、彼の弟子たちに報告するために走った。しかし彼女たちが彼の弟子たちに報告するために行くと、見よ、イエスが彼女たちに会い、喜びなさいと言った。彼女たちは近づいて、彼の足を掴み、彼を礼拝した。その時、イエスは彼女たちに言う、恐れるな。行って私の兄弟たちに報告しなさい。彼らがガリラヤへ行くように、そしてそこで彼らは私を見るだろう。

彼らが進んでいる間に、見よ、警備隊の何人かが都に来て、起こったことすべてを祭司長たちに報告した。そして長老たちと共に集まり、相談をして、十分な銀貨を取り、兵士たちに与えて言った。彼の弟子たちが夜に来て、私たちが眠っている間に彼を盗んだと言いなさい。そしてもしこれが総督に聞かれたら、私たちは彼を説得し、あなたたちを心配のないようにするだろう。彼らは銀貨を受け取り、教えられた通りにした。そして、この言葉はユダヤ人の間で今日まで広められた。

その十一人の弟子たちはガリラヤへ、イエスが彼らに定めた山へ行った。そして彼を見て礼拝したが、ある者たちは疑った。そしてイエスが近づいて彼らに話し、言った、天においても地に

おいても、すべての権威が私に与えられた。行って、すべての国民を弟子としなさい。父と子と聖霊の名において彼らにバプテスマを授けなさい。彼らに、わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように教えなさい。そして見よ、わたしは時代の完成に至るまで、すべての日々、あなたがたとともにいる。アーメン。

マルコによる福音書

1

イエス・キリスト、神の子の良い知らせの始まり。預言者たちの中に書かれているように、見よ、私はあなたの前に私の使者を送る。その者があなたの道をあなたの前に備えるであろう 荒野で叫んでいる者の声がする。主の道を準備せよ。彼の小道をまっすぐにせよ。

ヨハネが荒野で洗礼を受け、罪の赦しのための悔い改めの洗礼を宣べ伝えるようになった。そして、ユダヤ全地とエルサレムの人々が皆、彼のもとへ出て行き、自分たちの罪を告白しながら、ヨルダン川で彼によって洗礼を受けていた。そして、そのヨハネは、ラクダの毛を着て、革の帯を腰の周りに締め、イナゴと野生の蜜を食べていた。そして彼は宣べ伝えて言った、私の後に、私よりも強い方が来られる。私はかがんで、その方のサンダルのひもを解くことさえふさわしくない。私は確かに水であなたがたに洗礼を授けた、しかし彼は聖霊であなたがたに洗礼を授けるだろう。

そしてそれらの日々に、イエスがガリラヤのナザレから来て、ヨルダンでヨハネによってバプテスマされた。そして直ちに水から上がると、天が裂かれ、霊が鳩のように彼の上に降って来るのを見た。そして天から声があった、あなたは私の愛する息子である、あなたにおいて私は喜んでいる。

そして、直ちに御霊は彼を荒野へ追い出した。そして彼はそこで、その荒野に四十日間、サタンによって誘惑されていた。そして彼は獣たちと共にいた。そして天使たちが彼に仕えていた。

そして、ヨハネが引き渡された後、イエスはガリラヤに来て、神の王国の福音を宣べ伝えた。そして時は満たされ、神の王国が近づいた。悔い改めて、その福音を信じなさいと言った。

ガリラヤの海の傍らを歩いていると、シモンと彼の兄弟アンデレが海に網を投げているのを見た。彼らは漁師だったからである。そしてイエスは彼らに言った、私について来なさい。あなたたちを人間を捕る漁師にしよう。そして彼らは直ちに自分たちの網を置いて、彼に従った。そして、そこから少し進んで行くと、ゼベダイの子ヤコブと彼の兄弟ヨハネが、船の中で網を繕っているのを見た。そしてすぐに彼は彼らと呼んだ。そして彼らは、彼らの父ゼベダイを雇い人たちと共に船の中に残して、彼の後について行った。

そして彼らはカペルナウムに入り、そして直ちに安息日に会衆に入って、彼は教えていた。そして彼らは彼の教えに驚いていた。というのは、彼は権威を持つ者として彼らを教えていたのであり、律法学者たちのようではなかったからである。そして彼らの会衆に汚れた霊に取り憑かれた人がいて、叫んだ。言って言った、ああ、私たちとあなたに何の関係があるのか、ナザレ人イエスよ。あなたは私たちを滅ぼすために来たのか。私はあなたが誰であるか知っている。あなたは神の聖なる者だ。そしてイエスは彼を叱責して言った、黙れ、そして彼から出て行け。そして汚れた霊は彼を痙攣させ、大きな声で叫んで、彼から出て行った。そして全ての者が驚いた。その結果、彼らは互いに議論して言った、これは何か。この新しい教えは何か。権威によって汚れた霊たちにも命じると、彼らは彼に従うのか。そして彼の噂はすぐにガリラヤの周辺地域全体へ広まった。

そして直ちに会衆から出て行って、彼らはシモンとアンデレの家へ、ヤコブとヨハネと共に来た。シモンの義母は熱を出して横たわっていた。すぐに彼らは彼に彼女のことを告げた。そして

近づいて、彼は彼女の手を掴んで彼女を起こした。そして熱は即座に彼女を去り、そして彼女は彼らに仕えた。夕方になって太陽が沈んだ時、人々は病気の者たちと悪霊に取り憑かれた者たち全員を彼のもとに連れて来た。そして、その都市全体が、その戸に向かって集められていた。そして彼は、様々な病気で苦しんでいる多くの人々を癒し、多くの悪霊を追い出した。そして彼は悪霊たちが話すことを許さなかった。なぜなら、彼らは彼がキリストであることを知っていたからである。

そして朝早く、まだ夜が明けきらぬうちに起き上がって出て行き、荒野の場所へ去って行った。そしてそこで祈っていた。そして、シモンと彼と共にいる者たちが彼を追跡した。そして彼を見つけて、彼に言う、すべての人があなたを探しています。そして彼らに言う、隣接する町々へ行こう。そこでも説教するために。なぜなら、このために出て来たのだから。そして彼は、ガラヤ全域の彼らの会衆で宣べ伝え、悪霊たちを追い出していた。

そして、一人のらい病人が彼のもとに来て、彼に懇願し、ひざまずいて、彼に言った、もしあなたが望まれるなら、あなたは私を清めることができます。そしてイエスは憐れみを持って、その手を伸ばして彼に触れ、彼に言った、私は望む、清められよ。そして彼が言うと、直ちに彼からそのらい病が去り、清められた。そして彼を厳しく戒めると、すぐに彼を追い出し、彼に言った、見よ、誰にも何も言うな。しかし行って、あなた自身を祭司に見せ、そしてあなたの清めについてモーセが命じたものを、彼らへの証しとして捧げよ。しかし、彼は出て行って、多くのことを宣言し、その言葉を広め始めた。その結果、彼はもはや公然と町に入ることができず、外の荒れた場所にいた。そして、人々はあらゆる方向から彼のもとに来ていた。

そして数日を経て再びカペルナウムに入ると、家にいることが知れ渡った。そして直ちに多くの人々が集まったので、もはや戸口にさえ入る余地がなく、そして彼は彼らに言葉を語っていた。そして彼らは、四人によって持ち上げられている中風の人を運びながら、彼のもとへやって来る。そして群衆のために彼に近づくことができなかったので、彼らは彼がいた場所の屋根を取り外し、掘り抜いて、中風の人が横たわっていた寝床を降ろした。イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に言った、子よ、あなたの罪は赦された。しかし、律法学者たちの中のある者たちがそこに座っており、彼らの心の中で論じていた。なぜこの者はこのように冒涇を語るのか?神おひとりのほかに、誰が罪を赦すことができようか?そして、イエスは直ちに自分の霊で、彼らが自分たち自身の中でこのように論じていることを認識し、彼らに言った、なぜあなたがたは自分たちの心の中でこれらのことを論じているのか?何がより容易であるか、中風の者にあなたの罪は赦されたと言うことか、それとも起きて、あなたの寝床を取り上げて歩けと言うことか。しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持つことをあなたがたが知るために、その中風の人に言う。あなたに言う、起きて、あなたの敷物を取り上げて、あなたの家へ行きなさい。そして彼は直ちに起き上がり、寝床を取って、すべての人の前で出て行った。それで、すべての人が驚き、神を賛美して、このようなことは決して見たことがないと言った。

そして彼は再び海のそばへ出て行き、すべての群衆が彼のところへ来たので、彼は彼らを教えた。そして通り過ぎながら、アルファイオスの子レビが徴税所に座っているのを見て、彼に言う、私に従えと。そして立ち上がって彼に従った。そして、彼が自分の家で食事の席に着いていた時、それが起こった。多くの徴税人たちと罪人たちがイエスと彼の弟子たちと共に食事の席に着いていた。なぜなら、多くの者たちがいて、彼に従ったからである。律法学者たちとパリサイ人たちは、彼が取税人たちや罪人たちと共に食べているのを見て、彼の弟子たちに言っていた、なぜ

取税人たちや罪人たちと共に食べたり飲んだりするのか。そしてイエスはそれを聞いて彼らに言われた、強い者たちは医者が必要としないが、病んでいる者たちは必要とする。私は正しい者たちを呼ぶために来たのではなく、罪人たちを悔い改めへと呼ぶために来たのである。

そして、ヨハネの弟子たちとパリサイ人の弟子たちは断食していた。そして、彼らが来て彼に言う、なぜヨハネの弟子たちとパリサイ人の弟子たちは断食するのに、あなたの弟子たちは断食しないのですか。そしてイエスは彼らに言った、花婿が一緒にいる間、婚礼の客は断食できるだろうか。花婿が共にいる間は、断食できないのである。しかし、彼らから花婿が取り去られる時、日々が来るだろう。そしてその時、彼らはあの日々に断食するだろう。誰も縮んでいない布のつぎはぎを古い衣服に縫い付けない。もしそうしなければ、新しい布が古い衣服から引き裂かれ、さらにひどい裂け目ができる。そして誰も新しいワインを古い革袋に入れない。もしそうでなければ、新しいワインが革袋を破裂させ、ワインは注ぎ出され、革袋は滅びるだろう。しかし新しいワインは新しい革袋に入れられなければならない。

そして安息日に、彼が穀物畑を通り過ぎることになった。そして彼の弟子たちは穀物の穂を摘みながら道を作り始めた。そしてパリサイ人たちは彼に言った、見よ、彼らは安息日に許されないことをしている。そして彼は彼らに言った、あなたがたは一度も読んだことがないのか、ダビデが何をしたかを、彼が必要を持ち、そして彼自身と彼と共にいる者たちが空腹だった時に。どのようにして神の家に入ったか、アビアタル大祭司の時に、そして供えのパンを食べたか。それらは祭司たちでなければ食べることが許されないのに、彼と共にいる者たちにも与えたのである。そして彼は彼らに言った、安息日は人間のために設けられたのであり、人間が安息日のためにあるのではない それゆえ、人の子は安息日の主でもある。

3

そして再び会衆の中へ入ると、そこには萎えた手を持っている人がいた。そして彼らは、安息日に彼が彼を癒すかどうか、彼を見張っていた。彼を告発するために。そして、その萎えた手を持っている男に言う、真ん中に立ちなさい。そして彼らに言う、安息日に善を行うことは許されるか、それとも悪を行うことか？魂を救うことか、それとも殺すことか？しかし彼らは沈黙していた。そして彼らを怒りをもって見回し、彼らの心の頑なさを悲しみながら、その人に言う、あなたの手を伸ばしなさい。そして彼は伸ばした、そして彼の手は回復されて健康になった、もう一方の手のように。そして、パリサイ人たちは出て行った後、直ちにヘロデ党の人々と共に、彼に対して会議を行い、彼を滅ぼそうとした。

そしてイエスは弟子たちと共に海へ退き、ガリラヤから多くの群衆が彼に従った。そしてユダヤから、そしてエルサレムから、そしてイドマヤから、そしてヨルダンの向こうから、そしてティルスとシドンの周辺の人々、多くの群衆が、彼が行ったことをどれほど多く聞いて、彼のもとに来た。そして彼は弟子たちに、群衆が彼を押さないように、小舟を用意しておくように言った。というのは、彼は多くの人々を癒したので、鞭を持っていた人々が皆、彼に触れようとして彼に倒れかかったからである。そして、その汚れた霊たちは、彼を見るといつでも、彼の前に倒れ伏し、あなたは神の子であると叫んでいた。そして彼は彼らを厳しく叱責した、彼らが彼を明らかにしないように。

そして彼は山へ登り、彼自身が望んだ者たちを召し、そして彼らは彼のもとへ行った。そして彼は十二人を任命した。それは彼らが彼と共にいるためであり、また彼が彼らを派遣して宣教させるためであった。そして病気を癒し、悪霊を追い出す権威を持つこと。そして彼はシモンにペトロという名前を付けた。そして

ゼベダイの子ヤコブと、ヤコブの兄弟ヨハネに、彼らにボアネルゲスという名前を付けた。それは雷の子たちという意味である。そして、アンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルファイの子ヤコブ、タダイ、熱心党员シモン そしてイスカリオテのユダ、彼を引き渡した者である。

そして彼らは家に来る、そして群衆が再び集まって来る、その結果彼らはパンを食べることさえできない。そして彼の身内の者たちは聞いた後、彼を捕らえるために出て行った。なぜなら彼らは彼は気が狂ったと言っていたからである。そしてエルサレムから下って来た律法学者たちは、彼はベルゼブルを持っていると言い、また悪霊どもの支配者によって悪霊どもを追い出していると言っていた。そして彼らを召喚して、たとえ彼らに言った、どうしてサタンがサタンを追い出すことができるのか? そしてもし王国がそれ自身の上に分けられるなら、その王国は立つことができない。そして、もし家がそれ自体で分裂するなら、その家は立つことができない。そしてもしサタンが自分自身に対して立ち上がり、分割されているなら、立つことができず、むしろ終わりを迎える。誰も、まず強い者を縛らなければ、その家に入って強い者の持ち物を略奪することはできない。そうして初めて、その家を略奪することができる。まことに私はあなたたちに言う、人の子らのすべての罪と冒瀆は、彼らがどれほど多く冒瀆しようとも、赦されるであろう。しかし、聖霊を冒瀆する者は、永遠に赦しを持たず、永遠の裁きに対して有罪である。なぜなら、彼らは汚れた霊を持っていると言っていたからである。

それゆえ、彼の母と彼の兄弟たちが来て、外に立ったまま、彼を呼ぶために彼のもとに人を送った。そして群衆が彼の周りに座っていた、しかし彼らは彼に言った、見よ、あなたの母とあなたの兄弟たちが外であなたを探している。そして彼らに答えて言った、私の母とは誰か、または私の兄弟たちとは誰か? そして周りに座っている人々を見回して言う、見よ、私の母と私の兄弟た

ちを誰でも神の意志を行う者は、この者は私の兄弟、私の姉妹、そして母である。

4

そして再び海のそばで教え始めた。そして大きな群衆が彼のもとに集まったので、彼は船に乗って海の上に座り、そして群衆は皆、陸の上で海に向かっていた。そして彼は多くのたとえ話で彼らを教えており、そして彼の教えの中で彼らに言っていた、聞きなさい。見よ、種を蒔く者が種を蒔くために出て行った。そして種を蒔いているときに起こったことは、あるものは道の上に落ち、鳥たちが来てそれを食い尽くした。そして他のものは岩地に落ちた。そこには多くの土がなかった。そして直ちに芽を出した、土の深さがなかったために。太陽が昇ると焼かれ、そして根を持たないために枯れた。そして他のものは茨の中へ落ち、茨は生い茂り、それを窒息させ、実を結ばなかった。そして他のものは良い地に落ち、成長して育つ実を結び、三十倍、六十倍、百倍の実を生じた。そして彼は彼らに言った、聞くための耳を持っている者は聞きなさい。しかし、彼が独りになった時、彼の周りにいる者たちが十二人と共に、そのたとえ話について彼に尋ねた。そして彼は彼らに言った、あなたがたには神の国の奥義を知ることが与えられているが、外にいる者たちにはすべてがたとえで示される、見ている者が見ても見えず、聞いている者が聞いても理解しないようにするため、彼らが立ち返って、その罪が赦されることがないように。

そして彼らに言う、このたとえを知らないのか。それでどうやってすべてのたとえを理解できるだろうか。種を蒔く者は言葉を蒔く。これらの者は、道のそばで言葉が蒔かれる所の者である。そして彼らが聞くと、すぐにサタンが来て、彼らの心に蒔かれた言葉を取り去る。そしてこれらは同様に、岩の多い場所に蒔かれる者たちであり、彼らは言葉を聞く時、すぐに喜びと共にそ

れを受け取る。そして彼らは自分自身の中に根を持たず、一時的である。それから言葉のゆえに苦難または迫害が起こると、すぐに彼らはつまづく。そして、これらは茨の中に蒔かれる者たちであり、言葉を聞く者たちである。そしてこの時代の心配事と富の欺きと残りのものについての欲望が入って来て、その言葉を窒息させ、そして実を結ばないものとなる。そしてこれらは、その良い地に蒔かれた者たちであり、彼らは言葉を聞いて受け入れ、そして三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ。

そして彼は彼らに言っていた、まさかランプは升の下に置かれるため、または寝台の下に置かれるために来るのか? 燭台の上に置かれるためではないのか? 隠されたもので明らかにされないものはなく、秘密のものも、それが明らかになるため以外には存在しなかった。もし誰かが聞くための耳を持っているなら、その者は聞くがよい。そして彼は彼らに言った、何を聞くか注意なさい。あなたたちが測る尺度で、あなたたちに測られ、そして聞く者であるあなたたちに加えられるだろう。誰でも持つ者には与えられ、持たない者は、持っているものまでも取り去られるであろう。そして彼は言った、神の王国はこのようである。ある人が地に種を蒔くようなものである。そして彼は夜も昼も眠り、また起き、その種は芽を出して成長するが、彼自身はそれがどのようにしてなのか知らない。地は自ずから実を結ぶ。最初に草、それから穂、それから穂の中に満ちた穀物を。しかし、果実が実るときには、直ちに鎌を送る。なぜなら収穫の時が来たからである。

そして彼は言った、私たちは神の国をどのように例えようか? あるいは、どのような譬えでそれを比較しようか? からしの一粒のように、それが地に蒔かれる時、地上のすべての種の中で最も小さいものである、そしてそれが蒔かれると、成長してすべての野菜よりも大きくなり、大きな枝を作るので、天の鳥がその影の下に巣を作ることができる。

そして彼は、彼らが聞くことができる程度に応じて、多くのそのようなたとえ話で彼らに言葉を語っていた。たとえ話なしには彼らに言葉を話すことはなかったが、自分の弟子たちには個別にすべてを説明した。

そしてその日の夕方になったので、彼らに言う、向こう岸へ行こう。そして彼らは群衆を残して、彼が舟にいたままの状態を彼を連れて行った、そして他の舟も彼と共にあった。そして大きな風の嵐が起こり、波が船に打ちつけていたので、船はすでに沈みかけていた。そして彼自身は船尾で枕の上で眠っていた、そして彼らは彼を起こして彼に言う、先生、私たちが滅びていることはあなたにとって重要ではないのですか?そして目覚めると、彼は風を叱責し、海に言った、黙れ、静まれ。そして風は止み、大いなる風が生じた。そして彼らに言った、なぜあなたたちはこのように臆病なのか。どうして信仰を持たないのか。そして彼らは大きな恐れを恐れ、互いに言い合った、それでは、この者は誰なのか。風も海も彼に従うとは。

5

そして彼らは海の向こう側へ、ゲルゲセネ人の地へ来た。そして彼が船から出るとすぐに、汚れた霊に取り憑かれた人が墓場から彼に会いに来た。墓の中に住居を持っており、そして鎖でも誰も彼を縛ることができなかった者が彼はしばしば足枷と鎖で縛られていたが、その鎖は彼によって引き裂かれ、その足枷は粉碎されており、誰も彼を飼いならすことができなかったからである。そして夜も昼も、墓場や山の中で、彼は叫び続け、石で自分自身を傷つけていた。しかし、遠くからイエスを見て、走り寄り、彼を礼拝した。そして大きな声で叫んで言う、私とあなたに何の関係があるのか、イエス、最も高き神の子よ。神にかけてあなたに誓わせる、私を苦しめないでくれ。彼は彼に汚れた霊よ、その人から出て行けと言っていた。そして彼は彼に尋ねた、あな

たの名前は何か。すると答えて言った、私の名前は軍団である、なぜなら私たちは多いからだ。そして彼はその地の外に彼らを送らないようにと、彼に何度も懇願した。そして、そこには大きな豚の群れが、その山で草を食んでいた。そして、すべての悪霊たちは彼に懇願して言った、私たちが豚たちの中に送ってください、私たちがそれらの中に入れるように。そしてイエスはすぐに彼らに許した。そして汚れた霊たちは出て行って、ブタたちの中に入った。そして群れは崖に沿って海へ突進した。それらは約二千匹であった。そして彼らは海で溺れていた。そして豚を飼っていた者たちは逃げて、町と畑に報告した、そして人々は何が起こったのかを見るために出て行った。そして彼らはイエスのもとに来て、悪霊に憑かれていた者が座っており、着物を着て、正気で見えたのを見た。その者は軍団を持っていた者であった。そして彼らは恐れた。そして見た者たちは、悪霊に取りつかれた者にどのように起こったか、そして豚たちについて、彼らに語った。そして彼らは、彼に自分たちの境界から去るよう促し始めた。そして彼が船に乗り込んでいると、悪霊に取りつかれていた者が、彼と共にいられるようにと彼に懇願した。そして彼を許さなかったが、彼に言った、あなたの家へ、あなたの家族のもとへ行き、主があなたに行われたこと、どれほど多くのことを、そしてあなたを憐れまれたことを彼らに告げなさい。そして彼は去り、デカポリスでイエスが彼に行ったことのすべてを宣べ伝え始め、すべての人々は驚いた。

そしてイエスが船で再び向こう側へ渡った後、大きな群衆が彼のもとに集まった、そして彼は海のそばにいた。そして会堂指導者たちの一人、名前をヤイロスという者が来て、彼を見ると、その足元に倒れた。そして彼は何度も彼に懇願して言った、私の娘が瀕死の状態です。来て彼女に手を置いてください、そうすれば彼女は救われて生きるでしょう。そして彼と共に去った。そして大きな群衆が彼についていき、彼を押していた。そして十二年間、出血が続いている女性がいた。そして多くの医者たちによっ

て多くの苦しみを受け、彼女自身の全財産を使い果たし、何の助けも得られず、かえって悪化していた。イエスについて聞いて、群衆の中に来て後ろから彼の衣に触れた。彼女は自分自身の中で言っていた、もし私が彼の衣に触れさえすれば、私は救われるだろうと。そして直ちに彼女の血の源は乾き、その苦しみから癒されたことを体で知った。そしてすぐにイエスは、彼から力が出て行ったことを自分自身で認識し、群衆の中で振り向いて言った、誰が私の衣服に触れたのか。そして彼の弟子たちは彼に言った、あなたは群衆があなたを押しているのを見ているのに、誰が私に触れたのかと言うのですか。そして彼女は、これを行った女を見るために見回していた。しかしその女は恐れて震えながら、自分に起こったことを知って、来て彼の前にひれ伏し、彼にすべての真実を語った。しかし彼は彼女に言った、娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。平和のうちに行きなさい。そしてあなたの病から健康でありなさい。まだ彼が話している間に、会堂長のところから人々が来て言った、あなたの娘は死にました。なぜまだ先生を煩わすのですか。しかしイエスは、話されている言葉を直ちに聞いて、会衆の支配者に言う、恐れるな、ただ信じよ。そして彼は、ペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ以外は、誰も彼についてくることを許さなかった。そして会堂長の家に来ると、騒ぎと、泣いている者たちと、激しく嘆いている者たちを見る。そして入って彼らに言う、何を騒いで泣いているのか。その子供は死んでいない、眠っているのだ。そして彼らは彼を嘲笑した。しかし彼はすべての者を追い出して、その子供の父と母、そして彼と共にいる者たちを連れて行き、その子供が横たわっているところに入る。そして子供の手を取って、彼女に言う、タリタ、クーミ、これは翻訳すると、少女よ、あなたに言う、起きなさいである。そして直ちにその少女は起き上がり、歩いていた。なぜなら十二歳だったからである。そして彼らは非常に驚いた。そして彼は彼らに、誰もこのことを知らないようにと強く命じ、そして彼女に食べ物を与えるように言った。

そして彼はそこから出て行き、自分の故郷へ来た。そして彼の弟子たちが彼に従っていた。そして安息日になると、彼は会衆の中で教え始めた。そして多くの者たちが聞いて驚いて言った、どこからこの者にこれらのことが来たのか。そして彼に与えられたその知恵は何か。そしてそのような力が彼の手を通してなされている。この者は職人ではないか、マリアの息子で、ヤコブとヨセとユダとシモンの兄弟ではないか。そして彼の姉妹たちはここに私たちのところにいるではないか。そして彼らは彼につまずいた。イエスは彼らに言った、預言者が敬われないのは、自分の故郷、親族の間、そして自分の家においてである。そして彼はそこでいかなる力あるわざもすることができなかった。ただ少数の病人に手を置いて癒しただけであった。そして彼は、彼らの不信のゆえに驚いていた。そして彼は、周りの村々を巡りながら教えていた。

そして彼は十二人を召喚し、そして彼らを二人ずつ送ることを始め、そして彼らに汚れた霊たちの権威を与えていた、そして彼は彼らに命じた、道には杖のみを除いて何も持って行かないように、袋も、パンも、帯に銅貨も持たないように、しかし、サンダルを履き、二つのチュニックを着ないこと。そして彼は彼らに言った、もしあなたがたがどこかの家に入るなら、そこからあなたがたが出るまで、そこに留まりなさい。そして、もしあなたがたを受け入れず、あなたがたたちの言葉を聞かない者たちがいるならば、そこから出て行く時、あなたがたたちの足の下の塵を振り落として、彼らへの証言としなさい。まことに私はあなたがたたちに言う、裁きの日には、ソドムやゴモラの方が、あの町よりも耐えやすいであろう。そして出て行って、人々が悔い改めるように宣べ伝えた。そして彼らは多くの悪霊を追い出し、多くの病人に油を塗って癒していた。

そして王ヘロデは聞いた、なぜなら彼の名が明らかになったからである、そして彼は言っていた、洗礼者ヨハネが死者の中から起こされた、そしてこのゆえに力が彼の中に働いていると。他の者たちはエリヤであると言っていた。しかし他の者たちは預言者たちの中の一人のような預言者であると言っていた。しかし、ヘロデは聞いて言った、私が斬首したヨハネ、この者である、彼自身が死者の中から起こされたのだ。というのは、ヘロデ自身が人を送ってヨハネを捕らえ、彼を牢獄に縛ったからである。それは彼の兄弟ピリポの妻ヘロディアのゆえであった。なぜなら彼は彼女と結婚したからである。ヨハネはヘロデに言っていた。あなたの兄弟の妻を娶ることは、あなたに許されていない。そしてヘロディアスは彼に恨みを抱いており、彼を殺すことを望んでいたが、できなかった。なぜなら、ヘロデはヨハネを恐れていた。彼が正しく聖なる人であることを知って、彼を保護していたからである。そして彼の話を聞いて多くのことを行い、喜んで彼の話を聞いた。そして好機の日が来た時、ヘロデは彼の誕生日に、彼の偉大なる者たちと千人隊長たちとガリラヤの第一の者たちに晩餐を催した。そして彼女の娘、ヘロディアスの娘が入って来て踊り、ヘロデと共に食卓に着いていた者たちを喜ばせたので、王は少女に言った、あなたが欲するものを私に求めなさい、そうすれば私はあなたに与えるであろう。そして彼は彼女に誓った、もしあなたが私に求めるならば、私の王国の半分に至るまで、あなたに与えよう。彼女は出て行って、自分の母に何を求めましょうかと言った。母は洗礼者ヨハネの首をと言った。そして彼女は急いで王のもとに入り、言って求めた、私は望みます、あなたが今すぐ皿の上にバプテスマのヨハネの頭を私に与えることを。そして王は非常に悲しくなったが、誓いのためと共に食事をしている者たちのために、彼はそれを退けることを望まなかった。そして王は直ちに処刑人を送り、彼の首を運んでくるよう命じた。そして彼は去って行き、牢獄の中で彼の首を切り、その頭を大皿に載せて運び、それを少女に与えた。そして少女はそれを彼女の母に与

えた。そして彼の弟子たちは聞いた後、来て彼の遺体を引き取り、それを墓に納めた。

そして使徒たちはイエスのもとに集まり、彼にすべてを報告した、彼らがしたことと彼らが教えたことを。そして彼は彼らに言った、あなたたち自身で人里離れた場所に来て、少し休みなさい。というのも、来る人々と去っていく人々が多く、食べる暇さえなかったからである。そして彼らは船で人里離れた場所へ、自分たちだけで去って行った。そして私は彼らが去っていくのを見た、そして多くの人々が彼らを認識した、そして全ての都市から徒歩でそこへ駆けつけ、彼らより先に進んで彼のもとに集まった。そしてイエスは出て行って、多くの群衆を見て、彼らを憐れんだ。なぜなら、彼らは羊飼いを持たない羊のようであったからである。そして、彼は彼らに多くのことを教え始めた。そして既に多くの時間が経ったので、彼の弟子たちが彼に近づいて言った、この場所は荒れており、既に時刻も遅くなっています彼らを解放しなさい、彼らが周りの畑や村へ行って、自分たちのためにパンを買えるように。なぜなら、彼らは食べる物を持っていないからです。しかし彼は答えて彼らに言った、あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい。そして彼らは彼に言う、私たちが出かけて行って二百デナリでパンを買い、彼らに食べさせるのですか。しかし彼は彼らに言う、あなたがたはパンをいくつ持っているか？行って見よ。そして知って彼らは言う、五つ、そして魚二匹。そして彼は、すべての者を緑の草の上に宴会ごとに横たわらせるよう彼らに命じた。そして彼らは百人ずつ、五十人ずつの組に分かれて横たわった。そして五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて祝福し、パンを裂いて弟子たちに与え、彼らがそれを人々に配るようにし、また二匹の魚もすべての人に分け与えた。そして、すべての者が食べて、満たされた。そして彼らは断片で満たされた十二の籠を取り上げた、そして魚からも。そして、そのパンを食べた者は五千人の男たちであった。

そして彼は直ちに、彼の弟子たちに船に乗り込み、向こう側のベツサイダへ先に進むことを強制した。彼自身が群衆を解散させるまでの間。そして彼らに別れを告げて、祈るために山へ去った。そして夕方になったとき、その船は海の真ん中にあり、彼は一人で陸の上にいた。そして彼らが漕ぐのに苦しんでいるのを見て、というのは風が彼らに逆らっていたからである、そして夜の第四の見張り時ごろに海の上を歩いて彼らのところへ来る、そして彼らのそばを通り過ぎようとした。しかし彼らは、彼が海の上を歩いているのを見て、幻影であると思い、そして叫んだ。すべての者が彼を見て動揺したからである。そしてすぐに彼は彼らと話し、彼らに言う、勇気を持て、私だ、恐れるな。そして彼は彼らのところへ船に上がり、風はやんだ。そして彼らは非常に驚き、驚嘆していた。彼らはパンについて理解しなかった。なぜなら、彼らの心は硬くなっていたからである。

そして横切った後、彼らはゲネサレトの地に行き、錨を下ろした。そして彼らが船から出て来ると、すぐに人々は彼を認識した。彼らはその周辺地域全体を走り回り、そして担架の上に病人たちを、彼がそこにいと聞いた場所へ運び回り始めた。そして、彼がどこへ入って行っても、村々や町々や畑々において、その市場に病人たちを置き、彼らは彼に懇願した。彼の衣の房にでも触れることができるようにと。そして、彼に触れた者は皆、救われた。

7

そして、パリサイ人たちと、エルサレムから来た律法学者たちの何人かが、彼のもとに集まった。そして、彼の弟子たちのうちの何人かが、共通の手で、つまり洗っていない手で、パンを食べているのを見て、彼らは非難した。パリサイ人とすべてのユダヤ人は、長老たちの伝統を保持しており、拳で手を洗わなければ食べない。そして市場から帰った時、もし洗わなければ食べな

い。また他にも多くのことがあり、それを彼らは受けて守っている。杯、水差し、青銅器、そして寝台の洗いである。そして、パリサイ人たちと律法学者たちが彼に尋ねた、なぜあなたの弟子たちは長老たちの伝統に従って歩まないで、洗っていない手でパンを食べるのか。しかし彼は答えて彼らに言った、イザヤはあなたがた偽善者たちについてよく預言した。こう書かれている通りである。この民は唇で私を敬うが、しかし彼らの心は私から遠く離れている。しかし、人間の戒めを教えとして教えながら、彼らは無駄に私を崇拜する。

なぜなら神の戒めを捨てて、あなたがたは人間の伝統を保持している。水差しと杯の洗い、そして他の似たような多くのことをあなたがたは行っている。そして彼は彼らに言った、あなたがたは自分たちの伝統を守るために、神の戒めを見事に退けている。モーセは言った、あなたの父と母を敬え、そして父または母を悪く言う者は死によって死なせよと。しかしあなたたちは言う、もし人が父または母に、コルバン、すなわち贈り物です、あなたが私から益を受けるかもしれないものとは言え、そして、あなたがたは彼が自分の父または自分の母に何もすることを許さない。あなたがたが伝えたあなたがたの伝承によって神の言葉を無効にしておき、そして、そのような類似のことを多く行っている。そして、すべての群衆を呼び寄せて、彼は彼らに言った、私の言うことをすべて聞き、そして理解せよ。人の外から彼の中へ入ってくるもので、彼を汚すことができるものは何もない。しかし、出てくるものが人を汚すものである。そして群衆から家に入ったとき、彼の弟子たちはそのたとえ話について彼に尋ねていた。そして彼は彼らに言う、このようにあなたたちも理解力がないのか。まだ理解しないのか、すべて外から人間の中へ入るものは、彼を汚すことができないということ。それは彼の心の中に入らず、腹の中に入り、便所に出て行って、すべての食べ物を清めるからである。彼は言った、人から出て来るもの、それが人を汚すのである。なぜなら、内側から、すなわち人間の心か

ら、悪い考えが出てくるからである。姦淫、淫行、殺人。盗み、貪欲、邪悪、欺き、放蕩、邪悪な目、冒涇、傲慢、愚かさ、これらすべての悪は内側から出て行き、人を汚す。

そして、そこから立ち上がって、ティルスとシドンの境界へ去った。そして家に入り、誰にも知られることを欲しなかったが、気づかれないことはできなかった。というのは、ある女が彼について聞いた。その女の小さい娘は汚れた霊を持っていた。彼女は来て、彼の足元にひれ伏した。その女はギリシャ人で、種族的にはシリア・フェニキア人であった。そして彼女は、彼女の娘から悪霊を追い出してくださるようにと彼に願っていた。そしてイエスは彼女に言った、まず子供たちを満たすことを許さない。子供たちのパンを取って小さな犬たちに投げることは良くないからである。彼女は答えて彼に言った、はい、主よ、そして小さな犬たちは食卓の下で子供たちのパン屑から食べます。そして彼女にこう言った。この言葉のゆえに、行きなさい。悪霊はあなたの娘から出て行った。そして彼女の家へ去って行って、その子供が寝台の上に横たわっているのを見つけた。そして悪霊は出て行っていた。

そして再びツロとシドンの境界から出て行って、デカポリスの境界の中を通してガリラヤの海へ来た。そして彼らは彼のもとに、耳が聞こえず言葉の不自由な人を連れて来て、彼に手を置いてくださるよう懇願した。そして彼を群衆から離れて連れ出し、自分の指を彼の耳に入れ、そして唾を吐いて彼の舌に触れた、そして天を見上げて、彼は嘆息し、彼に言う、エッフアタ、それは開かれよである。そして直ちに彼の耳が開かれ、彼の舌の束縛が解かれ、そして彼は正しく話していた。そして彼は彼らに、誰にも言わないように命じた。しかし彼が彼らに命じれば命じるほど、彼らはますます多く宣べ伝えた。そして彼らは限りなく驚いて、彼はすべてをよく行った。耳の聞こえない者たちを聞こえるようにし、口のきけない者たちを話せるようにすると言った。

8

その日々に、再び多くの群衆がいて、食べる物を持っていなかったの、イエスは弟子たちを呼び寄せて彼らに言われた、私は群衆を憐れむ、なぜなら既に三日間彼らは私と共に留まっているが、食べる物を何も持っていないからだ。そして、もし私が彼らを空腹のまま家に帰らせるなら、彼らは途中で弱ってしまうだろう。なぜなら、彼らのうちの何人かは遠くから来ているからである。そして彼の弟子たちは彼に答えた、ここ荒野で、誰がどこからパンを得てこれらの人々を満たすことができるでしょうか。そして彼は彼らに尋ねた、あなたがたはパンをどれだけ持っていますか?彼らは言った、七つです。そして彼は群衆に地の上に横たわるように命じた。そして七つのパンを取り、感謝してそれを裂き、彼の弟子たちに与えて彼らが供するようにした。そして彼らは群衆に供した。そして彼らは少数の小魚を持っていた、そしてそれらを祝福して、それらをも配るように言った。彼らは食べて満たされ、断片の残り物七籠を取り上げた。彼らはおよそ四千人であり、彼は彼らを解散させた。そして、彼の弟子たちと共にすぐに船に乗り込んで、ダルマヌタの地方に来了。

そしてパリサイ人たちが出て行き、彼と議論し始めた。彼らは彼を試して、天からの印を彼に求めていた。そして彼は霊において深く溜息をついて言う、なぜこの世代はしるしを求めるのか。まことにあなたがたに言う、この世代にしるしは決して与えられない。そして彼らを後にして、船に乗り、再び去って行った。

そして彼らはパンを取ることを忘れ、一つのパンを除いて、船の中に自分たちと共に持っていなかった。そして彼は彼らに命じて言った、見よ、パリサイ人たちのパン種とヘロデのパン種に注意せよ。そして彼らは互いにパンを持っていないと言いながら論じ合っていた。そしてイエスは知って、彼らに言う、なぜあな

たがたはパンを持っていないからといって論じ合っているのか。まだ理解しないのか、悟らないのか。まだあなたがたの心はかたくなになっているのか。目を持っていながら見ないのか、そして耳を持っていながら聞かないのか?そして覚えていないのか?

私が五つのパンを五千人のために裂いた時、あなたがたはパン屑でいっぱいになった籠をいくつ集めましたか?彼らは彼に十二ですと答えた。しかし、その七つをその四千人へ分けた時、あなたがたは何個の籠いっぱいの断片を取り上げましたか?彼らは言った、七つです。そして彼は彼らに言った、あなたがたはまだ理解しないのか。

そして彼はベツサイダに來た。そして彼らは盲人を彼のもとに連れて来て、その人に触れてくださるよう彼に懇願した。そして盲人の手を取って、彼を村の外へ連れ出した。そして彼の目に唾を吐き、彼に手を置いて、彼に何か見えるかと尋ねた。そして見上げて彼は言った、私には人々が木のように歩いているのが見えます。そして再び彼の目の上に手を置き、彼を見上げさせた。そして彼は回復され、すべてを明瞭に見た。そして彼を彼の家へ送り、村に入るな、また村の誰にも言うなと言った。

そしてイエスと彼の弟子たちはピリポのカイサリアの村々へ出て行った。そして道の途中で、彼は弟子たちに尋ねて言った、人々は私を誰であると言っているか。彼らは答えた、洗礼者ヨハネですと。そして他の者たちはエリヤですと、また他の者たちは預言者の一人ですと。そして彼は彼らに言った、しかしあなたがたは私を誰だと言うのか?答えてペテロが彼に言った、あなたはキリストです。そして彼は、誰にも彼について言わないように、彼らを叱責した。

そして彼は、人の子が多く of の苦しみを受け、長老たちと祭司長たちと律法学者たちから拒絶され、殺され、三日の後に起き上

がることが必要であると、彼らに教え始めた。そして彼は率直にその言葉を話していた。そしてペテロは彼を脇へ連れて行き、彼を叱責し始めた。しかし彼は振り向いて弟子たちを見て、ペテロを叱責して言った、去れ、サタンよ、私の後ろへ。なぜならあなたは神の事を思わず、人間の事を思っているからだ。

そして彼は群衆を弟子たちと共に召し寄せて、彼らに言った、誰でも私の後に従いたいと欲する者は、自分自身を否定し、自分の十字架を取り上げ、そして私に従え。なぜなら、誰でも自分の魂を救おうと欲する者は、それを失うだろう。しかし、私のため、そして福音のために自分の魂を失う者は、それを救うだろう。人は全世界を得ても、自分の魂を失うなら、何の利益があるだろうか。または人は自分の魂の交換として何を与えるだろうか? もし誰かがこの姦淫と罪の世代の中で私と私の言葉を恥じるならば、人の子もまた、父の栄光のうちに聖なる天使たちと共に来るとき、その者を恥じるであろう。

9

そして彼は彼らに言った、まことに私はあなたがたに言う。ここに立っている者たちの中には、神の王国が力をもって来るのを見るまで、決して死を味わわない者たちがいる。

そして六日の後、イエスはペトロとヤコブとヨハネを連れて行き、彼らだけを高い山へ連れて上った。そして彼らの前で変貌させられた。そして彼の衣服は輝き、雪のように非常に白くなった。それは地上のどの漂白工もこれほど白くすることができないようなものであった。そして、エリヤがモーセと共に彼らに現れた、そして彼らはイエスに語り合っていた。そして、ペテロが答えてイエスに言う、ラビ、私たちがここにいるのは良いことです。幕屋を三つ作りましょう。あなたに一つ、モーセに一つ、そしてエリヤに一つを。彼は何を話すべきか知らなかった、なぜな

ら彼らは恐れおののいていたからである。そして雲が彼らを覆い、雲から声が来て言った、これは私の愛する息子である、彼の言うことを聞け。そして突然周りを見回すと、もはや誰も見えず、ただイエスだけが彼らと共にいた。しかし彼らが山から下って行く時、彼らに命じた、誰にも彼らが見たことを語らないように、ただし人の子が死者の中から起きる時までは。そして彼らはその言葉を心に留め、死者の中から起き上がるとはどういうことかを互いに論じ合った。そして彼らは彼に尋ねて言った、律法学者たちは、エリヤがまず来なければならないと言っていますが。しかし彼は答えて彼らに言った、エリヤは確かに最初に来てすべてを回復する。そして人の子について、多くの苦しみを受け、軽蔑されるとどのように書かれているのか。しかし、私はあなたがたに言う。エリヤも来た。そして彼らは、彼について書かれているように、彼らが望んだだけのことを彼に行ったのである。

そして弟子たちのところに来ると、彼らの周りに大勢の群衆と、彼らと議論している律法学者たちを見た。そして直ちに、群衆は皆、彼を見て驚き、走り寄って彼に挨拶した。そして、その律法学者たちに尋ねた、あなたがたは何を自分たちの間で議論しているのか。そして群衆の中から一人が答えて言った、先生、私は口のきけない霊に取り憑かれている私の息子をあなたのもとへ連れて来ました。そして、どこで彼を捕らえても、それは彼を投げ倒し、泡を吹かせ、歯をきしらせ、体を硬直させます。それで私はあなたの弟子たちに、それを追い出すように言いましたが、彼らにはできませんでした。しかし、彼は答えて彼に言う、ああ、不信仰な世代よ、いつまで私はあなたがたと共にいるだろうか。いつまで私はあなたがたを耐えるだろうか。彼を私のところに連れて来なさい。そして彼らは彼を彼のところに連れて来た。そして彼を見ると、即座にその霊が彼を痙攣させ、そして地面に倒れて泡を吹きながら転がった。そして彼は父親に尋ねた、これが彼に起こってからどれくらいになりますか。父親は答えた、幼少期からです。そしてしばしば彼を火の中に投げ込み、また水の

中に投げ込んで、彼を滅ぼそうとしました。しかし、もし何かおできになるなら、私たちを憐れんで、私たちを助けてください。しかしイエスは彼に言った、もしあなたが信じることができるなら、信じる者にはすべてが可能である。そして、その子供の父は涙を流しながら直ちに叫んで言った、私は信じます、主よ、私の不信仰をお助けください。イエスは群衆が駆け寄って来るのを見て、汚れた霊を叱責して言われた、口がきけず耳が聞こえない霊よ、わたしはあなたに命じる。この子から出て行け。そして二度と入るな。そして叫び、激しく痙攣させた後、彼から出て行った。そして彼は死んだ者のようになったので、多くの人々が彼は死んだと言った。しかしイエスは彼の手を掴んで起こすと、彼は立ち上がった。そして彼が家に入ると、弟子たちは個人的に彼に尋ねた、なぜ私たちはそれを追い出すことができなかったのですか。そして彼らに言った、この種類は祈りと断食によらなければ、決して追い出すことはできない。

そして、そこから出て行った後、彼らはガリラヤを通り過ぎていた。そして、彼は誰かが知ることを望まなかった。彼は弟子たちを教えていた。そして彼は彼らに言った、人の子は人々の手に引き渡され、彼らは彼を殺すだろう。そして殺された後、三日目に彼はよみがえるだろう。しかし彼らはその言葉を理解せず、彼に尋ねることを恐れた。

そして彼はカペルナウムに来た、そして家の中にいた時、彼らに尋ねた、道中で互いに何を議論していたのか。しかし彼らは沈黙していた、なぜなら道中で互いに誰がより偉大かを議論していたからである。そして座って、彼は十二人を呼び、彼らに言う、もし誰かが第一でありたいと望むなら、その者はすべての者の最後となり、すべての者の僕となるであろう。そして子供を取って、それを彼らの真ん中に立たせ、そしてそれを抱きしめて彼らに言った、誰でも、このような子供たちの一人を私の名において受け入れるなら、私を受け入れるのである。そして誰でも私を

受け入れるなら、私を受け入れるのではなく、私を送った方を受け入れるのである。ヨハネは彼に答えて言った、先生、私たちはある人があなたの名において悪霊を追い出しているのを見ました。その人は私たちに従わないので、私たちは彼を禁じました。なぜなら彼は私たちに従わないからです。しかしイエスは言った、彼を止めるな。私の名において力あるわざを行いながら、すぐに私を悪く言うことができる者は誰もいないからである。なぜなら、あなたがたに逆らわない者は、あなたがたの味方だからです。誰でもあなたがたに一杯の水を私の名において飲ませる者は、あなたがたがキリストのものであるゆえに、まことに私はあなたがたに言う、決してその報いを失うことはない。

そして、私を信じているこれらの小さい者たちの一人を躓かせる者は、むしろ彼の首に白石が掛けられて海に投げ込まれる方が、彼にとって良いのである。もしあなたの手があなたをつまづかせるなら、それを切り落としなさい。不具のまま命に入る方が、両手を持ったままゲヘナへ、消えない火の中へ去るよりも、あなたにとって良いのである。彼らの虫が死なず、その火が消されないところで。もしあなたの足があなたをつまづかせるなら、それを切り落としなさい。二つの足を持ったままゲヘナの消えない火に投げ込まれるよりも、足が不自由なまま生命に入る方があなたにとって良いのである。彼らの虫が死なず、その火が消されないところで。もしあなたの目があなたをつまづかせるなら、それを抉り出しなさい。二つの目を持って火のゲヘナへ行くよりも、片目で神の国に入る方が、あなたにとって良い。彼らの虫が死なず、その火が消されないところで。すべての者は火で塩漬けにされ、すべてのいけにえは塩で塩漬けにされるだろう。塩は良いものである。しかし、もし塩が塩気を失ったなら、何によってそれを味付けするだろうか?あなたがた自身の内に塩を持ち、互いに平和でありなさい。

そしてそこから立ち上がって、ヨルダンの向こう側を通してユダヤの境界へ来る。そして再び群衆が彼のもとに集まって来た。そして慣れていたように、再び彼らを教えていた。そしてパリサイ人たちが近づいて、彼を試しながら、男が妻を離縁することは許されているかと彼に尋ねていた。しかし、彼は答えて彼らに言った、モーセはあなたがたに何を命じたのか。彼らは言った、モーセは離縁状を書いて離縁することを許しました。そしてイエスは答えて彼らに言われた、あなたがたの心の頑なさのゆえに、彼はあなたがたにこの戒めを書いたのである。しかし創造の始めから、神は彼らを男性と女性に造られた。このゆえに、人はその父と母を離れ、その妻と結ばれ、二人は一体となるであろう。それで、もはや二つではなく、一つの肉である。それゆえ、神が結合したものを、人は分離させてはならない。そして再び家の中で、弟子たちはこのことについて彼に尋ねていた。そして彼らに言う、自分の妻を離婚して他の女と結婚する者は、彼女に対して姦淫を犯すのである。そしてもし女がその男を離婚して他の者と結婚するなら、姦淫を犯す。

そして人々は子供たちを彼のもとに連れて来ていた、彼が子供たちに触れるために。しかし弟子たちは連れて来る者たちを叱責していた。イエスはそれを見て憤慨し、彼らに言った、子供たちを私のところに来させなさい。彼らを妨げてはならない。神の王国はそのような者たちのものだからである。まことに、私はあなたがたに言う。誰でも、もし神の王国を子供のように受けなければ、決してその中に入ることはない。そして彼らを抱きしめた後、手を彼らの上に置きながら、彼は祝福した。

そして彼が道へ出て行く時、一人が走って来て、彼の前にひざまずき、彼に尋ねた、良い先生、永遠の命を受け継ぐために、私は何をすればよいでしょうか。しかしイエスは彼に言った、なぜ私を良いと言うのか?神お一人のほか、良い者は誰もいない。あなたは戒めを知っている。姦淫してはならない、殺してはなら

ない、盗んではならない、偽証してはならない、奪ってはならない、あなたの父と母を敬え。彼は答えて言った、先生、これらすべてを私は若い時から守ってきました。しかしイエスは彼を見つめて愛し、彼に言った、あなたには一つ欠けている。もしあなたが完全でありたいなら、行って、あなたが持っているものをすべて売り、貧しい人々に与えなさい。そうすればあなたは天に宝を持つだろう。そしてここに来て、あなたの十字架を取り上げて、私に従いなさい。しかし彼はその言葉に陰気になって、悲しみながら去って行った。なぜなら多くの財産を持っていたからである。

そしてイエスは見回して、彼の弟子たちに言う、お金を持っている者たちが、神の王国に入ることは、なんと困難なことか。弟子たちは彼の言葉に驚いていた。しかしイエスは再び答えて彼らに言う、子供たちよ、富に信頼している者たちが神の王国に入ることは、どれほど難しいことか。ラクダが針の穴を通して入ることは、金持ちが神の王国に入ることより容易である。彼らは過度に驚いて、自分たち自身に向かって言った、それでは誰が救われることができるのか。イエスは彼らを見つめて言う、人間には不可能であるが、神にはそうではない。なぜなら神にはすべてが可能であるから。ペトロは彼に言い始めた、見よ、私たちはすべてを去り、あなたに従いました。イエスは答えて言われた、まことに、あなたがたに言う。私のため、そして福音のために、家、兄弟、姉妹、父、母、妻、子供、畑を捨てた者で、もし今のこの時に、家々、兄弟たち、姉妹たち、父、母、子供たち、畑を迫害と共に百倍受け取らず、また来るべき時代に永遠の命を受け取らないならば。しかし、多くの最初の者が最後になり、最後の者が最初になるであろう。

彼らはエルサレムへ上って行く途中にいた。そしてイエスが彼らの先を行っていた。そして彼らは驚いていた。そして従っている者たちは恐れていた。そして再び十二人を連れて行って、彼

は彼らに、彼に起こることになっていることを語り始めた。見よ、私たちはエルサレムへ上って行く。そして人の子は祭司長たちと律法学者たちに引き渡されるだろう。そして彼らは彼に死を宣告し、彼を異邦人たちに引き渡すだろう。そして彼らは彼を嘲り、彼を鞭打ち、彼に唾を吐きかけ、彼を殺すだろう。そして三日目に彼は起き上がるだろう。

そして、ゼベダイの息子たちであるヤコブとヨハネが彼に近づき、言った。先生、私たちが求めることを私たちのためにしてください。しかし彼は彼らに言った、あなたがたは私に何をしてほしいのか? 彼らは彼に言った、私たちに与えてください、一人があなたの右に、一人があなたの左に座ることができるように、あなたの栄光において。しかしイエスは彼らに言った、あなたがたは自分が何を求めているのか知らない。あなたがたは私が飲む杯を飲み、私が受けるバプテスマを受けることができるか。彼らは彼に言った、私たちはできます。しかしイエスは彼らに言った、確かに私が飲むその杯を、あなたがたは飲むだろう、そして私が受けるその洗礼を、あなたがたは受けるだろう。しかし、私の右と左に座することは、私が与えるものではなく、準備されている人々のためのものである。

そして十人はそれを聞いて、ヤコブとヨハネについて憤慨し始めた。しかしイエスは彼らを召し寄せて言った、あなたがたは知っている。諸国民を支配すると見える者たちは彼らを支配し、また彼らの偉大な者たちは彼らに権力を行使する。しかし、あなたがたの間ではそうではない。むしろ、あなたがたの間で偉大になりたいと思う者は、あなたがたの僕となるであろう。そして、あなたがたの中で第一になりたいと思う者は、すべての人の奴隷となるであろう。なぜなら、人間の息子は仕えられるために来たのではなく、仕えるために、そして彼の魂を多くの者の代わりに身代金として与えるために来たからである。

そして彼らはエリコに来た。そして彼が弟子たちと大勢の群衆とともにエリコから出て行くとき、ティマイオスの息子バルティマイオスという盲人が道の傍らに座って物乞いをしていた。そしてイエスがナザレ人であることを聞いて、叫び始めて言った、ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください。そして多くの人々が彼を叱責して黙らせようとしたが、彼はますます大声で叫んだ、ダビデの子よ、私を憐れんでください。そしてイエスは立ち止まって言った、彼を呼びなさい。そして彼らは盲人を呼んで彼に言った、勇気を出しなさい、起きなさい、あなたを呼んでいます。しかし彼は自分の外套を投げ捨て、立ち上がって、イエスのもとに来た。そしてイエスは答えて彼に言う、何をあなたは私にしてほしいのか。そして盲人は彼に言った、ラボニ、私が見えるようになるために。そしてイエスは彼に言った、行きなさい、あなたの信仰があなたを救った。するとすぐに見えるようになり、道でイエスに従った。

11

そして彼らがエルサレムへ、ベツファゲとベタニアへ、オリブの山に向かって近づいたとき、彼は弟子たちのうち二人を遣わした。そして彼らに言う、行きなさい、あなたがたの向かいにある村へ。そしてすぐにそこに入ると、つながれた子ろばを見つけるだろう。それにはまだ誰も人間が座ったことがない。それを解いて連れて来なさい。そして、もし誰かがあなたがたに何をしているのかと言ったら、主がそれを必要としていると言いなさい。そうすれば、すぐにそれをここに送り返すであろう。彼らは去って、戸の外の通りに縛られている子馬を見つけ、それを解いた。そして、そこに立っていた者たちの何人かが彼らに言った、子馬をほどいて、何をしているのか 彼らはイエスが命じた通りに彼らに言った、そして彼らは彼らを放った。そして彼らはその子馬をイエスのもとに連れて来て、その上に自分たちの衣服を掛け、そしてイエスはその上にお座りになった。多くの者は自分た

ちの衣服を道に敷いた。また他の者たちは木々から葉の付いた枝を切り、道に敷いていた。そして先を行く者たちと従う者たちが叫んでいた、ホサナ、祝福されよ、主の名において来る者 祝福されよ、来たる王国、私たちの父ダビデの主の名において。ホサナ、いと高きところに。

そしてイエスはエルサレムに入り、神殿に入った。そしてすべてを見回し、時がすでに夕方であったので、十二人と共にベタニアへ出て行った。

そして次の日、彼らがベタニアから出て来たとき、空腹になった。そして遠くからいちじくの木が葉を持っているのを見て、もし何か見つけれられるだろうかとそこへ来た。そしてそこへ来ると葉以外何も見つけなかった。なぜならいちじくの季節ではなかったからである。そして答えて、これに言った、もはや永遠にあなたから誰も実を食べることがないように。そして彼の弟子たちは聞いていた。

そして彼らは再びエルサレムへ来た。そしてイエスは神殿に入り、神殿で売っている者たちと買っている者たちを追い出し始め、両替商たちの机と鳩を売っている者たちの椅子を倒した。そして彼は、誰かが神殿を通して器を運ぶことを許さなかった。そして彼は彼らに教えて言った、私の家は、すべての国々に祈りの家と呼ばれると書かれているではないか。しかしあなたがたはそれを強盗の洞窟にした。

律法学者たちとパリサイ人たちと祭司長たちはこれを聞いた。そして彼らは、どのようにして彼を滅ぼすかを探し求めている。彼らは彼を恐れていた。なぜなら、すべての群衆が彼の教えに驚嘆していたからである。そして遅くなったとき、彼は都市の外へ出て行った。

そして朝、通り過ぎるときに、そのいちじくの木が根から枯れているのを見た。そして思い出したペテロは彼に言う、ラビ、見てください、あなたが呪ったいちじくの木が枯れました。そしてイエスは答えて彼らに言う、神への信仰を持ちなさい。まことに、私はあなたがたに言う。もし誰かがこの山に持ち上げられて海に投げ込まれよと言い、心の中で疑わず、自分が言うことが起こると信じるなら、その人が言うことは彼に起こるだろう。だから、わたしはあなたがたに言う。祈り求めるものはすべて、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、あなたがたにそのとおりになる。そして、あなたがたが立って祈るときはいつでも、もし誰かに対して何か持っているなら、赦しなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの過ちを赦してくださるであろう。もしあなたがたが赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪を赦さないだろう。

そして彼らは再びエルサレムへ来た。そして神殿の中を彼が歩いていると、祭司長たちと律法学者たちと長老たちが彼のところへ来た。そして彼らは彼に言った、何の権威でこれらのことをするのか?それとも、誰があなたにこの権威を与えて、これらのことをさせるのか?しかし、イエスは答えて彼らに言った、私もあなたがたに一つの言葉を尋ねよう。私に答えよ。そうすれば、私は何の権威においてこれらのことをするのかをあなたがたに言おう。ヨハネの洗礼は天からであったのか、それとも人間からであったのか。私に答えよ。そして彼らは互いに考えあつた、もし私たちが天からと言え、彼はそれならなぜあなたがたは彼を信じなかったのかと言うだろうと。しかし、人間から出たもののだと言おうか?彼らは民衆を恐れた。なぜなら、すべての人々がヨハネを預言者だと思っていたからである。そして答えて彼らはイエスに言う、私たちは知りません。そしてイエスは答えて彼らに言う、私もあなたたちに言わない、何の権威においてこれらのことを私がするのかを。

そして彼は彼らにたとえ話で話し始めた。ある人がぶどう園を植え、周りに囲いを置き、酒ぶねを掘り、塔を建て、それを農夫たちに貸して旅立った。そして、その時に農夫たちのところへ奴隷を送った。それは農夫たちから葡萄園の果実を受け取るためであった。そして彼を捕まえて打ち、何も持たせずに送り返した。そして再び彼らに向かって別の奴隷を送った。そしてあの者を石打ちにして頭に傷を負わせ、侮辱して送り返した。そして再び別の者を送ったが、その者も彼らは殺した。そして多くの他の者たちも送ったが、ある者たちは打たれ、ある者たちは殺された。それゆえ、まだ一人の愛する息子を持っていたので、彼は最後にその息子をも彼らのもとへ送り、私の息子なら尊敬するだろうと言った。しかしあの農夫たちは、彼が来るのを見て、互いに言った、この者は相続人である。来い、彼を殺そう。そうすれば相続財産は我々のものになるだろう。そして彼を捕まえて殺し、ぶどう園の外へ投げ出した。それゆえ、ぶどう園の主は何をするだろうか?彼は来て、これらの農夫たちを滅ぼし、そして、ぶどう園を他の者たちに与えるだろう。またこの書をあなたがたは読んだか。建てる者たちが退けた石、これが隅の頭石となった。これは主から起こったことであり、私たちの目には驚くべきことである。

そして彼らは彼を捕まえようとしていたが、群衆を恐れた。というのは、彼らに向かってそのたとえを語ったことを知ったからである。そして彼を残して彼らは去って行った。

そして彼らは、彼を言葉で捕まえるために、パリサイ人たちとヘロデ党の人たちの何人かを彼のもとに送る。そして彼らは来て彼に言った、先生、私たちはあなたが真実な方であり、誰のことも気かけないことを知っています。なぜならあなたは人の顔色を見ず、真理に基づいて神の道を教えておられるからです。そ

れゆえ私たちに教えてください、カエサルに貢ぎ物を納めることは許されていますか、それとも許されていませんか。私たちは納めるべきでしょうか、それとも納めるべきではないでしょうか。しかし、彼は彼らの偽善を知って、彼らに言った、なぜ私を試すのか。私にデナリオンを持って来なさい、そうすれば私が見よう。彼らは持ってきた。そして彼は彼らに言う、この肖像と碑文は誰のものか。彼らは言った、カエサルのものです。そしてイエスは答えて彼らに言った、カエサルのはカエサルに返し、神のものは神に返しなさい。そして彼らは彼のことに驚いた。

そしてサドカイ人たちが彼のもとに来た。彼らは復活がないと言う者たちであった。そして彼らは彼に尋ねて言った、先生、モーセは私たちに書き残しました。もしある人の兄弟が死んで妻を残し、子供を残さなかった場合、その兄弟が彼の妻を娶り、彼の兄弟のために子孫を起こすべきであると。七人の兄弟がいた。そして最初の者が妻を娶り、死ぬ時に子孫を残さなかった。そして二番目の者が彼女を娶り、死んだが、彼もまた子孫を残さなかった。三番目の者も同様であった。そして七人は彼女をめとったが、子孫を残さなかった。すべての最後に、その女も死んだ。それゆえ復活において、彼らが起き上がる時、彼女は彼らのうちの誰の妻になるのだろうか。なぜなら七人が彼女を妻としていたからである。そしてイエスは答えて彼らに言った、あなたがたが迷っているのは、聖書も神の力も知らないからではないか。なぜなら、死者の中から復活する時、彼らは結婚することもなく、結婚させられることもなく、天にいる天使たちのようだからである。しかし、死者たちが起こされることについて、あなたがたはモーセの書の中の、柴の箇所、神が彼にどのように言われたか読まなかったのですか。私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神であると言って。神は死者の神ではなく、生きている者の神である。それゆえ、あなたがたは大いに誤っている。

そして律法学者たちの一人が近づいた。彼らが議論しているのを聞き、よく彼らに答えたのを見たので、彼に尋ねた、すべての戒めの中で第一のものは何ですか? しかしイエスは彼に答えた、すべての戒めの第一は、聞け、イスラエルよ、私たちの神である主は、唯一の主である あなたは、あなたの神である主を、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして愛しなさい。これが第一の戒めである。そして第二のものはこれに似ている。あなたは自分自身を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい。これらより大きい他の戒めは存在しない。そして律法学者は彼に言った、先生、よく言われました。あなたは真理に基づいて、神は一つであり、その方のほかに他はいないと言われました。そして、心の全体から、理解の全体から、魂の全体から、力の全体から彼を愛すること、そして隣人を自分自身のように愛することは、すべての全焼の捧げ物と犠牲よりも優れている。そしてイエスは、彼が賢く答えたのを見て、彼に言った、あなたは神の王国から遠くない。そして誰ももはや彼に尋ねることを敢えてしなかった。

そして、イエスは神殿で教えながら答えて言われた、律法学者たちは、どのようにしてキリストがダビデの息子であると言うのか。ダビデ自身が聖霊において言ったからである。主が私の主に言われる、私の右に座れ、私があなたの敵たちをあなたの足の足台とするまで。それゆえダビデ自身が彼を主と呼ぶのに、どうして彼の息子なのか?そして大勢の群衆は喜んで彼の話を聞いていた。

そして彼は自分の教えの中で彼らに言った、律法学者たちに気をつけなさい。彼らは衣を着て歩くことを望み、市場で挨拶を受けることを望んでいる。そして会堂における主席と、宴会における上座を。やもめたちの家をむさぼり食い、そして口実として長く祈るこれらの者たちは、より大きな裁きを受けるだろう。

そしてイエスは宝物庫の向かい側に座って、群衆がどのように青銅貨を宝物庫に投げ入れるかを見ていた。そして多くの金持ちたちが多くを投げ入れていた。そして一人の貧しい寡婦が来て、小錢二つを投げ入れた。それはコドラントである。そして彼の弟子たちを召して、彼らに言った、まことに、私はあなたがたに言う、この貧しいやもめは、宝物庫に献金している全ての人々よりも多く投げ入れた。すべての人々は彼らの豊かさから投げ入れたが、この女は彼女の貧しさから持っていたすべてを投げ入れた、彼女の生活のすべてを。

13

そして彼が神殿から出て行くとき、彼の弟子たちの一人が彼に言う、先生、見てください、何という石、そして何という建物でしょう。そしてイエスは答えて彼に言った、あなたはこれらの大きな建物を見ているのか。ここには石の上に石が残されることはなく、すべて投げ倒されるであろう。そして彼が神殿の向かい側のオリーブの山に座っていた時、ペテロとヤコブとヨハネとアンデレが個人的に彼に尋ねていた。私たちに言ってください、これらのことはいつ起こるのでしょうか、そしてこれらすべてのことが完了しようとする時のしるしは何でしょうか。そしてイエスは答えて彼らに言い始めた、誰かがあなたがたを惑わすことがないように気をつけなさい。なぜなら、多くの者が私の名において来て、私がそれであると言い、多くの人々を惑わすからである。しかし、あなたがたが戦争や戦争の噂を聞くときには、動揺してはならない。それは必ず起こらなければならないが、しかしまだ終わりではない。民族は民族に対して立ち上がり、王国は王国に対して立ち上がるだろう。そして、方々で地震があり、飢饉と騒乱があるだろう。これらは産みの苦しみの始まりである。しかし、あなたがた自身に気をつけなさい。なぜなら、彼らはあなたがたを会議に引き渡し、彼らの会衆において打たれ、そして指導者たちや王たちの前に立たされるだろう、私のゆえに、彼らへの

証言のために。そして、その良い知らせは、最初にすべての国々に宣言されることが必要である。しかし、彼らがあなたがたを引き渡して連れて行く時には、何を話そうかと前もって心配してはならない。また練習してもならない。その時にあなたがたに与えられるもの、それを話しなさい。なぜなら、話すのはあなたがたではなく、聖霊だからである。兄弟は兄弟を死に引き渡し、父は子供を引き渡し、子供たちは両親に立ち向かい、彼らを死に至らしめるだろう。そして、あなたがたは私の名のゆえにすべての人々によって憎まれるだろう。しかし、終わりまで耐えた者は救われるだろう。

しかしあなたがたが、預言者ダニエルによって語られた荒廃の憎むべきものが、立つべきでない所に立っているのを見たなら、読者は理解せよ、その時ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。屋根の上にいる者は、家の中に降りてはならず、また家から何かを取り出すために入ってもならない。そして畑にいる者は、自分の衣を取るために後ろに戻ってはならない。しかし、あの日々において胎内に子を宿している者たちと、授乳している者たちには災いがある。しかし、あなたがたの逃亡が冬にならないように祈りなさい。なぜなら、それらの日々は苦難となるだろう。そのような苦難は、神が創造された創造の始まりから今まで起こったことがなく、また決して起こらないであろう。そしてもし主がその日々を短くしなかったならば、すべての肉は救われなかったであろう。しかし彼が選んだ選ばれた者たちのために、彼はその日々を短くした。そしてその時、もし誰かがあなたがたに見よ、ここにキリストが、見よ、そこにとっても、信じてはならない。偽キリストたちと偽預言者たちが起こされるだろう。なぜなら、彼らはしるしと不思議を与え、もし可能ならば、選ばれた者たちをも惑わすためである。しかし、あなたたちは気をつけなさい。見よ、私はあなたたちにすべてを前もって告げた。しかし、あの日々に、あの苦難の後、太陽は暗くなり、月はその光を放たないであろう。そして、星たちは天から落ちるであろう、そして、天

にある力たちは揺り動かされるであろう。そしてその時、彼らは人の子が大いなる力と栄光とともに雲に乗って来るのを見るだろう。そしてその時、彼は自分の使者たちを送り、四つの風から、地の端から天の端まで、自分の選ばれた者たちを集めるだろう。

しかし、いちじくの木から警えを学べ。その枝がすでに柔らかくなり、葉を芽吹くとき、夏が近いことを知れ。このように、あなたがたも、これらのことが起こるのを見るときはいつでも、それが戸口まで近づいていることを知りなさい。まことに、あなたがたに言う。これらのことがすべて起こるまで、この世代は決して過ぎ去ることはない。天と地は過ぎ去るが、私の言葉は決して過ぎ去ることはない。

しかし、その日またはその時については、誰も知らない。天にいる天使たちも知らず、息子も知らない。ただ父だけが知っている。見よ、警戒し、そして祈れ。あなたがたはその時がいつであるかを知らないからである。旅に出る人のように、彼の家を去り、彼の奴隷たちに権威を与え、それぞれに彼の仕事を与え、そして門番に見張るように命じた。だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは知らないからである、家の主人がいつ来るのか、夕方か、真夜中か、鶏鳴の時か、明け方か。突然来たときに、あなたたちが眠っているのを見つけないように。しかし、あなたがたに言うことを、すべての人に言う。目を覚ましていなさい。

14

過越祭と種なしパンの祭りは二日後であった。そして、祭司長たちと律法学者たちは、どのようにして欺きによって彼を捕らえて殺すかを探していた。彼らは言っていた、祭りの最中ではないけない、民の騒動が起こるといけないから。

そして彼がベタニアにいて、らい病人シモンの家で横たわっていた時、純粋で高価なナルドの香油の雪花石膏の壺を持っている女が来て、その雪花石膏の壺を壊して、彼の頭に注いだ。しかし、ある者たちが自分たち自身に向かって憤慨しながら言っていた、何のためにこの香油の破壊が起こったのか。この香油は三百デナリオン以上で売ることができ、貧しい者たちに与えることができたであろう。そして彼らは彼女を叱責していた。しかしイエスは言った、彼女をそのままにさせよ。なぜ彼女に労苦を引き起こすのか?彼女は私に良い働きを行ったのだ。あなたがたはいつも貧しい人々を自分たちと共にいるが、望むときにはいつでも彼らに善いことをすることができる。しかし私はいつもあなたがたと共にいるわけではない。この女は自分が持っていたものでそれを行い、私の体を埋葬のために前もって塗油した。まことに私はあなたたちに言う、どこでもこの良い知らせが全世界に宣べ伝えられるなら、この女性が行ったことも彼女の記念として語られるだろう。

そしてイスカリオテのユダは、十二人の一人であったが、彼を彼らに引き渡すために祭司長たちのもとへ去った。彼らは聞いて喜び、彼に銀貨を与えることを約束した。そして彼はどのように好機に彼を引き渡すかを探していた。

そして種なしパンの最初の日に、過越しを犠牲にしていた時、彼の弟子たちは彼に言う、どこへ行って準備すればよいとお望みですか、あなたが過越しを食べるために。そして彼は二人の弟子たちを送り、彼らに言った、町へ行きなさい。そうすればあなたたちに水の入った水差しを運んでいる人が会うだろう。彼について行きなさいそして、もし彼が入るところで、その家の主人に言いなさい、教師が言います、私の弟子たちと過越しの食事を食べる私の宿はどこにありますかと。そして彼自身があなたがたに、備え付けられた準備の整った大きな上の部屋を見せるだろう。そこで私たちのために準備しなさい。そして彼の弟子たちは

出て行き、町へ来て、彼が彼らに言ったように見つけ、そして過越祭を準備した。そして夕方になると、十二人とともに来る。彼らが横たわって食事をしているとき、イエスは言った、まことにあなたがたに言う。あなたがたのうちの一人が私を引き渡すだろう、私と共に食事をしている者が。彼らは悲しみ始め、一人ずつ彼に言った、まさか私ではないでしょうね？そして別の者も、まさか私ではないでしょうね？しかし、答えて彼らに言った、十二人の中の一人、私と共に鉢に浸している者だ。人の子は、彼について書かれている通りに行く。しかし災いだ、あの人には、その人を通して人の子が裏切られる。あの方は、生まれなかった方が良かった。そして彼らが食べている時、イエスはパンを取り、祝福して、それを裂き、彼らに与えて、そして言った、取りなさい、食べなさい、これは私の体である。そして杯を取り、感謝してから、彼は彼らに与えた。そして全員がそれから飲んだ。そして彼らに言った、これは私の血、新しい契約の血であり、多くの人々のために注がれるものである。まことに私はあなたがたに言う、もはや決して私はぶどうの木の果実から飲まない、あの日まで、その時私はそれを新しく神の王国において飲む。

そして賛歌を歌った後、彼らはオリーブの山へ出て行った。そしてイエスは彼らに言う、あなたがたは皆、この夜、私につまづくであろう。なぜなら私は羊飼いを打つ、そして羊たちは散らされるであろうと書かれているからである。しかし、私が復活した後、私はあなたたちより先にガリラヤへ行くだろう。しかし、ペテロは彼に言った、たとえすべての者がつまずいても、私はつまずきません。そしてイエスは彼に言う、まことにあなたに言う、あなたは今日、この夜に、雄鶏が二回鳴く前に、三回私を否定するだろう。しかしペテロは強く言った、たとえ私があなたと共に死ななければならぬとしても、私は決してあなたを否定しません。同様に、他の者たちも皆そう言った。

そして彼らはゲツセマネという名の場所に来た。そして彼は弟子たちに言った、私が祈るまでここに座っていなさい。そして彼はペテロと雅各と約翰を自分と共に連れて行き、そして非常に苦しみ悩み始めた。そして彼らに言った、私の魂は死ぬほど非常に悲しい。ここに留まって、見張っていなさい。そして少し前に進み、地面に顔を伏せて倒れ、もし可能であるならば、その時が彼から過ぎ去るようにと祈っていた。そして彼は言った、アバ、父よ、すべてのことがあなたには可能です。この杯を私から取り去ってください。しかし、私が望むのではなく、あなたが望まれることを。そして来て、彼らが眠っているのを見つけ、ペテロに言う、シモン、眠っているのか?一時間見張ることができなかったのか?目を覚まして祈りなさい、誘惑に陥らないために。霊は確かに熱心だが、肉は弱い。そして再び立ち去って、同じ言葉を言いながら祈った。そして戻って、彼は彼らが再び眠っているのを見つけた。というのは、彼らの目は重くなっていたからである。そして彼らは彼に何と答えるべきか知らなかった。そして三度目に来て、彼らに言う、あなたたちはまだ眠って休んでいるのか。もう十分だ。時が来た。見よ、人の子は罪人たちの手に引き渡される。起きなさい、行こう。見よ、私を引き渡す者が近づいた。

そして、彼がまだ話している間に、直ちにイスカリオテのユダが来た。十二人の一人である。そして彼と共に、剣と棒を持った大勢の群衆が来た。彼らは祭司長たちと律法学者たちと長老たちから遣わされた者たちであった。彼を引き渡す者は彼らに合図を与えて言った、私が口づけする者、それが彼である。彼を捕らえて、安全に連れ去れ。そして来るとすぐに彼に近づいて言った、ラビ、ごきげんようと、そして彼に口づけした。しかし彼らは彼に手をかけ、彼を捕らえた。そこに立っていた者たちの一人が剣を抜いて大祭司の奴隷を打ち、彼の耳を切り落とした。そしてイエスは答えて彼らに言った、強盗に対するかのように、あなたがたは剣と棒を持って私を捕らえに出て来たのか。日ごとに私はあなたがたのもとで神殿の中で教えていたのに、あなたがたは

私を捕らえなかった。しかし、それは聖書が成就されるためである。そして彼を残して、彼ら全員が逃げた。そして、ある若者が彼に従った。裸の体に亜麻布をまとっていた。若者たちが彼を捕らえた。しかし彼は亜麻布を残して裸で彼らから逃げた。

そして彼らはイエスを大祭司のもとへ連れて行った。そして祭司長たち全員と長老たちと律法学者たちが彼のもとに集まった。そしてペトロは遠くから彼に従い、大祭司の中庭の内側まで入った。そして下役たちと共に座り、光のそばで暖まっていた。祭司長たちと議会全体は、イエスを死刑にするために、イエスに対する証言を探していたが、見つけることができなかった。多くの者たちが彼に対して偽証していたが、その証言たちは一致していなかった。そして、ある者たちが立ち上がって、彼について偽証しながら言った。私たちは彼が私はこの手で作られた神殿を破壊し、三日のうちに手で作られていない別のものを建てると言っているのを聞いたからです。そして、このようにしても彼らの証言は一致しなかった。そして大祭司が真ん中に立ち上がり、イエスに尋ねて言った、あなたは何も答えないのか?これらの者たちがあなたに対して証言していることは何なのか?しかし彼は沈黙しており、何も答えなかった。再び大祭司は彼に尋ねて言った、あなたは祝福された者の子、キリストであるか。そしてイエスは言った、私はそうである。そしてあなたがたは人の子が力の右に座り、天の雲に乗って来るのを見るだろう。そして大祭司は自分の衣を引き裂いて言った、我々にまだ証人が必要だろうか。あなたがたは確かにその冒涇の言葉を聞いた。あなたがたにはどう思われるか。そして彼らすべては、彼を死に値する有罪であると断罪した。そして、ある者たちが彼に唾を吐きかけ、彼の顔を覆い、彼を殴り、彼に言い始めた。我々に預言せよ、お前を打った者は誰であるか。そして、助手たちが打撃で彼を打った。

そしてペテロが下の中庭にいと、大祭司の若い女中の一人が来る。そしてペトロが暖まっているのを見て、彼を見つめて言

った、あなたもあのナザレ人イエスと一緒にいましたね。しかし彼は否定して言った。私は知らないし、あなたが何を言っているのか分からない。そして彼は外の前庭へ出て行った。すると雄鶏が鳴いた。そして、その若い女は彼を見て、再びそばに立っている者たちにこの人は彼らの仲間ですと言い始めた。しかし彼は再び否定した。そして少し後に、再びそばに立っている者たちがペテロに言った、本当にあなたは彼らの一人だ。あなたはガリラヤ人だし、あなたの話し方がそれを示している。しかし彼は、あなたがたが言うこの人を私は知らないと言いつづけていた。そして二度目に雄鶏が鳴いた。そしてペテロは、イエスが彼に言った言葉を思い出した。鶏が二度鳴く前に、あなたは私を三度否定するだろうと。そして彼は泣き崩れた。

15

そして、祭司長たちは長老たちと律法学者たちと議会全体と共に、朝になると直ちに会議を開き、イエスを縛って連れて行き、ピラトに引き渡した。そしてピラトは彼に尋ねた、あなたはユダヤ人の王なのか。彼は答えて言った、あなたがそう言っている。そして祭司長たちは彼を多く告発したが、彼自身は何も答えなかった。そして、ピラトは再び彼に尋ねた、あなたは何も答えないのか?見よ、彼らがあなたに対してどれほど多く証言しているかを。しかしイエスはもはや何も答えなかったので、ピラトは驚いた。しかし祭りのたびに、彼は彼らが求めた囚人を一人解放していた。バラバと呼ばれた者は、仲間の反逆者たちと共に縛られていたが、彼らは争いの中で殺人を犯していた。そして群衆は叫んで、彼がいつも彼らにしていたように求め始めた。しかしピラトは彼らに答えて言った、あなたがたは、私があなたがたにユダヤ人の王を釈放することを望むか? 彼は、祭司長たちがねたみのゆえに彼を引き渡したことを知っていた。しかし、祭司長たちは群衆を煽動して、むしろバラバを彼らに釈放するようにさせた。しかしピラトは再び答えて彼らに言った、それでは、あなたがた

がユダヤ人の王と言う者を、私にどうさせたいのか。しかし、彼らは再び叫んだ。彼を十字架につけよ。しかしピラトは彼らに言った、というのも彼は何の悪をしたのか?しかし彼らはより一層激しく叫んだ、彼を十字架につけよ。そしてピラトは群衆を満足させることを望んで、彼らにバラバを解放し、イエスを鞭打ちしてから、十字架につけられるために引き渡した。

しかし、兵士たちは彼を中庭の内側へ連れて行った。それは総督官邸である。そして彼らは部隊全体を呼び集めた。そして彼らは彼に紫の衣を着せ、編んだ茨の冠を彼の頭に載せた。そして彼らは彼を歓迎し始めた。ユダヤ人の王よ、万歳。そして彼らは葦で彼の頭を打ち、彼に唾を吐きかけ、ひざまずいて彼を拝した。そして彼らが彼を嘲笑したとき、彼らは彼からその紫の衣を脱がせ、彼に彼自身の衣服を着せた。そして彼らは彼を十字架につけるために連れ出す。

そして彼らは、畑から来ていたアレクサンドロスとルフォスの父であるキュレネ人シモンという通りかかっていた者を、彼の十字架を担ぐように強制した。

そして彼らは彼をゴルゴタという場所へ運ぶ、それは訳すと頭蓋骨の場所である。そして彼らは没薬と混ぜられたぶどう酒を彼に飲ませようとしたが、彼はそれを取らなかった。そして彼を十字架につけて、彼の衣服を分け、それらの上にくじを投げて、誰が何を取るかを決めた。そして三時であり、彼らは彼を十字架につけた。そして、彼の罪状の碑文が書かれていた、ユダヤ人の王。

そして彼と共に二人の強盗を十字架につける、一人を彼の右に、そして一人を彼の左に。そして、彼は無法者たちと共に数えられたと言っている聖書が成就した。そして通り過ぎる者たちは、彼らの頭を振りながら彼を冒瀆し、そして言った、ああ、神

殿を破壊し三日で建てる者よ あなた自身を救い、その十字架から降りよ。同様に、祭司長たちも律法学者たちと共に互いにあざけりながら言っていた、他の者たちは救ったが、自分自身を救うことができない。キリスト、イスラエルの王は、今、十字架から降りよ、私たちが見て、彼を信じるために。そして彼と一緒に十字架につけられた者たちは彼を罵っていた。

第六時になったとき、暗闇が全地を覆い、第九時まで続いた。そして九番目の時に、イエスは大きな声で叫んで言った、エロイ、エロイ、リマ、サバクタニ。それは翻訳されると、私の神、私の神、なぜ私をお見捨てになったのですかである。

そして、そこに立っていた者たちの何人かが聞いて言った、見よ、彼はエリヤを呼んでいる。一人が走って来て、海綿に酢を満たし、それを葦の周りに置いて、彼に飲ませながら言った、待て、エリヤが彼を下ろしに来るか見てみよう。そしてイエスは、大きな声を発した後、息を引き取った。そして神殿の幕は上から下まで二つに裂かれた。しかし、彼の向かい側に立っていた百人隊長は、このように叫んで息を引き取ったのを見て、言った、真にこの人は神の子であった。そして女たちも遠くから見ていた。その中にはマグダラのマリア、そして小ヤコブとヨセの母マリア、そしてサロメがいた。その女性たちは、彼がガリラヤにいた時、彼に従い、彼に仕えていた。そして他の多くの女性たちも、彼と共にエルサレムへ上って来た。

既に夕方になったので、それは準備の日、すなわち安息日の前日であったため、アリマタヤ出身の立派な議員ヨセフが来た。彼自身も神の王国を待ち望んでいた者であった。彼は勇気を出してピラトのもとへ入り、イエスの体を求めた。しかしピラトは、すでに死んでいるのかと驚き、百人隊長を呼んで、ずっと前に死んだのかと彼に尋ねた。そして百人隊長から確認して、その遺体をヨセフに与えた。そして亜麻布を買い、彼を降ろして、その亜

麻布に包み、岩から切り出された墓に彼を納め、そして墓の入口に石を転がした。そしてマグダラのマリアとヨセのマリアは、どこに置かれるのかを見ていた。

16

そして、サバトが過ぎ去った後、マグダラのマリアと、ヤコブのマリアと、サロメは、香料を買った。それは、来て彼に塗るためであった。そして安息日の最初の日の早朝、太陽が昇った時、彼らは墓に来た。そして彼女たちは互いに言っていた、誰が私たちのために墓の扉から石を転がし去ってくれるだろうか? そして見上げると、彼らは石が転がされているのを見た。というのも、その石は非常に大きかったからである。そして墓の中に入ると、右側に座っている若い男を見た。白い長い衣を着ていた。そして彼女たちは驚いた。そして彼は彼女たちに言う、驚くな。あなたがたは十字架につけられたナザレ人イエスを探している。彼は起こされた。彼はここにいない。見よ、彼らが彼を置いた場所を。しかし、行って彼の弟子たちとペテロに言いなさい。彼はあなたがたより先にガリラヤへ行く。そこであなたがたは彼を見るであろう、彼があなたがたに言ったように。そして出て行った彼女たちは墓から逃げた。震えと恍惚が彼女たちを捕らえていた。そして誰にも何も言わなかった、恐れていたからである。

起き上がって、安息日の第一日の朝、最初にマグダラのマリアに現れた。彼は彼女から七つの悪霊を追い出していたのである。あの女は行って、嘆き悲しみ泣いている、彼と共にいた者たちに報告した。そして彼らは、彼が生きており、彼女によって見られたと聞いたが、信じなかった。そしてこれらの後、彼らのうちの二人が歩いているとき、畑へ行く途中で、別の姿で現れた。そして彼らは去って、残りの者たちに報告したが、彼らもそれを信じなかった。後で、横たわっていた十一人の弟子たちに現れ、彼らの不信仰と心の頑なさを非難した。なぜなら、よみがえった

彼を見た者たちを信じなかったからである。そして彼らに言った、全世界に行って、すべての創造物に福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受けた者は救われるが、信じなかった者は罪に定められるだろう。しかし、信じた者たちには、これらのしるしが従うだろう。私の名において、彼らは悪霊を追い出し、新しい舌で話すだろう。彼らは蛇を取り上げるだろう。たとえ致命的なものを飲んだとしても、決して彼らを害することはないだろう。病人に手を置けば、彼らは良くなるだろう。

それゆえに、主は彼らに話した後、天へと取り上げられ、そして神の右に座った。彼らは出て行って至る所で宣べ伝えた、主が協力し、伴う徴を通して言葉を確証しながら。アーメン。

ヨハネによる福音書

1

初めに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。これは初めに神とともにありました。すべては彼を通して生じた、そして彼なしには、生じたものは一つもなかった。彼のうちに生命があった。そして、その生命は人間の光であった。そして、その光は闇の中で輝き、闇はそれを捕らえることができなかった。

神から送られた人が現れた、その名はヨハネであった。この者は証言のために来た。光について証しするため、すべての者が彼を通して信じるためである。彼はその光ではなく、その光について証しするためであった。世界に来るすべての人を照らす真の光があった。彼は世界の中にあった、そして世界は彼を通して存在するようになった、そして世界は彼を知らなかった。自分のところへ来たが、自分の民は彼を受け入れなかった。しかし、彼を受け入れた者たちには、彼の名を信じる者たちに、神の子供となる権威を与えた。その者たちは、血からではなく、肉の意志からでもなく、男の意志からでもなく、神から生まれた。そして、その言は肉となり、私たちの間に幕屋を張った。そして私たちは彼の栄光を見た。それは父から来た独り子としての栄光であり、恵みと真理に満ちていた。ヨハネは彼について証言し、叫んで言った。この人は、私が私の後に来る方は、私の前におられる方となったと言った人である。なぜなら、彼は私より先におられたからである。そして彼の満ちみちたものから、私たちすべては受け取った、そして恵みの代わりに恵みを。なぜなら、律法はモーセを通して与えられ、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。神を誰も見たことがない。父の懷にいる独り子、その方が説明された。

そしてこれはヨハネの証言です、ユダヤ人たちがエルサレムから祭司たちとレビ人たちを送って彼に尋ねさせた時のことです、あなたは誰ですかと。そして彼は告白し、否定せず、そして私はキリストではないと告白した。そして彼らは彼に尋ねた、それでは何ですか?あなたはエリヤですか?そして彼は言う、私ではありません。あなたはその預言者ですか?そして彼は答えた、いいえ。それゆえ彼らは彼に言った、あなたは誰ですか。私たちを派遣した者たちに答えを与えるために、あなたは自分自身について何と言いますか。彼は言った、私は荒野で叫ぶ者の声である。主の道をまっすぐにせよ、預言者イザヤが言ったように。

そして、遣わされた者たちはパリサイ人たちの出身であった。そして彼らは彼に尋ねて言った、それならば、なぜあなたは洗礼を受けるのか、もしあなたがキリストでもエリヤでも預言者でもないのなら。ヨハネは彼らに答えて言った、私は水で洗礼を受けるが、あなたがたの真ん中にあなたがたが知らない方が立っている。彼こそが私の後に来られる方であり、私より先におられた方です。私は彼のサンダルひもを解く値打ちもありません。これらの事はヨルダンの向こう側のベタニヤで起こった、そこでヨハネはバプテスマを授けていた。

翌日、ヨハネはイエスが自分の方へ来るのを見て言った、見よ、世の罪を負う神の子羊。これは私が言った者についてである。私の後に来る男が私より先になった。なぜなら彼は私より先に存在していたからである。そして私は彼を知らなかった。しかし彼がイスラエルに明らかにされるために、このゆえに私は水でバプテスマを受けながら来たのである。そしてヨハネは証言して言った、私は霊が鳩のように天から降って来るのを見た、そしてそれは彼の上に留まった。そして私は彼を知らなかった。しかし、私を水で洗礼するために遣わした方が私に言った、あなたが霊が降りて、その上に留まるのを見る者、この者が聖霊で洗礼す

る者である。そして私は見た、そしてこの方が神の子であると証言した。

その次の日、ヨハネは再び立っていた、そして彼の弟子たちのうち二人も。そして歩いているイエスを見て言う、見よ、神の子羊を。そして二人の弟子たちは彼が話しているのを聞いて、イエスに従った。振り向いて、イエスは彼らに従っているのを見て、彼らに言う。何を求めているのですか？彼らは彼に言った、ラビ（解釈すれば教師）、どこに滞在しておられるのですか？彼は彼らに言う、来なさい、そして見なさい。それゆえ彼らは来て、彼がどこに留まっているかを見た、そして彼のもとにその日留まった。時は第十の刻ほどであった。アンドレアスは、シモン・ペトロスの兄弟で、ヨハネから聞いて彼に従った二人のうちの一人だった。この者は最初に自分の兄弟シモンを見つけて、彼に言った、私たちはメシアを見つけたと。それは翻訳するとキリストである。そして彼をイエスのもとに連れて行った。イエスは彼を見つめて言った、あなたはヨナの子シモンである。あなたはケファと呼ばれるであろう。それはペトロと解釈される。

その翌日、イエスはガリラヤへ出て行くことを望まれた。そしてピリポを見つけて、彼に言われた、私に従いなさい。フィリッポスはベツサイダの出身であった。それはアンデレとペテロの町であった。フィリポはナタナエルを見つけて、彼に言う、モーセが律法に書き、そして預言者たちが書いた者を、我々は見つけた。ヨセフの息子、ナザレ出身のイエスを。そしてナタナエルは彼に言った、ナザレから何か良いものが出ることができのだろうか？フィリポは彼に言う、来て見なさい。イエスはナタナエルが自分の方へ来るのを見て、彼について言った、見よ、真のイスラエル人である。彼の中に偽りがない。ナタナエルは彼に言う、どこから私をあなたは知のですか。イエスは答えて彼に言った、ピリポがあなたを呼ぶ前に、いちじくの木の下にいるあなたを私は見た。ナタナエルは答えて彼に言う、ラビ、あなたは神の子で

す、あなたはイスラエルの王です。イエスは答えて彼に言った、いちじくの木の下であなたを見たと言ったので、あなたは信じるのか。これらのものより大きいものをあなたは見るであろう。そして彼に言う、まことに、まことに、私はあなたがたに言う。今から、あなたがたは天が開かれているのを見るだろう、そして神の使いたちが人の子の上を昇り降りするのを。

2

そして三日目に、ガリラヤのカナで結婚式があり、イエスの母がそこにいた。そして、イエスと彼の弟子たちも、その結婚式に招かれた。そしてぶどう酒が不足したとき、イエスの母が彼に向かって言う、彼らはぶどう酒を持っていません。イエスは彼女に言う、女よ、私とあなたに何の関係があるのか。私の時はまだ来ていない。彼の母は召使いたちに言う、彼があなたたちに何を言おうとも、そのとおりにしなさい。そこには、ユダヤ人たちの清めによって、石の水がめが六つ置かれていて、それぞれ二つまたは三つのメトレテスを入れるものであった。イエスは彼らに言う、水がめを水で満たしなさい。そして彼らはそれらを上まで満たした。そして彼らに言う、今汲みなさい、そして給仕長に持って行きなさい。そして彼らは持って行った。宴会の責任者がぶどう酒になっていた水を味わったとき、それがどこから来たのか知らなかった。しかし、水を汲んだ召使いたちは知っていた。宴会の責任者は花婿を呼んだ。そして彼に言った、誰でも最初に良いワインを出し、客が酔った頃に劣ったものを出すものだが、あなたは良いワインを今まで取っておかれた。イエスはガリラヤのカナでこのしるしの始まりをなし、彼の栄光を現した。そして彼の弟子たちは彼を信じた。

この後、彼は母と兄弟たちと弟子たちとともにカペルナウムへ下り、そこに幾日も留まらなかった。

そして、ユダヤ人の過越祭が近かった、そしてイエスはエルサレムへ上って行った。そして彼は神殿で、雄牛と羊と鳩を売っている者たちと、座っている両替商たちを見つけた。そして縄から鞭を作り、神殿から全てを追い出した、羊も牛も、そして両替商の硬貨をこぼし、テーブルをひっくり返した。そして鳩を売っている者たちに言った、これらのものをここから取り去れ。私の父の家を商売の家にするな。彼の弟子たちは、あなたの家への熱意が私を食い尽くすであろうと書かれていることを思い出した。それゆえ、ユダヤ人たちは答えて彼に言った、あなたがこれらのことをするので、どんなしるしを私たちに示すのか。イエスは答えて彼らに言った、この神殿を壊せ。そうすれば三日のうちに私はそれを起こそう。ユダヤ人たちは言った、この神殿は四十六年かけて建てられたのに、あなたは三日でそれを起こすというのか。しかし、彼は自分の体の神殿について言っていたのである。したがって、死者の中から起こされたとき、彼の弟子たちは、彼がこれを言っていたことを思い出し、そして聖書とイエスが言った言葉を信じた。

そして彼がエルサレムで過越の祭りにいた時、多くの人々が彼の行ったしるしを見て、彼の名を信じた。しかし、イエス御自身は彼らに御自身を委ねなかった。なぜなら、彼がすべての人を知っていたからである。そして、彼は誰かが人について証言する必要がなかった、なぜなら彼自身が人の中に何があるかを知っていたからである。

3

パリサイ人の中に一人の人がいた。ニコデモという名で、ユダヤ人の指導者であった。この者は夜に彼のもとに来て、彼に言った。ラビ、私たちは知っています。あなたは神から来た教師です。なぜなら、神が共におられるのでなければ、あなたがなさるこれらのしるしを、誰も行うことはできないからです。イエスは

答えて彼に言った、まことに、まことに、あなたに言う、人が上から生まれなければ、神の国を見ることはできない。ニコデモは彼に言った、どうして人は老人でありながら生まれることができるのですか。母の腹の中に二度目に入って生まれることなどできないではありませんか。イエスは答えた、まことに、まことに、あなたに言う。誰でも水と霊から生まれなければ、神の国に入ることはできない。肉から生まれたものは肉であり、霊から生まれたものは霊である。私があなたに言ったことを驚いてはいけな
い、あなたがたは上から生まれなければならない。霊は欲するところ
で吹く。あなたはその声を聞くが、それがどこから来てどこへ行くのか知らない。霊から生まれた者も皆、このようである。ニコデモスは答えて彼に言った、どのようにしてこれらの事柄が生じることができるのですか。イエスは答えて彼に言った、あなたはイスラエルの教師であって、これらのことを知らないのか。まことに、まことに、私はあなたに言う。私たちが知っていることを私たちは語り、私たちが見たことを私たちは証言する。しかし、あなたたちは私たちの証言を受け入れない。もし私があなたがたに地上のことを言ったのに信じないなら、私があなたがたに天上のことを言ったら、どのように信じるだろうか? 天から降りた者、すなわち天にいる人の子を除いて、誰も天に昇った者はいない。そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、そのように人の子も上げられなければならない。すべて彼を信じる者が滅びることなく、永遠の命を持つためである。神はこのように世界を愛したので、そのひとり子である息子を与えた。それは、彼を信じるすべての者が滅びないで、永遠の命を持つためである。神は彼の息子を世界へ送ったのは、世界を裁くためではなく、世界が彼を通して救われるためである。彼を信じる者は裁かれない、しかし信じない者はすでに裁かれている、なぜなら神のただ一人の子の名を信じなかったからである。これが裁きである。光が世界に
来たのに、人々は光よりも闇を愛した。なぜなら彼らの行いが悪
かったからである。卑しいことを行っている者は皆、光を憎み、光のもとに来ない。それは自分の行いが暴かれないためである。

しかし真理を行う者は光に来る、彼の業が明らかにされるために、なぜならそれらは神においてなされたものであるから。

これらのことの後、イエスと彼の弟子たちはユダヤの地に来た、そしてそこで彼らと共に過ごし、バプテスマを授けていた。ヨハネもまたサリムの近くのアイノンでバプテスマを授けていた、なぜならそこには水が多くあったからである、そして人々が来てバプテスマを授けられていたヨハネはまだ牢獄に投げ込まれていなかったからである。それゆえ、ヨハネの弟子たちとユダヤ人との間で清めについての論争が起こった。そして彼らはヨハネのもとに来て、彼に言った、ラビ、ヨルダンの向こう側であなたと共にいた者、あなたが証しをした者、見よ、この者が洗礼を授けており、すべての者たちがその者のもとに来ています。ヨハネは答えて言った、人は天から彼に与えられたものでなければ、何も受け取ることはできない。あなたがた自身が私に証言する、私が言ったことを。私はキリストではない、しかし私はあの方の前に遣わされた者である、と。花嫁を持つ者が花婿である。しかし花婿の友は、立って彼の声を聞いている者であり、花婿の声のゆえに喜びをもって喜ぶ。それゆえ、この私の喜びは満たされた。あの方は増し加わらねばならず、私は減らされねばならない。上から来る者はすべてのものの上にある。地から出た者は地のものであり、地のことを語る。天から来る者はすべてのものの上にある。そして彼が見たこと、聞いたことを証言するが、彼の証言を誰も受け入れない。彼の証言を受け取った者は、神が真実であることを確証した。なぜなら神が送った者は神の言葉を語る。神は霊を量って与えることをしないからである。父は息子を愛し、すべてを彼の手に与えた。息子を信じる者は永遠の命を持っているが、息子に従わない者は命を見ることがなく、神の怒りが彼の上に留まる。

主は、イエスがヨハネよりも多くの弟子を作り、バプテスマを授けていることをパリサイ人たちが聞いたと知ったので確かに実際、イエス自身は洗礼を授けていなかったが、彼の弟子たちが授けていた。彼はユダヤを去り、ガリラヤへ行った。そして彼はサマリアを通過することが必要だった。それゆえ、彼はサマリアのスカルと呼ばれる都市に来る。それはヤコブが彼の息子ヨセフに与えた場所の近くであった。そこにはヤコブの泉があった。それゆえイエスは旅に疲れて、泉のそばに座っていた。時はおよそ六時であった。一人の女がサマリアから水を汲みに来る。イエスは彼女に言う、私に飲ませてください。彼の弟子たちは食物を買うために町へ去っていたからである。それゆえ、そのサマリア人の女は彼に言う、どうしてあなたはユダヤ人でありながら、サマリア人の女である私に飲むことを求めるのですか。なぜならユダヤ人たちはサマリア人たちと交際しないからです。イエスは答えて彼女に言った、もしあなたが神の賜物を知っており、そして私に飲ませてくださいとあなたに言っている者が誰であるかを知っていたなら、あなたは彼に求めたであろう、そして彼はあなたに生ける水を与えたであろう。女は彼に言った、主よ、あなたはバケツを持っておらず、井戸は深いのです。それでは、どこからその生ける水を得られるのですか。あなたは、私たちにこの井戸を与えてくださった私たちの父ヤコブより偉大だということですか。彼自身もそこから飲み、彼の息子たちも、彼の家畜も飲んだのです。イエスは答えて彼女に言った、この水から飲んでいる者は皆、再び渇くだろう。しかし、私が彼に与える水を飲む者は、決して永遠に渇くことはない。むしろ、私が彼に与える水は、彼の内で永遠の命へと湧き上がる水の泉となるだろう。その女は彼に言った、主よ、私にその水をください。そうすれば私は渇くこともなく、また汲むためにここに来ることもなくなります。イエスは彼女にこう言う、行って、あなたの夫を呼んで、ここに来なさい。その女は答えて言った、私は夫を持っていません。イ あなたは五人の夫を持ち、そして今あなたが持っている者はあなたの夫ではない。このことを真実に言った。女は彼に言った、主よ、

あなたは預言者だと分かります。私たちの父たちはこの山で礼拝しました、そしてあなたたちは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言います。イエスは彼女に言う、女よ、私を信じなさい。その時が来る。その時には、あなたがたはこの山でもエルサレムでもなく、父を礼拝するであろう。あなたがたは知らないものを崇拜し、私たちは知っているものを崇拜する、なぜなら救いはユダヤ人たちから出るからである。しかし、その時が来る。そして今がその時である。真の礼拝者たちが、霊と真理において父を礼拝するだろう。なぜなら、父はそのような礼拝者たちを求めておられるからである。神は霊であり、彼を礼拝する者たちは霊と真理において礼拝することが必要である。女は彼に言う、メシアが来ることを私は知っています。その方はキリストと呼ばれています。あの方が来られる時、私たちにすべてを告げ知らせてくださるでしょう。イエスは彼女に言った、あなたに話しているのは私である。そしてこのことで彼の弟子たちが来た、そして彼らは驚いた、なぜなら彼が女と話していたからである。しかしながら誰も言わなかった、何を求めておられるのですか、あるいは何を彼女と話しておられるのですかと。それゆえ、その女は自分の水がめを残して町へ去り、人々に言った、来て、私がしたことをすべて私に言った人を見なさい。この人がキリストではないだろうか。それゆえ、彼らはその町から出て行き、彼のもとへ来ていた。

その間に、弟子たちが彼に尋ねて言った、ラビ、お食べください。しかし彼は彼らに言った、私には食べる食物がある、それをあなたがたは知らない。それで弟子たちは互いに言っていた、誰かが彼に食べ物を持ってきたのではないか イエスは彼らに言う、私の食べ物は、私を送った方の御心を行い、その業を成し遂げることである。あなたたちはまだ四ヶ月あって、それから収穫が来ると言わないか?見よ、私はあなたたちに言う。あなたたちの目を上げて、その土地を見よ。それらはすでに収穫に向かって白くなっているから。そして刈り取る者は報酬を受け取り、永遠

の命への実を集める。それは蒔く者と刈り取る者が共に喜ぶためである。なぜなら、この中に真実の言葉があるからである。すなわち、種を蒔く者は別の者であり、刈り取る者は別の者である、ということである。私はあなたたちを、あなたたちが労していないものを刈り取るために送った。他の者たちが労し、そしてあなたたちは彼らの労苦の中に入ったのである。しかし、その町の多くのサマリア人たちが彼を信じた。それは、彼は私がしたすべてのことを私に言ったと証言していた女の言葉によるものであった。したがって、サマリア人たちが彼のもとに来たとき、彼らは彼に自分たちのもとに留まるよう尋ねた、そして彼はそこに二日間留まった。そして、彼の言葉によって、さらに多くの人々が信じた。その女に彼らは言った、もはやあなたの話のゆえに私たちは信じるのではない。私たち自身が聞いたのだから。そして私たちは知っている、この方が真に世の救い主、キリストであることを。

しかし二日の後、彼はそこから出て行き、ガリラヤへ去って行った。なぜなら、イエス自身が、預言者は自分の故郷では名誉を持たないと証言したからである。それゆえ、彼がガリラヤに来た時、ガリラヤ人たちは彼を受け入れた。彼らは彼がエルサレムで祭りの時に行ったすべてのことを見ていたからである。彼ら自身もその祭りに来ていたのである。

イエスは再びガリラヤのカナに来た。そこは水をぶどう酒に変えた場所である。そして、ある王の役人がいて、その息子がカペナウムで病んでいて、この者はイエスがユダヤからガリラヤへ来ていると聞いて、彼のもとへ行き、下って来て彼の息子を癒してくれるように彼に頼んだ。というのも、息子は死にかけていたからである。イエスはそこで彼に言った、あなたがたは、しるしと不思議を見ない限り、決して信じないであろう。王の役人は彼に言った、主よ、私の子供が死ぬ前に下って来てください。イエスは彼に言った、行きなさい。あなたの息子は生きている。その

人はイエスが彼に言った言葉を信じて、帰って行った。すでに彼が降りている時、彼の奴隷たちが彼に会い、あなたの子供は生きていますと言って報告した。それで彼は彼らに、より良くなった時刻を尋ねた。そして彼らは彼に言った、昨日の第七の時刻に熱が彼を去りましたと。それゆえ父は、イエスが彼にあなたの息子は生きていますと言ったその時であることを知った。そして彼自身と彼の家全体が信じた。これは、イエスがユダヤからガリラヤへ来て行った、二度目のしるしである。

5

これらのことの後、ユダヤ人の祭りがあり、イエスはエルサレムへ上って行った。エルサレムには羊の門のそばに池があり、ヘブライ語でベテスダと呼ばれ、五つの柱廊を持っている。これらの中に、病んでいる者、盲人、足の不自由な者、体の萎えた者など、多くの群衆が横たわっており、水の動きを待っていた。天使が時に応じて池の中に降りてきて、水がかき乱された。それゆえ、水の乱れの後に最初に入った者は、どんな病気に捕らえられていても健康になった。そして、そこには、三十八年間その病を患っているある人がいた。イエスは彼が横たわっているのを見て、そしてすでに長い時を過ごしていることを知って、彼に言う、あなたは健康になることを欲するか病んでいる者は彼に答えた、主よ、水がかき乱される時に私を池の中へ入れてくれる人がいません。しかし私が行く間に、他の者が私より先に降りてしまうのです。イエスは彼に言う、起きよ、あなたの寝床を取り上げて歩け。そして直ちにその男は健康になり、彼の寝床を持ち上げて歩いていった。しかしその日は安息日であった。ユダヤ人たちは癒された者に言った、今日は安息日である。寝床を運ぶことは許されていない。彼は彼らに答えた、私を健康にしたあの方が私に言ったのです、あなたの寝床を取り上げて歩きなさいと。それゆえ、彼らは彼に尋ねた、あなたにあなたの寝床を取り上げて歩きなさいと言ったその人は誰ですか。しかし癒された者は、それが

誰であるか知らなかった。なぜならイエスは、群衆がその場所にいたので、身を引いていたからである。これらのことの後、イエスは神殿で彼を見つけて、彼に言った、見よ、あなたは健康になった。もはや罪を犯すな、あなたに何かより悪いことが起こらないために。その男は去って、ユダヤ人たちに、イエスが彼を健康にした者であると報告した。

そして、このために、ユダヤ人たちはイエスを迫害し、彼を殺そうとした。なぜなら、彼が安息日にこれらのことを行なったからである。しかしイエスは彼らに答えた、私の父は今まで働いておられる、そして私も働いている。このゆえに、ユダヤ人たちは、ますます彼を殺そうと求めていた。なぜなら、彼は安息日を破っていただけでなく、神を自分自身の父と呼び、自分自身を神と等しい者としていたからである。

それゆえイエスは答えて彼らに言った、まことに、まことに、私はあなたがたに言う。息子は父がしているのを見るのであれば、自分自身から何もすることができない。なぜなら、父がすることを、息子も同様にするからである。なぜなら、父は息子を愛し、自分が行うすべてのことを彼に示すからである。そして、あなたがたが驚嘆するために、これらよりも大きい業を彼に示すだろう。ちょうど父が死者たちを起こし、命を与えるように、息子もまた、自分が欲する者に命を与える。なぜなら父は誰も裁かず、しかしすべての裁きを息子に与えたからである。すべての人々が父を敬うように息子を敬うために。息子を敬わない者は、彼を送った父を敬わない。まことに、まことに、あなたがたに言う。私の言葉を聞いて、私を送った方を信じる者は、永遠の命を持ち、裁きに入ることなく、死から命へと移ったのである。まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。時が来る、そして今がその時である。その時、死者たちは神の子の声を聞き、そして聞いた者たちは生きるであろう。なぜなら、ちょうど父が自分自身の中に生命を持っているように、そのように父は息子に

も自分自身の中に生命を持つことを与えたからである。そして彼に権威を与え、また裁きを行わせた。なぜなら彼は人の子だからである。このことに驚くな。なぜなら、墓の中にいるすべての者が彼の声聞く時が来るからである。そして、良いことを行った者たちは生命の復活へ出て来るだろう、一方、悪いことを行った者たちは裁きの復活へ出て来るだろう。

私は自分自身からは何もすることができない。聞くとおりに裁き、そして私の裁きは正しい。なぜなら私は自分の意志を求めず、私を送った父の意志を求めるからである。もし私が自分自身について証言するなら、私の証言は真実ではない。別の者が私について証言しており、私はその者が私について証言する証言が真実であることを知っている。あなたがたはヨハネのもとに使いを送った、そして彼は真理について証言した。私は人から証言を受けるのではないが、あなたがたが救われるために、これらのことを言うのである。あの者は、燃えて輝いているともしびであった。しかし、あなたがたは彼の光の中で、しばらくの間喜ぶことを望んだ。しかし私は、ヨハネのものより大きい証言を持っている。なぜなら、父が私に完成するために与えた業、私が行っているそれらの業が、父が私を遣わしたことについて私を証言しているからである。そして私を遣わした父、彼自身が私について証言した。あなたがたは彼の声のかつて聞いたこともなく、彼の姿を見たこともない。そしてあなたがたは彼の言葉が自分たちの内に留まっているのを持っていない。なぜなら、あの者が送った者を、あなたがたは信じないからである。あなたがたは聖書を調べている。なぜなら、あなたがたはその中に永遠の命を持っていると思っているからである。そして、それらこそ私について証しするものである。そしてあなたがたは、命を持つために、私のもとに来ることを望まない。私は人々からの栄光を受けない。しかし、私はあなたがたを知っている。あなたがたは神の愛を自分自身の内に持ってない。私は私の父の名において来たが、あなたがたは私を受け入れない。もし他の者が自分自身の名において来

るなら、あなたがたはその者を受け入れるだろう。どのようにあなたがたは信じることができるのか、互いから栄光を受けていながら、唯一の神からの栄光を求めないのか。あなたたちは、私があなたたちを父に告発すると思ってはならない。あなたたちを告発する者がいる、それはモーセである、あなたたちが希望を置いてきた者である。もしあなたがたがモーセを信じたなら、あなたがたは私を信じただろう。というのは、あの者は私について書いたからである。もしその書かれたものを信じないなら、どうして私の言葉を信じるだろうか。

6

これらのことの後、イエスはガリラヤの海、すなわちティベリアスの海の向こう側へ去った。そして大群衆が彼についていった。なぜなら彼らは、彼が病んでいる者たちに行ったしるしを見ていたからである。イエスは山に登り、そこで彼の弟子たちと共に座っていた。しかし、ユダヤ人たちの祭りである過越祭が近かった。イエスは目を上げて、大勢の群衆が自分の方に来るのを見たので、フィリップに言った、これらの人々が食べられるように、どこからパンを買うべきだろうか。しかし、彼はこれを彼を試しながら言った。というのは、彼自身は何をしようとしているのか知っていたからである。ピリポは彼に答えた、二百デナリのパンでは彼らには十分ではありません、彼らの各々が少しずつ取るためには。彼の弟子たちの中の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレが彼に言う、ここに一人の子供がいて、その子は五つの大麦のパンと二匹の魚を持っているが、これらはこれほど多くの人々に対して何になろうか。イエスは言った、人々を座らせなさい。その場所には草がたくさんあった。それゆえ男たちは座った。その数はおよそ五千人であった。イエスはパンを取り、感謝してから弟子たちに配った。弟子たちはそれを横たわっている人々に配った。同様に魚も、彼らが望んだだけ配った。彼らが満たされたとき、彼は弟子たちに言う、余った断片を集めなさい、

何も減びないために。それゆえ彼らは集めて、食べた人々に余った五つの大麦のパンの断片から十二の籠を満たした。したがって、人々はイエスが行ったしるしを見て、この方は真に世界に来る預言者であると言っていた。イエスは、彼らが来て彼を奪い、彼を王にしようとしていることを知って、再び一人で山へ退いた。

しかし夕方になると、彼の弟子たちは海へ下って行った。そして船に乗り込んで、彼らは海の向こうのカペルナウムへ向かっていた。そしてすでに暗闇になっていたが、イエスはまだ彼らのところに来ていなかった。大きな風が吹いて、海がかき立てられていた。したがって二十五スタディオンまたは三十スタディオンほど漕いだとき、彼らはイエスが海の上を歩いて船に近づいて来るのを見て、恐れた。彼は彼らに言った、私である。恐れるな。それゆえ彼らは彼を船に乘せることを望んだ。するとすぐに、その船は彼らが向かっていた地に着いた。

翌日、海の向こう側に立っていた群衆は、そこには一艘の小舟しかなく、それは弟子たちが乗り込んだものであり、イエスは弟子たちと一緒にその小舟に入らず、弟子たちだけが去って行ったことを見た。しかし、ティベリアスから小舟が来た。その場所の近くに、そこで彼らは主が感謝を捧げたパンを食べた場所である。それで群衆は、イエスもその弟子たちもそこにはいないことを見たとき、自ら船に乗り込んでカペルナウムに来了。イエスを探しながら。そして彼を海の向こうで見つけて、彼に言った、ラビ、いつここに来られたのですか イエスは彼らに答えて言った、まことに、まことに、あなたがたに言う。あなたがたが私を探すのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満たされたからである。減びる食べ物のために働くのではなく、永遠の命へと残る食べ物のために働きなさい。それを人の子があなたがたに与えるだろう。なぜなら、父なる神がこの者を封印したからである。彼らは彼に言った、神の業を行うために、私たちは何をすべきで

しょうか。イエスは答えて彼らに言った、これが神の業です。あの方が送った者を信じることです。

それで彼らは彼に言った、それでは、私たちが見てあなたを信じるために、あなたは何のしるしを行うのか。あなたは何をなさるのか。私たちの父たちは荒野でマナを食べた。書かれているように、天からのパンを彼らに食べさせるために与えた。それゆえイエスは彼らに言った、まことに、まことに、私はあなたがたに言う、モーセがあなたがたに天からのパンを与えたのではない、しかし私の父があなたがたに天からの真実のパンを与える。なぜなら、神のパンは天から降りてきて、世界に命を与えるものだからです。彼らは彼に言った、主よ、このパンをいつも私たちにお与えください。イエスは彼らに言った、私は命のパンである。私のもとに来る者は決して飢えることがなく、私を信じる者は決して渴くことがない。

しかし、私はあなたがたに言った、あなたがたは私を見たのに信じない、と。父が私に与えるすべてのものは私のもとに来るだろう、そして私のもとに来る者を、私は決して外に追い出さない。なぜなら、私が天から下って来たのは、私の意志を行うためではなく、私を遣わした方の意志を行うためだからである。これは、私を送った父の御心である。それは、父が私に与えたすべてのものを、私がその中から何一つ失うことなく、最後の日にそれを復活させるためである。これは私を送った方の意志である。すべて息子を見て彼を信じる者が永遠の命を持ち、私が最後の日に彼を起こすためである。それゆえ、ユダヤ人たちは彼について不平を言っていた、なぜなら彼が私は天から降りてきたパンであると言ったからである。そして彼らは言っていた、この者はヨセフの息子イエスではないか。われわれは彼の父と母を知っている。それなのに、どうしてこの者は私は天から下って来たと言うのか。したがって、イエスは答えて彼らに言った、互いにつぶやくな。誰も私のもとに来ることはできない。私を送った父がその人

を引き寄せないならば。そして私は、その人を最後の日に起き上がらせるであろう。預言者たちの中に書かれている、そして彼らはすべて神に教えられるだろう。父から聞いて学んだ者はすべて私のもとに来る、誰かがその父を見たということではない。神のもとから来た者でなければ、この者だけがその父を見たのである。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。私を信じる者は永遠の命を持つ。私は生命のパンです。あなたがたの父たちは荒野でマナを食べたが、死んだ。これは天から降りてくるパンであり、誰かがそれを食べて死なないためのものです。私は天から下って来た生きているパンである。もし誰かがこのパンから食べるなら、永遠に生きるだろう。そして私が与えるパンは私の肉である。それは私が世の命のために与えるものである。それゆえ、ユダヤ人たちは互いに論じ合って言った、この者はどうして私たちに自分の肉を食べさせることができるのか。それゆえイエスは彼らに言った、まことに、まことに、あなたがたに言う。もし人の子の肉を食べず、その血を飲まなければ、あなたがたは自分自身の内に命を持たない。私の肉を食べ、私の血を飲む者は、永遠の命を持っている。そして私は、最後の日にその者を復活させるであろう。私の肉は真に食べ物であり、私の血は真に飲み物だからである。私の肉を食べ、私の血を飲む者は私の内に留まり、私もその者の内に留まる。生きている父が私を送ったように、私も父によって生きている、そして私を食べる者も、その者は私によって生きるだろう。これは天から降りてきたパンである。あなたがたの父たちがマナを食べたように死んだようにではない。このパンを食べる者は永遠に生きるだろう。これらのことを、カペルナウムで会衆の中で教えているときに言った。

したがって、彼の弟子たちの中の多くの者が聞いて言った、この言葉は難しい。誰がこれを聞くことができようか。しかしイエスは、弟子たちがこのことについて不平を言っているのを自分自身の中で知って、彼らに言った、このことがあなたたちをつまづかせるのか? それゆえ、もしあなたがたが人の子が以前にいた

所へ上昇するのを見るならば。その霊は生かすものである。肉は何の益もない。私があなたがたに話す言葉は、霊であり、命である。しかし、あなたがたの中には信じない者たちがいる。なぜなら、イエスは初めから、信じていない者たちが誰であるか、そして彼を引き渡す者が誰であるかを知っていたからである。そして彼は言った、このゆえに私はあなたがたに言った。誰も私のもとに来ることはできない、もしそれが彼に与えられていないならば、私の父から。このことから、彼の弟子たちの多くが去って後ろへ行き、もはや彼と共に歩かなくなった。イエスは十二人に言った、あなたがたも去りたいのか。シモン・ペトロは答えた、主よ、私たちは誰のところへ行くのでしょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられますそして私たちは信じ、また知っています。あなたは生ける神の子キリストであると。イエスは彼らに答えた、私があなたがた十二人を選んだのではないか?そしてあなたがたのうちの一人は悪魔である。彼はシモンの子イスカリオテのユダについて言っていた。なぜなら、この者は十二人の一人でありながら、彼を引き渡そうとしていたからである。

7

そしてこれらの後、イエスはガリラヤを歩いていた。なぜなら、彼はユダヤを歩くことを望んでいなかったからである。それは、ユダヤ人たちが彼を殺そうと求めていたからである。しかし、ユダヤ人たちの祭りである仮庵祭が近づいていた。それゆえ、彼の兄弟たちは彼に言った、ここを去ってユダヤへ行きなさい。そうすればあなたの弟子たちも、あなたが行っている業を見ることができる。誰も秘密裏に何かを行いながら、自分自身が公然と知られることを求めたりはしない。もしあなたがこれらのことを行うなら、世界に自分自身を示しなさい。なぜなら、彼の兄弟たちでさえ彼を信じていなかったからである。イエスは彼らに言う、私の時はまだ来ていない。しかし、あなたがたの時は常に準備ができています。世界はあなたがたを憎むことができない。し

かし私を憎む。なぜなら私は、彼の業が悪いと、彼について証言するからである。あなたたちはこの祭りに上って行きなさい。私はまだこの祭りに上って行かない。なぜなら私の時はまだ満たされていないからである。しかしこれらのことを彼らに言って、ガリラヤに留まった。彼の兄弟たちが上がった時、その時彼自身も祭りへ上がった、公然とではなく、秘密のうちに。それゆえ、ユダヤ人たちは祭りで彼を探していて、あの者はどこにいるのかと言っていた。そして群衆たちの中で彼についての多くのつぶやきがあった。ある者たちは確かに彼は良いと言っていたが、他の者たちはいいえ、しかし彼は群衆を惑わしていると言っていた。しかしながら、誰もユダヤ人たちへの恐れのために、彼について率直に話そうとはしなかった。

すでに祭りが半ばになったとき、イエスは神殿に上がって教えていた。そしてユダヤ人たちは驚いて言った、この人は学んだことがないのに、どのようにして文字を知っているのか。イエスは彼らに答えて言われた、私の教えは私のものではなく、私を送られた方のものである。もし誰かが彼の意志を行うことを欲するのなら、その教えについて知るだろう、それが神から出ているのか、または私が自分自身から話しているのかを。自分自身から話す者は自分自身の栄光を求めるが、彼を送った方の栄光を求める者は真実であり、彼には不正がない。モーセはあなたがたに律法を与えたではないか。しかし誰もあなたがたの中で律法を行っていない。なぜあなたがたは私を殺そうとするのか。群衆は答えて言った、あなたは悪霊に取りつかれている。誰があなたを殺そうとしているのか? イエスは答えて彼らに言った、私は一つの業をした。そしてあなたたちは皆、このゆえに驚いている。モーセはあなたがたに割礼を与えた。それはモーセから出たものではなく、父たちから出たものである。そしてあなたがたは安息日に人に割礼を施す。もし人が安息日に割礼を受けるのがモーセの律法が破られないためであるなら、私が安息日に人を全体として健康にしたことで、あなたがたは私に怒るのか。外見によって裁く

な、しかし正しい裁きを下せ。それゆえ、エルサレム人たちのうちのある者たちが言っていた、この者は彼らが殺そうと探している者ではないのか。そして見よ、彼は公然と話している、そして彼らは彼に何も言わない。まさか支配者たちは、この者が真にキリストであると本当に知ったのではあるまいか。しかし、この者については私たちはどこの出身か知っている。一方、キリストが来られる時には、誰もどこの出身か知らない。それゆえイエスは神殿で教えながら叫んで言った、あなたがたは私を知っており、そして私がどこから来たかを知っている。そして私は自分自身から来たのではない、しかし私を送った方は真実であり、その方をあなたがたは知らない。私は彼を知っている。なぜなら私は彼のもとから来た者であり、そして彼が私を遣わしたからである。それゆえ彼らは彼を捕らえようとしたが、誰も彼に手をかけなかった。なぜなら、まだ彼の時が来ていなかったからである。しかし、群衆の中の多くの者が彼を信じ、そして言った、キリストが来るとき、この人がしたしるしよりも多くのしるしをするだろうか。パリサイ人たちは、群衆が彼についてこれらのことをつぶやいているのを聞いた。そして、パリサイ人たちと祭司長たちは、彼を捕らえるために下役たちを送った。それゆえイエスは言った、まだ少しの間、私はあなたがたと共にいる。そして私を送った者のもとへ去る。あなたがたは私を求めるだろう、そして見つけることはしないだろう、そして私がいるところに、あなたがたは来ることができない。それでユダヤ人たちは互いに言った、この者はどこへ行くつもりなのか、私たちが彼を見つけられないとは。まさかギリシャ人たちの離散の地へ行つて、ギリシャ人たちを教えるつもりではあるまいな。彼が言ったこの言葉とは何か、あなたがたは私を探し求めるが見つけることはできない、そして私がいる所に、あなたがたは来ることができないとは？

しかし、その祭りの最後の大きな日に、イエスは立って叫んで言った、もし誰かが渇くなら、私のもとに来て飲みなさい。私を信じる者は、聖書が言ったように、その腹から生ける水の川

が流れ出るであろう。これは、彼を信じる者たちが受けようとしていた御霊について言われたのである。イエスがまだ栄光を受けていなかったのも、聖霊はまだ下っていなかったからである。多くの群衆からその言葉を聞いた者たちは、この方は真に預言者であると言っていた。他の者たちはこの者がキリストであると言っていたが、別の者たちはまさかキリストがガリラヤから来るのかと言っていた。聖書は、キリストはダビデの子孫から、そしてダビデがいたベツレヘムの村から来ると言っているではないか。したがって、彼のゆえに群衆の中に分裂が起こった。彼らのうちの何人かは彼を捕らえようと望んだが、誰も彼に手をかけなかった。それゆえ、助手たちは祭司長たちとパリサイ人たちのところへ来た。すると彼らは助手たちに言った、なぜあなたがたは彼を連れて来なかったのか。助手たちは答えた、この人のように話した人は、かつてありませんでした。したがって、パリサイ人たちは彼らに答えた、あなたたちもまた導かれ迷わされてきたのではないか。支配者たちの中の誰かが彼を信じたのか、あるいはパリサイ人たちの中の誰かが信じたのか。いや、そうではない。しかしこの群衆は律法を知らず、呪われた者たちである ニコデモスが彼らに言う。夜に彼のもとに来た者で、彼らのうちの一人であったが、私たちの法は、まずその人から話を聞き、何をしているか知ることなしに、その人を裁くだろうか。彼らは答えて彼に言った、あなたもガリラヤの出身ではないだろうか。調べて見なさい。ガリラヤから預言者は起こされていない。そして各々が自分の家へ去った。

8

しかしイエスはオリブ山へ行った。夜明けに再び神殿へ来た。そしてすべての民衆が彼のもとへ来ていた。そして座って彼らを教えていた。律法学者たちとパリサイ人たちは、姦淫の現場で捕らえられた女を連れて来て、彼女を真ん中に立たせた。彼らは彼に言った、先生、この女は姦淫の現場で捕らえられました。

そして私たちの法律の中でモーセはそのような者たちを石打ちにするよう命じた。それであなたは何と言うのか?しかし彼らは、彼に対する告発の材料を得るために、彼を試してこれを言ったのである。しかしイエスは身をかがめて、指で地面に書いておられた。しかし彼らが彼に尋ね続けたので、彼は身を起こして彼らに言った、あなたがたの中で罪のない者が、最初に彼女に石を投げよ。そして再び下に屈んで、彼は地面に書いていた。彼らはそれを聞くと、長老たちから始めて、一人ずつ出て行った。そしてイエスと、真ん中にいる女が残された。見上げて、イエスは彼女に言った、女よ、彼らはどこにいるのか?誰もあなたを罪に定めなかったのか?彼女は言った、誰もいません、主よ。するとイエスは言った、私もあなたを罪に定めない。行きなさい、そして今からもう罪を犯してはならない。

再び、それゆえイエスは彼らに話して言った、私は世界の光である。私に従う者は暗闇の中を歩くことはなく、命の光を持つであろう。それゆえ、パリサイ人たちは彼に言った、あなたは自分自身について証言している、あなたの証言は真実ではない。イエスは答えて彼らに言った、たとえ私が私自身について証言しても、私の証言は真実である。なぜなら私はどこから来たか、そしてどこへ行くかを知っているからである。しかしあなたがたは私がどこから来るのか、またはどこへ行くのかを知らない。あなたがたたちは肉に従って裁くが、私は誰も裁かない。そしてもし私が裁くとしても、私の裁きは真実である。なぜなら私は独りではなく、私と私を遣わした父がいるからである。そして、あなたがたの法律にも、二人の人間の証言は真実であると書かれている。私は私自身について証言している者であり、そして私を送った父が私について証言する。それゆえ彼らは彼に言った、あなたの父はどこにいるのか。イエスは答えた、あなたがたは私を知らず、私の父も知らない。もしあなたがたが私を知っていたなら、私の父をも知っていただろう。これらの言葉をイエスは宝物庫で、神殿

で教えながら話した。しかし誰も彼を捕らえなかった。まだ彼の時が来ていなかったからである。

それゆえイエスは再び彼らに言った、私は行く、そしてあなたがたは私を探し求めるだろう、そしてあなたがたは自分の罪の中で死ぬだろう。私が行く所に、あなたがたは来ることができない。ユダヤ人たちは言っていた、まさか彼は自分自身を殺すつもりではないだろうか。なぜなら私が行くところへ、あなたがたは来ることができないと言うのだから。そして彼らに言った、あなたがたは下のものから出ている。私は上のものから出ている。あなたがたはこの世から出ている。私はこの世から出ていない。私はあなたがたに言った。あなたがたは自分の罪の中で死ぬだろうと。なぜなら、もしあなたがたが私であることを信じなければ、あなたがたは自分の罪の中で死ぬだろうから。それで彼らは彼に言った、あなたは誰ですか。そしてイエスは彼らに言った、初めから私があなたたちに話していることです。私はあなたがたについて話すことも裁くことも多く持っているが、私を送った方は真実であり、私は彼から聞いたこれらのことを世界に言う。彼らは、彼が父について語っていたことを理解しなかった。それゆえイエスは彼らに言われた、あなたがたが人の子を上げる時、その時あなたがたは私が在ることを知るであろう。そして私は自分自身からは何もせず、ただ私の父が私に教えられたように、これらのことを語るのである。そして私を遣わした方は私と共におられる。父は私を一人残されなかった。なぜなら私はいつも彼に喜ばれることを行うからである。彼がこれらのことを話していると、多くの人々が彼を信じた。

それゆえ、イエスは彼を信じたユダヤ人たちに向かって言っていた、もしあなたがたが私の言葉の中に留まるなら、あなたがたは真に私の弟子である。あなたがたは真理を知るだろう。そして真理は、あなたがたを自由にするだろう。彼らは彼に答えた、私たちはアブラハムの子孫であり、誰にも奴隷にされたことは決

してない。どうしてあなたはあなたがたは自由になると言うのか。イエスは彼らに答えた、まことに、まことに、あなたがたに言う、罪を犯している者はすべて罪の奴隷である。しかし、奴隷は永遠に家に留まらない。息子は永遠に留まる。もし息子があなたがたを自由にするならば、あなたがたは本当に自由になるだろう。私は知っている、あなたがたはアブラハムの子孫である。しかし、あなたがたは私を殺そうとしている。なぜなら、私の言葉があなたがたの中に入らないからである。私は私の父のもとで見たことを話し、あなたたちはあなたたちの父のもとで見たことを行う。彼らは答えて彼に言った、私たちの父はアブラハムです。イエスは彼らに言う、もしあなたがたがアブラハムの子供たちであつたなら、あなたがたはアブラハムの業を行っていたであろう。しかし今、あなたがたは私を殺そうとしている。私は神から聞いた真理をあなたがたに語った人間である。これをアブラハムはしなかった。あなたたちは自分たちの父の業を行っている。それゆえ彼らは彼に言った、私たちは姦淫から生まれたのではない。私たちには一人の父がいる、神である。それゆえイエスは彼らに言った、もし神があなたがたの父であつたなら、あなたがたは私を愛しただろう。なぜなら私は神から出て来て、ここに来ているからである。私は自分自身から来たのではなく、あの方が私を遣わしたのである。なぜあなたがたは私の話を理解しないのか?それは、あなたがたが私の言葉を聞くことができないからである。あなたがたは悪魔である父から出た者であり、あなたがたの父の欲望を行うことを望んでいる。あの者は初めから人殺しであつた。そして真理の中に立っていない。なぜなら彼の中に真理がないからである。彼が偽りを語るとき、自分自身のものから語る。なぜなら彼は嘘つきであり、偽りの父だからである。しかし、私が真理を語っているのに、あなたがたは私を信じない。あなたたちのうちの誰が、罪について私を責めることができるのか?もし私が真理を語っているなら、なぜあなたたちは私を信じないのか? 神から出た者は神の言葉を聞く。あなたがたが聞かないのは、神から出た者ではないからである。それゆえユダヤ人た

ちは答えて彼に言った、私たちが、あなたはサマリア人であり悪霊を持っていると言うのは正しくないだろうか。イエスは答えた、私は悪霊を持っていない、しかし私の父を尊ぶ、そしてあなたたちは私を侮辱する。しかし私は私の栄光を求めない。それを求め、裁く者がいる。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。もし誰かが私の言葉を守るならば、その人は永遠に決して死を見ることはないであろう。そこでユダヤ人たちは彼に言った、今、私たちはあなたが悪霊に取り憑かれていることを知った。アブラハムは死に、預言者たちも死んだ。それなのにあなたはもし誰かが私の言葉を守るならば、決して永遠に死を味わうことはないと言う。あなたは私たちの父アブラハムより偉大なのか、彼は死んだのだ。預言者たちも死んだ。あなたは自分を何者だと思っているのか。イエスは答えた、もしわたしが自分自身に栄光を与えるなら、わたしの栄光は何もない。わたしに栄光を与えているのはわたしの父である、その方をあなたたちは自分たちの神だと言っている。そしてあなたがたは彼を知らなかった、しかし私は彼を知っている。そしてもし私が私は彼を知らないと言うならば、私はあなたがたのような嘘つきであろう、しかし私は彼を知っており、そして彼の言葉を守っている。あなたがたの父アブラハムは、私の日を見ることを喜び、そして見て、そして喜んだ。それでユダヤ人たちは彼に言った、あなたはまだ五十歳にもなっていないのに、アブラハムを見たのか？ イエスは彼らに言った、まことに、まことに、あなたがたに言う、アブラハムが生まれる前に、私はある。そこで彼らは石を取り上げた、彼に投げつけるために。しかしイエスは身を隠し、彼らの真ん中を通り抜けて神殿から出て行き、そのまま立ち去った。

9

そして通り過ぎながら、生まれつき盲目の人を見た。そして彼の弟子たちが彼に尋ねて言った、ラビ、誰が罪を犯したのですか、この人ですか、それとも彼の両親ですか、盲目に生まれるた

めに? イエスは答えた、この人が罪を犯したのでもなく、彼の両親が罪を犯したのでもない。しかし神の業が彼において現されるためである。私を送った方の業を、日のあるうちに行うことが必要である。夜が来る。その時、誰も働くことができない。私が世界にいる間は、私は世界の光である。これらのことを言って、彼は地面に唾を吐き、その唾から泥を作り、そしてその泥を盲人の目に塗った。そして彼に言った、シロアムの池へ行行って洗いなさい、それは遣わされた者と解釈される。従って彼は去って洗い、そして見えるようになって来た。

それで隣人たちと、以前彼が盲人であつたのを見ていた人々は言っていた、この人は座って物乞いをしていた者ではないか他の者たちはこれは彼だと言っていた。しかし他の者たちは彼に似ていると言っていた。あの者は私だと言っていた。彼らは彼に言った、どのようにしてあなたの目は開かれたのか。あの者は答えて言った、イエスと呼ばれる人が泥を作って私の目に塗り、私にシロアムの池へ行行って洗えと言いました。それで行って洗うと、見えるようになりました。彼らはそれゆえ彼に言った、あの者はどこにいるのか。彼は言う、知らない。

彼らはかつて盲目であつた彼をファリサイ派の人々のもとへ導く。イエスが泥を作り、彼の目を開けたのは安息日であつた。それゆえ、パリサイ人たちは再び彼に、どのようにして見えるようになったのかを尋ねた。しかし彼は彼らに言った、泥を私の目の上に置き、そして私は洗い、そして見えます。パリサイ人たちのある者たちは言った、この人は神から来た者ではない。安息日を守らないからだ。他の者たちは言った、罪人がどうしてそのようなしるしを行うことができようか。そして彼らの間に分裂が生じた。彼らは再びその盲人に言う、彼があなたの目を開けたことについて、あなたは何と言うか。しかし彼は言った、彼は預言者である。したがって、ユダヤ人たちは、見えるようになった者の両親を呼ぶまで、彼が盲目だったこと、そして見えるようになって

たことについて信じなかった。そして彼らは彼らに尋ねて言った、この者はあなたがたの息子ですか、あなたがたが盲目で生まれたと言っている者は。それではどうして今見えるのですか。彼の両親は彼らに答えて言った、私たちは知っています、この者が私たちの息子であること、そして盲目で生まれたことを。しかし、どのようにして今見えるのか私たちは知りません。また、誰が彼の目を開けたのかも私たちは知りません。彼自身は成人しています。彼に尋ねてください。彼自身が自分自身について話すでしょう。これらのことを彼の両親が言ったのは、ユダヤ人たちを恐れていたからである。というのも、もし誰かが彼をキリストと告白するならば、会堂から追放された者となるということを、ユダヤ人たちはすでに合意していたからである。このため彼の両親は彼は成人しています、彼に尋ねてくださいと言った。彼らは二度目にその盲目だった人を呼び、そして彼に言った、神に栄光を帰しなさい。私たちはこの人が罪人であることを知っている。それゆえ、あの者は答えて言った、彼が罪人であるかどうかは知りません。一つだけ知っています。盲目であった私が今見えるということです。私は再び彼に言った、彼はあなたに何をしたのか?どのようにしてあなたの目を開けたのか?彼らに答えた、すでにあなたがたに言いましたが、あなたがたは聞きませんでした。なぜ再び聞きたいのですか?まさかあなたがたも彼の弟子になりたいのですか?彼らは彼を罵って言った、あなたはあの者の弟子だが、私たちはモーセの弟子である。私たちは神がモーセに話したことを知っているが、この者がどこから来たのかは知らない。その人は答えて彼らに言った、まさにこれこそ不思議なことです。あなたがたは彼がどこから来たか知らないのに、彼は私の目を開けたのです。私たちは知っている、罪人たちの声を神は聞かないが、もし誰かが神を畏れる者であり、そして彼の意志を行うなら、この人の声を聞く。その時代から、生まれつき盲目の者の目を誰かが開いたということは聞かれたことがなかった。もしこの人が神からでなかったなら、何もすることができなかつただろう。彼らは答えて彼に言った、罪の中にあなたは全く生まれた、

そしてあなたが私たちを教えるのか。そして彼らは彼を外に追い出した。イエスは、彼らが彼を外に追い出したことを聞いた、そして彼を見つけて彼に言った、あなたは神の子を信じるか。彼は答えて言った、主よ、その方はどなたですか、私が信じるために? イエスは彼に言った、あなたは彼を見た。そしてあなたと話している者がその者である。彼は言った、私は信じます、主よと、そして彼に礼拝した。そしてイエスは言った、私は裁きのためにこの世に来了。見えない者が見えるようになり、見える者が盲目になるために。そしてパリサイ人たちの中で彼と共にいた者たちがこれらのことを聞いた、そして彼らは彼に言った、私たちも盲目なのですか? イエスは彼らに言った、もしあなたがたが盲目であつたなら、あなたがたは罪を持たなかつただろう。しかし今あなたがたは私たちは見ると言う。したがってあなたがたの罪は残る。

10

まことに、まことに、私はあなたがたに言う。戸を通して羊の囲いに入らず、他の所から登る者は、泥棒であり強盗である。しかし、戸を通して入る者は羊の羊飼である。この者に門番は開け、羊たちは彼の声を聞く。そして自分の羊たちを名によって呼び、それらを導き出す。そして、彼が自分の羊を外に出すときは、彼はそれらの前を行き、羊は彼に従う。なぜなら、彼らは彼の声を知っているからである。見知らぬ者には従わず、むしろその者から逃げるだろう、なぜなら彼らは見知らぬ者たちの声を知らないからである。このたとえ話をイエスは彼らに語ったが、彼らは彼が彼らに話していたことが何であるかを理解しなかつた。そこでイエスは再び彼らに言った、まことに、まことに、私はあなたがたに言う、私は羊の門である。私より前に来た者はすべて、泥棒であり強盗である。しかし羊たちは彼らの声を聞かなかつた。私は門です。もし誰かが私を通して入るなら、救われるでしょう。そして出入りし、牧草を見つけるでしょう。その泥棒

は、盗み、殺し、滅ぼすためでなければ来ない。私は、彼らが命を持ち、豊かに持つために来た。私はその良い羊飼である。その良い羊飼いは、羊たちのために彼の魂を置く。その雇い人は羊飼ではなく、その羊たちは自分のものではない。狼が来るのを見ると、羊たちを置き去りにして逃げる。そして狼はそれらを奪い、羊たちを散らす。しかし雇い人は逃げる、なぜなら彼は雇い人であり、羊たちのことは彼にとって重要ではないからである。私は良い羊飼である。私は私のものを知り、私のものによって知られる。父が私を知るように、私は父を知る、そして私の魂を羊のために置く。そして私には他の羊がいる。それらはこの囲いのものではない。そしてそれらをも私は導かなければならない。そして彼らは私の声を聞くだろう。そして一つの群れ、一人の羊飼いとなるだろう。このゆえに父は私を愛する。なぜなら私は私の魂を置くからである、それを再び取るために。誰も私からそれを取り去ることはない、しかし私は自ら進んでそれを置く。私はそれを置く権威を持ち、そして再びそれを取る権威を持つ。この戒めを私の父から受けた。したがって、これらの言葉のために、ユダヤ人たちの中に再び分裂が起こった。しかし彼らの多くが言っていた、悪霊に取り憑かれて狂っている。なぜ彼の言うことを聞くのか。他の者たちは言った、これらの言葉は悪霊に憑かれた者のものではない。悪霊が盲人の目を開くことができるだろうか？

そしてエルサレムで奉献式が行われ、冬であった。そして、イエスは神殿のソロモンの柱廊を歩いていた。それゆえユダヤ人たちは彼を囲んで、彼に言っていた、いつまで私たちの魂を取り上げるのか。もしあなたがそのキリストであるなら、私たちに率直に言え。イエスは彼らに答えた、私はあなたがたに言ったが、あなたがたは信じない。私が私の父の名において行う業、これらが私について証しする。しかし、あなたがたは信じない。なぜなら、あなたがたは私の羊に属する者ではないからである、私があなたがたに言ったように。私の羊は私の声を聞き、私はそれらを

知っており、それらは私に従う。そして私は彼らに永遠の生命を与える、そして彼らは永遠に滅びることはない、そして誰も私の手から彼らをつかみ取ることはない。私の父は、私に与えてくださった方であり、すべてのものより偉大である。そして誰も私の父の手から奪うことはできない。私と父は一つである。それゆえ、ユダヤ人たちは彼を石打ちにするために、再び石を運んだ。イエスは彼らに答えた、私は私の父から多くの良い業をあなたがたに示した。それらのうちのどの業のために、あなたがたは私を石打ちにするのか？ユダヤ人たちは彼に答えて言った、良い業について私たちはあなたを石打ちするのではなく、冒瀆についてである、そしてあなたは人間でありながら、あなた自身を神としているからである。イエスは彼らに答えた、あなたがたの律法に私は言った、あなたがたは神々であると書かれていないか。もし彼が、神の言葉が臨んだ者たちを神々と呼んだのであれば、そして聖書は廃棄されることができないのであれば、父が聖別し、世界へ遣わした者を、あなたたちは冒瀆していると言うのか、私が神の子であると言ったからといって。もし私が父の業を行わないなら、私を信じるな。もし私が行うなら、たとえ私を信じなくても、その業を信じなさい。そうすればあなたがたは知り、そして信じるであろう。父が私におり、私が父におることを。それゆえ彼らは再び彼を捕らえようと求めたが、彼は彼らの手から出て行った。

そして彼は再びヨルダンの向こうへ、ヨハネが最初にバプテスマしていた場所へ去り、そこにとどまった。そして多くの人々が彼のもとに来て言った、ヨハネは確かに何のしるしも行わなかった。しかしヨハネがこの人について言ったことはすべて真実であった。そして、そこで多くの人々が彼を信じた。

ベタニアから来た、マリアとその姉妹マルタの村の出身である、病んでいるラザロという人がいた。マリアは主に香油を塗り、自分の髪で主の足を拭いた人であったが、彼女の兄弟ラザロが病気であった。そこで姉妹たちは彼のもとに使いを送って言った、主よ、ご覧ください、あなたが愛しておられる者が病気で。イエスはそれを聞いて言った、この病は死に至るものではなく、神の栄光のためであり、それによって神の子が栄光を受けるためである。イエスは、マルタと彼女の姉妹とラザロを愛していた。それゆえ彼が病んでいると聞いたとき、その時確かに彼は自分が居た場所に二日間留まった。その後、彼は弟子たちに言った、再びユダヤへ行こう。弟子たちは彼に言う、ラビ、今ユダヤ人たちがあなたを石打ちにしようとしていたのに、またそこへ行かれるのですか。イエスは答えた、一日には十二時間があるではないか。もし誰かが昼の間に歩くなら、つまづくことはない。なぜなら、この世の光を見るからである。しかし、もし誰かが夜に歩けば、つまづく。なぜなら、光が彼の中にないからである。これらのことを言った後、彼らに言う、私たちの友ラザロは眠っている。しかし私は彼を目覚めさせるために行く。彼の弟子たちは言った、主よ、もし彼が眠ってしまったなら、救われるでしょう。しかしイエスは彼の死について言っていたのだが、彼らは睡眠の眠りについて言っていると思った。その時、イエスは彼らに率直に言った、ラザロは死んだ。そして私はあなたたちのために喜ぶ、あなたたちが信じるために。なぜなら私はそこにいなかったからだ。しかし彼のもとへ行こう。それゆえ、ディデュモスと呼ばれるトマスが仲間弟子たちに言った。私たちも行こう、彼と共に死ぬために。

イエスは来て、彼がすでに四日間墓にいるのを見つけた。ベタニアはエルサレムの近くにあり、十五スタディオンほど離れていた。そして多くのユダヤ人たちが、マルタとマリアのもとに来ていた。彼女たちを、彼女たちの兄弟について慰めるために。したがって、マルタはイエスが来ると聞いて、彼に会いに行った。

しかし、マリアは家に座っていた。マルタはイエスに言った、主よ、もしあなたがここにいたなら、私の兄弟は死ななかつたでしょう。しかし今でも私は知っている、あなたが神に求めるものは何でも、神があなたに与えてくださることを。イエスは彼女に言う、あなたの兄弟は起きるだろう。マルタは彼に言った、私は知っています。彼は最後の日の復活の時に起き上がるでしょう。イエスは彼女にこう言った、私は復活であり、生命である。私を信じる者は、たとえ死んでも生きるだろう。そして、生きていて私を信じるすべての者は、決して永遠に死ぬことはない。あなたはこれを信じるか。彼女は彼に言う、はい、主よ、私は信じています。あなたがキリスト、神の子、世に来られる方であると。そしてこれを言った後、彼女は去って行き、密かに姉妹マリアを呼んで言った、先生がいらっしゃって、あなたを呼んでおられます。あの女はそれを聞くと、すぐに起き上がって彼のもとへ来る。イエスはまだその村に来ていなかった。彼はマルタが彼に会った場所にいた。したがって、家で彼女と共にいて彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリアが速やかに立ち上がって出て行ったのを見て、彼女が墓へ行行ってそこで泣くためだと言いながら、彼女に従った。それでマリアはイエスがいた所に来て、彼を見ると、その足元に倒れ伏し、彼に言った、主よ、もしあなたがここにいたなら、私の兄弟は死ななかつたでしょう。イエスはそれゆえ、彼女が泣いているのを見て、そして彼女とともに来たユダヤ人たちが泣いているのを見て、霊において憤慨し、自分自身を乱した。そして言った、どこにあなたがたは彼を置いたのか?彼らは彼に言う、主よ、来て見てください。イエスは涙を流した。それゆえ、ユダヤ人たちは言った、見よ、彼はどれほど彼を愛していたことかしかし彼らのうちの何人かは言った、盲人の目を開いたこの人は、この人が死なないようにすることができなかったのか?イエスは、それゆえ、再び心の中で深く感動しながら、その墓へ来た。それは洞窟であり、石がその上に置かれていた。イエスが言う、その石を取り除きなさい。死んだ者の姉妹マルタが彼に言う、主よ、もう臭っています。四日目ですから。イエスは彼女に

言った、もしあなたが信じるならば、神の栄光を見るであろうと、わたしはあなたに言わなかったか。それゆえ、彼らは死んだ者が横たわっていた石を取り上げた。しかしイエスは目を上に上げて言った、父よ、あなたが私の声を聞いてくださったことを感謝します。私はあなたがいつも私の言うことを聞いてくださることを知っていました。しかし、周りに立っている群衆のために私は言いました。彼らがあなたが私を遣わされたことを信じるためです。そしてこれらのことを言って、大きな声で叫んだ、ラザロよ、外へ来い。そして死んだ者が出て来た。足と手は布で縛られ、顔は布で巻かれていた。イエスは彼らに言った、彼を解いて、行かせなさい。

それゆえ、マリアのもとに来て、イエスが行ったことを見たユダヤ人たちのうちの多くの者が、彼を信じた。しかし彼らの何人かはパリサイ人のところへ去り、イエスが行ったことを彼らに言った。祭司長たちとパリサイ人たちは議会を集めて、言った、私たちはどうすればよいのか。この人は多くのしるしを行っている。もし我々が彼をこのまま放っておけば、全ての者が彼を信じるようになるだろう。そしてローマ人たちが来て、我々の場所も国民も取り去るだろう。しかし彼らのうちの一人、その年の大祭司であったカイアファが彼らに言った、あなたがたは何も知らない、また、あなたたちは考えないのか。一人の人が民のために死に、全国民が減びないことが私たちにとって有益であるということを。しかしこれは彼自身から言ったのではなく、あの年の大祭司であったので、イエスがその民族のために死のうとしていることを預言したのである。そしてその国のためだけでなく、神の散らされた子供たちを一つに集めるためでもある。したがって、その日から彼らは彼を殺すために協議した。イエスはしたがって、もはや公然とユダヤ人たちの中を歩かず、そこから荒野に近い地方へ去り、エフライムと呼ばれる町に入り、そこで弟子たちとともに過ごしていた。ユダヤ人たちの過越祭が近かった。そして多くの者たちが、過越祭の前に彼ら自身を清めるために、地方から

エルサレムへ上って行った。彼らはイエスを探し求めていた。そして神殿に立って互いに言い合っていた、あなたがたにはどう思われるか。彼が祭りに来ないのではないかということが。しかし祭司長たちとパリサイ人たちは、もし誰かが彼がどこにいるか知ったなら報告するようにと命令を与えていた。彼らが彼を捕らえるためであった。

12

それゆえイエスは、過越祭の六日前にベタニアに来た。そこには、彼が死者の中から起こしたラザロがいた。それゆえ彼らはそこで彼のために夕食を用意した。マルタは給仕をしており、ラザロは彼と共に食卓に着いていた人々の一人であった。そこでマリアは、純粋で高価なナルドの香油一ポンドを取って、イエスの足に塗り、自分の髪でその足を拭いた。そして家は香油の香りで満たされた。したがって、彼の弟子たちの中の一人、彼を引き渡そうとしていたシモンの子ユダ・イスカリオテが言う。なぜこの香油は三百デナリオンで売られず、貧しい人々に与えられなかったのか? 彼がこれを言ったのは、貧しい人々のことを気にかけていたからではなく、泥棒であり、金庫を管理していて、入れられた金を持ち去っていたからである。イエスは言った、彼女をそのままにさせよ。彼女は私の埋葬の日のためにそれを保ってきたのだ。貧しい人々は常にあなたがたと共にいるが、私は常にあなたがたと共にいるわけではない。ユダヤ人たちの中の大きな群衆は、彼がそこにいるということを知った。そして彼らは、イエスのためだけでなく、彼が死者たちの中から起こしたラザロを見るためにも来た。祭司長たちは、ラザロをも殺すために計画した。なぜなら、多くのユダヤ人が彼のゆえに去って行き、イエスを信じたからである。

その次の日、祭りに来ていた大勢の群衆が、イエスがエルサレムに来ると聞いて、彼らは棕櫚の木の枝を取り、彼を迎えに出

て行った。そして彼らは叫んでいた、ホサナ、祝福されているのは主の名において来る者、イスラエルの王。しかしイエスは若いロバを見つけて、それに座った。それは書かれているとおりである。恐れるな、シオンの娘よ。見よ、あなたの王が来られる、ろばの子馬に乗って。

しかし、彼の弟子たちは最初これらのことを知らなかった。しかし、イエスが栄光を受けた時、その時彼らは、これらのことが彼について書かれていたこと、そして彼らがこれらのことを彼に行ったことを思い出した。それゆえ、彼と共にいた群衆は、彼がラザロを墓から呼び、彼を死者たちから起こしたとき、証言した。このゆえに群衆も彼に会いに来た、なぜなら彼らは彼がこのしるしを行ったことを聞いたからである。したがって、パリサイ人たちは自分たちに言った、あなたがたには分かるだろう、我々は何の利益も得ていない。見よ、世界は彼の後について行ってしまった。

祭りで礼拝するために上って行く者たちの中に、何人かのギリシャ人たちがいた。これらの者たちは、したがって、ガリラヤのベツサイダ出身のピリポのところに来て、彼に尋ねて言った、主よ、私たちはイエスにお会いしたいのです。フィリッポスが来てアンデレに言い、そして再びアンデレとフィリッポスがイエスに言う、しかしイエスは彼らに答えて言った、人の子が栄光を受ける時が来た。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。もし一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一つのままである。しかし、もし死ねば、多くの実を結ぶ。自分の魂を愛する者はそれを失い、この世で自分の魂を憎む者は、それを永遠の命へと守るだろう。もし誰かが私に仕えるなら、私に従わせよ。そして私がいるところに、そこに私の僕もいるであろう。そしてもし誰かが私に仕えるなら、父が彼を尊ぶであろう。今、私の魂は悩まされている。そして何と言おう?父よ、私をこの時から救ってください。しかし、このために私はこの時へと来たのだ。父よ、

あなたの名に栄光を与えてください。すると、天から声が来た。私は栄光を与えた。そして再び栄光を与えるだろう。したがって、立っていて聞いた群衆は、雷が起こったと言っていた。他の者たちは、天使が彼に語ったと言っていた。イエスは答えて言った、この声は私のために起こったのではなく、あなたたちのために起こったのである。今、この世の裁きである。今、この世の支配者は外に投げ出されるだろう。そして私は、もし地から持ち上げられるならば、すべての者を私自身のもとへ引き寄せるだろう。しかし、これを彼は、どのような死によって死のうとしているかを示しながら言っていた。群衆は彼に答えた、私たちは律法から、キリストは永遠に留まると聞いています。それなのに、どうしてあなたは、人の子は高く上げられなければならないと言うのですか。この人の子とは誰ですか。それゆえイエスは彼らに言った、まだ少しの間、光はあなたがたと共にある。光を持つ間に歩きなさい、闇があなたがたを捕らえないように。そして闇の中を歩いている者は、どこへ行くのか知らない。あなたたちが光を持っている間、光を信じなさい、光の子となるために。これらのことをイエスは語った、そして去って彼らから隠れた。

これほど多くのしるしを彼らの前で行ったのに、彼らは彼を信じなかった。イザヤ預言者の言葉が成就するために、彼が言ったことを、主よ、誰が私たちの聞いたことを信じたか。そして主の腕は誰に啓示されたか。このゆえに彼らは信じることができなかった。なぜならイザヤが再び言ったからである。彼は彼らの目を盲目にし、彼らの心を硬くした。それは、彼らが目で見ることなく、心で理解することなく、立ち返ることのないためである。そして私は彼らを癒すであろう。

これらのことをイザヤが言ったのは、彼の栄光を見た時であり、彼について語ったのである。それにもかかわらず、支配者たちの中から多くの者が彼を信じた。しかし、パリサイ人たちのゆ

えに、彼らは認めなかった。会衆から追放されないためであった。彼らは神の栄光よりも人間の栄光をより愛したからである。

イエスは叫んで言った、私を信じる者は、私を信じるのではなく、私を遣わした方を信じるのである。そして私を見ている者は、私を送った方を見るのである。私は光として世界に來た。それは、私を信じるすべての者が闇の中に留まらないためである。そしてもし誰かが私の言葉を聞いて信じなくても、私は彼を裁かない。なぜなら私は世界を裁くために來たのではなく、世界を救うために來たからである。私を拒絶し、私の言葉を受け取らない者は、彼を裁く者を持っている。私が話した言葉、それが最後の日に彼を裁くであろう。なぜなら私は自分自身から話したのではなく、私を送った父ご自身が私に何を言い、何を話すべきか命令を与えたからである。そして私は知っている、彼の戒めは永遠の命であることを。それゆえ私が語ることは、父が私に言われたように、そのように語るのである。

13

過越の祭りの前に、イエスは、この世から父のもとへ去る自分の時が來たことを知り、世にいる自分の者たちを愛して、最後まで彼らを愛された。そして夕食が済んだ時、悪魔が既にシモン・イスカリオテのユダの心の中に、彼を裏切るようにと投げ入れていた。イエスは、父が全てを彼の手に与えたこと、そして自分が神から出て來て神のもとへ行くことを知っていて、夕食から立ち上がり、衣服を置き、タオルを取って自分の腰に巻いた。それから彼は水を洗面器に注ぎ、弟子たちの足を洗い始め、腰に巻いていたタオルで拭いた。それで彼はシモン・ペテロのところへ來た。するとあの者は彼に言う、主よ、あなたが私の足を洗うのですか。イエスは答えて彼に言った、私がすることを、あなたは今は知らない。しかし、この後に知るだろう。ペトロは彼に言う、決して私の足をお洗いにしないでください。イエスは彼に

答えた、もし私があなたを洗わなければ、あなたは私と共に何の関わりも持たない。シモン・ペトロは彼に言う、主よ、私の足だけでなく、手も頭も。イエスは彼に言う、体を洗った者は足を洗う必要はなく、全身が清い。あなたがたは清い。しかし全員ではない。彼は自分を引き渡そうとしている者を知っていたので、あなたがた全員が清いわけではないと言ったのである。

したがって、彼が彼らの足を洗い、彼の衣服を取って、再び横になった時、彼は彼らに言った、私があなたがたにしたことを、あなたがたは知っているか。あなたたちは私を教師また主と呼ぶが、それはよく言っている。私はそうであるからだ。もし私が、主であり教師である者が、あなたがたの足を洗ったのであれば、あなたがたもまた互いの足を洗う義務がある。私はあなたがたに例を与えた。それは、私があなたがたにしたように、あなたがたもまたそのようにするためである。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。奴隷は彼の主より大きくなく、使徒も彼を遣わした者より大きくない。もしあなたがたがこれらを知っているなら、それらを行うならば幸いである。私はあなたがた全員について言っているのではない。私は自分が選んだ者たちを知っている。しかし、聖書が成就するためである。私と共にパンを食べている者が、私に対して彼のかかとを上げた。今から、それが起こる前に、あなたがたに言っておく。それが起こったとき、私がそうであることをあなたがたが信じるためである。まことに、まことに、あなたがたに言う。もし私が誰かを送るなら、その者を受け入れる人は私を受け入れるのである。そして私を受け入れる者は、私を送った方を受け入れるのである。

これらのことを言って、イエスは霊において悩まされ、そして証言して言った、まことに、まことに、あなたがたに言う。あなたがたのうちの一人が私を裏切るだろう。それで弟子たちは、誰のことを言っているのか途方に暮れて、互いに顔を見合わせた。イエスの胸に横たわっていた弟子の一人がいた。イエスが愛

した者である。したがって、シモン・ペトロはこの者に身を傾けて、その方が言っている者が誰であるかを尋ねた。しかしあの者はイエスの胸に倒れかかって、彼に言う、主よ、誰ですか。イエスが答えた、それは、私がパン片を浸して与える者である。そして、パン片を浸して、シモンの子イスカリオテのユダに与えた。そして、その一口のパンの後、そのとき悪魔がその者の中に入った。それゆえイエスは彼に言う、あなたがすることを、もっと早くしなさい。しかし、食卓に着いていた者たちの誰も、何について彼に言ったのかを知らなかった。何人かは思った、ユダが金箱を持っていたので、イエスが彼に祭りのために私たちが必要とするものを買えと言っているのか、または貧しい人々に何かを与えるためだと。したがって、その一口のパンを取って、あの者はただちに出て行った。そして夜であった。

したがって出て行った時、イエスは言う、今、人の子は栄光を受けた。そして神は彼において栄光を受けた。もし神が彼において栄光を受けたなら、神は彼を自分自身において栄光化し、直ちに彼を栄光化するだろう。子供たち、私はまだ少しの間、あなたがたと共にいる。あなたがたは私を求めるだろう。そして私がユダヤ人たちに言ったように、私が行くところへ、あなたがたは来ることができない。そして今、あなたがたに言う。新しい戒めをあなたがたに与える、互いに愛し合いなさい、私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。このことによって、すべての人々は、あなたがたが私の弟子であることを知るだろう、もしあなたがたが互いに愛を持つならば。シモン・ペトロスは彼に言った、主よ、どこへ行かれるのですか。イエスは彼に答えた、私が行くところへ、あなたは今ついて来ることができない。しかし後であなたはついて来るだろう。ペトロは彼に言う、主よ、なぜ私は今すぐあなたに従うことができないのですか。私の魂をあなたのために捧げましょう。イエスは彼に答えた、あなたは私のためにあなたの魂を置くだろうか。まことに、

まことに、あなたに言う、雄鶏が鳴くまでに、あなたは三度私を否定するだろう。

14

あなたがたの心を乱されるな。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には、多くの住まいがある。もしそうでなければ、あなたがたに言ったであろう。私は、あなたがたのために場所を準備しに行く。そして、もし私が行って、あなたがたに場所を準備するなら、再び私は来て、あなたがたを私自身のもとに取る。それは、私がいるところに、あなたがたもいるためである。そして私が行くところをあなたたちは知っており、その道をあなたたちは知っている。トマスが彼に言う、主よ、私たちはあなたがどこへ行かれるのか知りません。そしてどうして私たちはその道を知ることができるのでしょうか。イエスは彼に言う、私は道であり、真理であり、命である。誰も私を通してでなければ父のもとに来ることはない。もしあなたがたが私を知っていたなら、私の父をも知っていただろう。そして今から、あなたがたは彼を知り、彼を見たのである。フィリポスが彼に言う、主よ、私たちに父を示してください、そうすれば私たちには十分です。イエスは彼に言う、これほど長い時間あなたがたと共にいるのに、あなたは私を知らなかったのか、フィリップよ。私を見た者は父を見たのだ。それなのに、どうしてあなたは私たちに父を見せてくださいと言うのか。あなたは、私が父の中におり、父が私の中にいることを信じないのか？私があなたたちに話す言葉は、私自身から話しているのではない。しかし、私の中に留まっている父が、ご自身で業を行っているのである。私が父の中におり、父が私の中にいることを信じなさい。もしそうでなければ、その業そのもののゆえに私を信じなさい。まことに、まことに、あなたがたに言う。私を信じる者は、私が行う働きを、その者も行うであろう。そしてこれらよりも大きなことを行うであろう。なぜなら私は私の父のもとへ行くからである。そして、あなたたちが私の名にお

いて何を求めようとも、父が子において栄光を受けるために、私はそれを行うであろう。もしあなたが私の名において何かを求めるなら、私がそれをするだろう。

もしあなたが私を愛するなら、私の戒めを守りなさい。そして私は父に尋ねるだろう、そして父は別の弁護者をあなたたちに与えるだろう、その方が永遠にあなたたちとともに留まるために。真理の霊を、世界は受け取ることができない。なぜなら、それを見ることもなく、それを知ることもないからである。しかし、あなたたちはそれを知っている。なぜなら、それはあなたたちのもとに留まり、あなたたちの中にあるからである。私はあなたたちを孤児として残さない。私はあなたたちのもとへ来る。もう少しで、世界は私をもはや見ない。しかしあなたがたは私を見る。なぜなら私は生き、そしてあなたがたも生きるからである。その日に、あなたがたは知るでしょう。私が私の父の中におり、あなたがたが私の中におり、そして私があなたがたの中にいることを。私の戒めを持ち、それらを守っている者、その者が私を愛している者である。私を愛している者は私の父によって愛されるであろう、そして私は彼を愛し、彼に私自身を現すであろう。イスカリオテでないユダが彼に言う、主よ、いったい何が起こったのですか。あなたが私たちにご自身を現そうとなさり、世には現されないと。イエスは答えて彼に言った、もし誰かが私を愛するなら、私の言葉を守るだろう。そして私の父は彼を愛するだろう。そして私たちは彼のもとへ来て、彼と共に住まいを作るだろう。私を愛していない者は、私の言葉を守らない。そして、あなたがたが聞く言葉は私のものではなく、私を送った父のものである。

これらのことを、あなたがたのもとにとどまりながら、あなたがたに話した。しかし、助け主、すなわち父が私の名において送る聖霊は、あなたがたにすべてを教え、私があなたがたに言ったすべてのことを思い出させるだろう。平和をあなたがたに残

し、私の平和をあなたがたに与える。世が与えるようには、私は与えない。あなたがたの心を乱してはならない。また恐れてはならない。あなたがたは聞いた、私があるあなたがたに言ったことを。私は去り、そしてあなたがたのもとに来る。もしあなたがたが私を愛したなら、あなたがたは喜んだであろう、私が父のもとに行くと言ったことを。なぜなら父は私より大きいからである。そして今、それが起こる前に私はあなたがたに言った。それが起こるとき、あなたがたが信じるためである。もはや多くをあなたがたと話すまい。この世の支配者が来るからである。しかし、彼は私のうちに何も持っていない。しかし、世界が知るために、私が父を愛していることを、そして父が私に命じたように、そのようにする。起きよ、ここから行こう。

15

私は真実のぶどうの木であり、私の父は農夫です。私の中にあって実を結ばないすべての枝を、彼はそれを取り去り、そして実を結ぶすべての枝を、彼はそれを清める、それがより多くの実を結ぶように。すでにあなたたちは清い。私があるあなたたちに話した言葉によって。私にとどまりなさい、そして私もあなたがたととどまる。枝がぶどうの木にとどまらなければ、自分で実を結ぶことができないように、あなたがたも私にとどまらなければできない。私はぶどうの木です、あなたがたは枝です。私にとどまり、私も彼にとどまる者、この者は多くの実を結びます、なぜなら私から離れては、あなたがたは何もすることができないからです。もし誰かが私の中に留まらないなら、枝のように外に投げられ、乾かされる。そして彼らはそれらを集め、火の中に投げ、それは燃やされる。もしあなたがたが私にとどまり、私の言葉があるあなたがたととどまるなら、あなたがたが望むものを求めなさい。そうすれば、それはあなたがたに与えられるだろう。このことにおいて私の父は栄光を受けた。あなたがたが多くの実を結び、私の弟子となるためである。父が私を愛したように、私もあなたが

たを愛した。私の愛に留まりなさい。もしあなたがたが私の戒めを守るなら、あなたがたは私の愛の中に留まるだろう。私が私の父の戒めを守り、彼の愛の中に留まっているように。これらのことを私はあなたがたに話した。それは私の喜びがあなたがたの中に留まり、そしてあなたがたの喜びが満たされるためである。これは私の戒めである。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。この愛より大きな愛を誰も持たない。それは、人が自分の魂を自分の友人たちのために捧げることである。あなたたちは私の友人である、もしあなたたちが私があなたたちに命じることを行うならば。もはや私はあなたがたを奴隷とは呼ばない。なぜなら奴隷は自分の主人が何をしているか知らないからである。しかし私はあなたがたを友と呼んだ。なぜなら私の父から聞いたすべてのことをあなたがたに知らせたからである。あなたがたが私を選んだのではなく、私があなたがたを選んだ。そして私はあなたがたを任命した。それはあなたがたが行って実を結び、その実が残るためである。それはあなたがたが私の名において父に求めるものを、父があなたがたに与えるためである。わたしがこれらのことをあなたがたに命じるのは、互いに愛し合うためである。

もし世界があなたたちを憎むなら、私をあなたたちより先に憎んだことを知りなさい。もしあなたがたが世界の中からであったなら、世界は自身のものを愛したであろう。しかしあなたがたは世界の中からではない、むしろわたしがあなたがたを世界の中から選んだ、このゆえに世界はあなたがたを憎む。私があなたがたに言った言葉を覚えなさい、奴隷は彼の主より大きくない。もし彼らが私を迫害したなら、あなたがたをも迫害するだろう、もし彼らが私の言葉を守ったなら、あなたがたの言葉をも守るだろう。しかし、彼らは私の名のゆえに、これらすべてのことをあなたがたに行うだろう。なぜなら、彼らは私を送った方を知らないからである。もし私が来て彼らに話さなかったなら、彼らは罪を持っていなかった。しかし今、彼らは自分たちの罪について言い

訳を持っていない。私を憎んでいる者は、私の父をも憎んでいる。もし私が彼らの中で、誰も他の者が行っていないその業を行わなかったならば、彼らは罪を持たなかっただろう。しかし今や、彼らは見て、そして私と私の父を憎んだのである。しかし、彼らの法に書かれた言葉が満たされるために、彼らは理由なく私を憎んだ。しかし、私が父からあなたがたに送る助け主、すなわち父から出る真理の霊が来るとき、あの方は私について証言するだろう。そして、あなたがたも証言します、なぜなら初めから私と共にいるからです。

16

これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがつまづかないためである。彼らはあなたがたを追放者とするだろう。しかし、あなたがたを殺す者すべてが神に奉仕を捧げていると思う時が来るだろう。そして彼らはこれらのことを行うだろう、なぜなら彼らは父も私も知らなかったからである。しかし、私はこれらのことをあなたがたに話した。それは、その時が来たときに、あなたがたがそれらを思い出すためである、私があなたがたに言ったことを。しかし、これらのことを初めからあなたがたに言わなかった、なぜなら私はあなたがたと共にいたからである。しかし今、私は私を送った方のもとへ行く。そしてあなたたちの中の誰も私に尋ねない、どこへ行くのかとしかし、これらのことを私があなたがたに話したので、悲しみがあなたがたの心を満たしてしまった。しかし私はあなたがたに真理を言う。私が去ることはあなたがたにとって有益である。なぜなら、もし私が去らなければ、その助け主はあなたがたのところに来ないだろう。しかし、もし行けば、彼をあなたがたのところに送るだろう。そして来たあの方は、世界を罪について、義について、そして裁きについて責めるだろう。罪については、彼らが私を信じないからである。正義については、私が私の父のもとへ行き、あなたがたがもはや私を見ないからである。しかし裁きについては、この世の支

配者が裁かれたからである。まだ多くのことをあなたたちに語ることがあるが、あなたたちは今すぐそれを担うことができない。しかし、あの者、すなわち真理の霊が来るとき、あなたがたをすべての真理へと導くだろう。なぜなら、彼は自分自身から話すのではなく、聞くことを話し、そして来るべきことをあなたがたに告げ知らせるだろう。あの者は私に栄光を与えるだろう。なぜなら、私のものから受け取り、あなたがたに告げ知らせるからである。父が持っているすべてのものは私のものである。だから私は、彼が私のものから受け取り、それをあなたがたに告げると言ったのである。少しすると、あなたたちは私を見なくなる。そして再び少しすると、あなたたちは私を見る。なぜなら私は父のもとへ行くからである。彼の弟子たちの中から互いに言った、これは何であるか、彼が私たちに言うことは、少しの間、あなたがたは私を見ない、そして再び少しの間、あなたがたは私を見るだろう、そして私は父のもとへ行くというのは。それゆえ彼らは言っていた、彼が言うしばらくとは何のことか? 私たちは彼が何を語っているのか知らない。イエスは、彼らが自分に尋ねたがっていることを知って、彼らに言った、私がしばらくすればあなたがたは私を見なくなり、またしばらくすればあなたがたは私を見ると言ったことについて、互いに論じ合っているのか。まことに、まことに、あなたがたに言う。あなたがたは泣き、そして嘆くであろう。しかし世界は喜ぶであろう。あなたがたは悲しむであろう。しかし、あなたがたの悲しみは喜びへと変わるであろう。女が出産する時、彼女は痛みを持つ。なぜなら彼女の時が来たからである。しかし子供を産むと、もはや苦しみを覚えていない。それは喜びのためである。なぜなら人が世界に生まれたからである。それであなたがたは、今は確かに悲しみを持っているが、再び私はあなたがたを見るだろう。そしてあなたがたの心は喜ぶだろう。そしてあなたがたの喜びを誰もあなたがたから取り去ることはない。そしてその日には、あなたがたは私に何も尋ねないだろう。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。あなたがたが私の名において父に求めるものは何でも、父はあなたがたに与

えるだろう。今まであなたがたは私の名において何も求めませんでした。求めなさい、そうすれば受けるでしょう、あなたがたの喜びが満たされるために。これらのことを、私はたとえてあなたがたに話した。しかし、もはやたとえて話すのではなく、率直に父について告げる時が来る。その日には、あなたがたは私の名において求めるであろう。そして私はあなたがたに、私が父にあなたがたのことを願うとは言わない。父ご自身があなたたちを愛しておられる、なぜならあなたたちは私を愛してきたし、私が神のもとから出て来たと信じてきたからである。私は父から出て、世界に来た。再び世界を去り、父のもとへ行く。彼の弟子たちは彼に言う、見よ、今あなたは率直に話し、何のたとえ話も言わない。今、私たちは知っています。あなたがすべてを知っていることを、そして誰かがあなたに尋ねる必要がないことを。このことにおいて私たちは信じます。あなたが神から出られたことを。イエスは彼らに答えた、ちょうど今、あなたがたは信じるのか。見よ、時が来る、そして今来た、あなたがたが各々自分の所へ散らされ、私をただひとり残すために。しかし私はひとりではない、なぜなら父が私と共にいるからである。これらのことを私はあなたがたに話した。それは、あなたがたが私において平安を持つためである。世界においてあなたがたは苦難を持つだろう。しかし、勇気を持て。私は世界に勝ったのである。

17

これらのことを話したイエスは、天に目を上げて言った。父よ、時が来ました。あなたの子に栄光を与えてください。そうすれば、子もあなたに栄光を帰すことができます。あなたが彼に全ての肉に対する権威を与えたように、あなたが彼に与えた全ての者に、彼が永遠の命を与えるためである。そして、これが永遠の命である。彼らがあなたを唯一の真実の神として、そしてあなたが送ったイエス・キリストを知ることである。私はあなたを地上で栄光を与えました。あなたが私に行うようにと与えた仕事を完

成しました。そして今、父よ、あなた自身のもとで私に栄光を与えてください、世界が存在する前に私があなたのもとで持っていたその栄光を。私はあなたの名を、あなたが世界から私に与えた人々に顕わにしました。彼らはあなたのものであり、あなたは彼らを私に与えました。そして彼らはあなたの言葉を守りました。今、彼らは知りました。あなたが私に与えてくださったすべてのものは、あなたから出たものであることを。なぜなら、あなたが私に与えた言葉を私は彼らに与え、そして彼ら自身はそれを受け取り、そして真に私があなたから出て来たことを知り、そしてあなたが私を送ったことを信じたからです。私は彼らのことについて願います。世のことについて願うのではなく、あなたが私に与えてくださった者たちのことについて願います。なぜなら、彼らはあなたのものだからです。そして私のものはすべてあなたのものであり、あなたのものは私のものです。そして私は彼らにおいて栄光を受けました。そして私はもはや世界にいない、そしてこれらの者たちは世界にいる、そして私はあなたのもとへ来る。聖なる父よ、あなたが私に与えたあなたの名において彼らを守ってください、私たちがそうであるように、彼らが一つであるために。私が世界で彼らと共にいた時、私はあなたの名において彼らを守っていました。あなたが私に与えた者たちを私は守りました。そして滅びの子以外、彼らの中から誰も滅びませんでした。それは聖書が成就されるためでした。今、私はあなたのもとに行きます。そして私は世界でこれらのことを話します。それは彼らが私の喜びを彼らの内に満たされて持つためです。私は彼らにあなたの言葉を与えた。そして世界は彼らを憎んだ。なぜなら、私が世界から出た者ではないように、彼らも世界から出た者ではないからである。私は、あなたが彼らを世界から取り去ることを求めているのではなく、彼らを悪から守ることを求めています。彼らはこの世のものではない、私がこの世のものではないように。彼らをあなたの真理の中で聖別してください。あなたの言葉は真理です。あなたが私を世界へ遣わされたように、私も彼らを世界へ遣わしました。そして彼らのために私は自分自身を聖別する、彼

ら自身もまた真理において聖別されたものとなるために。これらのことについてのみ私は尋ねるのではなく、彼らの言葉を通して私を信じる人々についても尋ねる。すべての人々が一つとなるように。父よ、あなたが私の中におられ、私があるの中にあるように、彼らもまた私たちの中にあって一つとなるように。それは、世があなたが私を遣わされたことを信じるためである。そして私は、あなたが私に与えた栄光を彼らに与えました。それは、私たちが一つであるように、彼らも一つとなるためです。私は彼らの中におり、あなたは私の中におられます。それは、彼らが一つとなるように完全にされるため、そして、世界が知るためです。あなたが私を遣わされたこと、そして、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを。父よ、あなたが私に与えた者たちが、私がいる所に私と共にいることを私は望みます。それは、彼らが私の栄光を見るためです。その栄光は、あなたが世界の基礎の前に私を愛したゆえに、あなたが私に与えたものです。正しい父よ、そして世界はあなたを知らなかった、しかし私はあなたを知った、そしてこれらの者たちはあなたが私を遣わしたことを知った。そして私は彼らにあなたの名を知らせました、そしてこれからも知らせます。あなたが私を愛した愛が彼らの中にあるように、そして私も彼らの中にあるように。

18

これらのことを言って、イエスは彼の弟子たちと共にケデロンの急流の向こう側へ出て行った。そこには園があり、その中へ彼と彼の弟子たちは入った。彼を引き渡そうとしているユダもその場所を知っていた、なぜならイエスはしばしば彼の弟子たちと共にそこに集まったからである。それゆえユダは、部隊と祭司長たちおよびパリサイ人たちからの従者たちを連れて、松明と灯火と武器を持ってそこに来る。イエスは、自分の上に来ようとしていたすべてのことを知っていたので、出て行って彼らに言った、誰を求めているのか。彼らは彼に答えた、ナザレ人イエスを。イ

イエスは彼らに言う、私である。そして彼を引き渡そうとしているユダも彼らと共に立っていた。したがって、彼が彼らに私であると言ったとき、彼らは後ずさりして地面に倒れた。それゆえ再び彼らに尋ねた、誰を探しているのか。彼らは言った、ナザレ人イエスを。イエスは答えた、私である、とあなたたちに言った。それゆえ、もしあなたたちが私を求めるなら、これらの者たちを去らせなさい。それは、彼が言った言葉が満たされるためである。あなたが私に与えた者たちのうち、私は彼らから誰一人失わなかった。シモン・ペテロは剣を持っていたので、それを引き抜き、大祭司の奴隷を打って、その右の耳を切り落とした。その奴隷の名前はマルコスであった。イエスはペテロに言った、剣を鞘に収めよ。父が私に与えた杯を、私は飲まずにいられようか。

それゆえ、歩兵大隊と千人隊長とユダヤ人たちの下役たちは、イエスを捕らえて彼を縛った。そして彼らは最初に彼をアンナのもとへ連れて行った。なぜならアンナはカイアフアの義理の父であり、カイアフアはその年の大祭司だったからである。カイアフアは、一人の人が民のために滅びることが有益であるとユダヤ人たちに助言した者でした。シモン・ペトロと別の弟子がイエスに従っていた。その弟子は大祭司に知られていたもので、イエスと共に大祭司の中庭に入った。しかしペトロは外の戸のところに立っていた。それゆえ、大祭司に知られていた別の弟子が出て行って、門番に言い、ペトロを連れて入れた。それで、門番の若い女がペトロに言った、あなたもこの人の弟子の一人ではありませんか。彼は言った、違います。奴隷たちと助手たちは炭火を作って立っていた。寒かったからである。そして彼らは暖まっていた。ペテロも彼らと共に立って暖まっていた。したがって、大祭司はイエスに彼の弟子たちについて、そして彼の教えについて尋ねた。イエスは彼に答えた、私は率直に世界に話した。私はいつも会衆の中で、そしてユダヤ人たちがいつも集まる神殿の中で教えた。そして秘密では何も話さなかった。なぜ私に尋ねるのか。私が彼らに何を語ったか、聞いた者たちに尋ねよ。見よ、これら

の者たちは私が言ったことを知っている。これらのことを彼が言ったとき、そばに立っていた助手の一人がイエスに平手打ちを与えて言った、大祭司にそのように答えるのか イエスは彼に答えた、もし私が悪く話したのなら、その悪について証言せよ。しかし、もしよく話したのなら、なぜ私を打つのか。アンナスは彼を縛られた状態でカイアファ大祭司のもとへ送った。シモン・ペテロは立って暖まっていた。それで人々は彼に言った、あなたも彼の弟子の一人ではないのか。それゆえ、あの者は否定して言った、私ではない。大祭司の奴隷たちの一人が、ペテロが耳を切り落としたその者の親族であって、言う、私はあなたを園で彼と共に見たではないか。再び、ペテロは否定した。そして直ちに雄鶏が鳴いた。

それゆえ彼らはイエスをカイアファのもとから総督官邸へ連れて行った。朝であった。そして彼ら自身は総督官邸に入らなかった。汚されないためであり、過越の食事を食べるためであった。それでピラトは彼らのところへ出て行って言った、あなたがたはこの人に対してどんな告発を持ってくるのか。彼らは答えて彼に言った、もしこの者が悪を行う者でなかったなら、私たちはあなたに彼を引き渡さなかつたらう。それゆえピラトは彼らに言った、あなたがた自身が彼を取り、あなたがたの律法に従って彼を裁け。それゆえユダヤ人たちは彼に言った、私たちには誰も殺すことは許されていない。イエスが、どのような死によって死のうとしていたかを示して言った言葉が満たされるために。それゆえピラトは再び官邸に入り、イエスを呼んで彼に言った、あなたはユダヤ人の王であるか? イエスは彼に答えた、あなたは自分自身からこれを言うのか、それとも他の者たちがあなたに私について言ったのか。ピラトは答えた、まさか私がユダヤ人であるというのか。あなたの民族と祭司長たちがあなたを私に引き渡したのだ。あなたは何をしたのか。イエスは答えた、私の王国はこの世から出たものではない。もしこの世から出たものであったなら、私の助手たちは、私がユダヤ人たちに引き渡されないように

戦っただろう。しかし今、私の王国はここから出たものではない。それゆえピラトは彼に言った、それゆえあなたは王なのか。イエスは答えた、あなたが私が王であると言っている。私はこのために生まれ、このために世界に来た、真理に証しするために。真理から出た者は皆、私の声を聞く。ピラトは彼に言う、真理とは何か。そしてこれを言って、再びユダヤ人たちのところへ出て行き、彼らに言う、私は彼に何の罪も見出さない。しかし、過越祭にあなたがたに一人を釈放するという慣習がある。それゆえ、あなたがたは私がユダヤ人の王をあなたがたに釈放することを望むか？それゆえ、すべての者が再び叫んで言った、この者ではない、バラバを。そして、そのバラバは強盗だった。

19

その時、それゆえピラトはイエスを取り、そして鞭打った。そして兵士たちは茨から冠を編んで、彼の頭に置いた。そして紫の衣を彼に着せた。そして彼らはユダヤ人の王、万歳と言い、彼に平手打ちを与えていた。それゆえ、ピラトは再び外へ出て行き、彼らに言った、見よ、私は彼をあなたがたのもとへ外に連れて来る。それは、私が彼に何の罪も見出さないことを、あなたがたが知るためである。したがって、イエスは茨の冠と紫の衣を身に着けて外に出て行った。そして彼らに言う、見よ、この人を。それゆえ、祭司長たちと下役たちが彼を見たとき、叫んで言った、十字架につけよ、十字架につけよ。ピラトは彼らに言う、あなたたちが彼を取って十字架につけよ。私は彼に罪を見出さないからだ。ユダヤ人たちは彼に答えた、私たちは律法を持っている、そして私たちの律法によれば、彼は死ぬべきである、なぜなら彼は自分自身を神の子としたからである。それゆえ、ピラトはこの言葉を聞いた時、いっそう恐れた。そして再び官邸に入り、イエスに言う、あなたはどこから来たのか。しかしイエスは彼に答えを与えなかった。それゆえピラトは彼に言う、私にあなたは話さないのか。私があなたを十字架につける権威を持ち、そして

私があなたを釈放する権威を持つということをあなたは知らないのか。イエスは答えた、あなたは私に対して何の権威も持っていなかった、もしそれが上から与えられていなかったならば。このゆえに、私をあなたに引き渡している者は、より大きな罪を持っている。このことから、ピラトは彼を釈放しようと求めた。しかしユダヤ人たちは叫んで言った、もしこの者を釈放するなら、あなたはカエサルの友ではない。自分自身を王とする者はすべて、カエサルに反対するのだ。そこでピラトはこの言葉を聞いて、イエスを外に連れ出し、石敷きと呼ばれる場所、ヘブライ語でガバタという場所で、裁きの座に着いた。それは過越の準備の日であった。時はおよそ第六時であった。そして彼はユダヤ人たちに言う、見よ、あなたがたの王を。彼らは叫んだ、取り上げよ、取り上げよ、彼を十字架につけよ。ピラトは彼らに言う、あなたがたの王を十字架につけようか。祭司長たちは答えた、我々はカエサル以外に王を持たない。そのとき、それゆえ彼は、十字架につけられるために、彼を彼らに引き渡した。

彼らはイエスを受け取り、連れて行った。そして彼は自分の十字架を運びながら、頭蓋骨と呼ばれる場所へ出て行った。それはヘブライ語でゴルゴタと言われる。彼らが彼を十字架につけた場所で、彼と共に他の二人を、こちら側とこちら側に、そして真ん中にイエスを十字架につけた。ピラトは標題を書き、十字架の上に置いた。そして書かれていた、ナザレ人イエス、ユダヤ人の王と。したがって、多くのユダヤ人たちがこの標題を読んだ。なぜなら、イエスが十字架につけられた場所は都市の近くであったからである。そしてそれはヘブライ語、ギリシャ語、ラテン語で書かれていた。ユダヤ人たちの祭司長たちは、ピラトに言った、ユダヤ人の王と書かず、あの者が私はユダヤ人の王であると言ったと書いてください。ピラトは答えた、私が書いたものは、書いたのだ。

したがって、兵士たちはイエスを十字架につけたとき、彼の衣服を取って四つの部分に分け、各兵士に一部ずつ与え、そして下着も取った。しかし、その下着は継ぎ目がなく、上から全体が織られたものであった。彼らは互いに言った、それを裂かないで、誰のものになるか、くじを引こう。彼らは私の衣服を自分たちのために分け、私の着物の上にくじを投げたと言っている聖句が成就するために。

それゆえ、兵士たちは確かにこれらのことをした。しかし、イエスの十字架のそばに、彼の母と彼の母の姉妹、クロパのマリアとマグダレネのマリアが立っていた。イエスは、それゆえ、母と、そばに立っている彼が愛した弟子を見て、彼の母に言う、女よ、見よ、あなたの息子を。それから弟子に言う、見よ、あなたの母を。そしてその時から、弟子は彼女を自分のところに引き取った。この後、イエスはすべてがすでに完成されたことを知り、聖書が成就されるために、私は渇くと言った。酢で満たされた容器が置いてあった。それで彼らはスポンジに酢を含ませ、ヒソプに付けて、彼の口に運んだ。それゆえ、イエスはその酢を受けたとき、成し遂げられたと言ひ、頭を垂れて、霊を引き渡した。

したがってユダヤ人たちは、準備の日であったので、その遺体が安息日に十字架の上に残らないように、というのもあの安息日の日は重要であったので、彼らの脚が折られ、そして取り去られるようにピラトに願い出た。それで兵士たちが来て、最初の者の脚を折り、また彼と共に十字架につけられたもう一人の者の脚を折った。しかしイエスのところに来て、彼がすでに死んでいるのを見たので、彼の脚を折らなかった。しかし、兵士たちの一人が槍で彼の脇腹を突き刺すと、直ちに血と水が出た。そして見た者は証言した。そして彼の証言は真実である。そして彼は真実を言うことを知っている。それはあなたがたも信じるためである。なぜなら、これらのことが起こったのは、聖書が成就されるため

であった。彼の骨は砕かれないであろう。そして再び、他の聖書は言う、彼らは自分たちが刺し貫いた者を見るだろう。

これらの後、アリマタヤ出身のヨセフがピラトに尋ねた。彼はイエスの弟子であったが、ユダヤ人たちへの恐れのために隠れていた。彼はイエスの遺体を引き取ることを願い出て、ピラトはこれを許可した。それゆえ彼は来て、イエスの遺体を引き取った。そしてニコデモスも来た。彼は最初にイエスのもとに夜来た者で、没薬とアロエの混合物をおよそ百リトラ運んで来た。それゆえ、彼らはイエスの体を取り、ユダヤ人が葬る習慣であるように、香料と共に亜麻布でそれを包んだ。しかし、十字架につけられた場所には園があり、その園の中には新しい墓があつて、その中にはまだ誰も葬られていなかった。そこで、ユダヤ人たちの準備のために、墓が近くにあったので、彼らはイエスをそこに置いた。

20

そのサバトの最初の日に、マグダラのマリアは、まだ暗いうちに朝早く墓へ来て、墓から石が取り去られているのを見た。それゆえ彼女は走って、シモン・ペテロとイエスが愛しておられたもう一人の弟子のところに来て、彼らに言う、彼らは主を墓から取り去りました、そして私たちはどこに彼らが彼を置いたのか知りません。ペテロともう一人の弟子が出て行き、墓へ向かっていた。二人は一緒に走っていたが、もう一人の弟子はペテロより速く走り、先に墓に着いた。そして身をかがめて見ると、亜麻布が横たわっているのを見たが、しかし中には入らなかった。シモン・ペテロは彼に従って来て、墓の中に入り、亜麻布が横たわっているのを見る。そして、彼の頭の上にあった顔布は、亜麻布と共に置かれていたのではなく、離れて一つの場所に巻かれていた。その時、それゆえ、最初に来たもう一人の弟子も墓の中へ入り、見て、信じた。彼らはまだ、彼が死者の中から復活しなければ

ばならないという聖書を知らなかったのである。それで、弟子たちは再び自分たちのところへ帰って行った。マリアは外で墓に向かって泣きながら立っていた。彼女が泣いていたので、墓の中をかがみ込んで見ると、白い衣を着た二人の御使いが座っているのが見えた。一人は頭のところに、もう一人は足のところに、イエスの体が横たわっていた場所に座っていた。そして彼らは彼女に言う、女よ、なぜ泣いているのか?彼女は彼らに言う、彼らが私の主を取り去ったからです、そして私は彼らがどこに彼を置いたか知りません。そしてこれらのことを言った後、彼女は後ろに振り返り、イエスが立っているのを見たが、それがイエスであることを知らなかった。イエスは彼女に言う、女よ、なぜ泣くのか。誰を求めているのか。彼女は、彼が庭師であると思って、彼に言う、主よ、もしあなたが彼を運んだのなら、どこに置いたか私に言ってください。そうすれば私が彼を引き取ります。イエスは彼女にマリアと言った。彼女は振り向いて彼にラボニと言った。それは先生という意味である。イエスは彼女に言う、私に触れてはいけない。なぜならまだ私の父のもとに昇っていないからである。しかし私の兄弟たちのもとに行き、彼らに言いなさい。私は私の父またあなたがたの父のもとに、そして私の神またあなたがたの神のもとに昇ると。マグダラのマリアが弟子たちのところに来て、主を見たこと、そして主が彼女にこれらのことを言われたことを報告した。

したがって、その安息日の最初の日の夕方であり、ユダヤ人への恐れのために弟子たちが集まっていた場所の戸が閉められていたとき、イエスが来て真ん中に立ち、彼らに言われた、あなたがたに平安があるように。そしてこう言って、彼は彼らに手と脇腹を見せた。弟子たちは主を見て喜んだ。そこでイエスは再び彼らに言った、あなたがたに平和があるように。父が私を遣わしたように、私もあなたがたを送る。そして、これを言って息を吹き込み、彼らに言う、聖霊を受けなさい もしある人々の罪をあなた

がたが赦すなら、彼らに赦される。もしある人々の罪を保持する
なら、それは保持されている。

トマスは、十二人の一人で、ディデュモスと呼ばれていた
が、イエスが来たとき、彼らと共にいなかった。他の弟子たちは
彼に言った、私たちは主を見ました。しかし彼は彼らに言った、
もし私が彼の手に釘の跡を見て、私の指を釘の跡に入れて、私の
手を彼の脇腹に入れなければ、私は決して信じません。そして八
日後、再び彼の弟子たちは内側におり、トマスも彼らと共にい
た。戸が閉じられていたが、イエスが来て、真ん中に立ち、そし
て言った、平和があなたがたに。それから彼はトマスに言う、あ
なたの指をここに持ってきて、私の手を見なさい、そしてあなた
の手を持ってきて、私の脇腹に入れなさい、そして不信の者とな
らず、信じる者となりなさい。そしてトマスは答えて彼に言っ
た、私の主、私の神。イエスは彼に言った、あなたは私を見たの
で信じたのか。見ないで信じる者は幸いである。

それゆえ、まことに、イエスは彼の弟子たちの前で、多くの
他のしるしを行ったが、それらはこの書に書かれていない。これ
らのことが書かれたのは、あなたがたがイエスは神の子キリスト
であると信じるためであり、また信じて彼の名によって命を持つ
ためである。

21

これらのことの後、イエスは再び弟子たちに御自身を現され
た、ティベリアスの海のほとりで。そして、このように現され
た。シモン・ペテロ、ディデュモスと呼ばれるトマス、ガリラヤ
のカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、そして彼の弟子た
ちのうち他の二人が一緒にいた。シモン・ペテロが彼らに言う、
私は魚を獲りに行く。彼らは彼に言う、私たちもあなたと一緒に
行く。彼らは出て行って、すぐにその船に乗り込んだ。そしてそ

の夜、彼らは何も捕まえなかった。朝がすでに来たとき、イエスは浜辺に立っていた。しかしながら、弟子たちはそれがイエスであるとは知らなかった。そこでイエスは彼らに言う、子供たちよ、何か魚を持っていないか。彼らは彼に答えた、ありません。しかし、彼は彼らに言った、網を船の右側へ投げなさい、そうすれば見つかるだろう。それゆえ彼らは投げた、そして魚が非常に多かったのもはやそれを引き上げることができなかった。したがって、イエスが愛したあの弟子がペテロに主ですと言った。シモン・ペテロは主であると聞いて、上着を帯びた。というのは裸であったからである。そして自分自身を海に投げ入れた。しかし、他の弟子たちは小舟で来た。なぜなら、地から遠くなく、むしろ二百キュビトほどで、魚の網を引きずりながらだったからである。こうして彼らが陸に上がると、炭火が置いてあり、その上に魚が載せてあり、そしてパンがあるのを見た。イエスは彼らに言う、今あなたがたが捕った魚から持って来なさい。シモン・ペトロが上がって、その網を地の上に引き上げた。それは百五十三匹の大きな魚で満ちていた。そして、それほど多くあったのに、その網は破れなかった。イエスは彼らに言った、来て朝食を食べなさい。しかし弟子たちの誰も、彼が主であると知っていたので、あなたは誰ですかと彼に尋ねる勇気がなかった。したがってイエスが来て、そのパンを取り、彼らに与え、そして魚も同様に与えた。これはすでに三度目であった。イエスが死者の中から復活して、弟子たちに現れたのは。

彼らが朝食を終えた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、ヨナの子シモンよ、あなたはこれらの者たちより多く私を愛するか。彼はイエスに言った、はい、主よ、あなたは私があなただを愛していることを知っておられます。イエスは彼に言われた、私の子羊たちを養いなさい。彼に再び二度目言う、シモン、ヨナの子よ、あなたは私を愛するか?彼に言う、はい、主よ、あなたは知っています、私があなただを愛していることを。彼に言う、私の羊を飼いなさい。三度目に彼に言う、シモン・ヨナよ、あなた

は私を愛するか。ペトロは、三度目にあなたは私を愛するかと彼に言われたので悲しんだ。そして彼に言った、主よ、あなたはすべてを知っておられます。あなたは私があなたを愛していることを知っておられます。イエスは彼に言う、私の羊を養いなさい。まことに、まことに、私はあなたに言う。あなたが若かった時、あなたは自分で帯を締めて、望むところへ歩いた。しかし、あなたが年老いる時、あなたは自分の手を伸ばし、他の者があなたに帯を締めて、あなたが望まないところへ連れて行くだろう。しかし、これを言ったのは、どのような死によって神に栄光を与えるかを示していたのである。そして、これを言って、彼に言う、私に従え。振り向いて、ペトロは、イエスが愛した弟子が従っているのを見る。その弟子は、夕食の時に彼の胸に寄りかかり、主よ、あなたを裏切るのは誰ですかと言った者である。この者を見て、ペテロはイエスに言った、主よ、この者はどうなのですか。イエスは彼に言う、もし私が彼を私が来るまで留まらせることを欲するなら、それはあなたに何の関係があるのか。あなたは私に従え。それゆえ、この言葉が兄弟たちの中に広まった。その弟子は死なないということである。しかしイエスは彼に、死なないとは言わなかった。ただもし私が、彼を私が来るまで留まらせることを欲するなら、それがあなたに何の関係があるのかと言ったのである。

これは、これらのことについて証言し、これらを書いた弟子である。そして私たちは、彼の証言が真実であることを知っている。そして、イエスが行った他の多くのこともある。もしそれらが一つ一つ書かれるならば、世界そのものも、書かれた書物を収めることができないと私は思う。アーメン。

創世記

1

初めに、神は天と地を造られた。そして地は見えず形もなく、闇が深淵の上にあり、神の霊が水の上を運ばれていた。神は言われた、光あれと。すると光があった。そして神は光を見て、それが良いと見た。そして神は光と闇の間を分けた。そして神はその光を昼と呼び、その闇を夜と呼んだ。そして夕となり、朝となった、一日目。

そして神は言われた、水の中に大空があれ、そして水と水の間を分けるものとなれ。そしてそのようになった。そして神はその大空を作り、そして神は大空の下にあった水の間と、大空の上にある水の間を分けた。そして神はその大空を天と呼び、神はそれが良いと見られた。そして夕べとなり、朝となった。第二の日である。

そして神は言った、天の下の水は一つの集まりへと集められよ、そして乾いた地は現れよと。そしてそのようになった。そして天の下の水はそれらの集まりへと集められ、そして乾いた地は現れた。そして神は乾いた地を地と呼び、水の集まりを海と呼んだ。そして神はそれが良いと見た。そして神は言った、地は草の植物を芽生えさせよ、種類に従って種を蒔き、類似に従って、そして実を結ぶ木を、その種がその中にある実を作り、種類に従って地の上に。そしてそのようになった。そして地は、種類に従って種を蒔く草を、そして類似に従って、その中に種があり種類に従って実を作る実を結ぶ木を、地の上に生じさせた。そして神はそれが良いと見た。そして夕べとなり、朝となった。第三の日である。

そして神は言われた、光るものたちが天の大空の中に現れて、地の上を照らし、昼と夜の間を分け、しるしとなり、季節となり、日となり、年となれ。そしてそれらを天の大空の中の光とし、地の上に光を与えるようにせよ。そしてそのようになった。そして神は二つの大きな光を造られた。大きい光は昼を治めるために、小さい光は夜を治めるために、また星々も造られた。そして神はそれらを天の大空の中に置いた、地の上に光を与えるように、そして昼と夜を支配し、光と闇を分け、そして神はそれが良いと見た。そして夕べとなり、朝となった。第四の日である。

そして神は言われた、水は生きている魂の這うものたちと、地の上、天の大空に従って飛んでいる鳥たちを生み出せと、そしてそのようになった。そして神は大きな海の怪物たちと、水が種類に従って導き出した這う動物たちのすべての魂と、種類に従ったすべての翼のある鳥を作った。そして神はそれが良いと見た。そして神はそれらを祝福して言われた、増えよ、増やせ、そして海の中の水を満たせ。そして鳥は地の上に増えよ。そして夕べとなり、朝となった。五日目である。

そして神は言われた、地は生きている魂を種族に従ってもたせ、四足の動物、這うもの、そして地の野獣を種族に従ってと。そしてそのようになった。そして神は地の野獣をその種類に従って作り、家畜をその種類に従って作り、地のすべての這うものをその種類に従って作った。そして神はそれが良いと見た。

そして神は言った、我々の像に従って、そして似姿に従って、人間を作ろう。そして彼らに、海の魚、天の鳥、家畜、すべての地、そして地の上を這うすべての這うものを支配させよう。そして神は人間を造られた。神の像によって彼を造られた。男と女として彼らを造られた。そして神は彼らを祝福して言われた、増えよ、増やせ、地を満たせ、それを支配せよ。そして海の魚と天の鳥とすべての家畜とすべての地とすべての地の上を這う這う

ものを治めよ。そして神は言われた、見よ、わたしはあなたたちに与えた。全地の上にある、種を蒔く草、種を蒔いているすべての草を、そしてその中に種を蒔く種の実を持つすべての木を。これらはあなたたちの食物となるであろう。そして地のすべての獣たちに、天のすべての鳥たちに、地の上を這うすべての這うものに、それは自分自身の中に生命の魂を持つが、すべての緑の草を食物として与え、そしてそのようになった。そして神は、自らが造った全てのものを見た。そして見よ、それらは非常に良かった。そして夕べがあり、朝があつた。第六の日である。

2

そして天と地、そしてそれらのすべての世界が完成された。

そして神は六日目に、彼が行った仕事を完成し、七日目に彼が行ったすべての仕事から休んだ。そして神はその七番目の日を祝福し、それを聖別した。なぜなら、この日に神は、始めた御自分のすべての業から休まれたからである。

これは天と地の誕生の書である、それが存在するようになった時、主なる神が天と地を作ったその日に、地の上に生じる前の野のすべての緑のもの、また芽生える前の野のすべての草は存在しなかった。なぜなら、神が地の上に雨を降らせず、また地を耕す人もいなかったからである。泉が地から湧き上がり、地の全面を潤していた。そして神は人間を地の塵から形成し、その顔に命の息を吹き込んだ、そして人間は生きていく魂となった。

そして神は東の方のエデンに楽園を植え、そこに彼が形作つた人を置いた。そして神はさらに地からすべての木を生えさせた。見ることに美しく、食べることに良い木を。そして命の木を楽園の真ん中に、そして善悪を知る知識の木を。川はエデンから出て楽園を潤し、そこから四つの源に分かれる。一つの名前はピ

ションであり、これはハビラの全地を囲むものである。そこには金がある。そしてその地の金は良質であり、そこには紅玉髓と緑の石がある。そして二番目の川の名前はギホンであり、これはエチオピアの全地を囲むものである。そして第三の川はティグリスであり、これはアッシリア人たちの向かい側を進んで行く。そして第四の川はユーフラテスである。そして主なる神は、彼が形作った人間を取り、彼を喜びの樂園に置いた、それを耕させ、守らせるために。そして主なる神はアダムに命じて言われた、パラダイスにあるすべての木から食べてよい。しかし、善悪を知る木からは、食べてはならない。それから食べる日には、必ず死ぬであろう。

そして主なる神は言った、人間がただ一人でいるのは良くない。彼に彼にふさわしい助け手を作ろう。そして神は地からすべての野の獣とすべての天の鳥を形成し、それらをアダムのもとへ導いた。彼がそれらを何と呼ぶかを見るためである。そしてアダムが生きている魂と呼んだすべてのもの、それがその名となった。そしてアダムはすべての家畜、天のすべての鳥、野のすべての獣に名前を呼んだ。しかしアダムには彼に似た助け手が見つけれなかった。そして神はアダムの上に恍惚を置き、そして眠らせた、そして彼の側の一つを取り、そしてその代わりに肉を満たした。そして神は、アダムから取ったその脇腹を女に造り、彼女をアダムのもとへ連れて来た。そしてアダムは言った、これは今や私の骨からの骨、私の肉からの肉である。これは女と呼ばれるであろう、なぜなら彼女は男から取られたからである。このことのゆえに、人間は彼の父と母を去り、彼の妻に結合され、その二つは一つの肉となるだろう。そして二人、アダムと彼の妻は裸であったが、恥じていなかった。

しかし、蛇は主なる神が造られた地上のすべての獣の中で最も賢かった。そして蛇は女に言った、神が楽園のすべての木から食べてはならないと言ったというのは何故ですか?そして、その女は蛇に言った、私たちは楽園の木の果実から食べるでしょうしかし、楽園の真ん中にある木の果実については、神は言われた、あなたがたはそれから食べてはならない、またそれに触れてもならない、あなたがたが死なないために。そして蛇は女に言った、あなたがたは決して死ぬことはない神は知っていた、なぜならあなたがたがそれから食べるその日に、あなたがたの目が開かれ、そしてあなたがたは神々のようになり、善と悪を知るからである。そしてその女は見た、その木が食べ物として良いこと、そしてそれが目に見て喜ばしいこと、そして理解するために美しいものであること、そしてその果実から取って、食べた、そして彼女と共にいる彼女の夫にも与えた、そして彼らは食べた。そして二人の目は開かれ、彼らは自分たちが裸であることを知り、いちじくの木のを縫い、自分たちのために腰布を作った。そして彼らは、夕方に楽園を歩いている主なる神の声を聞いた。そしてアダムと彼の妻は、楽園の木々の真ん中で、主なる神の御顔から隠れた。そして主なる神はアダムを呼び、彼に言った、アダム、どこにいるのか。そして彼に言った、あなたの声が楽園を歩いているのを聞いて、恐れました。なぜなら私は裸だからです。それで隠れました。そして神は彼に言った、誰があなたに告げたのか、あなたが裸であると。もしかして、わたしがあなたに命じた、これだけは食べてはならないと言ったその木から、あなたは食べたのか。そしてアダムは言った、あなたが私と共にいるようにと与えたこの女が、木から私に与えたので、私は食べました。そして主なる神は女に言った、あなたは何をしたのか。そして女は言った、蛇が私を騙しました、それで私は食べました。

そして主なる神は蛇に言った、あなたがこれを行っただけで、あなたはすべての家畜の中から、そしてすべての地上の野獣の中から呪われた者となる。あなたは胸と腹で進み、そしてあなたの

生涯のすべての日々、土を食べるだろう。そして私は、あなたと女の間に、あなたの子孫と女の子孫の間に、敵意を置くだろう。彼はあなたの頭を狙い、あなたは彼の踵を狙うだろう。そして女に言った、あなたの苦痛とうめきを大いに増やすだろう。苦痛の中で子供たちを産むだろう。あなたは夫に背こうとするが、彼はあなたを支配するだろう。そしてアダムに言われた、あなたは妻の声を聞き、わたしがあなたにこれだけは食べてはならないと命じたその木から食べた。地はあなたの働きのゆえに呪われ、あなたは生涯、苦しみの中でそれを食べるであろう。茨と薊があなたに生え、あなたは野の草を食べるだろう。あなたは顔の汗によってあなたのパンを食べる、あなたが取られたその地へ戻るまで、なぜならあなたは土であり、土へ帰るからである。そしてアダムは彼の妻の名前を命と呼んだ、なぜなら彼女はすべての生きている者たちの母だからである。そして主なる神はアダムと彼の妻に皮の衣を作り、彼らに着せた。

そして神は言われた、見よ、アダムは私たちの一人のようになり、善と悪を知る者となった。そして今、彼が手を伸ばして命の木から取って食べ、永遠に生きることがないように。そして主なる神は、彼を喜びの樂園から送り出し、彼が取られた地を耕させた。そして彼はアダムを追放し、彼を喜びの樂園の向かい側に定住させ、ケルビムと回転する炎の剣を配置して、命の木への道を守らせた。

4

アダムは自分の妻エヴァを知り、彼女は身ごもってカインを産んだ。そして彼女は言った、私は神を通して人間を得た。そして彼女は彼の兄弟アベルを産んだ。アベルは羊の羊飼いとなり、カインは土地を耕す者であった。そして日々の後、カインは地の果実から犠牲を主に捧げた。そしてアベルは彼自身も彼の羊の初子とその脂肪部分から持って来た。そして神はアベルと彼の贈り

物を顧みた。しかしカインと彼の犠牲には注意を払わなかった。そしてカインは非常に悲しみ、彼の顔は伏せられた。そして主なる神はカインに言った、なぜあなたは非常に悲しくなったのか、そしてなぜあなたの顔は沈んだのか。もしあなたが正しく捧げても、正しく分けなければ、罪を犯したことにならないか。静かにしなさい。彼の背きはあなたに向かい、あなたは彼を支配するだろう。

そしてカインは彼の兄弟アベルに平野へ行こうと言った。彼らが平野にいる時、カインは彼の兄弟アベルに襲いかかり、彼を殺した。そして主なる神はカインに向かって言った、あなたの兄弟アベルはどこにいるのか?そして彼は言った、知りません、私は私の兄弟の守護者なのですか?そして主は言った、あなたは何をしたのか?あなたの兄弟の血の声が地から私に向かって叫んでいる。そして今、あなたは地から呪われている。その地は口を開いて、あなたの手からあなたの兄弟の血を受け取った。あなたがその土地を耕すとき、それはもはやその力をあなたに与えることはない、あなたはうめき震えながら地上にあるだろう。そしてカインは主なる神に言った、私の罪は赦されるには大きすぎます。もしあなたが今日私を地の面から追放するなら、私はあなたの顔から隠され、地の上でうめき震えることになるでしょう。そして私を見つける者は皆、私を殺すでしょう。そして主なる神は彼に言われた、そうではない。カインを殺す者は誰でも、七倍の復讐を受けるであろう。そして主なる神はカインにしるしをつけられた、彼を見つける者が誰も彼を殺すことのないように。カインは神の顔から出て行き、エデムの向かい側のナイドの地に住んだ。

そしてカインは彼の妻を知り、妊娠して彼女はエノクを産んだ。そして彼は都市を建てており、その都市を彼の息子の名に因んで、エノクと名付けた。エノクにガイダドが生まれ、ガイダドはマレレエルを生み、マレレエルはメトセラを生み、メトセラはラメクを生んだ。

そしてラメクは自分自身のために二人の妻を取った、一人の名はアダ、そして二番目の名はセラ。そしてアダはヨベルを産んだ。この者は天幕に住む家畜飼育者の父であった。そして彼の兄弟の名はユバルであった。この者は詩篇楽器と豎琴を発明した者であった。ジッラーもまた、トバルを産んだ。そして彼は青銅と鉄の槌打つ鍛冶屋であった。そしてトバルの姉妹はノエマーであった。ラメクは自分の妻たち、アダとセラに言った。私の声を聞け、ラメクの妻たちよ、私の言葉に耳を傾けよ。なぜなら私は、私への傷のために男を殺し、私への打ち傷のために若い男を殺したからだ。カインには七倍の復讐がなされたが、ラメクには七十倍の七倍。

アダムは彼の妻エバを知った。そして彼女は妊娠して息子を産んだ。そして彼はその名をセツと名付けて言った、神は私に別の子孫を起こしてくださった、カインが殺したアベルの代わりに。そしてセツに息子が生まれた。彼はその名をエノスと名付けた。この者は主なる神の名を呼び求めることを望んだ。

5

これは人間たちの誕生の書である。神がアダムを造られた日に、神の像に従って彼を造られた。彼は彼らを男性と女性に作り、彼らを祝福し、彼らを造った日に、その名をアダムと名付けた。アダムは二百三十年生き、彼の形に従い、彼の像に従って子を生み、彼の名をセツと名付けた。そしてアダムがセツを生んだ後に生きた日々は七百年となり、彼は息子たちと娘たちを生んだ。そしてアダムが生きたすべての日々は、九百三十年となり、そして死んだ。セツは二百五年生き、エノスを生んだ。そしてセツは、彼がエノスを生んだ後、七百年生き、そして息子たちと娘たちを生んだ。そして、セツのすべての日々は九百十二年となり、そして彼は死んだ。そしてエノスは百九十年生き、カインを生んだ。そしてエノスは、彼がカインを生んだ後、七百十五

年生き、そして息子たちと娘たちを生んだ。そしてエノスのすべての日々は九百五年となり、そして彼は死んだ。そして、カインは百七十年生き、マハラレルを生んだ。そしてカインは、マハラレルを生んだ後、七百四十年生き、息子たちと娘たちを生んだ。そしてカインのすべての日々は九百十年となり、そして彼は死んだ。

そしてマハラレルは百六十五年生き、ヤレドを生んだ。そしてマハラレルは、ヤレドを生んだ後、七百三十年生き、息子たちと娘たちを生んだ。そしてマハラレルのすべての日々は、八百九十五年となり、そして彼は死んだ。そして、ヤレドは百六十二年生きて、エノクを生んだ。そしてヤレドはエノクを生んだ後、八百年生き、息子たちと娘たちを生んだ。そしてヤレドのすべての日々は、九百六十二年となり、そして死んだ。そしてエノクは百六十五年生き、メトシェラを生んだ。エノクは、メトシェラを生んだ後、神と共に歩み、二百年を過ごし、息子たちと娘たちを生んだ。そして、エノクのすべての日々は、三百六十五年となった。そしてエノクは神を喜ばせた。そして彼は見つけられなかった。なぜなら神が彼を移したからである。そしてメトシェラは百六十七年生き、ラメクを生んだ。そしてメトシェラは、彼がラメクを生んだ後、八百二年生き、息子たちと娘たちを生んだ。そしてメトシェラが生きたすべての日々は九百六十九年となり、彼は死んだ。そしてラメクは百八十八年生き、そして息子を生んだ。そして彼は息子の名をノアと名付けて言った、この者は、主なる神が呪われた地から生じる私たちの働きと、私たちの手の苦痛から、私たちに休息を与えるであろう。そしてラメクは、ノアを生んだ後、五百六十五年生き、息子たちと娘たちを生んだ。そして、ラメクのすべての日々は七百五十三年となり、そして死んだ。そしてノアは五百歳であり、三人の息子、セム、ハム、ヤベテを生んだ。

そして、人々が地上に多くなり始めた時、彼らに娘たちが生まれた。神の息子たちは人間の娘たちを見て、彼女たちが美しいので、彼らを選んだすべての者の中から自分たちのために妻たちを取った。そして主なる神は言われた、私の霊はこれらの人間たちの中に永遠に留まることはないだろう、彼らが肉であるゆえに。しかし彼らの日々は百二十年となるだろう。巨人たちは、それらの日々に地上にいた。そしてその後も、神の息子たちが人間の娘たちのもとへ入って行き、彼らに子を産ませた時、それらは太古からの巨人たち、名高い人々であった。

主なる神は、人間の悪徳が地上に増え広がり、すべての者が日々その心の中で熱心に悪事を考えていることを見て、そして神は、地上に人間を作ったことを考え、意図した。そして神は言われた、私は拭い去ろう、私が造った人間を、地の面から、人間から家畜まで、そして這うものから天の鳥まで。なぜなら私は後悔しているからだ、私が彼らを造ったことを。

しかし、ノアは主なる神の前に恩恵を見いだした。これらはノアの系図である。ノアは正しい人であり、彼の時代において完全であった。ノアは神と共に歩んだ。ノアは三人の息子たち、セム、ハム、ヤペテを産んだ。その地は神の前で破壊され、そしてその地は不正義で満たされた。そして主なる神は地を見た。それは破壊されていた。なぜならば、すべての肉が地の上でその道を破壊したからである。そして主なる神はノアに言われた、すべての人間の時が私の前に来た。なぜなら地は彼らの不正で満たされたからである。見よ、私は彼らと地を滅ぼす。

それゆえ、あなた自身のために四角い木から箱を作れ。あなたはその箱に巣を作るだろう。そして、あなたはそれを内側からも外側からもアスファルトで覆うだろう。そしてこのように、あなたはその箱を作るだろう。その箱の長さは三百キュビト、その幅は五十キュビト、そしてその高さは三十キュビトである。あな

たは箱を組み立てて作り、上から一キュビトでそれを完成させるだろう。箱の戸は側面に作り、それを下階、二階、三階に作るだろう。しかし見よ、私は洪水、すなわち水を地の上にもたらし、天の下にある命の霊を持つすべての肉を滅ぼす。そして地の上にあるすべてのものは死ぬであろう。

そして私はあなたと私の契約を立てる。あなたは箱舟に入ら
だろう、あなた、そしてあなたの息子たち、そしてあなたの妻、
そしてあなたの息子たちの妻たちがあなたと共に。そしてすべての
の家畜から、すべての這うものから、すべての野獣から、そして
すべての肉から、二つずつ、すべてのものからあなたは箱舟へ連
れて入るだろう。あなた自身と共にそれらを生かしておくため
に。雄と雌がいるだろう。すべての鳥の種類から、すべての家畜
の種類から、そして地を這うすべての這うものの種類から、それ
ぞれ二匹ずつがあなたのもとに来て、あなたと共に養われるであ
ろう、雄と雌が。あなたは、あなたたちが食べるすべての食べ物
から、あなた自身のために取り、あなた自身のもとに集めなさい。
そしてそれは、あなたとあれらのものが食べるためのものとなる
だろう。そしてノアは、主なる神が彼に命じたすべてのことを行
った。そのように行った。

7

そして主なる神はノアに言った、あなたとあなたの家族全員
は箱舟に入りなさい、なぜなら私はあなたをこの世代において私
の前に正しい者と見たからである。しかし清い家畜からは、あな
たのもとへ雄と雌を七つがいつつ連れて来なさい。清くない家畜
からは、雄と雌を二つがいつつ連れて来なさい。そして天の清い
鳥たちから七つがいの雄と雌、そしてすべての清くない鳥たちか
ら二つがいの雄と雌を、全地の上に種を保つために。あと七日の
間、私は地の上に雨を降らせる。四十日と四十夜、そして私が作
ったすべての生き物を地の全面から消し去るだろう。そしてノア

は、主なる神が彼に命じたすべてのことを行った。ノアは六百歳であり、水の洪水が地上に起こった。ノアと彼の息子たち、そして彼の妻、そして彼の息子たちの妻たちが、洪水の水のために、彼と共に方舟へ入った。そして清い鳥たちから、そして清くない鳥たちから、そして清い家畜から、そして清くない家畜から、そして地の上を這うすべてのものから、二つずつ、雄と雌がノアのもとへその箱舟に入った、神がノアに命じたように。そして七日の後に、洪水の水が地の上に起こった。ノアの生涯の六百年目、第二の月の二十七日、この日にすべての深淵の泉が裂け、天の水門が開かれた。そして、雨が地上に四十日四十夜降った。この日に、ノア、セム、ハム、ヤペテ、ノアの息子たち、そしてノアの妻、そして彼の息子たちの三人の妻たちが、彼と共に、箱舟の中へ入った。そしてすべての獣たちはその種類に従い、そしてすべての家畜たちはその種類に従い、そして地の上を動いているすべての這うものはその種類に従い、そしてすべての鳥はその種類に従った。二匹ずつ、雄と雌が、すべての命の霊を持つ肉なるものから、ノアのもとへ箱舟の中に入った。そして入って来た雄と雌は、すべての肉から、神がノアに命じられた通りに入った。そして主なる神が、彼の箱舟を外から閉じられた。

そして洪水が四十日四十夜、地の上に起こった。そして水が増え、箱舟を持ち上げ、それは地から持ち上げられた。そして水が勝ち、地の上で非常に増え、箱舟は水の上に運ばれた。その水は地の上で非常に非常に勝り、そして天の下にあったすべての高い山々を覆った。十五キュビット上に水は持ち上げられ、そしてすべての高い山々を覆った。そして、地の上を動くすべての肉、鳥、家畜、獣、地の上を動くすべての這うもの、そしてすべての人が死んだ。そして生命の息を持つ全てのもの、そして乾いた地の上にあった全てのものは、死んだ。そして、地の面の上にあったすべての生き物、人から家畜まで、這うもの、そして天の鳥が拭い去られ、地から拭い去られた。そして、ノアと、彼と共に箱

舟の中にいた者たちだけが残された。そして、水は地上に百五十日間、高まった。

8

そして神はノアと、すべての野獣と、すべての家畜と、すべての鳥と、彼と共に箱舟の中にいたすべての這うものを思い出した。そして神は霊を地の上に送り、水は止んだ。そして深淵の泉たちは覆われ、天の水門たちも覆われ、天からの雨は閉じられた。そして水は地から去りつつ引いていき、水は百五十日の後に減少していった。そして、その箱舟は第七の月、その月の二十七日に、アララトの山々の上に留まった。しかし、その水は第十の月まで減少していた。そして第十の月の第一日に、山々の頂が現れた。そして四十日の後、ノアは彼が作った箱舟の窓を開いた。そして彼はそのカラスを送った。そしてそれは出て行って、地から水が乾くまで戻らなかった。そして彼は鳩を送った、水が地から引いたかどうかを見るために。そして鳩はその足の休息を見つけられず、彼のもとへ箱舟に戻った。なぜなら水が地のすべての面の上にあったからである。そして手を伸ばして、それを取り、それを自分のもとへ箱舟の中に連れて入れた。そして、さらに他の七日間待った後、再びその鳩を箱舟から送り出した。そして鳩は夕方に彼のもとに戻って来た、そしてオリーブの木の葉の小枝をその口に持っていた、そしてノアは知った、水が地から引いていたということ。そして、さらに他の七日間待った後、再び鳩を送り出したが、鳩はもはや彼のもとに戻ることはなかった。そしてノアの生涯の六百一年目の第一の月の一日に、水が地から引いた。そしてノアは彼が作った箱舟の屋根を開けて、水が地の表面から引いたのを見た。そして第二の月の第二十七日に、その地は乾いた。

そして主なる神はノアに言われた、箱舟から出て行きなさい、あなたと、あなたの妻と、あなたの息子たちと、あなたの息

子たちの妻たちも、あなたと共に。そしてあなたと共にいる全ての獣、鳥から家畜に至る全ての肉、そして地の上を動く全ての這うものを、あなた自身と共に連れ出せ。そして地の上で増え、増やせ。そしてノアは出て行った。彼の妻、彼の息子たち、そして彼の息子たちの妻たちが彼と共に。そしてすべての獣たち、そしてすべての家畜たち、そしてすべての鳥、そしてすべての地の上を動いている這うものは、それらの種類に従って、箱舟から出て行った。

そしてノアは主に祭壇を建て、すべての清い家畜から、そしてすべての清い鳥から取り、祭壇の上に全焼のいけにえとして捧げた。そして主なる神は香りの匂いを嗅いだ。そして主なる神は考えて言われた、私はもはや人間の行いのゆえに大地を呪うことはしないだろう。なぜなら人間の心は彼の若い時から悪に傾いているからである。私はもはや、私がしたように、すべての生き物を打つことはしないだろう。地のすべての日々において、種まきと収穫、寒さと暑さ、夏と春、昼と夜は、止むことがないだろう。

9

そして神はノアと彼の息子たちを祝福し、彼らに言った。増えよ、そして増やせよ、そして地を満たせ、そしてそれを支配せよ。そしてあなたがたへの震えと恐れは、地のすべての獣の上に、天のすべての鳥の上に、地の上を動くすべてのものの上に、そして海のすべての魚の上にあるだろう。私はそれらを手であなただけに与えた。そしてすべての生きている這うものは、あなたがたの食べ物となるだろう。草の野菜と同じように、私はあなたがたにすべてのものを与えた。ただし、魂の血が入った肉は食べてはならない。そしてあなたがたの魂の血を、すべての獣の手から私はそれを要求し、また人である兄弟の手から人の魂を私は要求する。人の血を流す者は、その血の代わりに自分の血が流され

るであろう、なぜなら神の像において私は人を造ったからである。あなたたちは増え、そして増やし、そして地を満たし、そしてそれを支配しなさい。

そして神はノアと彼の息子たちに言われた、そして見よ、私は私の契約をあなたがたに、そしてあなたがたと共にあるあなたがたの子孫に立てる。そしてあなたがたとともにあるすべての生き物に、鳥から、家畜から、そして地のすべての獣に、箱舟から出て来たすべてのもの、あなたがたとともにあるすべてのものに。そして私はあなたがたと私の契約を立てる。すべての肉はもはや洪水の水によって死ぬことはなく、もはやすべての地を滅ぼす水の洪水はないだろう。そして主なる神はノアに言った、これは契約の印である、私が与える、私とあなたたちの間に、そしてあなたたちとともにあるすべての生きている魂との間に、永遠の世代に至るまで。私は私の弓を雲の中に置く、そしてそれは私と地の間の契約のしるしとなるだろう。そして、私が地の上に雲を集める時、その弓が雲の中に見られるだろう。そして私は、私とあなたがたの間、およびすべての肉にあるすべての生きている魂の間にある私の契約を思い出すだろう。そして水は、もはやすべての肉を消し去る洪水とはならないだろう。そして私の弓は雲の中にあり、私はそれを見て、私と地の間の、そして地の上にあるすべての肉における生きている魂との間の永遠の契約を思い出すであろう。そして神はノアに言った、これは私が立てた契約の印である、私と地の上にあるすべての肉との間に。

ノアの息子たちで箱舟から出て来た者は、セム、ハム、ヤペテであった。ハムはカナン之父であった。この三人はノアの息子たちである。これらから全ての地に散らされた。そしてノアは地の農夫として始め、ぶどう園を植えた。そして彼はそのぶどう酒から飲み、酔っぱらい、彼の家の中で裸になった。そしてカナン之父ハムは彼の父の裸を見て、外に出て行き、彼の二人の兄弟たちに報告した。そしてセムとヤペテは衣を取り、彼ら二人の肩の

上に置き、後ろ向きに歩いて行き、彼らの父の裸を覆った。そして彼らの顔は後ろ向きであり、彼らの父の裸を見なかった。ノアは酒から目覚め、彼の若い息子が彼に行ったことを知った。そして言った、呪われよ、カナアン。彼は兄弟たちの僕となるであろう。そして言った、祝福されよ、セムの神、主。カナンは彼の僕となるだろう。神がヤペテを広げ、彼がセムの家々に住むように、そしてカナンが彼の僕となるように。

ノアは洪水の後、三百五十年生きた。ノアのすべての日々は九百五十年となり、彼は死んだ。

10

これらはノアの息子たち、セム、ハム、ヤペテの世代である。そして洪水の後、彼らに息子たちが生まれた。

ヤペテの息子たちは、ゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、エリシャ、トバル、メシェク、ティラス。そしてゴメルの息子たちは、アシュケナズ、リファト、そしてトガルマ。そしてヨワンの息子たち、エリシャ、タルシシュ、キティオイ、ロディオイ。これらから諸国民の島々が彼らの地において分けられた、各々その言語に従って彼らの部族において、そして彼らの諸国民において。

ハムの息子たちは、クシュ、ミツライム、プト、そして、カナアン。クシュの息子たちは、サバ、ハビラ、サブタ、ラマ、そしてサブタカ。ラマの息子たちは、サバとデダグ。塵はネブロドを生んだ。この者は地上で巨人となり始めた。この者は主なる神の前における巨人の狩人であった。それゆえ彼らは言うであろう、ネブロドのように、主の前における巨人の狩人と。そして、彼の王国の始まりは、シナルの地において、バビロン、オレク、アルカド、カラネであった。その地からアッスールが出て行き、

ニネウェとロオボス町とカラクを建てた。そしてニネウェとカラハの間にダサハを、これがその大きな都市である。そしてメスライムはルディエイム、ネフタレイム、エネメティエイム、ラビエイムを生んだ。そしてパトロソニエイム、カスモニエイム(そこからフュリスティエイムが出た)、そしてガフトリエイム。カナアンは、彼の長子シドンと、ヒッタイト人を生んだ。そしてエブス人を、そしてアモリ人を、そしてギルガシ人を、そしてヒビ人、アルカイオン人、アセンナイオン人を、そしてアラディオン人、サマライオン人、アマティ人。この後、カナン人の部族たちは散らされた。そして、カナン人たちの境界は、シドンから、ゲラルとガザに至るまで、ソドムとゴモラ、アダマとゼボイムを経て、ラシャに至るまでとなった。これらはハムの息子たちである、彼らの部族において、彼らの言語に従って、彼らの地域において、そして彼らの国民において。

そして、セムにも子が生まれた。彼はすべてのエベルの子孫の父であり、年上の兄弟ヤペテの弟である。セムの息子たち、エラム、アッスリア、アルパクサデ、ルデ、アラム、カイナン。そしてアラムの息子たちは、ウズ、ウル、ガテル、そしてメシェクである。そしてアルパクサデはカイナンを生み、カイナンはサラを生み、サラはエベルを生んだ。そしてエベルには二人の息子が生まれた。一人の名前はファレグであった。なぜなら彼の時代に地が分割されたからである。そして彼の兄弟の名前はイエクタンであった。ジェクタンは、エルモダド、サレト、サルモト、そしてジェラクを生んだ。そしてホドラ、アイベル、デクラ、エウアル、そして、アビマエル、そして、シェバ、そしてオフィル、エウィラ、ヨバズ、これらは全てイエクタンの息子たちである。そして彼らの住居は、マッセから東の山サフェラに至るまでとなった。これらはセムの息子たちであり、彼らの部族において、彼らの言語に従って、彼らの地域において、そして彼らの国民においてである。これらはノアの息子たちの部族であり、彼らの世代に

従い、彼らの国々に従う。これらから洪水の後、地上に諸国民の島々が散らされた。

11

そして全地は一つの唇であり、すべての者に一つの声があった。そして彼らが東から移動した時、彼らはシナルの地で平原を見つけ、そこに住んだ。そして人が隣人に言った、来なさい、私たちはレンガを作り、それらを火で焼こう。そして彼らにとってレンガが石となり、アスファルトが彼らにとっての粘土であった。そして彼らは言った、さあ、私たち自身のために都市と塔を建てよう。その頭は天にまで達するであろう。そして私たち自身のために名を成そう。私たちが全地の面に散らされる前に。そして主は、人間の息子たちが建てたその都市とその塔を見るために降りてきた。そして主は言った、見よ、一つの種族、そしてすべての者の一つの言葉、そして彼らはこれを行うことを始めた、そして今、彼らが行おうと試みるすべてのことは、彼らから失敗することはないだろう。来たれ、そして降りて行って、そこで彼らの言葉を混乱させよう、各々が隣人の声を聞かないために。そして主は彼らをそこからすべての地の面に散らし、そして彼らはその町とその塔を建てることを止めた。このゆえに、その名は混乱と呼ばれた。なぜなら、そこで主が全地の唇を混乱させ、そしてそこから主が彼らを全地の面に散らしたからである。

そしてこれらはセムの世代である。セムは百歳であった、アルパクサデを生んだとき、洪水の後の二年目に。そしてセムは、彼がアルパクサデを生んだ後、五百年生き、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。そしてアルパクサデは百三十五年生き、カイナンを生んだ。そしてアルファクサドは、彼がカイナンを産んだ後、四百年生き、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。そしてカイナンは百三十年生き、サラを生んだ。そしてカイナンは、彼がサラを産んだ後、三百三十年生き、息子たちと娘たちを

産み、そして死んだ。そして、サラは百三十年生き、エベルを生んだ。そしてサラはエベルを生んだ後、三百三十年生き、息子たちと娘たちを生んで、死んだ。そしてエベルは百三十四年生き、ペレグを生んだ。そしてエベルは、ペレグを生んだ後、二百七十年生き、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。そしてファレグは百三十年生き、ラガウを生んだ。そしてファレグは、ラガウを生んだ後、二百九年生き、息子たちと娘たちを生んだ。そして死んだ。そしてラガウは百三十二年生き、セルグを生んだ。そしてラガウは、セルグを生んだ後、二百七年生き、息子たちと娘たちを生んだ。そして死んだ。そして、セルグは百三十年生き、ナホルを生んだ。そしてセルグは、ナホルを生んだ後、二百年生きて、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。そして、ナホルは百七十九年生き、テラを生んだ。そしてナホルは、テラを生んだ後、百二十五年生き、息子たちと娘たちを生んで、死んだ。そしてテラは七十年生きて、アブラム、ナホル、ハランを生んだ。

これらはテラの世代である。テラはアブラムとナホルとハランを生んだ。そしてハランはロトを生んだ。そしてアランは、彼の父テラの前で死んだ、それが起こったその地で、カルデア人たちの地域で。そしてアブラムとナホルは彼ら自身のために妻たちを取った。アブラムの妻の名前はサラ、そしてナホルの妻の名前はメルカであり、ハランの娘であった。そして彼はメルカの父であり、そしてイスカの父であった。そしてサライは不妊であり、子供を産まなかった。そしてテラは彼の息子アブラムと、彼の孫であるハランの息子ロトと、彼の息子アブラムの妻である彼の嫁サライを連れて、カルデア人の地から出て、カナン地へ行くために導き出し、そして彼らはハランまで来て、そこに住んだ。そして、テラのすべての日々はハランの地において二百五年となり、そしてテラはハランにおいて死んだ。

そして主はアブラムに言った、あなたの地から、あなたの親族から、そしてあなたの父の家から出て行き、私があなたに示すその地へ来なさい。そして私はあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくし、あなたは祝福された者となる。そして私はあなたを祝福する者たちを祝福し、あなたを呪う者たちを私は呪うだろう、そしてあなたによって地のすべての部族が祝福されるだろう。そしてアブラムは、主が彼に話したとおりに行った。ロトは彼と共に去った。アブラムがハランから出て行った時、彼は七十五歳であった。そしてアブラムは彼の妻サライと、彼の兄弟の息子ロトと、彼らが獲得した限りのすべての所有物と、ハランで彼らが獲得したすべての魂を取り、カナンの地へ行くために出て行った。そしてアブラムはその土地をその長さまで通過し、シケムの場所へ、その高い樫の木へと至った。しかしカナン人はその時その土地に住んでいた。そして主はアブラムに現れ、彼に言った、あなたの子孫にこの地を与えるだろう。そしてアブラムはそこに、彼に現れた主のために祭壇を建てた。そして彼はそこから東のベテルの山へ移り、そこに天幕を張った。ベテルは西に、アンガイは東にあった。そして彼はそこに主のための祭壇を築き、主の名を呼び求めた。そしてアブラムは去り、行って荒野に野営した。

そして飢饉が地の上に起こった。そしてアブラムはエジプトへ下った、そこに住むために、なぜならその飢饉が地の上に強くなったからである。アブラムがエジプトに入ろうと近づいた時、アブラムは妻サライに言った、私は知っている、あなたが美しい顔の女であることを。したがって、エジプト人たちがあなたを見るとき、彼らはこの女は彼の妻であると言い、私を殺すだろうが、あなたは生かしておくだろう。私は言った、したがって、私は彼の姉妹であると。そうすればあなたを通して私に良いことが起こるだろう、そして私の魂はあなたのために生きるだろう。そしてアブラムがエジプトに入ったとき、エジプト人たちが彼の妻を見て、彼女が非常に美しいことに気づいた。そしてファラオの

支配者たちは彼女を見て、ファラオに彼女を称賛し、彼女をファラオの家に連れて行った。そして彼女のゆえに、アブラムは良く扱われ、彼には羊、子牛、ロバ、僕、女僕、ラバ、ラクダが与えられた。そして神は、アブラムの妻サライのことで、ファラオとその家を大いなる災いと邪悪な災いで苦しめた。ファラオはアブラムを呼んで言った、あなたは何故このようなことを私にしたのか。何故彼女があなたの妻であることを私に告げなかったのか。なぜあなたは彼女は私の姉妹であると言ったのか。そして私は彼女を私自身の妻として取った。そして今、見よ、あなたの妻はあなたの前にいる。連れて去れ。そしてファラオは男たちに命じて、アブラムと彼の妻と、彼に属するすべてのものを送り去らせた。

13

アブラムはエジプトから上って来た。彼自身と彼の妻と彼のすべてのものと、そしてロトも彼と共に、荒野へ。アブラムは家畜、銀、金において非常に金持ちだった。そして彼は来たところから荒野へと行き、ベテルまで、彼の天幕が以前あったその場所まで、ベテルとアンガイの間まで行った。祭壇の場所へ、そこに彼が最初に作った場所であり、そこでアブラムは主の名を呼び求めた。そしてアブラムと共に旅していたロトには、羊と牛と天幕があった。そしてその地は彼らが一緒に住むことを受け入れなかった、なぜなら彼らの所有物が多かったからである、そしてその地は彼らが一緒に住むことを受け入れなかった。そしてアブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちの間に争いが起こった。カナン人たちとペリジ人たちはその時その地に住んでいた。アブラムはロトに言った、私とあなたの間に、また私の羊飼いたちとあなたの羊飼いたちの間に、戦いがあってはならない。なぜなら私たちは兄弟である人々だからだ。見よ、すべての地はあなたの前にあるではないか。私から離れなさい。もしあなたが左へ行くな、私は右へ行こう。もしあなたが右へ行くな、私は左

へ行こう。そしてロトは目を上げて、ヨルダンのすべての周辺地域を見た。それはすべて水を与えられていた。神がソドムとゴモラを滅ぼす前、それは神の樂園のように、そしてエジプトの地のように、ゾゴラに至るまでであった。そしてロトは自分のためにヨルダン川のすべての周辺地域を選び、ロトは東から去り、彼らは各々その兄弟から分かれた。アブラムはカナアンの地に住んだが、ロトは周辺地域の町に住み、ソドムに天幕を張った。しかし、ソドムにいる人々は、神の前で非常に邪悪で罪深かった。そして神はアブラムに言った、ロトが彼から離れた後に、あなたの目を上げて見よ、あなたが今いる場所から、北と南と東と西に向かって。なぜなら、あなたが見るすべての地を、あなたとあなたの子孫に永遠に与えるからである。そして私はあなたの子孫を地の砂のようにするだろう。もし誰かが地の砂を数えることができるなら、あなたの子孫も数えられるだろう。立ち上がって、その地をその長さと幅において通過しなさい。なぜなら、私はそれをあなたとあなたの子孫に永遠に与えるからである。そしてアブラムは天幕を移し、来てマムレのオークのそばに住んだ。それはケブロンにあった。そして彼はそこに主のための祭壇を建てた。

14

それはシェンナアルの王アマルファル、エラサル王アリオク、エラム王コドロゴモル、そして諸国民の王タルガルの時代に起こった。彼らは作った戦争をと共にバラ王のソドモンの、そしてと共にバルサ王のゴモラスの、そしてと共にセンナアル王のアダマの、そしてと共にシュ これらすべては塩の谷について同意した、これは塩の海である。十二年間、彼らはケドルラオメルに仕えたが、十三年目に彼らは離反した。そして十四年目に、ケドルラオメルと彼と共にいる王たちが来て、アシュタロテとカルナイムにいる巨人たち、そして彼らと共にいる強い民族たち、そしてサウエの都市にいるオンマ人たちを打ち倒した。そしてセイルの山々にいたホリ人たちを、荒野にあるパランのテレ

ビンスの木まで。そして彼らは戻って、裁きの泉に来た。これはカデシュである。そして彼らはアマレクのすべての支配者たちと、ハザゾン・タマルに住んでいるアモリ人たちを切り倒した。ソドムの王、ゴモラの王、アダマの王、ゼボイムの王、そしてバラクの王(これはゾアルである)が出て行った。そして彼らは塩の谷において戦列を敷いた。エラム王ケドルラオメル、諸国王ティダル、シナル王アムラフェル、エラサル王アリオクに向かつて、その四人の王たちがその五人に向かった。その塩の谷にはアスファルトの井戸があった。ソドムの王とゴモラの王は逃げたが、そこに落ちた。残された者たちは山地に逃げた。彼らはソドムとゴモラの全ての馬と、彼らの全ての食物を取って、去って行った。彼らはアブラムの兄弟の息子ロトとその荷物を取って去った。なぜなら彼はソドムに住んでいたからである。

到着した救出された者の一人が、ヘブライ人アブラムに報告した。彼自身はアモリ人mamレの檜の木の傍らに住んでいたが、mamレはエシュコルの兄弟であり、オナンの兄弟であった。彼らはアブラムの同盟者たちであった。アブラムは、彼の兄弟ロトが捕虜にされたと聞いて、彼の家で生まれた者たち三百十八人を数え、彼らの後を追ってダンまで追跡した。そして彼自身と彼の若者たちは、その夜彼らに襲いかかり、彼らを打ち、ダマスカスの北にあるホバまで彼らを追跡した。そして彼はソドムのすべての馬を取り戻し、彼の甥ロトを取り戻し、彼のすべての所有物と女たちと民を取り戻した。ソドムの王は、ケドルラオメルと彼と共にいた王たちを打ち破って戻った彼に会うために、シャベの谷へ出て行った。これは王たちの平野であった。

そしてサレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持ち出した。彼は至高の神の祭司であった。そして彼はアブラムを祝福し、そして言った、祝福されよ、アブラムよ、天と地を創造された至高なる神によって。そして最も高き神は祝福されますように、あなたの敵たちをあなたの支配下に引き渡された方が。そし

てアブラムは彼にすべてのものから十分の一を与えた。ソドムの王はアブラムに言った、私に男たちを与えよ、そして馬はあなた自身のために取れ。アブラムはソドムの王に言った、私は天と地を創造された最も高い神キュプリオスに向かって手を伸ばします。もし糸一本からサンダルの一紐まで、あなたのすべてのものから取るならば、あなたが私がアブラムを富ませたと言わないためである。若い男たちが食べたものと、私と共に行った男たち、エシュコル、アウナン、マンブレの分け前を除いて、これらの者たちは分け前を取るであろう。

15

これらの言葉の後、主の言葉が幻の中でアブラムに臨み、言った、恐れるなアブラム、私があなたを守る、あなたの報酬は非常に大きいであろう。アブラムは言った、主人、主よ、あなたは私に何を与えてくださるのでしょうか。私は子供なしで去ろうとしています。私の家で生まれた者の息子、このダマスコのエリエゼルがいます。そしてアブラムは言った、あなたは私に子孫を与えなかったのです、私の家に生まれた者が私を相続するでしょう。そして直ちに主の声が彼に臨み、こう告げた。この者はあなたを相続しない。しかし、あなたから出る者、この者があなたを相続するであろう。そして彼を外へ導き出し、彼に言った、天を見上げよ、そしてその星たちを数えよ、もしあなたがそれらを数えることができるなら。そして言った、このようにあなたの子孫となるだろう。そしてアブラムは神を信じた、そしてそれは彼に義として数えられた。彼に言った、私は神である、カルデア人の地からあなたを導き出した者、この地をあなたに与えて相続させるために。しかし彼は言った、主なる神よ、私は何によってそれを相続すると知ることができるのでしょうか。そして彼に言った、私のために取りなさい、三歳の雌牛を、そして三歳の雌山羊を、そして三歳の雄羊を、そして山鳩を、そして鳩を。彼はこれら全てを取り、それらを真ん中で分け、それらを互いに向かい合

わせに置いた、しかし鳥は分けなかった。鳥たちが体の上に、それらの二つに分けられた部分の上に降りてきた。そしてアブラムはそれらのそばに座った。太陽が沈むころ、恍惚がアブラムに襲った。そして見よ、暗く大きな恐怖が彼に襲いかかった。そしてアブラムに向かって言われた、あなたは確かに知るだろう、あなたの子孫は自分のものでない地に寄留者となり、彼らは奴隷にされ、虐待され、卑しめられるだろう、四百年の間。しかし、彼らが仕える国を、私は裁くだろう。そしてこれらの事の後、彼らは多くの荷物と共にここから出て行くだろう。しかしあなたは、良い老年を全うして、平和のうちにあなたの父たちのもとへ去るでしょう。第四の世代に彼らはここに戻されるだろう、なぜならアモリ人たちの罪はまだ今まで満たされていないからである。しかし太陽が西に沈んだとき、炎が現れた。そして見よ、煙を出している炉と火の松明があり、それらがこれらの分割された肉片の間を通り抜けた。その日に、主はアブラムと契約を結び、言われた、あなたの子孫にこの地を与えよう、エジプトの川から大河ユーフラテスまでケナイ人とケネザイ人とケドモナイ人、そしてヒッタイト人、ペリジ人、レファイム人、そしてアモリ人たち、カナン人たち、ヒビ人たち、ギルガシ人たち、そしてエブス人たち。

16

サライはアブラムの妻であったが、彼に子を産まなかった。彼女にはエジプト人の女奴隷がおり、その名はハガルであった。そしてサライはアブラムに言った、見よ、主は私を閉じて産ませないようにされた。それゆえ私の若い女のもとに入りなさい、彼女から私が子を得られるように。そしてアブラムはサライの声を聞いた。そしてアブラムの妻サラは、自分の召使いであるエジプト人ハガルを取り、アブラムがカナンの地に住んで十年後、彼女を自分の夫アブラムに妻として与えた。そして彼はハガルのもとに入り、彼女は身ごもった。そして自分が身ごもっていることを

知ると、女主人は彼女の前で軽んじられた。サライはアブラムに向かつて言った、私はあなたから不正を受けています。私は私の若い女をあなたの胸に与えました。しかし彼女は自分が子宮に宿していると見て、私は彼女の前で侮辱されました。神が私とあなたの間を裁きますように。アブラムはサライに言った、見よ、あなたの若い女はあなたの手の中にいる。あなたに喜ばしいように彼女を扱いなさい。そしてサラは彼女を虐げたので、彼女はサラの前から逃げた。

主の使いは、荒野の水の泉のほとりで、シュルへの道にある泉のほとりで、彼女を見つけた。そして主の天使は彼女に言った、ハガル、サライの女中よ、どこから来たのか、そしてどこへ行くのか。そして彼女は言った、私の女主人サライの顔から私は逃げているのです。主の天使は彼女に言った、あなたの女主人のもとへ帰り、そして彼女の手の下にへりくだりなさい。そして主の天使は彼女に言った、わたしはあなたの子孫を大いに増やすので、その多さのゆえに数えられないだろう。そして主の天使は彼女に言った、見よ、あなたは胎に子を宿している、そしてあなたは息子を産むだろう、そしてあなたは彼の名前をイシュマエルと呼ぶだろう、なぜなら主はあなたの屈辱を聞いたからである。この者は野蛮な人間となるであろう。彼の手は全ての者の上にある、全ての者の手は彼の上にある。そして彼は、彼の全ての兄弟たちの面前で住むであろう。そして彼女は、自分に語りかけた主の名をあなたは私を見ておられる神と呼んだ。なぜなら彼女はまことに私は、私に現れた方を目の前で見たと言ったからである。このために、彼はその井戸と呼んだ。私が前に見た井戸、見よ、カデシュとバラデの間にある。そしてハガルはアブラムに息子を産んだ。そしてアブラムは、ハガルが彼に産んだ彼の息子の名前を、イシュマエルと呼んだ。アブラムは八十六歳であった、ハガルがアブラムにイシュマエルを産んだ時。

アブラムは九十九歳になった。そして主がアブラムに現れて、彼に言った、私はあなたの神である。私の前で喜ばれる者となり、非の打ちどころのない者になれ。そして私は私の契約を私とあなたの間に置き、あなたを非常に増やすだろう。そしてアブラムは彼の顔の上に倒れた。そして神は彼に語って言われた、そして私は、見よ、私の契約はあなたと共にある、そしてあなたは多くの国々の父となるであろう。そしてあなたの名はもはやアブラムと呼ばれず、あなたの名はアブラハムとなる。なぜなら私はあなたを多くの国々の父と定めたからである。そして、わたしはあなたを非常に大いに増やし、あなたを諸国民とし、王たちがあなたから出るであろう。そして私は、私の契約をあなたとあなたの後の子孫との間に、彼らの世代にわたって立て、永遠の契約として、あなたの神、そしてあなたの後の子孫の神となる。そして、わたしはあなたに、そしてあなたの後のあなたの子孫に、あなたが寄留しているその地、すべてのカナンの地を永遠の所有として与えるだろう。そして、わたしは彼らの神となるだろう。そして神はアブラハムに言った、しかしあなたは私の契約を守らなければならない、あなたとあなたの後の子孫も、代々にわたって。そしてこれは、あなたが守るべき契約である。私とあなたがたの間、そしてあなたの後のあなたの子孫との間で、彼らの代々にわたって。あなたがたのすべての男子は割礼を受けなければならない。そして、あなたがたはあなたがたの包皮の肉に割礼を受けるであろう。そして、それは私とあなたがたの間の契約のしるしとなるであろう。そして八日の子供はあなたがたに割礼されるであろう。すべての男性はあなたがたの世代において、家で生まれた者と、あなたの種から出ていないすべての外国人の息子から銀で買われた者も。あなたの家で生まれた者と銀で買われた者は、必ず割礼を受けなければならない。そして私の契約は、永遠の契約として、あなたがたの肉の上にあるであろう。そして割礼を受けていない男性で、八日目にその包皮の肉に割礼を受けない者は、その魂はその種族から断ち切られるであろう。なぜなら私の契約を破ったからである。そして神はアブラハムに言った、あ

あなたの妻サライは、その名をサライと呼ばれることはない。サラがその名となるだろう。私は彼女を祝福し、あなたに彼女から子供を与えるだろう。そして私はそれを祝福し、それは諸国民となるだろう。そして諸国民の王たちが彼から出るだろう。そしてアブラハムは彼の顔の上に倒れ、そして笑い、そして彼の心の中で言って言った、もし百歳の者に息子が生まれるだろうか。そしてもしサラが九十歳で産むだろうか。そしてアブラハムは神に向かって言った、このイシュマエルがあなたの前に生きますように。神はアブラハムに言われた、はい、見よ、あなたの妻サラがあなたに息子を産むであろう。あなたは彼の名をイサクと呼ぶであろう。そして私は彼との契約を立て、永遠の契約とし、彼とその後の子孫の神となるであろう。イシュマエルについてだが、見よ、私はあなたの願いを聞いた。そして見よ、私は彼を祝福した。そして私は彼を増やし、私は彼を非常に増し加える。彼は十二の国々を生むであろう。そして私は彼を大いなる国とする。しかし私の契約は、サラが来年のこの時期にあなたに産むイサクに対して確立するだろう。彼に話し終えると、神はアブラハムのもとから上って行かれた。

そしてアブラハムは自分の息子イシュマエルと、彼の家で生まれた者たち全員と、銀で買われた者たち全員と、アブラハムの家にいる男たちの中のすべての男性を取り、神が彼に語ったとおりに、その日のうちに彼らの包皮に割礼を施した。アブラハムは九十九歳であった、彼がその包皮の肉に割礼を受けた時。しかしイシュマエル、彼の息子は、彼の包皮の肉に割礼を受けた時、十三歳だった。そしてその日の時に、アブラハムは割礼を受けた、そして彼の息子イシュマエルも。そして彼の家の全ての男たち、そして彼の家で生まれた者たち、そして外国の民族から銀で買われた者たち。

神が彼に現れた、マムレの櫨の木のとこで、彼が真昼に彼の天幕の戸口に座っていた時。彼が目を上げて見ると、見よ、三人の男たちが彼の前に立っていた。彼はそれを見て、天幕の入口から彼らを迎えるために走り出て、地にひれ伏した。そして言った、主よ、もし私があなたの前に恵みを見出したのであれば、どうかあなたの僕を通り過ぎないでください。水を取り、あなたがたの足を洗い、その木の下で涼みなさい。そして私はパンを取り、あなたたちは食べるだろう。そしてその後、あなたたちは自分たちの道へ行くだろう、あなたたちがあなたたちの僕のところへ立ち寄ったその理由のために。そして彼は言った、あなたが語ったように、そのように行いなさい。そしてアブラハムは天幕へ急いでサラのところへ行き、彼女に言った、急いで細かい粉三 measures をこねて、灰の中で焼いたパンを作りなさい。そしてアブラハムは牛の群れのところへ走って行き、柔らかくて良い子牛を取り、若者に与え、それを料理するよう急がせた。彼はバターとミルクと、彼が作った子牛を取り、彼らの前に置いた。そして彼らは食べた。しかし彼自身は木の下で彼らのそばに立っていた。

彼に向かって言った、あなたの妻サラはどこですか。そして答えて言った、見よ、天幕の中に。そして言った、戻って来る時、この時期になれば、私はあなたのところへ来るだろう。そしてあなたの妻サラは息子を持つだろう。サラは天幕の入口のところで、彼の後ろにいながら聞いていた。アブラハムとサラは年を重ねた老人であり、サラには月経が止まっていた。サラは心の中で笑いながら言った、今まで私にはそのようなことはなかった。それに私の主人は年老いている。そして主はアブラハムに言った、なぜサラは心の中で笑ったのか、本当に私は産むだろうか。私はもう年老いてしまったのと言いながら。神にとって不可能なことがあるか？来年の今頃、私はあなたのもとに戻ろう。そしてサラには息子が生まれるだろう。しかしサラは否定して言った、私は笑いませんでした、なぜなら彼女は恐れたからである。そして彼は彼女に言った、いいや、あなたは笑った。

その男たちはそこから立ち上がり、ソドムとゴモラの方を見下ろした。アブラハムは彼らと共に旅をし、彼らを見送った。主は言った、私は私の僕アブラハムから、私がしようとしていることを隠さない。アブラハムは大いなる強大な国民となるであろう、そして地のすべての国民は彼によって祝福されるであろう。私は知っていた。なぜなら、彼は自分の息子たちと自分の後の家族に命じ、彼らは主の道を守って義と裁きを行い、それによって主がアブラハムに語られたすべてのことを彼の上にもたらされるからである。主は言われた、ソドムとゴモラの叫びが私のもとに増え、彼らの罪は非常に大きい。それゆえ降りて行って見よう。私のもとに届いている彼らの叫びの通りに事が行われているかどうか、そうでなければ、私が知るために。そして男たちはそこから向きを変えてソドムへ来たが、アブラハムはまだ主の前に立っていた。そしてアブラハムは近づいて言った、正しい者を不敬虔な者と共に滅ぼさないでください。そうすれば正しい者が不敬虔な者のようになってしまいます。もし五十人の正しい者たちがその都市の中にいるならば、あなたは彼らを滅ぼすのか。もし彼らがその中にいるならば、あなたは五十人の正しい者たちのゆえに、その場所全体を赦さないのか。決してあなたはこの言葉のようなことをして、正しい者を不敬虔な者と共に殺すことはなさらないでしょう。そうすれば正しい者が不敬虔な者のようになってしまいます。決してそのようなことは。全地を裁かれる方が、裁きをなさらないということがあるでしょうか。主は言われた、もしソドムの町に五十人の正しい者がいるならば、私は彼らのゆえに、その町全体とその場所のすべてを赦そう。そしてアブラハムは答えて言った、今、私は私の主に話すことを始めました。しかし私は土と灰です。もしその五十人の正しい者たちが四十五人に減るならば、あなたはその五人のゆえにすべてのその都市を滅ぼすでしょうか?そして彼は言った、いいえ、私は滅ぼさないだろう、もし私がそこに四十五人を見つけるならば。そして彼はさらに彼に話すことを続け、そして言った、もしそこに四十人が見つけられるならばと。そして言った、私はその四十人のゆえに滅ぼ

さないでしょうと。そして彼は言った、主よ、もし私が話すなら何か問題がありますか？もしそこに三十人が見つかったなら？そして主は言った、私は三十人のために滅ぼさない。そして彼は言った、私が主に話すことがあるので、もしそこに二十人が見出されるならばどうでしょうか。そして彼は言った、もしそこに二十人を見出すならば、私は決して滅ぼさない。そして彼は言った、主よ、もう一度お話ししても、何か問題がありますか？もしそこに十人が見つかったら？そして主は言った、私は十人のゆえに滅ぼさない。主は、アブラハムに話すことをやめると去り、そしてアブラハムは彼の場所へ戻った。

19

二人の天使たちが夕方にソドムへ来た。ロトはソドムの門の傍らに座っていた。ロトは見て、彼らを出迎えるために立ち上がり、そして地に顔を伏せてひれ伏した。そして彼は言った、ご覧ください、ご主人方、あなたたちの僕の家にお立ち寄りください。そしてお泊まりになり、足を洗ってください。そして早朝に起きて、あなたたちの道へ出発なさるでしょう。そして彼らは言った、いいえ、私たちは広場で泊まります。そして彼は彼らを促し、彼らは彼の方へ向きを変え、彼の家の中へ入った。そして彼は彼らに飲み物を作り、種なしパンを彼らのために焼き、彼らは食べた。眠る前に、その都市の男たち、ソドム人たちが、若者から年長者まで、すべての民が一緒になって、その家を囲んだ。そして彼らはロトを呼び出して、彼に向かって言った、今夜あなたのところに入った男たちはどこにいるのか？彼らを私たちのところに連れ出せ、私たちが彼らと関係を持つために。ロトは彼らのもとへ入口に出て行き、戸を自分の後ろに閉めた。彼は彼らに向かって言った、兄弟たちよ、決して悪を行ってはならない。私には二人の娘がおり、彼女たちは男を知りません。私は彼女たちをあなたたちのもとへ連れ出しましょう。そしてあなたたちの喜ぶように彼女たちを使ってください。ただ、これらの男たちには不

正を働かないでください。彼らは私の家の梁の庇護のもとに入ったのですから。彼らは彼に言った、そこから離れよ。あなたは寄留するために入ったのではないか。それなのに裁きを下そうとするのか。今やそれゆえ、我々はあの者たちよりもむしろあなたを悪く扱おう。そして彼らはその男ロトを非常に強く押し、その戸を打ち砕くために近づいた。しかし、男たちは手を伸ばして、ロトを彼ら自身の方へ家の中に引き入れ、そして家の戸を閉めた。その家の戸の上にいる男たちを、小さい者から大きい者まで盲目で打ち、そして彼らは戸を探して混乱した。そして、その男たちはロトに言った、あなたにはここに義理の息子たち、または息子たち、または娘たちがいるか。または、あなたに他の誰かがこの町にいるなら、この場所から連れ出せ。なぜなら我々はこの場所を滅ぼすからである、なぜなら彼らの叫びが主の前に高められたので、そして主が我々を送ってそれを滅ぼすためである。ロトは出て行き、彼の娘たちを娶った娘婿たちに話しかけて言った、起きて、この場所から出て行きなさい、なぜなら主がこの町を滅ぼすからだ。しかし、彼の娘婿たちの前では冗談を言っているように思われた。しかし夜明けになると、天使たちはロトを急ぎ立てて言った、立ち上がって、あなたの妻と、あなたが持っている二人の娘たちを連れて、出て行きなさい。そうすれば、あなたもこの町の不法と共に滅びることはない。そして彼らは動揺し、天使たちは彼の手と彼の妻の手と彼の二人の娘たちの手を掴んだ。主が彼を惜しんだからである。

そして、彼らが彼らを外へ導き出した時、こうなった。そして彼らは言った、あなた自身の魂を救い続けよ。後ろを見るな。そしてすべての周辺地域において立ち止まるな。山へ逃げて自分を救え。決して巻き込まれないように。ロトは彼らに向かって言った、お願いします 主よ、あなたの僕があなたの前に憐れみを見出し、あなたがわたしの上に行くあなたの義を大きくして、わたしの魂を生かしてくださいました。しかしわたしはその山へ逃れることができません。悪がわたしを捕らえて、わたしが死ぬこと

のないように。見よ、この都市は私が逃げ込むのに近く、それは小さい。そこで私は救われるだろう。それは小さくないだろうか。そして私の魂はあなたのゆえに生きるだろう。そして彼に言った、見よ、私はあなたを重んじた。そしてこの言葉によって、あなたが語ったその都市を破壊しないことにする。急いでそこに救われなさい。なぜなら、あなたがそこに来るまで、私は何事もすることができないからである。このゆえに、彼はあの町の名前をゾアルと呼んだ。太陽が地上に出て、ロトはゾアルに入った。そして主は、天から主のもとより出た神聖な火を、ソドムとゴモラの上に降らせた。そして彼はこれらの都市を滅ぼし、すべての周辺地域と、その都市に住むすべての者と、地から生えるすべてのものを滅ぼした。そして彼の妻は後ろを振り返り、塩の柱になった。アブラハムは朝早く起きて、主の前に立っていたその場所へ行った。そして彼はソドムとゴモラの地面を見下ろし、その周辺地域の地面を見下ろした。そして彼は見た。そして見よ、炉の蒸気のように、炎が地から立ち上っていた。そして神が周辺地域のすべての都市を破壊した時、神はアブラハムを思い出し、ロトが住んでいた都市たちを主が破壊した時に、ロトを破壊の真ん中から送り出した。

ロトはゾアルから上って行き、彼自身と彼の二人の娘たちと共にその山に住んだ。彼はゾアルに住むことを恐れたからである。そして彼自身と彼の二人の娘たちと共にその洞窟に住んだ。年上の女が年下の女に向かって言った、私たちの父は年老いており、地上にはこの地全体の習わしに従って私たちのところに来る者が誰もいない。さあ、私たちの父にワインを飲ませ、彼と共に寝て、私たちの父から子種を起こそう。彼女たちはその夜、彼女たちの父にぶどう酒を飲ませた。そして姉が入って来て、その夜、彼女の父と共に寝た。そして彼は、彼が寝る時も、起きる時も知らなかった。翌日になって、姉が妹に言った、見よ、私は昨日私たちの父と寝た。今夜も彼にぶどう酒を飲ませよう。そしてあなたが入って彼と寝よ。そして私たちの父から種を起こそう。

そしてその夜も彼女たちは父にワインを飲ませた。そして妹が入って父と寝た。そして彼は、彼女が寝たときも起きたときも知らなかった。そして、ロトの二人の娘たちは、彼らの父から身ごもった。そして年上の女は息子を産み、彼の名前をモアブと呼んだ。私の父からと言いながら。この者はモアブ人たちの父である、今日の日まで。若い方も息子を産み、彼の名前をアンマンと呼んで、私の種族の息子、この者はアンモン人たちの父である、今日の日までと言った。

20

そしてアブラハムはそこから南の地へ移動し、カデシュとシュルの間に住み、ゲラルに寄留した。アブラハムは彼の妻サラについて彼女は私の姉妹であると言った。なぜなら彼女は私の妻であると言うことを恐れたからである。都市の男たちが彼女のゆえに彼を殺すかもしれないと。そしてゲラルの王アビメレクは人を送り、サラを連れて行った。そして神は、夜の眠りの中でアビメレクのもとに入り、言った、見よ、あなたは死ぬであろう、あなたが取ったその女について。しかしこの女は男と共に住んでいる者である。アビメレクは彼女に触れなかった。そして言った、主よ、無知な民族と正しい者をあなたは滅ぼされるのですか。彼自身が私に彼女は私の妹であると言ったではないか?そしてこの女も私に彼は私の兄弟であると言ったではないか?清い心と正しい手でもって私はこれを行ったのである。神は眠りの中で彼に言った、そして私は知っていた、あなたが清い心でこれを行ったことを。そして私はあなたが私に対して罪を犯さないようにあなたを惜しんだ。このために私はあなたが彼女に触れることを許さなかったのである。今、その妻をその男に返せ。なぜなら彼は預言者であり、あなたのために祈るだろう、そうすればあなたは生きるだろう。しかしもし返さないなら、あなたとあなたのすべてのものが死ぬことを知るだろう。そしてアビメレクはその朝早く起き、彼のすべての僕たちを呼び、これらすべての言葉を彼らの耳

に語った。そしてすべての人々は非常に恐れた。そしてアビメレクはアブラハムを呼んで、彼に言った、あなたは何をこれを私たちにに行ったのか。まさか私たちがあなたに罪を犯したというのか。なぜならあなたは私と私の王国の上に大きな罪をもたらしただから。誰もしないであろう仕事を、あなたは私に行った。アビメレクはアブラハムに言った、何を見てあなたはこれをしたのか。アブラハムは言った、私は言ったのだ、この場所には敬虔さが無いので、彼らは私の妻のゆえに私を殺すだろう、と。そして実際、彼女は私の姉妹であり父からであるが母からではなく、そして彼女は私の妻となった。神が私を父の家から導き出した時、私は彼女に言った、あなたは私に対してこの正義を行うであろう。私たちが入るすべての場所で、そこで私について、私の兄弟であると言いなさい。アビメレクは千ディドラクマ、羊、子牛、召使い、女召使いを取り、アブラハムに与え、そして彼の妻サラを彼に返した。そしてアビメレクはアブラハムに言った、見よ、私の地はあなたの前にある。どこでもあなたが喜ぶところに住むがよい。そしてサラに言った、見よ、私はあなたの兄弟に千ディドラクマを与えた。これはあなたの面目のためにあなたにあるだろう、そしてあなたと共にいる全ての者たちに。そして全てを真実に語れ。アブラハムは神に祈った。そして神はアビメレクと彼の妻と彼の侍女たちを癒し、彼女たちは子を産んだ。なぜなら、主がアブラハムの妻サラのゆえに、アビメレクの家の子宮を外から完全に閉じたからである。

21

そして主は、言われた通りにサラを訪れ、主は語られた通りにサラになさった。そして妊娠して、主が彼に語った時のとおりに、老年においてアブラハムに息子を産んだ。そしてアブラハムは、サラが彼に産んだ彼の息子の名前をイサクと呼んだ。そしてアブラハムは、神が彼に命じたように、八日目にイサクに割礼を施した。そしてアブラハムは百歳だった、彼の息子イサクが彼に

生まれた時。サラは言った、主は私に笑いをもたらされた。聞く者は誰でも私と共に喜ぶだろう。そして誰がアブラハムに告げるだろうか、サラが子供に授乳することを。なぜなら私は老齢において息子を産んだのだから。そしてその子供は成長し、乳離れした。そしてアブラハムは大きな宴会を催した、彼の息子イサクが乳離れしたその日に。しかしサラは、エジプト人ハガルの息子で、アブラハムに生まれた者が、彼女の息子イサクと遊んでいるのを見た、そしてアブラハムに言った、この女奴隷とその息子を追い出さない。なぜなら、この女奴隷の息子は私の息子イサクと共に相続することはないからである。しかし、彼の息子についてのその言葉は、アブラハムの前に非常に厳しく現れた。神はアブラハムに言われた、その子供のことにしても、またその女奴隷のことにしても、厳しく思ってはならない。サラがあなたに言うことはすべて、彼女の声に聞き従いなさい。なぜなら、イサクにおいてあなたの子孫が呼ばれるからである。そして、この女奴隷の息子も、大いなる国民とするだろう、なぜなら、彼はあなたの子孫であるから。アブラハムは朝起き上がり、パンと水の皮袋を取り、ハガルに与え、子供を彼女の肩に置き、彼女を送り出した。去った彼女は誓いの井戸のあたりの荒野を彷徨った。革袋の水が尽き、彼女は子供を一本の樅の木の下に置いた。彼女は去って、彼から遠く離れた向かい側に、弓の射程ほどの距離で座った。というのは、私の子供の死を見ることはないだろうと言ったからだ。そして彼の向かい側に座った。しかし子供は叫び声を上げて泣いた。神は子供の声を、その子がいた場所から聞かれた。そして神の天使が天からハガルを呼び、彼女に言った。どうしたのですか、ハガル。恐れてはいけません。神は子供の声を、その子がいる場所から聞かれたのです。起きて、その子供を取り、あなたの手でそれを握りなさい。なぜなら、私はそれを大きな国民とするからである。そして神は彼女の目を開き、彼女は生きている水の井戸を見た。そして彼女は行き、革袋を水で満たし、子供に飲ませた。そして神はその子供と共にいた。そして彼は成長

し、荒野に住み、弓射手となった。そして彼は荒野に住んだ。そして母は彼にエジプトのパランから妻を取った。

その時、アビメレクと彼の顧問オコザト、そして彼の軍の最高司令官ピコルがアブラハムに向かって言った。神はあなたが行うすべてのことにおいてあなたと共におられる。今、それゆえ、神にかけて私に誓え。私を害さないこと、私の子孫も私の名も害さないことを。しかし、私があなたに対して行った正義に従って、あなたは私と、あなたがそこに住んだこの地に対して行うであろう。そしてアブラハムは言った、私は誓います。そして、アブラハムは、アビメレクの僕たちが取り去った水の井戸について、アビメレクを責めた。そしてアビメレクは彼に言った、私は知らなかった、誰があなたにこの言葉をしたのか。あなたも私に報告しなかった、私も聞かなかった、今日まで。そしてアブラハムは羊と子牛を取り、アビメレクに与え、両者は契約を結んだ。そしてアブラハムは、七匹の雌羊を単独で立てた。そしてアビメレクはアブラハムに言った、あなたが別に分けたこれらの羊のうちの七頭の雌羊は何ですか。そしてアブラハムは言った、あなたは私から七匹の雌羊を受け取るだろう、それは私がこの井戸を掘ったという証言として私にあるためである。このゆえに彼はその場所の名を誓いの井戸と名付けた、なぜならそこで両者が誓ったからである。そして彼らは誓いの井戸で契約を結んだ。そしてアビメレク、彼の助言者オコザト、そして彼の軍の最高司令官ピコルが起き上がり、ペリシテ人の地へ戻った。そしてアブラハムは誓いの井戸のそばに畑を植え、そこで主の名、永遠の神を呼んだ。アブラハムはペリシテ人の地に長く住んだ。

22

そしてこれらの言葉の後に起こった、神はアブラハムを試された、そして彼に言われた、アブラハム、アブラハム、そして彼は言った、ここにあります。そして言った、あなたの愛する息

子、あなたが愛したイサクを連れて、その高い地へ行き、私があるに告げる山々の一つで、彼をそこで燔祭として捧げよ。アブラハムは朝早く起き上がり、ろばに鞍を置き、二人の若者と息子イサクを連れて行き、全焼の捧げ物のために薪を割り、立ち上がって出発し、神が彼に告げた場所に三日目に到着した。そしてアブラハムは目を上げて見上げ、その場所を遠くから見た。そしてアブラハムは彼の従者たちに言った、ここでロバと共に座ってなさい。私と少年はここまで行き、礼拝してからあなたたちのところへ戻るだろう。アブラハムは全焼の捧げ物の木を取り、それを彼の息子イサクに負わせた。そして彼は火と剣を手に取り、二人は一緒に行った。イサクは彼の父アブラハムに向かって言った、父よ。彼は言った、何ですか、子よ。イサクは言った、見よ、火と木はあります。燔祭のための羊はどこですか。アブラハムは言った、神が自ら全焼の捧げ物のための羊を備えてくださるだろう、わが子よ。そして二人は一緒に進んで行った。彼らは神が彼に言った場所に来た。そしてアブラハムはそこに祭壇を建て、薪を置いた。そして彼の息子イサクを縛り、彼を祭壇の上の薪の上に置いた。そしてアブラハムは彼の手を伸ばして剣を取り、彼の息子を屠るためであった。そして主の天使が天から彼を呼んで言った、アブラハム、アブラハム。彼は言った、はい、ここにおります。そして言った、あなたの手をその子供の上に置いてはならない。また彼に何もしてはならない。今、私は知った。あなたが神を恐れることを。そしてあなたはあなたの愛する息子を私のために惜しまなかったことを。そしてアブラハムは目を上げて見た、すると見よ、一匹の雄羊が角を茂みに捕らえられていた。そしてアブラハムは行って、その雄羊を取り、彼の息子イサクの代わりに全焼の捧げ物として彼を捧げた。

そしてアブラハムはその場所の名前を主は見たと呼んだ。それは今日、主の山において主は現れたと人々が言うためである。そして主の天使は天国からアブラハムを二度目に呼んだ。言って、私自身にかけて私は誓ったと主は言われる、あなたがこの事

をなし、あなたの愛する息子を私のために惜しまなかったので、まことに、私はあなたを祝福に祝福し、あなたの子孫を天の星のように、また海の岸辺の砂のように増やしに増やすであろう。そしてあなたの子孫は敵対者たちの都市を継承するであろう。そして、あなたの子孫によって地のすべての国々が祝福されるだろう、あなたが私の声に従ったゆえに。 アブラハムは彼の子供たちの方へ振り返り、そして立ち上がって一緒に誓いの井戸へ行った。そしてアブラハムは誓いの井戸に住んだ。

これらの言葉の後、アブラハムに報告がもたらされ、人々は言った、見よ、メルカもまたあなたの兄弟ナホルに息子たちを産んだ。長子ウズと、その兄弟ブズと、シリア人の父カムエルを、そしてハザド、アザウ、ファルデス、イエルダフ、ベトウエル。ベトウエルはレベッカを生んだ。これら八人は息子たちであり、メルカがアブラハムの兄弟ナホルに産んだ者たちである。そして彼の側室、その名をストリームといい、彼女もまたテバク、ガハム、タハシュ、そしてマアカを産んだ。

23

サラの生涯は百二十七年であった。サラはアルボクの都市で死んだ。それは谷の中にあり、カナアンの地のヘブロンである。アブラハムはサラのために嘆き悲しむために来た。そしてアブラハムは彼の死者のもとから起き上がり、アブラハムはヘテの息子たちに言った、私はあなたがたのもとで寄留者であり旅人です。それゆえ、あなたがたのもとで墓の所有地を私に与えてください。そうすれば私は私の死者を葬ります。ヘテの息子たちはアブラハムに答えて言った、いいえ、主よ。お聞きください、私たちの王よ。あなたは神からの者として私たちの中におられます。私たちの選ばれた墓の中にあなたの死者を埋葬してください。私たちの誰も、あなたがそこにあなたの死者を埋葬することを、自分の墓をもって妨げることはありません。立ち上がって、アブラハ

ムはその地の民、ヘテの息子たちに礼拝した。そしてアブラハムは彼らに向かって言った、もしあなたがたが私の死者を私の前から葬ることを望むならば、私の言うことを聞き、私のためにツォハルの子エフロンに話してください。そして彼に私に与えさせよ、二重の洞窟を、それは彼のものである、彼の畑の一部にあるものを。相応しい銀で、私にそれを与えよ、あなたがたの中で、墓の所有のために。エフロンはヘトの息子たちの真ん中に座っていた。そしてヒッタイト人エフロンはアブラハムに答えて言った、ヘトの息子たちと町に入って来るすべての者たちが聞いている中で、言って、私のそばにいてください、主よ、そして私の言うことを聞いてください。その畑と、その中にある洞窟を、あなたに与えます。私の市民全ての前で、あなたに与えました。あなたの死者を葬ってください。そしてアブラハムはその地の民の前で礼拝した。そして彼はエフロンに、その地の民の前で、その耳に言った、もしあなたが私に対してであるならば、私の言うことを聞いてください、その畑の銀を私から取ってください、そして私は私の死体をそこに埋葬するでしょう。エフロンはアブラハムに答えて言った。いいえ、主よ。私は聞きました。土地は銀四百ディドラクマですが、これが私とあなたの間で何になるでしょうか。あなたはあなたの死者を葬りなさい。そしてアブラハムはエフロンの言葉を聞き、アブラハムはエフロンに銀を渡した。それは彼がヘトの息子たちの耳に語った銀であり、商人たちの間で通用する四百ディドラクマの銀であった。そしてエフロンの畑が確定した。それは二重の洞窟にあり、マムレの前にある畑と、その中にあった洞窟と、その畑にあったすべての木と、その境界の周囲にあるすべてのものである。アブラハムに、所有として、ヘテの息子たちの前で、そしてその町に入るすべての者たちの前で。これらの後、アブラハムは彼の妻サラを、マムレの向かいにある二重の畑の洞窟に埋葬した。これはカナン地のヘブロンである。そして、その畑とその中にあった洞窟は、ヘトの息子たちから墓の所有としてアブラハムに確認された。

そしてアブラハムは年を重ね、日々が進んでいた。そして主はアブラハムをすべてにおいて祝福した。

そしてアブラハムは彼の家の年長の僕、彼のすべてを支配する者に言った、あなたの手を私の腿の下に置け。そして私は、天の神と地の神である主にかけて、あなたに誓わせる。私の息子イサクのために、私が共に住んでいるカナン人たちの娘から妻を迎えないように。しかし、あなたは私が生まれた私の地へ行き、私の部族のもとへ行き、そこから私の息子イサクのために妻を迎えなさい。その若者は彼に言った、もしその女が私と共にこの地へ行くことを望まない場合、私はあなたの息子をあなたが出来たその地へ連れ戻すべきでしょうか。アブラハムは彼に言った、氣をつけなさい、私の息子をそこへ連れ戻してはならない。主なる天の神、そして地の神、私を私の父の家から、また私が生まれた地から連れ出された方、私に語りかけ、私に誓って言われた方、あなたに、そしてあなたの子孫に、この地を与えると。その方ご自身が、あなたの前に御使いを遣わされるであろう。そしてあなたは、そこから私の息子のために妻を迎えるであろう。もしその女があなたと共にこの地へ行くことを欲しないならば、あなたは私の誓いから清くなるであろう。ただ私の息子をそこへ連れ戻してはならない。そしてその僕は彼の手を彼の主人アブラハムの腿の下に置き、そしてこの事について彼に誓った。そして、その若者は主人のラクダの中から十頭のラクダを取り、そして主人のすべての良いものを自分と共に持ち、そして立ち上がってメソポタミアへ、ナホルの町へ行った。そして彼は町の外で、水の井戸のそばにラクダたちを休ませた。それは夕方、水を汲む女たちが出て来る時であった。

そして言った、主よ、私の主アブラハムの神よ、今日私の前で成功を与えてください、そして私の主アブラハムに憐れみを行

ってください。見よ、私は水の泉のそばに立っている。そして町に住む者たちの娘たちが水を汲みに出て来る。そして、私があなたの水がめを傾けて、私に飲ませてくださいと言う処女が、私にあなたも飲みなさい、そしてあなたのラクダたちにも、それらが飲むのをやめるまで飲ませましょうと言うなら、その女こそ、あなたがあなたの僕イサクのために備えられた者です。そして、このことによって、私は、あなたが私の主アブラハムに憐れみを施されたことを知るでしょう。

そして、彼が心の中で話し終える前に、それは起こった。そして見よ、レベッカが出て来た。彼女はベトエルに生まれた者であり、ベトエルはアブラハムの兄弟ナホルの妻ミルカの息子であった。彼女は水がめを肩に載せていた。その処女は外見が非常に美しかった。処女であり、男は彼女を知らなかった。彼女は泉に降りて行き、彼女の水瓶を満たし、そして上がった。その若者は彼女に会うために走り寄り、そして言った、あなたの水がめから少しの水を私に飲ませてください。彼女は言った、お飲みください、ご主人様そして急いで彼女の腕の上に水がめを下ろし、そして彼が飲むのをやめるまで彼に飲ませた。そして彼女は言った、あなたのらくだたちにも、すべてが飲み終わるまで水を汲んで差し上げましょう。そして彼女は急いで水がめを水桶に空にし、再び汲むために井戸へ走り、すべてのラクダたちに水を汲んだ。その男は彼女を注意深く観察し、主が彼の道を繁栄させたかどうかを知るために沈黙を保っていた。すべてのラクダたちが水を飲み終えたとき、その男は一ドラクマの重さの金の耳飾りと、十金の重さの二つの金の腕輪を取り、彼女の手につけた。そして彼は彼女に尋ねて言った、あなたは誰の娘ですか?私に教えてください、あなたの父のところに私たちが泊まる場所がありますか?そして彼女は彼に言った、私はメルカスがナホルに産んだベトエルの娘です。そして彼に言った、藁も飼料も私たちのところに沢山あります、そして泊まる場所もあります。そして喜んだ人は主を拝んだ。そして彼は言った、祝福されよ、私の主アブラハムの神なる

主よ。主は私の主から彼の正義と真理を見捨てず、そして主は私を私の主の兄弟の家へと導かれた。そして少女は走って、これらの言葉に従って彼女の母の家に報告した。レベッカには兄弟がいて、その名をラバンといった。そしてラバンは外の泉のところへその人のもとに走って行った。そして、彼が姉妹の手にある耳飾りと腕輪を見た時、また姉妹レベッカがその男は私にこのように話しましたと言っているのを聞いた時、彼は泉のそばでラクダのところに立っているその男のもとへ来た。そして彼に言った、ここに入りなさい、主に祝福された方よ。なぜ外に立っているのですか?私は家を準備しました、そしてラクダたちのための場所も。そしてその男は家の中に入り、ラクダたちの荷を下ろし、ラクダたちに藁と飼料を与え、彼の足と彼と共にいる男たちの足を洗うための水を与えた。そして彼は彼らの前にパンを置いて食べさせようとしたが、彼は言った、いや、私の言葉を話すまでは食べない。そして彼は言った、話さない。

そして言った、私はアブラハムの僕です。主は私の主人を非常に祝福し、彼を高められ、そして彼に羊、子牛、銀、金、子供たち、若い女たち、ラクダ、そしてロバを与えた。そしてサラ、私の主の妻は、彼が老いた後に、私の主に一人の息子を産み、そして彼にあったすべてのものを彼に与えた。そして私の主は私に誓わせて言った、私の息子のために、私が寄留しているカナン人たちの地において、カナン人たちの娘たちから妻を取ってはならない。しかし、あなたは私の父の家へ行き、私の部族の中へ行き、そこから私の息子のために妻を迎えるだろう。私は私の主に言った、もしかしてその女は私と共に行かないのではないのでしょうか。そして主なる神は私に言った。私がその御前で喜ばれた方、その方が御自身の天使をあなたと共に遣わし、あなたの道を繁栄させるだろう。そしてあなたは私の息子のために、私の部族から、そして私の父の家から妻を迎えるだろう。その時、あなたは私の呪いから無罪となるだろう。なぜなら、もしあなたが私の部族へ来て、彼らがあなたに与えなければ、あなたは私の誓いか

ら無罪となるだろう。そして今日、泉のところに来て、私は言いました。わが主アブラハムの神、主よ、もしあなたが、今私が行くこの道を繁栄させてくださるなら 見よ、私は水の泉のそばに立っている。そして町の人々の娘たちが水を汲みに出て来る。私があなたの水瓶から少し水を私に飲ませてくださいと言う、その処女がいるだろう。そして彼女が私にあなたも飲みなさい、そしてあなたのラクダたちにも水を汲んであげましょうと言うなら、この女こそ主が御自身の僕イサクのために備えられた女である。そしてこのことによって、あなたが私の主アブラハムに憐れみを施されたことを私は知るであろう。そして、私が心の中で話し終える前に、直ちにレベッカが水がめを肩に持って出て来て、泉に下って行き、水を汲んだ。そして私は彼女に私に飲ませてくださいと言った。そして急いで彼女は自分の腕に水瓶を降ろし、そして言った、あなたは飲みなさい、そしてあなたのラクダたちにも飲ませましょう。そして彼は飲んだ、そしてラクダたちにも飲ませた。そして私は彼女に尋ねて言った、あなたは誰の娘ですか。私に教えてください。しかし彼女は言った、私はベトウエルの娘です。ナホルの息子の、メルカが彼に産んだ者です。そして私は彼女に耳飾りを付け、彼女の手腕に腕輪を付けた。そして喜んで、私は主に礼拝し、私の主アブラハムの神である主を祝福した。主は真理の道において私を繁栄させ、私の主の兄弟の娘を彼の息子のために娶らせてくださった。もしあなたがたが私の主に対して憐れみと正義を行うなら、もし行わないなら、私に報告してください。そうすれば私は右か左に向かいます。

ラバンとベトエルは答えて言った、この事は主から出たものです。私たちはあなたに悪いとも良いとも言うことができません。見よ、レベッカはあなたの前にいる。彼女を連れて行け。そして彼女があなたの主人の息子の妻となるように、主が語られた通りに。アブラハムの子が彼らの言葉を聞いたとき、彼は地に伏して主に礼拝した。そして若者は銀の器と金の器と衣服を持ち出して、レベッカに与え、そして贈り物を彼女の兄弟と彼女の母に

与えた。そして彼自身と彼と共にいる男たちは食べて飲んで眠った。そして朝起き上がって言った、私を送り出してください、私の主のもとへ去るために。彼女の兄弟たちと母は言った、その処女を私たちと共におよそ十日間留まらせよ、そしてその後彼女は去るだろう。しかし彼は彼らに言った、私を引き止めないでください、主は私の道を繁栄させてくださいました。私を送り出してください、私の主人のもとへ帰れるように。しかし彼らは言った、その子供を呼んで、彼女の口に尋ねよう。そして彼らはリベカを呼び、彼女に言った、あなたはこの人と一緒に行きますか？しかし彼女は言った、私は行きます。そして彼らは、彼らの姉妹レベッカと彼女の所有物、そしてアブラハムのしもべと彼と共にいる者たちを送り出した。そして彼らはレベッカを祝福し、彼女に言った、私たちの姉妹よ、幾千幾万となれ、そしてあなたの子孫が敵対者たちの都市を相続しますように。立ち上がったレベッカと彼女の侍女たちは、ラクダたちに乗り、その男と共に行った。そして従者はレベッカを連れて去った。

イサクは幻の井戸を通して荒野を旅していた。彼は南の地に住んでいた。そしてイサクは夕方に向かって平野へ語り合うために出て行き、目を上げて、来ているらくだたちを見た。そしてレベッカは目を上げてイサクを見ると、らくだから飛び降りた。そして彼女は従者に言った、あの平野を歩いて私たちに会いに来るあの男は誰ですか？すると従者は言った、この方は私の主人です。そして彼女はベールを取って身にまとった。そして、そのしもべは自分が行ったすべてのことをイサクに語った。そしてイサクは彼の母の家に入り、レベッカを娶り、彼女は彼の妻となり、彼は彼女を愛した。そしてイサクは彼の母サラのことで慰められた。

25

そして、アブラハムは妻を娶った。その名はケトゥラである。彼女は彼にゾムブラン、イエザン、マダル、マディウム、イ

エスボク、そしてソイエを産んだ。イエザンはサバとデダンを生んだ。デダンの息子たちはアスリエイム、ラトウシエイム、ラオメイムである。ミディアンの子供たちは、ゲフェル、アフエイル、エノク、アベイダ、エルダガであり、これらすべてはケトゥラの息子たちであった。アブラハムは彼のすべての所有物を彼の息子イサクに与えた。そして、アブラハムは彼の側室たちの息子たちに贈り物を与え、彼がまだ生きている間に、彼らを彼の息子イサクから東の方へ、東の地へと送り出した。これらはアブラハムの生涯の年であり、彼が生きたのは百七十五年であった。そしてアブラハムは衰えて死んだ。良い老齢において、老人で、日々に満ちて。そして彼の民に加えられた。そして彼の息子たちイサクとイシマエルは、彼をマムレの向かいにある、ヒッタイト人ツォハルの子エフロンの畑の二重の洞窟に埋葬した。その畑とその洞窟を、アブラハムがヘテの息子たちから獲得した、そこで彼らはアブラハムと彼の妻サラを埋葬した。アブラハムが死んだ後、神は彼の息子イサクを祝福した。そしてイサクは幻視の井戸の傍らに住んだ。これらはアブラハムの息子イシュマエルの系図である。彼はサラの女奴隷であったエジプト人ハガルがアブラハムに産んだ子である。そしてこれらはイシュマエルの息子たちの名前である。彼の世代の名前による。イシュマエルの長子、ネバヨテ、ケダル、ナブデエル、マッサム。そしてマスマ、そしてドゥマ、そしてマッセ、そしてコッダン、そしてテマン、そしてイエトウル、そしてナフェス、そしてケドマ。これらはイシュマエルの息子たちであり、これらは彼らの天幕と野営地における彼らの名前である。彼らの部族に従った十二人の支配者たちである。そしてこれらはイシュマエルの生涯の年々である。百三十七年。そして衰えて死に、彼の種族に加えられた。彼はハビラからシュルまで住んだ。それはエジプトの前方にあり、アッシリア人たちに向かって行くまでである。彼はすべての兄弟たちの前方に住んだ。

そしてこれらはアブラハムの息子イサクの世代である。アブラハムはイサクを生んだ。イサクは四十歳であつた。その時彼はレベッカを妻として迎えた。彼女はシリアのメソポタミア出身のシリア人ベトエルの娘で、シリア人ラバンの姉妹であつた。イサクは彼の妻レベッカについて主に祈っていた、なぜなら彼女は不妊だったからである。神は彼の祈りを聞き、そして彼の妻レベッカは身ごもった。子供たちが彼女の中で跳ねた。そして彼女は言った、もしこのように私に起こることになるならば、なぜ私にこれが。そして彼女は主のもとへ尋ねるために行った。そして主は彼女に言った、二つの国々があなたの胎の中にあり、二つの民族があなたの腹から分かれるだろう。そして一つの民族が他の民族を超え、大きい方が小さい方に仕えるだろう。そして彼女が産む日々が満たされ、見よ、双子が彼女の腹の中にいた。長子が出て来たが、赤く、全体がまるで毛皮のように毛深かった。そして彼の名前をエサウと名付けた。そしてこの後、彼の兄弟が出て来た。そして彼の手はエサウのかかとをつかんでいた。そして彼の名をヤコブと呼んだ。イサクは六十歳であつた、レベッカが彼らを産んだとき。若い男たちは成長した。そしてエサウは狩りを知る田舎の人であつた。ヤコブは家に住む飾らない人であつた。イサクはエサウを愛した、なぜなら彼の狩りの獲物が彼の食べ物であつたから。しかしレベッカはヤコブを愛した。

ヤコブがシチューを煮た。エサウが野原から疲れ果てて帰って来た。そしてエサウはヤコブに言った、この赤い煮込み料理を私に食べさせてくれ、私は衰えているから。このゆえに彼の名はエドムと呼ばれた。ヤコブはエサウに言った、今日、あなたの長子の権利を私に売ちなさい。そしてエサウは言った、見よ、私は死のうとしている。この長子の権利が私に何になろうか。そしてヤコブは彼に言った、今日私に誓えと。そして彼は彼に誓った。しかしエサウはその長子の権利をヤコブに売った。ヤコブはエサウにパンとレンズ豆の煮物を与えた。そしてエサウは食べ、飲

み、立ち上がって去った。こうしてエサウは長子の権利を軽んじた。

26

地に飢饉が起こった。それは以前の飢饉、すなわちアブラハムの時に起こった飢饉とは別のものであった。そしてイサクはペリシテ人の王アビメレクのもとへ、ゲラルへ行った。主が彼に現れて、そして言った、エジプトへ下って行くな、そして私があなたに言う地に住め。この地に寄留せよ。そうすれば私はあなたと共にあり、あなたを祝福するであろう。なぜなら、あなたとあなたの子孫にこのすべての地を与え、あなたの父アブラハムに誓った私の誓いを立てるからである。そして私はあなたの子孫を天の星のように増やし、あなたの子孫にこのすべての地を与えるだろう。そして地のすべての国々はあなたの子孫によって祝福されるだろう。アブラハム、あなたの父が私の声に従い、そして私の命令、私の戒め、私の法令、私の律法を守ったので。しかし、イサクはゲラルに住んだ。その場所の男たちは彼の妻レベッカについて尋ねた。そして彼は私の姉妹ですと言った。なぜなら彼は私の妻ですと言うことを恐れたからである。その場所の男たちがレベッカについて彼を殺すかもしれないと思ったのである。それはレベッカが外見において美しかったからである。そこに長い時間が経った。そして、ゲラルの王アビメレクが窓から覗き込んで、イサクが彼の妻レベッカと戯れているのを見た。アビメレクはイサクを呼んで、彼に言った。それでは確かにあなたの妻であるのか。なぜあなたは私の姉妹であると言ったのか。イサクは彼に言った。私は言った。なぜなら、いつか彼女のゆえに私が死ぬことがないようにと。アビメレクは彼に言った、あなたは私たちに何ということをしたのか。私の民の誰かがあなたの妻と寝るところであった、そしてあなたは私たちに罪をもたらしところであった。アビメレクは彼のすべての民に命令して言った、この男と彼の妻に触れる者は、死刑に処せられるであろう。イサクはその地

に種を蒔き、その年に百倍の大麦を得た。主は彼を祝福した。そしてその男は高められ、そして前進しながらより大きくなり、ついには非常に大きくなった。彼には羊の家畜と牛の家畜と多くの農業があった。そしてペリシテ人たちは彼を嫉妬した。そして彼の父の時代に、彼の父の僕たちが掘ったすべての井戸を、ペリシテ人たちが塞ぎ、それらを土で満たした。そしてアビメレクはイサクに向かって言った、私たちから去れ、なぜならあなたは私たちより非常に強くなったからだ。そしてイサクはそこから去り、ゲラルの谷に宿営し、そこに住んだ。

そして再びイサクは、彼の父アブラハムの僕たちが掘った水の井戸を掘った。そしてペリシテ人たちは、彼の父アブラハムが死んだ後、それらを塞いだ。そして彼は、彼の父が名付けた名前に従って、それらに名前を付けた。そしてイサクの僕たちはゲラルの谷で掘り、そこに湧き水の井戸を見つけた。そしてゲラルの羊飼いたちはイサクの羊飼いたちと戦い、その水は自分たちのものであると主張した。そして彼らはその井戸の名を不正と呼んだ。なぜなら彼らは彼に不正を行ったからである。そこから出発して、彼は別の井戸を掘ったが、彼らはそれについても争った。そして彼はその名前を敵意と名付けた。そこから出発して、彼は別の井戸を掘った。そして彼らはそれについて争わなかった。そして彼はその名をエウリュコーリア(広い場所)と名付けて言った。なぜなら今、主が私たちのために場所を広げ、この地の上で私たちを増やしてくださったからだ。

そして彼はそこから誓いの井戸へ上って行った。そしてその夜、主が彼に現れて言った、私はあなたの父アブラハムの神である。恐れるな、私はあなたと共にいるからである。そして私はあなたを祝福し、あなたの父アブラハムを通してあなたの子孫を増やすだろう。そして彼はそこに祭壇を建て、主の名を呼び、そこに彼の天幕を張った。そしてイサクの僕たちはそこでゲラルの谷に井戸を掘った。そして、アビメレクはゲラロンから彼のもとへ

行った。彼の助言者オコザトと、彼の軍の総司令官ピコルも共に行った。そしてイサクは彼らに言った、なぜあなたがたは私のところへ来たのか。あなたがたは私を憎み、そして私をあなたがたのもとから追い出したではないか。しかし彼らは言った、私たちは見て、主があなたと共におられたことを知りました。それで私たちは言いました、私たちの間とあなたの間に誓いを立てましょう。私たちはあなたと契約を結びます 私たちに悪をなさないでください。私たちがあなたを憎悪的に扱わず、あなたによく接し、平和のうちにあなたを送り出したように。そして今、あなたは主に祝福されています。そして彼は彼らに宴会を開き、彼らは食べ、そして飲んだ。そして朝起き上がって、各々が隣人に誓い、イサクは彼らを送り出し、彼らは彼のもとから平安のうちに去って行った。その日、イサクの僕たちが到着して、彼らが掘った井戸について彼に報告し、私たちは水を見つけませんでしたと言った。そして彼はそれを誓いと呼んだ。このゆえに彼はその町の名を誓いの井戸と呼んだ、今日に至るまで。

エサウは四十歳であつた。そして彼はヒッタイト人ベオクの娘ユディトと、ヒッタイト人エロンの娘バセマトを妻として娶った。そして、イサクとレベッカに口論していた者たちがいた。

27

イサクが老いた後、彼の目は見るのが鈍くなった。そして彼は年上の息子エサウを呼び、彼に言った、わが息子よと。そして彼は言った、ここにおりますと。そして彼は言った、見よ、私は老いた。そして私は自分の死の日を知らない。さあ、それゆえ、あなたの道具、矢筒と弓を取り、平野へ出て行き、私のために獲物を狩りなさい。そして私が好むように私に料理を作り、私に持って来い。私が食べるために、私が死ぬ前に私の魂が君を祝福するように。レベッカは、イサクが彼の息子エサウに話しているのを聞いた。そしてエサウは、彼の父のために獲物を狩るため

に平原へ行った。しかしレベッカは、彼女の若い方の息子ヤコブに言った、見よ、私はあなたの父があなたの兄弟エサウに話しているのを聞いた、こう言っているのを、私に獲物を持ってきて、私に料理を作りなさい。そうすれば食べて、私が死ぬ前に主の前であなたを祝福するだろう。今、それゆえ、わが息子よ、私があるあなたに命じるとおりに、私の言うことを聞きなさい。そして羊のところへ行って、そこから柔らかくて良い子山羊を二匹私のために取ってきなさい。そうすれば私はそれらをあなたの父が好むご馳走に作りましょう。そして、あなたはそれをあなたの父に運び入れ、彼は食べるだろう。それは、あなたの父が死ぬ前にあなたを祝福するためである。ヤコブは彼の母レベッカに言った、エサウ私の兄弟は毛深い男です、しかし私は滑らかな男です。父が私に触れることがあれば、私は彼の前で軽蔑する者のようになり、私自身に呪いを招き、祝福ではなくなるでしょう。母は彼に言った、あなたの呪いは私の上にあります、子よ、ただ私の声を聞きなさい、そして行って私に持って来なさい。彼は行って取り、母のところへ持って来た。そして彼の母は、彼の父が好んだように料理を作った。

そしてレベッカは、彼女の年長の息子エサウの良い衣服を取った。それは彼女のもとに家の中にあった。彼女はそれを彼女の年少の息子ヤコブに着せた。そして、彼は若いヤギの皮を彼の腕と首の露出した部分に巻きつけた。そして彼女は、作ったごちそうとパンを、息子ヤコブの手に渡した。そして彼は父のもとへ持って来た。父よと言うと、父はここにいる。お前は誰だ、わが子よと言った。そしてヤコブは父に言った、私はエサウ、あなたの長子です。あなたが私に語ったとおりに行いました。起き上がって座り、私の狩りの獲物を食べてください。あなたの魂が私を祝福しますように。イサクは彼の息子に言った、何だこれは、我が子よ、お前がこんなに早く見つけたのは?そして彼は言った、あなたの神、主が私の前に授けてくださったものです。イサクはヤコブに言った、私に近づきなさい。子よ、あなたを触って、あな

たが私の息子エサウであるかどうか確かめよう。ヤコブは父イサクに近づいた。そして彼に触れた。そしてイサクは言った、声は確かにヤコブの声だが、手はエサウの手だ。そして彼を認識しなかった。なぜなら彼の手は、彼の兄弟エサウの手のように毛深かったからである。そして彼を祝福した。そして言った、あなたは私の息子エサウですか?しかし彼は言った、私です。そして彼は言った、私に持ってきてなさい、そして私はあなたの狩りの獲物から食べよう、わが子よ、私の魂があなたを祝福するために。そして彼は彼に持ってきた、そして彼は食べた、そして彼は彼にワインを持ってきた、そして彼は飲んだ。そしてイサクは彼の父が彼に言った、私に近づいて、私に口づけしなさい、わが子よ。そして近づいて彼に口づけし、彼の衣服の匂いを嗅ぎ、彼を祝福して言った、見よ、私の息子の匂いは、主が祝福された満ちた畑の匂いのようなだ。そして神があなたに天の露から、地の豊かさから、そして穀物とぶどう酒の多数を与えますように。そして諸国民があなたに仕え、支配者たちがあなたを拝むように。そしてあなたの兄弟の主となれ。そしてあなたの父の息子たちがあなたを拝むだろう。あなたを呪う者は呪われ、あなたを祝福する者は祝福される。

イサクが息子ヤコブを祝福し終えた後、ヤコブが父イサクのもとから出て行くと、兄弟エサウが狩りから帰って来た。そして彼自身も料理を作り、彼の父に持って来て、父に言った、私の父よ、起きて、あなたの息子の狩りの獲物を食べてください、あなたが私を祝福してくださるように。そしてイサク、彼の父が彼に言った、あなたは誰ですか。そして彼は言った、私はあなたの息子、長子エサウです。イサクは非常に大きな驚きに驚いた。そして言った、それでは、誰が私のために獲物を狩り、私に持ち込んだのか。私はあなたが来る前にすべてを食べてしまった。そして私は彼を祝福した。彼は祝福されるであろう。エサウが父イサクの言葉を聞いたとき、彼は非常に大きく苦い声で叫び、そして言った、父よ、私をも祝福してください。彼に言った、あなたの兄

弟が欺きと共に来て、あなたの祝福を取った。そして彼は言った、正しく彼の名はヤコブと呼ばれた。なぜなら彼は私を出し抜いたのだ、見よ、これで二度目だ。私の長子の権利を彼は取り、そして今、私の祝福を取った。そしてエサウは彼の父に言った、父よ、あなたは私に祝福を残さなかったのですか。答えてイサクはエサウに言った、もし私が彼をあなたの主人とし、彼のすべての兄弟たちを彼の僕たちとし、穀物とぶどう酒で彼を支えたなら、あなたには何をしてあげられようか、わが子よ。エサウは彼の父に言った、父よ、あなたには一つの祝福しかないのですか。父よ、実に私をも祝福してください。イサクが深く動かされると、エサウは声をあげて叫び、そして泣いた。分離されて、イサクの父が彼に言った、見よ、地の豊かさからあなたの住まいがあるだろう、そして上から天の露から。そしてあなたは自分の剣によって生き、自分の兄弟に仕えるだろう。しかし、いつかあなたが彼の軛を自分の首から壊して取り除くときが来るだろう。

そしてエサウは、父が彼に与えた祝福について、ヤコブを恨んだ。そしてエサウは心の中で言った、父の喪の日々が近づけばよい。そうすれば私は兄弟ヤコブを殺そう。レベッカに、彼女の年長の息子エサウの言葉が報告された。そして彼女は使いを送って、彼女の年少の息子ヤコブを呼び、彼に言った、見よ、あなたの兄弟エサウがあなたを殺そうとしてあなたを脅している。今、それゆえ、子よ、私の声を聞け、そして立ち上がってメソポタミアへ、私の兄弟ラバンのもとへ、ハランへ逃げよ。そして彼と共にしばらく住め、その怒りが静まるまで。そしてあなたの兄弟の怒りがあなたから離れ、彼があなたが彼にしたことを忘れたら、使いを送ってあなたをそこから召喚しよう。一日のうちにあなたたち二人から子供を奪われることが決してないように。レベッカはイサクに言った、私はヘトの息子たちの娘たちのゆえに私の生命に疲れました。もしヤコブがこの地の娘たちから妻をとるならば、私にとって生きることは何でしょうか。

イサクはヤコブを召喚して彼を祝福し、彼に命じて言った、カナン人の娘たちから妻を迎えてはならない。立ち上がって、メソポタミアへ逃げよ、あなたの母の父ベトエルの家へ。そして、そこからあなたの母の兄弟ラバンの娘たちの中から、あなた自身のために妻を娶れ。私の神があなたを祝福し、あなたを増やし、あなたを増し加え、あなたは諸国民の集会となるだろう。そして、私の父アブラハムの祝福をあなたに与え、あなたとあなたの子孫に、神がアブラハムに与えたあなたの寄留の地を相続させるように。そしてイサクはヤコブを送り、彼はメソポタミアへ行った。シリア人ベトエルの息子ラバン、ヤコブとエサウの母レベッカの兄弟のもとへ。

エサウは見た、イサクがヤコブを祝福し、そして彼をシリアのメソポタミアへ送り、そこから自分のために妻を娶らせたこと、彼を祝福する際に、彼に命じて言ったこと、カナン人の娘たちから妻を娶ってはならないと。そしてヤコブは父と母の言うことを聞いて、シリアのメソポタミアへ行った。エサウもまた、カナンの娘たちが父イサクの目に悪いものであることを見た。エサウはイシュマエルのもとへ行き、アブラハムの息子イシュマエルの娘でネバヨトの姉妹であるマエレトを、彼の妻たちに加えて妻として娶った。

そしてヤコブは誓いの井戸から出て行き、ハランへ向かった。そして彼はある場所に着き、そこで眠った。太陽が沈んだからである。そして彼はその場所の石を取り、それを頭のところに置いて、その場所で眠った。そして彼は夢を見た。見よ、はしが地に立てられ、その頭は天に達し、そして神の天使たちがそれの上を上り下りしていた。そして主はそれの上に立っておられ、そして言われた、私はあなたの父アブラハムの神、そしてイサクの神である。恐れるな。あなたがその上に眠っている地を、あな

たに与えるだろう、そしてあなたの子孫に。そしてあなたの子孫は地の砂のようになり、海へ、南へ、北へ、そして東へと広がるだろう。そして地のすべての部族があなたによって、またあなたの子孫によって祝福されるだろう。そして見よ、私はあなたと共にあり、あなたが行くすべての道であなたを守り、そしてあなたをこの地に連れ戻すだろう。なぜなら私があなたに語ったすべてのことを成し遂げるまで、決してあなたを見捨てないからである。そしてヤコブは彼の眠りから起こされ、そして言った、主がこの場所におられる、しかし私は知らなかった。そして彼は恐れて言った、なんと恐ろしいこの場所は。これは神の家に他ならず、これは天の門である。そしてヤコブは朝起き上がり、彼がそこで頭の下に置いた石を取り、それを柱として立て、その先端に油を注いだ。そして彼はその場所を神の家と名付けた。その町の名前は以前ウラムルズであった。そしてヤコブは誓いを立てて言った、もし主なる神が私と共にいて、私が行くこの道において私を守り、私にパンを食べさせ、衣を身にまとわせてくださるなら、そして彼が私を無事に私の父の家へ帰らせてくださるならば、主は私の神となるであろう。そして、私が柱として立てたこの石は、私にとって神の家となるでしょう。そして、もしあなたが私に与えてくださるすべてのものの十分の一を、私はあなたに捧げます。

29

そして、ヤコブは足を上げて東の地へ行った。シリア人ベトエルの息子ラバン、すなわちヤコブとエサウの母レベッカの兄弟のもとへ。そして見ると、見よ、平原に井戸があった。そこには三つの羊の群れがその傍らで休んでいた。なぜなら、あの井戸から群れに水を飲ませていたからである。しかし、大きな石がその井戸の口の上にあった。そしてそこにすべての群れが集められ、井戸の口から石を転がし去り、羊に水を飲ませ、そして石を井戸の口の上のその場所に戻した。ヤコブは彼らに言った、兄弟た

ち、あなたたちはどこから来たのですか。彼らは言った、私たちはハランから来ました。彼は彼らに言った、あなたたちはナホルの息子ラバンを知っていますか。彼らは言った、知っています。彼は彼らに言った、彼は元気ですか?彼らは言った、元気です。そして見なさい、彼の娘ラケルが羊と共に来ています。そしてヤコブは言った、まだ日は長い、家畜を集める時ではない。羊に水を飲ませて、去って飼いなさい。しかし彼らは言った、私たちはできません、すべての羊飼いたちが集められるまで、そして彼らが井戸の口から石を転がすまで、そして私たちは羊に水を飲ませるでしょう。彼がまだ彼らに話している間に、見よ、ラバンの娘ラケルが彼女の父の羊と共に来ていた。なぜなら彼女は彼女の父の羊を世話していたからである。ヤコブが彼の母の兄弟ラバンの娘ラケルと、彼の母の兄弟ラバンの羊を見たとき、ヤコブは近づいて井戸の口から石を転がし去り、彼の母の兄弟ラバンの羊に水を飲ませた。そしてヤコブはラケルに接吻し、声を上げて泣いた。そして彼はラケルに報告した、彼が彼女の父の兄弟であること、そして彼がレベッカの息子であることを。そして彼女は走って、これらの言葉に従って彼女の父に報告した。ラバンが彼の姉妹の息子ヤコブの名前を聞いたとき、彼に会うために走り、彼を抱きしめて口づけし、彼を自分の家に連れて入った。そしてヤコブはラバンにこれらすべての言葉を語った。そしてラバンは彼に言った、あなたは私の骨から、そして私の肉からである、そして彼は彼と共に一ヶ月いた。

ラバンはヤコブに言った、あなたは私の兄弟だから、無償で私に仕えることはない。あなたの報酬は何か私に告げなさい。しかし、ラバンには二人の娘がいた。その年上の方の名前はレア、そして年下の方の名前はラケルであった。レアの目は弱かったが、ラケルは姿が美しく、容貌も非常に美しかった。ヤコブはラケルを愛し、そして言った、あなたの若い方の娘ラケルのために、七年間あなたに仕えます。ラバンは彼に言った、私が彼女をあなたに与えることは、私が彼女を別の男に与えるより良い。私

と共に住め。そしてヤコブはラケルのために七年仕えたが、それらは彼が彼女を愛するゆえに、彼の前ではわずかな日々のものであった。ヤコブはラバンに言った。私の妻を私に与えてください。日々が満たされましたので、私は彼女のもとに入ります。ラバンはその場所のすべての男たちを集め、そして結婚の宴を催した。そして夕方になり、彼は娘のレアを連れてヤコブのもとへ導き入れ、ヤコブは彼女のもとに入った。そしてラバンは彼の娘レアに、彼の召使いジルパを召使いとして与えた。朝になった。そして見よ、それはレアであった。ヤコブはラバンに言った。あなたは私に何ということをしたのか。私はラケルのためにあなたのもとので仕えたのではないか。なぜあなたは私を欺いたのか。ラバンは答えた、私たちの地では、姉より先に妹を与えるようなことはしない。したがって、この女の七日間を完成させよ。そうすれば、あなたが私のもとのでさらに別の七年間働くという労働の代わりに、私はあなたにこの女も与えるだろう。ヤコブはこのようにした。そして彼はこの七日を満たした。そしてラバンは彼の娘ラケルを彼に妻として与えた。ラバンは彼の娘に、彼の侍女バラを、彼女の侍女として与えた。そして彼はラケルのもとに入った。そして彼はレアよりもラケルを愛した。そして彼は彼に更に七年仕えた。

しかし主なる神はレアが憎まれていることを見て、彼女の胎を開かれた。しかしラケルは不妊であった。そしてレアは妊娠し、ヤコブに息子を産んだ。彼女はその名前をルベンと呼び、言った、なぜなら主が私の屈辱を見て、私に息子を与えたから。それゆえ今、私の夫は私を愛するだろう。そして彼女は再び身ごもり、ヤコブに二番目の息子を産んだ。そして言った、主は私が憎まれていることを聞いて、この子も私に与えてくださったと。そして彼の名前をシメオンと呼んだ。そして彼女はまた妊娠し、息子を産んだ。そして言った、今度こそ私の夫は私に結びつくだろう。なぜなら私は彼に三人の息子を産んだから。このゆえに彼女はその名前をレビと呼んだ。そして彼女は再び妊娠して息子を産

み、そして言った、今回もこれを主に感謝します、このゆえに彼女は彼の名前をユダと呼んだ、そして彼女は産むことをやめた。

30

ラケルは、彼女がヤコブに子を産んでいないことを見て、彼女の姉妹を嫉妬し、ヤコブに言った、私に子供たちを与えてください。そうでなければ、私は死にます。怒ったヤコブはラケルに言った、私は神の代わりではない。あなたから子宮の実を奪ったのは神ではないか。ラケルはヤコブに言った。見よ、私の侍女ビルハです。彼女のところに入りなさい。彼女は私の膝の上で産むでしょう。そして私もまた彼女によって子を得るでしょう。そして彼女は彼に自分の召使いバラを妻として与え、ヤコブは彼女のところに入った。そしてラケルの女奴隷ビルハは身ごもり、ヤコブに息子を産んだ。そしてラケルは言った、神は私を裁き、私の声を聞き、私に息子を与えた。このゆえに彼女は彼の名前をダンと呼んだ。そして、ラケルの侍女バラは再び身ごもり、ヤコブに二番目の息子を産んだ。そしてラケルは言った、神は私の味方をしてくださった。私は姉妹と争い、勝つことができた。そして彼女は彼の名前をナフタリと呼んだ。レアは自分が子を産むことが止まったのを見て、自分の侍女ゼルファを取り、彼女をヤコブに妻として与え、そして彼は彼女のところに入った。そして、レアの若い女ゼルファは妊娠し、ヤコブに息子を産んだ。そしてレアは言った、幸運に恵まれたと。そして彼女は彼の名前をガドと名付けた。そして、レアの侍女ゼルファはさらに身ごもり、ヤコブに二番目の息子を産んだ。そしてレアは言った、幸いな私は、なぜなら女たちは私を幸いと呼ぶだろう、そして彼女は彼の名前をアシェルと呼んだ。ルベンが小麦の収穫の日に畑に行き、マンドラゴラのリングを見つけて、それらを彼の母レアのもとに持って来た。そしてラケルは彼女の姉妹レアに言った、あなたの息子のマンドラゴラを私に与えてください。レアは言った、あなたが私の夫を取ったことで十分ではないのか。私の息子のマンドレイクま

であなたは取るのか。ラケルは言った、では、あなたの息子のマンドレイクの代わりに、今夜彼をあなたと共に眠らせましょう。ヤコブは夕方に畑から帰って来た。レアは彼を迎えに出て行き、そして言った、今日あなたは私のところに来なさい。私の息子の曼陀羅華の代わりにあなたを雇ったのだから。そして彼はその夜彼女と共に寝た。そして神はレアの声を聞き、彼女は妊娠してヤコブに五番目の息子を産んだ。そしてレアは言った、神は私に報酬を与えた、私が若い女を私の夫に与えたことの代わりに。そして彼女は彼の名前をイッサカルと呼んだ。それは報酬である。そしてレアはまだ妊娠し、ヤコブに六番目の息子を産んだ。そしてレアは言った、神は今この時に私に良い贈り物を与えられた。私の夫は私を選ぶだろう、なぜなら私は彼に六人の息子を産んだから。そして彼女はその子の名をゼブルンと呼んだ。そしてこの後、娘を産み、その名を恐ろしいものと名付けた。神はラケルを思い出し、神は彼女の声を聞き、そして彼女の子宮を開いた。そして身ごもってヤコブに息子を産んだ。そしてラケルは言った、神が私の恥辱を取り去られた。そして彼女は彼の名をヨセフと呼び、神が私に別の息子を加えてくださいますようにと言った。

ラケルがヨセフを産んだとき、ヤコブはラバンに言った、私を送り出してください、私が私の場所へ、そして私の地へ去るために。私の妻たちと私の子供たちを返してください。彼らのために私はあなたに仕えたのです。私が去れるように。あなたは私があなたに仕えた奉仕を知っているのですから。ラバンは彼に言った、もし私があなたの前に好意を得ているなら、私は占って知りました。神は私を祝福されたのです、あなたの到来によって。あなたの報酬を私に指定しなさい。そうすれば私は与えましょう。ヤコブは言った、あなたは知っている、私があなたに仕えたことを、そして、あなたの家畜がどれだけ私と共にあったかを。私の前にあなたに属していたものは小さかったが、それは多数へと増え、そして主なる神は私の足跡において、あなたを祝福された。それゆえ今、私もまた私自身のために家を作るのはいつになるの

だろうか。そしてラバンは彼に言った、私はあなたに何を与えようか。するとヤコブは彼に言った、あなたは私に何も与える必要はありません。もしあなたがこの言葉を私にしてくれるなら、私は再びあなたの羊の群れを飼い、守ります。あなたのすべての羊を今日通り過ぎさせ、そこから子羊たちの中のすべての暗色の羊と、山羊たちの中のすべての縞模様のもつとまだらのものを分離しなさい。それが私の報酬となるでしょう。そして私の正義は次の日に私のために証言するだろう。なぜなら私の報酬があなたの前にあるからだ。ヤギの中で斑点や縞模様でないものすべて、また子羊の中で灰色でないものすべては、私のもとでは盗まれたものとみなされるだろう。ラバンは彼に言った、あなたの言葉通りにしよう。そしてその日、彼はまだらと斑点のある雄山羊たち、まだらと斑点のあるすべての雌山羊たち、子羊たちの中で暗色であったすべてのもの、それらの中で白かったすべてのものを分け、自分の息子たちの手を通して与えた。そして彼は三日の道のりの距離を置いた、彼らとヤコブの間に。しかしヤコブは残されたラバンの羊を飼っていた。ヤコブは自分のために新鮮なストラクスの杖とクルミの杖とプラタナスの杖を取り、ヤコブはそれらを白く剥ぎ取った。そして緑を剥ぎ取ると、彼が剥いだ白いものが杖の上にまだら模様に現れた。そして彼が剥いだ棒を、水の水飲み桶の中に置いた。それは、ヒツジが飲みに来た時、それらが飲みに来て棒の前で、ヒツジが棒に向かって孕むためであった。そして羊たちは棒に向かって孕み、羊たちは純白で斑があり、灰色の斑点のあるものを産んだ。ヤコブは子羊たちを分け、羊たちの前に縞のある雄羊とすべてのまだらの子羊を立てた。そして自分のために群れを別に分離し、それらをラバンの羊に混ぜなかった。そして、羊たちが胎内で受胎していた時に、ヤコブは棒を羊たちの前の水槽の中に置いた。それは、それらが棒に従って身ごもるためであった。羊が産んだ時、彼は置かなかった。そして印のないものはラバンのものとなり、印のあるものはヤコブのものとなった。そしてその男は非常に豊かになり、彼には多くの家畜、牛、召使い、女召使い、らくだ、ろばが与えられた。

ヤコブはラバンの息子たちの言葉を聞いた。彼らは言っていた、ヤコブは私たちの父のすべてを取った。そして私たちの父のものから、このすべての栄光を作り上げた。そしてヤコブはラバンの顔を見た、そして見よ、彼に向かうことは昨日や一昨日のようではなかった。主はヤコブに言った、あなたの父の地へ、そしてあなたの一族のもとへ戻れ、そして私はあなたと共にいるだろう。ヤコブは使いを送って、レアとラケルを、群れのいる平原に呼んだ。そして彼は彼女たちに言った、私はあなたたちの父の顔を見る。昨日や一昨日のように私に対してではないからだ。しかし私の父の神は私と共にいた。そして、あなたがたも知っているように、私は私のすべての力をもって、あなたがたの父に仕えてきました。しかし、あなたがたの父は私を欺き、私の報酬を十回変えた。しかし神は彼が私を害することをお許しにならなかった。もし彼がこのように言えば、まだら模様のものがあなたの報酬となり、すべての羊はまだら模様のものを産むであろう。しかしもし彼が白いものと言えば、白いものがあなたの報酬となり、すべての羊は白いものを産むであろう。そして神は、あなたがたの父のすべての家畜を取り去り、それらを私に与えられた。そして、羊たちが胎内に孕んでいた時、私は眠りの中で私の目を見た。そして見よ、雄山羊たちと雄羊たちが羊たちと雌山羊たちの上に登っていた。それらは白く、まだらで、灰色のおちであった。そして神の天使が眠りの中で私に言った、ヤコブよ、そして私は言った、何ですか。そして彼は言った、あなたの目を上げて見なさい。羊や雌山羊に交尾している雄山羊や雄羊が、斑点があり、まだらで、灰色の斑点があるのを見なさい。なぜなら、ラバンがあなたにしていることをすべて私は見たからである。私はあなたに現れた神である。神の場所で、あなたはそこで私に柱を塗り、そこで私に誓いを立てた。今、それゆえ起きて、この地から出て行き、あなたの生まれの地へ去れ。そして私はあなたと共にいるだろう。そして、ラケルとレアは答えて彼に言った、私たち

には父の家にもはや部分も相続もないのではないですか。私たちは彼にとって外国の女たちのように数えられているのではない
か。なぜなら彼は私たちを売り、そして私たちの銀を食い尽くして
食い尽くしたのだから。すべての富と栄光は、神が私たちの父
から取り去ったものであり、私たちと私たちの子供たちのもの
となるだろう。だから今、神があなたに言ったことをすべて行い
なさい。ヤコブは立ち上がって、彼の妻たちと彼の子供たちをラク
ダに乗せた。そして彼は、彼のすべての所有物と、メソポタミア
で獲得したすべての荷物と、彼のすべてのものを導いて、彼の父
イサクのもとへ、カナン之地へ去った。ラバンは彼の羊を刈るた
めに行った、しかしラケルは彼女の父の偶像を盗んだ。ヤコブ
は、自分が逃げることをシリア人ラバンに告げないために隠し
た。そして彼は逃げ、彼のすべてのものと共に川を渡り、ギレア
デの山へと急いだ。三日目に、シリア人ラバンに、ヤコブが逃げ
たということが報告された。そして彼は自分の兄弟たちを連れ
て、七日の道のりを彼の後を追跡し、ギレアデの山で彼に追いつ
いた。神はその夜、眠りの中でシリア人ラバンのもとに来て、彼
に言った、気をつけよ、決してヤコブに悪いことを話してはなら
ない。そしてラバンはヤコブに追いついた。ヤコブは彼の天幕を
その山に張った。ラバンは彼の兄弟たちをギルアデの山に立て
た。ラバンはヤコブに言った、あなたは何をしたのか。なぜ秘密
に逃げ、私を欺き、私の娘たちを剣による捕虜のように連れ去っ
たのか。そしてもしあなたが私に報告していたなら、私は喜びと
共に、音楽家たちと共に、太鼓と共に、そして豎琴と共に、あな
たを送り出したらだろう。そして私は私の子供たちと私の娘たちに
口づけすることさえ許されなかった。しかし今、あなたは愚かに
行動した。そして今、私の手はあなたを害することができるほど
強い。しかし、あなたの父の神が昨日私に向かって言った、あな
た自身を守れ、決してヤコブとともに悪を話すなと。今、それゆ
えあなたは去った。なぜなら、あなたはあなたの父の家へ帰るこ
とを強く望んだからだ。しかし、なぜあなたは私の神々を盗んだ
のか? ヤコブはラバンに答えて言った。私は恐れたのです。あな

たがいつか私からあなたの娘たちと私のすべてのものを取り去るかもしれないと思ったからです。そしてヤコブは言った、あなたの神々を誰のところで見つけようとも、その者は我々の兄弟たちの前で生きることはないであろう。私のところにあなたのものが何かあるか確認して、取りなさい。しかし彼のところでは何も認識されなかった。ヤコブは知らなかったのである、彼の妻ラケルがそれらを盗んでいたことを。ラバンは入って、レアの家の中を探したが、見つけなかった。そしてレアの家から出て行き、ヤコブの家を探し、二人の女中たちの家においても探したが、見つけなかった。そして彼はラケルの家へも入った。ラケルは偶像たちを取り、それらをラクダの鞍袋に入れ、その上に座った。そして彼女は父に言った、重く受け取らないでください、ご主人様。あなたの前で立ち上がることができません。なぜなら女の習慣に従うものが私にあるからです。ラバンは家全体を探したが、偶像を見つけなかった。ヤコブは怒り、ラバンと争った。そしてヤコブは答えてラバンに言った、わたしの不正行為とは何か?わたしの罪とは何か、あなたがわたしの後を追跡したのは、そしてあなたは私の家のすべての器を探したが、あなたの家のすべての器から何を見つけたのか。ここにあなたの兄弟たちと私の兄弟たちの前に置け、そして彼らに私たち二人の間を裁かせよ。二十年、私はあなたとともにいる。あなたの羊とあなたの雌山羊は子を失わず、あなたの羊の雄羊を私は食べなかった。野獣に引き裂かれたものを、私はあなたに持って来なかった。私は自分自身で償っていた、昼の盗難を、そして夜の盗難を。私は昼間は暑さに焼かれ、夜は霜に苦しみ、そして眠りは私の目から離れ去った。この二十年間、私はあなたの家にいて、あなたの二人の娘のために十四年間あなたに仕え、あなたの羊のために六年間仕えたが、あなたは私の報酬を十回も変えて私を欺いた。もし私の父アブラハムの神、そしてイサクの恐れが私と共になかったなら、今あなたは私を空手で送り去っていただろう。私の屈辱と私の手の労苦を、神は見て、昨日あなたを叱責した。

しかしラバンは答えてヤコブに言った、娘たちは私の娘たち、息子たちは私の息子たち、家畜は私の家畜、あなたが見る全てのものは私のものである。そして私の娘たちについて、今日私は彼女たちに何をしようか、または彼女たちが産んだ彼女たちの子供たちに。今それゆえ、ここに私とあなたで契約を結ぼう。そしてそれは私とあなたの間の証言となるだろう。彼は彼に言った、見よ、誰も私たちと共にいない。見よ、神が私とあなたの間の証人である。ヤコブは石を取り、それを柱として立てた。ヤコブは彼の兄弟たちに言った、石を集めなさい。そして彼らは石を集め、丘を作った。そして彼らはその丘の上でそこで食べた。そしてラバンは彼に言った、この丘は今日、私とあなたの間で証言する。そしてラバンはそれを証言の塚と呼び、ヤコブはそれを証人の塚と呼んだ。ラバンはヤコブに言った、見よ、この塚と、私があなたと私の間に立てたこの柱、この塚は証言し、この柱は証言する。それゆえ、その名は塚は証言すると呼ばれた。そして彼が言った視覚を、神が私とあなたの間を見られますように、なぜなら私たちは互いから離れるだろうから。もしあなたが私の娘たちを卑しくするならば、もしあなたが私の娘たちのほかに妻たちを娶るならば、見よ、誰も私たちと共に見ている者はいない。神が私とあなたの間の証人である。もし私があなたのところへ渡らず、またあなたも悪意をもってこの丘とこの柱を越えて私のところへ渡らないなら。アブラハムの神とナホルの神が私たちの間を裁きますように、そしてヤコブは彼の父イサクの恐れにかけて誓った。そして彼は山で犠牲を捧げ、彼の兄弟たちを呼び、彼らは食べ、飲み、そして山で眠った。

32

朝、ラバンは起き上がり、息子たちと娘たちに口づけし、彼らを祝福した。そしてラバンは立ち去り、自分の場所へ帰って行った。

そしてヤコブは自分の道へ去った。そして見上げると、神の陣営が野営しているのを見た。そして神の天使たちが彼に出会った。ヤコブは彼らを見たとき言った、これは神の陣営だと、そして彼はあの場所の名をマハナインと呼んだ。

ヤコブは使者たちを自分の前に送った。自分の兄弟エサウのもとへ、セイルの地、エドムの地へ。そして彼は彼らに命じて言った、あなたたちは私の主エサウにこのように言いなさい。あなたの僕ヤコブはこのように言います。私はラバンのもとに寄留し、今まで滞在しました。私には牛、ろば、羊、しもべたち、女中たちができました。それで私の主エサウに知らせるために使いを送りました。あなたのしもべがあなたの前で恵みを得るためです。そして使いたちはヤコブのもとに戻って言った、私たちはあなたの兄弟エサウのもとへ行きました。そして見よ、彼はあなたに会うために来ており、四百人の男たちが彼と共にいます。しかしヤコブは非常に恐れ、困惑した。そして彼は自分と共にいる民、雄牛、駱駝、羊を二つの陣営に分けた。そしてヤコブは言った、もしエサウが一つの陣営に来て、それを打つならば、第二の陣営は救われるだろう。ヤコブは言った、私の父アブラハムの神、そして私の父イサクの神、主よ、あなたは私に言われました、あなたの生まれの地へ帰れ、そして私はあなたに良くしようと、私には、あなたがあなたのしもべに行ったすべての正義とすべての真理から、十分であらせてください。なぜなら、私はこの私の杖でこのヨルダン川を渡りましたが、今や私は二つの陣営となりました。私を私の兄弟の手から、エサウの手から救い出してください。私は彼を恐れています。彼が来て私を打ち、母を子供たちもろとも打つことがないように。しかしあなたは言った、私はあなたを祝福し、あなたの子孫を海の砂のようにするだろう、それはその多さのゆえに数えられないだろうと。そして彼はその夜そこで眠った、そして彼が運んできた贈り物を取り、そして彼の兄弟エサウへ送り出した、雌山羊二百頭、雄山羊二十頭、羊二百頭、雄羊二十頭、乳を飲ませているラクダ三十頭とその子ど

も、雌牛四十頭、雄牛十頭、ロバ二十頭、そして子馬十頭。そして彼はそれらを彼の僕たちに与えた、群れごとに分けて。そして彼は僕たちに言った、私の前を進め、そして群れと群れの間に間隔を作れ。そして彼は最初の者に命じて言った、もしあなたに私の兄弟エサウが会って、あなたに尋ねて言うなら、あなたは誰のものか?そしてあなたはどこへ行くのか?そしてあなたの前に行くこれらのものは誰のものか?あなたは言うでしょう、あなたの僕ヤコブの贈り物を、私の主エサウに送りました。そして見よ、彼自身が私たちの後ろにいます。そして彼は最初の者に、二番目の者に、三番目の者に、そしてこれらの群れの後ろを先に行くすべての者たちに命じて言った、エサウが彼があなたたちを見つける時に、この言葉によって話せ。そしてあなたがたは言うだろう、見よ、あなたの僕ヤコブが私たちの後に来ますと。彼は言った、なぜなら私は彼の顔を、彼に先立って行く贈り物によって宥めるだろう、そしてその後に私は彼の顔を見るだろう、おそらく彼は私の顔を受け入れるだろうからと。そして贈り物たちは彼の前を進んで行った、しかし彼自身はその夜、陣営で眠った。その夜、彼は立ち上がり、二人の妻たち、二人の女中たち、そして十一人の子供たちを連れて、ヤボクの渡し場を渡った。そして彼は彼らを連れて急流を渡り、彼のすべてのものを渡らせた。

ヤコブは独り残されたが、ある人が彼と朝まで格闘した。彼は自分が彼に勝てないことを見て、彼のものの関節に触れた、そしてヤコブが彼と格闘している間に、ヤコブのものの関節をしびれさせた。そして彼に言った、私を行かせてくれ、夜明けが来たから。しかし彼は言った、あなたが私を祝福しないなら、決してあなたを行かせない。彼に言った、あなたの名は何ですか?そして彼は言った、ヤコブです。そして彼に言った、もはやあなたの名はヤコブと呼ばれることはない。イスラエルがあなたの名となる。なぜならあなたは神と力を競い、人間に対しても力ある者となるからである。ヤコブは尋ねて言った、私にあなたの名を教えてください。すると言った、なぜあなたは私の名を尋ねるのか?

そして彼をそこで祝福した。そしてヤコブはその場所の名を神の形と呼んだ。なぜなら私は神と顔と顔を合わせて見たが、私の魂は救われたからである。太陽が彼に昇った、神の姿が通り過ぎた時、彼は自分の腿を引きずっていた。このゆえに、イスラエルの子らは、腿のくぼみにある、しびれた腱を、今日まで食べない。それは、ヤコブの腿のくぼみにある、しびれた腱に触れたからである。

33

ヤコブは目を上げて見ると、見よ、彼の兄弟エサウが四百人の男たちと共に来ているのが見えた。そしてヤコブは子供たちをレアとラケルと二人の女中たちに分けた。そして彼は二人の若い女たちと彼らの息子たちを最初に置き、レアと彼女の子供たちを後ろに、そしてラケルとヨセフを最後に置いた。しかし彼自身は彼らの前に進み出て、彼の兄弟に近づくまで地に七回礼拝した。そしてエサウは彼に会うために走り、彼を抱いて彼の首に倒れ込み、彼に口づけし、そして二人とも泣いた。そしてエサウは見上げて女たちと子供たちを見て、言った、これらはあなたにとって何ですか?そして彼は言った、神があなたのしもべを憐れんでくださった子供たちです。そして若い女たちと彼らの子供たちが近づき、礼拝した。そしてレアと彼女の子供たちが近づいて、礼拝した。そしてその後、ラケルとヨセフが近づいて、礼拝した。そして言った、私が会ったこれらすべての陣営は何ですか。あなたにとって何ですか。そしてその方は言った、あなたのしもべが、主よ、あなたの前に恵みを見出すためです。エサウは言った、私には多くのものがある、兄弟よ、あなたのものはあなたのものとしなさい。ヤコブは言った、もし私があなたの前に恵みを得たなら、私の手からその贈り物を受け取ってください。私はあなたの顔を見ました、それはまるで神の顔を見るかのようでした。そしてあなたは私を喜んでくださるでしょう。私の祝福を受け取ってください。それは私があなたに持って来たものです。なぜなら神

が私を憐れんでくださり、私にはすべてがあるからです。そして彼は彼を強いて、彼は受け取りました。そして言った、出発してまっすぐに行こう。しかし彼に言った、私の主はご存知です。子供たちは幼く、羊と牛は私のもとで授乳しております。もしそれゆえ私が一日それらを急いで追うならば、すべての家畜は死んでしまうでしょう。私の主を彼の僕の前に先に行かせてください。私は、私の前の旅のゆっくりとしたペースに従い、若者たちの足並みに合わせて道を進みます。私が私の主のもとへセイルに来るまで。エサウは言った、私と共にいる民の中から、何人かをあなたと共に残そう。しかし彼は言った、なぜそのようなことを。私があなたの前に恵みを見出したことで十分です、わが主よ。しかしエサウはその日、セイルへ向かう彼の道へと戻って行った。そしてヤコブは天幕へ出発し、そこに自分のために家々を作り、そして彼の家畜のために天幕を作った。このゆえに彼はあの場所の名を天幕と呼んだ。

そしてヤコブはサレム、シケムの町へ来た。それはカナンの地にある。彼がメソポタミア・シリアから戻った時であり、彼はその町の前に野営した。そして彼は、自分の天幕をそこに張ったその畑の一部を、シケムの父ハモルから百で取得した。そして彼はそこに祭壇を設立し、イスラエルの神を呼び求めた。

34

レアの娘デイナが出て行った。彼女はヤコブに産まれた者で、土地の人々の娘たちに会うためであった。そして、その地の支配者であるエウアイオス人エンモルの息子シュケムが彼女を見た。そして彼は彼女を取り、彼女と寝て、彼女を辱めた。そして彼はヤコブの娘デイナの魂に心を留め、その処女を愛し、その処女の心に従って彼女に語った。シケムは彼の父エモルに言った、この子を私の妻にしてください。ヤコブは聞いた、エモルの息子が彼の娘デイナを汚したことを。しかし彼の息子たちは平野で彼

の家畜と共にいた。ヤコブは彼らが来るまで沈黙を守った。そしてシケムの父エモルはヤコブのもとへ出て行き、彼と話した。ヤコブの息子たちは平野から来た。彼らが聞いたとき、その男たちは深く悲しみ、彼らにとって非常に苦痛であった。なぜなら、イスラエルにおいて恥ずべきことを行い、ヤコブの娘と寝たからである。そしてこのようにはならないだろう。そしてエモルは彼らに話して言った、私の息子シュケムは心からあなたがたの娘を選びました。それゆえ、彼女を彼の妻として与えてください。そして私たちと通婚し、あなたたちの娘たちを私たちに与え、そして私たちの娘たちをあなたたちの息子たちのために取りなさい。そして私たちと共に住みなさい。見よ、この土地はあなたたちの前に広がっている。住み、その上で商売をし、そこで財産を得なさい。シケムは彼女の父と彼女の兄弟たちに言った、あなたがたの前で好意を得られますように。あなたがたが言うことは何でも、私たちは与えましょう。持参金を大いに増やしなさい。私はあなたたちが私に言う通りに与えよう。そしてあなたたちはこの娘を私に妻として与えてほしい。

しかし、ヤコブの息子たちは、シュケムと彼の父ハモルに、欺きをもって答え、彼らに話した。なぜなら、彼らは彼らの姉妹ディナを汚したからである。そしてシメオンとレビ、デイナスの兄弟たちが彼らに言った、私たちはこの事をする事ができない、私たちの妹を割礼を受けていない男に与えることは、それは私たちにとって恥辱であるから。ただこのことにおいてのみ、私たちはあなたがたに似た者とされるだろう、そしてあなたがたのもとに住むだろう、もしあなたがたが私たちのようになり、あなたがたのすべての男性が割礼を受けるならば。そして私たちは私たちの娘たちをあなたたちに与え、あなたたちの娘たちから私たちのために妻たちを迎え、あなたたちのそばに住み、一つの民族となるだろう。もしあなたがたが私たちの言うことを聞かず、割礼を受けないなら、私たちは娘を連れて去るだろう。そして、その言葉たちはエモルの前で、そしてエモルの息子シュケムの前

で、喜ばれた。そしてその若い男はこの言葉を実行することを遅らせなかった。なぜなら彼はヤコブの娘に夢中だったからである。そして彼は彼の父の家のすべての者の中で最も栄誉ある者だった。エモルと彼の息子シュケムは彼らの町の門に来て、彼らの町の男たちに話しかけて言った、これらの人々は平和である。私たちと共に地の上に住まわせよう、そして交易させよう。見よ、地は彼らの前に広い。私たちは彼らの娘たちを妻として迎え、私たちの娘たちを彼らに与えよう。このことにおいてのみ、その人々は私たちに似る者となるだろう、私たちと共に住むために、一つの民となるために、私たちのすべての男性が割礼されることにおいて、彼ら自身も割礼されているように。そして彼らの家畜、四足動物、そして彼らの所有物は、私たちのものにならないだろうか。ただこれにおいて彼らに似た者となろう。そうすれば彼らは私たちと共に住むだろう。そしてエンモルと彼の息子シュケムの言葉を、彼らの町の門で取引するすべての者が聞いた。そしてすべての男性が彼らの包皮の肉に割礼を受けた。

そして三日目のこと、彼らが苦痛の中にいた時、ヤコブの二人の息子、ディナスの兄弟であるシメオンとレビが、それぞれ自分の剣を取り、安全に町に入り、すべての男性を殺した。そしてエンモルとその息子シュケムを剣の刃で殺し、ディナをシュケムの家から連れ出して去って行った。しかしヤコブの息子たちは負傷者たちのところに入り、彼らの姉妹ディナを汚したその町を略奪した。そして彼らの羊、彼らの牛、彼らの驢馬、町にあったすべてのもの、そして平野にあったすべてのものを取った。そして彼らは、彼らの全ての者、全ての荷物、そして彼らの女たちを捕虜にし、都市の中にあった全てのもの、そして家々の中にあった全てのものを略奪した。ヤコブはシメオンとレビに言った、あなたがたは私を憎まれる者とした。その結果、私はこの地に住むすべての者、カナン人たちとペリジ人たちにとって悪い者となった。しかし私は数において少ない。彼らが私に対して集まれば、

私を打ち、私と私の家は滅ぼされるだろう。彼らは言った、しかし、まるで娼婦のように私たちの妹を扱うのか？

35

神はヤコブに言った、立ち上がってベテルの地へ上って行き、そこに住め。そしてそこに祭壇を作れ、あなたの兄弟エサウから逃げていた時にあなたに現れた神のために。ヤコブは彼の家の者たちと、彼と共にいるすべての者たちに言った、あなたがたと共にある異国の神々をあなたがたの真ん中から取り除き、身を清め、あなたがたの衣を変えよ。そして立ち上がり、ベテルへ上って行こう。そしてそこで祭壇を作ろう、苦難の日に私の声を聞いてくださった神に。その方は私と共におられ、私が行った道において私を救ってくださった。そして彼らはヤコブに、彼らの手にあった異国の神々と、彼らの耳にある耳飾りを与えた。そしてヤコブはそれらをシケムにあるテレビンスの木の下に隠し、今日に至るまでそれらを滅ぼした。そして、イスラエルはシケムから出発した。すると、神への恐れが彼らの周囲の町々に臨み、彼らはイスラエルの子らを追跡しなかった。ヤコブは、カナンの地にあるルザ、すなわちベテルに来た。彼自身と、彼と共にいたすべての民も共に来た。そして彼はそこに祭壇を建て、その場所の名をベテルと呼んだ。というのは、彼が彼の兄弟エサウの顔から逃げる時に、そこで神が彼に現れたからである。

デボラ、レベッカの乳母が死んだ。そして彼女はベテルの下方、榎の木のそばに埋葬された。そしてヤコブはその名を嘆きの榎の木と呼んだ。神はヤコブがシリアのメソポタミアから来たとき、ルズで彼に現れ、そして神は彼を祝福した。そして神は彼に言った、あなたの名前はもはやヤコブと呼ばれず、イスラエルがあなたの名前となる、そして神は彼の名前をイスラエルと呼んだ。神は彼に言った、私はあなたの神である。増えよ、そして増やせ。国々と国々の集会があなたから生まれるだろう、そして王

たちがあなたの腰から出るだろう。そして私がアブラハムとイサクに与えたその地を、あなたに与えた。それはあなたのものとなり、あなたの後のあなたの子孫にこの地を与えよう。そして神は、彼と共に話したその場所から上って行かれた。そしてヤコブは、神が彼と話したその場所に石の柱を設置し、その上に注ぎの供え物を注ぎ、その上に油を注いだ。そしてヤコブは、そこで神が彼と共に話したその場所の名を、ベテルと呼んだ。ヤコブはベテルから出発して、ガデルの塔の向こう側に天幕を張った。そして、エフラタに来るためにカブラタに近づいた時、ラケルが出産し、難産であった。彼女が難産で苦しんでいた時、助産婦が彼女に言った、勇気を出しなさい、これもまたあなたの息子ですから。彼女が魂を解放する時に、それは起こった。なぜなら彼女は死んでいたからである。彼女は彼の名前を私の痛みの息子と呼んだ。しかし父は彼の名前をベニヤミンと呼んだ。ラケルは死に、エフラタの競馬場への道に葬られた。これはベツレヘムである。そして、ヤコブは彼女の墓の上に柱を立てた。これはラケルの墓の上にある柱で、今日まで残っている。イスラエルがあゝの地に住んでいた時、ルベン行って彼の父ヤコブの側室ビルハと寝た。イスラエルはそれを聞き、それは彼の前に悪として現れた。ヤコブの息子たちは十二人いた。

レアの息子たち、ヤコブの長子ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン。ラケルの息子たちは、ヨセフとベニヤミン。ラケルの召使いビルハの息子たちは、ダンとナフタリである。レアの若い女ゼルファの息子たちは、ガドとアシェルである。これらはヤコブの息子たちであり、シリアのメソポタミアで彼に生まれた者たちである。そしてヤコブは彼の父イサクのもとへ、平野の町マムレへ来た。これはカナンの地にあるヘブロンであり、そこにアブラハムとイサクが寄留した。そして、イサクが生きた日々は百八十年となった。そして衰えてイサクは死んだ、そして彼の種族に加えられた、年老いて日々満ちて、そして彼の息子たちエサウとヤコブが彼を埋葬した。

これらはエサウの系図である。彼はエドムである。エサウは、カナン人の娘たちから妻たちを自分のために娶った。ヘテ人アイロムの娘アダと、ヒビ人セベゴンの息子アナの娘オリベマである。そして、イシュマエルの娘でネバヨテの姉妹であるバセマテ。アダは彼にエリファズを産み、そしてバセマテはラグエルを産んだ。そしてオリベマはイエウスとイエグロムとコレを産んだ。これらはエサウの息子たちであり、彼らはカナンの地で彼に生まれた。エサウは、その妻たち、その息子たち、その娘たち、その家の全ての者たち、その全ての所有物、全ての家畜、そしてカナンの地で獲得した全てのもの、得た全てのものを取り、その兄弟ヤコブの前からカナンの地を去って行った。彼らの所有物は多かったので一緒に住むことができず、彼らが滞在していた土地は彼らの所有物の多さのために彼らを支えることができなかった。エサウはセイルの山に住んだ。エサウ、彼自身がエドムである。これらはセイルの山におけるエドムの父エサウの世代である。そしてこれらはエサウの息子たちの名前である。エリファズはエサウの妻アダの息子、そしてラグエルはエサウの妻バセマトの息子。エリファズの息子たちが生まれた。タイマン、オマル、ソファル、ゴトム、そしてケネズである。タムナはエサウの息子エリファズの側室であった。そして彼女はエリファズにアマレクを産んだ。これらはエサウの妻アダの息子たちである。これらはラグエルの息子たちである。ナホテ、ザレ、ソメ、そしてモゼ。これらはエサウの妻バセマテの息子たちであった。これらはオホリバマの息子たちである。オホリバマはツイブオンの息子アナの娘で、エサウの妻であった。彼女はエサウにエウシュ、ヤラム、そしてコラを産んだ。これらはエサウの息子たちの指導者たちである。エサウの長子エリファズの息子たちは、指導者テマン、指導者オマル、指導者ゾファル、指導者ケナズ、族長コレ、族長ゴトム、族長アマレク、これらはイドウマイアの地におけるエリファズの族長たちである。これらはアダの息子たちである。そして

これらはエサウの息子ラグエルの息子たちである、指導者ナホテ、指導者ザレ、指導者ソメ、指導者モゼ、これらはエドムの地におけるラグエルの指導者たちである、これらはエサウの妻バセマテの息子たちである。これらはエサウの妻オホリバマの息子たちである。族長エウシュ、族長エグロム、族長コレ。これらはエサウの妻、アナの娘オホリバマの族長たちである。これらはエサウの息子たちであり、これらは彼らの指導者たちである。これらはエドムの息子たちである。これらはその地に住んでいたホリ人セイルの息子たちである。ロタン、ショバル、ツイブオン、アナ、そしてディション、そしてアサル、そしてリソン、これらはエドムの地におけるセイルの息子、ホリ人の指導者たちである。ロタンの息子たちはコリとヘマンであった。そしてロタンの姉妹はタムナであった。これらはソバルの息子たちである。ゴラム、マナハト、ガイベル、ソファル、そしてオマル。そしてこれらはツイブオンの息子たちである、アヤとアナ。このアナは、彼の父ツイブオンの荷役獣を牧していた時に、荒野でヤミンを見つけた者である。これらはアナの息子たちである。デションと、アナの娘オホリバマである。これらはデションの息子たちである。アマダ、アスバン、イテラン、そしてハラン。これらはアサルの息子たちである。バラアム、ゾウカム、そしてイオウカム。これらはリソンの息子たちである。オスとアラン。これらはホリ人の指導者たちである。指導者ロタン、指導者ショバル、指導者ツイブオン、指導者アナ。指導者ディション、指導者アサル、指導者リソン、これらはエドムの地における彼らの指導権の中のコッリの指導者たちである。

そして、これらはイスラエルに王が治める前に、エドムで治めた王たちである。そしてエドムにおいてベオルの息子バラクが統治した、そして彼の都市の名前はデンナバであった。バラクは死に、ボソラ出身のゼラの息子ヨバブが彼の代わりに王となった。ヨバブは死んだ、そして彼の代わりにテマノンの地からアソムが治めた。アソムは死に、バラドの息子アダドが彼の代わりに

統治した。彼はモアブの平原でミディアンを打ち倒した者であり、彼の都市の名前はゲタイムであった。 アダドは死んだ、そしてマッセカス出身のサマダが彼の代わりに治めた。 サマダは死に、彼の代わりに川のほとりのロオボテ出身のサウルが治めた。 サウルは死んだ。そしてアコボルの息子バレノンが彼の代わりに治めた。 アコボルの息子バレノンが死に、バラドの息子アラドが彼の代わりに治めた。彼の都市の名前はポゴル、彼の妻の名前はメテベエルで、マイゾオブの息子マトライトの娘であった。これらはエサウの指導者たちの名前である、彼らの部族において、彼らの場所によって、彼らの地域において、そして彼らの国々において、指導者タムナ、指導者ゴラ、指導者イエテル、指導者オホリバマ、指導者ヘラス、指導者フィノン。指導者ケネズ、指導者テマン、指導者マザル、指導者マゲディエル、指導者ザフォイン、これらは彼らの所有地に建てられた地におけるエドムの指導者たちである。この者エサウはエドムの父である。

37

ヤコブは、彼の父が寄留したカナンの地に住んだ。そしてこれらはヤコブの世代である。 ヨセフは十七歳であった。彼は父の羊を兄弟たちと共に羊飼っていた。若くして、父の妻たちであるビルハの息子たちと、ジルパの息子たちと共にいた。そしてヨセフは彼らの父イスラエルに悪い報告を持って行った。 ヤコブは彼の全ての息子たちよりもヨセフを愛した。なぜなら彼は彼にとって老年の息子であったからである。そして彼は彼に多彩なチュニクを作った。彼の兄弟たちは、父が彼の息子たち全員の中から彼を愛していることを見て、彼を憎み、彼に平和なことを何も話すことができなかった。 ヨセフは夢を見て、それを彼の兄弟たちに報告した。そして彼は彼らに言った、私が夢見たこの夢を聞きなさい。 私は、あなたたちが平野の真ん中で束を束ねているのを見たと思いました。そして私の束が立ち上がり、まっすぐに立てられました。しかしあなたたちの束は回って、私の束を礼拝し

ました。彼の兄弟たちは彼に言った、まさかお前が私たちを支配するのか、またはお前が私たちの主となるのか。そして彼らは彼の夢のゆえに、そして彼の言葉のゆえに、さらに彼を憎むようになった。彼は別の夢を見た。そして彼はそれを父と兄弟たちに語り、言った。見よ、私は別の夢を見た。太陽と月と十一の星が私にひれ伏していた。そして彼の父は彼を叱責し、彼に言った、このあなたが夢見た夢は何か?それでは実に、私とあなたの母とあなたの兄弟たちが来て、地に伏してあなたを礼拝するというのか?彼の兄弟たちは彼を妬んだが、彼の父はその言葉を心に留めた。そして彼の兄弟たちは、彼らの父の羊の世話をするためにシケムへ行った。そしてイスラエルはヨセフに言った、お前の兄弟たちはシケムで羊を飼っているのではないか?来い、わたしはお前を彼らのもとへ送ろう。そして彼は彼に言った、ここにあります。イスラエルは彼に言った、行ってみよ、あなたの兄弟たちと羊が元気であるかどうかを、そして私に報告せよ。そして彼をヘブロン谷から送り出した、そして彼はシケムへ来た。そして、ある人が平野で彷徨っている彼を見つけた。そしてその人は彼に尋ねて言った、何を探しているのですか?そして彼は言った、私の兄弟たちを探しています。彼らがどこで放牧しているか私に教えてください。その男は彼に言った、彼らはここから去りました。私は彼らがドタイムへ行こうと言っているのを聞きました。そしてヨセフは彼の兄弟たちの後を行き、ドタイムで彼らを見つけた。

彼らは前もって彼を遠くから見た、彼が彼らに近づく前に、そして彼らは彼を殺すことを企んだ。彼らは各々、自分の兄弟に言った、見よ、あの夢見る者が来る。さあ、来い、彼を殺して穴の一つに投げ込もう。そして悪い獣が彼を食い尽くしたと言おう。そうすれば、彼の夢がどうなるか見ることになるだろう。しかしルベンは聞いて、彼を彼らの手から救い出し、そして言った、我々は彼を魂へと打ってはならない。ルベンは彼らに言った、血を流すな。彼をこの荒野にあるこれらの穴の一つに投げ入れよ。しかし彼に手を加えるな。それは彼を彼らの手から救い出

し、彼を彼の父に返すためである。そしてヨセフが彼の兄弟たちのところへ来た時、彼らはヨセフが着ていた多彩な上着を剥ぎ取った。そして彼らは彼を捕らえて穴の中へ投げ込んだ。その穴は空っぽで、水がなかった。彼らは座ってパンを食べようとした。そして目を上げて見ると、見よ、イシュマエル人の旅人たちがギレアドから来ていた。彼らのラクダは香料と樹脂と没薬を積んでいた。彼らはそれをエジプトへ運び下すために行っていた。

ユダは彼の兄弟たちに言った、もし私たちが私たちの兄弟を殺して、彼の血を隠すなら、何の益があるだろうか。来たれ、彼をこれらのイシュマエル人たちに売ろう。私たちの手を彼の上に置いてはならない。なぜなら彼は私たちの兄弟であり、私たちの肉だからである。そして彼の兄弟たちはこれを聞いた。そしてミディアン人の商人たちが通り過ぎていた。彼らはヨセフを穴から引き出して引き上げ、ヨセフをイシュマエル人たちに二十枚の金貨で売った。そして彼らはヨセフをエジプトへ連れて行った。ルベンが穴に戻ったが、ヨセフが穴の中にいるのを見なかった。そして彼は自分の衣を引き裂いた。そして彼は兄弟たちのもとに戻り、言った、その子供はいない。しかし私はどこへ行けばよいのか。彼らはヨセフの上着を取り、山羊の子を屠殺し、そしてその上着を血で汚した。そして彼らはその多彩な上着を送り、彼らの父のもとへ持ち込んだ。そして彼らは言った、これを見つけました。これがあなたの息子の上着かどうか、お確かめください。そして彼を認識し、そして言った、私の息子の衣である、邪悪な獣が彼を食い尽くした、獣がヨセフを奪い去った。ヤコブは自分の衣服を引き裂き、荒布を腰に着け、長い間自分の息子を嘆いた。彼の息子たち全員と娘たち全員が集められ、彼を慰めるために来たが、彼は慰められることを望まず、私は嘆きながら私の息子のもとへ黄泉に下るだろうと言った。そして彼の父は彼のために泣いた。そのミディアン人たちは、そのヨセフをエジプトへ、ファラオの宦官である料理長ポティフェラに売った。

そのとき、ユダは兄弟たちのもとから下って行き、ヒラという名のアドラム人のもとに到着した。そしてユダはそこでカナン人の男の娘を見た。その名はシュアであつた。そして彼は彼女を娶り、彼女のもとに入った。そして妊娠して息子を産み、その名前をエルと呼んだ。そして妊娠して、さらに息子を産み、その名をオナンと名付けた。そして彼女はさらに息子を産み、その名をシローと呼んだ。彼女が彼らを産んだとき、彼女はカスビにいた。そしてユダは、彼の長子エルに妻を娶った。その名はタマルであつた。ユダの長子エルは主の前で邪悪であつたので、神は彼を殺した。ユダはオナンに言った、あなたの兄弟の妻のところに入り、彼女と結婚し、あなたの兄弟に子孫を起こしなさい。しかしオナンは、その種が彼のものにならないことを知っていたので、彼が兄弟の妻のところに入るときはいつも、地の上に注ぎ出した。それは彼の兄弟に種を与えないためであつた。しかし、これは神の前に悪しきこととして現れた。なぜなら彼がこれを行ったからである。そして神は彼をも殺した。

ユダは彼の嫁タマルに言った、私の息子シロムが成人するまで、あなたの父の家で寡婦として過ごしなさい。なぜなら彼は、この者もまた、彼の兄弟たちと同じように死ぬことがないようにと思ったからである。そしてタマルは去って行って、彼女の父の家に住んでいた。日々が増し加えられた。そしてユダの妻サウアが死んだ。そして慰められたユダは、彼自身と彼の羊飼いであるオドラム人エイラスとともに、彼の羊を刈る者たちのもとへタムナへ上って行った。そして彼はタマル、彼の嫁に報告して言った、見よ、あなたの義父がタムナへ上って行き、彼の羊を刈る。そして彼女は寡婦の衣服を脱ぎ、夏の衣を着て、自分を美しく装い、タムナへの通り道にあるエナンの門のところに座った。なぜなら、シロムは成人したのに、彼は彼女を彼の妻として与えなかったからである。そしてユダはそれを見て、それを娼婦だと思つ

た。なぜなら彼女は顔を覆っていたので、彼はそれを認識しなかったからである。彼は道から彼女の方へ逸れて、彼女に言った。私があなたのところに入ることを許してください。なぜなら、彼は彼女が彼の花嫁であることを知らなかったからである。しかし彼女は言った。もしあなたが私のところに入るなら、何を私に与えてくれますか。彼は言った、私はあなたに山羊の子を私の羊の群れから送ります。そして彼女は言った、もしあなたが私に担保を与えるなら、あなたが送るまで。彼は言った、何を担保としてあなたに与えようか?彼女は言った、あなたの指輪と、首飾りと、あなたの手にある杖を。そして彼はそれらを彼女に与え、彼女のもとに入った。そして彼女は彼から身ごもった。そして彼女は立ち上がって去り、自分の夏の衣を脱ぎ、未亡人の衣服を着た。しかしユダは、質を女から受け取り戻すために、彼のアドラム人の羊飼いの手によって山羊の子を送ったが、彼女を見つけなかった。しかし彼はその場所の男たちに尋ねた、道にいたアイナンの娼婦はどこですかと。そして彼らは言った、ここには娼婦はいなかった。そしてユダのもとへ戻り、そして言った、見つけれませんでした。そしてその場所の人々は、ここには娼婦はいないと言っています。ユダは言った、彼女にそれらを持たせよ、しかし私たちが笑われることがないように。私は確かにこの子山羊を送った、しかしあなたは見つけれなかった。三ヶ月後、ユダに報告があり、あなたの嫁タマルが淫行をし、見よ、淫行によって身ごもっていますと言われた。ユダは言った、彼女を連れ出して、焼き殺せ。これは導かれながらも、彼女の義父に向かって使いを送り、言った。これらのものの持ち主である人から、私は子宮に子を宿しています。そして言った。この指輪と首飾りと杖が誰のものか認めてください。ユダは認識して言った、タマルは義とされた、私ではない、なぜなら私は彼女を私の息子シロムに与えなかったからだ。そして彼はもはや彼女を知ることはなかった。そして彼女が出産したとき、彼女の子宮の中には双子がいた。彼女が出産している時に起こったが、一人が手を先に出した。そして助産婦が取って、彼の手の上に緋色の糸を縛り、この者が先に出

て来るだろうと言った。しかし彼が手を引っ込めると、直ちに彼の兄弟が出て来た。そして彼女は言った、あなたのために何という柵が裂かれたことか。そして彼女は彼の名をファレスと呼んだ。そしてこの後、彼の兄弟が出て来た。その手には緋色の糸があった。そして彼の名をザラと呼んだ。

39

ヨセフはエジプトへ連れて行かれた。そして、ファラオの宦官で料理長であるエジプト人ペテフレスが、彼をそこへ連れて来たイシュマエル人たちの手から彼を買い取った。そして主はヨセフと共にあり、彼は成功する男であり、彼は彼のエジプト人の主人の家にいた。彼の主人は知っていた、主が彼と共におられたこと、そして彼が何をしても、主が彼の手において繁栄させることを。そしてヨセフは彼の主の前に恩恵を見つけ、彼を喜ばせた。そして彼は彼を彼の家の上に任命し、彼に属していたすべてのものを、ヨセフの手を通して与えた。そして、彼が彼の家の上に、また彼に属するすべてのものの上に定められた後に、主はヨセフのゆえにそのエジプト人の家を祝福し、主の祝福は彼の家の中にある彼のすべての所有物の中に、また彼の畑の中にあった。そして彼は、彼に属する全てのものをヨセフの手に委ね、自分が食べるパンを除いて、自分に関することは何も知らなかった。そしてヨセフは姿が美しく、外見が非常に麗しかった。そしてこれらの言葉の後に起こった、そして彼の主人の妻は彼女の目をヨセフの上に置いた、そして言った、私と共に寝なさい。しかし彼は望まなかった。そして彼の主の妻に言った、私の主は私のゆえに彼の家の中の何も知らず、彼に属するすべてのものを私の手に委ねました。そして、この家には私を超えるものは何もなく、私から保留されたものも何もない、ただあなたを除いて、それはあなたが彼の妻であるからだ。そして、どうして私はこの悪い事を行い、神の前に罪を犯すことができようか。しかし、彼女が日々ヨセフに話しかけていた時、彼は彼女に従わず、彼女と寝ること、彼女

と交わることをしなかった。そのようなある日のことであつた。ヨセフは自分の仕事をするために家に入った。そして家の中には誰もいなかった。そして彼女は彼の衣服を引っ張り、私と一緒に寝なさいと言った。そして彼は彼の衣服を彼女の手の手に残して逃げ、外へ出て行つた。そして、彼が彼の衣服を彼女の手に残して逃げ、外に出て行つたのを彼女が見たとき、そうになった。そして彼女は家にいる者たちを呼び、彼らに言った、見なさい、彼は私たちを嘲るためにヘブライ人の子供を私たちのところに連れてきました。彼は私のところに来て、私と寝なさいと言いましたが、私は大声で叫びました。しかし彼は、私が声を上げて叫んだのを聞くと、彼の衣服を私のそばに残して逃げ、外へ出て行つた。そして彼女は自分の傍らにその衣服を残しておいた、主人が彼の家に来るまで。そして彼女はこれらの言葉に従って彼に話し、こう言った。あなたが私たちのところに連れてきたあのヘブライ人の若者が私のところに入ってきて私をあざけり、そして私に私はあなたと寝るだろうと言いました。しかし彼が、私が声を上げて叫んだと聞くと、彼の衣服を私のそばに残して逃げ、そして外に出て行つた。主人が妻の言葉を聞いたとき、それが起つた。妻が彼にあなたの召使いが私にこのようなことをしたと言つて話したすべてのことを聞いて、彼は激しく怒つた。

そして主はヨセフを捕らえ、彼を要塞に投げ入れた。王の囚人たちがその要塞に監禁されている場所へ。そして主はヨセフと共にあり、彼に憐れみを注ぎ、そして獄長の前で彼に恵みを与えた。そして獄長は、牢獄をヨセフの手に委ね、牢獄にいる全ての囚人たちと、そこで行われる全てのことを彼に任せた。獄長は牢獄において彼を通して何も気にかけなかった。なぜならすべてはヨセフの手を通してなされていたからである。主が彼と共にいたので、彼が行つたことはすべて、主が彼の手の中で繁栄させた。

これらの言葉の後に、エジプトの王の給仕長と料理長が、彼らの主であるエジプトの王に対して罪を犯した。そしてファラオは彼の二人の宦官たち、給仕長とパン焼き長に対して怒った。そして彼は彼らを監視所、すなわちヨセフがそこに閉じ込められていた牢獄のその場所に入れた。そして獄長はヨセフに彼らを任せた。そして彼は彼らに仕えた。彼らは幾日か牢獄の中にいた。そして両方とも一つの夜に夢を見た。牢獄にいたエジプトの王の給仕長と料理長の夢の内容は、これであった。ヨセフは朝、彼らのところへ入って行き、彼らを見ると、彼らは悩んでいた。そして彼は、彼の主のもとで牢獄において彼と共にいたファラオの宦官たちに尋ねて言った、なぜあなたがたの顔は今日陰気なのか。彼らは彼に言った、私たちは夢を見ましたが、それを解釈する者がいません。ヨセフは彼らに言った、それらの解釈は神を通してあるのではないか。それゆえ私に語りなさい。そして給仕長は彼の夢をヨセフに語った、そして言った、私の眠りの中で、ぶどうの木が私の前にあった。しかし、そのぶどうの木には三つの枝があり、これは繁茂し、芽を生じさせ、ぶどうの房は熟していた。そしてファラオの杯が私の手の中にあり、私はそのぶどうを取り、それを杯の中へ搾り、その杯をファラオの手に渡した。そしてヨセフは彼に言った、これがその解釈です。三つの枝は三日間のことです。まだ三日で、ファラオはあなたの地位を思い出し、あなたを筆頭献酌官の職に復帰させるだろう。そしてあなたは、以前献酌官であった時のように、ファラオの杯を彼の手に渡すだろう。しかし、あなたに良いことが起こる時には、あなた自身のために私を思い出してください。そして私に憐れみを施し、ファラオに私のことを思い出させて、この牢獄から私を連れ出してください。私はヘブライ人の地から盗みによって盗まれたのです、そしてここでも私は何も悪いことをしていないのに、彼らは私をこの穴に投げ入れたのです。そして主任パン職人は、彼が正しく解釈したのを見て、ヨセフに言った。私も夢を見ました。私は三つの上質なパンの籠を私の頭の上に載せていると思いました。そして上の籠の中には、ファラオが食べるすべての種類のパン職人の

仕事があり、天の鳥たちが私の頭の上の籠からそれらを食べていた。答えて、ヨセフは彼に言った、これがその解釈である。その三つの籠は三日である。あと三日で、ファラオはあなたの頭をあなたから取り去り、あなたを木に吊るすだろう。そして天の鳥たちがあなたの肉を食べるだろう。三日目に、それはファラオの誕生日であったが、彼はすべての召使いたちのために宴会を開いた。そして彼は、その召使いたちの中で、献酌官長とパン職人長のことを思い出した。そして彼は首席献酌官を彼の職に復帰させ、ファラオの手に杯を与えた。しかし料理長は吊るされた、ヨセフが彼らに解釈したとおりに。そして給仕長はヨセフのことを思い出さず、彼のことを忘れた。

41

二年の歳月の後、ファラオは夢を見た。彼は川のほとりに立っていると思った。そして見よ、ちょうど川から七頭の雌牛が上がって来ていた。形は美しく、肉は選ばれたもので、アケイで草を食べていた。他の七頭の雌牛がこれらの後に川から上がって来た。形は醜く、肉は痩せていた。そして川の岸で、その雌牛たちの傍らで草を食べていた。そして、醜く痩せた肉の七頭の雌牛が、姿が美しく肉が選ばれた七頭の雌牛を食い尽くした。そしてファラオは目を覚ました。そして彼は二度目の夢を見た。そして見よ、七つの選ばれた良い穂が一つの茎に育っていた。そして見よ、七つの細く風に傷つけられた穂が、それらの後に生えていた。そして七つの細く風に傷つけられた穂が、七つの選ばれた満ちた穂を飲み込んだ。しかしファラオは目を覚まし、それは夢であった。朝になると、彼の心は悩まされた。そして使いを送り、エジプトのすべての解釈者たちと、すべての賢者たちを呼び寄せた。そしてファラオは彼らに自分の夢を語ったが、それをファラオに解き明かす者はいなかった。そして首席給仕長はファラオに向かって話し、言った、私は今日、私の罪を思い出します。ファラオは彼の召使いたちに怒り、私たちを料理長の家の監獄に入れ

ました、私と給仕長を。そして私たちは両方とも同じ夜に夢を見た、私も彼も、それぞれ自分の夢を見た。そこには私たちと共に、料理長のヘブライ人の若者がいました。私たちは彼に語り、彼は私たちに解釈しました。そして、彼が私たちに解釈したとおりに起こった。私は私の地位に復帰させられ、あの者は吊るされた。ファラオは人を送ってヨセフを呼び、彼らは彼を牢獄から連れ出し、彼を剃り、彼の衣を変え、そして彼はファラオのもとへ来た。ファラオはヨセフに言った、私は夢を見たが、それを解釈する者がいない。しかし私はあなたについて聞いた。あなたが夢を聞いて、それらを解釈すると人々が言っているのを。ヨセフはファラオに答えて言った、神なしには、ファラオの救いについて答えることはできません。ファラオはヨセフに話して言った、私の眠りの中で、私は川の縁のそばに立っていると思った。そして、ちょうど川から七頭の雌牛が上がって来ていた。形において美しく、肉において選ばれており、彼らは葦草の中で草を食べていた。そして見よ、七頭の別の雌牛が、それらの後から川から上がって来た。邪悪で姿が醜く、肉が痩せていて、そのような醜いものを私はエジプトの全地で見たことがなかった。そして、その醜くて痩せた七頭の雌牛が、その最初の美しくて選ばれた七頭の雌牛を食い尽くした。そして彼らはその腹の中に入ったが、区別できるようにはならなかった。なぜなら彼らはその腹の中に入ったからである。そして彼らの見た目は醜く、初めの時と同じであった。しかし目覚めた後、私は眠った。そして私は再び私の眠りの中で見た。ちょうど七つの穂が一つの茎に、満ちて良く育って上がっていた。しかし他の七つの細く風に傷つけられた穂が、それらの隣に芽生えていた。そして、七つの細くて風に傷んだ穂が、七つの良くて満ちた穂を飲み込んだ。それゆえ私は解釈者たちに言ったが、それを私に説明する者はいなかった。

そしてヨセフはファラオに言った、ファラオの夢は一つです。神がなさることを、神はファラオにお示しになりました。美しい七頭の雌牛は七年であり、美しい七つの穂も七年である。フ

ファラオの夢は一つである。そして、それらの後に昇って来る痩せた七頭の雌牛は七年である。また、痩せて風に荒らされた七つの穂も七年である。七年の飢饉が来るであろう。私がファラオに言った言葉は、神が行うことをファラオに示したのである。見よ、七年の大いなる繁栄がエジプト全土に訪れる。しかし、これらの後に七年の飢饉が来るだろう、そして彼らは全エジプトで起こるであろう豊かさを忘れるだろう、そして飢饉がその地を荒廃させるだろう。そして、その豊かさは地上で知られないだろう、これらの後に来る飢饉のために、なぜならそれは非常に激しいものとなるからである。ファラオの夢が二度繰り返されたことについては、それは神からの言葉が真実であるからであり、神はそれを行うことを急がれるのである。今それゆえ、賢明で聡明な人を見出し、彼をエジプトの地の上に任命せよ。そしてファラオに行わせ、その地に総督たちを任命させよ。そして彼らに、七年の繁栄の間のエジプトの地のすべての産物を集めさせよ。そして来たるこれらの良き七年の全ての食物を集めさせ、そして穀物をファラオの手によって集めさせ、食物を都市において保管させよ。そして、その地に保管された食物は、エジプトの地に来る七年間の飢饉のためのものとなり、その地は飢饉によって滅ぼされることはないだろう。その言葉はファラオと彼のすべての子供たちの前で喜ばれた。

そしてファラオは彼のすべての僕たちに言った、このような人、神の霊を彼の中に持っている者を、私たちは見つけられないだろうか？ ファラオはヨセフに言った、神があなたにこれらすべてを示したのだから、あなたより賢く聡明な人はいない。あなたは私の家を治めるでしょう、そしてあなたの言葉に私のすべての民は従うでしょう、ただし玉座においては私があなたより上に立つでしょう。ファラオはヨセフに言った、見よ、私は今日、あなたをエジプト全土の上に任命する。そしてファラオは自分の手から指輪を外し、それをヨセフの手に置いた。そして彼に亜麻布の衣を着せ、金の首飾りを彼の首に掛けた。そして彼は彼を自分の

第二の戦車に乗せ、布告者が彼の前で布告し、彼を全エジプトの地の上に任命した。ファラオはヨセフに言った、私はファラオである。あなたなしには、誰もエジプト全土において彼の手を上げることはないだろう。そしてファラオはヨセフの名前をツォントムファネクと呼び、彼にヘリオポリスの祭司ペテフレの娘アセネトを妻として与えた。ヨセフは三十歳であった。その時、彼はエジプトの王ファラオの前に立った。ヨセフはファラオの前から出て行き、エジプトのすべての地を巡った。そして、その地は七年の繁栄の年々に束々を作った。そして彼は、エジプトの地に豊かさがあつた七年間のすべての食物を集め、その食物を都市に置いた。各都市の周りの平野の食物を、その都市に置いた。そしてヨセフは穀物を集めた、海の砂のように非常に多く、数えることができなくなるまで、なぜなら数えきれなかったからである。

そして、ヨセフには二人の息子が生まれた。七年の飢饉が来る前に、ヘリオポリスの祭司ペテフレの娘アセナテが彼に産んだ者たちである。ヨセフは長子の名をマナセと呼んだ、なぜなら神が私に私のすべての労苦と私の父のすべてのことを忘れさせたからである。そして、二番目の名前をエフライムと呼んだ。なぜなら、神が私の屈辱の地で私を増やしたからである。そしてエジプトの地にあつた豊かさの七年が過ぎ去った。そして七年の飢饉が来るが始まった、ヨセフが言ったように、そして飢饉がすべての地に起こった、しかしエジプトのすべての地にはパンがあつた。そしてエジプト全土が飢えた。民はパンについてファラオに叫んだ。ファラオはすべてのエジプト人に言った、ヨセフのもとへ行け、そして彼があなたがたに言うことを行え。そして飢饉は全地の面にあつた。しかしヨセフはすべての穀物倉を開き、すべてのエジプト人に売った。そして、すべての地域がエジプトへ来た。ヨセフのもとで買うためである。なぜなら、飢饉がすべての地を支配したからである。

ヤコブはエジプトに穀物の売りがあることを見て、彼の息子たちに言った、なぜあなたたちは怠けているのか。見よ、私はエジプトに穀物があると聞いた。そこへ下って行き、私たちのために少しの食物を買いなさい。そうすれば私たちは生きて、死なずに済むだろう。

そしてヨセフの兄弟たち十人は、エジプトから穀物を買うために降りた。しかしベニヤミン、ヨセフの兄弟を、彼の兄弟たちと共に送らなかった。なぜなら彼は言った、いつか彼に災いが起こらないようにと。イスラエルの息子たちは、来ている者たちと共に買うために来た。カナンの地に飢饉があったからである。ヨセフはその地の支配者であった。彼はその地のすべての民に売っていた。そしてヨセフの兄弟たちが来て、顔を地につけて彼を拝した。ヨセフは兄弟たちを見て認識したが、彼らによそよそしく振る舞い、厳しく話しかけて言った。どこから来たのか。彼らは言った。カナンの地から食物を買うために来ました。ヨセフは彼の兄弟たちを認識したが、彼らは彼を認識しなかった。そしてヨセフは彼が見た彼の夢を思い出し、彼らに言った、あなたたちはスパイである、この土地の様子を探るために来たのだ。しかし彼らは言った、いいえ、主よ、あなたの僕たちは食べ物を買うために来たのです。私たちは皆、一人の人の息子たちです。私たちは平和的です。あなたの僕たちはスパイではありません。彼は彼らに言った。いいえ、あなたがたは地の足跡を見るために来たのだ。そして彼らは言った、私たちは十二人で、カナンの地にいるあなたの僕たち兄弟です。そして見よ、その末の弟は今日私たちの父と共におり、そしてもう一人は存在しません。ヨセフは彼らに言った、これは私があなたがたに言ったことである。あなたがたはスパイであると。このことによってあなたたちは証明されるだろう。ファラオの健康にかけて、あなたたちの弟、その年下の者がここに来ない限り、あなたたちは決してここから出て行くことはできない。あなたたちの中から一人を送り、あなたたちの兄弟を連れて来させなさい。あなたたちは、あなたたちの言葉が

真実かどうか明らかになるまで、捕らえられていなさい。もしそうでなければ、ファラオの健康にかけて、あなたたちは確かにスパイである。そして彼は彼らを監獄に三日間置いた。彼は三日目に彼らに言った、これを行いなさい、そうすればあなたがたは生きるだろう、なぜなら私は神を恐れるからである。もしあなたがたが平和的であるならば、あなたたちの兄弟の一人を牢獄に拘留させよ。しかしあなたがた自身は行って、穀物の購入分を持ち帰れ。そしてあなたがたの弟、その若い方を私のところに連れて来なさい。そうすればあなたがたの言葉は信じられるだろう。しかしもしそうしなければ、あなたたちは死ぬだろう。彼らはそのようにした。そして各々が自分の兄弟に向かって言った、はい、私たちは罪の中にある、私たちの兄弟について。なぜなら私たちは彼の魂の苦難を見過ごしたからだ、彼が私たちに懇願していた時に。そして私たちは彼の言うことを聞かなかった。そしてこのゆえにこの苦難が私たちに降りかかったのだ。ルベンは答えて彼らに言った、私はあなたがたに、その子供を害してはならないと言って話したのではないか、そしてあなたがたは私の言うことを聞かなかった。そして見よ、彼の血が要求されている。彼らは知らなかった、ヨセフが聞いていることを、というのも通訳者が彼らの間にいたからである。ヨセフは彼らから背を向けて泣いた。そして再び彼らに近づいて、彼らに言った。そして彼らの中からシメオンを取り、彼らの前で彼を縛った。

ヨセフは彼らの容器を穀物で満たし、彼らの銀を各々の袋の中に返し、彼らに道中の食糧を与えるよう命じた。そしてそのようになった。そして彼らは穀物を自分たちのろばに載せて、そこから去った。一人が彼の袋を解いて、宿泊したところで彼のロバたちに飼料を与えようとしたとき、彼は彼の銀の束を見た。それは袋の口の上にあった。そして彼は兄弟たちに言った、私の銀が返された。見よ、これが私の袋の中にある。彼らの心は驚き、互いに動揺して言った、神は私たちに何をなさったのか。彼らはカナンの地にいる父ヤコブのもとへ来て、彼らに起こったすべての

出来事を彼に報告して言った その地の主である人が私たちに厳しく話し、私たちをその地をスパイする者として牢獄に入れました。私たちは彼に言った、私たちは平和的です、私たちはスパイではありません。私たちは十二人の兄弟で、私たちの父の息子たちです。一人は存在せず、しかし末の弟は今日、私たちの父と共にカナアンの地にいます。その地の主である男は私たちに言った、これによって私はあなたたちが平和であることを知るだろう。一人の兄弟をここに私のもとに残し、あなたたちの家のための穀物の購入品を取って去りなさい。そしてあなたたちの弟を私のもとに連れて来なさい。そうすれば、私はあなたたちがスパイではなく、平和的な者であることを知るだろう。そしてあなたたちの兄弟をあなたたちに返し、あなたたちはこの地で商売をするだろう。彼らが袋を空にしていた時、それぞれの銀の束が自分の袋の中にあった。彼ら自身と彼らの父は銀の束を見て、恐れた。彼らの父ヤコブは彼らに言った、あなたがたは私から子を奪った。ヨセフはいない、シメオンはいない、そしてベニヤミンをあなたがたは連れて行こうとする。これらすべてのことは私の上に降りかかった。ルベンとシメオンは彼らの父に言った、もし私が彼をあなたのもとに連れて行かなければ、私の二人の息子を殺してください。彼を私の手に委ねてください。そうすれば私は彼をあなたのもとに連れて来ます。しかし彼は言った、私の息子はあなたがたと共に下って行かないだろう。なぜなら彼の兄弟は死に、彼だけが独り残されているからだ。そしてもしあなたがたが行く道で彼に何か起こって弱められるならば、あなたがたは私の老齢を悲しみと共に冥府へ下すことになるだろう。

43

しかし飢饉は地上に強まった。そして、彼らがエジプトから運んできた穀物を食い尽くし終えたとき、彼らの父は彼らに言った、再び行って、私たちに少しの食物を買いなさい。ユダは彼に言った、その地の主である男は、厳かに私たちに証言して言いま

した、もしあなたがたの弟があなたがたと共にいなければ、あなたがたは私の顔を見ることはできないと。もしあなたが私たちの兄弟を私たちと共に送るならば、私たちは下に行き、あなたのために食べ物を買うだろう。もしあなたが私たちの兄弟を私たちと一緒に送らないなら、私たちは行かないでしょう。なぜなら、その人は私たちに言って、もしあなたたちの弟があなたたちと一緒にいなければ、あなたたちは私の顔を見ることはないだろうと言ったからです。イスラエルは言った、なぜあなたたちは、あなたたちに兄弟がいるとその人に告げて、私を苦しめたのか。しかし彼らは言った、その人は私たちと私たちの家族について詳しく尋ね、あなたがたの父はまだ生きているか、そしてあなたがたに兄弟がいるかと言いました。それで私たちはこの質問に従って彼に答えました。私たちは彼があなたがたの兄弟を連れて来いと言うとは知りませんでした。ユダは彼の父イスラエルに言った、その子供を私と共に送ってください。そうすれば立ち上がって私たちは行きます。私たちが生き、死なないために、私たちも、あなたも、そして私たちの荷物も。私は彼を待ちます。私の手から彼を求めなさい。もし私が彼をあなたのもとに連れて来ず、あなたの前に立たせなければ、私は永遠にあなたに対して罪を犯した者となるでしょう。もし私たちが遅れなかったならば、既に二度戻っていただろう。彼らの父イスラエルは彼らに言った、もしそうであるならば、これを行いなさい。あなたがたの器の中にその地の果実から取り、その人に贈り物を運び下ろしなさい。樹脂と蜂蜜、香と没薬、テレビンの木と木の実を。そして、二倍の銀をあなたがたの手に取り、あなたがたの袋に戻されていた銀を持ち帰って返しなさい。それは過失であったかもしれないから。そしてあなたがたの兄弟を連れて、立ち上がってその人のもとへ下って行きなさい。私の神があなたがたにその人の前で恵みを与え、あなたがたの兄弟の一人とベニヤミンを送り返してくださるよう

に。私は子を失ったように、子を失ったのだから。

その男たちはこれらの贈り物と二倍の銀を取り、それらを彼らの手に持ち、ベニヤミンを連れて、立ち上がってエジプトへ下って行き、ヨセフの前に立った。ヨセフは彼らと、彼の同じ母の兄弟ベニヤミンを見た。そして彼の家の執事に言った、その人々を家の中へ連れて来い、そして生贄を屠殺し、準備せよ、なぜならその人々は正午に私と共にパンを食べるだろう。その男はヨセフが言ったとおりにし、その男たちをヨセフの家へ導き入れた。しかし、その男たちは、彼らがヨセフの家に連れて来られたのを見て、言った。最初に私たちの袋の中に返された銀のために、私たちは連れて来られているのだ。私たちが偽って告発し、私たちを攻撃し、私たちを奴隷として取り、そして私たちのロバを取るために。彼らはヨセフの家を管理する男に近づき、家の門で彼に話しかけた。主よ、私たちは初めに食べ物を買うために下って来たのですと言っている。しかし、私たちが宿に着いた時、私たちの袋を開けると、各々の袋の中にそれぞれの銀があり、私たちの銀を元の重さ通りに、今、私たちの手の中に持ち帰ったのです。そして我々は食物を買うために別の銀を自分たちと共に持ってきました。誰が我々の袋の中にその銀を入れたのか、我々は知りません。彼は彼らに言った、あなたがたに恵みがありますように。恐れてはいけません。あなたがたの神、そしてあなたがたの父たちの神が、あなたがたの袋の中にあなたがたに宝を与えたのです。あなたがたの銀は私が受け取りました。そして彼はシメオンを彼らのところへ連れ出した。そして彼らの足を洗うための水を持ってきて、彼らのロバに飼料を与えた。彼らはヨセフが正午に来るまで贈り物を準備した。なぜなら彼らはそこで彼が食事をするつもりだと聞いたからである。ヨセフは家に入った。彼らは自分たちの手に持っていた贈り物を家の中で彼に差し出した。そして彼らは地に顔を伏せて彼を礼拝した。彼は彼らに尋ねた、お元気ですか?そして彼らに言った、あなたたちが話していたあなたたちの父である老人は健康ですか?まだ生きていますか?彼らは言った、あなたの子である私たちの父は健康で、まだ生きています。そして彼は言った、その男は神に祝福されている。そして彼らは

頭を下げて彼に礼拝した。ヨセフは目を上げて、同じ母を持つ兄弟ベニヤミンを見た。そして言った、これがあなたがたの弟で、私に連れて来ると言った者か。そして言った、神があなたを憐れみますように、わが子よ。ヨセフは動揺した。彼の心が兄弟のことで掻き乱されていたからである。そして彼は泣こうとして、部屋に入ってから、そこで泣いた。

そして顔を洗って出て来ると、彼は自分を制御し、パンを出しなさいと言った。そして彼らは彼に単独で食事を出し、彼ら自身には別に、そして彼と一緒に食事をしているエジプト人たちにも別に出した。なぜならエジプト人たちはヘブライ人たちと一緒にパンを食べることができなかったからである。それはエジプト人たちにとって忌まわしいことだからである。彼らは彼の前に座った。長子はその特権に従い、若い者はその若さに従った。人々は各々、自分の兄弟に向かって驚いた。彼らは彼のところから自分たちのために分け前を取り上げた。そしてベニヤミンの分け前は、すべての者の分け前より五倍に拡大された。彼らは飲み、彼と共に酔った。

44

そしてヨセフは彼の家を管理する者に命じて言った、人々の袋を、彼らが運べるだけ多くの食物で満たし、各々の銀を袋の口に入れよ。そして私の銀の杯を、若い者の袋の中へ入れなさい、そして彼の穀物の代価も。しかしそれはヨセフの言葉の通りに起こった、彼が言った通りに。

朝が明けて、人々は彼らのロバとともに送り出された。彼らが都市を出て行ったが、遠くへは行かなかった。そしてヨセフは彼らの家の執事に言った、立ち上がって人々の後を追え。そして彼らに追いつき、彼らに言え、なぜあなたがたは善の代わりに悪を返したのか。なぜあなたたちは私の銀のコップを盗んだのか?こ

れは私の主人が飲むものではないのか?彼自身がそれによって占
いを行うものである。あなたたちは悪いことを行った。彼らを見
つけて、これらの言葉に従って彼らに言った。しかし彼らは彼に
言った、なぜ主はこれらの言葉を話されるのですか。あなたの僕
たちがこの言葉のとおりに行うことはありませんように。もし私
たちが袋の中に見つけた銀をカナンの地からあなたに返したのな
ら、どうしてあなたの主人の家から銀や金を盗むことがあるでし
ょうか。あなたの子供たちの中で、そのカップを見つけた者は死
なせよ。そして私たちも私たちの主の召使いとなるだろう。彼は
言った、今、あなたがたが言う通りにしよう。杯が見つかった者
は私の僕となり、あなたがたは潔白となるだろう。そして彼らは
急いで、各々が自分の袋を地面に下ろし、そして各々が自分の袋
を開いた。年長者から始めて年少者に至るまで調べた。そして、
ベニヤミンの袋の中に杯を見つけた。そして彼らは自分たちの衣
服を引き裂き、各々が自分の袋を自分のろばの上に置き、そして
町へ戻った。

ユダと彼の兄弟たちは、ヨセフがまだそこにいる間に入って
来て、彼の前で地にひれ伏した。ヨセフは彼らに言った、あなた
がたは何というこの事をしたのか。私のような人が占いによって
占うということを知らないのか。ユダは言った、私たちは主に何
と言い返せばよいのでしょうか、または何を話せばよいのでしょ
うか、または何によって義とされるのでしょうか。神はあなたの子
供たちの不正を見つけられました。見よ、私たちは私たちの主の
僕です、私たちも、そして杯が見つけられた者も。ヨセフは言っ
た、私がこの言葉をする事がないように。杯が見つかった者、
その者が私の僕となるだろう。しかしあなたたちは無事にあなた
たちの父のもとへ帰れ。ユダは彼に近づいて言った、主よ、懇願
いたします。あなたの僕に、あなたの前で言葉を語らせてくださ
い。そして、あなたの僕に対して怒らないでください。なぜな
ら、あなたはファラオと共におられるからです。主よ、あなたは
あなたの子供たちに尋ねられました、あなたたちには父または兄

弟がいますかと言って。そして私たちは主に言いました、私たちには年老いた父がおり、彼には老齡の若い子がおり、その兄弟は死にました。しかし彼だけが母に残され、父は彼を愛しました。あなたはあなたの子供たちに言った、彼を私のところに連れて来なさい。そうすれば私が彼の世話をしよう。そして私たちは主に言いました、その子供は彼の父を残すことができないでしょう。もしその父を残せば、死ぬでしょう。しかしあなたはあなたの子供たちに言った、もしあなたたちの弟があなたたちと一緒に来ないならば、あなたたちは二度と私の顔を見ることはないであろう。そして、私たちがあなたの僕である私たちの父のもとへ上った時、私たちは彼に私たちの主の言葉を報告した。そして私たちの父は言った、再び行って、私たちに少しの食べ物を買ってきなさい。私たちは言いました、私たちは下に行くことができません。しかし、もし私たちの弟が私たちと共に下に行くならば、私たちは下に行きます。なぜなら、私たちの弟が私たちと共にいなければ、私たちはその人の顔を見ることができないからです。あなたの僕である私たちの父は私たちに言いました、あなたたちは知っている、その女が私に二人を産んだということを。そして一人が私のもとから出て行き、あなたがたは彼が野獣に食われたと言った。そして私は今まで彼を見ていない。もしそれゆえ、あなたがたがこの者をも私の顔から連れて行き、そして道中で彼に災難が起これば、あなたがたは私の老齡を悲しみとともに冥府へ引き下ろすことになるだろう。今それゆえ、もし私があなたの子である私たちの父のもとへ行き、その子供が私たちと共にいなければ、彼の魂はこの者の魂に結びついているので、そして、その子供が私たちと共にいないのを彼が見る時、彼は死ぬでしょう。そして、あなたの僕たちは、あなたの僕である私たちの父の老齡を、悲しみと共に黄泉へ運び下ろすでしょう。というのも、あなたの子は父からその子供を受け取り、こう言ったからです。もし私が彼をあなたのもとへ連れて行かず、あなたの前に立たせなければ、私は父に対して生涯罪を犯した者となるでしょう。今、それゆえ、私はあなたのもとに、その子供の代わりに若者として、

主人の家僕として残りましょう。しかし、その子供は彼の兄弟たちと共に帰らせてください。どのようにして私は父のもとへ上って行けるだろうか、子供が私たちと共にいないのに。私の父に降りかかる災いを見ないために。

45

そしてヨセフは彼のそばに立っているすべての者に耐えることができなかったが、言った、すべての者を私から遠ざけよと、そしてヨセフが彼の兄弟たちに自分を明かした時、誰も彼のそばに立っていなかった。そして彼は嘆きを伴って声を放ち、すべてのエジプト人たちがそれを聞いた。そしてそれはファラオの家へと聞こえるものとなった。ヨセフは彼の兄弟たちに言った、私はヨセフです、私の父はまだ生きていますか。そして兄弟たちは彼に答えることができなかった、というのは彼らは動揺したからである。ヨセフは彼の兄弟たちに言った、私に近づきなさい。そして彼らは近づいた。そして言った、私はヨセフ、あなたがたの兄弟、あなたがたがエジプトに売った者です。今だから悲しいではありません、またあなたがたに厳しく思われてはいけません。あなたがたが私をここに売ったのは、神が命のために私をあなたがたより先に送られたからです。これは地上の飢饉の二年目である、そしてまだ五年が残っており、その間には耕作も収穫もないであろう。神は私をあなたがたの前に送られました。それは地上にあなたがたの残りの者を残すため、そしてあなたがたの大なる残存を養うためです。今やそれゆえ、あなたがたが私をここに送ったのではなく、神が送ったのです。そして神は私をファラオの父として、彼の家全体の主として、そしてエジプト全土の支配者としました。それゆえ急いで私の父のもとへ上って行き、彼にこう言いなさい。あなたの息子ヨセフがこう言っています。神は私をエジプト全地の主とされました。それゆえ私のもとへ下って来てください。留まらないでください。そしてあなたはアラビアのゲセムの地に住むだろう、そしてあなたは私の近くにいるだろ

う、あなた、そしてあなたの息子たち、そしてあなたの息子たちの息子たち、あなたの羊、そしてあなたの牛、そしてあなたに属する全てのもの。そして私はあなたをそこで養うだろう。まだ五年の飢饉があるから、あなたが滅ぼされないために、あなたとあなたの息子たちと、あなたのすべての所有物が。見よ、あなたがたの目も、私の兄弟ベニヤミンの目も見ている。私の口があなたがたに話しているのだと。したがって、私の父に、エジプトにおける私のすべての栄光と、あなたがたが見たすべてのものを報告し、急いで私の父をここに連れて来なさい。そして彼の兄弟ベニヤミンの首に倒れかかり、彼の上に泣いた。そしてベニヤミンは彼の首の上に泣いた。そして彼は彼のすべての兄弟たちにキスをして、彼らの上で泣いた。そしてその後、彼の兄弟たちが彼に話しかけた。

そして、ヨセフの兄弟たちが来たという知らせがファラオの家に広まった。ファラオと彼の従者たちは喜んだ。ファラオはヨセフに言った、あなたの兄弟たちに言いなさい、これを行いなさい。あなたがたの袋を満たして、カナンの地へ去りなさいと。そしてあなたたちの父を連れ、あなたたちの所有物を持って、私のもとに来なさい。そうすれば私はあなたたちにエジプトのすべての良いものを与えよう。そしてあなたたちはこの地の豊かさを食べるだろう。あなたは命じなさい。彼らがエジプトの地から荷車を取って、あなたがたの子供たちと妻たちのために用い、あなたがたの父を連れて来るように。そして、あなたがたの持ち物に目を留めて惜しんではならない。なぜなら、エジプトのすべての良いものがあなたがたのものとなるからである。イスラエルの息子たちはこのようにした。そしてヨセフは、王ファラオによって言われたことに従って、彼らに荷馬車を与えた。そして彼は彼らに道中の食糧を与えた。そして全員に二着の衣服を与えたが、ベニヤミンには三百の金貨と五着の着替えの衣服を与えた。そして彼は父に同じように送った。十頭のろばはエジプトのすべての良いものを運び、十頭のらばは父のために旅路用のパンを運んだ。

彼は自分の兄弟たちを送り出した。そして彼らは行った。そして彼は彼らに言った、道中で怒ってはならない。そして彼らはエジプトから上って来て、カナンの地の彼らの父ヤコブのもとへ来た。そして彼らは彼に報告して言った、あなたの息子ヨセフは生きており、彼はエジプトの全地を支配していますと。するとヤコブは驚愕した。なぜなら彼は彼らを信じなかったからである。彼らはヨセフによって言われた全てのこと、彼が彼らに言った多くのことを彼に話した。そして、ヨセフが彼を連れて行くために送った荷車を見て、彼らの父ヤコブの霊は生き返った。イスラエルは言った、私にとって大きなことだ、もしまだ私の息子ヨセフが活着しているなら。行って、私が死ぬ前に彼に会おう。

46

イスラエルは、彼自身とそのすべてのものを携えて出発し、誓いの井戸に来て、彼の父イサクの神に犠牲を捧げた。神は夜の幻の中でイスラエルに言われた、ヤコブ、ヤコブと。そして彼は言った、何でしょうかと。そして彼に言った、私はあなたの父たちの神である。エジプトへ下ることを恐れるな。なぜなら、そこであなを大いなる国とするからである。そして私はあなたと共にエジプトへ下って行くだろう、そして私はあなたを最後まで連れて上るだろう、そしてヨセフはあなたの目の上に彼の手を置くだろう。ヤコブは誓いの井戸から立ち上がった。そしてイスラエルの息子たちは彼らの父と荷物と彼らの妻たちを、ヨセフが彼を運ぶために送った荷車に乗せた。そして彼らは彼らの所有物と、カナンの地から獲得したすべての財産を取り上げて、エジプトに入った。ヤコブと彼のすべての子孫が彼と共に。息子たちと、彼の息子たちの息子たちを彼と共に、娘たちと、彼の娘たちの娘たちを、そして彼のすべての子孫を、彼はエジプトへ連れて行った。これらは、彼らの父ヤコブと一緒にエジプトに入ったイスラエルの息子たちの名前である。ヤコブとその息子たち、ヤコブの長子ルベン。ルベンの息子たちは、エノク、パロス、アスロン、

そしてカルミである。シメオンの息子たちは、エムエル、ヤミン、エフド、ヤキン、ゾハル、そしてカナン人女の息子サウルである。レビの息子たちは、ゲルション、カス、そしてメラリ。ユダの息子たちは、エル、オナン、シロ、ペレツ、そしてゼラであった。しかしエルとオナンはカナンの地で死んだ。そしてペレツの息子たちは、ヘツロンとハムルであった。イッサカルの息子たちは、トラ、プア、ハシュム、シムロン。ゼブルンの息子たちは、セレド、アロン、そしてアコエル。これらはレアの息子たちであり、彼女がメソポタミア・シリアでヤコブに産んだ者たちである。そして彼の娘ディナも含め、すべての人数は、息子たちと娘たちで三十三人である。ガドの息子たちは、サフォン、アンギス、サンニス、タソバン、アエデイス、アロエデイス、そしてアレエレイスである。アシェルの息子たちは、イエムナ、イエッサ、イエウル、バリア、そして彼らの姉妹サラである。バリアの息子たちは、コボルとメルキイルである。これらはジルパの息子たちである。ラバンは彼女を自分の娘レアに与えた。彼女はこれらをヤコブに産んだ。十六の魂である。しかし、ヤコブの妻ラケルの息子たちは、ヨセフとベニヤミン。ヨセフの息子たちはエジプトの地で生まれた。ヘリオポリスの祭司ポティフェラの娘アセナテが彼に産んだのは、マナセとエフライムである。マナセの息子たちが生まれた。シリア人の側室が彼に産んだのは、マキルである。マキルはギレアデを生んだ。マナセの兄弟エフライムの息子たちは、スタラムとタハンである。スタラムの息子たちは、エドムである。ベニヤミンの息子たちは、バラ、ベコル、そして、アスベル。バラの息子たちは、ゲラ、ノエマン、アンキス、ロス、そして、マムフィム。ゲラはアラドを生んだ。これらはラケルの息子たちであり、彼女がヤコブに産んだ者である。全ての魂は十八人である。ダンの息子たちは、アソムである。そして、ナフタリの息子たちは、アシエル、グニ、イザハル、シレムである。これらはビルハの息子たちである。ビルハはラバンが自分の娘ラケルに与えた者であり、彼女がヤコブに産んだ者たちである。全ての魂は七人である。ヤコブと共にエジプトに入ったすべ

ての魂、すなわち彼の腿から出た者たちは、ヤコブの息子たちの妻たちを除いて、すべての魂は六十六であった。しかし、ヨセフの息子たちで、エジプトの地で彼に生まれた者たちは、九人であった。ヤコブと共にエジプトに入ったヤコブの家のすべての魂は、七十五人であった。

彼はユダを自分の前にヨセフのもとへ送り、英雄たちの都市において彼に会わせるため、ラメセスの地へ向かわせた。ヨセフは自分の戦車を繋いで、父イスラエルに会うために英雄たちの都市へ上った。そして父に会うと、その首に抱きつき、激しく泣いた。そしてイスラエルはヨセフに言った、私は今から死んでもよい、なぜならあなたの顔を見たのだから、そしてあなたはまだ生きているのだから。ヨセフは彼の兄弟たちに言った、私は上がってファラオに告げ、彼に言うだろう、私の兄弟たちと私の父の家の者たちが、カナンにいた者たちが、私のところに来ました。そしてその男たちは羊飼いです。なぜなら彼らは家畜飼育者だったからです。そして彼らは家畜と牛とすべての持ち物を持ってきました。もしファラオがあなたたちを呼び、あなたたちの仕事は何かと尋ねるならば。あなたがたはこう言いなさい。あなたの僕たちは、幼い頃から今に至るまで家畜を飼う者です。私たちも、私たちの父たちもそうでした。これは、あなたがたがアラビアのゴシェンの地に住むためです。なぜなら、羊飼いはすべてエジプト人にとって忌み嫌われるものだからです。

47

ヨセフは来て、ファラオに報告して言った、私の父と私の兄弟たちと、家畜と彼らの牛と、彼らの全てが、カナンから来ました、そして見よ、彼らはゴシェンの地にいます。そして彼の兄弟たちの中から五人の男たちを取り、彼らをファラオの前に立たせた。そしてファラオはヨセフの兄弟たちに言った、あなたたちの仕事は何ですか。そして彼らはファラオに言った、あなたの

しもべたちは羊の羊飼いです、私たちも私たちの父たちも。彼らはファラオに言った、私たちはこの地に寄留するために来ました。あなたの僕たちの家畜のための牧草がないのです。カナンの地で飢饉が強まったからです。それゆえ今、私たちはゲセムの地に住みます。ファラオはヨセフに言った、彼らをゲセムの地に住ませよ。もし彼らの中に有能な者たちがいると知っているなら、彼らを私の家畜の管理者に任命せよ。ヤコブと彼の息子たちはエジプトのヨセフのもとに来了。そしてエジプトの王ファラオは聞いた。そしてファラオはヨセフに向かって言った、あなたの父とあなたの兄弟たちがあなたのもとに来了。見よ、エジプトの地はあなたの前にある。最良の地にあなたの父とあなたの兄弟たちを住ませよ。ヨセフは彼の父ヤコブを導き入れ、ファラオの前に立たせた。そしてヤコブはファラオを祝福した。ファラオはヤコブに言った、あなたの生涯の年月はどれくらいですか？そしてヤコブはファラオに言った、私が寄留している私の生涯の年月は百三十年です。私の生涯の年月は短く、苦しいものでした。それらは私の父たちが寄留した生涯の年月には達しませんでした。そしてヤコブはファラオを祝福して、彼のもとから出て行った。

そしてヨセフは彼の父と彼の兄弟たちを定住させ、彼らにエジプトの地、最良の地、ラメセスの地に所有地を与えた、ファラオが命じたように。そして、ヨセフは彼の父と兄弟たち、そして彼の父の家のすべての者に、一人一人に応じて穀物を分け与えていた。

穀物はすべての地にはなかった。なぜなら飢饉が非常に強くなったからである。エジプトの地とカナンの地は飢饉のために尽きた。ヨセフは、エジプトの地とカナンの地で見つけられたすべての銀を、彼らが買っていた穀物の代金として集め、彼らに穀物を量り分け、そしてヨセフはすべての銀をファラオの家へ持ち込んだ。そして、エジプトの地からもカナンの地からも、すべての

銀が尽きた。そこで、すべてのエジプト人たちがヨセフのもとに来て、言った。私たちにパンを与えてください。なぜ私たちはあなたの前で死ななければならないのですか。私たちの銀は尽きてしまったのです。ヨセフは彼らに言った、あなたたちの家畜を持って来なさい。もしあなたたちの銀が尽きたならば、あなたたちの家畜の代わりにあなたたちにパンを与えよう。彼らは自分たちの家畜をヨセフのもとに連れて来た。そしてヨセフは彼らに、馬の代わりに、羊の代わりに、牛の代わりに、ロバの代わりに、パンを与えた。そして彼は、彼らのすべての家畜の代わりに、パンで彼らを養った、その年に。その年が過ぎ去り、彼らは第二の年に彼のもとに来て、彼に言った。私たちが私たちの主から滅びることがないように。なぜなら、私たちの銀は尽き、財産と家畜はあなた、その主のもとにあり、私たちの主の前に私たちに残されているものは、私たち自身の体と私たちの土地以外にないからです。それゆえ、私たちがあなたの前で死なないように、そして地が荒廃しないように、パンの代わりに私たちと私たちの地を獲得してください。そうすれば、私たちと私たちの地はファラオの僕となるでしょう。種を与えてください。そうすれば、私たちは蒔き、生き、死なず、地は荒廃しないでしょう。そしてヨセフは、すべてのエジプト人の地をファラオのために獲得した。なぜなら、エジプト人たちは彼らの地をファラオに売ったからである。なぜなら、飢饉が彼らを圧倒したからである。そして、その地はファラオのものとなった。そして彼は、エジプトの境界の端から端まで、その民を奴隷として彼のものとした。祭司たちの地を除いて、ヨセフはこれを獲得しなかった。というのも、ファラオは祭司たちに贈り物として与えたからである。そして彼らはファラオが彼らに与えた贈り物を食べていた。このため、彼らは自分たちの地を売らなかった。ヨセフはすべてのエジプト人たちに言った、見よ、私は今日、あなたたちとあなたたちの土地をファラオのために獲得した。自分たちのために種を取り、その土地を蒔け。そして、その産物があり、あなたがたはその五分之一をファラオに与え、四つの部分はあなたがた自身のものとなり、地の種

として、また、あなたがたとあなたがたの家にいるすべての者の食物となるだろう。そして彼らは言った、あなたは私たちを救ってくださいました。私たちは我らの主の前に恵みを見出しました。そして私たちはファラオの僕となるでしょう。そしてヨセフは彼らに、この日までエジプトの地においてファラオに納めるという命令を定めた。ただし祭司たちの地のみは除き、それはファラオのものではなかった。

イスラエルはエジプトの地、ゴシェンの地に住んだ。そして彼らはそこを相続し、増え、非常に多くなった。ヤコブはエジプトの地で十七年生き、ヤコブの生涯の年月は百四十七年となった。イスラエルが死ぬ日が近づいた。そして彼は息子ヨセフを呼び、彼に言った。もし私があなたの前に恩寵を見出したなら、あなたの手を私の腿の下に置け。そして私に慈悲と真実をもって行え。私をエジプトに葬らないために。しかし、私は私の父たちと共に眠るだろう。そして、あなたは私をエジプトから連れ出し、彼らの墓に私を埋葬するだろう。すると彼は言った、私はあなたの言葉に従って行うでしょう。彼は私に誓えと言った。そして彼は彼に誓った。そしてイスラエルは彼の杖の先端に寄りかかって礼拝した。

48

これらの言葉の後に、ヨセフにあなたの父が病気であると報告された。そして彼は二人の息子マナセとエフライムを連れてヤコブのもとへ来た。ヤコブに報告された、言って、見よ、あなたの息子ヨセフがあなたのところに来ます、そしてイスラエルは力を得て寝台の上に座った。そしてヤコブはヨセフに言った、私の神がカナンの地のルザで私に現れ、私を祝福した。そして彼は私に言った、見よ、私はあなたを増やし、あなたを増し加え、あなたを諸国民の集会とし、この地をあなたに、そしてあなたの後のあなたの子孫に、永遠の所有として与える。今や、したがって、

エジプトの地であなたに生まれたあなたの二人の息子たちは、私があなたのもとへエジプトに来る前に、私のものである。エフライムとマナセは、ルベンとシメオンのように、私のものとなるであろう。しかし、これらの後にあなたが生む子孫は、彼らの兄弟たちの名のもとにあり、それらの相続財産のもとに呼ばれるだろう。しかし私がシリアのメソポタミアから来ていた時、あなたの母ラケルはカナンの地で死んだ。私がエフラタに来るために地のカブラタの競馬場に近づいていた時、私は彼女を競馬場の道に埋葬した。これはベツレヘムである。

イスラエルはヨセフの息子たちを見て言った、この者たちは誰か。ヨセフは彼の父に言った、私の息子たちです、神が私にここで与えた者たちです。そしてヤコブは言った、彼らを私のところに連れて来なさい、私が彼らを祝福するために。しかしイスラエルの目は老齢のために霞んでおり、見る事ができなかった。そして彼は彼らを自分の方へ近づけ、彼らに口づけをし、彼らを抱きしめた。そして、イスラエルはヨセフに言った、見よ、私はあなたの顔を奪われることはなかった。そして見よ、神は私にあなたの子孫をも示してくださった。そしてヨセフは彼らを彼の膝から導き出し、彼らは地に顔を伏せて彼に礼拝した。ヨセフは自分の二人の息子を連れて、エフライムを自分の右手に、イスラエルの左側から、そしてマナセを自分の左手に、イスラエルの右側から、彼らを彼に近づけた。イスラエルはその右手を伸ばして、エフライムの頭の上に置いた。この者はより若い者だった。そして左手をマナセの頭の上に置き、その手を交差させた。

そして彼らを祝福し、言った、私の父たちアブラハムとイサクが御前に喜ばれた神、私を若い時から今日まで養ってくださった神、その天使、すべての悪から私を救い出す者が、これらの子どもたちを祝福しますように。そして彼らの中に私の名前と、私の父たちアブラハムとイサクの名前が呼ばれますように。そして彼らが地の上で大いなる多数へと増え広がりますように。ヨセフ

は、父が右手をエフライムの頭の上に置いたのを見て、それが彼には重く思われた。そしてヨセフは父の手を取り、それをエフライムの頭から取り除いてマナセの頭の上に置こうとした。ヨセフは父に言った、そうではありません、父よ、この者が長子ですから、あなたの右手を彼の頭の上に置いてください。そして彼は望まなかったが、言った、私は知っている、子よ、私は知っている。この者は民となり、この者は高められるだろう。しかし彼の弟は彼より大いなる者となり、彼の子孫は諸国民の群れとなるだろう。そして彼は、その日に彼らを祝福して言った、あなたがたによってイスラエルは祝福されるであろう。人々は神があなたをエフライムのように、またマナセのようにしてくださいますようにと言うであろう。そして彼はエフライムをマナセの前に置いた。イスラエルはヨセフに言った、見よ、私は死にゆく。そして神はあなたたちと共にいるだろう。そして神はあなたたちをあなたたちの父たちの地へ連れ戻すだろう。私はあなたに、あなたの兄弟たちのために特別なシケムを与える。それは私が私の剣と弓でアモリ人たちの手から取ったものである。

49

ヤコブは彼の息子たちを呼び、そして彼らに言った、集まりなさい、そうすればあなたがたに告げよう、最後の日々にあなたがたに何が起こるかを。集まりなさい、そして私の言葉を聞きなさい、ヤコブの息子たちよ、イスラエルよ聞きなさい、あなたたちの父の言葉を聞きなさい。 **Reuben**よ、私の長子よ、あなたは私の力であり、私の子供たちの初めである。扱いにくく、そして頑固である。あなたは水のように傲慢に振る舞った。沸騰してはならない。なぜならあなたはあなたの父の寝床に登ったからである。その時あなたは寝具を汚した、あなたが登ったその場所を。シメオンとレビは兄弟であり、彼らの選択による不正を成し遂げた。彼らの評議に私の魂が加わりませんように、そして彼らの集まりにおいて私の心が争いしませんように。なぜなら彼らは怒りの

中で人々を殺し、欲望のままに雄牛の腱を切ったからである。呪われているのは彼らの怒りである、なぜならそれは頑固であるから。そして彼らの激怒も呪われている、なぜならそれは硬くなったから。私は彼らをヤコブにおいて分割し、そして彼らをイスラエルにおいて散らすだろう。ユダよ、あなたの兄弟たちはあなたを賞賛した。あなたの手はあなたの敵の背に置かれる。あなたの父の子らはあなたを拝するであろう。ユダはライオンの子、私の息子よ、あなたは芽から上がった。横たわって眠った、ライオンのように、そして子ライオンのように。誰が彼を起こすだろうか？ユダから支配者は絶えることなく、彼の腰から指導者も絶えない、彼に保管されているものが来るまで。そして彼は諸国民の期待である。彼の子馬をぶどうの木に縛り、彼のろばの子馬を巻きひげに縛り、彼の衣をぶどう酒で洗い、彼の覆いをぶどうの血で洗うであろう。彼の目はワインよりきらめき、彼の歯はミルクより白い。ゼブルンは海辺に住むだろう、そして彼自身は船の停泊地のそばにおり、シドンまで延びるだろう。イッサカルは良いものを欲した、相続地の間で休んでいる時に。そして休息が良いことを見て、地が肥沃であることを見て、彼は苦労するために自分の肩を差し出し、農夫となった。ダンは彼の民を裁くだろう、イスラエルにおける一つの部族のように。そしてダンは道の上の蛇となれ、小道の上に待ち伏せし、馬の踵を噛み、そして騎手は後ろに落ちるだろう。主の救いを待ちながら。ガドは、略奪隊が彼を襲うだろうが、彼自身は彼らをその足元で襲うだろう。アシェル、彼のパンは豊かであり、そして彼は支配者たちに贅沢を与えるだろう。ナフタリは広がった幹であり、その子孫に美しさを与える。成長した息子ヨセフよ、成長した私の愛しい息子よ、私の最も若い息子よ、私のもとへ立ち戻れ。彼らはその者について熟考しながら罵り、そして矢の主人たちは彼に恨みを抱いた。そして彼らの弓は力をもって碎かれ、彼らの手の腕の筋は弱められた。ヤコブの支配者の手によって、そこからイスラエルの力ある者が、あなたの父の神から来た。そして私の神があなたを助け、あなたを祝福した。上からの天の祝福と、すべてを持つ地の祝福

をもって。乳房と子宮の祝福のゆえに。あなたの父とあなたの母の祝福は、永続する山々の祝福に勝り、永遠の丘の祝福の上にある。それらはヨセフの頭の上に、兄弟たちの中で彼が指導者と見なされた者の頂上の上にあるだろう。ベニヤミンは貪欲な狼である。朝にはまだ食べ、夕方には食物を与える。これらすべてはヤコブの十二人の息子たちであり、彼らの父は彼らにこれらのことを話し、それぞれをその祝福に従って祝福した。そして彼らに言った、私は私の民のもとに加えられる。私を私の父たちと共に、ヒッタイト人エフロン畑にある洞窟に埋葬せよ。マムレの向かいにある二重の洞窟の中に、カナンの地において、アブラハムがヒッタイト人エフロンから墓の所有地として獲得したその洞窟。そこに彼らはアブラハムと彼の妻サラを埋葬した、そこに彼らはイサクと彼の妻レベッカを埋葬した、そこに彼らはレアを埋葬した、畑とそこにある洞窟の取得において、ヘテの息子たちから。そしてヤコブは息子たちに命じることをやめ、足を寝台の上に持ち上げて息絶え、彼の民に加えられた。

50

そしてヨセフは彼の父の顔の上に倒れ伏し、彼のために泣き、彼に口づけした。ヨセフは、防腐処理をする者である彼の僕たちに、彼の父を防腐処理するよう命じた。そして防腐処理をする者たちはイスラエルを防腐処理した。そして彼らは彼の四十日を満した。このように埋葬の日々は数えられるからである。そしてエジプトは七十日間彼を嘆いた。そして喪の日々が過ぎ去った後、ヨセフはファラオの支配者たちに向かって話し、言った、もし私があなたがたの前に恵みを見出したなら、私について、ファラオの耳に話してください、言いながら、私の父は私に誓わせました、言いながら、私がカナアンの地で自分のために掘った墓に、そこに私を葬りなさいと。それゆえ今、上って行って、私の父を葬り、そして戻って参ります。そしてファラオはヨセフに言った、上って行き、あなたの父を葬りなさい、彼があなたに誓わ

せた通りに。そしてヨセフは彼の父を葬るために上った、そしてファラオのすべての僕たち、彼の家の長老たち、そしてエジプトの地のすべての長老たちが彼と共に上った、そしてヨセフの全家族と彼の兄弟たち、そして彼の父方の全家と彼の親族、そして羊たちと牛たちを、彼らはゴセンの地に残した。そして彼と共に戦車と騎兵が上って来た、そして陣営は非常に大きくなった。そして彼らはヨルダンの向こうにあるアタドの脱穀場に到着し、彼のために大きく非常に激しい嘆きをもって嘆き悲しみ、そして彼は父のために七日間喪に服した。そしてカナンの地の住民たちは、アタドの脱穀場で嘆きを見て、言った、これはエジプト人たちにとって大きな嘆きである。このため、彼はその名をエジプトの嘆きと呼んだ、それはヨルダンの向こう側にある。そして彼の息子たちは、このように彼に対して行った。そして彼の息子たちは彼をカナンの地へ運び上げ、そして彼を二重の洞窟に埋葬した。その洞窟はアブラハムが墓の所有地としてヒッタイト人エフロンから獲得したもので、マムレの向かい側にあった。そしてヨセフは彼の父を埋葬するために一緒に上った者たちと彼の兄弟たちと共にエジプトへ戻った。

ヨセフの兄弟たちは、彼らの父が死んだのを見て、言った、ヨセフが私たちに恨みを持ち、私たちが彼に示したすべての悪事を私たちに報復するのではないか。そして、ヨセフのもとに来て、彼らは言った。あなたの父は、死ぬ前に誓わせました、こう言って、このようにヨセフに言いなさい。彼らの不正と罪を許してください。なぜなら彼らはあなたに悪いことをしたからです。そして今、あなたの父の神の従者たちの不正を受け入れてください。そして彼らが彼に話しかけている時、ヨセフは泣いた。そして彼のもとに来て言った、我々はあなたの僕です。そしてヨセフは彼らに言った、恐れるな。私は神のものなのだから。あなたがたは私について悪を計画したが、神は私について良いことを計画された。それは今日のようなため、そして多くの民が養われるためである。そして彼は彼らに言った、恐れてはいけません。

私はあなたがたとあなたがたの家族を養いましょう。そして彼は彼らを慰め、彼らの心に語りかけた。そしてヨセフはエジプトに住んだ、彼自身と彼の兄弟たち、そして彼の父の全家族と共に、そしてヨセフは百十年生きた。そしてヨセフはエフライムの子供たちを三代目まで見た、そしてマナセの息子マキルの息子たちがヨセフの腿の上に生まれた。そしてヨセフは彼の兄弟たちに言った、私は死ぬが、神は必ずあなたたちを訪れ、この地からあなたたちを導き上げて、神が私たちの父たちアブラハム、イサク、そしてヤコブに誓われた地へ連れて行かれるだろう。そしてヨセフはイスラエルの息子たちに誓わせて言った、神があなたたちを訪れる時に、あなたたちは私の骨をここからあなたたちと共に運び上げるだろう。そしてヨセフは百十歳で死に、彼らは彼を埋葬し、エジプトで棺に納めた。

出エジプト記

1

これらは、エジプトに入ったイスラエルの息子たちの名前である。彼らは父ヤコブと一緒に、各々が自分の全家族を伴って入った。ルベン、シメオン、レビ、ユダ、Issachar、Zebulun、Benjamin。ダン、ネフタリ、ガド、そしてアシェル。ヨセフはエジプトにいた。ヤコブから出た者は全部で七十五人であった。ヨセフは死に、彼のすべての兄弟たち、そしてその世代のすべてが死んだ。しかしイスラエルの息子たちは増え、増やされ、多数になり、非常に強くなった。そしてその地は彼らを増やした。別の王がエジプトに立ち上がったが、彼はヨセフを知らなかった。彼は自分の国民に言った、見よ、イスラエルの息子たちの種族は大きな群衆であり、そして私たちより強い。さあ、彼らを賢く対処しよう。彼らが増えないように。そして、いつか私たちに戦争が起こるとき、これらの者たちも敵対者たちに加わり、私たちに戦争を仕掛けて、この地から出て行くだろう。そして彼は彼らに作業の監督たちを置き、彼らが作業において彼らを苦しめるようにした。そして彼らはファラオのために要塞化された都市たち、すなわちペイトー、ラメセス、およびオーン(それは太陽の都市である)を建てた。しかし彼らを虐げれば虐げるほど、それだけますます多くなり、そして非常に非常に強くなった。そしてエジプト人たちはイスラエルの息子たちを嫌悪した。そして、エジプト人たちはイスラエルの息子たちを力によって圧迫した。そして彼らの生活を厳しい仕事の中で苦しめ、泥と煉瓦作りと、平野における全ての仕事において、彼らが暴力をもって彼らを奴隷にした全ての仕事に従って。

そしてエジプト人たちの王は、ヘブライ人たちの助産婦たちに言った。その一人の名前はシフラ、そして第二の名前はプアで

あった。そして彼は言った、ヘブライ女たちの助産をする時、彼女たちが出産する際、もしそれが男子であれば、それを殺せ、しかしもし女子であれば、それを生かしておけ。しかし、助産婦たちは神を恐れ、エジプトの王が彼女らに命じたようには行わず、男子たちを生かし続けた。しかしエジプトの王はその助産婦たちを呼び、彼女たちに言った、なぜあなたがたはこの事を行い、その男子たちを生かしておくのか。助産婦たちはファラオに言った、ヘブライ女たちはエジプトの女たちのようではありません、なぜなら助産婦たちが彼女たちのところに入る前に彼女たちは産むからです、そして彼女たちは産みました。神は助産婦たちによくしてくださった。そして民は増え、非常に強くなった。そして助産婦たちは神を恐れていたのも、彼女たち自身のために家々を作った。そしてファラオは彼のすべての人々に命じて言った、ヘブライ人たちに生まれるすべての男性を川に投げなさい、そしてすべての女性を生かしなさい。

2

レビの部族の者がいて、その者はレビの娘たちの一人を娶った。そして子宮に宿し、男児を産んだ。しかしそれが美しいのを見て、彼らはそれを三ヶ月間隠した。しかし、彼らがもはやそれを隠すことができなくなったので、彼の母は彼のために籠を取り、それをアスファルトピッチで塗り、その子供をその中に入れ、それを川のそばの沼地に置いた。そして彼の姉妹は、彼に何が起るかを知るために、遠くから見張っていた。

ファラオの娘が川で入浴するために下って行き、彼女の侍女たちが川の傍らを通っていた。そして沼の中に籠を見つけ、侍女を遣わして、それを取り上げさせた。開けると、籠の中で泣いている子供を見た。ファラオの娘は彼を憐れみ、これはヘブライ人の子供の一人ですと言った。そして彼の姉妹がファラオの娘に言った、ヘブライ人の中から乳母をお呼びしましょうか。そうすれ

ば彼女があなたのためにその子供に授乳いたします。そしてファラオの娘は言った、行きなさいと。若い女は来て、その子供の母を呼んだ。ファラオの娘は彼女に言った、この子供を私のために保ち、私のために授乳しなさい。そうすれば私はあなたに報酬を与えましょう。そして女は子供を引き取り、それを授乳した。子供が成長すると、彼女はその子をファラオの娘のもとへ連れて行った。そしてその子は彼女の息子となった。彼女はその子の名をモーセと名付け、水から彼を引き上げたからと言った。

それらの多くの日々において、モーセは成長し、彼の兄弟たちであるイスラエルの息子たちのもとへ出て行った。そして彼らの労苦を観察し、エジプト人がある一人のヘブライ人を、彼自身の兄弟たちであるイスラエルの息子たちの一人を、打っているのを見た。見回したが、あちこち誰も見えず、そしてそのエジプト人を打って、彼を砂の中に隠した。二日目に出て行くと、二人のヘブライ人の男たちが争っているのを見て、不正を行う者に言った、なぜあなたは隣人を打つのか。しかし彼は言った、誰があなたを私たちの上に支配者と裁判官に任命したのか。まさかあなたは、昨日エジプト人を殺したように、私を殺そうとしているのではないだろうな。モーセは恐れて言った、もしこのように、この事が明らかになったのなら。ファラオはこの言葉を聞き、モーセを殺そうとした。しかしモーセはファラオの前から退き、ミディアムの地に住んだ。ミディアムの地に来て、彼は井戸のそばに座った。そして、ミディアムの祭司には七人の娘たちがいて、彼女たちは父イェトロの羊を飼っていた。彼女たちは到着すると水を汲み、水槽を満たして、父イェトロの羊に水を飲ませた。羊飼いたちが到着したが、彼女たちを追い出していた。しかしモーセは立ち上がり、彼女たちを救い、彼女たちのために水を汲み、彼女たちの羊に飲ませた。彼女たちは彼女たちの父ラゲルのもとに到着した。そして彼は彼女たちに言った、なぜあなたたちは今日こんなに早く来たのか。彼女らは言った、エジプト人の男が私たちを羊飼いたちから救い、私たちのために水を汲み、私たちの羊

に水を飲ませました。しかし彼は自分の娘たちに言った、そして彼はどこにいるのか？なぜあなたたちはその男を置き去りにしたのか？それゆえ彼を呼びなさい、そうすれば彼はパンを食べるだろう。モーセはその男のもとに定住し、そして彼は自分の娘セボラをモーセに妻として与えた。胎に宿した女は息子を産み、そしてモーセは彼の名をゲルショムと名付けて、言った、なぜなら私は異国の地における寄留者であるから。しかし、その多くの日々の後、エジプトの王は死んだ。そして、イスラエルの息子たちは働きからうめき、叫んだ。そして、彼らの叫びは働きから神に向かって上った。そして神は彼らの嘆きを聞き、神はアブラハム、イサク、そしてヤコブとの契約を思い出した。そして神はイスラエルの子らを見られ、そして彼らに知られた。

3

そしてモーセは、彼の義父であるミディアン祭司イオトルの羊を牧していた。そして彼は羊を荒野へ導き、ホレブの山へ来た。主の天使が茂みから出る炎の火の中に彼に現れた、そして彼はその茂みが火で燃えているのを見る、しかしその茂みは燃え尽きていなかった。モーセは言った、近寄って、この大いなる幻を見よう、なぜこの柴は燃え尽きないのか。主が彼が見ようと近づくと、主は茂みから彼を呼んで言った、モーセよ、モーセよ。すると彼は言った、何でしょうか。そして彼は言った、ここに近づいてはならない。あなたの足からサンダルを脱げ。なぜなら、あなたが立っているその場所は聖なる地であるから。そして言われた、私はあなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。しかしモーセは彼の顔を背けた、なぜなら神の前をまっすぐ見ることを恐れたからである。主はモーセに言われた、私はエジプトにいる私の民の苦しみを確かに見た。そして監督たちによる彼らの叫びを私は聞いた。なぜなら私は彼らの痛みを知っているからである。そして私は、彼らをエジプト人たちの手から救い出し、あの地から導き出し、良くて豊かな地

へ、乳と蜜の流れる地へ、カナン人たち、ヘテ人たち、アモリ人たち、ペリジ人たち、ギルガシ人たち、ヒビ人たち、そしてエブス人たちの場所へ導き入れるために下った。そして今、見よ、イスラエルの息子たちの叫びが私のもとに来ていてる。そして私は、エジプト人たちが彼らを圧迫するその苦しみを見た。そして今、来なさい。私はあなたをエジプトの王ファラオのもとへ送るだろう。そしてあなたは私の民、イスラエルの息子たちをエジプトの地から連れ出すだろう。

そしてモーセは神に言った、私は誰ですか、私がエジプトの王ファラオのもとへ行き、そして私がイスラエルの子らをエジプトの地から連れ出すとは。神はモーセに言われた、私はあなたと共にいる。そしてこれがあなたへのしるしである。私があなたを遣わすのは、あなたが私の民をエジプトから導き出すためであり、あなたがたはこの山で神に仕えるであろう。そしてモーセは神に言った、見よ、私はイスラエルの子らのもとへ出て行き、彼らに言うでしょう、私たちの父祖の神があなたがたのもとへ私を遣わされた。彼らは私に尋ねるでしょう、その方の名は何ですかと。私は彼らに何と云えばよいでしょうか。そして神はモーセに言われた、私は在る者である。そして言われた、このようにあなたはイスラエルの子らに言うであろう、在る者が私をあなたがたのもとに遣わされた。そして神はモーセに再び言われた、このようにイスラエルの子らに言いなさい、主、私たちの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神が、私をあなたがたに遣わされた。これが私の永遠の名であり、代々の記念である。来たので、それゆえイスラエルの息子たちの長老会議を集めよ。そしてあなたは彼らに言うであろう、主、私たちの父たちの神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神が私に現れて言われた、訪問によって私はあなたたちを訪問した、そしてエジプトにおいてあなたたちに起こった多くのことを。そして言った、私はあなたたちをエジプト人たちの苦しみから連れ出し、カナン人、ヘテ人、アモリ人、ペリジ人、ギルガシ人、ヒビ人、そしてエブス人

の地へ、乳と蜜の流れる地へ導くだろう。そして彼らはあなたの声を聞くだろう。そしてあなたとイスラエルの長老会は、エジプトの王ファラオのもとへ入るだろう。そしてあなたは彼に言うだろう、ヘブライ人の神が私たちを召された。したがって私たちは三日の道を荒野へ行き、私たちの神に犠牲を捧げる。私は知っている、エジプトの王ファラオは、強大な手によらなければ、あなたたちを行かせないだろうということ。そして手を伸ばして、私はエジプト人たちを打つであろう、私が彼らに対して行うすべての不思議なわざをもって、そしてその後に彼はあなたたちを送り出すであろう。そして私はこの民にエジプト人たちの前で恵みを与えるだろう。しかしあなたたちが去るとき、あなたたちは空手で去ることはないだろう。しかし女は隣人と同居人から銀の器、金の器、そして衣服を求め、あなたがたはそれらを息子たちと娘たちに着せ、エジプト人たちを略奪するであろう。

4

しかしモーセは答えて言った、もし彼らが私を信じず、また私の声を聞かないならば、彼らは神はあなたに現れなかったと言うでしょう。私は彼らに何と言えよいのでしょうか。主は彼に言った、あなたの手の中にあるこれは何か。彼は言った、杖です。そして言った、それを地に投げよ。そして彼はそれを地に投げた。するとそれは蛇になった。そしてモーセはそれから逃げた。そして主はモーセに言った、その手を伸ばして、その尾をつかめ。それでその手を伸ばして、その尾をつかんだ。そしてそれは彼の手の中で杖となった。彼らがあなたを信じるために、彼らの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神があなたに現れたことを。主は再び彼に言った、あなたの手をあなたの懐に入れよ。そして彼は彼の手を彼の懐に入れた。そして彼は彼の手を彼の懐から出した。そして彼の手は雪のようになった。そして再び言った、あなたの手をあなたの懐に入れなさい。そして彼はその手を彼の懐に入れ、そしてそれを彼の懐から出した。そ

して再びその肉の色に戻った。もしも彼らがあなたを信じず、また最初のしるしの声を聞かないならば、彼らは二番目のしるしの声であなたを信じるだろう。そして、もし彼らがこれら二つのしるしをあなたに信じず、またあなたの声を聞かないならば、あなたは川の水を取り、乾いた地の上に注ぐだろう。そして、あなたが川から取る水は、乾いた地の上で血となるだろう。モーセは主に言った、懇願します、主よ、私は昨日の前も三日前も十分ではありませんでした。また、あなたがあなたの従者に話し始めた時から、私は弱い声で遅い舌なのです。主はモーセに言われた、誰が人に口を与えたのか。誰が難聴、聾啞、見える者、盲目を造ったのか。この私、神ではないか。そして今、行きなさい。私はあなたの口を開き、あなたが話すべきことを教えよう。そしてモーセは言った、主よ、お願いします。あなたが遣わされる、他のふさわしい者を任命してください。そして主はモーセに対して怒りを燃やして言った、見よ、あなたの兄弟、レビ人のアロンがいるではないか。私は知っている、彼が確かにあなたに話すことを。そして見よ、彼はあなたに会うために出て来るだろう、そしてあなたを見て、彼は心の中で喜ぶだろう。そしてあなたは彼に向かって言うだろう、そしてあなたは私の言葉を彼の口の中へ与えるだろう、そして私はあなたの口と彼の口を開くだろう、そして私はあなたたちが行うべきことをあなたたちに教えるだろう。そして彼はあなたのために民に語るだろう。彼はあなたの口となり、あなたは彼にとって神に関することとなるだろう。そして、蛇に変わったこの杖を、あなたは手に取るであろう。それによって、あなたはそのしるしを行うであろう。

モーセは行って、義理の父イエトロのもとに引き返し、言った、私はエジプトにいる私の兄弟たちのもとに行って、彼らがまだ生きていますかどうか見てきます。イエトロはモーセに言った、無事に行きなさい。その多くの日々の後、エジプトの王は死んだ。主はミディアンにおいてモーセに言われた、行け、エジプトへ去れ。あなたの魂を探し求めていた者たちは皆、死んだのだから。

ら。モーセは妻と子供たちを取り上げて、彼らを荷役獣に寄せ、エジプトへ戻った。そしてモーセは神からの杖を彼の手に取った。主はモーセに言われた、あなたがエジプトに帰って行く時、私があなたの手に与えたすべての奇跡に注意せよ。あなたはそれらをファラオの前で行わなければならない。しかし私は彼の心を硬くする。そして彼は民を去らせないであろう。あなたはファラオに言うだろう、主はこう言われる、イスラエルは私の長子である。私はあなたに言った、私の民を送り出せ、彼らが私に仕えるために。もしそれゆえあなたが彼らを送り出すことを望まないなら、見よ、それゆえ私はあなたの息子、その初子を殺すだろう。道中の宿で、主の天使が彼に会い、彼を殺そうとした。そしてセポラは小石を取って彼女の息子の包皮を割礼し、彼の足元に倒れ伏して言った、私の子供の割礼の血が立った。そして彼女は彼から去った。なぜなら彼女は私の子供の割礼の血が止まったと言ったからである。主はアアロンに言った、モーセに会うために荒野へ行けと。そして彼は行き、神の山で彼に会い、互いに口づけした。そしてモーセはアロンに、主が送った全ての言葉と、主が彼に命じた全ての言葉を報告した。モーセとアロンは行き、イスラエルの子らの長老会議を集めた。そしてアロンは、神がモーセに向かって話したこれらすべての言葉を話し、そして民の前でそのしるしを行なった。そして民は信じ、喜んだ。なぜなら神がイスラエルの子らを訪れ、彼らの苦難を見たからである。そして民は頭を下げて礼拝した。

5

そしてこれらの後、モーセとアロンはファラオのもとへ入り、彼に言った、イスラエルの神、主はこう言われる、わが民を送り出せ、彼らが荒野で私に祝いをするために。そしてファラオは言った、私が彼の声聞いて、イスラエルの子らを去らせねばならぬ者とは誰か。私は主を知らない。そしてイスラエルを去らせはしない。そして彼らは彼に言った、ヘブライ人の神が私たち

を召されました。それゆえ私たちは三日の道のりを荒野へ行き、私たちの神である主に犠牲を捧げます。そうしないと、死または殺人が私たちに降りかかるかもしれません。そしてエジプトの王は彼らに言った、なぜモーセとアロンは民を仕事から引き離すのか。あなたがた各々は自分の仕事に戻れ。そしてファラオは言った、見よ、今や民は多くなった。だから、彼らを仕事から休ませてはならない。ファラオは民の監督たちと書記たちに命じて言った、もはやあなたがたは、昨日と一昨日のように、レンガ作りのために民にわらを与え続けてはならない。むしろ彼ら自身を行かせ、彼ら自身のためにわらを集めさせよ。そして、彼ら自身が毎日作る煉瓦作りの割り当てを、あなたは彼らに課すであろう。何も取り去ってはならない。なぜなら、彼らは暇であるからだ。このために彼らは叫んだのだ、立ち上がって、私たちの神に犠牲を捧げようと言いながら。これらの人間たちの仕事を重くし、彼らにそれらを心配させよ。そして空しい言葉を心配させてはならない。

監督たちと書記たちは彼らを急がせており、民に向かって言った、ファラオはこう言われる、もはやあなたがたにわらを与えない。あなたたち自身が行って、わらを自分たちのために集めなさい、どこで見つけようとも。というのは、あなたたちの割り当てから何も取り去られないからである。そして民はエジプト全土に散らされ、藁くずを集めてわらにした。そして監督たちは彼らを急がせながら言った、藁があなたたちに与えられていた時と同じように、日ごとに割り当てられた仕事を完成させよ。そしてイスラエルの子らの種族の書記たち、彼らの上に任命された者たちが、ファラオの監督たちによって鞭打たれ、こう言われた。なぜお前たちは煉瓦作りの割り当てを、昨日も一昨日も今日も、以前と同じように完成させなかったのか。しかし、イスラエルの子らの書記官たちが入って来て、ファラオに向かって叫んで言った、なぜあなたはこのようなあなたの僕たちになさるのですか。わらはあなたの召使いたちに与えられず、レンガを作れと私たちに言

い、そして見よ、あなたの召使いたちは鞭打たれている。それゆえあなたはあなたの民に不正をするだろう。そして彼は彼らに言った、あなたたちは怠けている、あなたたちは怠け者だ。だからあなたたちは行って、私たちの神に犠牲を捧げようと言うのだ。さあ、行って働け。藁はお前たちに与えられない。しかしレンガ作りの割り当ては納めなければならない。イスラエルの子らの書記官たちは、自分たちが悪い状況にあるのを見て、あなたがたは煉瓦作りの一日の定められた量を減らしてはならないと言われた。彼らがファラオのもとから出て来たとき、モーセとアロンが彼らを迎えに来るのに会った。そして彼らは彼らに言った、神があなたたちをご覧になり、裁かれますように。なぜならあなたたちは私たちの匂いをファラオの前で、そして彼の従者たちの前で憎むべきものにし、彼の手に剣を与えて私たちを殺させるようにしたからです。モーセは主のもとに戻り、言った、主よ、お願いします。なぜあなたはこの民を苦しめられたのですか。そしてなぜ私を遣わされたのですか。そして私がファラオのもとへ行き、あなたの名において話して以来、彼はこの民を苦しめました。そしてあなたはあなたの民を救われませんでした。

6

そして主はモーセに言われた、あなたは今に見るであろう、私がファラオに行くことを。なぜなら強い手によって彼は彼らを送り出し、高く上げた腕によって彼は彼らを自分の地から追い出すであろう。そして神はモーセに語り、彼に言われた、わたしは主である。そして私はアブラハムとイサクとヤコブに、彼らの神として現れた。しかし私の名である主を彼らに明らかにしなかった。そして私は彼らに対して私の契約を立て、彼らが寄留していたカナン人たちの地、彼らがその上に住んでいた地を彼らに与えるようにした。そして私はイスラエルの子らの嘆きを聞いた。エジプト人が彼らを奴隷にしているその嘆きを。そして私はあなたがたとの契約を思い出した。行け、イスラエルの子らに言え、私

は主である、私はあなたたちをエジプト人の支配から連れ出し、あなたたちをその奴隷状態から救い出し、高く上げた腕と大いなる裁きをもってあなたたちを贖うであろう。そして私はあなたたちを私自身の民として取り、私はあなたたちの神となるだろう。そしてあなたたちは知るだろう、私が主、あなたたちの神であり、エジプト人たちの抑圧からあなたたちを導き出した者であることを。そして私はあなたたちを、その地の中へ連れて行くだろう。私はその地へ私の手を伸ばして、それをアブラハム、イサク、そしてヤコブに与えようとした。そして私はそれを相続地としてあなたたちに与えるだろう。私は主である。しかしモーセはこのようにイスラエルの子らに話した。しかし彼らは意気消沈のため、そして過酷な労働のために、モーセの言うことを聞かなかった。そして主はモーセに言った、入って、エジプトの王ファラオに話しなさい。彼がイスラエルの子らを自分の地から去らせるために。モーセは主の前で言った、見よ、イスラエルの子らは私の言うことを聞かなかった。ファラオがどうして私の言うことを聞かろうか。私は口が重い者である。主はモーセとアアロンに言い、エジプトの王ファラオのもとへ彼らを遣わし、イスラエルの子らをエジプトの地から送り出すよう命じた。

そしてこれらは彼らの父祖の家々の指導者たちである、イスラエルの長子ルベンの息子たち、エノク、ファル、アスロン、そしてカルメイ、これがルベンの親族である。シメオンの息子たちは、エムエル、ヤミン、エフド、ヤキン、ゾハル、そしてカナン女から生まれたサウルである。これらはシメオンの息子たちの家族である。そしてこれらはレビの息子たちの名前であり、彼らの血縁によるものである。ゲドソン、カアト、そしてメラレイ。そしてレビの生涯の年は百三十七年であった。そしてこれらはゲドソンの息子たちである。リブニとシメイ、彼らの家族の家である。そして、カアトの息子たちは、アムブラム、イッサアル、ケブロン、そして、オゼイエルである。そして、カアトの生涯の年は百三十三年であった。そして、メラリの息子たちは、マフリとムシ

である。これらは、彼らの血縁に従ったレビの父祖の家である。そしてアムラムは彼の父の兄弟の娘ヨカベドを妻として娶り、彼女は彼にアロンとモーセ、そして彼らの姉妹マリラムを生んだ。そしてアムラムの生涯の年は百三十二年であった。そして、イッサアルの息子たちは、コレ、ナフェク、そしてゼクレイである。オゼイエールの息子たちは、ミサエール、エリサファン、そしてセGREイである。そしてアロンは、ナアソンの姉妹である、アミナダブの娘エリサベツを妻として取り、そして彼女は彼にナダブ、アビウド、エレアザル、そしてイタマルを産んだ。コレの息子たちは、アセイル、エルカナ、そして、アビアサルである。これらはコレの世代である。そしてアロンの子エレアザルは、プティエルの娘たちの一人を妻として娶り、彼女は彼にピネハスを産んだ。これらはレビ人の家族の長たちであり、彼らの世代によるものである。このアロンとモーセは、神が彼らに、イスラエルの子らをその力をもってエジプトの地から導き出すように言われた者たちである。これらは、エジプトの王ファラオと会話した者たちであり、イスラエルの子らをエジプトの地から導き出したアロンとモーセその人である。主がエジプトの地でモーセに話した日。そして主はモーセに語って言われた、わたしは主である。わたしがあなたに告げることをすべて、エジプトの王ファラオに語れ。そしてモーセは主の前に言った、見よ、私は口が重い者です、どうしてファラオが私の言うことを聞くでしょうか

7

そして主はモーセに向かって言った、見よ、わたしはあなたをファラオに対して神とした、そしてあなたの兄弟アロンはあなたの預言者となるであろう。あなたは、わたしがあなたに命じる全てのことを彼に話すであろう、そしてあなたの兄弟アロンがファラオに話すであろう、その結果、彼の地からイスラエルの息子たちを送り出すように。私はファラオの心を固くし、エジプトの地において私のしるしと不思議を増やすだろう。そしてファラオ

はあなたがたの言うことを聞かないだろう。そして私は私の手をエジプトの上に置き、私の力をもって私の民、イスラエルの子らをエジプトの地から大いなる復讐をもって連れ出すだろう。そしてすべてのエジプト人たちは、わたしが主であることを知るだろう。わたしがわたしの手をエジプトの上に伸ばし、イスラエルの息子たちを彼らの真ん中から連れ出す時に。モーセとアロンは、主が彼らに命じたとおりに行った。モーセは八十歳であり、彼の兄弟アロンは八十三歳であった、彼らがファラオに話した時。そして主はモーセとアロンに言って、仰せられた、もしファラオがあなたがたに私たちにしるしか不思議を見せよと言うならば、あなたは兄弟アロンにその杖を取り、ファラオとその従者たちの前で地に投げよと言いなさい。そうすれば、それは竜になるだろう。モーセとアロンはファラオと彼の侍従たちの前に入った。そして彼らは主が彼らに命じたとおりに行った。アロンはファラオと彼の侍従たちの前にその杖を投げた。するとそれは蛇になった。ファラオはエジプトの知者たちと魔術師たちを召集した。そしてエジプト人の呪文師たちも彼らの魔術によって同様に行った。そして彼らは各々自分の杖を投げた、そしてそれらは竜になった、そしてアロンの杖が彼らの杖たちを飲み込んだ。そしてファラオの心は強くなり、彼らの言うことを聞かなかった、ちょうど主が彼らに命じたとおりに。

主はモーセに言われた、ファラオの心は頑なにされており、民を去らせようとしない。朝、ファラオのもとへ行け。見よ、彼は水のところへ出て行く。そして、あなたは川の岸で彼に会うであろう。そして、蛇に変わったその杖を、あなたの手に取るであろう。そしてあなたは彼に言うだろう、主、ヘブライ人の神が私をあなたに遣わして言われた、私の民を送り出せ、彼らが荒野で私に仕えるためにと。しかし見よ、あなたは今までこれを聞き入れなかった。これらのことを主は言う、このことによってあなたは私が主であることを知るだろう、見よ、私は私の手にある杖で川の中の水を打つ、そしてそれは血に変わるだろう。そして川の

中の魚たちは死ぬだろう、そして川は悪臭を放つだろう、そしてエジプト人たちは川から水を飲むことができないだろう。主はモーセに言われた、あなたの兄弟アロンに言え、あなたの杖を手に取り、エジプトの水の上に、彼らの川の上に、彼らの水路の上に、彼らの沼の上に、そして彼らのすべての集められた水の上に、あなたの手を伸ばせ。そうすれば血となるであろう。そして血となった、エジプトのすべての地において、木の中にも石の中にも。そしてモーセとアロンは、主が彼らに命じたとおりに行った。そして彼は自分の杖を持ち上げて、ファラオの前で、そして彼の従者たちの前で、川の中の水を打った。そして川の中のすべての水を血に変えた。そして川の中の魚たちは死に、川は悪臭を放ち、エジプト人たちは川から水を飲むことができず、血はエジプト全土にあった。しかしエジプトの呪術師たちも彼らの魔術で同様に行った。そしてファラオの心は硬くされ、主が言われた通り、彼は彼らの言うことを聞かなかった。しかし振り向いて、ファラオは彼の家へ入り、このことにも心を留めなかった。すべてのエジプト人たちは川の周りを掘った。水を飲むためであった。そして彼らは川から水を飲むことができなかった。そして七日が満たされた、主が川を打った後に。

そして主はモーセに言った、ファラオのもとに入り、彼に言え、主はこう言われる、私の民を送り出せ、彼らが私に仕えるために。もしあなたが送り去ることを望まないならば、見よ、私はあなたのすべての領域を蛙で打つ。そして川は蛙を吐き出すだろう。それらは上がって来て、あなたの家に入り、あなたの寝室の貯蔵室に、あなたの寝台の上に、あなたの従者たちの家に、あなたの民のところに、あなたのこね鉢の中に、そしてあなたの竈の中に入るだろう。そして、あなたの上に、あなたの従者たちの上に、あなたの民の上に、カエルたちが登るだろう。

主はモーセに言われた、あなたの兄弟アロンに言え、あなたの手であなたの杖を川々の上に、水路の上に、そして沼地の上に伸ばし、蛙たちを引き上げよ。そしてアロンはエジプトの水の上に手を伸ばし、蛙たちを引き上げた。そして蛙が上がって来て、エジプトの地を覆った。しかしエジプトの呪文師たちも同様に彼らの魔術で行い、蛙たちをエジプトの地の上に上らせた。そしてファラオはモーセとアロンを呼び、言った。私のために主に祈ってくれ。そして主に蛙を私と私の民から取り除かせてくれ。そうすれば私は彼らを送り出し、彼らが主に犠牲を捧げるようにしよう。モーセはファラオに向かって言った、私に命じてください、いつ私はあなたのため、そしてあなたの従者たちのため、そしてあなたの民のために祈るべきか、蛙たちをあなたから、そしてあなたの民から、そしてあなたがたの家々から滅ぼすために。しかし川には残されるであろう。しかし彼は明日にと言った。それゆえ言った、あなたが話したとおりに。それは、主のほかには他の者はいないことを、あなたが知るためである。そして、カエルたちはあなたから、あなたたちの家々から、中庭から、あなたの従者たちから、そしてあなたの民から取り除かれるだろう。しかし、川には残されるだろう。モーセとアロンはファラオのもとから出て行った。そしてモーセは、ファラオが定めた蛙たちの取り決めについて、主に向かって叫んだ。主はモーセが言ったとおりにされ、蛙たちは家々から、中庭から、そして畑から死んだ。そして彼らはそれらを山のように積み上げ、地は悪臭を放った。ファラオは安堵が訪れたのを見たが、彼の心は頑なになり、主が語られた通り、彼らの言うことを聞かなかった。主はモーセに言われた、アアロンに言え、あなたの手であなたの杖を伸ばし、地の土を打て、そうすればブヨがエジプトのすべての地において、人間たちの中に、そして四足獣たちの中に生じるであろう。それゆえアロンはその手に杖を伸ばし、地の土を打った。するとブヨが人間の中に、また四足獣の中に生じた。そして地のすべての土にブヨが生じた。呪文師たちも同様に、彼らの魔術によってブヨを導き出そうとしたが、できなかった。そしてブヨは人間と四足獣

の中に生じた。呪術師たちはそれゆえファラオに言った、これは神の指であると。そしてファラオの心は硬くされ、主が語ったとおり、彼は彼らの言うことを聞かなかった。主はモーセに言った、朝早く起きて、ファラオの前に立て。見よ、彼は水のところへ出て行くであろう。そしてあなたは彼に言え、主はこう言われる、わが民を送り出して、彼らが荒野において私に仕えるようにせよと。もしあなたが私の民を去らせることを望まないならば、見よ、私はあなたの上に、あなたの従者たちの上に、あなたの民の上に、そしてあなたたちの家々の上に犬蠅を送り出す。そしてエジプト人たちの家々は犬蠅で満たされるであろう。また、彼らがその上にいる地にも。そしてわたしはその日、わたしの民が住んでいるゲセムの地において不思議なわざを行うだろう。その地には犬蠅がいないだろう。それはあなたが知るためである、わたしが全地の神、主であることを。そして私は、私の民とあなたの民の間に区別を設けるだろう。しかし明日、これは地上で起こるだろう。主はこのようになさった。そして犬蠅の群れがファラオの家々の中へ、彼の従者たちの家々の中へ、そしてエジプトの全地の中へ来た。そしてその地は犬蠅によって破壊された。

ファラオはモーセとアロンを呼んで言った、来て、あなたがたの神、主に、この地で犠牲を捧げよ。そしてモーセは言った、このようになることは不可能です。というのは、我々はエジプト人たちの忌み嫌うものを我々の主なる神に犠牲として捧げるからです。もし我々がエジプト人たちの忌み嫌うものを彼らの前で犠牲として捧げるならば、我々は石打ちにされるでしょう。三日の道を行って荒野に入り、我々の神に犠牲を捧げるだろう、主が我々に言われた通りに。そしてファラオは言った、私はあなたたちを送る、そしてあなたたちの神に荒野で犠牲を捧げよ、しかし遠くに行ってはならない、したがって私のために主に祈れ。モーセは言った、私はあなたのもとから出て行き、神に祈ります。そうすれば犬蠅はあなたの従者たちから、そしてあなたの民から明日去るでしょう。ファラオよ、主に犠牲を捧げるために民を送り

出さないよう、もう二度と欺かないでください。モーセはファラオのもとから出て行き、神に祈った。主はモーセが言った通りに行い、ファラオと彼の従者たちと彼の民から犬蠅を取り除いた。そして一つも残されなかった。そしてファラオは彼の心を重くし、この時においても、民を去らせることを望まなかった。

9

主はモーセに言った、ファラオのもとに入り、彼に言いなさい、ヘブライ人の神、主はこう言われる、私の民を送り出して、彼らが私に仕えるようにせよ。もしあなたが私の民を送り去ることを望まず、それゆえまだ彼らを支配しているならば、見よ、主の手があなたの野にいる家畜、すなわち馬、荷役獣、駱駝、牛、そして羊に臨むであろう。非常に大いなる死が。そして私はその時、エジプト人の家畜とイスラエルの子らの家畜との間で不思議な業を行う。イスラエルの子らのすべてのものから、一つも死ぬことはない。そして神は期限を定めて言った、明日、主はこの言葉を地上で行うだろう。そして主は翌日この言葉を実行し、エジプト人たちのすべての家畜は死んだ。しかしイスラエルの子らの家畜からは何も死ななかった。ファラオは、イスラエルの子らのすべての家畜から何一つ死ななかったのを見たが、ファラオの心は頑なになり、民を去らせなかった。そして主はモーセとアロンに向かって言われた、あなたがたはかまどのすすで手を満たしなさい。そしてモーセはファラオとその従者たちの前で、それを天に向かって振りまきなさい。そして、エジプトの全地の上に塵を生じさせよ。そして、それは人々の上に、また四足動物の上に腫れ物となり、エジプトの全地において、人々の中にも四足動物の中にも水ぶくれが噴き出すであろう。そしてモーセは炉の煤をファラオの前で取り、それを天に撒き散らした。すると腫れ物と噴き出す水疱が人間たちにも四足獣たちにも生じた。そして魔術師たちは、腫れ物のためにモーセの前に立つことができなかった。なぜなら腫れ物が魔術師たちとエジプト全土に起こったからであ

る。しかし主はファラオの心を硬くされたので、彼は彼らの言うことを聞かなかった。主が命じられたとおりであった。主はモーセに言われた、朝早く起きて、ファラオの前に立ち、彼に言いなさい、ヘブライ人の神、主はこう言われる、私の民を送り出して、彼らが私に仕えるようにせよ。なぜなら今この時、私はすべての私の災いをあなたの心へ、あなたの従者たちへ、そしてあなたの民へ送り出すからである。それは、私のような者が他に全地にいないことを、あなたが知るためである。今、私は手を伸ばしてあなたを打ち、あなたの民を殺すだろう、そしてあなたは地から滅ぼされるだろう。そして、このゆえにあなたは保たれた。私があるあなたにおいて私の力を示すために、そして私の名がすべての地において宣べ伝えられるために。それゆえ、あなたはまだ私の民を送り去らないようにさせているのか。見よ、私は明日のこの時に、非常に激しい雹を降らせる。それはエジプトが創造された日から今日まで、かつてなかったほどのものである。今すぐ、それゆえ急いであなたの家畜を集め、平野にあるあなたのものすべてを集めよ。なぜなら、すべての人々と家畜で、あなたのもので平野にあるもの、野原で見つけられ、家に入らないならば、それらの上に雹が落ち、死ぬであろうから。ファラオの従者たちのうち主の言葉を恐れた者は、彼の家畜を家々に集めた。しかし主の言葉に心を留めなかった者は、家畜を野原に放置した。

主はモーセに言われた、あなたの手を天に向かって伸ばしなさい。そうすれば雹がエジプトの全地に、人々にも、家畜にも、また地のすべての草にも降るであろう。モーセはその手を天へと伸ばした。そして主は音と雹を与え、火が地の上を走り抜けた。そして主はエジプトのすべての地に雹を降らせた。雹があり、火が雹の中で燃えていた。その雹は非常に激しく、そのようなものはエジプトに国が興って以来、起こったことがなかった。雹はエジプトの全土を打った。人間から家畜まで、そして平野にある全ての草を雹は打ち、野原にある全ての木を雹は砕いた。ただし、イスラエルの子らがいたゲセムの地においては、雹は降らなかった。

た。ファラオは使いを送ってモーセとアロンを呼び、彼らに言った、私は今罪を犯した。主は正しく、私と私の民は不敬虔である。それゆえ、私のために主に祈れ。そして神の声と雹と火が起こることをやませよ。そうすればあなたたちを送り出そう。そしてあなたたちはもはや留まることはないであろう。モーセは彼に言った、私が都市を出て行くとき、私は主に向かって私の手を広げよう。そうすれば声は止み、雹と雨はもはやなくなるだろう。それはあなたが地は主のものであることを知るためである。そしてあなたとあなたの従者たちは、まだ主を恐れていないことを私は知っている。しかし、亜麻と大麦は打たれた。なぜなら、大麦は立っており、亜麻は穂が出ていたからである。しかし、小麦とスペルト小麦は打たれなかった。それらは遅く育つものだったからである。モーセはファラオのもとから都市の外に出て行き、主に向かって手を伸ばした。すると声は止み、雹と雨はもはや地の上に降らなかった。しかしファラオは、雨と雹と声たちが止んだのを見て、再び罪を犯し、そして彼の心と彼の従者たちの心を頑なににした。そしてファラオの心はかたくなにされ、主がモーセに語ったとおり、イスラエルの子らを去らせなかった。

10

主はモーセに言われた、ファラオのもとに行け。私が彼の心と彼の従者たちの心を硬くしたのは、これらのしるしが次々と彼らの上に来るためである。あなたがたが自分の子供たちの耳に、そして自分の孫たちに語るために、私がエジプト人たちを嘲笑したこと、そして私が彼らに行った私のしるしを語り、そしてあなたがたは私が主であることを知るであろう。モーセとアロンはファラオの前に入り、彼に言った。ヘブライ人の神、主はこう言われる。いつまであなたは私の前に恥じ入ることを拒むのか。私の民を去らせよ、彼らが私に仕えるために。もしあなたが私の民を去らせることを望まないなら、見よ、私は明日この時、多くのイナゴをあなたの全領土にもたらし。そしてそれは地の表面を覆

い、あなたは地を見ることができなくなるだろう。そしてそれは、雹があなたたちに残した地の余剰物、残されたものを全て食い尽くし、地の上であなたたちのために生えている全ての木を食い尽くすだろう。そしてあなたの家々、あなたの従者たちの家々、そしてエジプト人たちの全ての地における全ての家々が満たされるだろう。それらは、あなたの父たちも彼らのひいおじいさんたちも決して見たことがないもので、彼らが地上に存在するようになった日から今日まで見たことがないものである。そしてモーセは脇に向きを変えて、王のもとから出て行った。そしてファラオの従者たちは彼に言った、いつまでこれは私たちにとって罫であるのですか?その人々を送り出してください、彼らが自分たちの神に仕えるように。それともあなたはエジプトが滅びたことを知ることを望むのですか?そして彼らはモーセとアロンをファラオのもとへ戻した。そして彼は彼らに言った、行け、そしてあなたがたの神、主に仕えよ。しかし行く者たちは誰と誰であるか。そしてモーセは言った、私たちは若者たちと長老たちと共に行きます、息子たちと娘たちと共に、そして私たちの羊と牛と共に、なぜならそれは主の祭りだからです。そして彼は彼らに言った、私があなたがたを送り出すように、主があなたがたと共におられるように。あなたがたの荷物もか?見よ、悪があなたがたに降りかかっている。そうではない。男たちだけを行かせて、神に仕えさせよ。これこそお前たちが求めていることだからだ。そして彼らはファラオの前から追い出された。主はモーセに言われた、あなたの手をエジプトの地の上に伸ばしなさい。そしていなごを地の上に上らせなさい。そしてそれは地のすべての草と、雹が残したすべての木の実を食い尽くすであらう。そして、モーセは杖を天へ持ち上げた。主は南風を地の上に、その日全体と夜全体もたらした。朝になった。そして、南風はいなごを運び去った。そして、それをエジプト全土に連れて上げ、エジプトのすべての境界に留まった。非常に多く、それ以前にそのようなイナゴはなく、その後もそのようなことはないであらう。そしてそれは地の外観を覆い、地は破壊され、地のすべての草と、雹から残さ

れた木々のすべての果実を食い尽くした。木々にも平野のすべての草にも、エジプトのすべての地に、緑のものは何も残されなかった。

ファラオは急いでモーセとアロンを呼び、言った、私はあなたがたの神、主の前に、そしてあなたがたに対して罪を犯した。したがって、今もなお私の罪を受け入れ、あなたがたの主なる神に祈り、この死を私から取り除いてくださいますように。モーセはファラオのもとから出て行き、そして神に向かって祈った。そして主は海からの強い風に変え、そのいなごを取り上げ、それを紅海へ投げ入れた、そしてエジプトの全地において一匹のいなごも残されなかった。そして主はファラオの心を硬くし、イスラエルの子らを去らせなかった。主はモーセに言われた、あなたの手を天に向かって伸ばしなさい。そうすればエジプトの地の上に闇が、触れることのできる闇が現れるであろう。モーセはその手を天へと伸ばした。そして暗闇と暗黒と嵐がエジプトの全地の上に三日間起こった。そして誰も三日間、自分の兄弟を見なかった。そして誰も三日間、自分の寝床から起き上がらなかった。しかしイスラエルのすべての息子たちには、彼らが住んでいたすべての場所に光があった。そしてファラオはモーセとアロンを呼んで言った、行け、あなたがたの主なる神に仕えよ。ただし羊と牛は残せ。あなたがたの荷物はあなたがたとともに行かせよ。そしてモーセは言った、しかしあなたもまた、私たちに全焼の捧げ物と犠牲を与えるだろう。それを私たちは、私たちの神である主に捧げるのだ。そして私たちの家畜は私たちと共に行き、私たちはひづめ一つも残さないだろう。なぜなら、それらの中から私たちの主なる神に仕えるために取るからである。しかし私たちは、そこに着くまで、私たちの主なる神に何を捧げるべきか知らない。しかし、主はファラオの心を硬くし、彼は彼らを去らせることを望まなかった。そしてファラオは言った、私から去れ。気をつけよ、二度と私の顔を見ようとするな。お前が私の前に現れる日には、

死ぬであろう。そしてモーセは言う、あなたは言った、私はもうあなたに顔を合わせて現れないだろうと。

11

主はモーセに言われた、私はまだ一つの打撃をファラオとエジプトの上にもたらすであろう。その後、彼はあなたがたをここから送り出すであろう。しかし彼があなたがたを送り出す時、彼は完全にあなたがたを追い出すであろう。したがって、民の耳に秘密に話せ、そして各々が隣人から銀の器と金の器と衣服を求めさせよ。主は彼の民にエジプト人たちの前で恵みを与えた。そして彼らは彼らに貸した。そして人モーセはエジプト人たちの前で、ファラオの前で、そして彼の従者たちの前で非常に偉大になった。そしてモーセは言った、主はこれらの事を言われる、真夜中頃に私はエジプトの中に入る。そしてエジプトの地のすべての初子が死ぬだろう、玉座に座るファラオの初子から、石臼のそばにいる女中の初子まで、そしてすべての家畜の初子まで。そして、エジプトの全地に大きな叫びがあるだろう。そのようなものはかつて起こったことがなく、そしてそのようなものは二度と起こらないだろう。そしてイスラエルのすべての息子たちの中で、犬は人から家畜まで、その舌でうならないだろう。それは、主がエジプト人たちとイスラエルの間にどれほど多くの区別をなさるかあなたが知るためである。そしてあなたのこれらすべての家来たちが私のところに下って来て、私を拝み、あなたとあなたが導くすべての民は出て行けと言うだろう、そしてその後、私は出て行くだろう。モーセは怒りをもってファラオのもとから出て行った。主はモーセに言われた、ファラオはあなたがたの言うことを聞かないだろう。それは、わたしがわたしのしるしと不思議をエジプトの地で増し加えるためである。モーセとアロンは、これらすべてのしるしと不思議をエジプトの地でファラオの前で行った。しかし主はファラオの心を硬くし、彼はイスラエルの息子たちをエジプトの地から送り出すことを聞き入れなかった。

主はエジプトの地においてモーセとアロンに言われた、この月はあなたがたにとって月々の始まりであり、年の諸月の中で第一のものである。イスラエルの息子たちのすべての会衆に向かって語れ、言って、この月の十日に、各々父祖の家々に従って羊を取らせよ、各々家に従って羊を。もし家の中に少数の者たちしかいないので、羊一頭に対して十分でないならば、彼は自分の近くの隣人を自分と共に加えるだろう。魂の数に従って、各々に十分な分が羊一頭に対して数えられるだろう。完全な一歳の雄羊があなたがたのものとなる。その子羊たちと子山羊たちの中から取りなさい。そして、それはあなたがたによってこの月の十四日まで保たれるだろう、そしてイスラエルの息子たちの会衆のすべての群衆が夕方に向かってそれを屠るだろう。そして彼らは血を取り、二つの門柱の上と鴨居の上に置くだろう、彼らがそれらを食べる家々において。そして彼らはこの夜に火で焼かれた肉を食べ、種なしパンを苦い草と共に食べるだろう。それらを生で食べてはならない。水で茹でたものも食べてはならない。しかし火で焼いたもの、頭を足と内臓と共にしたものを食べなさい。朝まで彼のものから残してはならない、そして彼のものから骨を砕いてはならない、しかし朝まで彼のものから残されたものを火の中で焼かなければならない。このようにしてあなたがたはそれを食べなければならぬ。あなたがたの腰は帯で締められ、あなたがたの足にはサンダルを履き、あなたがたの手には杖を持ち、そしてあなたがたはそれを急いで食べよ。これは主の過越である。そして私はこの夜にエジプトの地を通過するだろう、そして私はエジプトの地のすべての初子を、人間から家畜まで打つだろう、そしてエジプト人たちのすべての神々に私は復讐を行うだろう、私は主である。そしてその血はあなたがたにとって、あなたがたがそこにいる家々の上にあるしるしとなるだろう、そして私はその血を見て、あなたがたを覆うだろう、そして私がエジプトの地を打つとき、滅ぼす災いはあなたがたに起こらないだろう。

そして、この日はあなたがたにとって記念となり、あなたがたはそれを主への祭りとして祝うであろう。あなたがたのすべての世代にわたって、永遠の定めとして、あなたがたはそれを祝うであろう。七日間、あなたがたは種なしパンを食べなければならない。そして第一の日から、あなたがたはパン種をあなたがたの家々から取り除かなければならない。パン種を食べる者は誰でも、その魂はイスラエルから滅ぼされるであろう、第一の日から第七の日まで。そして第一の日は聖なるものと呼ばれ、第七の日はあなたがたにとって聖なるものと呼ばれるであろう。すべての奴隸的な仕事をあなたがたはそれらの日にしてはならない。ただし、すべての魂のためになされるもの、これのみがあなたがたになされるであろう。そしてあなたがたはこの戒めを守らなければならない。なぜならこの日に、私はあなたがたの力をエジプトの地から導き出すからである。そしてあなたがたはこの日を、あなたがたの世代へと永遠の掟として行わなければならない。最初の月の十四日目の夕方から始めて、あなたがたは種なしパンを食べるべきである、その月の二十一日目の夕方まで。七日間、パン種はあなたがたの家々において見つけれられてはならない。パン種を入れたものを食べる者は誰でも、その魂はイスラエルの会衆から断たれるであろう、寄留者であっても土地の生まれの者であっても。すべての発酵させたパンを食べてはならない。あなたがたのすべての住む場所で、あなたがたは種なしパンを食べるであろう。

モーセはイスラエルの息子たちのすべての長老会議を呼び、そして彼らに向かって言った、去って行って、あなたたちの親族関係に従ってあなたたち自身のために羊を取り、そしてその過越を犠牲にせよ。あなたがたはヒソップの束を受け取り、戸のそばにある血に浸して、鴨居と両方の柱に、戸のそばにある血を塗るだろう。しかしあなたがたは、各々が彼の家の戸から、朝まで出て行かないだろう。そして主はエジプト人たちを打つために通り過ぎ、鴨居の上と両方の柱の上にある血を見て、その戸を通り過

ぎるだろう。そして滅ぼす者があなたがたの家々へ入って打つことを許さないだろう。そして、この言葉を掟として、あなた自身とあなたの息子たちのために、永遠に守りなさい。もしあなたがたが、主が語ったとおりにあなたがたに与えるその地に入らば、この奉仕を守りなさい。そしてもしあなたがたの息子たちがあなたがたにこの礼拝は何ですかと言うならば、そうなるでしょう。そしてあなたがたは彼らに言うであろう、これは主への過越の犠牲である。主がエジプトにおいてイスラエルの子らの家々を覆われた時、エジプト人たちを打たれたが、私たちの家々は救い出されたと。そして民は身をかがめて礼拝した。そして、イスラエルの息子たちは去って行って、主がモーセとアロンに命じたように、そのようにした。

真夜中になった時、主はエジプトの地のすべての初子を打った。玉座に座るファラオの初子から、穴の中にいる捕虜の女の初子まで、そしてすべての家畜の初子までも。そしてファラオは夜に起き上がり、彼の従者たちと、すべてのエジプト人たちも起き上がった。そして大きな叫びがエジプト全土に起こった。なぜなら、その中に死んだ者がいない家はなかったからである。そしてファラオは夜にモーセとアロンを呼び、彼らに言った、起きて、私の民の中から出て行け、あなたたちもイスラエルの息子たちも。行って、あなたたちが言うように、あなたたちの神、主に仕えよ。そして、あなたがたの羊と牛を取り上げて行け、そして私をも祝福せよ。そしてエジプト人たちは、彼らをこの地から追い出そうと、熱心に人々を強制していた。なぜなら彼らは我々は皆死にかけていると言ったからである。人々は、彼らのこねた生地が発酵させられる前に、彼らの衣服の中に縛られた彼らの生地を、彼らの肩の上に取り上げた。しかしイスラエルの息子たちは、モーセが彼らに命じたように行い、そしてエジプト人たちから銀の器と金の器と衣服を求めた。そして主は、エジプト人たちの前で御自分の民に恩恵を与えられた。そして彼らは彼らに貸し、そしてエジプト人たちを略奪した。

イスラエルの子らはラメセスを出発してソコトへ向かった。徒歩の男子は六十万人で、荷物は含まれていない。そして多くの混合した群衆が彼らと共に上って行き、そして羊、そして牛、そして非常に多くの家畜も共にあった。そして彼らはエジプトから持ち出した生地を焼いて、種なしの灰焼きパンを作った。それは発酵していなかった。なぜならエジプト人たちが彼らを追い出したので、彼らは留まることができず、また道中のための食料も自分たちのために用意することができなかったからである。イスラエルの子らの居住は、彼らがエジプトの地とカナンの地に住んだものであり、四百三十年であった。そして四百三十年の後に、主のすべての力がエジプトの地から夜に出て行った。警戒は主のためにあり、彼らをエジプトの地から導き出すためである。あの夜これは、主のための警戒であり、すべてのイスラエルの子らが彼らの世代にわたって守るべきものである。主はモーセとアロンに言った、これが過越の律法である、すべての外国人はそれから食べてはならない。そして全ての家僕または銀で買われた者を割礼しなければならない。そうすればその時、彼はそれから食べることができる。寄留者または雇い人は、それから食べてはならない。一つの家の中で食べられるであろう、そしてあなたがたはその肉を家から外へ運び出してはならない、そしてあなたがたはその骨を砕いてはならない。イスラエルの子らの全会衆がそれを行う。もし寄留者が主の過越を行うためにあなたがたのところに来るならば、彼のすべての男性に割礼を施しなさい。そうすれば彼はそれを行うために近づくことができ、その地に生まれた者と同じようになる。割礼を受けていない者は誰もそれから食べてはならない。法は、土着の人にも、あなたがたのもとに来た寄留者にも、一つであるだろう。そしてイスラエルの子らは、主がモーセとアロンを通して彼らに命じたとおりに行った。そしてその日、主はイスラエルの子らを彼らの力とともにエジプトの地から導き出した。

そして主はモーセに言われた、私にすべての初子を聖別せよ。イスラエルの息子たちの中で、人から家畜まで、すべての胎を開く初めに生まれた者は、私のものである。モーセは民に向かって言った、この日を覚えよ、あなたがたがエジプトの地から、奴隷の家から出た日を。なぜなら主は力強い御手であなただをここから導き出されたからである。そしてパン種は食べられてはならない。なぜなら、あなたたちは今日、新しい月に出て行くからである。そして、あなたの神である主が、あなたをカナン人、ヘテ人、アモリ人、ヒビ人、エブス人、ギルガシ人、ペリジ人の地へ連れて入る時、すなわち主があなたの父祖たちに誓って、乳と蜜の流れる地をあなたに与えると約束された地へ連れて入る時、あなたはこの月にこの奉仕を行わなければならない。六日間、あなたがたは種なしパンを食べるであろう、そして七日目は主の祭りである。種なしパンを七日間食べなければならない。種入りパンはあなたのものに見られてはならない。パン種もあなたのすべての領域内にあってはならない。そしてあなたはその日にあなたの息子に告げるだろう、言って、主なる神が私にこれを行ったのは、私がエジプトから出て行った時のためである。そしてそれは、あなたの手の上のしるしとなり、あなたの目の前の記念となるであろう。それは主の律法があなたの口の中にあるためである。なぜなら力強い御手をもって、主なる神があなたをエジプトから導き出されたからである。そして、この法を季節の時に従って日々守れ。

そして、主、あなたの神が、あなたの父たちに誓ったとおりに、あなたをカナン人の地に導き入れるとき、彼はそれをあなたに与えるであろう。そして、あなたはすべての子宮を開く雄たちを主に取り分けるであろう。群れから、またはあなたの家畜の中で、あなたに生まれるすべての子宮を開く雄たちを、あなたは主に聖別するであろう。すべてロバの子宮を開くものは、羊と交換しなければならない。もしあなたが交換しないなら、それを贖わなければならない。あなたの息子たちのすべての人間の初子を贖

わなければならない。もしあなたの息子がこの後にあなたに尋ねて、これは何ですかと言うならば、あなたは彼に、主が強い御手をもって私たちをエジプトの地から、奴隷の家から導き出されたからですと言うだろう。しかしファラオが私たちを送り去ることを拒んだとき、彼はエジプトの地のすべての初子を、人間の初子から家畜の初子まで殺した。このゆえに私は子宮を開くすべての雄を主に犠牲として捧げ、そして私の息子たちのすべての初子を贖うであろう。そしてそれはあなたの手の上にしるしとなり、あなたの目の前に揺るがないものとなるだろう。なぜなら主は強い手であなたをエジプトから導き出したからである。

ファラオが民を送り出したとき、神は彼らをフィリスティン人の地の道へ導かなかった。なぜならそれは近かったからである。というのも神は言われた、民が戦争を見て後悔し、エジプトへ引き返すかもしれないと。そして神は民を荒野への道、紅海へと導いた。しかし五代目に、イスラエルの息子たちはエジプトの地から上った。そしてモーセはヨセフの骨を自分と共に取った。なぜなら彼は誓いによってイスラエルの子らに誓わせていたからである、こう言って、主は必ずあなたたちを顧みられる。そしてあなたたちは私の骨をここからあなたたちと共に運び上げるであろう。

イスラエルの子らはソコトから出発し、荒野のそばのエタムに宿営した。そして神は彼らを導いた、昼は雲の柱で彼らに道を示すために、そして夜は火の柱で。しかし、雲の柱は昼に、火の柱は夜に、全ての民の前から去らなかった。

14

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの子らに告げよ。引き返して、集落の前、ミグドルと海の間、バアル・ゼフオンの向かいに宿営せよ。その前で、海のほとりに宿営せよ。そ

してファラオは彼の民に言うだろう、イスラエルの子らは地においてさまよっている、というのも荒野が彼らを閉じ込めたからだ。私はファラオの心を硬くし、彼は彼らの後を追跡するだろう。そして私はファラオと彼のすべての軍隊において栄光を受けるだろう。そしてすべてのエジプト人たちは、私が主であることを知るだろう。そして彼らはこのように行った。そして、民が逃げたことがエジプト人の王に報告された。そして、ファラオとその従者たちの心は民に対して変わり、彼らは言った、我々は何とこのことをしたのか、イスラエルの子らを送り去って、我々に仕えないようにするとは。したがってファラオは彼の戦車を繋ぎ、そして彼のすべての民を彼自身と共に率いて行った。そして六百の精鋭戦車と、エジプト人たちの全ての馬と、その全てに配置された三列目の者たちを取った。そして主はエジプトの王ファラオの心と彼の従者たちの心を硬くし、イスラエルの子らの後を追跡した。しかしイスラエルの子らは高く上げた手をもって出て行った。そしてエジプト人たちは彼らの後を追跡し、海のそばに野営している彼らを見つけた。そしてファラオのすべての馬と戦車、そして騎兵たち、そして彼の軍隊が、宿営地の向かい側に、ベエルセフォンの向かい側にいた。そしてファラオが近づいていた。イスラエルの子らが目を上げて見ると、エジプト人たちが彼らの後ろに陣を張っていた。そして彼らは非常に恐れた。しかしイスラエルの子らは主に向かって叫んだ。そして彼らはモーセに向かって言った、エジプトの地に墓が存在しないために、あなたは私たちを荒野で殺すために導き出したのか。あなたは私たちに何をしたのか、エジプトから導き出して。これは私たちがエジプトであなたに話した言葉ではなかったか、私たちを放っておいてくれ、私たちがエジプト人たちに仕えるようにと言いながら。なぜなら私たちがエジプト人たちに仕えることは、この荒野で死ぬことよりも良いからだ。

モーセは民に向かって言った、勇気を持って、立て、そして見よ、主からの救いを。それは今日私たちになされるであろう。な

ぜなら、あなたがたが今日エジプト人たちを見たその仕方、あなたがたは永遠にもはや彼らを見ることはないであろう。主はあなたがたのために戦い、あなたがたは黙っているであろう。主はモーセに言った、なぜあなたは私に向かって叫ぶのか。イスラエルの子らに話し、彼らを出発させよ。そしてあなたはあなたの杖を持ち上げ、あなたの手を海の上に伸ばし、それを分けよ。そしてイスラエルの子らを、乾いた地として海の真ん中へ入らせよ。そして見よ、私はファラオの心と、すべてのエジプト人たちの心を硬くする。そして彼らは彼らの後に入る。そして私はファラオにおいて、彼のすべての軍隊において、戦車において、そして彼の馬において栄光を受ける。そしてすべてのエジプト人たちは、わたしが主であることを知るだろう。わたしがファラオにおいて、また戦車たちにおいて、また彼の馬たちにおいて栄光を受ける時に。神の天使は、イスラエルの子らの陣営の前を進んでいたが、後ろに移動した。そして雲の柱も彼らの前から移動し、彼らの後ろに立った。そしてそれはエジプト人の陣営とイスラエルの陣営の間に入り、そこに立った。暗闇と暗黒が生じ、夜が過ぎ去った。そして彼らは一晩中互いに近づくことはなかった。モーセはその手を海の上に伸ばした。そして主は激しい南風で一晩中その海を追いやり、その海を乾いた地とした。そして水は裂かれた。そしてイスラエルの子らは乾いた地を通して海の真ん中に入り、その水は右からの壁となり、左からの壁となった。

そしてエジプト人たちは追跡し、彼らの後に入った。そしてファラオの全ての馬、戦車、騎手たちが海の中へ入った。朝の見張りの時に起こった、そして主は火と雲の柱の中からエジプト人たちの陣営を見下ろし、そしてエジプト人たちの陣営を混乱に投げ込んだ。そして彼らの戦車の車軸を縛り、力をもって彼らを導いた。そしてエジプト人たちは言った、イスラエルの前から逃げよう、なぜなら主が彼らのためにエジプト人たちと戦っているからだ。主はモーセに言った、あなたの手を海の上に伸ばせ、そして水を戻らせよ、そしてエジプト人たちを、戦車たちと騎手たち

を覆わせよ。モーセはその手を海の上に伸ばした。すると水は日中に元の場所へ戻った。エジプト人たちは水から逃げた。そして主はエジプト人たちを海の真ん中で振り落とした。そして戻った水は、戦車たちと乗り手たち、そして彼らの後ろから海に入ったファラオのすべての軍勢を覆った。そして彼らのうち一人も残されなかった。しかしイスラエルの息子たちは海の真ん中の乾いた所を通って行った。水は彼らにとって右からの壁となり、左からの壁となった。そして主はその日、イスラエルをエジプト人たちの手から救い出した。そしてイスラエルは、海の岸のそばで死んでいるエジプト人たちを見た。イスラエルは、主がエジプト人たちに行った、その大いなる手を見た。そして民は主を恐れ、神とその従者モーセを信じた。

15

その時、モーセとイスラエルの子らは、この歌を神に歌い、こう言った。主に歌おう。主は栄光に満ちて栄光を受けられた。馬と乗り手を海に投げ込まれたから。助け手また保護者が私にとって救いとなった。この方は私の神、そして私は彼に栄光を帰すだろう。私の父の神、そして私は彼を高く上げるだろう。主は戦争を打ち砕く方、主がその名である。ファラオの戦車と彼の軍勢を海に投げ込み、選ばれた乗り手たち、三位の者たちは、紅海に飲み込まれた。海が彼らを覆い、彼らは石のように深みへ沈んだ。主よ、あなたの右の手は力において栄光を受けました。主よ、あなたの右の手は敵たちを打ち砕きました。そして、あなたの栄光の豊かさによって、あなたは敵対者たちを打ち砕いた。あなたは怒りを送り、それは藁のように彼らを食い尽くした。そしてあなたの怒りの霊によって水は分かれた、水たちは壁のように凝固した、波たちは海の真ん中で凝固した。敵は言った、追跡して捕らえるだろう、戦利品を分けるだろう、私の魂を満たすだろう、私の剣で殺すだろう、私の手が支配するだろう。あなたはあなたの霊を送った、海が彼らを覆った、彼らは激しい水の中に鉛

のように沈んだ。神々の中で、主よ、誰があなたに似ているでしょうか。誰があなたに似ているのでしょうか。聖なるものの中で栄光を受け、栄光において驚くべき方、不思議を行う方。あなたがあなたの右手を伸ばすと、地が彼らを飲み込んだ。あなたはあなたの正義によって、あなたが贖ったこの民を導き、あなたの力によって彼らをあなたの聖なる住まいへと導いた。諸国民は聞いて怒り、陣痛がペリシテの住民を捕らえた。その時、エドムの指導者たちは急ぎ、モアブ人の支配者たちは震えに捕らえられ、カナンに住むすべての者たちは溶けた。彼らの上に震えと恐れが落ちるように、あなたの腕の大きさによって彼らが石のようになるように、あなたの民が通り過ぎるまで、主よ、あなたが獲得したこの民が通り過ぎるまで。彼らを導き入れて、あなたの相続の山に植えよ。主よ、あなたが備えた準備された住まいに、主よ、あなたの手が準備した聖所に。主は時代を統治し、時代を超えて、そしてなお統治し続ける。ファラオの馬が戦車と騎手と共に海に入ったので、主は彼らの上に海の水をもたらしした。しかしイスラエルの子らは海の真ん中の乾いた地を通って行った。

女預言者でアロンの姉妹であるマリヤムがタンバリンを手に取ると、すべての女たちがタンバリンと合唱と共に彼女の後ろに続いて出て行った。ミリアムは彼らの先頭に立って歌い始め、こう言った。主に向かって歌おう。栄光に満ちて栄光を受けたのだから。馬と乗り手を海に投げ込んだ。モーセはイスラエルの子らを紅海から導き出し、彼らをシュルの荒野へと連れて行った。そして彼らは三日間荒野を進んだが、飲むための水を見つけることができなかった。彼らはメラに來たが、メラから飲むことができなかった。なぜなら苦かったからである。このゆえに彼はあの場所の名前を苦さと名付けた。そして民はモーセに対して不平を言い、我々は何を飲めばよいのかと言った。モーセは主に向かって叫んだ。主は彼に木を示し、彼はそれを水の中に投げ入れた。すると水は甘くなった。そこで主は彼に律法と裁きを定め、そこで彼を試された。そして言った、もしあなたがあなたの神である主

の声を聞き従い、彼の前で喜ばしいことを行い、彼の戒めに耳を傾け、彼のすべての掟を守るならば、私がエジプト人たちに下したすべての病を、私はあなたの上に下さないであろう。なぜならば私はあなたを癒す主、あなたの神であるからである。そして彼らはエリムに来了。そこには十二の水の泉と七十のヤシの木の幹があった。そして彼らはそこで水のそばに野営した。

16

彼らはエリムから出発し、イスラエルの子らの全会衆はシンの荒野へ来了。それはエリムとシナイの間にある。彼らがエジプトの地から出た後の第二の月の十五日目のことであつた。イスラエルの息子たちの全会衆が、モーセとアロンに対してつぶやいた。そしてイスラエルの息子たちは彼らに向かって言った、ああ私たちがエジプトの地において主によって打たれて死んでいたならよかったのに、私たちが肉の鍋の上に座り、満腹になるまでパンを食べていた時に。なぜならあなたがたは私たちをこの荒野へ導き出して、この会衆全体を飢饉で殺すためだからだ。主はモーセに言われた、見よ、私はあなたがたに天からパンを降らせる。民は出て行き、日ごとにその日の分を集めるであろう。こうして私は彼らを試し、彼らが私の律法に従って歩むか否かを見る。そして六日目には、彼らが持ち込むものを準備すれば、それは彼らが日ごとに集めるものの二倍になるであろう。そしてモーセとアロンはイスラエルの子らの全会衆に向かって言った、夕方にあなたがたは知るだろう、主があなたがたをエジプトの地から導き出したことを。そして朝、あなたがたは主の栄光を見るだろう。神があなたがたのつぶやきを聞くときに。しかし私たちは何者であるのか、あなたがたが私たちに対してつぶやくとは。そしてモーセは言った、主があなたがたに夕方には肉を食べさせ、朝にはパンを満腹になるまで与えてくださるのは、主があなたがたの不平を聞かれたからである。その不平をあなたがたは私たちに対して

つぶやいている。しかし私たちは何者であろうか?あなたがたの不平は私たちに対するものではなく、神に対するものである。

モーセはアアロンに言った、イスラエルの子らの全会衆に言え、神の前に近づけ、というのは神はあなたたちのつぶやきを聞いたからである。しかしアロンがイスラエルの息子たちのすべての会衆に話していたとき、彼らは荒野へと振り返り、そして主の栄光が雲の中に現れた。そして主はモーセに向かって話し、言った。私はイスラエルの息子たちのつぶやきを聞いた。彼らに向かって話し、言え、夕方にあなたがたは肉を食べ、朝にあなたがたはパンで満たされるであろう。そしてあなたがたは知るであろう、私があなたがたの神、主であることを。夕方になり、うずらが上がってきて陣営を覆った。朝になると、露が陣営の周りで止んでいた。そして見よ、荒野の面に、コエンドロの種のように細かく白い、霜のようなものが地の上にあった。しかしそれを見たイスラエルの息子たちは、互いに言った、これは何であるか?なぜなら彼らは、それが何であるかを知らなかったからである。そしてモーセは彼らに言った、これは主があなたがたに食べるために与えたパンである。これは主が命じた言葉である。それから各々ふさわしいゴモルを集めよ。頭数によって、あなたたちの人数によって、各々あなたたちの天幕仲間たちと共に集めよ。イスラエルの息子たちはこのようにした、そして彼らは集めた、ある者は多くを、そして、ある者は少ないものを。そしてゴモルで測ったところ、多く集めた者も余ることがなく、少なく集めた者も不足することがなかった。各々が自分に必要な分だけ集めたのである。モーセは彼らに言った、誰も彼のものを朝まで残してはならない。

そして彼らはモーセの言うことを聞かなかったが、何人かはそれを朝まで残した。するとそれは虫が湧き、悪臭を放った。そしてモーセは彼らに対して怒った。そして彼らは毎朝それを集めた、各々自分に定められた量を。しかし太陽が熱すると、それは

溶けた。六日目に、彼らは必要なものを二倍、一人につき二ゴモルを集めた。そして会衆のすべての支配者たちが入って来て、モーセに報告した。モーセは彼らに言った、これは主が話された言葉ではないか。明日は主への聖なる休息の安息日である。焼くものは焼き、煮るものは煮よ。そしてすべての余りは朝まで貯蔵庫に残しておけ。そして彼らは、モーセが彼らに命じたように、それを朝まで残しておいた。そしてそれは悪臭を放たず、虫も生じなかった。モーセは言った、今日食べよ、なぜなら今日は主の安息日であるから、それは平野の中に見つけられないだろう。六日間、あなたがたはそれを集めなさい。しかし第七日は安息日である。その日には何もないからである。七日目に、民の中のある者たちが集めようと出て行つたが、見つからなかった。主はモーセに言われた、いつまであなたがたは私の戒めと私の律法に聞き従うことを望まないのか。見よ、主はあなたがたにこの日を安息日として与えられた。このゆえに、彼は六日目にあなたがたに二日分のパンを与えられた。各々あなたがたの家にとどまりなさい。七日目には誰もその場所から出て行ってはならない。そして、その民は七日目に休んだ。そしてイスラエルの子らはそれを名付けて、その名をマナとした。それはまるで白いコリアンダーの種のもようであつた、そしてその味は蜂蜜入りのケーキのもようであつた。そしてモーセは言った、これは主が命じられた言葉である。マナーゴモルを満たして、あなたがたの世代のために貯蔵庫に入れよ。それは、主があなたがたをエジプトの地から導き出された時、あなたがたが荒野で食べたパンを、彼らが見るためである。そしてモーセはアロンに言った、黄金の壺を一つ取り、それにゴモル一杯のマナを入れ、それを神の前に置け。あなたがたの世代のための保存のために。主がモーセに命じた方法のとおり、そしてアロンは証の前にそれを保存のために置いた。そして、イスラエルの息子たちはそのマナを四十年間食べた、彼らが人の住む世界へ来るまで。彼らはそのマナを食べた、フェニキアの地方へ到着するまで。ゴモルは三メトロンの十分の一であつた。

そしてイスラエルの子らの全会衆は、主の言葉によって、彼らの宿営に従ってシンの荒野から出発し、ラフィデインに宿営した。しかし民が飲む水はなかった。そして民はモーセに向かって不平を言い、私たちに水を与えて、私たちが飲めるようにしてくださいと言った。そしてモーセは彼らに言った、なぜあなたがたは私に不平を言うのか、そしてなぜあなたがたは主を試すのか。そこで民は水に渇き、民はそこでモーセに向かって不平を言って言った、なぜこのようなことを?あなたは私たちをエジプトから連れ上ったのか、私たちと私たちの子供たちと私たちの家畜を渇きで殺すために。モーセは主に向かって叫んで言った、この民に私は何をすればよいのか。もう少しで、彼らは私を石打ちにするだろう。そして主はモーセに言った、この民の前に行け。そしてあなた自身のために民の長老たちから連れて行け。そしてあなたがその川を打ったその杖を、あなたの手に取れ。そして行け。見よ、私はそこに、ホレブの岩の上で、あなたの前に立つ。あなたはその岩を打つであろう。すると水がそこから出て、民は飲むであろう。モーセはこのようにイスラエルの子らの前で行った。そして彼はその場所の名前を試練と非難と名付けた。イスラエルの息子たちの非難のゆえに、そして主を試したゆえに、彼らは主が私たちの中におられるのか、それとも否かと言った。

アマレクが来て、ラフィデインでイスラエルと戦った。モーセはヨシュアに言った、あなた自身のために力強い男たちを選び、出て行って明日アマレクと戦いなさい。見よ、私は丘の頂上に立ち、神の杖は私の手の中にある。そしてヨシュアはモーセが彼に言った通りに行い、出て行ってアマレクに対して戦列を敷いた。そしてモーセとアーロンとフルはその丘の頂上に上った。そして、モーセが手を上げたときにはイスラエルが勝ち、手を下ろしたときにはアマレクが勝った、ということが起こった。モーセの手は重かった。そして彼らは石を取って彼の下に置き、彼はそ

の上に座った。そしてアロンとホルは彼の手を、一方はこちらから、もう一方はあちらから支えた。そしてモーセの手は日没までしっかりと固定された。そして、ヨシュアはアマレクとその民すべてを剣の殺戮によって敗走させた。主はモーセに言われた、これを記念として書に書き記し、ヨシュアの耳に入れよ。なぜなら、わたしは天の下からアマレクの記念を完全に消し去るからである。そしてモーセは主に祭壇を建て、その名を主は私の避難所と名付けた。なぜなら、主は秘密の手でアマレクに対して世代から世代へと戦うからである。

18

そしてイオトル、ミディアンの祭司でモーセの義理の父は、主がイスラエル、ご自身の民に行ったすべてのことを聞いた。なぜなら主がイスラエルをエジプトから導き出したからである。しかし、モーセの義理の父イェトロは、モーセの妻ツイポラを、彼女の解放の後に、取った。そして彼女の二人の息子たち、その一人の名前はゲルショムで、私は異国の地で寄留者であったと言って、そして二番目の名前はエリエゼルであり、私の父の神は私の助け手であり、ファラオの手から私を救い出したと言った。そしてイオトル、モーセの義理の父と息子たち、そして妻がモーセのもとへ荒野へ出て行った。そこで彼は神の山に野営していた。モーセに報告があった、見よ、あなたの義父イェトロがあなたのところに来ます、そしてあなたの妻と二人の息子たちが彼と共に。モーセは義父に会うために出て行き、彼に礼拝し、彼にキスをし、互いに挨拶を交わし、彼らをテントの中に連れて入った。そしてモーセは義父にすべてを語った。主がファラオとすべてのエジプト人たちに行ったこと、イスラエルのために、そして道において彼らに起こったすべての苦勞を、そして主が彼らをファラオの手から、そしてエジプト人たちの手から救い出したことを。イオトルは、主が彼らに行ったすべての良いことについて驚いた。なぜなら主は彼らをエジプト人の手から、そしてファラオの手か

ら救い出したからである。そしてイオトルは言った、主は祝福されますように、なぜなら彼らをエジプト人たちの手から、そしてファラオの手から救い出されたからです。今、私は知った。主はすべての神々よりも偉大であると。彼らが彼らを攻撃したゆえに。そしてモーセの義父イオトルは全焼の捧げ物と犠牲を神に取った。そしてアロンとイスラエルのすべての長老たちが、神の前でモーセの義父と共にパンを食べるために来た。

そして次の日の後、モーセは人々を裁くために座った、そしてすべての人々はモーセのそばに朝から夕方まで立っていた。そしてイオトルは民に対して行うすべてのことを見て言った、あなたが民に対して行っているこれは何か。なぜあなたは一人で座り、民は皆、朝から夕方まであなたのもとに立っているのか。そしてモーセは義理の父に言った、民が神からの裁きを求めるために私のところに来るのです。彼らに論争が生じるときはいつでも、彼らは私のところに来る。そして私は各々を裁き、彼らに神の命令と神の律法を知らせるのである。モーセの義理の父は彼に言った、あなたはこの事を正しく行っていない。破壊によって、あなたは我慢できずに破壊されるだろう、あなたも、そしてあなたと共にいるこのすべての民も。この言葉はあなたにとって重い。あなたは一人でそれを行うことはできないだろう。今、それゆえ私の言葉を聞きなさい、そして私はあなたに助言しよう、そうすれば神があなたと共にあるだろう。あなたは民のために神に向かう者となれ、そしてあなたは彼らの言葉を神に運ぶのだ。そして、あなたは彼らに神の命令と彼の律法を厳粛に警告し、彼らが歩むべき道を示し、彼らが行うべき働きを示すであろう。そしてあなたは自分自身のために、すべての民の中から、力ある男たち、神を畏れる男たち、正しい男たち、傲慢を憎む者たちを選び、彼らの上に千人隊長、百人隊長、五十人隊長、十人隊長を任命するだろう。そして彼らは常に民を裁き、しかし重大な事柄は彼らがあなたのもとに持ち上げ、しかし些細な裁きは彼ら自身が裁くだろう。そして彼らはあなたの負担を軽くし、あなたを助け

るだろう。もしあなたがこの言葉を行うなら、神があなたを強めるだろう、そしてあなたは立つことができるだろう、そしてこの民すべては平和と共に自分たちの場所へ来るだろう。モーセは義父の声を聞き、彼が彼に言ったことをすべて行なった。そしてモーセは全イスラエルから力強い男たちを選び、彼らを千人隊長、百人隊長、五十人隊長、十人隊長として任命した。そして彼らは常に民を裁いた。しかし、すべての重大な事柄は彼らはモーセのもとに持ち上げた。しかし、すべての軽い事柄は彼ら自身が裁いた。モーセは自分の義理の息子を送り出し、そして彼は自分の地へ去って行なった。

19

イスラエルの息子たちのエジプトの地からの出発の第三の月のこの日に、彼らはシナイの荒野へ来た。そして彼らはラフィデインから出発し、シナイの荒野に来た。そしてイスラエルはそこで山の向かい側に野営した。そしてモーセは神の山に登った。そして神は山から彼を呼んで言った、これらのことをヤコブの家に言い、イスラエルの息子たちに告げ知らせよ。あなたがた自身が見たように、私がエジプト人たちに行なったことの数々、そして私があなたがたを鷲の翼に乗せるかのように取り上げ、あなたがたを私自身のもとへ連れて来たのである。そして今、もしあなたたちが私の声を聞き、私の契約を守るならば、あなたたちはすべての諸国民の中から私にとって特別な民となるだろう。なぜなら全地は私のものだからである。あなたたちは私にとって祭司の王国であり、聖なる国民となるだろう。これらの言葉をあなたはイスラエルの子らに告げるだろう。モーセは来て、民の長老たちを呼び、神が彼らに命じたこれらすべての言葉を彼らの前に置いた。民は皆、一致して答えて言った。神が言われたことをすべて、私たちは行い、聞き従います。そして、モーセはこれらの言葉を神に申し上げた。主はモーセに言われた、見よ、私は雲の柱の中であなたのもとに来る。それは民が私があなたに語るのを聞き、そ

してあなたを永遠に信じるためである。そしてモーセは民の言葉を主に報告した。主はモーセに言った、下って行って民に警告し、今日と明日、彼らを清め、衣服を洗わせよ。そして彼らを三日目に備えさせよ。なぜなら三日目に、主がシナイ山に降りてこられるからである、すべての民の前で。そして、あなたは民を周りに分離し、言いなさい。自分自身に注意せよ、その山に登ることと、その何かに触れることに。すべてその山に触れた者は、死によって死ぬだろう。手を触れてはならない。石で打ち殺されるか、矢で射られるからである。家畜であれ人であれ、生きることができない。声とラッパと雲が山から去る時、彼らは山に登るであろう。

モーセは山からその民のもとへ降り、彼らを聖別し、そして彼らはその衣服を洗った。そして民に言った、準備をしなさい。三日間、女に近づいてはならない。そして三日目の日に、夜明けに向かって起こったことがあった。そして声々と稲妻と暗い雲がシナイ山の上に現れ、ラッパの音が大きく鳴り響いた。そして陣営の中にいたすべての民は恐れおののいた。そしてモーセは民を陣営から神との会見へと導き出し、彼らは山のもとに立った。シナイ山は全体が煙を出していた、神が火の中でその上に降りてきたことによって、そして煙が上がっていた、炉の煙のように、そして全ての民は非常に驚いた。ラッパの音は進むにつれて非常に強くなった。モーセが話すと、神は声で彼に答えた。主はシナイ山の頂上に降りられた。そして主は山の頂上にモーセを呼ばれ、モーセは登った。そして神はモーセに言った、下って行き、民に警告せよ。決して神に近づいて理解しようとしないうに。さもなくば彼らのうちから多くの者が倒れるであろう。そして、主なる神に近づく祭司たちは聖別されなければならない、さもなくば主が彼らを滅ぼすかもしれない。

そしてモーセは神に向かって言った、民はシナイ山に登ることができないでしょう、なぜならあなたは私たちに証言して、山

を区別し、そしてそれを聖別せよと言ったからです。主は彼に言った、行け、下れ、そしてあなたとアロンは共に上れ。しかし祭司たちと民は神に向かって無理に上ろうとしてはならない。主が彼らを滅ぼすことがないように。モーセは民のもとに下り、彼らに言った。

20

そして主はこれらすべての言葉を話して、言った 私はあなたの神、主である。私はあなたをエジプトの地から、奴隷の家から導き出した者である。あなたには、私のほかに神々があつてはならない。あなたは自分のために像を作つてはならない。また、上は天にあるもの、下は地にあるもの、地の下の水の中にあるもの、すべてのものの似姿も作つてはならない。あなたは彼らを崇拜してはならず、また彼らに仕えてはならない。私はあなたの神、主であり、嫉妬深い神である。父たちの罪を子供たちに報い、私を憎む者には三代目と四代目にまで及ぶ。そして私を愛し、私の命令を守る者たちに、千代にまで憐れみを施す。あなたは、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主、あなたの神は、その名をみだりに唱える者を罰せずにはおかないからである。安息日を聖別することを覚えよ。六日間働き、あなたの全ての仕事をなすべし。しかし第七の日は、あなたの神である主の安息日である。この日にあなたは、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子も、あなたの娘も、あなたの僕も、あなたの女僕も、あなたの牛も、あなたの荷役獣も、あなたのすべての家畜も、あなたの中に寄留している寄留者も。なぜなら六日において、主は天と地と海と、それらにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたからである。このゆえに主は七日目を祝福し、それを聖別された。あなたの父と母を敬え。それによってあなたに幸いがあり、あなたの神、主があなたに与える良い地の上で長く生きることができるよう。あなたは姦淫を犯してはならない。あなたは盗んではならない。あなたは殺してはならな

い。あなたの隣人について偽りの証言をしてはならない。あなたの隣人の妻を欲してはならない。あなたの隣人の家を欲してはならない。彼の畑も、彼の子供も、彼の女中も、彼の牛も、彼の荷役獣も、彼のすべての家畜も、あなたの隣人に属するものすべても欲してはならない。

そしてすべての民は、その声と、そのたいまつと、そのラッパの声と、煙っている山を見た。そして恐れて、すべての民は遠くに立った。そして彼らはモーセに向かって言った、あなたが私たちに話してください、そして神が私たちにに向かって話させないでください、私たちが死なないように。そしてモーセは彼らに言った、勇気を持ちなさい。神があなたたちをテストするために来られたのです。それは、神への恐れがあなたたちの中にあるようになり、あなたたちが罪を犯さないようにするためです。民は遠くに立っていたが、モーセは神がおられる暗闇の中へ入って行った。主はモーセに言われた、あなたはヤコブの家にこれらのことを言い、イスラエルの子らに宣言しなさい。あなたがたは見た。私が天からあなたがたに語ったことを。あなたがたは、自分たちのために銀の神々を作ってはならない。そして金の神々も、自分たちのために作ってはならない。地から私のために祭壇を作りなさい。そしてその上で、あなたたちの焼き尽くす捧げ物、あなたたちの救いの捧げ物、羊、そしてあなたたちの子牛を犠牲として捧げなさい。私が私の名を置くすべての場所において、私はあなたのところに来て、あなたを祝福するであろう。もしあなたが石で私に祭壇を作るならば、切り出された石でそれらを建ててはならない。というのは、あなたはあなたの剣をそれらの上に振り下ろしたので、それらは汚されたからである。あなたは階段で私の祭壇に上ってはならない。それの上であなたの裸を明らかにしないために。

そして、これらはあなたが彼らの前に置く法令である。もしあなたがヘブライ人の奴隷を獲得するなら、六年間あなたに仕えるが、七年目には自由な者として無償で去る。もし彼が独りで入るならば、独りで出て行くであろう。もし女が彼と共に入るならば、彼の妻も出て行くであろう。そしてもし主人が彼に妻を与え、彼に息子たちまたは娘たちを産んだなら、その妻と子供たちは彼の主人のものとなり、彼は独りで出て行くことになる。もしその僕が答えて私は私の主人と妻と子供たちを愛しているので、自由になって去りませんと言うならば、彼の主人は彼を神の裁きの場へ連れて行くだろう。そしてその時、彼を扉の敷居の上へ連れて行き、彼の主人は錐で彼の耳に穴を開けるだろう。そして彼は永遠に彼に仕えるだろう。

もし誰かが自分の娘を家僕として売るならば、女奴隷たちが出て行くようには去らないだろう。もし彼女の主人が、彼女に同意した者が、喜ばないならば、彼は彼女を贖わなければならない。しかし外国の民に彼女を売る権利は主人にはない、なぜなら彼は彼女に対して約束を破ったからである。もし息子に彼女を婚約させるなら、娘たちの権利に従って彼女を扱わなければならない。もし彼が自分のために別の女を娶るなら、彼女の必要なもの、衣服、そして交わりを奪ってはならない。もしこれら三つのことを彼女にしなければ、彼女は銀なしに無償で出て行くだろう。もし誰かがある者を打ち、そして死んだならば、死をもって死刑に処せられよ。しかし意図的にではなく、神が彼の手に引き渡したのであれば、私はあなたに場所を与えよう、そこへ殺した者が逃げることができる場所を。もし誰かが隣人を欺きによって殺そうと攻撃し、そして逃げたなら、私の祭壇から彼を取って死刑にせよ。自分の父または母を打つ者は、必ず死刑に処せられなければならない。自分の父または母を罵る者は、必ず死刑に処せられる。もし誰かがイスラエルの子らの中のある者を盗み、彼を抑圧して売り、それが彼において見つけられたならば、死刑に処せられるべし。もし二人の男たちが侮辱し合い、そして隣人を石

または拳で打ち、そして死なず、しかし寢床に横たわるならばもし人が起き上がって杖をついて外を歩くならば、打った者は無罪となるだろう。ただし彼の仕事を休んだ分は支払わなければならない。もし誰かが自分の子供または自分の女奴隷を棒で打ち、その手によって死んだ場合、正義によって罰せられるだろう。もし彼女が一日か二日生き延びるなら、彼は罰せられてはならない。なぜなら、それは彼の銀だからである。もし二人の男が争い、身ごもっている女を打ち、その子が完全には形作られていない状態で出た場合、罰金が科せられる。その女の夫が求めるところに従い、正当な評価をもって支払わなければならない。もしそれが形作られたものであるならば、魂の代わりに魂を与えるだろう。目には目を、歯には歯を、手には手を、足には足を、焼けどには焼けどを、傷には傷を、打撲傷には打撲傷を。もし誰かが彼の召使いの目、または彼の女中の目を打ち、盲目にするならば、その目の代わりに彼らを自由にして送り出すだろう。もし彼の僕の歯、または彼の女中の歯を叩き出すならば、彼らの歯の代わりに彼らを自由な者として送り出すであろう。もし雄牛が男または女を突いて死なせた場合、その雄牛は石で石打ちにされ、その肉は食べられてはならない。しかし、その雄牛の主人は無罪とされる。もしその雄牛が三日前から突く習性があり、その主人に警告されていたにもかかわらず、それを処分せず、男または女を殺した場合、その雄牛は石打ちにされ、その主人も死刑にされる。もし身代金が彼に課されるならば、彼は彼らが彼に課すだけの彼の魂の身代金を与えるだろう。もし息子または娘を角で突くならば、この法令に従って彼に対して為すべし。もし雄牛が子供または若い女を突いた場合、その主人に銀三十デイドラクマを与え、そしてその雄牛は石打ちにされる。もし誰かが穴を開けるか、または穴を掘って、それを覆わず、そしてそこに子牛またはロバが落ちたなら穴の所有者は償い、銀を彼らの所有者に支払うだろう。しかし、死んだものは彼のものとなるだろう。もしある者の雄牛が隣人の雄牛を突き刺して死なせた場合、彼らは生きている雄牛を売り、その代金を分

け、また死んだ雄牛も分けるであろう。もしその雄牛が三日前以前から突く習性があることが知られており、その主人に証言されていたにもかかわらず、彼がそれを処分しなかった場合、雄牛の代わりに雄牛を支払わなければならない。ただし、死んだ雄牛は彼のものとなる。

もし誰かが子牛または羊を盗み、そしてそれを屠殺するか、または売るならば、その子牛の代わりに五頭の子牛を支払うべきであり、そしてその羊の代わりに四頭の羊を支払うべきである。

22

もし泥棒が侵入中に見つけられ、打たれて死んだ場合、それは殺人罪ではない。もし太陽が彼の上に昇れば、彼は有罪であり、死をもって償わなければならない。しかし、もし彼に何もなければ、その盗みの代わりに売られよ。もし盗まれたものが彼の手に残され、見つけられ、ろばから羊まで生きているなら、彼はそれらを二倍支払うであろう。もし誰かが畑またはぶどう園を放牧し、彼の家畜を放って他人の畑を放牧させたならば、彼は自分の畑から、その産物に応じて支払わなければならない。もし畑のすべてを放牧させたならば、自分の畑の最良のものと自分のぶどう園の最良のものを支払わなければならない。もしも火が出て行って茨を見つけ、そして脱穀場または穀物の穂または平野を焼き尽くすならば、その火をつけた者が弁償しなければならない。

もし誰かが隣人に銀または器を守らせるために与え、そしてそれがその人の家から盗まれた場合、もしその盗んだ者が見つけられたなら、彼は二倍を支払わなければならない。もしその盗んだ者が見つけられなかったならば、その家の主人は神の前に近づき、そして隣人の預かり物の全体について彼自身が悪事を働かなかったことを誓うだろう。すべての述べられた不正行為について、子牛、軛をつけられた動物、羊、衣服、そしてすべての主張

された損失について、それが何であれ、神の前に両者の裁きが来る。そして神によって有罪とされた者は、隣人に二倍を支払わなければならない。もし誰かが隣人に荷役獣、子牛、羊、またはすべての家畜を守るために預けて、それが傷つけられるか、死ぬか、または捕らえられ、そして誰も知らなければ神の誓いが両者の間にあるだろう、彼が隣人の預かり物について全く不正を働いていないことを誓って。そしてこのように彼の主人はそれを受け入れるだろう、そして彼は弁償しなくてよい。もし彼のところから盗まれたなら、その主に支払うだろう。もしそれが獣に殺されたものとなったならば、彼をその獲物のところへ導き、そして支払わなくてよい。もし誰かが隣人から借りて、それが傷つけられるか、死ぬか、または捕虜になり、そしてその主人が彼と共にいなければ、彼は償わなければならない。もしも主人が彼と共にいるならば、彼は支払わないだろう。もしも雇われた労働者であるならば、それは彼の賃金の代わりとなるだろう。

もし誰かが婚約していない処女を欺き、そして彼女と寝るならば、持参金をもって彼女を彼の妻として娶らなければならない。もし父が拒否して拒否し、彼女の父が彼女を彼に妻として与えることを願わないならば、彼は処女たちの持参金がどれだけであるかに従って、父に銀を支払わなければならない。魔術師を生かしておいてはならない。家畜と寝る者はすべて、死刑に処さなければならない。神々に犠牲を捧げる者は死によって滅ぼされるであろう、ただ主にのみ捧げる場合を除いて。

そして寄留者を虐待してはならない、また彼を圧迫してはならない、なぜならあなたがたはエジプトの地において寄留者であったからである。すべての寡婦と孤児を虐げてはならない。もしあなたがたが悪によって彼らを虐げるならば、そして彼らが叫んで私に向かって訴えるならば、私は必ず彼らの声を聞くであろう。そして私は怒りをもって怒り、剣であなたたちを殺すだろう。そしてあなたたちの妻たちは寡婦となり、あなたたちの子供

たちは孤児となるだろう。もしあなたが、あなたのもとにいる貧しい兄弟に銀を貸すならば、あなたは彼を圧迫する者であってはならず、彼に利息を課してはならない。もしあなたが隣人の衣服を質に取るならば、日没前にそれを彼に返さなければならない。これは彼の覆いであり、これだけが彼の裸を覆う衣である。何を着て彼は眠るだろうか。それゆえ、もし彼が私に向かって叫ぶなら、私は彼の声を聞くだろう。なぜなら私は憐れみ深いからである。神々を悪く言ってはならない、そしてあなたの民の支配者を悪く言ってはならない。あなたの脱穀場と搾り場の初穂を遅らせてはならない。あなたの息子たちの初子を私に与えなさい。このようにあなたはあなたの子牛と、あなたの羊と、あなたの軛の獣を扱うであろう。七日間、それは母の下にあるであろう。しかし八日目に、あなたはそれを私に返すであろう。そしてあなたがたは私にとって聖なる者となるであろう、そして野獣に殺された肉を食べてはならない、それを犬に投げ捨てよ。

23

空しい噂を受け入れてはならない。不正な者と共に不正な証人となることに同意してはならない。あなたは悪事において多数派に従ってはならない。群衆に加わって多数派と共に道を外れ、正義を曲げてはならない。そして裁きにおいて貧しい人を憐れんではない。もしあなたの敵の牛、または彼の荷役獣がさまよっているのに出会ったなら、引き返してそれを彼に返さなければならない。もしあなたの敵の荷役獣がその荷物によって倒れているのを見たなら、あなたはそれを通り過ぎてはならない、しかし彼と共にそれを助け起こさなければならない。

貧しい者の裁きを曲げてはならない。すべての不正な言葉から離れよ、無実な者と正しい者を殺してはならない、そして贈り物のために不敬虔な者を正当化してはならない。そして贈り物を取ってはならない。というのは贈り物は見ている者の目を盲目に

し、正しい言葉を破壊するからである。そしてあなたがたは寄留者を圧迫してはならない。なぜならあなたがたは寄留者の魂を知っているからである。あなたがた自身がエジプトの地において寄留者であったからである。六年間、あなたはあなたの地に種を蒔き、その産物を集めるであろう。しかし七年目には解放を行い、それを休ませなさい。そうすればあなたの国民の貧しい人々が食べるだろう。そして残ったものは野生の獣が食べるだろう。このようにあなたのぶどう園とあなたのオリーブ園にも行いなさい。六日間あなたは自分の仕事をしなければならない。しかし七日目には休息である。それはあなたの牛とあなたの荷役獣が休むため、そしてあなたの女奴隷の息子と寄留者が息を吹き返すためである。私があなたたちに言ったすべてのことを守りなさい。他の神々の名を思い出してはならず、またそれがあなたたちの口から聞かれてはならない。

年に三度、私に祭りを祝いなさい。種なしパンの祭りを守って行いなさい。七日間、種なしパンを食べなさい。私があなたに命じたとおり、新しい月の時に従って。なぜならその時にあなたはエジプトから出たからである。あなたは何も持たずに私の前に現れてはならない。そして、あなたは収穫の初穂の祭りを、あなたが畑に蒔いたあなたの働きのために行うだろう。そして、年の終わりに、あなたの畑からのあなたの働きを集める時に、完成の祭りをを行うだろう。年に三度、あなたのすべての男子は、あなたの神である主の前に出なければならない。私があなたの前から諸国民を追い出し、あなたの境界を拡大する時、あなたは私の犠牲の血をパン種と共に捧げてはならない。また、私の祭りの脂肪を朝まで残してはならない。あなたの地の最初の産物の初穂を、あなたの神、主の家に運び入れなければならない。あなたは子羊をその母の乳で煮てはならない。そして見よ、私はあなたの前に私の天使を送る。それはあなたを道において守り、私があなたのために準備した地へあなたを導き入れるためである。あなた自身に注意を払い、彼の声を聞き、彼に背いてはならない。なぜなら、

彼はあなたの罪を赦さないからである。私の名が彼のうちにあるからである。もしあなたがたが私の声を聞き、私があなたに命じるすべてのことを行い、私の契約を守るなら、あなたがたはすべての諸国民の中から私にとって特別な民となる。なぜなら全地は私のものだからである。あなたがたは私にとって王国の祭司職、聖なる国民となる。これらの言葉をあなたはイスラエルの子らに告げよ。もしあなたがたが私の声を聞き、私があなたに言うすべてのことを行うなら、私はあなたの敵に敵対し、あなたの敵対者たちに対抗する。私の天使があなたの導き手として行き、あなたをアモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、カナン人、ギルガシ人、ヒビ人、エブス人のもとへ連れて行くであろう。そして私は彼らを滅ぼすであろう。あなたは彼らの神々を崇拝してはならない。また、彼らに仕えてはならない。あなたは彼らの行いに従って行ってはならない。しかし、あなたはそれらを徹底的に打ち倒し、彼らの柱を完全に粉砕しなければならない。そしてあなたはあなたの神、主に仕えるであろう。そして私はあなたのパンとあなたのぶどう酒とあなたの水を祝福するであろう。そして私はあなたがたから病を遠ざけるであろう。あなたの地には不妊の者も石女もいないであろう。あなたの日数を満たして私は全うさせよう。そして、私はあなたに先立つ恐怖を送り、あなたが入って行くすべての民族を混乱させ、あなたのすべての敵を逃亡者とするだろう。そして私はあなたの前にスズメバチを送り、あなたはアモリ人、ヒビ人、カナン人、ヘテ人をあなたのもとから追い出すだろう。私は一年で彼らを追い出さないだろう。それは、地が荒地地にならないため、そして地の獣たちがあなたの上に多くならないためである。私は少しずつ彼らをあなたから追い出すだろう、あなたが増えてその地を相続するまで。そして私はあなたの境界を、紅海からペリシテ人の海まで、そして荒野から大河ユーフラテスまで定めるだろう。そして私はその地の住民をあなたがたの手に引き渡し、彼らをあなたから追い出すだろう。あなたは彼らと、また彼らの神々と契約を結んではならない。そして彼らはあなたの地に定住しないだろう、彼らがあなたを私に対して罪を犯

させないために。もしあなたが彼らの神々に仕えるなら、これらはあなたにとってつまずきの石となるだろう。

24

そしてモーセに言った、主のもとへ上れ、あなたとアロン、ナダブ、アビウド、そしてイスラエルの長老たち七十人が。そして遠くから主を礼拝せよ。そして、モーセだけが神に近づくであろう。しかし、彼ら自身は近づかず、民は彼らと共に上ることはないであろう。モーセは入り、民に神の全ての言葉と掟を語った。すると民は全て一つの声で答えて言った、主が語られた全ての言葉を、私たちは行い、そして聞き従います。そしてモーセは主のすべての言葉を書いた。そしてモーセは朝早く起きて、山のもとに祭壇を建て、そしてイスラエルの十二部族のために十二の石を建てた。そして彼はイスラエルの子らの若者たちを遣わし、彼らは全焼のいけにえを捧げ、神に救いの犠牲として子牛を犠牲にした。モーセはその血の半分を取って鉢へ注ぎ、その血の半분을祭壇へ注いだ。そして契約の書を取って、民の耳に読み聞かせた、そして彼らは言った、主が語られた全てのことを、私たちは行い、そして聞き従います。しかしモーセは血を取って、民に振りかけ、そして言った、見よ、これらすべての言葉について主があなたがたと結ばれた契約の血を。

そして、モーセとアロン、ナダブ、アビウド、そしてイスラエルの長老会議の七十人が上って行った。そして私はイスラエルの神が立っておられた場所を見た。彼の足の下にあるものは、まるでサファイアのレンガ細工のようであり、天の大空の姿のように清らかであった。そして、イスラエルの選ばれた者たちの中で一人も滅びることはなく、彼らは神の場所に現れ、食べ、そして飲んだ。そして主はモーセに言われた、私のもとへその山に登り、そこにいなさい。そして私はあなたに石の板、律法と戒めを与えよう。それらを私は彼らに授けるために書いたのである。そ

してモーセと彼に付き従うヨシュアが立ち上がり、神の山へと登った。そして長老たちに彼らは言った、私たちがあなたたちのところに戻るまで、ここで静かにしていなさい。そして見よ、アロンとホルがあなたたちと共にいる。もし誰かに裁きが起こるなら、彼らのところに近づかせなさい。そしてモーセとヨシュアは山へ上がり、雲がその山を覆った。そして神の栄光がシナイの山の上に降り、雲がそれを六日間覆った。そして主は七日目に雲の真ん中からモーセを呼んだ。そして主の栄光の姿は、山の頂で燃える火のように、イスラエルの子らの前に現れた。そして、モーセは雲の中に入り、山に登った。そして彼はそこに、その山に四十日四十夜いた。

25

そして主はモーセに語って言われた、私はイスラエルの子らに言った、すべての者の中から、その心に思われる者から初穂を取れ、そしてあなたがたは私の初穂を受け取るだろう。そして、これはあなたがたが彼らから受け取る初穂である。金、銀、そして青銅。そしてヒヤシンスを、そして紫を、そして二重の緋色を、そして燃られた亜麻布を、そして山羊の毛を、そして赤く染められた雄羊の皮、そして青い皮、そして腐らない木、そしてサルディウスの石を、そして彫刻のための石を肩当てのために、そして長い衣のために。そして、あなたは私に聖所を作るだろう、そして私はあなたたちの中に現れるだろう。そして、あなたは私に、山であなたに示す全てのものに従って作るだろう。幕屋の例と、その全ての器具の例を、このように、あなたは作るだろう。そして、あなたは腐敗しない木から証言の箱を作るであろう。その長さは二キュビトと半分、その幅は一キュビトと半分、その高さは一キュビトと半分である。そして、あなたはそれを純金で覆うであろう。内側からも外側からもあなたはそれを金で覆うであろう。そして、あなたはこれに金のねじれた縁飾りを周りに作るであろう。そして、あなたはこれに四つの金の環を作り、その四

つの側面に置かなければならない。二つの環を一方の側面に、そして二つの環を他方の側面に。あなたは腐らない木で運び棒を作り、それらを金で覆うだろう。そして、あなたは棒を箱の側面にある環に挿入し、それらで箱を運ぶであろう。箱の環の中に、棒は動かされずに留まるであろう。そして、あなたは私があなたに与える証しをその箱の中に入れるだろう。そして、あなたは純金の覆いである贖いの座を作るであろう。その長さは二キュビト半、そしてその幅は一キュビト半。そして、あなたは打ち出された金で二つのケルビムを作り、それらを贖いの座の両側に置くだろう。一つのケルブはこちら側から作られ、一つのケルブは贖罪所の第二の側から作られるであろう。そしてあなたは二つのケルビムを二つの側面の上に作るであろう。ケルビムは翼を上には伸ばし、彼らの翼で贖罪所の上を覆い、そして彼らの顔は互いに向かい合い、ケルビムの顔は贖罪所に向かうであろう。そして、あなたは贖いの座をその箱の上に置き、そして、その箱の中に、わたしがあなたに与える証しの板を入れるだろう。そして私はそこからあなたに自らを知らせるだろう。そして私は贖いの座の上から、証しの箱の上にある二つのケルビムの間から、あなたに語るだろう。そして私があなたに命じるすべてのことを、イスラエルの子らに伝えよ。そして、あなたは純粋な金のテーブルを作るだろう。その長さは二キュビット、その幅は一キュビット、そしてその高さは一キュビット半である。そして、あなたはこれに金のねじれた縁飾りを周りに作るだろう、そして、あなたはこれに手幅の縁を周りに作るだろう、

そして、あなたはその冠の周りにねじれた縁飾りを作るだろう。そして、あなたは四つの金の環を作り、その四つの環を縁飾りの下にある四つの足の部分に置くだろう。そして、指輪は運搬棒のための受け具となり、それによってテーブルを運べるようにする。そして、あなたは腐らない木から運び棒を作り、それらを純金で覆うだろう。そして、その机はそれらによって運ばれるだろう。そしてあなたはその皿、その香炉、その注ぎの器、そして

その杯を作るだろう。それらを用いてあなたは注ぐことになる。純粋な金からあなたはそれらを作るだろう。そして、あなたは臨在のパンをそのテーブルの上に、私の前に絶えず置くだろう。

そして、あなたは純金から燭台を作らなければならない。打ち出しで、その燭台を作らなければならない。その軸、その枝、その鉢、その球、そしてその百合は、それから出るものとする。そして六本の枝が側面から出ており、燭台の一方の側から三本の枝、そして燭台の第二の側から三本の枝が出ている。そして三つの杯がアーモンド形に刻まれ、一つの枝に球根と百合があり、このように燭台から出ている六つの枝すべてに同様である。そして燭台には、四つの杯がアーモンド形に刻まれ、一つの枝には球根があり、そしてその百合があった。その節はそれから出る二本の小管の下にあり、その節はそれから出る四本の小管の下にある。このように燭台から出る六本の小管すべてに節があり、燭台には四つの杯がアーモンド形に刻まれていた。その球根と枝はそれから出たものとし、全体を一つの純金から打ち出し細工で作らせよ。そして、あなたはそれの七つのランプを作り、それらのランプを置くだろう。そして、それらは一つの面から照らすだろう。そしてその香炉とその台座を純金から作るであろう。これらすべての器は純金一タラントである。見よ、あなたは山であなたに示された型に従って作るであろう。

26

そして、その幕屋を十の幕で作らなければならない。撚り合わせた亜麻布、青、紫、撚り合わせた緋色の糸で、ケルビムを織物の仕事で、それらを作らなければならない。一つの幕の長さは二十八キュビト、幅は四キュビトであろう。すべての幕に同じ寸法であろう。五つの幕は互いに接して一方が他方に続き、また五つの幕は互いに結合されているだろう。そして、あなたは一つの幕の縁の上に、一つの部分から接合部へ、青い輪をそれらに作る

だろう。そしてこのように、あなたは外側の幕の縁の上に、第二の接合部に向かって作るだろう。五十の輪を一つの幕に作り、五十の輪を第二の幕の接合部分に作る。それらは互いに対応し、それぞれが向かい合うようにする。そして、あなたは五十の金の環を作り、その環で幕の一方を他方に結合し、天幕は一つになるだろう。そして、あなたは天幕の上に毛深い皮の覆いを作るだろう、十一枚の皮でそれらを作るだろう。一つの幕の長さは三十キュビト、一つの幕の幅は四キュビトであり、その同じ寸法が十一の幕に適用されるであろう。そして、あなたは五つの皮を一つに結合し、六つの皮を一つに結合し、六番目の皮を幕屋の前面で二重にするであろう。そして、あなたは一つの幕の縁、接合部の間にあるものの上に五十の輪を作るであろう。そして、第二の接合する幕の縁の上に五十の輪を作るであろう。

そして、あなたは青銅の環を五十個作るだろう、そして、あなたはその環をループから結合するだろう、そして、あなたはその皮を結合するだろう、そして、それは一つになるだろう。そして、あなたは天幕の幕の余分なものを下に置き、残っている幕の半分を天幕の幕の余分なもののところへ覆い、天幕の後ろに覆うだろう。一キュビトをこちらから、そして一キュビトをこちらから、幕屋のカーテンの長さから超えている部分から、幕屋の側面の上を覆うものとなるであろう、こちら側からもあちら側からも、それが覆うために。そして、あなたは天幕のために赤く染められた雄羊の皮の覆いを作り、その上に青い皮の覆いを作るだろう。

そして、あなたは不朽の木から天幕の柱を作るだろう。一つの柱を十キュビトで作し、その一つの柱の幅を一キュビト半とするでしょう。一つの柱に二つのほぞがあり、互いに対応する。このようにあなたは幕屋のすべての柱を作るだろう。そして、あなたは幕屋のために柱を作るだろう、北側に二十の柱を。そして四十の銀の台座を二十本の柱のために作るだろう。一つの柱につき

二つの台座をその両側に、そして一つの柱につき二つの台座をその両側に。そしてその第二の側、南に向かうもの、二十の柱、そして四十の銀の台座があり、一つの柱にその両側に二つの台座、そして一つの柱にその両側に二つの台座がある。そして幕屋の後ろの、海に向かう部分に、あなたは六本の柱を作るであろう。そして、幕屋の後部の角に二つの柱を作らなければならない。そして、それは下から等しくあるだろう。それに従って、それらは頭から一つの接合部へと等しくあるだろう。このように、あなたは両方の二つの角に対して作るだろう。等しくあらせよ。そして八つの柱があり、それらの銀の台座は十六で、一つの柱にその両側に二つの台座があり、そして一つの柱に二つの台座がある。そして、あなたは不朽の木から棒を作るであろう、幕屋の一方の側の柱に五つを。そして幕屋の第二の側の柱に五つの横木を、そして幕屋の海に向かう後ろの側の柱に五つの横木を。そして、その真ん中の棒を柱たちの間に通らせ、一方の側から他方の側へ至らせよ。そして、その柱を金で覆い、その環を金で作し、それらの中に横木を挿入し、その横木を金で覆うであろう。そして、あなたは山であなたに示された形に従って、幕屋を立てなければならない。

そして、あなたは青、紫、撚られた緋色、そして織られた亜麻布から垂れ幕を作るでしょう。織物として、あなたはそれにケルビムを作るでしょう。そしてあなたはそれを、金で覆われた朽ちない四本の柱の上に置くだろう。それらの柱頭は金で、それらの台座は四つで銀である。そしてあなたはそのベールを柱の上に置き、そしてあなたはそこに、そのベールの内側に証しの箱を運び入れるだろう。そしてそのベールはあなたたちのために聖なる所と聖なるものたちの聖なる所の間を分けるだろう。そして、あなたは証の箱を幕で覆うだろう、至聖所の中で。そして、あなたはそのテーブルをその幕の外に置き、その燭台をそのテーブルの向かいに、その幕屋の南側の部分に置き、そしてそのテーブルをその幕屋の北側の部分に置くだろう。そして、あなたは天幕の戸

口のための覆いを、青、紫、燃られた緋色、そして燃られた亜麻布から、刺繍された仕事として作るだろう。そしてあなたはその幕に五つの柱を作り、それらを金で覆うこと。それらの柱頭は金であり、あなたはそれらに五つの青銅の台座を鑄造すること。

27

そして、あなたは腐らない木から祭壇を作るであろう。五キュビトの長さ、そして五キュビトの幅、その祭壇は四角であるであろう。そして三キュビトの高さである。そして、あなたはその四つの隅の上に角を作るだろう。その角はそれから出るだろう。そして、あなたはそれらを青銅で覆うだろう。そしてあなたは祭壇に縁飾りを作り、その覆いと、その鉢と、その肉鉤と、その火皿と、そのすべての器具を青銅で作るだろう。そして、あなたはそれに網状の仕事で青銅の格子を作るだろう、そして、あなたはその格子に四つの青銅の環をその四つの側面の下に作るだろう。そして、あなたはそれらを祭壇の格子の下に下から置き、その格子は祭壇の半分まで達するだろう。そして、あなたは腐らない木から祭壇のための運び棒を作り、それらを青銅で覆うだろう。そして、棒を環に挿入し、それを運ぶ際に棒が祭壇の側面に沿ってあるようにせよ。空洞で継ぎ目のないものとして、あなたはそれを作るだろう。山においてあなたに示されたところに従って、このようにあなたはそれを作るだろう。そして、あなたは幕屋に庭を作るだろう。南に向かう側には、ねじられた亜麻布から作られた庭の幕を、長さ百キュビトで一つの側に設けよ。そしてそれらの柱は二十、そしてそれらの台座は二十で青銅製、そしてそれらの環とその留め金は銀製。かくして東側には、長さ百キュビトの幕があり、それらの柱は二十本、それらの台座は二十個で青銅製であり、柱の環と留め金、そしてそれらの台座は銀で覆われていた。そして庭の幅は、海に面して幕五十キュビット、その柱は十、その台座は十。そして南に向かう庭の幅は幕五十キュビト、それらの柱は十、そしてそれらの台は十。そして一方の側の幕の

高さは十五キュビトで、それらの柱は三つ、そしてそれらの台は三つ。そして第二の側は十五キュビトの幕の高さ、それらの柱は三つ、そしてそれらの台座は三つ。そして庭の門には覆いがあり、高さは二十キュビトで、青と紫と緋色のねじられたもの、そして刺繍者の技によるねじられた亜麻布でできており、それらの柱は四本、そしてそれらの台は四つであった。庭の周りのすべての柱は銀で覆われ、それらの柱頭は銀、それらの台座は青銅である。そしてその庭の長さは百に百、幅は五十に五十、高さは五キュビトで燃られた亜麻布から成り、それらの台座は青銅である。そして、その建造物の全て、全ての道具類、そして庭の杭類は青銅製であった。

そしてあなたはイスラエルの息子たちに命令し、彼らにあなたのために清い搾られていない打たれたオリーブから油を取らせ、光のために燃やし、ランプが絶えず燃やされるようにせよ。証の天幕の中、契約の上にある垂れ幕の外で、アロンと彼の息子たちは夕方から朝まで主の前でそれを燃やすであろう。これはイスラエルの子らにとって、あなたがたの世代に至るまでの永遠の法令である。

28

そしてあなたは、あなたの兄弟アロンとその息子たちを、イスラエルの子らの中からあなた自身のもとに近づけよ。私に祭司として仕えさせるために、アロン、ナダブ、アビウド、エレアザル、イタマル、アロンの息子たちを。そして、あなたはあなたの兄弟アロンのために聖なる衣を名誉と栄光のために作るでしよう。そしてあなたは、心において賢いすべての者たちに話せ。私は彼らを知恵と認識の霊で満たした。そして彼らはアロンの聖なる衣を作るだろう。その聖なる場所のために、その中で彼は私に祭司として仕えるだろう。そしてこれらは彼らが作る衣服である。胸当て、肩当て、長い衣、織られたチュニック、ターバン、

そして帯である。そして彼らはアロンと彼の息子たちが私に祭司として仕えるために聖なる衣服を作るだろう。そして彼らは金と、ヒヤシンスと、紫と、緋と、亜麻布を取るだろう。そして彼らは、撚られた亜麻布から、刺繍師の織られた仕事である肩当てを作るだろう。二つの肩当てが、一方が他方と結合して、二つの部分の上に取り付けられて、彼のためにあるであろう。そして肩当ての布は、それが彼の上にあるもので、その作りに従ってそれから成るであろう、純金と、青と、紫と、撚られた緋色と、撚られた亜麻布とから。そして、あなたは二つのエメラルドの石を取り、それらにイスラエルの息子たちの名前を刻むであろう。六つの名前を一つの石の上に、そして残りの六つの名前を二番目の石の上に、彼らの世代に従って。石工技術の仕事として、印章の彫刻のように、その二つの石にイスラエルの子らの名を刻むであろう。そしてあなたはその二つの石をエポデの肩の上に置くだろう。それらは記念の石であり、イスラエルの息子たちのためのものである。そしてアロンは彼の二つの肩の上で、主の前にイスラエルの息子たちの名前を取り上げるだろう、彼らについての記念として。そして、あなたは純金から肩当てを作るだろう。そして、あなたは純金から二つの房飾りのついた鎖を作るだろう、花々に絡み合った編み細工の仕事を。そして、あなたはその編まれた房飾りのついた鎖を、それらの肩部分に従って、前面から肩当ての上に置くだろう。

そしてあなたは裁きの胸当てを刺繍の仕事で作るだろう、エポデの様式に従って。あなたはそれを金、青、紫、撚られた緋色、撚られた亜麻布で作るだろう。あなたはそれを四角に作るだろう。それは二重になるだろう。その長さは一スパン、そしてその幅は一スパンである。そして、あなたは彼にそれを織るであろう、石で飾られた布を、四列の。石の列があるであろう、紅玉髓、黄玉、そして緑玉が、その第一の列である。そして第二の列は、紅玉髓、サファイア、碧玉である。そして第三の列は、リギリオン、瑪瑙、紫水晶。そして第四の列は、貴橄欖石と緑柱石と

縞瑪瑙であり、金で覆われ、金で結ばれて、それらの列に従ってあるべし。そして、その石たちはイスラエルの息子たちの十二の名前から取り、彼らの名前に従って印章の彫刻とし、各々その名前に従って十二部族のためのものとせよ。そして、あなたは純金から鎖状に編み合わされた房飾りを神託板の上に作るだろう。そしてアアロンは、イスラエルの息子たちの名前を判決の胸当てに、胸の上に受け取るだろう、聖なる場所に入る時、神の前の記念として。そして、あなたは裁きの胸当ての上に顕現と真理を置くであろう。それはアロンの胸の上にあり、彼が主の前の聖所に入る時である。アロンは主の前で、イスラエルの子らの裁きを胸の上に絶えず携えるであろう。そして、あなたは全体が青い長い下着を作るだろう。そして、その開口部は彼の中央から出て、縁を持ち、開口部の周りに織られた仕事で、接合が彼から織り合わされて、それが裂けないようにするだろう。そして、あなたは衣の裾の下方に、咲いているザクロのように、青と紫と緋色の紡がれた糸と撚られた亜麻布から小さなザクロを作るだろう。衣の裾の周りに、同じ形で、金の小さなザクロと鈴をこれらの間に周囲に配置するだろう。黄金のザクロの傍らにドドナ、そしてその下着の裾の周りに花を、そして、アロンが務めを行う時、主の前で聖所に入る時と出る時に、彼の声が聞こえるであろう。彼が死なないために。そしてあなたは純金の板を作り、それに印章の刻印で主の聖所と刻むだろう。そして、あなたはそれをねじられた青の上に置くだろう、そしてそれはターバンの上にあるだろう、ターバンの前面にあるだろう。そしてそれはアロンの額の上であり、アロンはイスラエルの子らが聖別するすべての聖なる贈り物の罪を取り除くであろう。そしてそれは常にアロンの額の上であり、主の前に彼らのために受け入れられるものとなるであろう。

そして長衣の飾り縁は亜麻布から作り、亜麻布のターバンを作り、刺繍師の仕事による帯を作るだろう。そしてアロンの息子たちのために、あなたは長衣と帯を作り、また彼らのためにターバンを名誉と栄光のために作るだろう。そしてあなたは、あなた

の兄弟アロンと彼の息子たちに、それらを着せるだろう。そしてあなたは彼らに油を注ぎ、彼らの手を満たし、彼らを聖別するだろう。それは彼らが私に祭司として仕えるためである。そして、あなたは彼らに亜麻のズボンを作り、彼らの肌の裸を覆うものとする。それは腰から腿までのものとする。そしてアロンとその息子たちは、証しの天幕に入る時、または聖なる祭壇で仕えるために近づく時、それらを身に着けるだろう。そうすれば彼らは自らに罪を招くことなく、死ぬことはない。これは彼と、彼の後の子孫に対する永遠の法令である。

29

そしてこれらは、あなたが彼らのために行うべきことである。あなたは彼らを聖別し、彼らが私に祭司として仕えるようにする。あなたは牛から子牛一頭と、傷のない雄羊二頭を取らなければならない。そして油でこねた種なしパン、そして油を塗った種なしの薄焼きパン、小麦の上質な小麦粉からそれらを作るであろう。そしてあなたはそれらを一つの籠の上に置き、それらをその籠の上に運び、その子牛と二匹の雄羊を運ぶだろう。そしてアロンと彼の息子たちを証しの幕屋の戸口に連れて来て、水で彼らを洗いなさい。そして衣服を取って、あなたはあなたの兄弟アロンに足までの長衣と肩当てと胸当てを着せる。そしてあなたは彼のために胸当てを肩当てに結び付ける。そして、あなたは彼の頭の上にそのターバンを置き、そのターバンの上に聖所の板を置くだろう。そして、あなたは塗油の油を取り、それを彼の頭の上に注ぎ、彼に塗油するであろう。そして彼の息子たちを連れてきて、彼らにチュニックを着せなさい。そして、あなたは彼らに帯を締めさせ、彼らにターバンを置くだろう。そして、彼らには永遠に私への祭司職があるだろう。そして、あなたはアロンの手と彼の息子たちの手を聖別するだろう。そしてあなたは、証の天幕の入口に子牛を連れて来なければならない。そしてアロンと彼の息子たちは、主の御前、証の天幕の入口の傍らで、その子牛の頭

の上に彼らの手を置くであろう。そして、あなたは証の天幕の戸口で、主の前でその子牛を屠殺するであろう。そして、あなたは子牛の血を取り、あなたの指でそれを祭壇の角の上に置くだろう。しかし、残りのすべての血は祭壇の土台のそばに注ぐだろう。そしてあなたは、腹の上にあるすべての脂肪、肝臓の葉、二つの腎臓、そしてそれらの上にある脂肪を取り、祭壇の上に置くであろう。しかし、その子牛の肉と皮と糞は、宿営の外で火で焼き尽くさなければならない。なぜなら、それは罪だからである。

そしてあなたは一つの雄羊を取り、アロンと彼の息子たちは彼らの手をその雄羊の頭の上に置くだろう。そして、あなたは彼を屠殺し、その血を取って、祭壇の周りに注ぐだろう。そして、その雄羊を肢体に従って二つに切り、その内臓と足を水で洗い、頭と共にその二つの部分の上に置くだろう。そして、あなたはその雄羊全体を祭壇の上に捧げるであろう。それは主への全焼の捧げ物であり、芳香となり、主への香である。そしてあなたは二番目の雄羊を取り、アロンと彼の息子たちは彼らの手をその雄羊の頭の上に置くだろう。そしてあなたは彼を屠殺し、その血を取り、アロンの右の耳たぶの上に、右手の先端の上に、右足の先端の上に、そして彼の息子たちの右の耳たぶの上に、彼らの右手の先端の上に、彼らの右足の先端の上に置くだろう。そして、あなたは祭壇からの血と注ぎの油を取り、アロンとその衣、そして彼の息子たちとその衣の上に振りかけなさい。そうすれば、彼自身とその衣、そして彼の息子たちとその衣が聖別されるだろう。しかし、雄羊の血は祭壇の周りに注ぎなさい。そしてあなたはその雄羊から、その脂肪、腹を覆っている脂肪、肝臓の葉、二つの腎臓、それらの上の脂肪、そして右の腕を取るだろう。なぜならこれは完成であるから。そして油入りのパンを一つ、主の前に供えられた種なしパンのかごから平たいケーキを一つ取る。そして、あなたはそれをアロンの手の上に、そして彼の息子たちの手の上に置き、それらを主の前に奉納物として分離するだろう。そして、あなたはそれらを彼らの手から取り、全焼の捧げ物の祭壇

の上に、主の前で芳香の香りとして捧げるだろう。それは主への捧げ物である。そして、あなたはアロンの奉獻の雄羊から胸当てを取り、それを主の前に奉納物として分離するであろう。そして、それはあなたの分け前となるであろう。そして、あなたは聖別するであろう、その胸当ての奉納物と、その挙祭の腕を。それは分離され、そしてそれは聖別の雄羊から、アロンから、そして彼の息子たちから取り去られたものである。そして、これはアロンとその息子たちにとって、イスラエルの子らからの永遠の定めとなるであろう。なぜなら、これは奉納物であり、イスラエルの子らの平和の献げ物の犠牲から、イスラエルの子らからの主への献げ物となるであろう。

そしてアロンの聖なる衣は、彼の後の彼の息子たちのものとなり、それらを着て油注がれ、彼らの手を聖別するためである。七日間、彼の息子たちの中から彼の代わりとなる祭司が、それらを着るであろう。その者は、聖なる場所において仕えるために、証しの天幕に入るであろう。そして、奉獻の雄羊を取り、その肉を聖なる場所で煮なさい。そしてアアロンと彼の息子たちは、その雄羊の肉と籠の中のパンを、証の天幕の戸口のそばで食べるであろう。彼らは、それらによって聖別された、それらを食べるであろう、彼らの手を完成させ、彼らを聖別するために。そして異邦人はそれらから食べてはならない、なぜならそれは聖なるものであるから。もしその奉獻の犠牲の肉とパンから朝まで残されるならば、あなたはその残りを火で焼き尽くさなければならない。それは食べられてはならない。なぜならそれは聖なるものだからである。

そしてあなたはアロンと彼の息子たちに、私があなたに命じたすべてのことに従ってこのように行うだろう。七日間、あなたは彼らの手を聖別するだろう。そして、あなたは清めの日に罪の子牛を捧げ、その上でそれを聖別する時に祭壇を清め、それを聖別するためにそれに塗油するだろう。七日の間、あなたは祭壇

を清め、それを聖別するであろう。そして祭壇は至聖なるものとなるであろう。祭壇に触れる者は皆、聖別されるであろう。そしてこれらは、あなたが祭壇の上で行うべきものです。一歳の傷のない子羊二頭を、毎日祭壇の上に絶えず捧げます。これは絶え間ない捧げものです。

一頭の子羊を朝に作り、二頭目の子羊を夕方に作るだろう。そして細かい小麦粉十分の一を、ヒンの四分の一の砕かれた油で混ぜたものと、注ぎの供え物としてぶどう酒四分の一ヒンを、一頭の子羊に添えよ。そして、第二の子羊を夕方に捧げなければならない。朝の犠牲に従って、そしてその注ぎの供え物に従って、あなたはそれを作らなければならない。芳香の香りとして、主への供え物として。絶え間ない犠牲を、あなたがたの世代へと、証しの天幕の戸口において、主の前で、そこで私があなたに知られるであろうところで、あなたに語るために。そして私はそこでイスラエルの子らに命じ、私の栄光によって聖別されるだろう。そして私は証の天幕と祭壇を聖別し、アロンと彼の息子たちを聖別して、私に祭司として仕えさせるだろう。そして私はイスラエルの子らの間で呼ばれ、私は彼らの神となるだろう。そして彼らは知るだろう、私が主、彼らの神であり、彼らをエジプトの地から導き出し、彼らのもとに臨み、彼らの神となる者であることを。

30

そして、あなたは朽ちない木から香の祭壇を作るだろう。そしてあなたはそれを作るだろう、長さ一キュビット、そして幅一キュビット、四角であるだろう、そして高さ二キュビット、その角はそれから出るだろう。そしてあなたは、その格子とその周りの壁とその角を純金で覆い、その周りにねじれた金の縁飾りを作るでしょう。そして、二つの純金の環を、そのねじれた縁の下に作らなければならない。その両側に、二つの側面に作らなければならない。そしてそれらは棒のための保持具となり、それをそ

れらで運ぶためのものとなる。そして、あなたは腐らない木から棒を作り、それらを金で覆うだろう。そしてあなたはそれを、証しの箱の上にある垂れ幕の前に置くだろう。そこで私はあなたに知られるだろう。そしてアロンはその上で合成の細かい香を焼くであろう。朝ごとに、彼がランプたちを手入れする時に、彼はその上で香を焼くであろう。そしてアアロンが夕方ランプを灯す時、彼はその上で香を焚くであろう。主の前に常に絶え間ない香、彼らの代々へと。そして彼はその上に別の香、供え物、犠牲を捧げてはならず、またあなたはその上に注ぎの供え物を注いではない。そしてアロンは年に一度、その角の上でその清めの血によってそれのために贖いをし、それを代々にわたって清めるであろう。それは主にとって最も聖なるものである。

そして主はモーセに語って言われた。もしあなたがイスラエルの息子たちの人口調査を彼らの点検において取るならば、各々が自分の魂の贖い金を主に納め、彼らの点検において彼らに災いは起こらないだろう。そしてこれは、検査を通り過ぎる者たちが与えるべきものである。ディドラクマの半分、それは聖なるディドラクマによるものであり、ディドラクマは二十オボロイである。そしてディドラクマの半分は主への奉納物である。二十歳以上で点検を受けるために通り過ぎるすべての者は、主に貢ぎ物を納めるだろう。富んでいる者は加えず、貧しい者は減らさない、ディドラクマの半分から、主に貢ぎ物を捧げることに、あなたがたの魂を贖うために。そしてあなたはイスラエルの子らから抛出の銀を受け取り、それを証の幕屋の奉仕に与えるであろう。そしてそれはイスラエルの子らにとって主の前の記念となり、あなたがたの魂について贖うためのものとなるであろう。そして主はモーセに語って言われた、青銅の洗盤を作れ、そしてそれに青銅の台を作れ、洗うために。そしてそれを証の天幕と祭壇の間に置き、その中へ水を注ぐであろう。そしてアロンと彼の息子たちは、そこから手と足を水で洗うでしょう。彼らが証の天幕に入るときは、水で身を洗わなければならない。そうすれば彼ら

は死ぬことはない。また、彼らが祭壇に近づいて仕え、主に全焼のいけにえを捧げるときも同様である。彼らは、証の幕屋に入る時はいつでも、水で手と足を洗うであろう。彼らは水で洗うであろう、死なないために。そしてそれは彼らにとって永遠の法令となるであろう、彼と、彼の後の彼の世代たちに。そして主はモーセに語って言われた、そしてあなたは香料を取れ。選ばれた没薬の花五百シェケル、芳香の肉桂はその半分で二百五十、芳香の菖蒲二百五十。そして聖なるアイリスの五百シェケル、そしてオリーブ油一ヒン。そしてあなたはそれを聖なる注ぎの油とする、香料作りの人の技術による香油を、それは聖なる注ぎの油となるだろう。そして、あなたはそれから証しの天幕と、証しの幕屋の箱と、そのすべての器を塗油するであろう。そしてその燭台とそのすべての器具、そして香の祭壇、そして全焼の捧げ物の祭壇とそのすべての器具、そして机とそのすべての器具、そして洗盤。そして、あなたはそれらを聖別しなさい。そうすれば、それは聖なるものの中の聖なるものとなる。それらに触れる者はすべて聖別される。そしてアロンと彼の息子たちに油を注ぎ、彼らを聖別して私に祭司として仕えさせなさい。そしてあなたはイスラエルの息子たちに話し、こう言うだろう。聖別の塗油の油、これはあなたがたの世代にわたって、あなたがたにとって聖なるものとなるだろう。人の肉に塗ってはならない。そしてこの調合に従って、あなたがた自身のために同様に作ってはならない。それは聖なるものであり、あなたがたにとって聖なるものとなるであろう。誰でも同様に行う者、また誰でも彼のものからそれを異邦人に与える者は、彼の民から断ち切られるであろう。

そして主はモーセに言った、あなた自身のために香料を取れ、没薬を、爪貝を、甘い香りのガルバナム樹脂を、そして透明な乳香を、等量ずつであるように。そして彼らはそれにおいて香を作るだろう、調合師の仕事、調合師によって混ぜられた、清い仕事、聖なるもの。そして、あなたはこれらを細かく打ち砕き、証言の天幕にある証言の前に置くだらう。そこで私はあなたに現

れよう。その香はあなたたちにとって最も聖なるものとなるだろう。この組成に従って、あなたがたは自分自身のために作ってはならない。それはあなたがたにとって主への聖なるものとなるであろう。誰でも同様にそれを作ってそれを嗅ぐならば、その民から滅びるであろう。

31

そして主はモーセに語って言われた、見よ、私はユダ族のフルの子ウリの子ベツァレルを名指しで呼んだ。そして私は彼を神的な霊で満たした、知恵と理解と知識をもって、すべての業において考えるために。そして設計し、金、銀、青銅、青紫、紫、撚り糸の緋色を加工すること、そして石工仕事、そして木の大工仕事において、すべての仕事に従って働くこと。そして私は彼を与え、またダン部族のアヒサマクの子エリアブを与えた。そしてすべての理解ある心に理解を与えた。そして彼らは、私があなたに命じたすべてのもの、すなわち証しの幕屋、契約の箱、その上の贖いの座、そして幕屋の家具を作るだろう。そして祭壇と机とそのすべての器、そして清い燭台とそのすべての器をそしてその洗盤とその台座、そしてアロンのための奉仕の衣服を、そして彼の息子たちが私に祭司として仕えるための衣服を、そして塗油の油、そして聖なるものの調合の香を、私があなたに命じたすべてのことに従って、彼らは作るだろう。

そして主はモーセに語って言われた、そしてあなたは、イスラエルの子らに命じて言え。見よ、あなたたちは私の安息日を守れ。それは私とあなたたちの間のしるしであり、あなたたちの世代に至るまで、私が主であり、あなたたちを聖別する者であることを知るためである。そしてあなたがたは安息日を守るであろう、なぜならこれはあなたがたにとって主に対して聖なるものであるから。それを汚す者は死によって死に処せられるであろう。それにおいて仕事を行う者はすべて、その魂は彼の民の真ん中か

ら滅ぼされるであろう。六日間あなたは仕事をするだろう、しかし七日目には安息日、主への聖なる休息である。七日目に仕事をする者は誰でも死に処せられるだろう。イスラエルの子らは安息日を守り、それを代々行うであろう。永遠の契約が私とイスラエルの子らの間にあり、それは私における永遠のしるしである。なぜなら主は六日間で天と地を造り、七日目に休まれ、そしてやめられたからである。そして神はモーセに与えた、彼がシナイの山で彼に語ることを止めた時、証の二つの板を、神の指で書かれた石の板を。

32

そして民は、モーセが山から下ることが遅れたのを見て、アロンのもとに集まり、彼に言った。起きて、私たちのために神々を作ってください。彼らが私たちを先導するように。なぜなら、このモーセ、この人、彼が私たちをエジプトの地から導き出したのですが、私たちは彼に何が起こったのか知らないからです。そしてアロンは彼らに言う、あなたがたの妻たちと娘たちの耳にある金の耳飾りを取り外して、私のところに持って来なさい。そして民は皆、彼らの耳にある金の耳飾りを取り外し、アロンのもとへ運んだ。そして彼は彼らの手からそれを受け取り、彫刻刀でそれらを形作り、それらを鑄造の子牛にした。そして言った、これらがあなたの神々だ、イスラエルよ、エジプトの地からあなたを引き上げた者たちだ。そしてアアロンは見て、その前に祭壇を建て、アアロンは宣言して言った、主の祭りは明日である。そして翌日早く起きて、彼は焼き尽くす捧げ物を捧げ、救いの犠牲を持ってきた。そして民は座って食べ、飲み、そして立ち上がって遊んだ。

そして主はモーセに向かって話し、言った、速やかに行け、ここから下りて行け、なぜならあなたの民、あなたがエジプトの地から導き出した者が、罪を犯したからである。彼らは、私が彼

らに命じた道から速やかに外れ、自分たちのために子牛を作り、それを礼拝し、それに犠牲を捧げ、そして言った、イスラエルよ、これらはあなたをエジプトの地から連れ上げたあなたの神々である。そして今、私を許せ。そして怒りをもって彼らに対して怒り、私は彼らを滅ぼすだろう。そしてあなたを大いなる国とするだろう。そしてモーセは主なる神の前で懇願して言った、主よ、なぜあなたは怒りをもってあなたの民に対して怒られるのですか。あなたが大いなる力とあなたの高き腕をもってエジプトの地から導き出された民に対して。エジプト人たちが邪悪な意図をもって彼らを導き出し、山々で殺し、地上から滅ぼすためであったと言うことが決してないようにしてください。あなたの激しい怒りをお静めになり、あなたの民の悪に対して憐れみ深くなってください。アブラハム、イサク、ヤコブ、あなたの僕たちを思い出して、彼らにあなたは自らにかけて誓い、そして彼らに語って言われました、私はあなたがたの子孫を天の星のように数多く増やし、そしてこのすべての地、あなたが彼らに与えると言われたこの地を、彼らは永遠に所有するだろう。そして主はなだめられ、その民を保つこととなった。

そしてモーセは振り返って山から下った。彼の手には証の二つの板があった。石の板は両面に刻まれており、こちら側からもあちら側からも書かれていた。そしてその板は神の作であり、その文字は神の文字で、板に刻まれていた。そしてヨシュアは叫んでいる民の声を聞いて、モーセに向かって言う、陣営の中に戦争の声がある。そして言う、力によって先導する者たちの声ではなく、また敗走する者たちの声でもない。しかし私はぶどう酒を歌う者たちの声を聞く。

そして彼が陣営に近づいたとき、その子牛と踊りを見て、モーセは怒りに駆られ、彼の手から二枚の板を投げ、山のもとでそれらを砕いた。そして彼らが作った子牛を取り、それを火で焼き、それを細かく砕き、それを水の上に撒き、それをイスラエル

の子らに飲ませた。そしてモーセはアロンに言った、この民はあなたに何をしたのか、あなたが彼らに大きな罪をもたらししたのは。そしてアロンはモーセに向かって言った、怒らないでください、主よ、あなたはこの民の衝動を知っているのですから。彼らは私に言うのです、私たちのために神々を作ってください。その神々が私たちの前を進み行くでしょう。なぜなら、このモーセという人、彼が私たちをエジプトから導き出したのですが、彼に何が起こったのか私たちは知らないのです。そして私は彼らに言った、もし誰かに金の装飾品があるなら、取り外しなさいと。そして彼らは私に与えた。そして私はそれを火の中へ投げ入れた。そしてこの子牛が出て来た。そしてモーセは民が散らされているのを見た。なぜならアロンが彼らを散らし、彼らの敵対者たちにとつての笑いものとしたからである。モーセは陣営の門に立ち、そして言った、主に向かう者は誰か。私のところに来なさい。それゆえレビの息子たち全員が彼のところに集まった。そして彼は彼らに言った、主、イスラエルの神はこう言われる。それぞれ自分の剣を腿に帯びよ。そして陣営を通して門から門へと行き来せよ。そしてそれぞれ自分の兄弟を、それぞれ自分の隣人を、それぞれ自分の最も近い者を殺せ。そしてレビの息子たちは、モーセが彼らに話したように行った。そしてあの日、民の中から三千人の男たちが倒れた。そしてモーセは彼らに言った、あなたがたは今日、主に対して自分の手を満たした。各々が自分の息子において、または自分の兄弟において、それによってあなたがたに祝福が与えられるように。

そして翌日の後、モーセは民に向かって言った、あなたがたは大きな罪を犯した。そして今、私は神のもとへ上って行こう、あなたがたの罪について贖いをするために。モーセは主のもとに戻り、そして言った、主よ、懇願いたします。この民は大きな罪を犯しました。そして彼らは自分たちのために金の神々を作りました。そして今、もし実に彼らの罪を彼らに許すなら、許してください。しかしもしそうでないなら、あなたが書いたあなたの書

から私を消し去ってください。そして主はモーセに言った、もし誰かが私の前で罪を犯したなら、私は彼らを私の書から消し去るであろう。今、行け、下って、この民をわたしがあなたに告げた場所へ導け。見よ、わたしの使いがあなたの前を進むであろう。しかし、わたしが訪れる日に、わたしは彼らの罪を彼らの上に下すであろう。そして主は、アロンが作った子牛のことで、民を打った。

33

そして主はモーセに向かって言った、先に進め、ここから上れ、あなたとあなたの民、あなたがエジプトの地から導き出した者たちよ、その地へ、わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓って、あなたたちの子孫にそれを与えると説いた地へ。そして私はあなたの前に私の天使を共に送るだろう、そして彼はアモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、ギルガシ人、ヒビ人、エブス人、カナン人を追い出すだろう。そして私はあなたを、乳と蜜が流れる地へ連れて行くだろう。しかし私はあなたと共に上って行かないだろう。なぜならあなたは頑なな民であるからだ。そうすれば私はあなたをその道で滅ぼさないだろう。そして民はこの悪い知らせを聞いて、嘆き悲しんだ。そして主はイスラエルの息子たちに説いた、あなたたちはうなじの硬い民である。見よ、私が別の打撃をあなたたちの上にもたらし、あなたたちを滅ぼし尽くすことのないように。それゆえ今、あなたたちの誇りの衣服と飾りを脱ぎなさい。そうすれば、私があるあなたに何を行うかを示すであろう。そして、イスラエルの子らは彼らの装飾品と衣服をホレブの山から取り除いた。そしてモーセは自分の天幕を取り、宿営の外、宿営から遠く離れた所に張った。それは証しの天幕と呼ばれた。そして主を求める者は皆、宿営の外にあるその天幕へ出て行った。モーセが陣営の外側にあるその天幕へ入っていく時はいつでも、民は皆、各々自分の天幕の戸口の傍らに立って見守り、モーセがその天幕に入るまで、去りゆくモーセを注視していた。モ

ーセがその天幕に入ると、雲の柱が下って来て、天幕の戸口に立ち、モーセに語った。そして神はモーセに語られた。すべての民は、幕屋の入口の上に立っている雲の柱を見た。そしてすべての民は立ち上がり、各々が自分の幕屋の入口から礼拝した。そして主はモーセに、人が自分の友に話すように、顔と顔を合わせて語られた。そして彼は宿営に戻った。しかし従者ヨシュア、ヌンの息子である若者は、天幕から出て行かなかった。

そしてモーセは主に向かって言った、見よ、あなたは私にこの民を連れ上げよと言われる。しかしあなたは、誰を私と共に遣わすのかを私に示されなかった。しかしあなたは私に私はあなたをすべての者にまさって知っており、あなたは私のもとの恵みを得ていると言われた。もしそれゆえ私があなたの前に恩恵を見出したのであれば、あなた自身を私に示してください、明らかに私があなたを見ることができるよう、そのために私があなたの前に恩恵を見出した者であるように、そして私が知ることができるよう、この偉大な国民があなたの民であることを。そして彼は言う、私自身があなたの前を行き、あなたを休ませるだろう。そして彼に言う、もしあなた自身が共に行かないなら、私をここから導き上げないでください。そして、私とあなたの民が真にあなたから恵みを見つけたことが、どのようにして知られるでしょうか。それは、あなたが私たちと共に旅することによってではないでしょうか。そして、私とあなたの民は、地上にあるすべての国々の中で栄光を受けるでしょう。そして主はモーセに言われた、あなたが語ったこの言葉を、私は実行しよう。なぜなら、あなたは私の前に恵みを見出したからである。そして私はすべての者にまさってあなたを知っている。そして言う、私にあなた自身を示せ。そして言った、私はあなたより先に私の栄光をもって通り過ぎるであろう、そして私は私の名、主をあなたの前で呼ぶであろう、そして私は憐れむ者を憐れみ、そして私は哀れむ者を哀れむであろう。そして言った、あなたは私の顔を見ることができない。なぜなら、人は私の顔を見て生きることはいできないから

だ。そして主は言った、見よ、私のそばに場所がある。あなたは岩の上に立つだろう。私の栄光が過ぎ去る時、私はあなたを岩の裂け目に置き、私が通り過ぎるまで私の手であなたを覆うだろう。そして私は手を取り除き、その時あなたは私の後ろを見るだろう。しかし私の顔はあなたに見られることはない。

34

そして主はモーセに言われた、あなた自身のために二つの石の板を刻め、最初のもののよう。そして山へ私のところに登れ。そして私はその板の上に言葉を書こう、あなたが砕いた最初の板にあった言葉を。そして朝には準備を整え、シナイの山に登り、そこで山の頂上に私の前に立つであろう。そして誰もあなたと共に登ってはならず、またその山全体において見られてはならない。そして羊と牛はあの山の近くで草を食んではならない。そして、最初のものと同じように二つの石の板を切り出した。そしてモーセは早く起きて、主が彼に命じたとおりにシナイ山に登った。そしてモーセはその二つの石の板を取った。そして主は雲の中を降りて来て、そこで彼のそばに立ち、主の名を呼んだ。そして主は彼の前を通り過ぎ、主なる神は呼ばれた、憐れみ深く、慈悲深く、忍耐強く、慈悲に富み、真実であると。そして義を保ち、憐れみを千代まで及ぼし、不法と不義と罪を取り除く。しかし有罪者を清めることはせず、父たちの不法を子供たちの上に、子供の子供たちの上に、第三と第四の世代にもたらし。そして急いでモーセは身をかがめて地の上に礼拝した。そして彼は言った、もし私があなたの前に恩恵を見出したのなら、私の主が私たちと共に行ってくださいますように。この民は頑なな者ですから。そしてあなたが私たちの罪と不法を取り除いてくださいますように。そして私たちはあなたのものとなるでしょう。

そして主はモーセに言われた、見よ、私は汝の全ての民の前に汝と契約を結ぶ。私は栄光ある業を行うであろう、それらは全

ての地においても、全ての国民においても、かつて成されたことがないものである。そして汝がその中にいる全ての民は、主の業を見るであろう。なぜなら、私が汝のために行うことは驚くべきものだからである。私があなたに命じるすべてのことに注意せよ。見よ、私はあなたがたの前からアモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒッタイト人、ヒビ人、ゲルゲセ人、エブス人を追い出す。あなた自身に注意を払いなさい。あなたが入ろうとしているその地に住んでいる者たちと決して契約を結んではならない。それがあなたたちの中でつまずきの石とならないように。汝らは彼らの祭壇を引き倒し、彼らの柱を打ち砕き、彼らの木立を切り倒し、彼らの神々の彫像を火で焼き尽くすであろう。あなたがたは他の神々を礼拝してはならない。なぜなら、主なる神は、熱心という名を持ち、熱心な神であるからである。決してその地に住む者たちと契約を結んではならない、そして彼らが彼らの神々に従って淫行し、そして彼らが彼らの神々に犠牲を捧げ、そしてあなたを招き、そしてあなたが彼らの物を食べることがないように、そしてあなたが彼らの娘たちをあなたの息子たちに娶らせ、あなたの娘たちを彼らの息子たちに嫁がせると、あなたの娘たちは彼らの神々に従って淫行を行い、あなたの息子たちは彼らの神々に従って淫行を行うであろう。そしてあなたは鑄造の神々をあなた自身のために作ってはならない。そして、あなたは種なしパンの祭りを守らなければならない。七日間、種なしパンを食べなければならない。私があなたに命じたとおりに、新月の時に。なぜなら、新月にあなたはエジプトから出たからである。子宮を開くすべてのもの、その雄は私のものである。すべての子牛の初子、そして羊の初子。そして荷役獣の初子を、あなたは羊で贖うだろう。もしそれを贖わないなら、代価を与えるだろう。あなたの息子たちのすべての初子を、あなたは贖うだろう。あなたは私の前に空手で現れてはならない。

六日間働くが、七日目には休む。種蒔きと収穫においても休みとする。そしてあなたは週の祭りを私のために行うだろう、小

麦の収穫の始まりに、そして年の半ばに集会の祭りを。年に三度、あなたのすべての男性は、イスラエルの神である主の前に見られるだろう。なぜなら、私があるあなたの顔の前から諸国民を追い出し、あなたの境界を拡大するとき、あなたが年に三回、あなたの神である主の前に見られるために上るときには、誰もあなたの地を欲しないだろう。あなたは私の香の血をパン種と共に屠殺してはならず、過越の祭りの犠牲を朝まで残してはならない。あなたの地の初穂を、あなたの神である主の家に置くであろう。子羊をその母の乳で煮てはならない。そして主はモーセに言われた、これらの言葉をあなた自身のために書き記せ。なぜならこれらの言葉の上に、わたしはあなたと、そしてイスラエルと契約を結んだからである。そして、モーセは主の前にそこに四十日四十夜いた。パンを食べず、水を飲まなかった。そして、契約のこれらの言葉、十の言葉を板に書いた。

モーセが山から降りてきた時、二枚の板を手を持っていた。山から降りてくる間、モーセは知らなかった。神が彼に語った時、彼の顔の肌が栄光に輝いていたことを。そしてアロンとイスラエルのすべての長老たちはモーセを見た、そして彼の顔の色の見た目は栄光を受けていた。そして彼らは彼に近づくことを恐れた。そしてモーセは彼ら呼んだ。するとアロンと会衆のすべての支配者たちが彼の方に振り向いた。そしてモーセは彼らに話した。

そしてこれらの後、イスラエルの息子たち全員が彼のもとに近づいた。そして彼は彼らに、主がシナイの山で彼に命じた全てのことを命じた。そして、彼らに話すことをやめて以来、彼は自分の顔に覆いを置いた。モーセが主の前に入って主と話するときはいつでも、出て行くまで覆いは取り去られていた。そして出て行ってから、彼は主が彼に命じたすべてのことをイスラエルのすべての子らに話した。そしてイスラエルの子らはモーセの顔が栄光

を受けたのを見た。そしてモーセは彼に語るために入るまで、自分の顔に覆いをかぶせた。

35

そしてモーセはイスラエルの子らの全会衆を集めて言った、これらは主がそれらを行うようにと言われた言葉である 六日の間、あなたは働きをするだろう。しかし七日目は休息であり、聖なる安息日、主への休息である。この日に働きをする者は皆、死ななければならない。あなたがたは、安息日に、あなたがたのすべての住居で火を燃やしてはならない。私は主である。そしてモーセはイスラエルの子らの全会衆に向かって言った、これは主が命じられた言葉であると。あなたがたの中から主への奉納物を取りなさい。心から受け入れる者は皆、主への初穂を運ぶだろう。金、銀、青銅を。ヒヤシンス、紫、二重にねじられた緋色、そして紡がれた亜麻布、そして山羊の毛、そして赤く染められた雄羊の皮、そして青い皮、そして腐らない木、そして紅玉髓の石々、そして彫刻のための石々を肩当てと長い衣のために。そして心に知恵のある者は皆、あなたがたのもとに来て、主が命じられたすべてのことを行いなさい。その天幕、その覆い、その幕、その貫、その横木、その柱を、そして証の箱とその棒と贖いの座と幕、そして、そのテーブルとそのすべての器、そして光の燭台とそのすべての器、そしてその祭壇とそのすべての器、そして祭司アロンの聖なる衣服、そして彼らがそれらを着て務める衣服、そしてアロンの息子たちの祭司職の長衣、そして注ぎの油、そして調合の香。

そしてイスラエルの子らたちの全会衆はモーセのもとから出て行った。そして彼らは各々、その心が持って来たものを持って来た。そしてその魂に思われた者たちは捧げ物を持って来た。そして彼らは主に捧げ物を持って来た、証しの幕屋のすべての働きへと、そのすべての奉仕へと、そして聖なる衣のすべてへと。そ

して男たちは女たちから持ってきた。心に思ったすべての者が、印章と耳飾りと指輪と編み込み飾りと腕輪、すべての金の器を持ってきた。そして、金の奉納物を主に持って来た全ての者たち、また亜麻布を持っていた者、また青い皮と赤く染められた雄羊の皮を持ってきた。そして、捧げ物を取り除くすべての者は、銀と青銅、主への捧げ物を持ってきた。そして、朽ちない木が見つけられた者たちの中から、準備のすべての仕事へと彼らは持ってきた。そして心が賢いすべての女は、その手で紡ぎ、紡がれたものの、青紫、紫、緋色、亜麻布を持ってきた。そして、その心に知恵があると思われたすべての女たちは、山羊の毛を紡いだ。そして支配者たちは、エメラルドの石と充填の石をエポデに、そして胸当てを持ってきた。そしてその調合物を、そして塗油の油へ、そしてその香の調合物を。そしてすべての男と女で、その心が彼らを導いて入らせ、主がモーセを通して命じられたすべての働きをするように、イスラエルの子らは主への捧げ物を運んだ。そしてモーセはイスラエルの息子たちに言った、見よ、神は名によってベツアルエルを、ウリの子、ホルの孫を、ユダの部族から呼ばれた。そして神的な霊が彼を知恵と理解と、すべての知識で満たした。建築術のすべての作品に従って建築家であり、金と銀と青銅を作ること、そして石を加工し、木を加工し、すべての業において知恵をもって行うこと。そして、彼自身とダン部族出身のアヒサマクの子エリアブの心に、進める力を確かに与えた。そして彼らを知恵と理解と心で満たし、すべてを理解し、聖なる業を行い、織られたものと刺繍されたものを緋色と亜麻布で織り、すべての建築の業と刺繍を行うようにした。

36

ベツアレルとエリアブ、そして心に知恵と知識を与えられた全ての賢い者たちは、主が命じられた全てに従って、聖なるものに関する全ての適切な働きを理解し行った。そしてモーセはベツアレルとエリアブ、そして神がその心に知識を与えたすべての知

恵を持つ者たち、そして自発的にその仕事に来ることを望むすべての者たちを呼んだ。それらを完成させるためであった。そして彼らはモーセからすべての奉納物を受け取った。それらはイスラエルの子らが聖なるものの働きを行うために持って来たものであった。そして彼ら自身は、朝にそれを持って来る者たちから、まだ持って来られているものを受け取っていた。そして、聖なる仕事を作るすべての賢い者たちが来た、各々が自分の働いていた仕事に従って。そしてモーセに向かって言った、民は主が行うよう命じた仕事に従って多くのものを運んでいる、と。そしてモーセは命じ、陣営の中で **proclam** して言った、男も女ももはや聖所のための奉納物のために働いてはならない、そして民は捧げることを止められた。そしてその仕事は彼らがその建設をするために十分であり、彼らは余らせた。そして、働く者たちの中のすべての賢い者が、聖なるものの衣服を作った。それらは祭司アロンのものである。主がモーセに命じたとおりに。そして彼は金、青、紫、紡がれた緋色、そして撚られた亜麻布から肩当てを作った。そして金の葉は髪のように切られ、ヒヤシンス、紫、紡がれた緋色、ねじられた亜麻布と一緒に織り合わせるために、彼らはそれを織物として作った。両側の部分を保持する肩当て、互いに織り込まれた織物の仕事として、それ自体において。彼らは金、青、紫、撚り合わせた緋色、撚った亜麻布から、彼の詩に従ってそれを作った。主がモーセに命じた通りに。そして彼らは両方のエメラルドの石を作った。それらは金で留め合わされ、囲まれており、イスラエルの息子たちの名前による印章の彫刻が彫られ、彫り出されていた。そして彼はそれらをエポデの肩の上に置いた。イスラエルの子らの記念の石を、主がモーセに命じられたとおりに。

そして彼らは胸当てを作った。それは織られた細工で、エポデの細工に従って、金、青、紫、紡がれた緋色、そして撚られた亜麻布から作られた。彼らは四角形で二重の胸当てを作った。その長さは一スパン、そしてその幅は一スパンで二重であった。そ

して彼にその中に石で飾られた布が織り合わされた、四列で、石の列、紅玉髓と黄玉とエメラルド、第一の列、そして第二の列は、紅玉髓とサファイアと碧玉、そして三番目の列は、ヒヤシンス石と瑪瑙と紫水晶、そして四番目の列は、貴橄欖石と緑柱石と縞瑪瑙で、金で囲まれ、金で結び合わされていた。そして、その石たちはイスラエルの息子たちの十二の名前からであった。彼らの名前から印章に刻まれ、各々が自身の名前から十二の部族に対応していた。そして彼らは胸当ての上に、編み合わされた房飾りを作った。それは編み組みの仕事で、純金から作られた。そして彼らは二つの金の肩当てと二つの金の環を作り、その二つの金の環を胸当ての両方の端の上に置いた。そして彼らは金の編まれた鎖を、胸当ての両方の部分にある指輪の上に置いた。そして二つの留め金に二つの編み込まれた鎖を付けた。そして彼らはそれらを二つの肩当ての上に置き、そしてエポデの肩の上に、前面に向かい合うように置いた。そして彼らは二つの金の環を作り、それらを胸当ての端にある二つの翼の上に置き、エポデの後ろ部分の端の内側に置いた。そして彼らは二つの金の指輪を作り、それをエポデの両肩の下部に、前面に、エポデの織り帯の上方の接合部に置いた。そして彼はその胸当てを、その上にある環から、エポデの環へと締めた。それらは青い糸から取り付けられ、エポデの織物へと編み合わされていた。これは胸当てがエポデから緩まないためであり、主がモーセに命じられた通りであった。そして彼らは肩当ての下に着る下着を作った。それは織られた作品で、全体が青かった。そして、その下着の口の部分は真ん中で織り通され、織り交ぜられており、周りに縁を持ち、その口の部分は解けないものであった。そして彼らは下着の裾の下部に、花咲くザクロのようなザクロ飾りを作った、青色と紫色と緋色の紡がれた糸と撚られた亜麻布から。そして彼らは金の鈴を作り、そして彼らは鈴を衣の縁の上に、ザクロの間に周りに置いた。黄金の鐘とザクロが、その長衣の縁の周りに、仕えるために、主がモーセに命じられた通りに。そして彼らはアロンと彼の息子たちのために、織られた細かい亜麻布の長衣を作った。そして亜麻布からターバ

ンたちを、そして亜麻布からターバンを、そして撚られた亜麻布からズボンを作った。そして彼らの帯を亜麻布、青、紫、緋色から紡がれた刺繍の仕事で作った、主がモーセに命じられた方法で。そして彼らは純金で聖なるものの奉納物である金の板を作り、その上に印章のように刻まれた文字で主への聖所と書いた。そして彼らは青い縁を置いた。それが上からターバンの上に載るように、主がモーセに命じた通りに。

37

そして彼らはその天幕に十枚の幕を作った。一つの幕の長さは二十八キュビトであり、それはすべてに同じであった、そして一つの幕の幅は四キュビトであった。そして彼らは、青、紫、撚られた緋色、撚られた亜麻布から、ケルビムの織物細工の幕を作った。そして彼らはそれを、金で覆われた四つの不朽の柱の上に置いた。その柱頭は金製で、その台座は四つの銀製であった。そして彼らは、証の天幕の戸の幕を、青、紫、紡がれた緋色、そして撚られた亜麻布から作った。それはケルビムの織られた仕事であった。そして、それらの柱は五本、それらの環、それらの頭飾り、それらの鉤を金で覆った。そして、それらの台座は五つで青銅製であった。

そして彼らは南側の庭を作った。庭の幕は撚られた亜麻布で百に百であった。そして、それらの柱は二十、そして、それらの台座は二十。そして北に向かう側面は百に百、南に向かう側面は百に百、それらの柱は二十、それらの台座は二十である。そして海に向かう側には五十キュビトの幕、それらの柱は十、そしてそれらの台座は十、そして、東に向かう側は五十キュビトの幕で、背面は十五キュビトである。そして、それらの柱は三本、そして、それらの土台は三つ。そして第二の背中の上に、庭の門の両側に、十五キュビトの幕があり、それらの柱は三本、そしてそれらの台座は三つであった。幕屋のすべての幕は、ねじられた亜麻

布から作られた。そしてそれらの柱の台座は青銅であり、それらの鉤は銀であり、それらの頭飾りは銀で覆われており、また柱は銀で覆われていた。これらはすべて庭の柱である。そして、庭の門の幕は刺繍者の仕事で、青、紫、緋色の紡がれた糸と撚られた亜麻布から作られ、その長さは二十キュビト、その高さとは幅は五キュビトで、庭の掛け幕に対応していた。そして、それらの柱は四本、それらの台座は四つで青銅製、それらの鉤は銀製、そして、それらの柱頭は銀で覆われていた。そして庭の周りの全ての杭は青銅であり、それら自身は銀で覆われていた。そしてこれは証の天幕の配置であり、モーセに命じられたように、祭司アロンの息子イタマルによってレビ人たちの奉仕となった。

そしてウリの子ベツァレルは、ユダ族の出身で、主がモーセに命じたとおりに作った。そしてエリアブ、アヒサマクの息子でダン部族の出身であり、彼は織物と刺繍と芸術作品の最高職人であり、緋色と亜麻布を織った。

38

そしてベツァレルは箱を作った、そして、彼はそれを純金で内側と外側に覆った。そして彼はこれに四つの金の環を鑄造した、二つを一方の側に、そして二つを二番目の側に、棒に対して広く作られており、それらでそれを運べるようになっている。そして、純金から箱の上に贖いの座を作った。そして、その二つの黄金のケルビムを、一つのケルブを贖いの座の一方の端に、もう一つのケルブを贖いの座のもう一方の端に、それらの翼で贖罪所の上に影を作っている。そして、純金から前に置かれたそのテーブルを作った。そして彼はこれに四つの環を鑄造した。二つは一方の側に、そして二つはもう一方の側に。それらの中の棒でそれを運べるように、広く作った。そして、その箱の棒とその机の棒を作り、それらを金で覆った。そして彼は食卓の器、すなわち鉢、香炉、杯、そして注酒器を作った。それらは金製で、その中

に注ぐためのものである。そして、照らす黄金の燭台を作った。固体の莖、そしてその両側の部分から出る小さな葦を、その葦から芽が、その葦から芽が突き出ており、三つはこちらから、そして三つはこちらから、互いに等しくされている。そして彼らの灯火は端の上にあり、それらから胡桃形をしており、それらの受け皿もそれらからできており、それらの上に灯火を置くためである。そして第七の受け皿は燭台の端の上、頂の上方にあり、堅固な全体が金でできている。そしてその上に七つの金のランプ、そしてその金のトング、そしてそれらの金の注ぎ器。この者は柱たちを銀で覆い、そして柱に金の環たちを鑄造し、そして横木たちを金で覆い、そして幕の柱たちを金で覆い、そして金の留め金たちを作った。この者は幕屋の金の環と、庭の環と、上から覆いを伸ばすための青銅の環を作った。この者は幕屋の銀の柱頭と、幕屋の扉の青銅の柱頭と、庭の門を鑄造し、そして柱に銀の留め金を作り、柱の上にこの者はそれらを銀で覆った。彼はその幕屋の杭と、その庭の青銅の杭を作った。彼はその青銅の祭壇を、コラの会衆と共に反逆した男たちの青銅の火皿から作った。彼は祭壇のすべての器、彼の火皿、台座、鉢、そして青銅の肉鉤を作った。彼は祭壇に覆いを作った。それは網状の仕事で、火皿の下からその半分まで、その下にあった。そして彼はそれに四つの青銅の環を置いた。それは祭壇の覆いの四つの部分に付けられ、棒のために広く作られており、それらで祭壇を持ち上げるためであった。この者は聖なる塗油の油と清い香の調合を作った。これは香料作りの者の仕事である。彼は青銅の洗盤とその青銅の台を、証しの天幕の戸口のそばで断食した女たちの鏡から作った。それは彼がそれを立てた日のことであった。

そして彼は洗盤を作った。それは、モーセとアロンとその息子たちが、証の天幕に入る時、または祭壇に近づいて仕えるために近づく時に、そこから彼らの手と足を洗うためであった。彼らはそこから洗った。ちょうど主がモーセに命じられたように。

聖なるものたちのすべての仕事に従ってその作品へと準備されたすべての金は、初穂の金となり、聖なるシェケルに従って、二十九タラント、そして七百二十シェケルであった。そして銀の奉納物は、会衆の点呼された男たちから、百タラントと千七百七十五シェケルであった。一人の頭につきドラクマー一つ、シェケルの半分、聖なるシェケルに従って。検査を通過するすべての者は、二十歳以上で、六十万と三千五百五十であった。そして、その銀百タラントは、幕屋の百の柱頭の鑄造と、垂れ幕の柱頭のために用いられた。百の頭部は百タラントに対応し、一タラントが一頭部に、そして千七百七十五シェケルを柱の鉤に作り、その柱頭を金で覆い、それらを飾った。

そして、その奉納物の青銅は七十タラント、そして千五百シェケルであった。そして彼らは、証の幕屋の扉の土台をそれから作った。そして庭の周りの台座、そして庭の門の台座、そして天幕の杭、そして庭の周りの杭、そして祭壇の青銅の覆い、そして祭壇のすべての器具、そして証しの天幕のすべての道具、そしてイスラエルの息子たちは、主がモーセに命じたように、そのように行った。しかし、奉納物の残りの金で、彼らは主の前でそれらを用いて仕える器を作った。そして残されたヒヤシンス、紫、緋色で、彼らはアロンのための奉仕用の衣服を作った。それらを聖所で奉仕するために用いるためである。そして彼らはその衣服をモーセのもとに持って来た。そして天幕と、その器具、その土台、その横木、その柱を持って来た。そしてその祭壇と、そのすべての器。

そして塗油の油、そして調合の香、そして清い燭台、そしてそのランプ、燃焼用のランプ、そして光のための油、そして供えのパンの机と、そのすべての器と、供えられたパンと、そしてアロンの聖なる衣服と彼の息子たちの衣服を祭司職のために、そし

て中庭の幕、柱、幕屋の戸の垂れ幕、そして中庭の門の垂れ幕そして幕屋のすべての器、そしてそのすべての道具、そして赤く染められた雄羊の皮のなめし革、そして青い覆い、そして残りの覆い、そして杭、そして証しの幕屋の仕事のためのすべての道具、主がモーセに命じたように、イスラエルの子らはすべての荷物についてそのように行った。そして、モーセはすべての働きを見た。そして彼らは、主がモーセに命じた方法で、それらを作り終えていた。そのように彼らはそれらを作った。そして、モーセは彼らを祝福した。

40

そして主はモーセに語って言われた、第一の月の新月の一日に、あなたは証しの天幕を立てるであろう。そして、あなたは証言の箱を置き、その箱を幕で覆うだろう。そして、あなたは机を持ち込み、その供え物を並べ、燭台を持ち込み、そのランプを置くであろう。そして、あなたは金の祭壇を箱の前に置き、そこで香を焚くだろう。そして、あなたは垂れ幕の覆いを証しの天幕の戸の上に置くだろう。そして、供え物の祭壇を証しの幕屋の戸の傍らに置くであろう。そしてあなたはその幕屋を周りに置き、そのすべてのものを周りに聖別するだろう。そしてあなたは注ぎの油を取り、天幕とその中にあるすべてのものに注ぎ、それとそのすべての器を聖別しなさい。そうすればそれは聖なるものとなるだろう。そして、あなたは供え物の祭壇とそのすべての器を塗油し、その祭壇を聖別するであろう。そして、その祭壇は聖なるものの中の聖なるものとなるであろう。そしてあなたはアロンと彼の息子たちを証の天幕の入口に連れて来て、彼らを水で洗わなければならない。そしてあなたはアロンにその聖なる衣を着せ、彼に塗油し、彼を聖別し、彼は私に祭司として仕えるだろう。そして彼の息子たちを連れて来て、彼らに長衣を着せなさい。そしてあなたは、彼らの父に油を注いだ方法で彼らに油を注ぐだろう。そして彼らは私に祭司として仕えるだろう。そしてそ

れは、彼らにとって祭司職の油注ぎが永遠に、彼らの世代へと続くためであるだろう。モーセは、主が彼に命じたすべてのことを、そのように行った。

そして、彼らがエジプトから出て行った二年目の最初の月の新月に、その天幕が立てられた。そしてモーセは天幕を設置し、柱頭を置き、横木を挿入し、柱を立てた。そして彼は幕を天幕の上に張り広げ、天幕の覆いをその上に上から置いた、主がモーセに命じたように。そして証を取った後、それを箱の中に入れ、そして棒を箱の下に置いた。そして彼は箱を天幕に持ち込み、垂れ幕の覆いを置き、証しの箱を覆った。主がモーセに命じられた通りに。そして彼はその机を証言の天幕の中に、天幕の垂れ幕の外側の北側に置いた。そして彼はその上に供えのパンを主の前に加えた、主がモーセに命じた方法で。そして彼は証しの天幕の中に、天幕の南側に燭台を置いた。そして彼はそのランプを主の前に置いた、主がモーセに命じた方法で。そして、彼は金の祭壇を証の天幕の中、垂れ幕の前に置いた。そして彼はその上で調合の香を焚いた、ちょうど主がモーセに命じられた通りに。そして供え物の祭壇を幕屋の戸のそばに置いた。

民数記

1

そして主はモーセに語られた、シナイの荒野において、証の天幕において、彼らがエジプトの地から出て行った第二年の第二の月の一日に、言われた イスラエルのすべての会衆の調査を、血縁ごとに、父祖の家ごとに、名の数により、一人一人について、行え。すべての男性で二十歳以上の者、イスラエルの軍隊に出て行くすべての者を、彼らの部隊と共に調査しなさい、あなたとアロンは彼らを調査しなさい。そして、あなた方と共に、各部族に従って各々の支配者たちがおり、父祖の家々に従って彼らはいらるだろう。

そして、これらはあなたたちと共に立つ男たちの名前である。ルベン族については、エリスルはセディウルの子である。シメオン族の、スリサダイの子サラミエル。ユダの者たちの中で、ナアソンはアミナダブの子である。イッサカルの、ソガルの子ナタナエル。ザブルンの、エリアブはヘロンの子、ヨセフの子たちのエフライムの、エリシャマはアミフデの子、マナセのガマリエル、ペダフツルの子。ベニヤミンの、ガデオンの子アビダン。ダンの、アヒエゼル、アミシャダイの子。アシェルの者たちから、エクランの子ファガイエル。ガドの者たちの、ラグエルの子エリサフ。ナフタリ族のもの、アイナンの子アキレ。これらは会衆の召集された者たち、彼らの家族による部族たちの支配者たち、イスラエルの千人隊長たちである。

そしてモーセとアロンは名によって呼ばれたこれらの男たちを連れて行った。そして彼らは全会衆を第二年の第二の月の一日に集め、彼らは世代ごとに、家族ごとに、名前の数に従って、二

十歳以上の全ての男性を一人一人登録した。主がモーセに命じられた方法で、彼らはシナイの荒野において数えられた。

イスラエルの長子ルベンの息子たちは、彼らの血縁、氏族、父祖の家ごとに、名前の数、頭数により登録され、二十歳以上のすべての男性で、軍務に就くことのできる者すべてであった。ルベン部族からの彼らの点呼は、四万六千五百。シメオンの息子たちについて、彼らの血縁に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名前の数に従って、彼らの頭数に従って、すべての男性で二十歳以上の者、軍務に出るすべての者、シメオン部族の人口調査は、五万九千三百人であった。

ユダの息子たちに、彼らの血縁に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名前の数に従って、彼らの頭数に従って、すべての男性、二十歳以上、軍務に出るすべての者、彼らの調査は、ユダ部族から、七万四千六百。

イッサカルの息子たちについて、彼らの親族ごとに、彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに、彼らの名前の数ごとに、一人一人について、すべての男性で、二十歳以上の者、軍務に就くことのできるすべての者は、イッサカル部族からの彼らの調査は、五万四千四百。ゼブルンの息子たちに、彼らの血縁関係により、彼らの氏族により、彼らの父祖の家により、彼らの名前の数により、彼らの頭数により、すべての男性、二十歳以上、軍務に出るすべての者、ゼブルン部族の彼らの調査は、五万七千四百。

ヨセフの息子たち、エフライムの息子たちについて、彼らの血縁に従い、彼らの氏族に従い、彼らの父祖の家に従い、彼らの名前の数に従い、一人一人について、すべての男性、二十歳以上、軍務に就くことのできるすべての者、彼らの調査、エフライムの部族から、四万五百。マナセの息子たちに、彼らの血縁に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名

前の数に従って、彼らの頭数に従って、すべての男性、二十歳以上、軍務に出るすべての者、 マナセ部族からの彼らの人口調査は、三万二千二百。ベニヤミンの息子たちについて、彼らの血縁に従い、彼らの氏族に従い、彼らの父祖の家に従い、彼らの名前の数に従い、彼らの頭数に従い、すべての男性で二十歳以上の者、軍務に出るすべての者、ベニヤミン部族からの彼らの調査は、三万五千四百。ガドの息子たちについて、彼らの血縁に従い、彼らの氏族に従い、彼らの父祖の家に従い、彼らの名前の数に従い、一人一人について、すべての男性で、二十歳以上の、軍務に就くことのできるすべての者は、ガド部族の調査は、四万五千六百五十であった。

ダンの息子たちに、彼らの血縁に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名前の数に従って、彼らの頭数に従って、全ての男性、二十歳から上の者、軍務に出る全ての者、ダン部族からの彼らの調査は、六万二千七百。アシエルの子息たちに、彼らの血縁に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名前の数に従って、彼らの頭数に従って、すべての男性、二十歳以上、軍務に出るすべての者、アシエル部族からの彼らの点呼は、四万一千五百。

ナフタリの息子たちについて、彼らの血縁に従い、彼らの氏族に従い、彼らの父祖の家に従い、彼らの名前の数に従い、一人一人について、すべての男性で、二十歳以上の者、すべて軍務に就くことのできる者は、ナフタリ部族の彼らの人口調査は、五万三千四百であった。

これは、モーセとアロンとイスラエルの支配者たち十二人が行った調査であった。各人は一つの部族に従い、父祖の家々の部族に従っていた。そしてイスラエルの息子たちのすべての人口調査が、彼らの軍勢と共に、二十歳以上で、イスラエルにおいて戦

いのために出陣するすべての者について行われた。六十万三千五百五十。

しかし、レビ人たちは彼らの家族の部族から、イスラエルの息子たちの中で数えられなかった。そして主はモーセに語って言われた、見よ、レビの部族については国勢調査を行ってはならない。また、彼らの数をイスラエルの子らの中で数えてはならない。そしてあなたは、レビ人たちを証の幕屋の上に、そしてそのすべての器具の上に、そしてその中にあるすべてのものの上に任命せよ。彼ら自身がその幕屋とそのすべての器具を運ぶであろう。そして彼ら自身がそれにおいて仕えるであろう。そして幕屋の周りに宿営するであろう。そして幕屋を移動させる時、レビ人たちはそれを解体し、幕屋を設営する時、彼らはそれを立ち上げる。そして近づく異邦人は死ななければならない。そしてイスラエルの子らは宿営するであろう、各人はそれぞれ自分の隊列において、そして各人はそれぞれ自分の指揮に従って、彼らの軍勢と共に。そして、レビ人たちは証しの幕屋の周りに向かい合って宿営させよ。そうすれば、イスラエルの子らの中に罪はないであろう。そして、レビ人たち自身が証しの幕屋の見張りを守るであろう。そしてイスラエルの子らは、主がモーセとアロンに命じられたすべてのことに従って、そのように行った。

2

そして主はモーセとアロンに向かって話し、言われた。人はそれぞれ自分の秩序に従い、旗に従い、父祖の家々に従って配置され、イスラエルの子らは証の幕屋の周囲に向かい合って宿営せよ。イスラエルの子らは宿営するであろう。そして、東の方角に最初に宿営する者たちは、彼らの軍勢と共にユダの陣営の編成であり、そしてユダの子らの長は、アミナダブの子ナアソンである。彼の軍勢で検閲された者たちは、七万四千六百人である。そして、イッサカル部族の次に宿営する者たち、そして、イッサ

カルの息子たちの支配者、ソガルの息子ナタナエル。彼の軍勢で検査された者たちは、五万四千四百人である。そして、ゼブルン部族の次に宿営する者たち、そしてゼブルンの息子たちの支配者、ヘロンの息子エリアブ。彼の軍勢で検査された者たちは、五万七千四百人。ユダの陣営から点検されたすべての者は、十八万六千四百人であり、彼らの軍勢と共に最初に出発するであろう。ルベンの陣営の軍団は南に向かい、彼らの軍勢、そしてルベンの子らの長はセディウルの子エリスルである。彼の軍勢で点検された者たちは、四万六千五百人。そして彼の次に宿営する者たちはシメオンの部族であり、シメオンの息子たちの支配者はスリシャダイの息子サラミエルである。彼の軍勢で検査された者たちは、五万九千三百人。そして、彼の次に宿営する者たちはガドの部族であり、ガドの子らの長はラグエルの子エリサフである。彼の軍勢で検閲された者たちは、四万五千六百五十人である。ルベンの陣営で検査された者全ては、十万五千四百五十人であり、彼らの軍隊と共に二番目に出発するであろう。

そして証の天幕が取り去られ、レビ人たちの宿営が宿営たちの真ん中に置かれる。彼らが宿営するように、このように彼らは出発する、各々が指導権に従って位置を保つ。エフライムの陣営の順序は海のそばにあり、彼らの軍勢と共にあった。そしてエフライムの子らの支配者は、アミフデの子エリシャマであった。彼の軍勢で調査された者たちは、四万五百人。

そして、マナセ部族の隣に宿営する者たち、そしてマナセの子らの長、ファダスールの子ガマリエル。彼の軍勢で検閲された者たちは、三万二千二百人。そして、ベニヤミン部族の隣に宿営する者たち、そしてベニヤミンの子らの長、ギデオニの子アビダン。彼の軍勢で検査された者たちは、三万五千四百人。エフライムの陣営で点呼されたすべての者は十万八千百人であり、彼らの軍勢と共に三番目に出発するであろう。

ダンの陣営の順序は北に向かって彼らの力と共にあり、ダンの息子たちの支配者はアミシャダイの息子アヒエゼルである。彼の軍勢で検査された者たちは、六万二千七百人である。そして、彼の次に宿営する者たちはアシェル部族であり、そしてアシェルの息子たちの支配者は、エクランの息子ファゲエルである。彼の軍勢で検査された者たちは、四万五千五百人。そして、ナフタリ部族に隣接して宿営する者たち、そしてナフタリの子らの長、アイナンの子アヒレ。彼の軍勢で点検された者たちは、五万三千四百人である。ダンの陣営で検査されたすべての者は十五万七千六百人であり、彼らは最後に自分たちの順序に従って出発するだろう。

これはイスラエルの息子たちの、彼らの父祖の家による人口調査である。宿营地のすべての人口調査は、彼らの軍隊と共に、六十万三千五百五十。しかし、レビ人たちは、主がモーセに命じたとおり、彼らの中で数えられなかった。そしてイスラエルの息子たちは、主がモーセに命じたすべてのことを行った。このように彼らは自分たちの順序に従って宿営し、このように彼らは各々、自分たちの氏族に従って、自分たちの父祖の家に従って、次々に出発した。

3

そしてこれらはアロンとモーセの世代である、主がシナイ山でモーセに話したその日に。そしてこれらはアロンの息子たちの名前である。長子ナダブ、そしてアビウド、エレアザル、そしてイタマル。これらはアロンの息子たちの名前である。油注がれた祭司たちで、祭司として仕えるために彼らの手を聖別された者たちである。そしてナダブとアビウドは主の前で死んだ。彼らがシナイの荒野において異質な火を主の前で捧げた時である。そして彼らには子供たちがいなかった。そしてエレアザルとイタマルは彼らの父アロンと共に祭司として仕えた。

そして主はモーセに語って言われた。レビの部族を取り、彼らを祭司アロンの前に立たせよ。そして彼らは彼に仕えるであろう。そして彼らは、彼の守りと、イスラエルの息子たちの守りを、証の天幕の前で守り、天幕の働きを行うだろう。そして彼らは証言の天幕の全ての器を守り、イスラエルの息子たちの守りを、天幕の全ての働きに従って守るだろう。そしてあなたはレビ人たちをアロンと彼の息子たちである祭司たちに与えるだろう。これらは贈り物として与えられた者たちであり、イスラエルの子らから私に属する者たちである。そしてアアロンと彼の息子たちを証の幕屋に任命せよ。彼らはその祭司職を守り、祭壇に関するすべてのこと、そして垂れ幕の内側に関することを守るであろう。そして触れる異邦人は死ぬであろう。そして主はモーセに語って言われた、そして見よ、私はイスラエルの子らの中からレビ人を取った。胎を開くすべての初子の代わりに、イスラエルの子らの初子の代わりに。彼らは贖いとなり、レビ人は私のものとなる。私にとってすべての初子は、私がエジプトの地ですべての初子を打ったその日に、私はイスラエルにおけるすべての初子を私のために聖別した。人から家畜まで、彼らは私のものとなる。私は主である。

そして主はシナイの荒野においてモーセに語り、言われた。レビの息子たちを、彼らの父祖の家により、彼らの氏族により調査せよ。生後一ヶ月以上のすべての男性を調査せよ。そして、モーセとアロンは、主が彼らに命じた方法で、主の声を通して彼らを訪問した。

そして、これらは彼らの名前によるレビの息子たちであった。ゲドソン、カアト、そしてメラリ。そして、これらはゲドソンの息子たちの名前であり、彼らの氏族によるもので、ロベニとセメイである。そしてカアテの息子たちは、彼らの氏族に従って、アムラム、イッサアル、ケブロン、そしてオリエル。そしてメラリの息子たちは、彼らの氏族に従って、モオリとムシであ

る。これらは彼らの父祖の家に従ったレビ人の氏族である。ゲドソンには、ロベニの民と、シメイの民がおり、これらがゲドソンの諸氏族である。彼らの人口調査は、一ヶ月以上のすべての男性の数によると、彼らの人口調査は七千五百であった。そして、ゲドソンの息子たちは幕屋の後ろ、海のそばに宿営するであろう。そして、ゲドソンの民の家族の家の支配者は、ダエルの息子エリサフである。そしてゲドソンの息子たちの守りは証しの天幕の中に、その天幕とその覆い、そして証しの天幕の戸の覆いである。そして庭の幕、そして幕屋の上にある庭の門の垂れ幕、そして彼のすべての仕事の残り。

コハテには、アムラムの民が一つ、イサカルの民が一つ、ヘブロン民が一つ、オジエルの民が一つあり、これらが数によるコハテの民である。すべての男性は、月齢から上、八千六百人で、聖なるものの守りを守っている。コハテの息子たちの氏族は、幕屋の南側に宿営するであろう。そして、カアテの民の父祖の家の支配者は、ウジエルの息子エリサファンであった。

そして彼らの守りは、その箱、その机、その燭台、その祭壇たち、その聖なるものの器たちで、それらにおいて彼らが仕えるだけのもの、その覆い、そしてそれらのすべての働きである。そしてレビ人たちの指導者たちを統べる長、祭司アロンの子エレアザルは、聖なるものの守りを守るために任命された。メラリには、モオリの氏族とムシの氏族があり、これらがメラリの諸氏族である。彼らの調査によると、生後一ヶ月以上のすべての男性の数は六千五十人であった。そしてメラリの民の父祖の家の支配者、アビハイルの息子ツリエルは、幕屋の側面から北に向かって宿営するだろう。メラリの息子たちの見張りの監視は、天幕の柱頭、そのかんぬき、その柱、その台座、それらのすべての器具、そしてそれらの仕事である。そして庭の周りの柱と、それらの台座と、杭と、それらの綱を。

証の天幕の前、東の方に宿営する者たちは、モーセとアロンとその息子たちであり、イスラエルの子らのために聖所の務めを守る者たちであった。そして触れる異邦人は死ななければならない。レビ人全員の人口調査、モーセとアロンが主の声によって氏族ごとに数えた者たち、一ヶ月以上のすべての男性は、二万二千人であった。

そして主はモーセに言われた、イスラエルの息子たちのすべての初子の男性を、生後一ヶ月以上の者を調査し、名前によってその数を取れ。そしてあなたはレビ人たちを私のために取るだろう。私は主である。イスラエルの子らの全ての初子の代わりに。そしてレビ人たちの家畜を、イスラエルの子らの家畜における全ての初子の代わりに。そしてモーセは、主が命じた方法で、イスラエルの息子たちの中のすべての初子を訪れた。そして、名によって数えられた一ヶ月以上のすべての初子の男性は、彼らの人口調査から、二万二千二百七十三人となった。そして主はモーセに語って言われた、レビ人たちを、イスラエルの息子たちのすべての初子の代わりに取れ、そしてレビ人たちの家畜を彼らの家畜の代わりに取れ、そしてレビ人たちは私のものとなるであろう、私は主である。そして、イスラエルの息子たちの初子のうち、レビ人を超える二百七十三人の贖い金、そして、あなたは一人につき五シェケルを取るだろう。聖なるディドラクマに従って取るだろう。一シェケルは二十オボロスである。そして、あなたはその銀を、彼らの中で超過している者たちの贖い金として、アロンと彼の息子たちに与えるだろう。そしてモーセは、レビ人たちによる贖いを超えた者たちのあがない金である銀を取った。イスラエルの息子たちの初子から、聖なるシェケルに従って、千三百六十五シェケルの銀を取った。そしてモーセは、超過している者たちの贖い金を、主の声を通して、主がモーセに命じた方法で、アロンと彼の息子たちに与えた。

そして主はモーセとアロンに向かって話し、言った。レビの息子たちの中からカアテの息子たちの主要点を、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、取れ。二十五歳以上から五十歳まで、入って仕えるすべての者は、証しの天幕におけるすべての働きをする。

そしてこれらはコハトの息子たちの働きである、証の天幕において、聖なるものの中の聖なるもの。そしてアロンと彼の息子たちは、宿営が移動する時に入り、覆っている垂れ幕を取り下ろし、それで証の箱を覆うだろう。そして彼らはその上に青い皮の覆いを置き、その上に青い衣全体を上から広げ、棒を通すだろう。

そして、前に置かれたその机の上に、彼らは全紫の衣を置くだろう。そして鉢たち、香炉たち、杯たち、注酒を注ぐための注酒器たち、そして絶えずその上にあるパンたちを置くだろう。そして彼らはその上に緋色の衣を掛け、青い革の覆いでそれを覆い、その中に棒を通すであろう。そして彼らは青い衣を取り、光を与える燭台と、そのランプと、その火ばさみと、その注ぐための器と、それらにおいて仕える油の全ての器を覆うだろう。そして彼らはそれとそのすべての器を青い革の覆いに入れ、それを運搬枠の上に置くだろう。そして金の祭壇の上に青い衣を覆い、それを青い皮の覆いで覆い、その棒を通すだろう。

そして彼らは、聖なる場所において奉仕するために用いるすべての奉仕用の器を取り、それらを青い衣に入れ、青い皮の覆いでそれらを覆い、棒の上に置くだろう。そして彼は覆いを祭壇の上に置き、彼らはその上に全紫の衣を覆うだろう。そして彼らはその上に、それらによってその上で仕えるすべての器、すなわち火皿、肉鉤、鉢、覆い、そして祭壇のすべての器を置くだろう。そして彼らはその上に青い皮の覆いを広げ、その運び棒を挿入するだろう。そして彼らは紫の衣を取り、洗盤とその台を覆

い、それを青い皮の覆いの中に入れ、運び棒の上に置くだろう。アアロンと彼の息子たちは、宿営を移動させる際に、聖なるものとすべての聖なる器を覆うことを完了する。その後、カアトの息子たちは運ぶために入る。しかし彼らは聖なるものに触れてはならない、死なないために。これらをカアトの息子たちは証しの幕屋において運ぶのである。

監督者エレアザル、祭司アロンの息子は、光の油、調合の香、日ごとの犠牲、注ぎの油を管理し、幕屋全体の監督を行い、この聖なるものの中にあるすべてのものを、すべての働きにおいて管理する。

そして主はモーセとアロンに向かって話し、言われた。コハトの人々の部族をレビ人の中から滅ぼしてはならない。これを彼らに対してしなさい。そうすれば彼らは生きるだろう、そして死ぬことはないだろう。彼らが至聖所に近づく時、アロンと彼の息子たちを近づかせなさい。そして彼らは各々をその務めに従って任命するだろう。そして、彼らは突然聖なるものを見るために入ってはならない。さもなければ彼らは死ぬだろう。

そして主はモーセに語って言われた。ゲドソンの息子たちの数を取れ、そして彼らを彼らの父祖の家に従って、彼らの氏族に従って。二十五歳以上五十歳までの者を調査せよ、証の幕屋において働きをするために仕えに入るすべての者を。これはゲドソンの民の務めであり、仕えることと運ぶことである。そして彼は幕屋の皮、証の幕屋、その覆い、その上にある青い覆い、証の幕屋の戸の覆いを持ち上げるだろう。そして庭の幕、証の幕屋の上にある多くのもの、そして残りのもの、そしてそれらの中で彼らが奉仕するすべての奉仕の器具、これらを彼らは作るだろう。アアロンとその息子たちの口によって、ゲドソンの息子たちの奉仕は、彼らのすべての奉仕において、そして彼らのすべての働きにおいて行われるであろう。そしてあなたは名をもって、彼らによ

って準備されるすべてのものを監督するであろう。これはゲドソンの息子たちの証の幕屋における務めであり、彼らの守りは祭司アロンの息子イタマルの手にある。

メラリの息子たちを、その氏族ごとに、その父祖の家ごとに数えなさい。二十五歳以上五十歳までの者たちを調査せよ、証の幕屋の仕事に仕えるために入るすべての者を。そしてこれらは、証しの天幕におけるすべての働きにおいて、彼らによって運ばれる者たちの守るべきものである。天幕の柱頭、横木、その柱、その台座、覆い、それらの台座、それらの柱、そして天幕の戸口の覆いである。そして庭の周りの柱たちとそれらの土台たち、そして庭の門の幕の柱たちとそれらの土台たち、そしてそれらの杭たち、そしてそれらの綱たち、そしてそれらのすべての器具たち、そしてそれらのすべての奉仕の品々を、名前によって点検せよ。そして彼らによって運ばれる守りのすべての器具たちを。これはメラリの息子たちの民の務めであり、証の幕屋における彼らのすべての働きにおいて、祭司アロンの息子イタマルの手によるものである。

そしてモーセとアロンとイスラエルの支配者たちは、カアテの息子たちを彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って訪問した。二十五歳以上五十歳までの、証の幕屋に入って仕え、働く者すべて。そして彼らの氏族に従った彼らの調査は、二千七百五十となった。これは、カアテの人々の戸籍調査である。証の幕屋で奉仕するすべての者について、モーセとアロンが、主の声によって、モーセの手を通して訪れたように。

そして、ゲドソンの息子たちは、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って数えられた。二十五歳以上五十歳までの、すべての入る者が仕え、証しの天幕においてその働きをする。そして彼らの人口調査が、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って行われ、二千六百三十であった。これはゲドソンの息子たち

の民の人口調査である。証言の天幕において奉仕する全ての者で、モーセとアロンが主の声により、モーセの手を通して調査した者たちである。

メラリの息子たちの民も、彼らの氏族により、彼らの父祖の家により、数えられた。二十五歳以上五十歳までの、証の幕屋の働きに仕えるために入るすべての者。そして彼らの数え上げが、彼らの氏族により、彼らの父祖の家により行われ、三千二百となった。これは、メラリの息子たちの人々の人口調査であり、モーセとアロンが主の声によって、モーセの手において訪れた者たちである。モーセとアロンとイスラエルの支配者たちが、レビ人たちを彼らの氏族と父祖の家々に従って調査したすべての者たち二十五歳から五十歳まで、仕事に入るすべての者、そして証しの天幕において運ばれる仕事たち。そして数えられた者たちは八千五百八十人となった。主の声を通して、モーセの手において彼らを訪れた。男ごとに彼らの働きの上に、そして彼らが持ち上げるものの上に数えられた。主がモーセに命じた方法で。

5

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの息子たちに命令せよ、そして宿営からすべてのハンセン病患者、すべての漏出のある者、そしてすべての魂において汚れた者を送り出させよ。男性から女性まで、宿営の外へ送り出せ。そうすれば彼らは、私がその中に住んでいる彼らの宿営を汚すことはないだろう。そしてイスラエルの息子たちはこのように行い、彼らを宿営の外に送り出した。主がモーセに語ったように、このようにイスラエルの息子たちは行った。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの息子たちに語れ、言って、男または女、誰でもすべての人間の罪のうちから行い、見過ごしに見見過ごして、その魂が罪を犯すならば、彼は

自分が行った罪を告白し、その違反の元金とその五分の一を加えてそれに上乘せし、自分が違反した相手に返すだろう。もしその人に復讐者がいないならば、彼に違反を返すために、返されるべき違反は主に属し、祭司のものとなるだろう。ただし贖罪の雄羊は除く。それを通して彼のために贖罪がなされるだろう。

そしてイスラエルの子らにおけるすべての聖なるものに従ったすべての初穂、彼らが主に捧げるものはどれであっても、その祭司のものとなる。そして各々の聖別されたものは、彼のものとなる。そして祭司に与える者は誰でも、それは彼のものとなる。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの子らに告げて、彼らに言え。もしある男の妻が道を外れ、彼を軽んじて裏切るならば、そして誰かが彼女と種の床を共にし、それが彼女の夫の目から逃れ、彼女がそれを隠し、しかし彼女は汚されており、証人が彼女と共にいなかった場合、そして彼女が捕らえられていない場合、そして嫉妬の霊が彼に臨み、彼が自分の妻を嫉妬し、この女が汚されている場合、または嫉妬の霊が彼に臨み、彼が自分の妻を嫉妬するが、この女が汚されていない場合、そしてその男は彼の妻を祭司のもとへ導き、彼女についての贈り物として、エバの十分の一の大麦の小麦粉を持ってくるだろう。彼はその上に油を注がず、その上に乳香も置かない。なぜならそれは嫉妬の犠牲、記念の犠牲であり、罪を思い起こさせるものだからである。

そして祭司は彼女を連れて来て、主の前に立たせるだろう。そして祭司は、土の器に入った清い生きた水を取るだろう。そして証しの天幕の地面の上にある土を取って、祭司はその水に投げ入れるだろう。そして祭司はその女を主の前に立たせ、その女の頭を明らかにし、彼女の手の上に記念の犠牲、嫉妬の犠牲を与えるだろう。しかし祭司の手の中には、この呪いの責めの水がある

だろう。そして祭司は彼女に誓わせ、その女に言うだろう。もし誰もあなたと共に寝ていないならば、もしあなたが自分の夫のもとで汚されるように違反していないならば、この呪われた責めの水から無罪でありなさい。もしあなたが既婚者でありながら違反したか、または汚され、そして誰かがあなたの夫以外の者があなたと床を共にしたならば、そして祭司はこの呪いの誓いによってその妻に誓わせ、祭司はその妻に言うだろう、主があなたの腿を落ちさせ、あなたの腹を腫れさせる時、主があなたの民の真ん中であなたを呪いと誓いの対象とされるように。そしてこの呪いの水はあなたの腹の中に入り、腹を膨らませ、あなたの腿を落とすだろう。そして女は言うだろう、そうなりますように、そうなりますようにと。

そして祭司はこれらの呪いを書物に書き、呪いの苦い水の中へ拭い去るだろう。そして、彼はその女に呪われた責めの水を飲ませるだろう、そして、その呪いの責めの水は彼女の中に入るだろう。

そして祭司はその女の手から嫉妬の犠牲を受け取り、その犠牲を主の前に置き、それを祭壇へ運ぶだろう。そして祭司はその犠牲から記念の部分を取り、それを祭壇の上に捧げる。その後、その女に水を飲ませる。そしてもし彼女が汚されており、そのことが彼女の夫から隠されていたならば、その責めの呪われた水が彼女の中に入るだろう。そして腹が膨らみ、彼女の腿が崩れ落ちるだろう。そしてその女は彼女の民の中で呪いとなるだろう。もしその女が汚されておらず、清いならば、彼女は無罪であり、子を孕むであろう。これは嫉妬の法である。夫のもとにある女がそれに背き、汚されるとき。或いは、もし嫉妬の霊が彼の上に臨み、彼が自分の妻を嫉妬し、そして彼が自分の妻を主の前に立たせるならば、祭司はこの律法の全てを彼女に対して行うであろう。そして、その男は罪から無罪となるであろう、そして、あの女は彼女の罪を受けるであろう。

6

そして主はモーセに向かって話し、言った、イスラエルの息子たちに話せ、そしてあなたは彼らに言うだろう、男または女で、主に身を清めるために大いなる誓いを立てる者は、ぶどう酒と強い飲み物から身を清め、ぶどう酒の酔も強い飲み物の酔も飲まず、ぶどうから作られるものは何も飲まず、新鮮なぶどうも干しぶどうも食べない、彼の誓いのすべての日々において。ぶどうの木から生じるすべてのもの、ぶどう酒からぶどうの皮、ぶどうの種に至るまで、清めのすべての日々、彼は食べてはならない。かみそりは彼の頭の上に来ないであろう、彼が主に誓った日々が満たされるまで。彼は聖なる者となり、主への誓いのすべての日々、頭の髪の毛を伸ばすであろう。彼はすべての死者のもとに入ってはならない。父と母のもとにも入ってはならない。兄弟と姉妹については、彼らが死んでも彼は汚されてはならない。なぜなら、彼の神への誓いが彼の頭の上にあるからである。

彼の誓願のすべての日々、主に対して聖なる者であろう。もしも誰かが彼のもとで突然死んだならば、直ちに彼の誓願の頭は汚される。そして彼は清められる日、すなわち七日目に彼の頭を剃る。そして八日目に、彼は二羽の山鳩、または二羽の若い鳩を、証の天幕の戸口で祭司のもとへ持って来るだろう。

そして祭司は一つを罪のために、一つを全焼のいけにえとして献げ、祭司は彼が魂について罪を犯したことについて彼のために贖いをなし、そして彼が主に聖別されたその日に、彼の頭を聖別し、誓願の日々を聖別するであろう。そして彼は一歳の子羊を違反のために捧げるだろう、そして前の日々は無意味なものとなるだろう、なぜなら彼の誓いの頭が汚されたからである。

そしてこれは、誓願をした者の法である。彼が誓願の日々を満たす日に、彼自身が証の幕屋の入口に持って来なければならない

い。そして彼は、その贈り物を主に持ち来たらせるであろう。一歳の傷のない子羊一頭を全焼の捧げ物として、一歳の傷のない雌子羊一頭を罪のために、そして傷のない雄羊一頭を救いのために。そして種なしパンの籠、上質な小麦粉で油に混ぜられたパン、そして油を塗られた種なしの薄焼きパン、そして彼らの犠牲、そして彼らの注ぎの供え物。そして祭司は主の前にそれを持ってきて、彼の罪についての儀式と彼の全焼のいけにえを行うだろう。そして、その雄羊を主への平和の供え物として、種なしパンの籠と共に捧げ、祭司は彼の犠牲と彼の注ぎの供え物を行う。そして誓いを立てた者は、証言の天幕の戸口の傍らで、彼の誓いの頭を剃り、救いの犠牲の下にある火の上に、その髪の毛を置くだろう。

そして祭司は、雄羊から茹でた腕と、籠から種なしパン一つと、種なしの薄焼きパン一つを取り、誓願を立てた者が彼の誓願を剃った後に、その手の上に置くだろう。そして祭司はそれらを主の前に供え物として持って来るだろう。それは祭司にとって聖なるものとなるだろう、供え物の胸の上に、そして奉納物の腕の上に。そしてこれらの後に、誓願した者はぶどう酒を飲むだろう。これは祈った者の法である。誰であれ主に彼の贈り物を誓い、その誓いについて、彼の手が見つけるものとは別に、彼の誓いの力に従い、清めの法に従って誓うならば。

そして主はモーセに語って言われた、アアロンとその息子たちに語って言え、このようにイスラエルの子らを祝福せよ、彼らに言いながら、主があなたを祝福し、そしてあなたを守られますように。主がその御顔をあなたの上に照らし、あなたを憐れみましますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平和を与えてくださいますように。そして彼らは私の名をイスラエルの子らの上に置くだろう、そして私、主は彼らを祝福するだろう。

そして、モーセが幕屋を立ち上げることを完了したその日に、彼はそれを塗油し、それを聖別し、そのすべての器と祭壇とそのすべての器を塗油し、それらを聖別した。そしてイスラエルの支配者たち、すなわち彼らの父祖の家々の十二人の支配者たちが捧げ物を持ってきた。これらは部族の支配者たちであり、監督の任に立つ者たちである。そして彼らは、主の前に彼らの贈り物を持ってきた。六台の覆われた荷車と十二頭の雄牛、二人の支配者から一台の荷車、それぞれから一頭の子牛、そして彼らはそれらを幕屋の前に持ってきた。そして主はモーセに言われた、彼らから取りなさい。それらは証しの幕屋の奉仕の働きのためになるだろう。そしてあなたはそれらをレビ人たちに、各々その奉仕に従って与えなさい。そしてモーセは荷車と雄牛を取り、それらをレビ人たちに与えた。そして二つの荷車と四頭の雄牛を、ゲドソンの息子たちに、彼らの奉仕に従って与えた。そして、その四つの荷車とその八頭の雄牛を、メラリの息子たちに、彼らの奉仕に従って、祭司アロンの息子イタマルを通して与えた。そしてコハテの息子たちには与えなかった。なぜなら彼らは聖なるものの奉仕の品々を持っており、肩の上に運ぶからである。

そして支配者たちは、祭壇を塗ったその日に、その祭壇の奉獻のために捧げ物を持ってきた。そして支配者たちは彼らの贈り物をその祭壇の前に持ってきた。そして主はモーセに言われた、支配者一人が日ごとに、支配者が日ごとに、彼らの贈り物を祭壇の奉獻のために運ぶであらう。

そして最初の日には彼の贈り物を申し出ていたのは、ユダの部族の支配者、アミナダブの息子ナアツーンであった。そして彼は贈り物を持ってきた。銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされていた、犠牲のために。金の香炉を一つ、十シェケル、香で満ちた。牛の中から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を、焼き尽くす捧げ物として、そして、罪

について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲として雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはアミナダブの子ナアッソーンの贈り物である。

二日目に、イッサカル部族の支配者、ソガルの息子ナタナエルが捧げた。そして彼は自分の贈り物を持ってきた。銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、聖なるシェケルによれば七十シェケル、両方とも油で混ぜられた上質な小麦粉で満たされており、犠牲のためであった。金の香炉を一つ、十シェケル、香で満ちた。牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を燔祭として、そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲として、雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはソガルの息子ナタナエルの贈り物である。

三日目に、ゼブルンの息子たちの支配者、ヘロンの息子エリアブ。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の碗一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためのものであった。金の香炉を一つ、十シェケル、香で満ちた。牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼の捧げ物として。そして、罪のために山羊の群れから子山羊一匹を捧げる。そして平和の献げ物として、雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌子羊五頭、これはヘロンの息子エリアブの贈り物である。

四日目に、ルベンの子らの長エリスル、セディウルの子。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従う。両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためのものであった。金の香炉一つ、十シェケル、香で満たされた。牛の中から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を、焼き尽くす捧げ物として、そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲へ、雌

牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはセディウルの子エリスルの贈り物。

五日目に、シメオンの子らの長、スリシャダイの子サラミエル。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従う。両方とも油で混ぜられた上質な小麦粉で満たされており、犠牲のためであった。金の香炉一つ、十シェケル、香で満たされている。牛の中から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼の捧げ物として。そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲へ、若い雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはスリサダイの息子サラミエルの贈り物。

六日目に、ガドの息子たちの支配者、ラグエルの息子エリアサフ。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の碗一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためであった。金の香炉を一つ、十シェケル、香で満ちた。牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼の捧げ物として、そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲へ、雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌子羊五頭、これはラグエルの息子エリアサフの贈り物である。

七番目の日に、エフライムの息子たちの支配者、アミフデの息子エリシャマ。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の碗一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためのものであった。金の香炉一つ、十シェケル、香で満たされた。牛の中から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼の捧げ物として。そして、罪について山羊たちから子山羊一匹を。そして救いの犠牲へと、雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはアミフデの息子エリシャマの贈り物。

第八日目に、マナセの子らの長、ペダズルの子ガマリエル。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の碗一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためのものであった。金の香炉を一つ、十シェケル、香で満ちた。牛の中から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を、焼き尽くす捧げ物として、そして、罪のために山羊の群れから子山羊一匹を、そして救いの犠牲として、若い雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌子羊五頭、これがファダスールの息子ガマリエルの贈り物である。

九番目の日に、ベニヤミンの息子たちの支配者、ギデオニの息子アビダン。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた上質の小麦粉で満たされていた、犠牲のために。金の香炉一つ、十シェケル、香で満たされた。牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼の捧げ物として。そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲として雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはギデオニの子アビダンの贈り物である。

第十日に、ダンの子らの長、アミシャダイの子アヒエゼル。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の碗一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためであった。金の香炉を一つ、十シェケル、香で満ちた。牛の中から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を、焼き尽くす捧げ物として、そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲として、若い雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはアミシャダイの息子アヒエゼルの贈り物である。

十一日目に、アシェルの子らの支配者、エクランの子ファゲエル。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の碗一

つ、七十シケル、聖なるシケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためであった。金の香炉を一つ、十シケル、香で満ちた。牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼の捧げ物として、そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲へ、雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはエ克蘭の息子ファゲエルの贈り物である。

十二日目に、ナフタリの息子たちの支配者、アイナンの息子アキレ。彼の贈り物は、銀の鉢一つ、その重さは百三十、銀の碗一つ、七十シケル、聖なるシケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉で満たされており、犠牲のためのものであった。金の香炉を一つ、十シケル、香で満ちた。牛の中から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして、罪について山羊の群れから子山羊一頭。そして救いの犠牲へ、若い雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭、これはアイナンの息子アキレの贈り物である。

これは祭壇の奉献であり、それを塗油した日に、イスラエルの子らの指導者たちから、銀の鉢十二個、銀の鉢十二個、金の香炉十二個が捧げられた。一つの鉢は百三十シケル、一つの皿は七十シケル、すべての器の銀は二千四百シケル、聖所のシケルで計った。黄金の香炉十二個、香で満たされたもの、その香炉のすべての黄金は、百二十の黄金である。全焼の捧げ物のためのすべての雄牛は、子牛十二頭、雄羊十二頭、一歳の子羊十二頭、そしてそれらの犠牲、そしてそれらの注ぎの捧げ物、そして罪のための山羊からの雄山羊十二頭。すべての雌牛を救いの犠牲として、雌の子牛二十四頭、雄羊六十頭、一歳の雄山羊六十頭、一歳の傷のない雌の子羊六十頭、これが祭壇の奉献であった、彼の手を満たした後、そして彼に油を注いだ後に。

モーセが証の天幕に入って彼に話すために中に入った時、そして彼は主の声が彼に向かって話しているのを聞いた、証の箱の上にある贖いの座の上から、二つのケルビムの間から、そして彼に向かって話していた。

8

そして主はモーセに向かって話し、言った、アロンに話せ。そしてあなたは彼に言うだろう、あなたがランプを設置する時、燭台の前面に向かって、七つのランプが照らすようにと。そしてアロンはこのように行った。燭台の一つの側から、その前面に向けてそのランプを取り付けた、主がモーセに命じた通りに。そしてこれがその燭台の構造である。堅固な金で、その軸と、その百合は、全体が堅固であり、主がモーセに示したその形に従って、このように燭台を作った。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの子らの中からレビ人たちを取り、そして彼らを清めよ。そしてこのように、あなたは彼らの清めを彼らに行うだろう。あなたは清めの水を彼らに振りかけ、剃刀が彼らの全身に当てられ、彼らは衣服を洗い、そして彼らは清くなるだろう。

そして彼らは牛の群れから一頭の子牛を取り、そしてこれの犠牲として油で混ぜられた細かい小麦粉を、そして牛の群れから一歳の子牛をあなたは罪のために取るであろう。そして、あなたはレビ人たちを証の幕屋の前に連れて来て、イスラエルの息子たちのすべての会衆を集めるだろう。そしてあなたはレビ人たちを主の前に連れて来なさい。そしてイスラエルの子らは彼らの手をレビ人たちの上に置くであろう。そして、アロンは、イスラエルの子らの中から、レビ人たちを主の前に捧げ物として分離するであろう。そして、彼らは主の業を行うためにいるであろう。そしてレビ人たちはその手を子牛たちの頭の上に置き、あなたは一つ

を罪のため、一つを全焼のいけにえとして主に献げ、彼らのために贖いをする。

そしてあなたはレビ人たちを主の前に、アロンの前に、そして彼の息子たちの前に立たせ、彼らを捧げ物として主の前に献げるだろう。そして、あなたはイスラエルの息子たちの中からレビ人たちを分けるだろう、そして彼らは私のものとなるだろう。そして、この後、レビ人たちは証の天幕の仕事をするために入るであろう。そして、あなたは彼らを清め、彼らを主の前に献げるであろう。なぜなら、これらはイスラエルの子らの中から捧げ物として私に与えられたものであるからである。すべての胎を開く者、イスラエルの子らのすべての初子の代わりに、私は彼らを私のために取ったのである。なぜなら、イスラエルの息子たちの中のすべての初子は、人間から家畜まで、私のものである。私がエジプトの地ですべての初子を打ったその日に、私は彼らを私のために聖別した。そして彼らは、イスラエルの息子たちのすべての初子の代わりに、レビ人たちを取った。そして私はレビ人たちを、イスラエルの子らの中からアロンと彼の息子たちに捧げ物として与えられた者として返した。それは証しの天幕においてイスラエルの子らの働きを行い、イスラエルの子らのために贖いをするためである。そしてイスラエルの子らの中に聖なるものに近づく者はいないであろう。

そしてモーセとアロンとイスラエルの子らの全会衆は、主がモーセにレビ人について命じられた通りに、レビ人たちに行った。そのようにイスラエルの子らは彼らに行った。そしてレビ人たちは自分自身を清め、衣服を洗った。そしてアロンは彼らを主の前に捧げ物として献げ、アロンは彼らを清めるために彼らのために贖いをした。そしてこれらの後、レビ人たちは証言の幕屋において彼らの奉仕を行うために、アロンの前、そして彼の息子たちの前に入った。主がモーセにレビ人たちについて命じられた通り、彼らはそのように行った。

そして主はモーセに語って言われた、これはレビ人についてのことである。二十五歳以上から、彼らは証の幕屋において務めを行うために入るであろう。そして五十歳になれば奉仕から退き、もはや働かない。そして彼の兄弟は証の幕屋で番を守るために奉仕するが、仕事はしない。このようにレビ人に彼らの番においてせよ。

9

そして主はモーセに語った、シナイの荒野において、彼らがエジプトの地から出た後の第二年、第一の月に、言った。私は言った、イスラエルの子らに、定められた時に過越を行わせよ。最初の月の十四日目の夕方に、あなたは定められた時に従ってそれを行うだろう。その律法に従って、そしてその解釈に従ってあなたはそれを行うだろう。そしてモーセはイスラエルの息子たちに、シナイの荒野で月の十四日目に始まる過越祭を行うよう話した。主がモーセに命じた通りに、イスラエルの子らは行った。

そして、人の死によって汚れていた男たちが来た。彼らはその日に過越の祭りをを行うことができなかった。それで彼らはその日、モーセとアロンの前に進み出た。そしてその男たちは彼に言った、私たちは人の死によって汚れています。それゆえ、私たちはイスラエルの子らの中で、定められた時に主に供え物を捧げることができないのでしょうか。そしてモーセは彼らに向かって言った、ここに立ちなさい、そして私は主があなたがたについて何を命じるか聞くだろう。そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの息子たちに語って言え、もし人が人の魂によって汚れた者となるか、またはあなたがたから遠い道にいるか、またはあなたがたの世代の中にいるならば、主への過越を第二の月の第十四日に行うであろう。彼らは夕方に向かってそれを行い、種なしパンと苦い草と共にそれを食べるだろう。彼らはそれを朝まで残してはならず、その骨を砕いてはならない。過越の律法に従って

彼らはそれを行わなければならない。もし人が清く、遠い旅路にあるわけでもないのに、過越を行うことを怠るならば、その者の魂は自分の民から断ち切られるであろう。なぜなら、定められた時に主への供え物を捧げなかったからである。その者は自分の罪を負うことになる。もしあなたがたの地に寄留者が近づいて来て、主に過越を行う場合、過越の律法とその定めに従ってそれを行うだろう。一つの律法が、あなたがたと寄留者と地の土着の者にあるだろう。

そしてその幕屋が立てられた日に、雲がその幕屋、すなわち証の家を覆った。そして夕方には、幕屋の上に火の形のようなものが朝まであった。かくして絶えず、その雲が昼間それを覆い、火の形が夜を覆っていた。そして雲が幕屋から上がったとき、その後イスラエルの子らは出発した。そして雲が立ったその場所に、そこでイスラエルの子らは宿営した。主の命令によってイスラエルの子らは宿営し、主の命令によって出発する。雲が幕屋の上を覆うすべての日々の間、イスラエルの子らは宿営する。そして雲が幕屋の上により多くの日数とどまるときはいつでも、イスラエルの子らは神の務めを守り、彼らは出発しなかった。そして、雲が幕屋の上を数日の間覆うときはいつでも、主の声によって彼らは宿営し、主の命令によって彼らは出発する。そして、雲が夕方から朝までとどまり、朝に雲が上がるときはいつでも、彼らは昼であれ夜であれ出発するだろう。月の日数が増えて、雲がその上を覆っている間、イスラエルの子らは宿営し、彼らは決して出発しない。彼らは主の命令によって出発するので、モーセを通しての主の命令によって主の守りを守った。

10

そして主はモーセに向かって話し、言った、あなた自身のために二つの銀のラッパを作れ あなたはそれらを打ち物として作るだろう、そしてそれらはあなたにとって会衆を召集し、宿営を移

動させるためのものとなるだろう。そしてあなたはそれらを吹くだろう、そしてすべての会衆が証の天幕の戸の所に集められるだろう。もし一つのラッパで吹くならば、イスラエルのすべての支配者たち、指導者たちがあなたのもとに来るだろう。そして、あなたがたが合図のラッパを吹き鳴らすと、東に野営している者たちが出発するであろう。そしてあなたがたは二番目の合図を鳴らすだろう、そして南に宿営している宿営地は出発するだろう、そしてあなたがたは三番目の合図を鳴らすだろう、そして海の傍らに宿営している宿営地は出発するだろう、そしてあなたがたは四番目の合図を鳴らすだろう、そして北に向かって宿営している宿営地は出発するだろう、彼らは彼らの出発において合図で鳴らすだろう。そして、あなたがたが会衆を集めるときは、ラッパを鳴らしなさい。ただし、合図としてではない。そしてアロンの息子たちである祭司たちがラッパを吹き、それはあなたがたの世代にわたる永遠の律法となるであろう。もしあなたがたが自分たちの地において、自分たちに立ち向かう敵に対して戦争に出て行くなれば、ラッパを鳴らしなさい。そうすれば、あなたがたは主の前に覚えられ、敵から救われるであろう。そして、あなたがたの喜びの日々に、あなたがたの祭りに、あなたがたの新月に、あなたがたは全焼のいけにえと平和のいけにえの上でラッパを鳴らすであろう。そして、それはあなたがたの神の前であなたがたへの記念となるであろう。わたしはあなたがたの神、主である。

そして、二年目の二月二十日に、雲が証しの幕屋から上がった。そしてイスラエルの息子たちは彼らの糧食と共にシナイの荒野において出発した、そして雲はパランの荒野において立った。そして彼らは主の声によって、モーセの手を通して、最初に出発した。

そしてユダの息子たちの宿営の部隊が、彼らの軍勢と共に最初に出発した。そして彼らの軍勢の上に、アミナダブの息子ナアツソーンがいた。そしてイッサカルの子らの部族の軍団の上に、

ソガルの子ナタナエル。そしてゼブルンの息子たちの部族の軍勢の上には、ヘロンの息子エリアブ。そして彼らはその天幕を引き下ろすだろう、そしてゲドソンの息子たちとメラリの息子たち、その天幕を運ぶ者たちが、運び出すだろう。

そして彼らはルベンの陣営の部隊を彼らの軍勢と共に出発させた、そして彼らの軍勢の上に、セディウルの息子エリスルがいた、そしてシメオンの息子たちの部族の軍勢の上に、スリシャダイの息子サラミエル。そしてガドの子らの部族の軍勢の上には、ラグエルの子エリサフ。そして、コハトの息子たちは聖なるものを選びながら出発し、彼らが到着するまで幕屋を立てるだろう。そして彼らはエフライムの宿営の順序を、その軍勢と共に設営するだろう。そしてその軍勢の上には、アミフデの子エリシャマがいる。

そしてマナセの息子たちの部族の軍勢の上に、ファダスールの子ガマリエル。そしてベニヤミンの息子たちの部族の軍勢の上に、ギデオニの子アビダン。そして、ダンの息子たちの宿営の隊列が出発するだろう、すべての宿営の最後に、彼らの軍勢と共に、そして彼らの軍勢を率いるのは、アミシャダイの子アヒエゼルである。そしてアセルの息子たちの部族の軍勢の上に、エクランの息子パギエルがいた。そしてナフタリの息子たちの部族の軍勢の上には、エナンの息子アヒレ。これらはイスラエルの息子たちの軍隊であり、彼らは自分たちの力と共に出発した。

そしてモーセは、ミディアン人ラグエルの息子ホバブ、モーセの義理の親族に言った、我々は主が言われた場所へ出発する、これをあなたがたに与えると。我々と共に来い、そして我々はあなたによくするであろう、なぜなら主はイスラエルについて良いことを語られたからである。そして彼に言った、私は行きません。私の故郷へ、私の一族のもとへ帰ります。そして彼は言った、私たちを見捨てないでください。あなたは荒野で私たちと共

にいたのですから。そしてあなたは私たちの中で長老となるでしょう。そして、もしあなたが私たちと共に行くなれば、主が私たちに良いことをしてくださるその良いことすべてを、私たちはあなたにも良くするだろう。

そして彼らは主の山から三日の道のりを出発した。そして主の契約の箱は彼らの先を三日の道のり進んで行き、彼らのために休息の地を偵察した。そして、箱を取り除く時、モーセは言った、主よ、目覚めてください。あなたの敵たちが散らされ、あなたを憎むすべての者たちが逃げますように。そして休息において彼は言った、戻ってください、主よ、幾千幾万をイスラエルに。そして、その雲は彼らが陣営から出発する日々の間、彼らの上を覆った。

11

そして、その民は主の前で悪いことをつぶやいていた。主はそれを聞き、怒りに怒った。主からの火が彼らの中に燃え上がり、宿営の一部を食い尽くした。そして民たちはモーセに向かって叫び、モーセは主に向かって祈り、そして火は止んだ。そしてその場所の名はエンピュリスモスと呼ばれた、なぜなら主から彼らの中で火が燃やされたからである。そして、彼らの中にいた寄せ集めの民は欲望を抱いた。そして座って泣いた、イスラエルの子らもまた。そして彼らは言った、誰が私たちに肉を食べさせてくれるのか。私たちはエジプトで無償で食べていた魚を思い出した。そしてきゅうり、メロン、ねぎ、玉ねぎ、にんにくも。今や私たちの魂は完全に乾いており、私たちの目にはマナ以外何もない。そのマンナはコリアンダーの種のようにであり、その形は氷の形である。そして人々は通り抜けて行き、集め、それを臼で挽き、乳鉢で擦り、それを鍋で煮て、それを菓子にした。そしてその味は油の菓子のような喜びであった。そして、夜に露が宿営の上に降りた時、マナがその上に降りていた。

そしてモーセは、彼らが氏族ごとに、各々が自分の戸口で泣いているのを聞いた。そして主は怒りに非常に怒った。そしてモーセの前にそれは悪であった。そしてモーセは主に向かって言った、なぜあなたはあなたのしもべを苦しめたのですか、そしてなぜ私はあなたの前に恵みを見出さず、この民の重荷を私の上に置かれたのですか。私はこのすべての民を胎内に宿したのか、それとも私が彼らを産んだのか。なぜあなたは私に彼を抱きかかえよ、あなたの懷に、乳母が乳飲み子を抱くように、あなたが彼らの父祖たちに誓った地へと言うのか。どこから私に肉を手に入れて、この全ての人々に与えることができようか?なぜなら彼らは私に対して泣き、言っているからだ、私たちに肉を与えよ、そうすれば私たちは食べられると。私は一人でこの民を担うことはできないだろう、なぜならこの言葉は私にとってより重いからである。もしあなたが私にこのようにするなら、私を殺してください。もし私があなたから憐れみを得ているなら、私が自分の苦しみを見ないように、殺害によって私を殺してください。

そして主はモーセに向かって言った、私に七十人の男たちをイスラエルの長老たちから集めよ、あなた自身が知っている者たちを、なぜなら彼らは民の長老たちであり書記たちでもあるから。そしてあなたは彼らを証しの天幕に導き、彼らはそこであなたと共に立つだろう。そして、私は下って、そこであなたと共に話すだろう。そして、私はあなたの上にある霊から取り去って、彼らの上に置くだろう。そして、彼らはあなたと共に民の重荷を助けるだろう。そして、あなたは一人で負うことはないだろう。そして、民にあなたは言いなさい、明日のために身を清めなさい。そうすれば、あなたがたは肉を食べることになる。なぜなら、あなたがたは主の前で泣いて、誰が私たちに肉を食べさせてくれるだろうか。エジプトにいた時は良かったと言ったからである。主はあなたがたに肉を与えて食べさせるだろう。そして、あなたがたは肉を食べることになる。あなたがたは一日食べるのではなく、二日でもなく、五日でもなく、十日でもなく、二十日で

もなく、一ヶ月の間、あなたがたはそれを食べるであろう、それがあなたがたの鼻孔から出るまで、そしてそれはあなたがたにとって吐き気となるであろう、なぜならあなたがたはあなたがたの中におられる主に不従順であり、そして彼の前で泣いて、なぜ私たちはエジプトから出たのかと言ったからである。そしてモーセは言った、その民は六十万の歩兵であり、私は彼らの中にいます。そしてあなたは言いました、私は彼らに食べるための肉を与えるだろう、そして彼らは一ヶ月の間食べるだろうと。羊と牛が彼らのために屠殺されても、彼らに十分であろうか。あるいは海のすべての魚が彼らのために集められても、彼らに十分であろうか。そして主はモーセに言った、主の手は不十分ではないか?私の言葉があなたに実現するかどうか、あなたは既に知るだろう。

そしてモーセは出て行き、主の言葉を人々に話した。そして人々の長老たちから七十人の男たちを集め、彼は幕屋の周りに彼らを立てた。そして主は雲の中に降りて、彼に語りかけ、彼の上にあった霊を取り去って、七十人の長老たちの上に置いた。霊が彼らの上に留まったとき、彼らは預言したが、その後は続かなかった。そして二人の男たちが陣営に残された。一人の名前はエルダデ、二番目の名前はモダデであった。そして霊が彼らの上に休んだ。そして彼らは登録された者たちの中にいたが、天幕には来なかった。そして彼らは陣営で預言した。そして若者が走り寄って、モーセに報告して言った、エルダデとモダデが宿営の中で預言しています。そして、ヌンの子ヨシュア、モーセのそばに立っている選ばれた者が答えて言った、わが主モーセよ、彼らを止めてください。そしてモーセは彼に言った、あなたは私を妬むのか。主がその霊を彼らの上に与える時、すべての主の民が預言者となればよいのに。そしてモーセはイスラエルの長老たちと共に陣営へ去って行った。

そして霊が主から出て行き、海からウズラを運んで来て、宿営の上に置いた。宿営の周りに、ここから一日の道のり、ここか

ら一日の道のり、地から二キュビトほどの高さで。民は立ち上がり、その日全体、その夜全体、そして次の日全体、うずらを集めた。最も少なく集めた者でも十コロス集めた。そして彼らは陣営の周りに、自分たちのためにそれらを冷やして広げた。その肉はまだ彼らの齒の中にあり、尽きる前に、主は民に対して怒り、主は民を非常に大きな打撃で打った。そして、あの場所の名は欲望の墓と呼ばれた。なぜなら、そこに欲望した民を埋葬したからである。欲望の墓から、民はアセロテへ出発した、そして民はアセロテにいた。

12

そしてミリアムとアロンは、モーセが取ったエチオピア人の女のこと、モーセについて話した。なぜならモーセはエチオピア人の妻を娶ったからである。そして彼らは言った、主はモーセにだけ話したのか? 私たちにも話したではないか? そして主は聞いた。そして、その人モーセは、地上にいるすべての人々の中で非常に謙遜であった。そして主は即座にモーセとアロンとミリアムに向かって言った、あなたたち三人は証しの天幕へ出て行け。そして三人は証の幕屋の中へ出て行った。そして主は雲の柱の中に降りて来て、証の幕屋の戸口の上に立った。そしてアロンとミリアムが呼ばれ、両者は出て行った。そして彼らに向かって言った、私の言葉を聞け。もしあなたがたの預言者が主のものとなるならば、幻の中で私は彼に知られ、眠りの中で私は彼に語るだろう。私の従者モーセはそうではない。彼は私の家全体において忠実である。わたしは彼と口と口を合わせて語り、形をもって語り、謎によってではない。そして彼は主の栄光を見た。それなのになぜあなたがたは、わたしの僕モーセに逆らって語ることを恐れなかったのか。そして主の激しい怒りが彼らの上に臨み、そして去った。そして雲は幕屋から離れた、そして見よ、ミリアムは雪のようにらい病であった、そしてアロンはミリアムを見た、そして見よ、らい病であった。そしてアアロンはモーセに向かっ

て言った、懇願します、主よ、私たちに罪を負わせないでください、なぜなら私たちは無知に行動したのです、私たちが罪を犯したことに従って。死と等しくなることがないように、母の子宮から出る流産のように、その肉の半分を食い尽くすことがないように。そして、モーセは主に向かって叫び、言った。神よ、あなたに懇願します、彼女を癒してください。そして主はモーセに向かって言った、もし彼女の父が唾を吐いて彼女の顔に吐いたなら、七日の間恥じないだろうか?七日の間陣営の外に隔離されよ、そしてその後入るだろう。

そしてミリアムは七日間、宿営の外に隔離された。そして民は出発しなかった、ミリアムが清められるまで。

そしてこれらの後、その民はアセロトから移動し、パランの荒野に宿営した。

13

そして主はモーセに向かって話し、言った、あなた自身のために男たちを送れそして、彼らにカナン人の地を偵察させよ。その地を私はイスラエルの子らに所有として与える。部族ごとに、彼らの父祖の氏族ごとに、一人の男を送れ。彼らから指導者を全員送れ。

そしてモーセは主の声によってパランの荒野から彼らを送り出した、これら全てはイスラエルの息子たちの指導者である男たちであった。そしてこれらは彼らの名前である、ルベンの部族の、ザクルの息子サムエル。シメオン部族の、スーリの息子サファト。ユダ部族の、エフネの息子カレブ。イッサカル部族から、ヨセフの子イガル。エフライムの部族の、ナウエの息子アウセ。ベニヤミン部族の、ラフーの子ファルティ。ゼブルン部族の、スディの息子グディエル。ヨセフの部族、マナセの子孫から、スシ

の子ガディ。ダン部族から、ガマリの子アミエル。アシェル部族から、ミカエルの息子サトゥール。ナフタリ部族から、サビの息子ナビ。ガド部族から、マキの息子グディエル。これらは、モーセが地を偵察するために送った男たちの名前である。そしてモーセは、ナウの息子アウセをヨシュアと名付けた。

そしてモーセは彼らをカナンの地を偵察するために送り、彼らに言った、この荒野を上れ、そしてあなたがたはその山に上るであろう。そして、あなたがたはその地がどのようなものであるかを見るだろう、そしてその上に住んでいる民が強いのか弱いのか、少ないのか多いのかを。そして、これらの者が住んでいるその地はどのようなものか、それは良いのか悪いのか、そして、これらの者が住んでいる都市はどのようなものか、城壁のある所か城壁のない所か。そしてその地はどのようなものか、肥えているか痩せているか、もしそこに木々があるか、またはないか、そして耐え忍んであなたがたはその地の果実から受け取るだろう。そしてその日々は、春の日々、ぶどうの先駆けであった。

そして彼らは上って行き、シンの荒野からハマテに入るロホブまでの土地を偵察した。そして彼らは荒野を通して上り、ヘブロンまで行った。そこにはエナクの子孫であるアヒマン、シェシャイ、タルマイがいた。ヘブロンはエジプトのタニスより七年前に建てられた。そして彼らはぶどうの房の谷まで来て、それを偵察し、そこから枝と一つのぶどうの房を切り取り、それを棒に載せて運び、またぎくろといちじくも取った。そして彼らはその場所をぶどうの房の谷と名付けた。それは、イスラエルの子らがそこから切り取ったぶどうの房のためであった。そして彼らは、その地を探索した後、四十日後にそこから戻った。

そして彼らは行って、モーセとアロン、およびイスラエルの子らの全会衆のもとへ、パランの荒野のカデシュに來た。そして彼らは彼らと全会衆に言葉を答え、その地の果物を見せた。そし

て彼らは彼に語り、そして言った、私たちはあなたが私たちを送ったその地へ来ました、乳と蜜が流れる地です、そしてこれがその果実です。しかし、そこに住んでいる国民は大胆であり、都市たちは非常に大きく要塞化され城壁で囲まれており、そして私たちはそこでエナクの世代を見た。そしてアマレクは南に向かう地に住み、ヒッタイト人、ヒビ人、エブス人、アモリ人は山地に住み、カナン人は海のそばとヨルダン川のそばに住む。そしてカレブはモーセに向かって民を沈黙させ、彼に言った、いいえ、しかし我々は上って行き、それを相続するだろう、なぜなら我々は彼らに対して力があるからだ。そして、彼と一緒に上がった人々は言った、私たちは上がらない。なぜなら、私たちはその国民のところへ上がることができないからである。それは私たちよりも強いからである。そして彼らは、偵察したその地についての驚愕の報告をイスラエルの子らに持ち出して言った。私たちが偵察するために通り過ぎたその地は、その上に住む者たちを貪り食う地である。そして私たちがその中で見たすべての民は、非常に背の高い男たちであった。そしてそこで私たちは巨人たちを見た。私たちは彼らの前でまるでイナゴのようであった。しかしこのように私たちは彼らの前にいたのである。

14

そして会衆全体が声を上げ、民はその夜通し泣いた。そしてイスラエルの息子たち全員がモーセとアロンに対して不平を言っていた、そして会衆全体が彼らに向かって言った、ああ、我々がエジプトの地で死んでいたならば、あるいはこの荒野で死んでいたならば。なぜ主は我々をこの地へ導き入れて、戦争で倒れさせるのか。我々の妻たちと子供たちは略奪されるであろう。それゆえ今、エジプトへ引き返す方が良い。そして彼らは互いに言った、指導者を立てて、エジプトへ戻ろう。そしてモーセとアロンはイスラエルの子らの全会衆の前に顔を伏せて倒れた。

しかし、ヌンの子ヨシュアと、イエフネの子カレブは、その地を偵察した者たちの中から、彼らの衣服を引き裂いた。そして彼らはイスラエルの子らの全会衆に向かって言った、我々が探索したその地は、非常に非常に良い。もし主が私たちを選ぶならば、主は私たちをこの地へ連れて行き、それを私たちに与えるであろう。それは乳と蜜が流れている地である。しかし主に対する反逆者となってはならない。あなたたちはその地の民を恐れてはならない。なぜなら彼らは我々の食物となるからである。というのは時が彼らから離れ去ったからである。しかし主は我々と共におられる。彼らを恐れてはならない。

そして全会衆は彼らを石で石打ちにすると行った。そして主の栄光が証しの幕屋の上の雲の中に現れた、イスラエルの全ての子らに。そして主はモーセに言われた、いつまでこの民は私を挑発するのか。そしていつまで彼らは私を信じないのか、私が彼らの中で行ったすべてのしるしにもかかわらず。私は彼らを死によって打ち、彼らを滅ぼすだろう。そして私はあなたとあなたの父の家を大いなる国とし、これよりもはるかに大きくするだろう。そしてモーセは主に向かって言った、そしてエジプトは聞くだろう、なぜならあなたはあなたの力でこの民を彼らから導き上げたから。しかし、この地に住むすべての者たちも聞いています。あなたがこの民の中におられる主であり、主よ、あなたは目と目を合わせて見られ、あなたの雲が彼らの上に立っており、あなたは昼には雲の柱の中を、夜には火の柱の中を、彼らの先頭に立って進まれることを。そしてあなたはこの民を一人の人のように滅ぼすだろう。そしてあなたの名を聞いた国々は言うだろう、主がこの民を彼らに誓った地へ連れて入れることができなかったのも、主は彼らを荒野で倒した。そして今、あなたの力が高められますように、主よ、あなたが言われた通りに。主は忍耐強く、憐れみ豊かで、真実であり、不法と不正と罪を取り除かれるが、清めにおいて有罪な者を清めることはなく、父たちの罪を子どもたちに三代目と四代目まで返される。あなたの大きな憐れみに従って、

この民の罪を許してください、ちょうどエジプトから今まで彼らに恵み深くあったように。

そして主はモーセに言った、わたしは彼らに対して恵み深くある、あなたの言葉に従って。しかし私は生きている、そして私の名は生きている、そして主の栄光がすべての地を満たすだろう。なぜなら、私の栄光と、エジプトおよび荒野で私が行ったしるしを見たすべての者たちが、十回も私を試み、私の声に聞き従わなかったからである。まことに彼らはその地を見ないだろう。その地を私は彼らの父たちに誓った。しかし彼らの子供たち、ここで私と共にいる者たち、善も悪も知らないすべての若い者、未経験の者たち、これらに私はその地を与えるだろう。しかしすべての私を挑発した者たちは、それを見ないだろう。しかし私の僕カレブは、別の霊が彼の中にあり、私に従ったので、私は彼を、彼がそこに入った地へ導き入れるだろう、そして彼の子孫はそれを相続するだろう。しかしアマレクとカナン人は谷に住んでいる。明日、あなたがたは引き返して荒野へ出発しなさい、紅海への道を。

主はモーセとアロンに言われた、いつまでこの邪惡な会衆を耐えるのか。彼らが私の前でつぶやいていること、イスラエルの子らがあなたがたについてつぶやいた不平を、私は聞いた。私は彼らに言った、私は生きていると主は言われる、まことに、あなたがたが私の耳に語ったそのとおりに、私はあなたがたに行うであろう。この荒野の中で、あなたがたの四肢は倒れるだろう。あなたがたのすべての訪れ、そしてあなたがたの数えられた者たち、二十歳以上の者で、私に対してつぶやいた者すべてが。もしあなたがたが、私があなたがたを住まわせるために私の手を伸ばしたその地へ入るだろうか。いや、イエフォネの息子カレブと、ヌンの子ヨシュアだけである。そして、あなたがたが略奪されると言った子供たちを、私はその地に導き入れる。そして彼らは、あなたがたが背き去ったその地を相続する。そして、あなたがた

の手足は、この荒野で倒れるだろう。しかし、あなたがたの息子たちは四十年間荒野をさまよい、あなたがたの肢体が荒野で消え果てるまで、あなたがたの淫行の報いを負うであろう。あなたがたがその地を偵察した日数に従って、四十日間、一年につき一日として、あなたがたは四十年間自分たちの罪を負い、そして私の激しい怒りを知ることになるであろう。私は主である。私は語った。確かに私はこのように行う。私に逆らって集まっているこの悪い集会に対して。この荒野の中で彼らは消え去り、そこで彼らは死ぬであろう。

そして、モーセがその地を偵察するために送った人々は、到着して、会衆に向かってその地について悪い言葉を持ち出し、それについて不平を言った。そして、その地について悪を語った人々は、主の前で疫病によって死んだ。ヌンの息子ヨシュアとイエフネの息子カレブは、その地を偵察するために行ったあの人々の中から生き残った。そしてモーセはこれらの言葉をイスラエルのすべての子らに語った、そして民は非常に嘆いた。

そして彼らは朝早く起きて、山の頂上へ登り、言った、見よ、我々はここにいる。我々は主が言われた場所へ登ろう、なぜなら我々は罪を犯したからだ。そしてモーセは言った、なぜあなたたちは主の言葉に違反するのか?それはあなたたちにとって繁栄しないであろう。上に行くな、なぜなら主はあなたがたと共にいないから、そしてあなたがたは敵の前に倒れるだろう。アマレク人とカナン人がそこであなたがたの前にいるので、あなたがたは剣によって倒れるであろう。なぜなら、あなたがたは主に不従順で背いたからである。そして主はあなたがたと共にいないであろう。そして強いて、彼らはその山の頂上へ登った。しかし主の契約の箱とモーセは陣営から動かなかった。そしてアマレクとあの山に住んでいるカナン人が降りて来て、彼らを転じさせ、彼らをホルマまで切り倒し、そして陣営へ引き返した。

そして主はモーセに向かって言った、イスラエルの子らに話せと。そしてあなたは彼らに言うだろう、あなたたちが、私があるあなたたちに与えるあなたたちの居住の地に入るとき、そしてあなたは主に焼き尽くす捧げ物を作るでしょう、全焼き尽くす捧げ物または犠牲を、誓願を果たすため、または自発的な捧げ物として、またはあなたがたの祭りにおいて、主に芳香の香りを作るために、牛からであれ羊からであれ。そして捧げる者は、その贈り物を主に持ってくるだろう。犠牲として、油で混ぜられた細かい小麦粉エパの十分の一を、ヒンの四分の一の油で捧げる。そして、ぶどう酒を注ぎの供え物として、ヒンの四分の一を、全焼のいけにえの上に、またはいけにえの上に、一匹の子羊のために、あなたがたはささげるであろう。あなたは、これほどの供え物を、芳香の香りとして、主にささげるであろう。そして雄羊については、あなたがたがそれを全焼の捧げ物または犠牲として捧げるときはいつでも、油一ヒンの三分の一で混ぜられた上質の小麦粉十分の二の供え物を捧げなければならない。そして、ぶどう酒を注ぎの供え物として、ヒンの三分の一を、主への芳しい香りとして捧げなければならない。

もしあなたがたが牛から全焼の捧げ物、または誓願を果たすための犠牲、または主への平和の捧げ物を行うならばそして彼は子牛のために、油で混ぜられた細かい小麦粉十分の三の半ヒンの犠牲を捧げるだろう。そしてぶどう酒を注ぎの供え物として、そのヒンの半分を、芳香の香りの供え物として主に捧げる。

このようにあなたは行うであろう、一頭の子牛に、または一頭の雄羊に、または羊あるいは山羊からの一頭の子羊に。あなたたちが行うものの数に従って、それらの数に応じて、一つ一つに対してこのように行わなければならない。

すべての土着の者は、このようにして、主に芳香の香りとなる供え物を捧げるであろう。もしあなたがたの地にあなたがたのもとに寄留者が加わるか、またはあなたがたの世代のうちにあなたがたのもとに誰かが生まれ、そして主に芳香の香りの供え物を行うならば、あなたがたが行うその仕方、このように会衆は主に行うであろう。

一つの法があなたがたと、あなたがたのもとに寄留する者たちにあるだろう。永遠の法があなたがたの世代へと続く。あなたがたと同じように、寄留者も主の前にあるだろう。一つの法となり、一つの法令があなたたちとあなたたちの中に住む寄留者に適用されるだろう。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの子らに告げて、彼らに言え。あなたたちが、わたしがあなたたちをそこへ導き入れる地に入るとき、そして、あなたたちがその地のパンから食べるときはいつでも、あなたたちのこね粉の初物を捧げ物として主に取り分けなければならない。パンを奉納物としてあなたがたは分離するであろう、脱穀場からの奉納物のように、このようにあなたがたはそれを取り分けるであろう、あなたがたの練り粉の初穂を、あなたがたは代々、主に奉納物として献げなければならない。

しかし、あなたがたが違反し、主がモーセに語ったこれらすべての戒めを行わない時には、主があなたがたに、モーセの手を通して命じたように、主があなたがたに命じた日から、そしてその先、あなたがたの世代へと。そして、もし会衆の目から意図せずに起こるならば、会衆全体は牛から傷のない子牛一頭を全焼のいけにえとして主への芳香の香りとし、これのいけにえとその注ぎのささげものを定めに従って、そしてやぎから一頭のやぎを罪のためにささげるだろう。そして祭司は、イスラエルの子らのすべての会衆について贖いをするであろう。そして彼らは赦される

であろう。なぜならそれは過失であり、また彼ら自身が、彼らの罪について、彼らの過失について、主への供え物である彼らの贈り物を主の前に持ってきたからである。そしてイスラエルの息子たちの全会衆に従って赦されるであろう、そしてあなたがたのもとに滞在している寄留者にも、なぜなら全ての民にとって不本意なことだからである。

もし一つの魂が意図せずに罪を犯すならば、彼は罪について一歳の山羊一匹を捧げるだろう。そして祭司は、意図せずに罪を犯し、主の前で意図せずに罪を犯したその魂について、彼のために贖いをするであろう。イスラエルの息子たちの中の原住民と、彼らの中に滞在している寄留者には、意図せずに行う者のために、一つの律法が彼らに適用されるだろう。

そして傲慢の手で行う魂は、土着民からであれ改宗者からであれ、これは神を挑発する。あの魂はその民から滅ぼされるであろう。主の言葉を軽蔑し、その戒めを破ったので、その魂は完全に滅ぼされるであろう。その罪は彼女の中にある。

そしてイスラエルの息子たちは荒野にいた、そして彼らは安息日に木を集めている男を見つけた。そして、安息日に木を集めているのを見つけた者たちが、彼をモーセとアロン、そしてイスラエルの子らの全会衆のもとへ連れて来た。そして彼らは彼を牢獄に入れた。なぜなら、彼らは彼をどうすべきか決めていなかったからである。そして主はモーセに向かって話し、言った、その人は死によって死なせられるべし、会衆全体が石でもって彼を石打ちしなさい。そして全会衆は彼を陣営の外に連れ出し、そして全会衆は彼を陣営の外で石で石打ちにした、主がモーセに命じたとおりに。

そして主はモーセに言われた、イスラエルの子らに語り、彼らに言いなさい。彼らは自分たちの衣服の裾に房を作り、代々そ

れを続けなさい。そして、その隅の房の上に青い糸を付けなさい。そして、それはあなたがたの房飾りの中にあるだろう。あなたがたはそれらを見て、主のすべての戒めを思い出し、それらを行うだろう。そして、あなたがたは自分の思いや、それらの後を追って姦淫する自分の目に従ってそらされることはないだろう。それは、あなたがたが私のすべての戒めを思い出し、行うためである。そして、あなたがたは、あなたがたの神に聖なる者となるであろう。私は主、あなたがたの神であり、あなたがたをエジプトの地から導き出した者である。私はあなたがたの神となるために、私は主、あなたがたの神である。

16

そしてコラが語った。コラはイサアルの子、カアトの子、レビの子である。そしてダタンとアベイロン、エリアブの子ら、そしてアウン、ファレットの子、ルベンの子である。そして彼らはモーセの前に立ち上がった。イスラエルの息子たちの男たち二百五十人、会衆の指導者たち、評議会に召集された者たち、名高い男たちであった。彼らはモーセとアアロンに対して集まり、そして言った、汝らよ、全ての会衆、全ての者たちが聖なる者であり、そして彼らの中に主がおられるのだから、何故汝らは主の会衆に対して立ち上がるのか。そしてモーセはこれを聞いて、顔を地に伏せた。そして彼はコレと彼の全集会に向かって話して言った、神は彼に属する者たちと聖なる者たちを訪れて知り、そして彼らを御自身のもとに近づけられた、そして彼が御自身のために選んだ者たちを、御自身のもとに近づけられた。これを行いなさい。コラとその全会衆よ、あなたがた自身のために火皿を取りなさい。そして、それらの上に火を置け、そして、それらの上に香を主の前に明日置け、そして、主が選んだ男、この者が聖なる者となるだろう、レビの息子たちよ、あなたがたにはそれで十分とせよ。そしてモーセはコラに向かって言った、レビの息子たちよ、私の言葉を聞け。これはあなたがたにとって小さなことではない

のか、イスラエルの神があなたがたをイスラエルの会衆から分け、あなたがたを彼自身に近づけ、主の幕屋の奉仕に仕えさせ、幕屋の前に立って彼らに仕えさせたことは。そして彼はあなたと、あなたと共にいるレビの息子たちであるあなたの兄弟たち全員を近づけたのに、あなたがたは祭司職をも求めるのか。かくして、あなたとあなたの全ての会衆は神に向かって集められているのだ。そしてアロンとは誰なのか、あなたたちが彼について不平を言うとは。

そして、モーセはエリアブの息子たちであるダタンとアビラムを呼ぶために使いを送った。そして彼らは言った、私たちは行きません。これは小さいことではない。あなたが私たちを乳と蜜の流れる地へ連れて来たのに、荒野で私たちを殺し、その上私たちを支配しようとするのか。支配者よ、あなたは私たちを乳と蜜の流れる地へ導き入れ、そして私たちに畑とぶどう園の相続地を与えたというのか。あなたはそれらの人間たちの目をえぐり出すつもりか。私たちは上って行かない。そしてモーセは非常に悲しみ、主に向かって言った、彼らの犠牲を顧みないでください、私は彼らの何の望ましいものも取っていません、また彼らの誰も害していません。そしてモーセはコラに言った、あなたの会衆を清めよ、そしてあなたとアロンと彼らは明日、主の前に準備を整えよ。そして各々が自分の香炉を取り、それらの上に香を置き、主の前に各々が自分の香炉を持って来なさい。二百五十の香炉、そしてあなたとアロンも各々が自分の香炉を持って来なさい。

そして各々は自分の香炉を取り、彼らはそれらの上に火を置き、彼らはそれらの上に香を載せ、そして彼らはモーセとアロンと共に証しの天幕の戸口の傍らに立った。そしてコレは彼の全会衆を、証しの天幕の戸口のそばで、彼らに対して集めた。そして主の栄光が全会衆に現れた。そして主はモーセとアロンに向かって話し、言われた。この会衆の真ん中から離れなさい、そして私は彼らを一度に滅ぼす。そして彼らは顔を伏せて倒れ、そして言

った、神よ、霊たちとすべての肉の神よ、もし一人の人が罪を犯したなら、すべての会衆の上に主の怒りが下るのですか? そして主はモーセに語って言われた、会衆に話し、言え、コレの会衆から周りを退け。

そしてモーセは立ち上がり、ダタンとアビラムに向かって行った。そしてイスラエルのすべての長老たちが彼と共に行った。そして会衆に向かって話し、言った、これらの頑な人間のテントから離れなさい、そして彼らに属するすべてのものに触れてはならない、彼らのすべての罪において共に滅びることのないように。そして彼らはコレの天幕の周りから離れた。そしてダタンとアビロンは出て行き、彼らの天幕の戸口のそばに立っていた。そして彼らの妻たちと、彼らの子供たちと、彼らの荷物も。

そしてモーセは言った、このことによってあなたがたは知るだろう、主が私を送ってこれらすべての業をなさせたことを、それは私自身からではないということを。 もしこれらの者がすべての人間の死に従って死ぬならば、そしてもしすべての人間の調査に従って彼らへの訪問があるならば、主は私を送っていない。 しかし、主は幻影の中で示されるだろう、そして地がその口を開いて彼らを飲み込むだろう、そして彼らの家々を、そして彼らの天幕を、そして彼らに属するすべてのものを、そして彼らは生きたままハデスへ下るだろう、そしてあなたがたは知るだろう、これらの人々が主を怒らせたことを。

しかし、彼がこれらすべての言葉を話し終わると、彼らの下の地が裂けた。 そして地が開かれ、彼らと彼らの家々と、コラと共にいるすべての人々と、彼らの家畜を飲み込んだ。 そして彼らは、彼らに属する生きているものすべてとともに、ハデスへ下り、地が彼らを覆い、そして彼らは会衆の真ん中から滅びた。 そして彼らの周りにいた全イスラエルは、彼らの声を聞いて逃げた。大地が私たちを飲み込みませんようにと言いながら。 そして

火が主から出て行き、香を供えていた二百五十人の男たちを食い尽くした。

17

そして主はモーセに向かって言った、そして祭司アロンの息子エレアザルに、焼かれた者たちの中から青銅の火皿を取り上げよ。そしてその異質な火をそこにまき散らせ。なぜなら、これらの罪人たちの火皿は彼らの魂において聖別されたからである。そして、それらを打ち延ばした板にして、その祭壇の覆いとせよ。なぜなら、それらは主の前に捧げられて聖別され、イスラエルの子らへの印となったからである。そしてエレアザルは、祭司アロンの息子として、焼かれた者たちが捧げた青銅の火皿を取り、それらを祭壇の覆いとして加えた。イスラエルの息子たちへの記念として、アロンの子孫でない外国人は誰も主の前に香を供えるために近づいてはならない、そして主がモーセを通して彼に語ったように、コラとその集会のようにならないように。

そしてイスラエルの子らは翌日、モーセとアロンに対して不平を言い、あなたがたは主の民を殺したと言った。そして、会衆がモーセとアロンに対して集まった時、それが起こった。そして彼らは証しの天幕に突進した。そして雲がそれを覆った。そして主の栄光が現れた。そしてモーセとアロンは証言の幕屋の前に入った。 **And the Lord spoke to Moses and Aaron, saying,** この会衆の真ん中から去れ、そうすれば私は彼らを一度に滅ぼそう。そして彼らは顔を地に伏せた。そしてモーセはアロンに言った、香炉を取り、その上に祭壇から火を置き、その上に香を投げ入れ、それを速やかに宿営へ運び、彼らのために贖罪をせよ。なぜなら主の御顔から怒りが出て、民を滅ぼすことが始まったからである。そしてアロンは、モーセが彼に話した通りに取り、会衆の中へ走った。そしてすでに災いが民の中で始まっていた。そして彼は香を投げ、民のために贖罪をした。そして彼は死んだ者たちと

生きている者たちの間に立った、そして疫病は止んだ。そして、その災害で死んだ者は一万四千七百人となった。コラのゆえに死んだ者たちは別である。そしてアロンは証しの天幕の戸口のところでモーセのもとに戻り、そして疫病は止んだ。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの息子たちに話し、彼らから杖を取れ。彼らの父祖の家ごとに、彼らのすべての支配者たちから、彼らの父祖の家ごとに十二の杖を。そしてそれぞれの者の名をその杖の上に書け。そして、アロンの名をレビの杖の上に書け。なぜなら、彼らの父祖の家の部族に従って、杖は一つであり、彼らはそれを与えるからである。そして、あなたはそれらを証の天幕の中、証の対面に置くであろう。そこで私はあなたに自らを現すであろう。そして、私が選ぶ男の杖は芽を出すだろう。そして私は、イスラエルの息子たちがあなたがたに対して不平を言う、その不平を私から取り除くだろう。

そしてモーセはイスラエルの息子たちに話した、そして彼らの全ての支配者たちは彼に杖を与えた、一人の支配者に一つの杖を、支配者に従って、彼らの父祖たちの家々に従って、十二の杖を、そしてアロンの杖は彼らの杖たちの間にあった。そしてモーセは、証の天幕の中で主の前にその杖たちを置いた。そして次の日になった。モーセとアロンが証の幕屋に入った。すると見よ、レビの家のためのアロンの杖が芽を出し、芽をもたらし、花を咲かせ、木の実をつけた。そしてモーセは主の御前からすべての杖を持ち出して、イスラエルのすべての子らのところへ持って行った、そして彼らは見た、そして各々が自分の杖を取った。

そして主はモーセに言われた、アロンの杖を証言の前に置いて保存せよ。不従順な者たちの子らへのしるしとして。そして彼らのつぶやきを私から止めさせよ。そうすれば彼らは決して死なないであろう。そしてモーセとアロンは行った。主がモーセに命じたように、そのように彼らは行った。そしてイスラエルの子ら

はモーセに言った、見よ、我々は滅ぼされ、我々は滅び、我々は滅ぼされる。主の幕屋に触れる者は皆死ぬ。我々は最後まで死に続けるのか。

18

そして主はアロンに言われた、あなたとあなたの息子たちとあなたの父の家は、聖なるものの罪を負うであろう。そしてあなたとあなたの息子たちは、あなたがたの祭司職の罪を負うであろう。そして、あなたの兄弟たち、レビの部族、あなたの父の民を、あなた自身のもとの連れて来なさい。彼らをあなたに加えさせ、あなたに仕えさせなさい。そして、あなたとあなたの息子たちは、証しの幕屋の前にいなさい。そして彼らはあなたの守りと天幕の守りを守るであろう。しかし聖なる器と祭壇には近づいてはならない、そうすれば彼らもあなたたちも死ぬことはないであろう。そして彼らはあなたに加えられ、証しの天幕の守りを守り、天幕のすべての奉仕に従う。そして外国人はあなたに近づいてはならない。そしてあなたがたは聖なるものの守りと祭壇の守りを守らなければならない、そうすればイスラエルの子らに怒りが下ることはないであろう。そして私はあなたがたの兄弟たちであるレビ人たちを、イスラエルの子らの中から取った。彼らは主に与えられた贈り物として、証の幕屋の務めに仕えるためである。そしてあなたとあなたの息子たちは共に、祭壇のすべての方法に従って、また垂れ幕の内側において、あなたがたの祭司職を守らなければならない。そしてあなたがたは、あなたがたの祭司職の賜物である務めを果たさなければならない。そして近づく異邦人は死ぬであろう。

そして主はアアロンに語られた、見よ、私はあなたがたに与えた、イスラエルの子らから私に聖別された全てのものの中から、その初穂の保管を。あなたに、それらを報酬として与えた、そしてあなたの子らに、あなたと共に、永遠の法令として。そし

てこれは、あなたがたのものとなる。聖別された聖なるものの捧げ物から、彼らのすべての贈り物から、彼らのすべての犠牲から、彼らのすべての罪過の捧げ物から、そして彼らのすべての罪の捧げ物から、彼らが私に返すすべての聖なるものから、それはあなたとあなたの息子たちのものとなるであろう。聖なるものの聖なる場所において、あなたがたはそれらを食べなければならない。すべての男性がそれらを食べる。あなたとあなたの息子たちである。それはあなたにとって聖なるものとなる。

そしてこれは、イスラエルの子らのすべての供え物からの贈り物の初穂として、あなたがたのものとなる。私はそれらを、あなたと、あなたの息子たちと娘たちに与えた。これは永遠の定めである。あなたの家の中で清い者は皆、それらを食べることができる。

油のすべての初穂、ぶどう酒のすべての初穂、穀物の初穂、彼らが主に献げるすべてのもの、それらを私はあなたに与えた。彼らの地にあるすべての初穂、彼らが主に運ぶものはすべて、あなたのものとなる。あなたの家にいる清い者は皆、それらを食べることができる。

イスラエルの息子たちにおいて奉納されたものはすべて、あなたのものとなるだろう。そして、すべての肉から子宮を開くもの、人から家畜まで、彼らが主に捧げるものはすべて、あなたのものとなる。しかし、人間の初子は代償で贖われ、汚れた家畜の初子はあなたが贖わなければならない。そして彼の贖いは、生後一か月から、その評価額は五シェケルであり、聖なるシェケルに従って二十オボロスである。ただし、子牛の初子、羊の初子、山羊の初子は贖ってはならない。それらは聖なるものである。その血は祭壇に注ぎ、その脂肪は芳香の香りとして主への捧げ物として捧げなければならない。

そしてその肉はあなたのものとなるだろう、その奉納物の胸と右の腕のように、あなたのものとなるだろう。イスラエルの子らが主に捧げる聖なるものの捧げ物すべて、私はあなたとあなたの息子たちとあなたの娘たちに永遠の掟として与えた。これは主の前における永遠の塩の契約であり、あなたとあなたの後の子孫に対するものである。

そして主はアロンに語られた、あなたは彼らの地において継承しないであろう、そしてあなたには彼らの中で部分が存在しないであろう、なぜならわたしがイスラエルの子らの真ん中であなたの部分であり、あなたの相続であるからである。

そして、レビの息子たちに、見よ、私はイスラエルにおけるすべての十分の一を相続として与えた。彼らが証しの幕屋において奉仕する、その奉仕の代わりに。そしてイスラエルの子らは、死をもたらす罪を負うことがないように、もはや証の幕屋に近づいてはならない。そしてレビ人は自ら証しの天幕の務めを仕えるであろう、そして彼らは彼らの罪を取るであろう、永遠の律法として彼らの世代へと、そしてイスラエルの息子たちの真ん中において相続を受け継がないであろう。なぜなら、イスラエルの子らが主に分け与える十分の一税は、どれほど多くとも、奉納物として私はレビ人たちに相続地として与えたからである。このゆえに私は彼らに言った、イスラエルの子らの中で、彼らは相続地を受け継がないであろうと。

そして主はモーセに語って言われた、そしてレビ人たちにあなたは話し、彼らに言うであろう、もしあなたがたがイスラエルの子らから十分の一を受け取るならば、それは私があなたがたに彼らから相続財産として与えたものであるが、あなたがたはそれから主への奉納物を取り分けなければならない、その十分の一から十分の一を。そして、あなたたちの控除は、脱穀場からの穀物として、また搾り場からの献げ物として、あなたたちに数えられ

るだろう。このように、あなたがたもまた、主のすべての奉納物から、あなたがたのすべての十分の一税から、イスラエルの子らから受け取るすべてのものから、それらを取り分けるであろう。そして、あなたがたはそれらから奉納物を主に、祭司アロンに与えるであろう。あなたがたのすべての贈り物から、主への奉納物を取り分けなければならない。すべての初穂から、その聖別されたものを取り分けなければならない。そしてあなたは彼らに言うだろう、あなたがそれから初穂を取り去る時、それはレビ人たちに脱穀場からの産物として、また酒ぶねからの産物として数えられるだろう。そしてあなたがたはそれをすべての場所で食べるであろう、あなたがたもあなたがたの家の者も。なぜならこれはあなたがたへの報酬であり、証しの幕屋におけるあなたがたの奉仕の代わりであるから。そして、もしあなたがたがその初穂をそれから取り去るならば、あなたがたはそれによって罪を受けることはない。そして、イスラエルの子らの聖なるものをあなたがたは汚してはならない、あなたがたが死なないために。

19

そして主はモーセとアロンに向かって話し、言われた。これは法の定めであり、主が命じられたすべてのことである。言つて、イスラエルの子らに告げよ、彼らにあなたのもとへ赤い雌牛で傷のないものを取らせよ、それには傷がなく、まだくびきを負わされたことのないものを。そしてあなたはそれを祭司エレアザルに与え、彼らはそれを宿営の外の清い場所へ導き出し、彼らはそれを彼の前で屠る。そしてエレアザルは彼女の血から取り、彼女の血から証しの天幕の前に七回振りかけるだろう。そして彼らはそれを彼の前で焼き尽くすであろう。そしてその皮とその肉とその血はその糞と共に焼き尽くされるであろう。そして祭司は杉の木とヒソプと緋色を取り、それらを雌牛の燃焼の真ん中に投げ入れるだろう。

そして祭司は自分の衣服を洗い、自分の体を水で浴び、その後宿営に入るだろう。そして祭司は夕方まで汚れた者となるだろう。そして、それを燃やす者は自分の衣服を洗い、自分の体を浴び、夕方まで汚れたままであるだろう。そして清い人が雌牛の灰を集め、宿営の外の清い場所に置くだろう。そしてそれはイスラエルの子らの会衆のために保存され、振りかけの水となる。それは清めである。そして、その雌牛の灰を集める者は、自分の衣服を洗い、夕方まで汚れたままであるだろう。そしてこれは、イスラエルの子らと彼らのもとに住む寄留者たちにとって永遠の律法となるだろう。

死者に触れる者は、七日間汚れたものとなる。この者は三日目と七日目に清められ、清くなるであろう。しかし、もし三日目と七日目に清められなければ、清くならないであろう。すべて死んだ人の魂に触れる者は、もし死んで清められなければ、主の幕屋を汚したのであり、その魂はイスラエルから切り取られるであろう。なぜなら清めの水が彼の上に振りかけられなかったので、彼は汚れており、まだその汚れが彼の内にあるからである。そしてこれがその律法である。人がもし家で死ぬならば、その家に入るすべての者、およびその家にあるすべてのものは、七日間汚れたものとなるであろう。そして、結びがその上に縛られていないすべての開かれた容器は、汚れている。そして、野の面で、殺された者、または死者、または人間の骨、または墓に触れる者はすべて、七日間汚れたものとなる。

そして彼らは、汚れた者のために、焼かれた清めの灰を取り、それに生ける水を器に注ぐだろう。そして清い男がヒソプを取り、それを水に浸し、家の上に、器の上に、そこにいる全ての魂の上に、人間の骨に触れた者の上に、または傷つけられた者の上に、または死んだ者の上に、または墓の上に振りかけるだろう。そして清い者は、三日目と七日目に汚れた者の上に振りかけるだろう、そして七日目に彼は清められるだろう、そして彼は自

分の衣服を洗うだろう、そして水で身を浴びるだろう、そして夕方まで汚れているだろう。汚された人で清められない者は、その魂が会衆の中から滅ぼされるであろう。なぜなら主の聖なるものを汚したからである。清めの水が彼の上に振りかけられなかったもので、彼は汚れている。そして、これはあなたがたにとって永遠の定めとなる。清めの水を振りかける者は自分の衣を洗わなければならない、清めの水に触れる者は夕方まで汚れたものとなる。そして、汚れた者が触れるすべてのものは汚れたものとなり、触れる者は夕方まで汚れたものとなる。

20

そしてイスラエルの息子たち、全会衆は、最初の月にシンの荒野に來た。そして民はカデシュに留まり、そしてミリアムはそこで死に、そこで埋葬された。会衆には水がなく、彼らはモーセとアロンのもとに集まった。そして民はモーセに向かって不平を言い、言った、ああ、私たちの兄弟たちが主の前で滅びた時に、私たちも死んでいればよかったのに。そしてなぜあなたがたは主の会衆をこの荒野へ導き上げて、私たちと私たちの家畜を殺そうとするのか。そして、なぜこのようなことを?あなたがたは私たちをエジプトから連れ上げて、この悪い場所へ來させた。ここは種が蒔かれることもなく、いちじくの木もなく、ぶどうの木もなく、ざくろもなく、飲む水もない場所である。

そしてモーセとアアロンは会衆の前から証の天幕の戸口へ來て、顔を伏せて倒れた。そして主の栄光が彼らに現れた。そして主はモーセに語って言われた。あなたの杖を取り、あなたとあなたの兄弟アロンは会衆を集めよ。そして彼らの前でその岩に向かって語れ。そうすればそれは水を与えるだろう。あなたたちはその岩から彼らのために水を運び出し、会衆とその家畜に飲ませよ。そしてモーセは、主が命じたとおりに、主の前にあるその杖を取った。そしてモーセとアアロンは会衆を岩の前に集会させ

た。そして彼らに向かって言った、聞け、不従順な者たちよ。この岩から我々はあなたがたに水を引き出すであろうか。そしてモーセは彼の手を持ち上げて、つえでその岩を二度打った。そして多くの水が出て来た。そして会衆が飲み、彼らの家畜も飲んだ。そして主はモーセとアロンに向かって言った、あなたがたはイスラエルの息子たちの前で私を聖別することを信じなかった。このゆえに、あなたがたはこの会衆を、私が彼らに与えた地へ導き入れないであろう。これは論争の水である、なぜならイスラエルの息子たちが主の前で罵られ、そして彼らにおいて聖別されたからである。

そしてモーセはカデシュから使者たちをエドムの王へ送り、言った、あなたの兄弟イスラエルはこう言う、あなたは私たちに降りかかったすべての苦難を知っている。そして私たちの父たちはエジプトへ下り、私たちはエジプトに長い日々を滞在しました。そしてエジプト人たちは私たちと私たちの父たちを虐げました。そして我々は主に向かって叫び、主は我々の声を聞いた。そして天使を送り、我々をエジプトから導き出した。そして今、我々はあなたの境界の一部であるカデシュの町にいる。私たちはあなたの地を通過しますが、畑を通ったり、葡萄園を通ったりしません。また、あなたの井戸から水を飲むこともしません。王の道を行き、右にも左にも曲がらず、あなたの境界を通過するまでそうします。そしてエドムは彼に言った、あなたは私の地を通過してはならない。もしそうするなら、私は戦いをもってあなたを迎え討つために出て行くであろう。そしてイスラエルの息子たちは彼に言う、私たちは山のそばを通過するでしょう。もしも私と私の家畜があなたの水を飲むならば、私はあなたに代価を支払いましょう。しかしそれは何でもないことです。私たちは山のそばを通過するでしょう。しかし彼は言った、あなたは私を通して通過しないだろう。そしてエドムは大軍と強力な武力をもって彼を迎えに出て行った。エドムはイスラエルが自国の領土を通過することを許さなかったので、イスラエルはそこから方向を変えた。

そして彼らはカデシュから出発し、イスラエルの子ら全会衆はホル山に到着した。

そして主は、エドムの地の境界にあるホル山において、モーセとアロンに言われた、アアロンは彼の民に加えられよ。なぜなら、あなたがたは私がイスラエルの子らに与えた地に入ることはないからである。あなたがたが罵りの水のところで私を怒らせたからである。アアロンと彼の息子エレアザルを取り、すべての会衆の前でホルの山へ彼らを連れ上げよ。そして、アロンから彼の衣服を脱がせ、彼の息子エレアザルに着せよ。そして、アロンは召され、そこで死ぬべし。そしてモーセは主が彼に命じたとおりに行い、全会衆の前で彼をホル山へ連れて行った。そして彼はアアロンの衣服を脱がせ、それらを彼の息子エレアザルに着せた。そしてアアロンは山の頂上で死んだ。そしてモーセとエレアザルは山から降りた。そして全会衆はアロンが去ったのを見た、そしてイスラエルの全家はアロンのために三十日間泣いた。

21

そして、荒野に住んでいるカナン人の王アラドは、イスラエルがアタレインの道を来たということを聞いた。そして彼はイスラエルに向かって戦い、そして彼らから捕虜を奪った。そして、イスラエルは主に誓願を立てて言った、もしあなたがこの民を私の手に引き渡してくださるなら、私は彼らとその町々を完全に滅ぼします。そして主はイスラエルの声を聞き、カナン人を彼らの支配下に引き渡し、彼とその都市を奉納し、彼らはその場所の名を呪われたものと呼んだ。

そして彼らはホルの山から出発し、紅海への道を進み、エドムの地を迂回した。そして民は道中で落胆した。そして人々は神に向かって、またモーセについて不平を言い、こう言った、なぜあなたは私たちをエジプトから導き出して荒野で殺そうとするの

か?パンもなく、水もない。そして私たちの魂はこの無価値なパンに嫌悪を感じている。そして主は民の中へ殺す蛇たちを送った、そして蛇たちは民を噛んだ、そしてイスラエルの息子たちの多くの民が死んだ。そして民がモーセのもとに来て言った、私たちは罪を犯しました。なぜなら私たちは主に逆らって、そしてあなたに逆らって語ったからです。それゆえ主に祈ってください。そして主が私たちから蛇を取り去ってくださいますように。そしてモーセは民について主に祈った。そして主はモーセに言った、あなた自身のために蛇を作り、それを標識の上に置け。もし蛇が人を噛むならば、すべての噛まれた者はそれを見て生きるであろう。そしてモーセは青銅の蛇を作り、それを印の上に立てた。そして蛇が人を噛んだ時、その青銅の蛇を見ると、生きた。

そして、イスラエルの息子たちは出発し、オボテに宿営した。そしてオボトから出発して、彼らはアカルガに野営した。それは向こう側の荒野にあり、モアブの前、太陽の昇る東の方角にある。そして彼らはそこから出発し、ザレデの谷に野営した。そして彼らはそこから出発して、アルノンの向こう側の荒野に野営した。それはアモリ人の境界から突き出ている。なぜならアルノンはモアブの境界であり、モアブとアモリ人の間にあるからである。このゆえに、主の戦いの書の中で言われている、ザハブを燃やし、アルノンの溪流を燃やしたと。そして、彼はエルを住まわせるために急流たちを定め、そしてそれはモアブの境界に接している。

そしてそこからその井戸へ。この井戸は、主がモーセに言われたものである、民を集めよ。そうすれば私は彼らに飲むための水を与えよう。その時、イスラエルはこの歌を井戸のために歌った。井戸よ、湧き出でよ。支配者たちがそれを掘り、諸国の王たちが彼らの王国において、彼らが支配する時に、それを切り出した。そして井戸からマンタナエインへ、そしてマンタナエインからナアリエルへ、そしてナアリエルからバモトへ、そしてバモト

からイアニンへ、それはモアブの平野にあり、切り出された頂上から、荒野の方を向いている。

そしてモーセは、平和的な言葉をもって、アモリ人の王シホンのもとへ長老たちを遣わし、言った 私たちはあなたの地を通過します。その道を行きます。畑にも、ぶどう園にも、曲がることはありません。私たちはあなたの井戸から水を飲みません。王の道を進み、あなたの領土を通り過ぎるまで行きます。そしてシホンはイスラエルに自分の領土を通過することを許さなかった。シホンは自分のすべての民を集め、荒野へイスラエルと戦うために出て行き、ヤハツに来て、イスラエルに対して陣を敷いた。そしてイスラエルは剣で彼を討ち、彼の地をアルノンからヤボクまで、アンモン人の地まで取得した。なぜならヤゼルはアンモン人の境界であったからである。そしてイスラエルはこれらすべての都市を取り、イスラエルはアモリ人のすべての都市に、ヘシュボンに、そしてこれに隣接するすべての都市に住んだ。ヘシュボンはアモリ人の王シホンの都市であった。そして彼は以前にモアブの王と戦い、彼らは彼の全ての土地をアロエルからアルノンまで取った。このゆえに、謎解き者たちは言うだろう、ヘシュボンに来なさい、シホンの都市が建てられ、整えられるようにと。なぜなら火がヘセボンから出て、炎がシホンの町から出て、モアブまで食い尽くし、アルノンの柱を飲み込んだからである。災いあなたに、モアブよ。滅びた、ケモシュの民よ。彼らの息子たちは生き延びるために引き渡され、そして彼らの娘たちは捕虜として、アモリ人の王シホンに引き渡された。そして彼らの子孫は滅びるだろう、ヘシュボンからダイボンまで、そして女たちはなおもモアブに火を放った。

そして、イスラエルはアモリ人のすべての町々に住んだ。そしてモーセはヤゼルを偵察するために人を送り、彼らはそれを占領し、その村々を占領し、そこに住んでいたアモリ人を追い出した。そして引き返して、彼らはバシャンへの道を上った。そして

バシヤンの王オグが彼らを迎えるために出て来た。そして彼のすべての民が戦うためにエドレイへ来た。そして主はモーセに言われた、彼を恐れるな。なぜなら、わたしは彼をあなたの手に引き渡したからである。また彼のすべての民と、彼のすべての地をも。そしてあなたは、ヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホンに対してしたように、彼に対してもするであろう。そして彼と彼の息子たちと彼のすべての民を打ち、彼の生存者を残さないまでにし、そして彼らは彼の土地を相続した。

22

そして、イスラエルの子らは出発し、ヨルダン川のほとり、エリコの対岸にあるモアブの西に野営した。そしてセポルの息子バラクは、イスラエルがアモリ人に行ったすべてのことを見た。そしてモアブはその民を非常に恐れた、なぜなら彼らは多かったからである。そしてモアブはイスラエルの子らのゆえに嫌悪を感じた。そして、モアブはミディアン長老会議に言った。今、この会衆は我々の周りの全てを舐め尽くすだろう。あたかも子牛が野原から緑のものを舐め尽くすように。そして、バラクはセポルの息子でモアブの王であった、その時。そして、ベオルの息子バラムのもとへ使者たちを送った。ペトルは彼の民の子らの地の川のほとりにある。彼を呼ぶために言った、見よ、一つの民がエジプトから出て来た。見よ、彼らは地の面を覆った。そして彼らは私のそばに陣取っている。そして今、ここに来て私のためにこの民を呪ってくれ。なぜなら、この者は我々より強いからだ。もし我々が彼らを打つことができるならば、私は彼らをその地から追い出すだろう。なぜなら私は知っているからだ、あなたが祝福する者は祝福され、あなたが呪う者は呪われることを。そしてモアブ長老会議とミディアンの長老会議が行き、占いを彼らの手に持ち、バラムのもとに来て、彼にバラクの言葉を告げた。そして彼は彼らに言った、ここに今夜宿泊しなさい、そして主が私に話

されることをあなたがたに答えましょう、そしてモアブの支配者たちはバラムのもとに留まった。

そして神はバラアムのもとに来て、彼に言った、これらの人々は何のためにあなたのもとに来たのか。そして、バラアムは神に言った、セポルの息子バラク、モアブの王が、彼らを私に送って、言いました、見よ、民がエジプトから出て来て、地の面を覆った。そしてこれが私の隣に座っている。今、来て、私のために彼を呪え。そうすれば、私は彼を打ち、彼を地から追い出すことができるだろう。そして神はバラムに言った、あなたは彼らと共に行ってはならない。またその民を呪ってはならない。なぜならその民は祝福されているからである。そして、バラアムは朝起き上がって、バラクの支配者たちに言った、あなたがたの主のもとへ去れ、神は私があなたがたと共に行くことを許さない。そして、モアブの支配者たちは立ち上がり、バラクのもとに来て言った、バラアムは私たちと共に行くことを望みません。

そしてバラクはさらに支配者たちを送ることを加えた、より多くの、そしてこれらよりも名誉ある者たちを。そして彼らはバラアムのもとに来て、彼に言った、ツィポルの子バラクはこう言います、私はあなたに求めます、私のもとに来ることをためらわないでください。私はあなたを手厚く優遇しよう。そして、あなたが言うことは何でも、あなたのために行おう。だから、来て、私のためにこの民を呪ってくれ。そしてバラアムは答えて、バラクの支配者たちに言った、たとえバラクが私に彼の家を銀と金で満たして与えても、私は主なる神の言葉に違反することはできず、私の心においてそれを小さくまたは大きく行うことはできない。そして今、あなたたちも今夜ここに留まりなさい。そうすれば、主が私に何を語り加えられるか、私は知るだろう。そして神は夜にバラアムのもとに来て、彼に言った、もしこれらの人々があなたを呼ぶために来ているなら、立ち上がって彼らに従え。し

かし私があなたに話す言葉、これをあなたは行わなければならない。

そしてバラアムは朝起き上がって、彼のろばに鞍を置き、モアブの支配者たちと共にいった。そして神は怒りをもって怒られた、なぜなら彼自身が行ったからである。そして神の使いが立ち上がって彼に敵対した。そして彼自身は彼のろばに乗っていた、そして彼の二人の従者が彼と共にいた。そしてロバは神の天使が道に立ちほだかり、その手に剣を抜いているのを見て、ロバは道から外れて平野へ行った。そして彼はロバを杖で打って、それを道に導こうとした。

そして神の天使はぶどう園の畝の中に立った、こちらに柵があり、あちらに柵があった。そして、雌ロバは神の使者を見て、自分自身を壁に押し付け、バラムの足を壁に押しつぶし、彼はなおもそれを打つことを続けた。

そして神の天使は更に進み、去って行き、狭い場所に立ちほだかった。その場所は右にも左にも曲がることができなかった。そしてロバは神の天使を見て、バラムの下に座り込んだ。バラムは怒り、ロバを棒で打った。そして神はろばの口を開けた。そしてろばはバラムに言った、私があなたに何をしたというのですか。あなたは私をこれで三度も打ちました。そしてバラムはそのろばに言った、お前は私を嘲笑した。もし私が手に剣を持っていたなら、既に私はお前を刺していただろう。そしてろばはバラムに言った、わたしはあなたのろばではないか。あなたが若い時から今日まで乗ってきたろばではないか。わたしはこれまでこのようにあなたを軽んじて扱ったことがあったか。そして彼は言った、いいえ。そして神はバラアムの目を開き、彼は主の使いが道に立ちほだかり、その手に抜き身の剣を持っているのを見た。そして彼はかがんで顔を地につけて礼拝した。そして神の天使は彼に言った、なぜあなたはあなたの雌ロバをこの三度目に打ったの

か。見よ、私はあなたに敵対するために出て来た。なぜならあなたの道は私の前で正しくないからだ。そして雌口バは私を見て、この三度目に私から逸れたのだ。そしてもし(彼女が)曲がらなかったなら、今頃あなたを殺していたが、彼女の方は助けていただろう。そしてバラムは主の天使に言った、私は罪を犯しました。なぜなら私はあなたが道の途中で私に対抗するために会いに来たことを知らなかったからです。そして今、もしあなたに十分でないなら、私は引き返します。そして神の天使はバラアムに言った、人間たちと一緒に行け、しかし私があなたに言う言葉、これを守って話せ。そしてバラアムはバラクの支配者たちと共に行った。

そしてバラクはバラムが来たと聞いて、彼に会うために出て行った。それはアルノンの境界上にあるモアブの町へ、それは境界の端にある。そしてバラクはバラアムに向かって言った、私はあなたを呼ぶためにあなたに使いを送らなかったか?なぜあなたは私のところに来なかったのか?本当に私はあなたを敬うことができないのか?そしてバラアムはバラクに言った、見よ、私は今あなたのもとに来た。私が何かを話すことができるだろうか?神が私の口に入れる言葉、それを私は話すだろう。そしてバラアムはバラクと共に行き、彼らは外れ地域の都市に来た。そしてバラクは羊と子牛を犠牲にし、バラムと彼と共にいる支配者たちに送った。そして朝になった、そしてバラクはバラムを連れて、彼をバアルの柱の上に連れて上り、そしてそこから彼に民の一部を示した。

23

そして、バラアムはバラクに言った、ここに私のために七つの祭壇を建て、ここに私のために七つの子牛と七つの雄羊を準備せよ。そしてバラクはバラアムが彼に言った方法を行い、そして子牛と雄羊を祭壇の上に捧げた。そしてバラアムはバラクに言っ

た、あなたのいけにえのそばに立ちなさい。私は行こう。もし神が私に会いに現れるなら、そして神が私に示す言葉を、私はあなたに告げよう。そしてバラクは彼のいけにえのそばに立った。そしてバラムは神に尋ねるために行き、まっすぐに行った。そして神がバラムに現れ、彼に言った。バラムよ、私は七つの祭壇を準備し、子牛と雄羊を祭壇の上に捧げました。そして神はバラムの口に言葉を投げ入れ、そして言った、バラクに向かって振り向いて、このように話せ。そして彼に向かって振り返ると、彼は自分の全焼の捧げ物の傍らに立っており、モアブの支配者たち全員が彼と共にいた。そして神の霊が彼の上に臨んだ。そして彼はそのたとえ話を語り始めて言った。メソポタミアから、東の山々から、モアブの王バラクが私を呼び寄せた。彼は言った、来い、私のためにヤコブを呪え、そして来い、私のためにイスラエルを呪えと。主が祝福しない者を、私がどうして祝福できようか?神が呪わない者を、私がどうして呪えようか?なぜなら山々の頂上から私は彼を見、丘から私は彼を観察するからである。見よ、この民は独り住み、諸国民の中に数えられることはない。誰がヤコブの子孫を完全にしたか、そして誰がイスラエルの氏族を数えるだろうか?私の魂が正しい者たちの魂のうちに死ぬように、そして私の子孫がこれらの子孫のようになるように。

そしてバラクはバラムに言った、あなたは私に何をしたのか。私の敵たちを呪うためにあなたを呼んだのに、見よ、あなたは祝福したではないか。そしてバラムはバラクに言った、神が私の口に入れるものを、私はそれを話すように守るのではない。そしてバラクは彼に言った、まだ私と共に別の場所へ来い、そこからあなたは彼を見ないだろう、しかしあなたは彼の一部だけを見るだろう、全てをあなたは見ないだろう、そしてそこから私のために彼を呪え。

そして彼を、切り出された岩の頂上にある野の見張り塔へ連れて行った。そして彼はそこに七つの祭壇を築き、そして子牛と

雄羊を祭壇の上に捧げた。そしてバラアムはバラクに言った、あなたの犠牲の傍らに立ちなさい。私は神に尋ねるために行こう。そして神はバラアムに会い、彼の口に言葉を入れ、そして言った、バラクのもとへ戻り、これらのことを語れ。そして彼に向かって振り返った。彼は彼の全焼の捧げ物の上に立っており、モアブのすべての支配者たちが彼と共にいた。そしてバラクは彼に言った、主は何を語られたか。そして彼は譬えを取り上げて言った、起きよ、バラクよ、そして聞け、耳を傾けよ、ツィポルの息子よ。神は人のように嘘をつく者ではなく、人の子のように脅される者でもない。彼自身が言ったことを行わないだろうか。話して、それを守らないだろうか。見よ、私は祝福することを引き受けた。私は祝福するだろう、そしてそれを取り消すことはない。ヤコブの中に労苦はなく、イスラエルの中に苦痛は見られないであろう。主、彼の神が彼と共におり、支配者たちの栄光が彼の中にある。神が彼をエジプトから導き出した。彼には一角獣の栄光のようなものがある。なぜなら、ヤコブには占いがなく、イスラエルには予言もないからである。時が来れば、ヤコブとイスラエルに、神が何を成し遂げられるかが告げられるであろう。見よ、民は子獅子のように立ち上がり、獅子のように誇るだろう。獲物を食べ、負傷者たちの血を飲むまで、眠らないだろう。

そしてバラクはバラアムに言った、呪いをもって私のために彼を呪うな、また祝福をもって彼を祝福するな。そしてバラムは答えてバラクに言った、私はあなたに話さなかったか、神が話される言葉、これを私は行おうと言って。そしてバラクはバラアムに向かって言った、来い、わたしはあなたを別の場所へ連れて行こう、もし神が喜ぶならば、そしてそこからわたしのために彼を呪え。そしてバラクはバラアムをポゴルの頂上へ連れて行った、その荒野へと伸びている所へ。そして、バラアムはバラクに言った、ここに私のために七つの祭壇を建て、ここに私のために七つの子牛と七つの雄羊を準備せよ。そして、バラクはバラムが彼に言った通りに行き、子牛と雄羊を祭壇の上に捧げた。

そしてバラアムは、主の前でイスラエルを祝福することが良いことであると見たので、彼に慣習的であった鳥占いとの会合へ行かず、そして彼の顔を荒野へ向けた。そしてバラアムは彼の目を上げて、部族ごとに野営しているイスラエルを見た。そして神の霊が彼の上に臨んだ。そして彼のたとえを取り上げて言った。ベオルの子バラムが言う、まことに見る者が言う、彼は言う、強い者の言葉を聞いて、眠りの中で神の幻視を見た者、彼の目は覆いを取られている、と。ヤコブよ、あなたの家々は何と美しいことか、イスラエルよ、あなたの天幕は。あたかも日陰を作る谷のように、川のほとりの園のように、主が立てた天幕のように、そして水のほとりの杉のように。一人の男が彼の種から出て行き、多くの国々を支配するだろう。そしてゴグの王国は高められ、彼の王国は増大するだろう。神は彼をエジプトから導き出した、一角獣の栄光のように。彼は敵の国々を食らい、彼らの脂肪を吸い出し、彼の矢で敵を射抜くであろう。横たわって休んだ、ライオンのように、また子ライオンのように。誰が彼を起こすだろうか。あなたを祝福する者たちは祝福され、あなたを呪う者たちは呪われる。

そしてバラクはバラムに対して怒り、彼の手を打ち鳴らした。そしてバラクはバラムに向かって言った、私の敵を呪うためにあなたを呼んだのに、見よ、あなたは祝福して三度目もこれを祝福した。さあ、あなたの場所へ逃げよ。私はあなたを敬うだろうと言った。しかし今、主はあなたからその栄光を奪われた。そしてバラアムはバラクに言った、あなたが私のもとに送ったあなたの使者たちにも、私は語って言ったではないか、もしバラクが私に彼の家を銀と金で満たして与えても、私は主の言葉に違反して、自分自身の判断で善いことや悪いことを行うことはできないだろう。神が言われることは何でも、それらを私は言うだろう。

そして今、見よ、私は自分の場所へ去る。来い、私はあなたに助言しよう、この民が終わりの日にあなたの民に何をするかを。

そして彼はそのたとえ話を取り上げて、言った。

バラアム、ベオルの息子が言う。真に見る者である男が言う。神の言葉を聞き、至高者からの知識を知り、そして眠りの中で神の視を見る者、彼の目は覆われていない。私は彼に示すだろう、しかし今ではない。私は祝福するだろう、しかし近づかない。星がヤコブから昇るだろう、人がイスラエルから立ち上がるだろう、そして彼はモアブの指導者たちを粉碎するだろう、そして彼はセツの全ての息子たちを略奪するだろう。そしてエドムは相続財産となり、エサウ、その敵の相続財産となるだろう、そしてイスラエルは力をもって行った。そしてヤコブから起こされ、都市から救われている者を滅ぼすだろう。そしてアマレクを見て、彼のたとえを取り上げて、言った、アマレクは諸国民の始まりであり、そして彼らの子孫は滅びるだろう。そしてケナイ人を見て、彼のたとえを取り上げて言った、あなたの住まいは強い、そしてもしあなたが岩にあなたの巣を置くならば、そしてもしベオルに狡猾さの巣ができるならば、アッシリア人はあなたを捕虜にするだろう。そしてオグを見て、彼の譬えを取り上げて、言った、ああ、ああ、神がこれらのことを定めるとき、誰が生きるだろうか？そしてキティム人の手から出て行き、彼らはアッシリアを虐げ、彼らはヘブライ人を虐げ、そして彼ら自身は心を一つにして滅びるだろう。そして、バラムは立ち上がって、向きを変えて自分の場所へ去った。そして、バラクも自分のところへ去った。

25

そしてイスラエルはシッティムに滞在し、その民はモアブの娘たちと淫行を行うことで汚された。そして彼らは彼らを、彼ら

の偶像への生贄に招いた。そして民はその生贄を食べ、彼らの偶像を拝んだ。そしてイスラエルはバアルペオルに仕えた、そして主はイスラエルに対して怒りをもって怒られた。そして主はモーセに言われた、民のすべての指導者たちを取り、太陽の前で主に対して彼らを処刑せよ。そうすれば主の激しい怒りはイスラエルから離れ去るであろう。そしてモーセはイスラエルの部族たちに言った、各々、バアル・ペオルに入信した自分の者を殺せ。そして見よ、イスラエルの息子たちの一人の男が来て、彼の兄弟をミディアン女のところへ連れて来た、モーセの前に、そしてイスラエルの息子たちのすべての会衆の前に、彼らは証しの幕屋の戸のそばで泣いていた。そして祭司アアロンの息子エレアザルの息子フィネエスは見て、会衆の中から立ち上がり、手に鎖鞭を取り、彼はイスラエル人の男の後ろから天幕の中に入り、両方を刺し貫いた。すなわち、そのイスラエル人の男と、その女を彼女の子宮を通して刺し貫いた。そして、疫病はイスラエルの子らから止んだ。そして、その災害で死んだ者たちは二万四千人となった。

そして主はモーセに語って言われた、祭司Aaronの息子Eleazarの息子Phinehasは、彼らの中で私の熱心を熱心に示したことにより、Israelの息子たちから私の怒りを止めた。そして私は私の熱心の中でIsraelの息子たちを滅ぼさなかった。このように言った、見よ、私は彼に平和の契約を与える。そして、彼と彼の後の彼の子孫に永遠の祭司職の契約が与えられるであろう。それは、彼が自分の神に対して熱心であり、イスラエルの子らのために贖罪を行ったからである。そして、ミディアン人女性と共に打たれたイスラエル人の名前は、ザムブリであり、サルモンの息子で、シメオンの家族の家の支配者であった。そして、打たれたミディアン人の女の名前はカスビであり、スルの娘で、オモスの国民の支配者の家系であり、ミディアムの家族に属する者である。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの子らに告げて言え、ミディアン人たちに敵対し、彼らを打て。なぜなら、

彼ら自身があなたがたに欺瞞をもって敵対し、ポゴルによって、そしてミディアムの支配者の娘である彼らの姉妹カスビによって、あなたがたを欺くからである。その者はポゴルによる打撃の日に打たれた。

26

そして、その打撃の後、主はモーセと祭司エレアザルに語って言われた イスラエルの息子たちのすべての会衆を、二十歳以上から、彼らの父祖の家々に従って数え始めよ、イスラエルにおいて戦いに出るすべての者を。

そして、モーセと祭司エレアザルは、エリコに面したヨルダン川のほとりのモアブのアラボテで、言って話した。二十歳以上から、主がモーセに命じた方法で、エジプトから出て行ったイスラエルの子らは、ルベンはイスラエルの長子。ルベンの息子たちはエノク、エノクの民、ファルには、ファルの民。アスロンには、アスロネイの民、カルミには、カルミの民。これらはルベンの諸氏族であり、その人口調査は四万三千七百三十となった。

そしてパルルの息子たち、エリアブ。エリアブの息子たち、ナムエル、ダタン、アビロンは会衆の召集された者たちであり、これらはコラの会衆において主の反乱の時にモーセとアロンに対して立ち上がった者たちである。そして地はその口を開き、彼らとコラを飲み込んだ。彼の会衆の死において、火が二百五十人を食い尽くしたとき、そして彼らはしるしとなった。しかし、コラの息子たちは死ななかった。

そしてシメオンの息子たち、シメオンの息子たちの民は、ナムエルにはナムエル人の民、ヤミンにはヤミン人の民、ヤキンにはヤキン人の民。ザラには民ザライ、サウルには民サウリ。こ

れらはシメオンの人々で、彼らの人口調査によると二万二千二百人である。

ユダの息子たちは、エルとオナンであった。そして、エルとオナンはカナンの地で死んだ。そしてユダの息子たちは彼らの氏族によって、シロにはシェロニ族、ペレツにはペレツ族、ゼラにはゼラ族となった。そしてペレツの息子たちは、ヘツロンにはヘツロン人の民が、ヤムンにはヤムン人の民が生まれた。これらはユダの人々であり、彼らの検査によれば、七万六千五百である。

そしてイッサカルの息子たちは、彼らの氏族に従って、トラには、トライト族、プアには、プニト族、ヤソブには、ヤソビの民、サムラムには、サムラミの民。これらはイッサカルの部族で、彼らの人口調査によれば、六万四千四百である。

ゼブルンの息子たちは、その氏族に従って、サレドにはサレド人の民、アロンにはアロン人の民、アレルにはアレル人の民である。これらはゼブルンの人々で、彼らの調査によると、六万五百人である。

ガドの息子たちは、彼らの氏族に従って、サフォンには、サフォニ族、ハギには、ハギ族、シュニには、シュニ族、アゼネに、アゼネの人民、アッディに、アッディの人民、アロディには、アロアディの民族、アリエルには、アリエリの民族。これらはガドの息子たちの人々であり、彼らの人口調査から、四万四千五百である。

アシエルの息子たちは、その氏族に従って、ヤミンにはヤミン人の氏族、イエスにはイエス人の氏族、バリアにはバリア人の氏族。コベルには、コベリの民が、メルキエルには、メルキエリの民が。そしてアシエルの娘の名前はサラ。これらはアシエルの人々で、彼らの人口調査から、四万三千四百。

ヨセフの息子たちは、その氏族に従って、マナセとエフライムである。

マナセの息子たち。マキルには、マキル人の民、そしてマキルはギレアデを生んだ、ギレアデには、ギレアデ人の民。そして、これらはギレアデの息子たちである。アヒエゼル、その民はアヒエゼル人。チェレグ、その民はチェレグ人。エスリエルには、エスリエルの民、シュケムには、シュケムの民、シュマエルには、シュマエリの民、そしてオフエルには、オフエリの民。そしてオフエルの息子サルパアデには息子たちは生まれず、娘たちだけであった。そしてサルパアデの娘たちの名前はこれらである：マラ、ヌア、エグラ、メルカ、そしてテルサ。これらはマナセの人々で、彼らの人口調査によると、五万二千七百人である。

そして、これらはエフライムの息子たちである。スタラには、スタラ人の民、タナクには、タナク人の民がいた。これらはスタラの息子たちである、エデンへ、エデンの民。これらはエフライムの氏族であり、彼らの調査によれば三万二千五百である。これらはヨセフの息子たちの氏族であり、彼らの氏族に従う。

ベニヤミンの息子たちは、その氏族によると、バレにはバリ氏族、アスベルにはアスベリ氏族、イアキランにはイアキラニ氏族である。

ソファンに、ソファネスの民が(捧ぐ)。そしてバレの息子たちは、アダルとノエマンであった。アダルにはアダリの民が、ノエマンにはノエマニの民が属した。これらはベニヤミンの息子たちであり、彼らの氏族によるもので、彼らの人口調査から、三万五千五百である。

そして、ダンの息子たちは彼らの氏族に従って、シュハムに属し、シュハム人の民である。これらはダンの氏族であり、彼ら

の氏族に従っている。サメイの全ての人々は、彼らの点検によると、六万四千四百であった。

ナフタリの息子たち、彼らの氏族に従って、アシエルには、アシエル人の氏族、ガウニには、ガウニ人の氏族。イエセルには、イエセリの民族、セレムには、セレミの民族。これらはナフタリの人々で、彼らの人口調査から、四万三百人である。

これはイスラエルの息子たちの人口調査である、六十万千七百三十人。

そして主はモーセに語って言われた。これらの者に土地は分割されるだろう、名前の数に従って相続させるために。より多い者たちには相続を増やし、より少ない者たちには相続を減らす。各々に、数えられた通りに、その相続が与えられる。くじによってその地は名前に従って分けられ、彼らは父祖の部族に従って相続するであろう。くじによって、多くの者と少ない者の間で彼らの相続を分けるだろう。

そしてレビの息子たちは、彼らの氏族に従って、ゲドソンにはゲドソン人の氏族、カアトにはカアト人の氏族、メラリにはメラリ人の氏族である。これらはレビの息子たちの諸族である。ロベニ族、ヘブロニ族、コレ族、そしてムシ族。そしてカアテはアムラムを生んだ。そして彼の妻の名前はヨケベデで、レビの娘であり、彼女はエジプトにおいてレビにこれらの者を産んだ。そして彼女はアムラムにアロンとモーセ、そして彼らの姉妹ミリアムを生んだ。そして、アロンにナダブ、アビウド、エレアザル、イタマルが生まれた。そしてナダブとアビウドは、シナイの荒野で主の前に異質な火を捧げた時に死んだ。そして彼らの調査から二万三千となった。すべての男性は月齢以上であった。なぜなら彼らはイスラエルの息子たちの中で一緒に数えられなかったからで

ある。それは彼らにイスラエルの息子たちの中で相続地が与えられないからである。

そしてこれは、モーセと祭司エレアザルの調査である。彼らはモアブのアラボテにおいて、エリコに面したヨルダンの上で、イスラエルの息子たちを調査した。そして、これらの中には、モーセとアロンによって調査された者たちの中の人はいなかった。彼らはシナイの荒野でイスラエルの息子たちを調査した。主は彼らに彼らは荒野で死ぬであろうと言ったので、彼らのうちから一人も残されなかった。ただし、イエフォネの子カレブとヌンの子ヨシュアを除いて。

27

そして、ヨセフの息子たちのマナッセの民のマキルの息子ガラアドの息子オフエルの息子サルパアドの娘たちが近づいた。そして彼女らの名前はこれらである。マアラ、ヌア、エグラ、メルカ、そしてテルサ。そして彼らはモーセの前、祭司エレアザルの前、支配者たちの前、そしてすべての会衆の前、証の幕屋の入口に立って言った、私たちの父は荒野で死にました。そして彼自身は、コラの会衆において主の前に集まった会衆の真ん中にはいませんでした。なぜなら彼は自分の罪によって死んだからです。そして息子たちは彼に生まれませんでした。私たちの父の名が彼の民の中から消されることがありませんように。なぜなら彼には息子がいないからです。私たちの父の兄弟たちの中で私たちに所有地を与えてください。そしてモーセは彼らの裁きを主の前に持ってきた。

そして主はモーセに話した。言え、サルパアドの娘たちは正しく話した。あなたは彼女たちに、彼女たちの父の兄弟たちの中で相続の所有を贈り物として与えるだろう。そしてあなたは彼女たちの父の相続を彼女たちに与えるだろう。そして、イスラエル

の子らにあなたは語るであろう。もし男が死に、彼に息子がいないければ、あなたがたは彼の相続を彼の娘に移さなければならない、と言って。もし彼に娘がいなければ、あなたがたは彼の兄弟にその相続財産を与えなければならない。もしも彼に兄弟たちがいないならば、あなたたちはその相続を彼の父の兄弟に与えなさい。もし彼の父の兄弟たちがいないならば、あなたたちは相続を彼の部族の中で彼に最も近い親族に与えて、彼のものを相続させなさい。そしてこれは、主がモーセに命じられたように、イスラエルの子らにとって裁きの定めとなるであろう。

そして主はモーセに言った、ヨルダンの向こう側にあるその山、このネボ山に登れ、そしてカナンの地を見よ、それを私はイスラエルの子らに所有として与える。そしてあなたはそれを見るだろう、そしてあなたはあなたの民に加えられるだろう、あなたの兄弟アロンがホル山で加えられたように。なぜなら、あなたがたはシンの荒野で私の言葉に背いたからである。会衆が反抗したとき、あなたがたは彼らの前で水のところで私を聖別しなかった。これはシンの荒野のカデシュにある争いの水である。そしてモーセは主に向かって言った、霊とすべての肉の神である主が、この会衆の上に人を任命されますように。彼らの前に出て行く者、彼らの前に入る者、彼らを導き出す者、彼らを導き入れる者となり、主の会衆が羊飼いのいない羊のようにならないようにするためである。そして主はモーセに語って言われた、ヌンの子ヨシュア、その内に霊を持つ者を自分のもとに取り、あなたの手を彼の上に置きなさい。そしてあなたは彼を祭司エレアザルの前に立たせ、すべての会衆の前で彼に命じ、彼らの前で彼について命じるだろう。そして、あなたはあなたの栄光を彼に与えるだろう。それは、イスラエルの子らが彼に従うためである。そして彼は祭司エレアザルの前に立つであろう。そして彼らは主の前で示すものの裁きを彼に尋ねるであろう。彼の口によって彼らは出て行き、彼の口によって彼らは入るであろう、彼自身とイスラエルの息子たちが一致して、そして全ての会衆が。

そしてモーセは主が彼に命じたとおりに行い、ヨシュアを取って、彼を祭司エレアザルの前に、そしてすべての会衆の前に立てた。そして彼は彼の手を彼の上に置き、主がモーセに命じたとおりに彼を任命した。

28

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの子らに命じて、彼らに言いなさい。わたしへの供え物、わたしへの献げ物、わたしへの捧げ物を、芳香の香りとして、わたしの祭りにおいてわたしに捧げることを守りなさい。そしてあなたは彼らに言うだろう、これらの供え物、あなたがたが主に捧げるべきものは、一歳の傷のない子羊二頭を、毎日絶えず全焼の捧げ物として捧げよ。一匹の子羊を朝に捧げ、二匹目の子羊を夕方に捧げなければならない。

そして、あなたはエパの十分の一の細かい小麦粉を、ヒンの四分の一の油に混ぜられた犠牲として作るでしょう。絶え間ない焼き尽くす捧げ物、シナイの山において成ったもの、主への芳香の香りとして。そして一匹の子羊につき四分の一ヒンの注ぎの供え物を、聖なる所で強い飲み物の注ぎの供え物を主に注ぐであろう。そして第二の子羊を夕方に向かって捧げなければならない。その犠牲とその注ぎの供え物に従って、あなたがたは主への芳香の香りとして行わなければならない。そして安息日には、あなたがたは傷のない一歳の子羊二頭を捧げるであろう。そして油に混ぜられた上質の小麦粉十分の二を犠牲と注ぎの供え物として。安息日の燔祭は、安息日ごとに常供の燔祭に加えて、その注祭とともに捧げられる。

そして新月には、主に焼き尽くす捧げ物を献げなければならない。雄牛から子牛二頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭、傷のないものを。一頭の子牛には油で混ぜた細かい小麦粉十分の三、一頭

の雄羊には油で混ぜた細かい小麦粉十分の二、一匹の子羊に対して、油で混ぜられた細かい小麦粉十分の一、芳香の香りの犠牲として、主への捧げ物。彼らの注ぎの供え物は、一頭の子牛に対してヒンの半分であり、一頭の雄羊に対してヒンの三分の一である。そして一頭の子羊に対してヒンの四分の一のぶどう酒である。これは年の月々において、月ごとに行う全焼の供え物である。

そして山羊の中から一匹の子山羊が罪のために主に捧げられ、絶えず行われる全焼の捧げ物に加えてなされるであろう、そしてその注ぎの捧げ物も。

そして、最初の月の十四日に、主の過越祭。そして、この月の第十五日に祭りがあり、七日間、種なしパンを食べなければならない。そして最初の日は、あなたがたにとって聖なるものと呼ばれるであろう。あなたがたは、いかなる労働もしてはならない。そしてあなたがたは、主に全焼の捧げ物、捧げ物を持ち来なければならない。牛から雄の子牛二頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭、それらはあなたがたにとって傷のないものでなければならない。そして彼らの犠牲は油で混ぜられた上質の小麦粉、一頭の子牛に十分の三、そして一頭の雄羊に十分の二。十分の一を、一匹の子羊に、七匹の子羊たちに作るだろう。そして、あなたがたのために贖いをするため、罪について山羊の群れから子山羊一匹を捧げよ。朝に絶えず捧げられる全焼の捧げ物を除いて、それは絶え間ない全焼の捧げ物である。これらに従って、あなたがたは七日の間、日ごとにこれらを行わなければならない。贈り物、捧げ物を芳香の香りとして主に捧げ、絶えざる全焼の捧げ物に加えて、あなたはその注ぎの捧げ物を行わなければならない。そして第七日は、あなたがたにとって聖なるものと呼ばれるであろう。あなたがたはその日にいかなる労働もしてはならない。

そして初物の日に、あなたがたが週の祭りで主に新しい犠牲を捧げるとき、聖なる集会があなたがたに開かれる。いかなる労働もあなたがたはしてはならない。そして、あなたがたは主に芳香の香りとして全焼のいけにえを捧げなさい。牛の子牛二頭、雄羊一頭、一歳の傷のない子羊七頭である。彼らの供え物は油で混ぜられた細かい小麦粉で、一頭の子牛には十分の三、一頭の雄羊には十分の二である。十分の一ずつを、一頭の子羊に、七頭の子羊たちに、そして山羊から子山羊一匹を罪のために、あなたがたのために贖罪するために、絶えず続く全焼燔祭を除いて。そして、彼らの犠牲をあなたがたは私に行うだろう。それらはあなたがたにとって傷のないものとなるだろう。そして彼らの注ぎの供え物も。

29

そして第七の月の一日に、聖なる集会があなたがたのためにある。いかなる労働もしてはならない。それはあなたがたにとってラッパを吹く日である。そしてあなたがたは主に芳香の香りとして焼き尽くす捧げ物を献げなければならない。牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の傷のない子羊七頭を。彼らの犠牲は油で混ぜられた上質の小麦粉、一頭の子牛に十分の三、そして一頭の雄羊に十分の二、一頭の子羊に十分の一ずつ、七頭の子羊に、そして山羊たちから子山羊一匹を、あなたがたの罪について贖うために、新月の焼き尽くす捧げ物を除いて、それらの犠牲とそれらの注ぎの捧げ物、そして絶えず捧げる焼き尽くす捧げ物、それらの犠牲とそれらの注ぎの捧げ物は、それらの規定に従って、主への芳香として捧げられる。

そしてこの月の十日に、聖なる日があなたがたのために定められ、あなたがたは自分の魂を苦しめ、いかなる仕事もしてはならない。そして、あなたがたは主に芳香のにおいとなる全焼のいけにえ、主へのささげものを持ってくるだろう。牛の群れから子

牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭、これらは傷のないものでなければならぬ。彼らの供え物は油で混ぜられた細かい小麦粉であり、一頭の雄牛には十分の三、一頭の雄羊には十分の二である十分の一ずつを、一匹の子羊に、七匹の子羊のために。そして山羊から子山羊一頭を罪のために、あなたがたのために贖いをするために捧げよ。ただし贖いの罪の捧げ物と、絶えず捧げる全焼の捧げ物、その穀物の捧げ物、およびその注ぎの捧げ物は、定めに従って、芳香として、主への火による捧げ物とせよ。

そして、この第七の月の第十五日に、聖なる召集がお前たちに対してあるであろう。すべての労働の仕事を行ってはならない。そして、主に対してその祭りを七日間祝え。そして、あなたがたは最初の日、主への芳香の香りとなるささげものとして、全焼のいけにえを持ってくるであろう。牛の子牛十三頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、これらは傷のないものでなければならぬ。それらの犠牲は油で混ぜられた細かい小麦粉であり、一頭の子牛につき十分の三を十三頭の子牛たちに、そして一頭の雄羊につき十分の二を二頭の雄羊たちに、十分の一ずつを、一匹の子羊に、十四匹の子羊たちのそれぞれに、そして山羊の中から子山羊一頭を罪のために捧げる。絶えず捧げられる全焼の捧げ物を除いて、彼らの犠牲と彼らの注ぎの捧げ物を捧げる。

そして二日目に、子牛十二頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、傷のないもの。彼らの犠牲と注酒は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちに対して、その数に従い、その規定に従う。そして山羊から子山羊一匹を罪のために、絶えずの全焼燔祭を除いて、それらの犠牲とそれらの注ぎの供え物。

第三の日に、子牛十一頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、傷のないもの。彼らの犠牲と彼らの注酒は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちに対して、彼らの数に従い、彼らの規定に従う。そして山羊たちから子山羊一頭を罪について捧げる。絶えず捧げられる

全焼の捧げ物を除いて、彼らの犠牲と彼らの注ぎの捧げ物を捧げる。

第四の日に、子牛十頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、傷のないもの。彼らの犠牲と彼らの注ぎの供え物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちに対して、彼らの数に従い、彼らの規定に従う。そして山羊たちから子山羊一頭を罪について捧げる。絶えず捧げられる全焼の捧げ物を除いて、彼らの犠牲と彼らの注ぎの捧げ物を捧げる。

第五の日に、子牛九頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、無傷のもの。彼らの犠牲と彼らの注ぎの供え物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちに対して、彼らの数に従い、彼らの規定に従う。そして山羊から子山羊一頭を罪について捧げる。絶えず捧げられる全焼の捧げ物を除いて、それらの犠牲とそれらの注ぎの捧げ物を捧げる。

第六日目に、子牛八頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭を、傷のないものとして捧げる。彼らの犠牲と彼らの注ぎの供え物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちに対して、彼らの数に従い、彼らの規定に従う。そして山羊の中から子山羊一頭を罪のために捧げる。絶えず捧げられる全焼の捧げ物を除いて、彼らの犠牲と彼らの注ぎの捧げ物を捧げる。

七日目に、子牛七頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、傷のないもの。彼らの犠牲と彼らの注ぎの供え物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちに対して、彼らの数に従い、彼らの規定に従う。そして山羊たちから子山羊一頭を罪について捧げる。絶えず続く全焼の捧げ物を除いて、彼らの犠牲と彼らの注ぎの捧げ物を捧げる。そして八日目には、あなたがたのために閉会の集会がある。すべての奴隸的な仕事をこの日に行ってはならない。そしてあなたがたは、主への芳香の香りとなる全焼の捧げ物を献げなければ

ならない。それは子牛一頭、雄羊一頭、一歳の傷のない子羊七頭である。彼らの犠牲と彼らの注ぎの供え物は、子牛と雄羊と子羊たちのために、その数に従い、その取り決めに従って行われた。そして山羊の中から子山羊一頭を罪のために捧げる。絶えず捧げられる全焼の捧げ物を除いて、彼らの犠牲と彼らの注ぎの捧げ物を捧げる。

これらのことを、あなたがたの祭りに主のために行うであろう。あなたがたの祈り、あなたがたの自発的なささげもの、あなたがたの全焼のいけにえ、あなたがたのいけにえ、あなたがたの注ぎのささげもの、そしてあなたがたの救いのささげものは別として。

30

そしてモーセは、主がモーセに命じたすべてのことに従って、イスラエルの子らに話した。そしてモーセはイスラエルの息子たちの部族の支配者たちに向かって話し、言った、これは主が命じたことばである。人が主に誓いを立て、あるいは誓いを誓い、あるいは自分の魂について拘束をもって定めるならば、彼は自分の言葉を汚してはならない。彼の口から出るすべてのことを、彼は行わなければならない。もしそして女が主に誓いを誓うか、または彼女の若い時に彼女の父の家で定めを定めるならば、そして彼女の父が彼女の祈りと、彼女が自分の魂に従って定めた義務を聞き、そして彼女の父が沈黙するならば、彼女のすべての祈りと、彼女が自分の魂に従って定めたすべての義務は、彼女に対して有効となるであろう。もし彼女の父が、彼女のすべての祈りと彼女が自分の魂に対して定めた義務を聞く日に拒否するならば、それらは無効となり、主は彼女を赦されるであろう。なぜなら彼女の父が拒否したからである。

もし彼女が男のものとなり、彼女の祈りが彼女の上であつて、彼女の唇の区別によって彼女が自分の魂に対して定めたものがあるならば、そして彼女の夫が聞き、彼が聞いたその日に彼女に対して沈黙するならば、このようにして彼女のすべての祈りと、彼女が自分の魂について定めた彼女の義務は、成立するであろう。もし彼女の夫が聞いた日に拒否するならば、彼女のすべての祈りと、彼女が自分の魂について定めた義務は無効となる。なぜなら夫が彼女を拒否したからであり、主は彼女を清めるであろう。

そして、やもめと追い出された女の誓いは、彼女が自分の魂について誓ったものはどれほど多くても、彼女に対して有効である。もし彼女の夫の家において彼女の誓願、または誓いを伴う彼女の魂に対する定めが、そして彼女の夫が聞いて、彼女に対して沈黙し、彼女に対して拒否しなければ、彼女のすべての祈りと、彼女が自分の魂に従って定めたすべての義務は、彼女に対して有効となるであろう。もしも彼女の夫が聞いた日に、それを取り除いて無効にするならば、彼女の唇から出たすべてのもの、すなわち彼女の祈りと彼女の魂に対する義務は、彼女に対して効力を持たない。彼女の夫がそれを無効にしたのであり、主が彼女を赦されるであろう。すべての祈りと魂を害するすべての束縛の誓いを、彼女の夫が確立し、そして彼女の夫が取り除く。もし彼が沈黙したまま、日々彼女に対して沈黙し続けるならば、彼は彼女のすべての誓願と、彼女に課せられた義務を確立するだろう。なぜなら彼が聞いたその日に彼女に対して沈黙したからである。もし彼女の夫が聞いた日の後にそれを取り除くならば、彼は自分の罪を負うことになる。これらは、主がモーセに命じた定めであり、男とその妻の間、および父の家にいる若い娘と父の間に関するものである。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの息子たちの復讐をミディアン人たちから果たせ、そして最後にあなたはあなたの民に加えられるだろう。そしてモーセはその民に向かって話し、言った、あなたがたの中から男たちを武装させ、主の前でミディアンに対して戦列に配置せよ。主からミディアンに復讐を下すために。各部族から千人ずつ、イスラエルの子らのすべての部族から千人ずつを、戦いのために送れ。そして彼らはイスラエルの千から部族ごとに千を数え出し、十二千が戦列のために武装した。そしてモーセは彼らを送った。部族から千人、部族から千人を、彼らの軍勢と共に、そして祭司アロンの息子エレアザルの息子ピネハスを、そして聖なる器と合図のラッパを彼らの手に持たせて。

そして彼らは、主がモーセに命じたとおりに、ミディアンに対して戦列を引き、すべての男性を殺した。そして彼らはミディアンの王たちを、その負傷者たちと同時に殺した。エウイン、ロコン、スール、ウール、ロボク、この五人のミディアンの王たち、そしてベオールの息子バラアムを、彼らは剣で、その負傷者たちと共に殺した。そして彼らはミディアンの女たち、彼らの荷物、彼らの家畜、彼らの全ての所有物を略奪し、彼らの力を奪った。そして彼らは、居住地にある彼らの全ての都市と彼らの農場を火で焼いた。そして彼らは、人から家畜に至るまで、すべての略奪品とすべての戦利品を取った。そして彼らはモーセと祭司エレアザルとイスラエルのすべての息子たちのもとへ、捕虜と戦利品と略奪品を陣営の中へ、ヨルダンのほとりエリコに面したモアブのアラボテへ導いた。そしてモーセとエレアザル祭司と会衆のすべての支配者たちが、彼らに会うために陣営の外へ出て行った。そしてモーセは怒った、軍の監督者たち、すなわち戦争の戦列から来た千人隊長たちと百人隊長たちに。そしてモーセは彼らに言った、なぜお前たちはすべての女を生かしたのか? これらの女たちは、バラムの言葉に従って、イスラエルの息子たちを主の言葉から離れさせ、見過ごさせるためにいた。ポゴルのゆえに、

主の会衆に疫病が起こった。そして今、戦利品の中のすべての男性を殺せ。男性の床を知ったすべての女を殺せ。そして男の床を知らないすべての女たちを、生かして捕らえよ。そしてあなたたちは七日間、宿営の外に宿営せよ。殺した者すべてと殺された者に触れた者は、三日目と七日目に清めを受けなければならない。あなたたちもあなたたちの捕虜も。そして、すべての覆い、すべての革の器、山羊皮から作られたすべての物、そして、すべての木の器を、あなたがたは清めなければならない。

そして祭司エレアザルは、戦争の戦列から来ている力の男たちに向かって言った、これは主がモーセに命じた律法のおきてである。金、銀、青銅、鉄、鉛、錫を除いて、火を通るすべての物は清められるだろう、しかし清めの水によっても清められるだろう。そして火を通らないすべてのものは水を通るだろう。そして七日目に衣服を洗い、清められるであろう、そしてその後に陣営に入るであろう。

そして主はモーセに語って言われた、あなたとエレアザル祭司と会衆の父祖たちの支配者たちは、人から家畜まで、捕囚の戦利品の主要点を取れ。そして、あなたがたは戦利品を、戦列に出て行った戦士たちと、すべての会衆との間で分割しなければならない。そしてあなたがたは、戦列に出て行った戦士たちである男たちのうちから、主への取り分を取り分けるであろう。五百につき一つの魂を、男たちから、そして家畜から、そして牛から、そして羊から、そしてろばから。そして、彼らの半分から受け取りなさい。そして、主の初穂を祭司エレアザルに与えなさい。そしてイスラエルの息子たちの半分から、あなたは人間、牛、羊、ろば、そしてすべての家畜から五十につき一つを取り、主の幕屋で守りを守っているレビ人にそれらを与えるだろう。

そして、モーセと祭司エレアザルは、主がモーセに命じたとおりに行った。そして、戦士である男たちが略奪として取った羊

の略奪品の余剰は、六十七万五千となった。そして牛は七万二千頭、そしてロバは、六万一千頭、そして、男の床を知らなかった女たちからの人間の魂は、すべての魂で、三万二千であった。そして、戦争へ出て行った者たちの半分の部分は、羊の数から、三十三万七千五百となった。そして主への羊からの分は、六百七十五頭となった。そして牛は三万六千頭、そして主への献納は七十二頭、そしてロバは三万五百頭、そしてその主への分は六十一頭、そして人間の魂は一万六千であり、そして主への彼らの貢ぎ物は三十二の魂であった。

そしてモーセは、主がモーセに命じたとおりに、神への奉納物を祭司エレアザルに主のために与えた。イスラエルの息子たちの半分から、モーセが戦士たちから分けた。そして会衆の羊たちからその半分が、三十三万七千五百となった。そして牛は、三万六千頭、ロバ、三万五百頭そして人間の魂、一万六千。そしてモーセは、イスラエルの子らの半分から、五十のうちの一つを、人間と家畜から取り、それらを主の幕屋の守りを守っているレビ人たちに与えた。主がモーセに命じられた通りであった。

そして、軍隊の千人隊に任命されたすべての者、千人隊長と百人隊長が、モーセのもとに近づいた。そして彼らはモーセに言った、あなたの僕たちは私たちのもとにいる戦士である男たちの人数を数え取りました、そして彼らから一人も欠けていません。そして私たちは主に贈り物を捧げた。それぞれの男が見つけた金の器、腕輪、足輪、指輪、腕飾り、首飾りを、主の前で私たちのために贖いをするために。そしてモーセと祭司エレアザルは、彼らからすべての細工された金の器を取った。そして、千人隊長たちと百人隊長たちから主に捧げられた金の捧げ物はすべて、十六千七百五十シェケルとなった。そして、その戦士である男たちは、各々自分自身のために略奪した。そして、モーセと祭司エレアザルは、千人隊長たちと百人隊長たちから金を取り、それらを

証の天幕へ持ち込んだ。イスラエルの子らの記念として、主の前に。

32

そして家畜の群れはルベンの息子たちとガドの息子たちにあり、非常に大きな群れであった。そして彼らはヤゼルの地とギレアデの地を見た。そしてその場所は家畜のための場所であった。そしてルベンの息子たちとガドの息子たちが近づいて、モーセとエレアザル祭司と会衆の指導者たちに言った、アタロテ、ダイボン、ヤゼル、ニムラ、ヘシュボン、エレアレ、セバマ、ネボ、バイアン、その地を主がイスラエルの子らの前に引き渡したが、その地は家畜を飼うのに適しており、あなたの僕たちには家畜がいる。そして彼らは言った、もし私たちがあなたの前に好意を得たならば、この地をあなたの僕たちに所有地として与えてください。そして私たちをヨルダン川を渡らせないでください。

そしてモーセはガドの息子たちとルベンの息子たちに言った、あなたがたの兄弟たちは戦争に行くのに、あなたがたはここに座っているつもりか。そしてなぜあなたがたはイスラエルの息子たちの心を歪めて、主が彼らに与える地へ渡らせないようにするのか。あなたがたの父たちは、わたしが彼らをカデシュ・バルネアからその地を見させるために送ったとき、このようにしたではないか? そして彼らはぶどうの房の谷に登り、その地を観察し、イスラエルの息子たちの心を離れさせた、彼らが主が彼らに与えた地に入らないように。そして主はその日に怒りをもって怒られ、そして誓って言われた、もしこれらの人々、エジプトから上がった者たち、二十歳以上で、善と悪を知る者たちが、私がアブラハムとイサクとヤコブに誓った地を見ることがあるだろうか。いや、彼らは私に従わなかったからである。

ただし、エフネの息子カレブとヌンの子ヨシュアは別である。なぜなら彼らは主に従ったからである。そして主は怒りをもってイスラエルに対して怒られ、彼らを荒野において四十年間散らされた、主の前に悪を行っていたその世代の全てが消え去るまで。見よ、あなたがたは父たちの代わりに立ち上がった、罪人たちという破滅として、主の激しい怒りをイスラエルの上にさらに加えるために。なぜなら、あなたがたは彼から背を向けて、さらに彼を荒野に残すことを加え、そしてこの全会衆に対して不法に行うだろう。

そして彼らは彼に近づき、言った、私たちはここに、私たちの家畜のために羊の農場を建て、私たちの家族のために都市を建てるでしょう。そして私たちは武装して、イスラエルの子らの前衛として先頭に立ち、彼らを彼ら自身の場所へ導くまで進む。そして私たちの荷物は、その地に住む者たちのために、城壁のある町々に置かれるであろう。我々は、イスラエルの息子たちが各々その相続地を分割されるまで、我々の家々へ戻らない。そして私たちはもはや、ヨルダンの向こうとその先で彼らと共に相続することはないでしょう。なぜなら私たちは、ヨルダンの向こう、東の方で私たちのくじを受け取ったからです。

そしてモーセは彼らに言った、もしあなたがたがこの言葉に従って行うならば、もしあなたがたが主の前で戦争のために武装するならば、そして、あなたがたの武装した者すべてが主の前でヨルダン川を渡り、彼の敵が彼の前から滅ぼされるまで、そしてその地が主の前に征服され、その後あなたがたは戻り、主の前に、そしてイスラエルから無罪となり、この地は主の前においてあなたがたの所有となるであろう。もしあなたがたがこのようにしないならば、あなたがたは主の前に罪を犯すことになり、そして悪いことがあなたがたを襲う時、あなたがたは自分たちの罪を知ることになるだろう。そしてあなたがたは、自分たちのため

に、自分たちの荷物のための都市を建て、自分たちの家畜のための農場を建て、あなたがたの口から出ることを行うでしょう。

そしてルベンの息子たちとガドの息子たちはモーセに向かって言った、あなたの僕たちは、我々の主が命じられる通りに行うでしょう。私たちの荷物、私たちの妻たち、そしてすべての私たちの家畜は、ギルアデの町々に置かれるだろう。しかし、あなたの子供たちは皆、武装し整列して、主の前を通り戦争へ向かうだろう、主が言われる方法で。

そしてモーセは彼らにエレアザル祭司と、ヌンの子ヨシュアと、イスラエルの部族の家長たちを任命した。そしてモーセは彼らに言った、もしルベンの息子たちとガドの息子たちがあなたたちと共にヨルダンを渡り、すべて武装して主の前に戦争に臨み、そしてあなたたちの前にその地を征服するならば、あなたたちは彼らにガラアデの地を所有地として与えるであろう。もし彼らがあなたがたと共に武装して主の前で戦争へ渡らないならば、あなたがたは彼らの荷物と彼らの女たちと彼らの家畜をあなたがたより先にカナンの地へ運び、そして彼らはあなたがたと共にカナンの地で相続するであろう。そしてルベンの息子たちとガドの息子たちは答えて言った、主が僕たちに言われることはすべて、そのように私たちはいたします。私たちは主の前で武装してカナンの地へ渡ります、そしてあなたがたはヨルダンの向こう側で私たちにその所有地を与えてください。

そしてモーセは、ガドの息子たちと、ルベンの息子たちと、ヨセフの息子たちのマナセ部族の半分に、アモリ人の王シホンの王国と、バシヤンの王オグの王国、その地とその境界を持つ町々、周囲の地の町々を与えた。そしてガドの息子たちはディボンとアタロテとアロエルを建てた。そしてソファルとヤゼルを高めた。そしてナムラムとバイタランという要塞化された都市と、羊の農場を。そしてルベンの息子たちはヘシュボン、エレアレ、

キリアタイムを建てた。そしてベエルメオン、囲まれた都市、そしてセバマ、そして彼らは自分たちが建てた都市の名前を自分たちの名前に従って名付けた。そしてマナセの息子マキルの息子がギルアデに行き、それを取り、そこに住んでいたアモリ人を滅ぼした。そしてモーセはギレアデをマナセの息子マキルに与え、彼はそこに住んだ。そしてマナセのヤイルは行って、彼らの農場を取り、それらをヤイルの農場と名付けた。そしてナバウは行って、カアトとその村々を取り、それらを彼の名からナボトと名付けた。

33

そしてこれらはイスラエルの子らの宿营地である、彼らがその軍勢と共にモーセとアロンの手によってエジプトの地から出て行ったときの。そしてモーセは彼らの出発と彼らの宿营地を主の言葉によって書いた、そしてこれらは彼らの旅の宿营地である。彼らはラメセスから出発した、第一の月の第十五日に、過越の翌日に、イスラエルの息子たちは高く上げた手をもってすべてのエジプト人たちの前で出て行った。そしてエジプト人たちは、主が打ったすべての死者、エジプトの地のすべての初子を埋葬していた。そして主は彼らの神々に復讐を行った。そして、イスラエルの息子たちはラメセスから出発し、スコテに野営した。そしてスコトから出発した後、彼らはブタンに野営した。それは荒野のある部分である。そして彼らはブタンから出発し、ベエルセフォンの向かい側にあるエイロトの口に宿営し、マグドロウの向かい側に宿営した。そして彼らはエイロトの前から出発し、海の真ん中を渡って荒野へ入った。そして彼らは荒野を三日の道のりを行き、ピクリアイスで野営した。そして彼らは苦い水の地から出発し、エリムに来了。そしてエリムには十二の水の泉と七十本のヤシの木の下があり、彼らはそこで水のほとりに野営した。そして彼らはエリムから出発し、紅海のほとりに野営した。そして彼らは紅海から出発し、シンの荒野に野営した。

そして彼らはシンの荒野から出発し、ラファカに野営した。そして彼らはラファカから出発し、アイルースに野営した。そして彼らはアイルースから出発し、ラフィディンに宿営した。そしてそこには民が飲む水がなかった。そして彼らはラフィディンから出発し、シナイの荒野に野営した。そして彼らはシナイの荒野から出発し、欲望の墓に野営した。そして彼らは欲望の墓から出発し、アセロテに野営した。そして彼らはアセロトから出発し、ラタマに宿営した。

そして彼らはラタマから出発し、レンモン・ファレスに野営した。そして彼らはレンモン・ファレスから出発し、レボナに野営した。そして彼らはレボナから出発し、レッスアンに野営した。そして彼らはレッスアンから出発し、マケラトに野営した。そして彼らはマケラトから出発し、サファルに宿営した。そして彼らはシャフェルから出発し、カラダスに野営した。そして彼らはカラダスから出発し、マケロスに野営した。そして彼らはマケロテから出発し、カタアテに野営した。そして彼らはカタアトから出発し、タラトに野営した。そして彼らはタラトから出発し、マテッカに野営した。そして彼らはマテッカから出発し、セルモナに野営した。そして彼らはセルモナから出発し、マスルスに野営した。そして彼らはマスルトから出発し、ベナヤに野営した。そして彼らはバナイアから出発し、ガドガドの山に天幕を張った。

そして彼らはガドガドの山から出発し、エテバタに野営した。そして彼らはエテバタから出発し、エブロナに野営した。そして彼らはエブロナから出発し、エジオン・ガベルに野営した。そして彼らはエジオン・ガベルから出発し、シンの荒野に宿営した。そして彼らはシンの荒野から出発し、パランの荒野に宿営した。これはカデシュである。そして彼らはカデシュから出発し、エドムの地に近いホル山に野営した。

そして祭司アロンは主の命令によって登り、そこで死んだ。イスラエルの子らがエジプトの地から出発した四十年目の第五の月一日であった。アロンは百二十三歳であった、ホル山で死んだとき。そしてカナン人の王アラドが聞いた。この者はカナンの地に住んでいた。イスラエルの息子たちが入っていた時のことである。そして彼らはホル山から出発し、セルモナに野営した。そして彼らはセルモナから出発し、プノンに野営した。そして彼らはピノンから出発し、オボテに野営した。

そして彼らはオボテから出発し、モアブの境界の向こう側にあるガイに宿営した。そして彼らはガイから出発し、ダイボン・ガドに野営した。そして彼らはダイボン・ガドから出発し、ゲルモン・デブラタイムに野営した。そして彼らはゲルモン・デブラタイムから出発し、ナバウの向かい側のアバリムの山々に野営した。そして彼らはアバリムの山々から出発し、モアブの西、エリコに面したヨルダン川のほとりに野営した。そして彼らはヨルダンのそばに、アイシモテとベルサの間、モアブの西部に宿営した。

そして主はモアブの西、エリコに面したヨルダンのほとりでモーセに語って言われた。イスラエルの息子たちに語り、彼らに言いなさい、あなたがたはヨルダンを渡ってカナンの地へ行く。そして、あなたがたは、あなたがたの前にあるその地に住んでいるすべての者たちを滅ぼし、彼らの見張り場を取り除き、彼らの鑄造されたすべての偶像を滅ぼし、彼らのすべての柱を取り除くであろう。そしてあなたがたは、その地に住んでいるすべての者たちを滅ぼし、そこに住むであろう。なぜなら私は、彼らの地をくじによってあなたがたに与えたからである。そしてあなたがたは、くじによって彼らの地をあなたがたの部族に従って相続するであろう。数の多い者にはその所有地を増やし、数の少ない者にはその所有地を減らすであろう。くじでその名が出たところに、そこが彼のものとなるであろう。あなたがたは父祖の部族に従っ

て相続するであろう。もしあなたがその地に住んでいる者たちをあなたたちの前から滅ぼさないならば、あなたが彼らの中から残す者たちは、あなたたちの目の中の棘となり、あなたたちの脇腹の中の矢となり、あなたが住むその地の上であなたたちに敵対するだろう。そして、彼らに対して行うことを決定したように、私はあなたたちに対して行うだろう。

34

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの息子たちに命令し、彼らに言え、あなたたちはカナンの地に入る。これはあなたたちの相続地となるであろう、カナンの地はその境界と共に。そして、あなたがたの南側は、シンの荒野からエドムに隣接するまでとなるだろう。そして、あなたがたの南の境界は、塩の海の東の部分からとなるだろう。そして境界は南からアクラビンの登りに向かってあなたがたを囲み、エンナクを通り過ぎ、その出口は南のカデシュ・バルネに至り、アラドの集落へ出て行き、アセモナを通り過ぎるだろう。そして境界は、アセモナからエジプトの急流まで回り、その出口は海となるだろう。そして海の境界はあなたがたのものとなる。大いなる海が境界を定める。これがあなたがたの海の境界となる。

そしてこれがあなたがたの北の境界となる。大海からあなたがたは自分たちのために、その山のそばで測るであろう。そして、その山からその山を彼らのために測り、ハマテに入る者たちのために測り、その出口はサラダクの境界となるであろう。そして境界はデフロナを出て行き、その出口はアルセナインとなるだろう。これがあなたがたにとって北からの境界となるだろう。そして境界はセペファマルから東のベラへ、泉へと下るだろう。そして境界はベラから東のキネレテ海の背へと下るだろう。そして境界はセパマルからベラへ、東の泉の方へ下り、そして境界はベラからキネレテの海の東側の背後へ下るだろう。そして境界はヨ

ルダンに下り、その出口は塩の海となるであろう。これがあなたたちの地とその周囲の境界となるであろう。

そしてモーセはイスラエルの息子たちに命じて言った、これはあなたがたがくじによって相続する地である、主が命じた方法でそれを九つの部族とマナセ部族の半分に与えることを。なぜなら、ルベンの子らの部族とガドの子らの部族は、彼らの父祖の家ごとに受け取り、マナセ部族の半分も彼らの相続地を受け取ったからである。二つの部族と半部族が、ヨルダンの向こう側、エリコの南東で、彼らのくじを受け取った。

そして主はモーセに語って言われた、これらは、あなたがたに土地を相続させる男たちの名前である。祭司エレアザルとナウエの子イエススである。そしてあなたがたは部族から一人の支配者を受け取るであろう、あなたがたにその地を相続させるために。

そして、これらはユダの部族の男たちの名前である。エフネの息子カレブ。シメオン部族の、セミウドの息子サラムエル。ベニヤミン部族から、カスロンの息子エルダデ。ダン部族の支配者、エグリの息子バクキル。ヨセフの子孫のうち、マナセの子孫の部族から、支配者アニエル、ソウフィの子。エフライムの息子たちの部族の、支配者はサバタンの息子カムエル。ゼブルン部族の統治者、パルナクの息子エリサファン。イッサカルの息子たちの部族の、支配者ファルティエル、オザの息子。アシェルの息子たちの部族から、支配者はセレミの息子アキオル。ナフタリ部族の支配者、イアミウドの息子ファダエル。

主はこれらの者に命じて、カナアンの地をイスラエルの息子たちに分割させた。

そして主はモアブの西、エリコに面したヨルダンのほとりで、モーセに語って言われた イスラエルの子らに命じよ。彼らはその所有する相続地から、レビ人に住むための町々を与え、またその町々の周囲の放牧地をレビ人に与えよ。そして彼らには町々が住むためにあり、彼らの囲い地は彼らの家畜とすべての四足獣のためにあるだろう。そして、あなたがたがレビ人たちに与える都市たちの隣接地は、都市の壁から外へ周囲二千キュビトである。そしてあなたは都市の外を測るべし。東に向かつての側を二千キュビト、南に向かつての側を二千キュビト、海に向かつての側を二千キュビト、北に向かつての側を二千キュビト。そして都市はこの中央にあなたがたのものとなるだろう、そして都市たちの境界も。そして、あなたがたはレビ人たちに都市を与えなければならない。六つの避難所の都市を、殺人を犯した者がそこに逃げるために与え、さらにこれらに加えて四十二の都市を与えなければならない。すべての都市をレビ人たちに与えなければならない。四十八の都市、これらとその郊外を。そして、イスラエルの子らの所有から与える都市については、多くを持つ部族からは多く、少なく持つ部族からは少なく、各部族が受け継ぐ相続地に応じて、レビ人に都市を与えなければならない。

そして主はモーセに語って言われた、イスラエルの息子たちに話し、彼らに言いなさい、あなたたちはヨルダンを渡ってカナンの地に入る。そして、あなたがたは自分たちのために都市を区別するであろう。それらは避難所となるであろう、あなたがたのために。そこに殺人者が逃げるために、すべての意図せずに魂を打った者が。そして、それらの都市は、血の復讐者からの、あなたがたへの避難所となる。そして、殺人者は、会衆の前に立って裁きを受けるまで、決して死ぬことはない。そして、あなたがたが与える都市たち、その六つの都市は、あなたがたにとって避難所となるであろう。三つの都市をヨルダンの向こう側に与え、三つの都市をカナンの地に与えるであろう。

避難所はイスラエルの息子たちに、そして寄留者に、そしてあなたがたの中にいる寄留者に与えられるであろう。これらの町は避難所となるであろう、意図せずに魂を打ったすべての者がそこへ逃げるために。

もし鉄の器で彼を打ち、そして彼が死ぬならば、それは殺人者である。その殺人者は死刑に処せられなければならない。もしも石を手に持ち、それによって人が死ぬ可能性のあるもので彼を打ち、そして彼が死んだならば、殺人者である。その殺人者は死刑に処せられなければならない。もしも木製の器を手に持ち、それによって人が死ぬような物で彼を打ち、そして彼が死んだならば、彼は殺人者である。その殺人者は死刑に処せられなければならない。

血の復讐者は、殺人者に会う時、この者を殺すだろう。もし敵意によって彼を押し、待ち伏せからあらゆる器を彼の上に投げかけて、彼が死ぬならば、または憎しみのゆえに手で彼を打ち、そして彼が死んだならば、打った者は死刑に処せられよ。彼は殺人者である。殺人者は死刑に処せられよ。血の復讐者は、殺人者に会ったときに、その殺人者を殺すであろう。

もし突然に、敵意によらず彼を押し、または待ち伏せからでなく彼に何らかの器物を投げかけたりした場合、または、すべての石において、それによって人が死ぬであろうところの石を知らずに、それが彼の上に落ちて彼が死ぬ場合、しかし彼自身は彼の敵ではなく、また彼を害することを求めてもいなかった。そして会衆は、打った者と血の復讐者との間を、これらの裁き定めに従って判決するだろう。そして会衆は殺人者を血の復讐者から救い出し、会衆は彼が逃げた避難の町へ彼を戻すであろう。そして彼はそこに住むであろう、聖なる油を塗られた大祭司が死ぬまで。

もししかし、その殺人者が彼の逃げたその都市の境界から出て行くならば、そして血の復讐者が彼の避難都市の境界の外で彼を見つけ、そして血の復讐者が殺人者を殺しても、有罪ではない。なぜなら、その大祭司が死ぬまで、彼を避難所の町に住ませよ。そして、その大祭司が死んだ後、殺した者は彼の所有地へ帰るだろう。

そして、これらはあなたがたにとって裁きの定めとなるであろう、あなたがたのすべての住居において、あなたがたの代々にわたって。魂を打ったすべての者については、証人たちによって、あなたはその殺人者を殺すであろう、そして一人の証人は、魂を死なせることについて証言してはならない。そして、あなたがたは殺されるべき有罪である殺人者から、魂についての身代金を受け取ってはならない。なぜなら、彼は死によって死刑に処せられるからである。あなたがたは、大祭司が死ぬまで、避難の町へ逃げた者が再び地に住むための身代金を受け取ってはならない。そして、あなたたちが住んでいる土地を殺してはならない。なぜなら、この血は土地を殺すからである。そして、土地はその上に注がれた血からは贖われず、ただ血を注ぐ者の血によってのみ贖われるのである。そしてあなたがたは、その地を汚してはならない。その地の上にあなたがたは住み、その上に私があなたがたの中に住むのである。なぜなら私は主であり、イスラエルの子らの真ん中に住んでいるからである。

36

そして、マナセの息子マキルの息子ギレアデの息子たちの部族の支配者たちが、ヨセフの息子たちの部族から近づいて来た。そして彼らはモーセの前で、そして祭司エレアザルの前で、そしてイスラエルの息子たちの父祖の家々の支配者たちの前で話した。そして彼らは言った、主は私たちの主に命じられました、イスラエルの子らにくじによって相続の地を与えることを。そして

主は私たちの主に命じられました、私たちの兄弟サルパアドの相続を彼の娘たちに与えることを。そして彼女たちはイスラエルの息子たちの部族の一つに妻となるだろう。そして彼女たちの割り当ては私たちの父たちの所有から取り去られ、彼女たちが妻となる者たちの部族の相続に加えられるだろう。そして私たちの相続の割り当てから取り去られるだろう。もしイスラエルの息子たちの解放がなされるならば、彼らの相続財産は、彼女たちが妻となる部族の相続財産に加えられ、そして私たちの家族の部族の相続財産から彼らの相続財産は取り去られるだろう。

そしてモーセは主の命令を通してイスラエルの息子たちに命じて、言った、このようにヨセフの息子たちの部族は言う。これは主がサルパアドの娘たちに命じた言葉である。彼女らが望む者と妻となつてよい。ただし、彼女らの父の民の中から妻となれ。そしてイスラエルの息子たちの相続は部族から部族へ移されない。なぜなら、イスラエルの息子たちは各々が彼の家族の部族の相続にしがみつくからである。そしてイスラエルの子らの部族から相続財産を相続するすべての娘は、彼女の父の一族の中から一人の者の妻となるであろう。それはイスラエルの子らが各々その父祖の相続財産を相続するためである。そして、相続地は部族から他の部族へ移されることはない。しかし、イスラエルの子らは各々、自分の相続財産を保持するであろう。

主がモーセに命じた方法のとおり、サルパアドの娘たちは行った。そして、ツェロフハデの娘たち、ティルツァ、エグラ、ミルカ、ノア、マアラは、彼女たちのいとこたちのものとなつた。彼女たちはヨセフの息子たちであるマナセの人々から妻となり、彼女たちの相続財産は彼女たちの父の部族の人々のものとなつた。これらは、主がモーセの手によって命じた戒めと掟と裁きであり、ヨルダン川の西、モアブの地において、エリコの対岸で命じられたものである。

申命記

1

これらは、モーセがヨルダンの向こう側の荒野で、西に向かって、紅海の近く、パランとトフェルの間、ロボン、アウロン、カタクリュセアにおいて、全イスラエルに語った言葉である。ホレブからセイル山を経てカデシュ・バルネアまでは十一日の道のりである。そして四十年目の十一月一日に、モーセはイスラエルの全ての子らに話した。主が彼に命じた全てのことに従って彼らに対し、打った後のことであった Heshbon にんだ Amorites の王 Sihon、そして Ashtaroth と Edrei に住んだ Bashan の王 Og、ヨルダンの向こう側、モアブの地において、モーセはこの律法を説明し始めて、言った主である私たちの神は、ホレブで私たちに語られ、こう言われた。この山に住むのはもう十分である。振り返って出発し、アモリ人の山へ入りなさい。そしてアラバのすべての隣人たち、山、平野、南、カナン人の地の海岸、アンチレバノンへ、大河ユーフラテス川まで進みなさい。見よ、わたしはあなたがたの前にその地を引き渡した。入って行って、その地を取り所有せよ。それは、わたしがあなたがたの父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに、彼らとその後の子孫に与えると誓った地である。

そして私はその時、あなたがたに向かって言った、私は一人であなたがたを担うことはできないだろうと。主、あなたがたの神は、あなたがたを増やされた。そして見よ、あなたがたは今日、天の星々のように多い。主、あなたがたの父たちの神が、あなたがたに、あなたがたがいるように千倍に加え、そしてあなたがたに語ったように、あなたがたを祝福されますように。どのようにして私は一人であなたたちの労苦と、あなたたちの基盤と、あなたたちの争いを負うことができるだろうか? あなたがたの部

族の中から、賢く、知識があり、理解力のある男たちを自分たちで選びなさい。そうすれば、私は彼らをあなたがたの指導者として任命しよう。そして、あなたがたは私に答えて言った、あなたがたが話したその言葉を行うことは良いことです。そして私はあなたがたの中から賢く、知識があり、理解力のある男たちを取り、彼らをあなたがたの上に立つ者として任命した。千人隊長、百人隊長、五十人隊長、十人隊長、そしてあなたがたの裁判官たちのための書記官として。そして私はあの時、あなたたちの裁判官たちに命じて言った、あなたたちの兄弟たちの間のことを聞き、そして正しく裁け、人と人の間、兄弟と兄弟の間、そして彼の寄留者との間を。あなたは裁きにおいて人を偏り見てはならない。小さい者も大きい者も同じように裁け。人の顔を恐れてはならない、なぜなら裁きは神のものであるから。そしてもしその事があなたたちにとって難しいならば、それを私のもとに持って来なさい、そうすればわたしがそれを聞こう。そして私はあの時、あなたがたが行うべきすべての言葉を、あなたがたに命じた。

そしてホレブから出発して、我々は、あなたたちが見たあの大きくて恐ろしい荒野すべてを、アモリ人の山への道を、我々の神である主が我々に命じられたとおりに行き、カデシュ・バルネアまで来た。そして私はあなたがたに言った、あなたがたは、私たちの神である主があなたがたに与えるアモリ人の山まで来た。見よ、あなたがたの主なる神は、あなたがたの前にその地を引き渡された。上って行って、あなたがたの父祖の主なる神があなたがたに言われた通りに、これを所有せよ。恐れてはならない。おじけづいてもならない。そしてあなたたち全員が私のもとに来て言った、私たちの前に男たちを送り、彼らに私たちのためにその地を偵察させ、私たちが上って行くべき道と、私たちが入って行くべき町々について、私たちに報告させましょう。そしてその言葉は私の前で喜ばれた、そして私は君たちの中から十二人の男たちを取った、部族ごとに一人の男を。そして彼らは振り返って山へ上り、葡萄の房の谷まで来て、それを偵察した。そして彼らは

その地の果実を自分たちの手に取り、それをあなたたちのもとへ運んで来て言った、主なる私たちの神が私たちに与えてくださるその地は良い地です。

そして、あなたがたは上ることを望まなかった、しかし、あなたがたは私たちの神、主の言葉に従わなかった。そしてあなたがたは自分たちの天幕の中で不平を言い、こう言った。主が私たちを憎んでおられるので、私たちをエジプトの地から導き出し、アモリ人の手に引き渡して、私たちを滅ぼそうとしておられるのだ。どこへ我々は登るのか?しかしあなたたちの兄弟たちはあなたたちの心を離れさせた、こう言いながら、我々よりも大きくて多くてより強力な民族、そして天にまで達する大きくて城壁で囲まれた都市たち、さらに巨人たちの息子たちを我々はそこで見た、と。そして私はあなたたちに言った、恐れおののくな、また彼らを恐れるな。あなたがたの神である主は、あなたがたの前を進んでおられ、エジプトの地で、そしてあなたがたが見たこの荒野で、アモリ人の山への道で、主があなたを養われたように、あなたがたのために行われたすべてのことに従って、彼自身があなたがたと共に彼らと戦われるだろう。あなたの神は、人が自分の息子を養うように、あなたがたが歩んだすべての道において、あなたがたがこの場所に来るまで、あなたがたを養われた。

そしてこの言葉において、あなたがたは私たちの主なる神を信じなかった。あなたがたの前を先に行き、道において場所を選び、夜には火の中であなたがたを導き、あなたがたが進むべき道を示し、昼には雲の中におられる方。

そして主はあなたがたの言葉の声を聞き、怒って誓って言われた。もしこれらの男たちの誰かが、私が彼らの父たちに誓ったこの良い地を見ることがあるだろうか、いや、ただし イエフオンネの息子カレブ、この者はそれを見るだろう。そしてこの者に私は与えるだろう、彼が足を踏み入れた地を、そして彼の息子たち

にも。彼が主に献身したことによって。そして主は、あなたたちのゆえに私に対して怒り、言われた、あなたもまた、決してそこに入ることはない。ヌンの子ヨシュア、あなたのそばに立っている者、この者がそこに入るだろう。彼を強くしなさい、なぜなら彼がそれをイスラエルに相続させるだろうから。そしてすべての若い子供で、今日善または悪を知らない者、これらの者はそこに入るだろう、そして私はこれらの者にそれを与えるだろう、そして彼らはそれを相続するだろう。そしてあなたがたは引き返して、紅海へ向かう道の荒野に野営した。

そして、あなたがたは答えて言った、私たちは私たちの神、主の前に罪を犯しました。私たちは登って、私たちの神、主が私たちに命じられたすべてのことに従って戦います。そして、各々が自分の武具を取り上げ、集まって、あなたがたは山へ登る。そして主は私に言われた、彼らに言え、あなたたちは上って行っただけではない、また戦っただけではない。なぜなら私はあなたたちとともにいないからである。そしてあなたたちはあなたたちの敵の前で打ち碎かれるであろう。そして私はあなたたちに話したが、あなたたちは私の言うことを聞かず、そして主の言葉に違反し、そして強引に山へ上って行った。そして、あの山に住んでいたアモリ人が、あなたがたに会うために出て来て、蜂たちがするように、あなたがたを追跡し、セイルからホルマまで、あなたがたを傷つけた。そしてあなたたちは座って、私たちの神である主の前で泣いた。しかし主はあなたたちの声を聞かず、またあなたたちに注意を払わなかった。

そして、あなたがたはカデシュに長い日々とどまっていた、かつてとどまっていたのと同じだけの日々を。

そして振り返って、私たちは荒野へ出発した、紅海の道を、主が私に話された通りに、そして私たちは多くの日々セイルの山を囲んだ。そして主は私に言った、あなたがたにとって、この山を回することは十分である。したがって北へ向きを変えよ。そして、その民に命じよ、言って、あなたがたは、セイルに住んでいるあなたがたの兄弟たち、エサウの息子たちの境界を通過する。そして彼らはあなたがたを恐れ、あなたがたを非常に警戒するであろう。彼らに向かって戦争を仕掛けてはならない。なぜなら私はあなたがたに、彼らの地から足の踏み場さえも与えないからである。私はくじによってエサウの息子たちにセイルの山を与えたのだから。銀で食物を彼らから買って食べなさい、そして水を量りで彼らから銀で受け取って飲みなさい。なぜなら、私たちの主なる神は、あなたの手のすべての働きにおいてあなたを祝福された。あなたがあの大きくて恐ろしい荒野をどのように通り抜けたか注意せよ。見よ、四十年間、あなたの神である主はあなたと共におられ、あなたは何も欠くことがなかった。

そして私たちは、セイルに住んでいる私たちの兄弟であるエサウの息子たちを、アイロンとゲシオン・ガベルからのアラバの道のそばで通り過ぎ、そして引き返して、モアブの荒野の道を通り過ぎた。そして主は私に言った、モアブ人たちに敵対するな、そして彼らに対して戦争を仕掛けるな。私は彼らの地から君たちに相続として与えないからである。なぜならロトの息子たちにアロエルを相続として与えたからである。オンミン人が以前そこに定住していた。彼らは大きくて多くて強い民族であり、ちょうどアナキム人のようであった。これらもアナキム人と同じようにレファイム人と見なされるだろう。そして、モアブ人は彼らをエミム人と呼ぶ。そして、セイルには以前ホリ人が住んでいたが、エサウの息子たちが彼らを滅ぼし、彼らの前から根絶し、彼らの代わりに定住した。それは、主が彼らに与えた相続の地を、イスラエルが行ったのと同じ方法であった。今やそれゆえ、あなたがたは立ち上がり出発し、ザレトの谷を通過せよ。

そして、我々がカデシュ・バルネアから旅して、ザレトの谷を通過するまでの日々は、三十八年であった。主が誓ったように、戦士たちの世代全員が陣営から死に絶えるまで。神は彼らを罰した。そして神の手は彼らの上にあり、彼らが滅びるまで陣営の中から彼らを滅ぼすためであった。

そして、すべての戦士である男たちが民の中から死に絶えて倒れたとき、彼は話した。主は私に言われた、あなたは今日、その境界を通過するであろう **MoabのAroer**を、そしてあなたがたはアンモンの子らに近づくであろう。彼らに敵対してはならない。また彼らと戦争をしてはならない。なぜなら私はアンモンの子らの地をあなたに相続地として与えないからである。それは私がロトの子らに相続地として与えたからである。レファイムの地と数えられるであろう。なぜなら、その地には以前レファイムが住んでいたからである。そしてアンモン人たちは彼らをザムズミムと呼ぶ。あなたがたよりも偉大で多く、強力な国民、エナケイムのように、主は彼らの前で彼らを滅ぼし、彼らは相続して彼らの代わりに定住した、この日まで。エサウの息子たちがセイルに住んでいた者たちに対して行ったように、彼らはホリ人を彼らの前から滅ぼし、彼らを相続し、彼らの代わりに定住した、この日まで。そして、アセドスからガザまで住んでいたエウアイオイと、カッパドキアから出て行ったカッパドキア人は、彼らを滅ぼし、そして彼らの代わりに定住した。

今、それゆえ起きて出発し、あなたがたはアルノンの谷を渡れ。見よ、私はヘシュボンの王アモリ人のシホンとその地をあなたの手に引き渡した。相続することを始め、この日に彼と戦いを交えよ。天の下にあるすべての国々の前に、あなたの震えとあなたの恐れを与え始めよ。彼らはあなたの名を聞いて動揺し、あなたの前で苦痛を覚えるだろう。

そして私は荒野ケデモテから使節たちをヘシュボンの王シホンへ平和な言葉をもって送り、言った、私はあなたの地を通り抜けるだろう、道の中を行くだろう、右にも左にも曲がらないだろう。食べ物と銀を私に売ってくれ、そうすれば私は食べよう。水を銀で私に売ってくれ、そうすれば私は飲もう。ただし、私は徒歩で通り過ぎるだけだ。セイルに住んでいるエサウの息子たちと、アロエルに住んでいるモアブ人たちが私にしてくれたように、私たちの神である主が私たちに与えてくださる地へ、ヨルダンを渡るまで。そして、ヘシュボンの王シホンは、私たちが彼の地を通り過ぎることを望まなかった。なぜなら、私たちの神である主が彼の霊を頑なにし、彼の心を強情にされたからである。それは、今日のように、彼があなたの手に引き渡されるためであった。

そして主は私に言われた、見よ、私はあなたの前にヘシュボンの王シホン、アモリ人と彼の地を引き渡し始めた。そして彼の地を相続し始めよ。そしてヘシュボンの王シホンは、彼とその全ての民と共に、私たちに会うために出て来て、ヤハツで戦った。そして我らの神、主は彼を我らの前に引き渡し、我らは彼と彼の息子たちと彼のすべての民を打った。そしてあの時、我々は彼の全ての都市を占領し、次々に全ての都市を完全に破壊し、彼らの女たちと子供たちを、一人も生かしておかなかった。ただし家畜は略奪し、都市の戦利品は取った。アロエルから、それは急流アルノンの岸の傍らにあり、その谷の中にある町、そしてギレアデの山まで、我々から逃れた町は一つもなかった。主、我々の神が、すべてを我々の手に引き渡された。アンモンの子らの近くを除いて、私たちは近づかなかった。ヤボクの急流に隣接するすべての地、そして山地にある都市には。主、私たちの神が私たちに命じられた通りに。

そして私たちは向きを変えて、バシヤンへの道を上った。するとバシヤンの王オグが、彼自身とその全ての民を率いて、エドライムで戦うために私たちを迎え撃ちに出た。そして主は私に言われた、彼を恐れるな。なぜなら彼をあなたの手に引き渡したからである。そして彼の民全てを、そして彼の地全てを。そしてあなたは彼に行くであろう、ちょうどあなたがヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホンに行ったように。そして、我らの神である主は、彼を我らの手に引き渡し、バシヤンの王オグと、その全ての民を引き渡した。そして我らは彼を打ち、彼の子孫を一人も残さなかった。

そして我々はその時、彼のすべての都市を捕らえた。我々が彼らから取らなかった都市はなかった。六十の都市、バシヤンにおけるオグ王のアルゴブのすべての周辺地域であった。すべての都市は要塞化され、城壁は高く、門とかんぬきがあった、ただし非常に多くのペリジ人の都市を除いて。我々は、ヘシュボンの王シホンに対して行ったように完全に滅ぼし、全ての町を次々に、女たちも子供たちも完全に滅ぼした。そして、すべての家畜と都市の戦利品を我々は自分たちのために略奪した。

そして我々はその時、ヨルダンの向こう側、アルノンの急流からヘルモンまでにいた二人のアモリ人の王の手からその地を取った。パルム木々はヘルモンをサニオルと呼び、アモライト人はそれをサニルと名付けた。ミソルのすべての都市、そしてギラアド全土、そしてエルカとエドライムに至るバシヤン全土、すなわちバシヤンにおけるオグの王国の諸都市バシヤンの王オグだけがレファイム人の中から残されたからである。見よ、彼の寝台は鉄の寝台であった。見よ、これはアンモン人の町にある。その長さは九キュビト、その幅は四キュビトであり、人のキュビトによるものである。そしてその地を、我々はその時にアロエルから相続した。それはアルノンの急流の縁の傍らにある。そしてギレアデの山の半分と、その町々を私はルベンとガドに与えた。そしてギ

レアデの残り、と、オグのバシャン王国のすべてを、マナセ部族の半分に与えた。そしてアルゴブのすべての周辺地域、あのバシャンのすべては、レファイムの地と数えられるだろう。そして、マナセの子ヤイルは、ガルガシとマカティの境界に至るまでのアルゴブの全周辺地域を取り、それらを自分の名にちなんでバシャン・タウオト・ヤエイルと名付けた。この日に至るまで。そして、私はマキルにギレアデを与えた。そしてルベンとガドには、ギレアデから溪流アルノンまで、その溪流の真ん中を境界とし、そしてヤボクまで、その溪流をアンモンの子らへの境界として、私は与えた。そしてアラバとヨルダン、マハナレトの境界であり、アラバの海まで、東のファスガのアセドトのもとにある塩の海まで。

そして私はあの時にあなたがたに命じて言った、主、あなたがたの神が、この地をくじであなたがたに与えた。武装して、あなたがたの兄弟たち、イスラエルの子らの前に進め、すべての力ある者よ。ただし、あなたたちの妻たちと子供たちと家畜は、あなたたちには多くの家畜があることを私は知っている、私があなたたちに与えたあなたたちの町々に住まわせよ、主が休ませるまで。あなたがたの神があなたがたの兄弟たちを、ちょうどあなたがたと同じように休ませ、そして彼らもまた、私たちの主なる神がヨルダンの向こう側で彼らに与える地を相続するようになり、そしてあなたがたは各々、私があなたがたに与えた自分の相続地へ戻るであろう。

そして、私はあの時、ヨシュアに命じて言った。あなたがたの目は、私たちの神、主がこれら二人の王たちに行ったすべてのことを見た。私たちの神、主は、あなたがそこで渡って行くすべての王国に対しても、このように行くだらう。あなたがたは彼らを恐れてはならない。主、私たちの神ご自身があなたがたのために戦われるからである。

そして私はその時、主に懇願して言った。主なる神よ、あなたはあなたの僕にあなたの力と、あなたの権能と、力強い御手と、高く上げられた御腕とを示し始められました。天においても地においても、あなたがなさったように、またあなたの力に従ってなし得る神がどこにありましょうか。それゆえ渡って、私はヨルダンの向こうにあるこの良い土地、この良い山とアンチレバノンを見るだろう。

そして主は、あなたがたのために私を見過ごし、私の言葉を聞かなかった。そして主は私に言った、あなたにはそれで十分である。この言葉をこれ以上語ってはならない。刻まれた山の頂に登り、あなたの目で西と北と南と東を見上げ、あなたの目で見よ。なぜなら、あなたはこのヨルダン川を渡ることはないからである。そしてヨシュアに命じ、彼を強くし、彼を励ませ。なぜならこの者がこの民の前に渡るであろうし、この者が彼らにあなたが見たすべての地を相続させるであろうから。そして我々はボゴルの家の近くの谷に座った。

4

そして今、イスラエルよ、聞け。私が今日あなたたちに行うように教える掟と裁きを。それはあなたたちが生き、増え広がり、入って行って、主、あなたたちの父祖の神が、あなたたちに与える地を相続するためである。あなたがたは、私があなたがたに命じるその言葉に加えてはならない。そしてそれから取り去ってはならない。私たちの神、主の戒めを守れ。私が今日あなたがたに命じるすべてのことを。あなたがたの目は、私たちの主なる神がバアル・ペオルに行ったすべてのことを見た。なぜなら、バアル・ペオルに従って行ったすべての人を、あなたがたの主なる神は、あなたがたの中から滅ぼしたからである。しかし、あなたたちの神である主に付き従う者たちは、皆、今日生きている。

見よ、主が私に命じられたように、私はあなたがたに掟と裁きを示した。あなたがたがそこに入ってそれを相続するその地において、このように行うために。そしてあなたがたはこれを守り、行わなければならない。なぜならこれはあなたがたの知恵と理解であり、すべての国々の前にあるからである。これらすべての律法を聞く多くの者たちは言うであろう、見よ、賢く知識のある民、この偉大な国民を。なぜなら、私たちが神を呼び求めるすべてのことにおいて、私たちの主なる神のように近くにいた神を持つ偉大な国が、どこにあるだろうか。そしてどのような大いなる国が、わたしが今日あなたたちの前に与えるこのすべての律法に従った正しい法令と裁きを持っているだろうか？

あなた自身に注意を払い、あなたの魂を非常に守れ。あなたの目が見たすべての言葉を忘れるな。そしてそれらを、あなたの生涯のすべての日々、あなたの心から離れさせるな。そしてあなたの息子たちとあなたの息子たちの息子たちに教えよ、あなたたちが私たちの神である主の前にホレブにおいて立った日、集会の日に、言ったときのことを。主は私に言われた、私のもとに民を集めよ。彼らに私の言葉を聞かせよ。彼らが地上で生きるすべての日々、私を恐れることを学び、その子らに教えるために。そして、あなたがたは近づき、その山のそばに立った。その山は天まで火で燃えており、闇と暗黒と嵐があった。そして主は火の真ん中からあなたがたに言葉の声で話された。あなたがたはその声を聞いたが、似姿は見なかった。ただ声だけであった。そして彼はあなたがたに彼の契約を告げた、それはあなたがたに行うよう命じた十の言葉である、そして彼はそれらを二つの石の板の上に書いた。

そして主は、あの時に私に命じられた、あなたたちに掟と裁きを教えること、あなたたちがそこに入って相続するその地で、それらを行うために。そして、あなたがたは自分の魂を非常に守らなければならない。なぜなら、主がホレブの山で火の真ん中か

らあなたがたに話した日に、あなたがたは何の似姿も見なかったからである。あなたたちは不法に行動してはならない、そしてあなたたち自身のために彫られた似姿、すべての像、男性または女性の似姿を作ってはならない、地上にあるすべての家畜の似姿、天の下を飛ぶすべての翼ある鳥の似姿、地の上を這うすべての這うものの似姿、地の下の水の中にあるすべての魚の似姿。そして、天を見上げて、太陽と月と星々と天のすべての世界を見て、迷わされてそれらを拝み、それらに仕えることのないように。それらは、主であるあなたの神が天の下すべての国々に割り当てられたものである。しかし神はあなたたちを取り、エジプトの地から、鉄の炉から導き出した。それはあなたたちが彼の所有の民となるためであり、今日のとおりである。

そして主なる神は、あなたがたによって言われたことについて私に怒り、誓われた。私がこのヨルダンを渡らないように、そして主なるあなたの神が相続地としてあなたに与えるその地に、私が入らないように。私はこの地で死ぬので、このヨルダンを渡りません。しかし、あなたたちは渡り、この良い地を相続するでしょう。あなたがたは注意せよ、主である私たちの神があなたがたに対して結ばれた契約を忘れることのないように、そして不法を行い、主であるあなたの神があなたに命じられたすべてのものの刻まれた似姿を自分自身のために作ることのないように。なぜなら、あなたの神である主は、焼き尽くす火であり、嫉妬深い神だからである。

もしあなたが息子たちと、あなたの息子たちの息子たちを産み、そしてあなたたちがその地に長く留まり、そして不法を行い、そしてすべてのものの刻まれた似姿を作り、そして主の前で悪を行うならばあなたがたの神を怒らせるなら、私は今日、天と地を証人として呼び、あなたがたに証言する。あなたがたはヨルダンを渡ってそこで相続するその地から、滅びによって滅びるであらう。あなたがたはその地の上に長く日々を過ごすことはな

く、完全に滅ぼされるであろう。そして主はあなたたちをすべての国々に散らし、あなたたちは少数となってすべての国々に残されるだろう、主があなたたちをそこへ導き入れる国々に。そしてあなたがたはそこで他の神々、人間の手の作品である木と石に仕えるだろう。それらは見ることもなく、聞くこともなく、食べることもなく、嗅ぐこともない。そしてあなたがたはそこであなたがたの神である主を求めるだろう。そしてあなたがあなたの心の全体から、そしてあなたの魂の全体から、あなたの苦難の中で彼を探し求める時、あなたがたは彼を見つけるだろう。そしてこれらすべての言葉が終わりの日にあなたに臨むとき、あなたはあなたの神、主に立ち返り、その声を聞くだろう。なぜなら、あなたの神、主は憐れみ深い神であり、あなたを見捨てず、あなたを滅ぼさず、あなたの父たちに主が誓った契約を忘れないからである。

あなたより前に起こった昔の日々について尋ねよ、神が地上に人間を創造した日から、天の果てから天の果てまで、このような大いなる言葉が起こったことがあるか、このようなことが聞かれたことがあるか、国民が声を聞いたことがあるか。生ける神が火の中から語られるのを、あなたが聞いたように、そしてあなたは生き延びた、もし神が、試練と、しるしと、不思議と、戦争と、力強い御手と、高く上げられた御腕と、偉大な幻をもって、ある国民の中から御自身のために一つの国民を取るために入ってくることを試みられたであろうか。私たちの神、主がエジプトにおいて、見ているあなたの前で行われたすべてのことに従って。それは、あなたが知るためである。主、あなたの神、この方が神であり、そして彼の他には、もはや神は存在しないということ。天から彼の声が聞こえるようになり、あなたを教育し、そして地の上で彼の大きな火をあなたに示し、そしてあなたは火の真ん中から彼の言葉を聞いた。

彼があなたの父たちを愛したゆえに、彼らの後の子孫であるあなたたちを選び、彼自身がその大いなる力によってあなたをエジプトから導き出した。あなたより大いなる強い諸国をあなたの前で滅ぼし、あなたを導き入れて彼らの地を相続としてあなたに与えること、今日あなたが持っているとおりに。

そしてあなたは今日知り、心に向けるだろう。主、あなたの神こそが、上は天において、下は地において神であり、彼の他には存在しないことを。彼の戒めと彼の掟を守れ、私が今日あなたに命じるすべてのものを。それはあなたとあなたの後の子らに幸いとなり、主あなたの神があなたに与える地において、あなたたちが永く生きるためである。その時、モーセはヨルダンの向こう側、太陽の昇る方に三つの都市を設けた。そこへ逃げるべき殺人者とは、隣人を知らずに殺した者であり、この者は昨日やその前日から彼を憎んでいたのではない。そして、これらの都市の一つに逃げ込んで生きるであろう。荒野の平野の地にあるボソルをルベンに、ギレアデにあるラモテをガドに、バシヤンにあるガウロンをマナセに。

これは、モーセがイスラエルの子らの前に置いた律法である。これらの証言と律法と裁きは、モーセがイスラエルの子らに語ったものであり、彼らがエジプトの地から出た後のことである。ヨルダンの向こう側、谷の中、ポゴル家の近くにある、アモリ人の王シホンの地において。彼はヘシュボンに住んでいたが、モーセとイスラエルの子らが、エジプトの地から出て来た時に、彼を打った。そして彼らは、彼の地と、バシヤンの王オグの地、すなわちヨルダンの向こう側、太陽の昇る東にいた二人のアモリ人の王たちの地を相続した。アロエルから、それはアルノン川の岸边にあり、そしてシホンの山の上に、それはヘルモンである。ヨルダンの向こう側、太陽の昇る東、切り出されたアセドトのもとにある、すべてのアラバ。

5

そしてモーセはすべてのイスラエルを呼び、彼らに言った、イスラエルよ、聞け。私が今日あなたがたの耳に語る定めと裁きを。あなたがたはそれらを学び、それらを行うことを守らなければならない。主、あなたがたの神は、ホレブにおいて、あなたがたと契約を結ばれた。主はあなたがたの父たちとこの契約を結んだのではなく、今日ここに生きているあなたがたすべてと結んだのである。主はあなたたちに顔と顔を合わせて、山で火の中から語られた。そして私はあの時、主とあなたがたの間に立っていた、主の言葉をあなたがたに告げるために、なぜならあなたがたは火の前から恐れて、山に登らなかったから、言って私はあなたの神、主である。エジプトの地から、奴隷の家からあなたを導き出した者である。

あなたには、私の顔の前に他の神々があってはならない。

あなたは自分のために像を作ってはならない。また、上は天にあるもの、下は地にあるもの、地の下の水の中にあるもの、すべてのものの似姿も作ってはならない。あなたはそれらを崇拜してはならない。またそれらに仕えてはならない。なぜなら、私はあなたの神、主であり、嫉妬深い神であって、父たちの罪を、私を憎む者の三代目と四代目の子らに報いるからである。そして私を愛し、私の戒めを守る者たちには、千代にまで憐れみを施す。あなたは、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主、あなたの神は、その名をみだりに唱える者を罰せずにはおかないからである。

あなたの神、主があなたに命じられた方法で、安息日を守り、それを聖別せよ。六日間働き、あなたのすべての仕事をしなさい。しかし第七の日は、あなたの神、主の安息日である。この日にあなたは、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、あな

たの息子も、あなたの娘も、あなたの僕も、あなたの女僕も、あなたの牛も、あなたの荷役獣も、あなたのすべての家畜も、あなたのところに寄留している寄留者も同様である。これは、あなたの僕と、あなたの女僕と、あなたの荷役獣が、あなたと同じように休むためである。そしてあなたは思い出すであろう、あなたがエジプトの地でもべであったことを、そして主、あなたの神が、力強い手と高く上げられた腕をもって、そこからあなたを導き出したことを。このゆえに、主、あなたの神は、サバトの日を守り、それを聖別するようにと、あなたに命じたのである。あなたの父と母を敬いなさい。あなたの神である主があなたに命じられた通りに。そうすればあなたは幸いを得、あなたの神である主があなたに与える地の上で長く生きることができる。あなたは殺してはならない。あなたは姦淫を犯してはならない。あなたは盗んではならない。改訳: あなたの隣人に対して偽りの証言をしてはならない。あなたの隣人の妻を欲してはならない。あなたの隣人の家を欲してはならない。彼の畑も、彼の子供も、彼の女中も、彼の牛も、彼の荷役獣も、彼のすべての家畜も、あなたの隣人に属するすべてのものも欲してはならない。

これらの言葉を主はあなたがたのすべての会衆に向かって、山において火の真ん中から、暗闇、暗黒、嵐の中、大きな声で話され、何も加えることなく、それらを二つの石の板の上に書き、私に与えられた。そしてあなたがたが火の真ん中からその声を聞いたとき、山が火で燃えていたので、あなたがたの部族のすべての指導者たちとあなたがたの長老会議が私に近づいてきた。そしてあなたがたは言っていた、見よ、主である私たちの神が彼の栄光を私たちに示された。そして私たちは火の真ん中から彼の声を聞いた。この日に私たちは、神が人に語りかけ、そして人が生きるということを見た。そして今、私たちが死なないように。なぜなら、もし私たちがさらに私たちの神、主の声を聞き続けるならば、この大いなる火が私たちを焼き尽くし、私たちは死ぬであろうから。誰が肉であって、火の真ん中から話している生ける神の

声を、私たちのように聞いて、生きるだろうか。あなたは近づいて、主である私たちの神が言われることをすべて聞きなさい。そして、主である私たちの神があなたに話されることをすべて私たちに語りなさい。そうすれば、私たちは聞いて、それを行います。

そして主はあなたたちが私に話している言葉の声を聞いた、そして主は私に言った、私はこの民があなたに話した言葉の声を聞いた、彼らが話したすべてのことは正しい。誰が彼らの心を彼らの中にこのようにあらせるだろうか、彼らが私を恐れ、私のすべての戒めをすべての日々守り、彼らと彼らの息子たちが永遠に幸福であるために。行け、と私は彼らに言った、あなたたちは自分たちの家へ引き返せ。しかしあなたは、ここでわたしと共に立ちなさい。そしてわたしはあなたに戒めと掟と裁きを語るであろう。あなたがそれらを彼らに教え、彼らがわたしが相続地として彼らに与える地において、そのように行うために。そして、あなたがたの神、主があなたに命じた方法を守って行わなければならない。あなたがたは右にも左にも曲がってはならない。あなたの神、主があなたに命じられたすべての道に従ってそれを歩みなさい。それはあなたを休ませ、あなたに幸いをもたらし、あなたがたが継ぐ地の上で長く生きるためである。

6

そしてこれらは、主である私たちの神が命じられた戒めと掟と裁きであり、あなたがたがそこに入ってそれを相続する地において、このように行うことを、あなたがたに教えるためのものである。あなたがたがあなたがたの神である主を畏れ、私が今日あなたに命じる彼のすべての掟と彼の戒めを、あなたとあなたの息子たちとあなたの息子たちの息子たちが、あなたの生涯のすべての日々において守るように、そしてあなたがたが長く生きるように。

そしてイスラエルよ、聞け。そして守って行え。そのようにあなたに良くあるように、そしてあなたたちが非常に増えるように。ちょうど主、あなたの父たちの神が語られたように、あなたに乳と蜜の流れる地を与えることを。そしてこれらは、主がイスラエルの子らに荒野で命じた法令と裁きであり、彼らがエジプトの地から出た時のものである。聞け、イスラエルよ、主は私たちの神、主は唯一である。そしてあなたは、あなたの神である主を、あなたの心の全体から、そしてあなたの魂の全体から、そしてあなたの力の全体から愛するでしょう。そして、これらの言葉、私が今日あなたに命じる多くのものは、あなたの心の中に、そしてあなたの魂の中にあるだろう。そしてあなたはそれらをあなたの息子たちに教え導き、それらについて話すだろう、家に座っている時も、道を行く時も、横たわっている時も、起き上がる時も。そして、あなたはそれらをあなたの手の上にしるしとして結ぶだろう、そして、それはあなたの目の前で揺るがないものとなるだろう。そして、あなたがたはそれらをあなたがたの家々の戸口の上に、そしてあなたがたの門に書くであろう。

そしてあなたの神、主が、あなたの父たちアブラハム、イサク、ヤコブに誓った地へあなたを連れて入るとき、あなたが建てなかった大きくて良い都市たちをあなたに与えることになるだろう。すべての良いもので満ちているが、あなたが満たしたのではない家々、あなたが掘ったのではない掘られた貯水槽、あなたが植えたのではないぶどう園とオリーブ園。そして食べて満たされたとき、あなた自身に注意せよ。忘れてはならない。あなたの神、主の、あなたをエジプトの地から、奴隷の家から連れ出した。あなたの神である主を恐れ、ただ彼にのみ仕え、彼にすぎり、彼の名によって誓わなければならない。

あなたがたの周囲にいる国々の神々から、他の神々の後に行ってはならない。なぜなら、あなたの神、主は、あなたの中におられる熱心な神であり、あなたの神、主が怒りをもってあなたに

対して憤られ、地の面からあなたを滅ぼされることのないように。

あなたは、あなたの神である主を試してはならない。あなたが試練において試したその方法で。あなたの神、主の戒めと証しと掟を、主があなたに命じたすべてを、注意深く守らなければならない。そしてあなたはあなたの神、主の前に喜ばれることと良いことを行うだろう。それはあなたに良くなるためであり、そしてあなたは入り、主があなたたちの父たちに誓った良い地を受け継ぐ。主が語られたように、あなたの敵たち全てをあなたの前から追い出すこと。

そして、明日、あなたの息子があなたに主、私たちの神が私たちに命じた証言と法令と裁きは何ですかと尋ねるときが来るだろう。そして、あなたはあなたの息子に言うだろう、私たちはエジプトの地でファラオのしもべたちであった、そして主は力強い手と高く上げられた腕をもって、私たちをそこから導き出された。そして主は、私たちの前で、エジプトにおいて、ファラオとその家において、大いなる恐るべきしるしと不思議を与えられた。そして私たちをそこから導き出したのは、私たちにこの地を与えるためであり、それは私たちの父たちに与えることを誓ったものである。そして主は私たちに命じられた、これらすべての律法を行うことを、私たちの神である主を恐れることを、私たちにとってすべての日々が良くあるために、今日のように私たちが生きるために。そして、もし私たちが、主である私たちの神が私たちに命じたように、これらすべての戒めを御前で守り行えば、憐れみが私たちにあるだろう。

7

もしあなたの神である主が、あなたをその地へ連れて行き、あなたがそこに入ってそれを相続するとき、そして主があなたの

前から大いなる諸国民、すなわちヒッタイト人、ギルガシ人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人という七つの諸国民、あなたたちより多く、より強い者たちを追い出すならば、そしてあなたの神、主は彼らをあなたの手に引き渡し、あなたは彼らを打ち、破壊をもって彼らを滅ぼすであろう。あなたは彼らと契約を結ばず、あなたがたは彼らを憐れんではない。また、あなたがたは彼らと結婚してはならない。あなたの娘を彼の息子に与えてはならず、そして彼の娘をあなたの息子に娶ってはならない。改訂版: なぜなら、彼はあなたの息子を私から離れさせ、そして彼は他の神々に仕えるだろう、そして主はあなたがたに対して怒りをもって怒り、そしてあなたを速やかに滅ぼすだろう。しかし、あなたがたは彼らにこのように行うであろう。彼らの祭壇を引き倒し、彼らの柱を打ち砕き、彼らの木立を切り倒し、彼らの神々の刻まれた像を火で焼き尽くすであろう。なぜなら、あなたはあなたの神、主にとって聖なる民であり、そしてあなたの神、主は、地の面にあるすべての国々の中から、あなたを選んで彼の特別な民とされたからである。

主があなたがたを選び、主があなたがたを選んだのは、あなたがたがすべての国々よりも多いからではない。というのは、あなたがたはすべての国々よりも少ないからである。しかし、主があなたがたを愛し、あなたがたの父祖に誓った誓いを守られたので、主は力強い御手をもってあなたがたを導き出され、奴隷の家から、エジプトの王ファラオの手からあなたを贖われた。そしてあなたは知るだろう。主、あなたの神、この神は忠実な神であり、彼を愛し、彼の戒めを守る者たちに、契約と憐れみを千の世代まで守られる方であることを。そして憎む者たちに面と向かって報い、彼らを滅ぼす。そして憎む者たちに遅らせることなく、面と向かって彼らに報いる。

そして、あなたは、私が今日あなたに行うよう命じるこれらのすべての戒めと掟と裁きを守るであろう。そして、あなたたちが

これらの掟を聞き、それを守り、それを行うとき、主、あなたの神は、あなたたちの父祖に誓った契約と憐れみをあなたに守られるだろう。そして彼はあなたを愛し、あなたを祝福し、あなたを増やし、あなたの胎の子孫を祝福するだろう。そしてあなたの地の実、あなたの穀物、あなたのぶどう酒、あなたの油、あなたの牛の群れ、あなたの羊の群れを、主があなたの父祖たちに誓ってあなたに与えると約束した地の上で祝福するだろう。あなたはすべての国々の中で祝福されるだろう。あなたがたの中に不妊の者はなく、不妊の者もなく、あなたの家畜の中にもいないだろう。そしてあなたの神である主は、あなたが見た、またあなたが知っているエジプトのすべての悪い病気を、あなたから取り除くだろう。主はそれらをあなたの上に置くことはなく、あなたを憎むすべての者の上にそれらを置くだろう。

そしてあなたは、主なるあなたの神があなたに与えるすべての諸国民の戦利品を食べるであろう。あなたの目は彼らを憐れんではない。そしてあなたは決して彼らの神々に仕えてはならない。なぜなら、これはあなたにとってつまずきの石だからである。

もしあなたが心の中で、この国民は私より多い、どのようにして私は彼らを滅ぼすことができるだろうかと言うならば。あなたは彼らを恐れてはならない。主、あなたの神が、ファラオとすべてのエジプト人に行ったことを、必ず思い出すだろう。あなたの目が見た大いなる試練、あの大いなるしるしと不思議、その力強い御手と高く上げられた御腕をもって、主あなたの神があなたを導き出されたように、主あなたたちの神は、あなたが恐れるすべての国々に対して同じようになさるであろう。そして、あなたの神である主は、あなたから残された者と隠れた者が滅ぼされるまで、彼らの中へスズメバチを送るだろう。あなたは彼らの前で打たれることはない、なぜならあなたの神である主があなたと共におられ、大いなる力強い神だからである。そしてあなたの神、

主は、これらの国々をあなたの前から少しずつ消費するだろう。あなたは彼らを速く滅ぼすことができないだろう。それは地が荒れ果て、野生の獣があなたの上に増えることがないためである。そして主、あなたの神は彼らをあなたの手に引き渡すだろう、そしてあなたは彼らを大いなる破壊で滅ぼすだろう、あなたが彼らを完全に滅ぼすまで。そして彼は彼らの王たちをあなたがたの手に引き渡すだろう、そしてあなたがたは彼らの名をあの場所から滅ぼすだろう。あなたが彼らを完全に滅ぼすまで、誰もあなたの前に立ち向かうことはないだろう。

彼らの神々の彫像を、あなたは火で焼かなければならない。あなたはそれらの銀を欲してはならず、金も欲してはならない。それらからあなた自身のために取ってはならない。それによって躓かないように。なぜならそれはあなたの神、主にとって忌むべきものだからである。そして、あなたは忌まわしいものをあなたの家の中に持ち込んではいならない。そうすれば、あなたはこれと同じように呪われたものとなるだろう。あなたは忌まわしいものとしてそれを忌み嫌い、忌まわしいものとしてそれを忌み嫌うだろう。なぜなら、それは呪われたものだからである。

8

私が今日あなたがたに命じるすべての戒めを、あなたがたは守り行わなければならない。それは、あなたがたが生き、増え広がり、主あなたがたの神があなたがたの父祖たちに誓われた地に入って、これを受け継ぐためである。そしてあなたは思い出すだろう、主であるあなたの神が荒野においてあなたを導いたすべての道を。それは、彼があなたを苦しめ、あなたを試し、あなたの心にあるものを知り、あなたが彼のいましめを守るか否かを知るためであった。そして彼はあなたを苦しめ、そしてあなたを飢えさせ、そしてあなたの父たちが知らなかったそのマナをあなたに食べさせた。それは、人はパンのみによって生きるのではなく、

神の口を通して出て行くすべての言葉によって人は生きるということを、彼があなたに宣言するためであった。あなたの衣服は古くならず、あなたの履物はすり減らず、あなたの足にはたこができなかった。見よ、四十年の間。

そして、あなたは自分の心で知るだろう。なぜなら、ある人が自分の息子を訓練するように、そのように主であるあなたの神があなたを訓練するからである。そして、あなたはあなたの神、主の戒めを守り、その道を歩み、彼を恐れなければならない。

なぜなら、あなたの神である主は、あなたを良い広大な地へと導き入れられるからである。そこには水の急流があり、深淵からの泉が平野を通して、また山を通して湧き出ている。小麦と大麦の土地、ぶどうの木、いちじくの木、ざくろ、オリーブの木と油と蜂蜜の土地、土地、その上であなたは貧困なしにあなたのパンを食べ、そしてそこで何も欠くことがないであろう。土地、その石は鉄であり、そしてその山々から青銅を採掘するであろう。

そしてあなたは食べて満たされ、主があなたに与えたその良い地において、あなたの神である主を祝福するだろう。あなた自身に注意せよ。あなたの神、主を忘れることのないように。私が今日あなたに命じる彼の戒めと裁きと律法を守らないことのないように。食べて満たされ、美しい家々を建ててそこに住むことのないように、そしてあなたの牛とあなたの羊があなたに増やされ、銀と金が増やされ、そしてあなたにあるすべてのものがあなたに増やされたとき、あなたが心高ぶり、エジプトの地から、奴隷の家からあなたを連れ出したあなたの神である主を忘れることのないように、あなたを、あの大きく恐ろしい荒野を通して導いた方の。そこには噛む蛇とさそりがおり、渇きがあり、水がなかった。切り立った岩からあなたに水の泉を導き出した方の。荒野であなたが知らず、あなたの父たちも知らなかったマンナをもってあなたを養った方は、あなたを苦しめ、あなたを試

し、そしてあなたの終わりの日々に幸いをもたらすためであった。あなたの心の中で私の力と私の手の権力が、私にこの大きな力を作ったと言ってはならない。そして、あなたはあなたの神、主を覚えるであろう。なぜなら、彼自身があなたに力を行う力を与えるからである。そして、主があなたの父たちに誓った彼の契約を確立するために、今日のように。

そしてもしあなたがあなたの神、主を完全に忘れて、他の神々に従い、彼らに仕え、彼らを礼拝するならば、私は今日、天と地をあなたがたへの証人として立てる。あなたがたは必ず滅びるであろう。主なる神があなたがたの前で滅ぼされる他の諸国民と同じように、あなたがたも滅びるであろう。それは、あなたがたが主なるあなたがたの神の声を聞かなかったからである。

9

聞け、イスラエルよ、あなたは今日ヨルダンを渡り、入って、あなたがたよりも大きくより強い諸国を相続する、天にまで達する大きく城壁のある都市を。大きくて多くて背の高い民、アナクの息子たちを、あなたは知っており、またあなたは聞いている。誰がアナクの息子たちに立ち向かうことができようか。そしてあなたは今日知るだろう、主であるあなたの神が、あなたの前を先に行き、焼き尽くす火であることを。この方が彼らを滅ぼし、この方が彼らをあなたの前から退け、そして速やかに彼らを滅ぼすだろう、主があなたに言われた通りに。あなたの心の中で言ってはならない。主があなたの神がこれらの国々をあなたの前で滅ぼす時に、私の義のゆえに、主は私を導き入れて、この良い地を受け継がせたと。あなたの正義によってでもなく、またあなたの心の聖性によってでもなく、あなたは彼らの地を相続するために入るのである。しかし、これらの諸国民の不敬虔のゆえに、主はあなたの前から彼らを滅ぼされる。そして、主が私たちの父

祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われた契約を立てるためである。

そしてあなたは今日知るだろう、あなたの正しい行いによってではなく、あなたの神である主があなたにこの良い地を相続させるために与えるのだということを。なぜならあなたは頑なな民であるからだ。思い出せ、忘れるな。あなたがたがどれほど主であるあなたがたの神を荒野において怒らせたかを。エジプトから出た日から、この場所に来るまで、あなたがたは主に対して不従順であり続けた。

そしてホレブにおいて、あなたがたは主を怒らせた。そして主はあなたがたに対して怒り、あなたがたを滅ぼそうとされた。私が山に登り、石の板、主があなたたちと結んだ契約の板を受け取るために行った時、私は四十日四十夜、山に留まり、パンを食べず、水も飲まなかった。そして主は私に、神の指で書かれた二つの石の板を与えた。そしてそれらの上には、集会の日に山で主があなたがたに話したすべての言葉が書かれていた。そして四十日と四十夜を通して、主は私に二つの石の板、契約の板を与えた。そして主は私に言われた、起きよ、ここから速やかに下れ、なぜならあなたの民、あなたがエジプトの地から導き出した者たちは、不法に行動したからである。彼らは私が彼らに命じた道から速やかに逸脱し、そして彼ら自身のために铸像を作った。

そして主は私に言われた、私はあなたに一度ならず二度までも語った、私はこの民を見た。見よ、この民はうなじのこわい者であるとそして今、私が彼らを滅ぼすことを許せ、そして私は天の下から彼らの名前を消し去るだろう、そしてあなたを大きく強い国にするだろう、これよりもはるかに多く。そして振り返って、私は山から下った。その山は火で天まで燃えていた。そして証言の二つの板が私の両手の上にあった。そして、あなたたちがあなたたちの神である主の前に罪を犯し、あなたたち自身のため

に鑄造像を作り、主があなたたちに行うよう命じた道から外れたことを見て、そして二つの石板を取って、私はそれらを両手から投げ、あなたがたの前でそれらを砕いた。そして私は主の前で二度目に祈った。前と同じように四十日と四十夜、パンを食べず、水を飲まなかった。あなたがたが犯したすべての罪について、主なる神の前で悪を行い、彼を怒らせたことについてである。そして私は、主があなたがたを滅ぼすためにあなたがたに対して激怒されたその怒りと憤りのために恐れている。そして主は私の言葉を聞いた、この時において。そして、アロンに対して怒り、彼を滅ぼそうとした。そして私はその時、アロンのためにも祈った。そして、あなたがたが作った罪である子牛を、私は取り、それを火で焼き、それを粉々に砕いて非常に細かくし、それが塵のようになるまでにし、その塵を山から下る急流の中へ投げ入れた。

そして燃焼において、試練において、欲望の墓において、あなたがたは主を挑発した。そして主があなたがたをカデシュ・バルネアから送り出したとき、上って行き、わたしがあなたがたに与える地を取得せよと言われたが、あなたがたはあなたがたの神である主の言葉に不従順であり、彼を信じず、彼の声に聞き従わなかった。あなたがたは、あなたがたに知られた日から、主に対して不従順であった。そして私は主の前で四十日と四十夜祈った。私が祈ったその間ずっと、主があなたたちを滅ぼすと言われたからである。そして私は神に祈って言った、主よ、神々の王よ、あなたの民とあなたの分け前を完全に滅ぼさないでください。それはあなたが贖われたもの、あなたがエジプトの地から導き出された者たちです。あなたの大きな力と、あなたの強力な手と、あなたの高き腕によって。アブラハム、イサク、ヤコブ、あなたのしもべたちを思い出してください。あなたは彼らに、あなた自身にかけて誓いました。この民の頑なさ、その不敬虔な行い、そして彼らの罪に目を留めないでください。あなたが私たちをそこから導き出した地に住んでいる者たちが、主は彼らに約束した地に彼らを連れて入れることができなかったから、そして彼

らを憎んだから、荒野で彼らを殺すために導き出したのだと言わないようにしてください。そしてこれらはあなたの民、あなたの相続地であり、あなたが大いなる力と強い手と高き腕をもってエジプトの地から導き出した者たちです。

10

あの時、主は私に言われた、最初のもののように、あなた自身のために二つの石板を刻みなさい、そして山へ私のもとに登りなさい、そしてあなた自身のために木の箱を作りなさい。そして、あなたは、あなたが砕いた最初の板にあった言葉を、その板の上に書き、それらを箱の中に入れるであろう。そして私は朽ちない木から箱を作り、最初のもののように石の板を切り出し、山へ登った。二つの板は私の手の上にあった。そして彼は、その最初の書き方に従って、その板の上に十の言葉を書いた。それらは主があなたたちに山で火の真ん中から語られたものである。そして主はそれらを私に与えられた。そして振り返って私は山から下り、私はその板を私が作った箱の中に入れた。それらはそこにあった、主が私に命じたとおり。そしてイスラエルの息子たちはヤカンの息子たちのベエロテ・モセラから出発した。そこでアロンは死に、そこで彼は葬られた。そして彼の息子エレアザルが彼の代わりに祭司として仕えた。そこから彼らはガドガドへ出発し、そしてガドガドからエテバタへ、水の急流の地へ。

あの時に、主はレビ部族を選び分けた。主の契約の箱を運び、主の前に立ち、仕え、そして御名によって祈るために、この日まで。このゆえに、レビ人たちには彼らの兄弟たちの中に部分もくじもない。主ご自身が彼のくじである、彼に言われたように。そして私はその山に四十日と四十夜立っていた。そして主は私の声を聞き、この時にも、主はあなたたちを滅ぼすことを望まなかった。そして主は私に言われた、行け、この民の前に出発

せよ、そして彼らを入らせ、彼らの父たちに与えると私が誓ったその地を彼らに所有させよ。

そして今、イスラエルよ、あなたの神である主があなたに求めておられることは何か。ただ、あなたの神である主を恐れ、そのすべての道を歩み、彼を愛し、心を尽くし、魂を尽くして、あなたの神である主に仕えることである。あなたの神、主の戒めと、私が今日あなたに命じるそのすべての掟を守りなさい。それはあなたが幸いであるためである。見よ、あなたの神、主の天、そして天の天、地、そしてその中にあるすべてのものを。ただ、主はあなたがたの父たちを愛することを選び、彼らの後の子孫であるあなたがたを、すべての国々の中から選ばれた、この日のとおりに。そして、あなたがたは自分たちのかたくなな心に割礼を施し、自分たちのうなじを堅くしてはならない。なぜなら、あなたがたの主なる神、この方は神々の神、主たちの主、偉大で強く恐るべき神であり、人を偏り見ることなく、また決して賄賂を受け取ることはない方だからである。寄留者と孤児と寡婦に正義を行い、寄留者を愛して彼にパンと衣服を与える。そして、あなたがたは寄留者を愛さなければならない。なぜなら、あなたがたはエジプトの地で寄留者であったからである。

あなたの神である主を恐れ、彼に仕え、彼に固く結びつき、彼の名において誓うであろう。この方があなたの誇りであり、この方があなたの神である。あなたの目が見たこれらの偉大で栄光あることを、あなたにおいて行われた方が。七十の魂において、あなたの父たちはエジプトへ下った。しかし今、主なるあなたの神は、あなたを天の星のように多数にした。

11

そしてあなたはあなたの神、主を愛し、彼の守るべきものと、彼の定めと、彼の戒めと、彼の裁きをすべての日々守るであ

ろう。そしてあなたがたは今日知るであろう。なぜなら、あなたがたの子供たち、知らず、また見なかった者たちは、あなたの神である主の教育と、その偉大なこととその強い手とその高い腕を知らないからである。そして彼のしるしと彼の不思議、彼がエジプトにおいてファラオ、エジプトの王と彼のすべての地に対して行った数々のこと、そして、エジプト人たちの軍勢と、彼らの戦車と、彼らの馬と、彼らの軍勢に対して、彼が何を行ったか、すなわち、彼らがあなたがたの後ろから追跡していた時、紅海の水が彼らの顔の上を覆い、そして主が今日まで彼らを滅ぼしたことを。そして、あなたがたがこの場所に来るまで、荒野で彼が私たちになさった多くのことを。そして、ルベンの子エリアブの息子たち、ダタンとアビロンに彼が行った多くのことを。大地がその口を開いて彼らを飲み込み、彼らの家々を、彼らの天幕を、そして彼らとともにあった彼らのすべての財産を、すべてのイスラエルの中で飲み込んだ。なぜなら、あなたたちの目は、主の全ての大きいなる働きを見たからである、今日あなたたちの間で彼が行った全てのことを。

そしてあなたがたは、私が今日あなたに命じる彼のすべての戒めを守らなければならない。それは、あなたがたが生き、増え広がり、そして入って行って、あなたがたがヨルダンを渡ってそこで相続するその地を相続するためである。そのために、あなたがたが長く生きるように、主があなたがたの父たちに、彼らとその子孫に与えると誓った地の上に。乳と蜜が流れている地を。なぜなら、あなたがそこに入って受け継ぐその土地は、あなたたちがそこから出て来たエジプトの土地のようではないからである。エジプトでは、種を蒔くとき、野菜の庭のように足で水をやるのである。しかし、あなたがそこに入って相続するその土地は、山地と平地の土地であり、天の雨から水を飲むだろう。土地は、あなたの神である主が絶えず見守っておられるものであり、あなたの神である主の目は、年の初めから年の終わりまで、その上に注がれている。

もしあなたが、私が今日あなたに命じるすべての戒めを、よく聞いて、あなたの神である主を愛し、あなたの心の全てと、あなたの魂の全てをもって彼に仕えるならば、そして、あなたの地に季節に応じて早い雨と遅い雨を与え、あなたは穀物とぶどう酒と油を取り入れるだろう。そして、あなたの畑であなたの家畜に飼料を与えるだろう。そして食べて満たされて、自分自身に注意を払え、あなたの心が肥え太らないように、そしてあなたたちが道を外れて、他の神々に仕え、彼らを拝むことのないように。主があなあなたがたに対して怒りをもって怒られ、天を閉ざされるだろう。そして雨は降らないだろう。そして地はその実を与えないだろう。そしてあなあなたがたは、主があなあなたがたに与えられた良い地から速やかに滅びるだろう。

そして、あなあなたがたはこれらの言葉をあなあなたがたの心の中へ、そしてあなあなたがたの魂の中へ投げ入れるだろう。そして、あなあなたがたはそれらをあなあなたがたの手の上にするしとして縛るだろう。そして、それは揺るがないものとしてあなあなたがたの目の前にあるだろう。そして、あなあなたがたはそれらをあなあなたがたの子供たちに教え、それらについて語らせなさい。あなあなたが家に座している時、あなあなたが道を行く時、あなあなたが眠る時、そしてあなあなたが起き上がる時に。そして、あなあなたがたはそれらをあなあなたがたの家々の戸口の上に、そしてあなあなたがたの門に書くであろう。あなあなたがたが長く生きるため、そしてあなあなたがたの息子たちの日々が、主があなあなたがたの父たちに与えると誓ったその地の上にあるため、天の日々が地の上にあるように。そしてもしあなあなたがたが、私が今日あなたに命じるこれらすべての戒めを聞いて行い、私たちの神である主を愛し、そのすべての道において歩み、そして彼にしがみつくなれば、そうなるであろう。そして主はこれらすべての諸国民をあなあなたがたの前から追い出すだろう、そしてあなあなたがたは、あなあなたがたよりも大きくて強い諸国民を相続するだろう。あなあなたがたの足の跡が踏むすべての場所は、あなあなたがたのものとなるだろう。荒野とアンティリバノスから、そしてメラス川、ユー

フラテス川から、そして西の海に至るまで、あなたの境界となるだろう。あなたがたの前に立ち向かう者は誰もいないだろう。主、あなたがたの神は、あなたがたへの恐れとあなたがたへの震えを、あなたがたが足を踏み入れるすべての地の面に置かれるだろう。それは、あなたがたに語られた通りである。

見よ、私は今日、あなたがたの前に祝福と呪いを与える。祝福を受ける、もしあなたがたが、あなたがたの神、主の戒めを聞き従うならば、私が今日あなたがたに命じるすべてのことを。そして呪いは、もしあなたがたがあなたがたの神、主の戒めを聞かず、私が今日あなたがたに命じることに従わず、私があなたがたに命じた道から迷い出て、あなたがたが知らない他の神々に仕えるために行くならば。あなたの神、主があなたをその地へ連れて入る時、あなたがそこへ渡ってそれを相続する時、あなたは祝福をゲリジム山に与え、呪いをガイバル山に与えるだろう。これらはヨルダンの向こう側、日没の道の西方、カナンの地において、西に住み、ゴルゴルに隣接し、高い檜の木近くにあるではないか。あなたたちは、ヨルダン川を渡り、入って行き、その地を相続する。それは主、私たちの神が、くじによって、すべての日々、あなたたちに与える地である。そして、あなたたちはその地に住むであろう。

そしてあなたがたは、私が今日あなたがたの前に与える彼のすべての戒めとこれらの裁きを行うことを守らなければならない。

12

そして、これらの命令とその裁きは、あなたがたの父たちの神である主があなたがたに相続地として与える地において、あなたがたが地の上に生きるすべての日々、行うために守るべきものである。破壊によって、あなたがたは、あなたがたが相続するす

べての場所を破壊するであろう。そこで彼らは彼らの神々に仕えた—高い山々の上に、丘の上に、そして茂った木の下に。そしてあなたがたは彼らの祭壇を破壊し、彼らの柱を砕き、彼らの木立を切り倒し、彼らの神々の彫像を火で焼き、あの場所から彼らの名を滅ぼすであろう。あなたがたは、あなたがたの神、主に対して、このように行ってはならない。しかし、主あなたの神があなたたちの町の一つで御名をそこに置き、呼ばれるために選ばれる場所を、あなたたちは尋ね求め、そこへ行かなければならない。そしてあなたがたはそこに、あなたがたの全焼のいけにえ、あなたがたのいけにえ、あなたがたの初穂、あなたがたの祈り、あなたがたの自発的な供え物、あなたがたの合意、あなたがたの牛の初子、そしてあなたがたの羊の初子を運ぶであろう。そしてあなたがたはそこであなたがたの神、主の前で食べ、あなたがたとあなたがたの家族が手をかけるすべてのことについて喜ぶであろう、あなたの神、主があなたを祝福したように。

あなたがたは、我々が今日ここで行っているすべてのこと、すなわち各々が自分の目に適うことを、行ってはならない。あなたがたは今まで、私たちの主なる神があなたがたに与える休息と相続へ来ていないからである。そしてあなたがたはヨルダンを渡り、主である私たちの神があなたがたに相続として与える地に住むだろう。そして彼はあなたがたを周りのすべての敵から解放し、あなたがたは安全に住むだろう。そして、主あなたの神が御名をそこに置くために選ばれる場所、そこにあなたたちは、私が今日あなたたちに命じるすべてのもの、すなわち、あなたたちの全焼のいけにえ、あなたたちのいけにえ、あなたたちの十分の一、あなたたちの手の初穂、そして、あなたたちが主あなたたちの神に誓願するあなたたちの贈り物のすべての選ばれたものを運ぶであろう。そしてあなたがたは、あなたがたの神である主の前で喜ぶであろう。あなたがた、あなたがたの息子たち、あなたがたの娘たち、あなたがたのしもべたち、あなたがたの女のしもべたち、そしてあなたがたの町の門にいるレビ人が。なぜなら、彼

にはあなたがたと共に相続の地も割り当ても無いからである。あなた自身に注意せよ、あなたが見るすべての場所で、あなたの全焼の捧げ物を捧げてはならない。しかし、主あなたの神があなたの部族の一つの中から選ばれる場所に、そこにあなたがたの全焼の捧げ物を携え上り、そして私が今日あなたに命じるすべてのことをそこで行わなければならない。しかし、あなたはすべての欲望において犠牲を捧げ、主なるあなたの神があなたに与えた祝福に従って、すべての町で肉を食べることができる。汚れた者も清い者も共にそれを食べることができる、ガゼルや鹿のように。ただし、その血は食べてはならない。それを地の上に水のように注ぎ出しなさい。

あなたは、自分の町で、穀物の十分の一、ぶどう酒、油、牛の初子、羊、誓願として立てるすべての祈り、奉納物、また手の初穂を食べることはできない。しかし、あなたの神、主の前で、主があなたの神が選ばれる場所で、それを食べなければならない。あなたと、あなたの息子と、あなたの娘と、あなたのしもべと、あなたの女中と、あなたがたの町々にいる寄留者と共に。そして、あなたの手を置くすべてのことについて、あなたの神、主の前で喜ぶであろう。

あなた自身のために注意せよ。あなたがその地の上に生きるすべての時の間、そのレビ人を見捨ててはならない。

もしあなたの神、主があなたの境界を広げられるならば、ちょうど彼があなたに語られたように、そしてあなたが私は肉を食べようと言うならば、もしあなたの魂が肉を食べることを欲するならば、あなたの魂のすべての欲望において肉を食べなさい。もしあなたの場所が、主なるあなたの神がそこに御名を置くために選ばれる場所から遠く離れているならば、神があなたに与えられるあなたの牛と羊から、私があなたに命じた方法で犠牲を捧げ、あなたの町々であなたの魂の欲望に従って食べなさい。ガゼルや

鹿が食べられるように、このようにそれを食べるであろう。あなたにおいて汚れた者も清い者も同様に食べるであろう。血を食べないことを強く注意せよ。なぜなら血はその魂であり、魂は肉と共に食べられてはならないからである。あなたがたはそれを食べてはならない。それを水のように地の上に注ぎなさい。あなたはそれを食べてはならない。それは、あなたがあなたの神である主の前に良いことと喜ばしいことを行うならば、あなたとあなたの後の子孫に幸いとなるためである。ただし、あなたの聖なるものももしあなたに生じるならば、あなたの祈りを携えて、その場所へ来なければならない。その場所とは、主なるあなたの神が、そこに御名が呼ばれるために選ばれる場所である。そしてあなたはあなたの焼き尽くす捧げ物を行い、その肉をあなたの神である主の祭壇の上に捧げるだろう。しかしあなたのいけにえの血は、あなたの神である主の祭壇の土台に注ぐだろう。しかし肉は食べるだろう。守り、聞き、そして私があなたに命じるすべての言葉を行いなさい。それによって、もしあなたがあなたの神である主の前に喜ばしいことと良いことを行うならば、あなたとあなたの息子たちに永遠に良いことが成るだろう。

もしあなたの神、主が、あなたがそこに入って彼らの地を相続するところの諸国民を、あなたの前から滅ぼし、そしてあなたがそれを取得し、そして彼らの地に住むならば、あなた自身に注意を払え。彼らがあなたの前から完全に滅ぼされた後に、彼らに従うことを熱心に尋ねてはならない。これらの国々は彼らの神々にどのように行うのか。私も あなたはあなたの神にこのようにしてはならない。なぜなら、主が憎まれた憎悪すべきことを、彼らは自分たちの神々に対して行ったからである。彼らは自分たちの息子や娘を火で焼いて、自分たちの神々に捧げるのである。

すべて私が今日あなたがたに命じる言葉、これをあなたは守り行うべし、それに加えてはならない、またそれから取り去ってはならない。

もしもあなたの中に預言者または夢を見る者が現れて、あなたにしるしまたは不思議を与えるならば、そしてその印またはその不思議が実現し、それがあなたに語って言った行こう、そしてあなたたちが知らない他の神々に仕えようと、あなたがたはあの預言者の言葉、またはあの夢を見る者の言葉を聞いてはならない。なぜなら、主であるあなたがたの神が、あなたがたが心を尽くし、たましいを尽くして、あなたがたの神を愛しているかどうかを知るために、あなたがたを試みておられるからである。あなたがたの神、主に従って歩み、この方を恐れ、その声に聞き従い、その方に固く従いなさい。そしてあの預言者、またはあの夢を見る者は死ななければならない。なぜなら彼は、あなたをエジプトの地から連れ出し、奴隷状態から贖ったあなたの神、主から、あなたを欺くように語り、あなたの神、主があなたに歩むよう命じたその道からあなたを追い出そうとしたからである。そしてあなたがたは、あなたがたの中から悪を滅ぼさなければならない。

もしあなたの父方の兄弟、またはあなたの母方の兄弟、またはあなたの息子、またはあなたの娘、またはあなたの胸にいる妻、またはあなたの魂と等しい友が、密かにあなたを誘って、行って、あなたもあなたの父祖たちも知らなかった他の神々に仕えようと言うならば、あなたがたの周りにいる諸国民の神々から、あなたに近づいている者たちの、またはあなたから遠く離れた者たちの、地の果てから地の果てまでの神々から、あなたは彼に同意してはならない。彼の声聞いてはならない。あなたの目は彼を惜しんではならない。彼を望んではならない。また、彼を庇ってはならない。宣言しながら、あなたは彼について宣言しなければならない。そして、あなたの手が最初に彼の上にあって彼を殺

し、すべての民の手が最後に彼の上にあるであろう。そして彼らは石で彼を石打ちにし、彼は死ぬだろう。なぜなら彼はあなたを主なるあなたの神から離れさせようと求めたからである。その神はあなたをエジプトの地から、奴隷の家から連れ出した方である。そしてイスラエルのすべての者がそれを聞いて恐れ、もはやこの悪しき事をあなたがたの中で行うことはないだろう。

もしあなたが、主なるあなたの神があなたに与えて、そこに住まわせる都市の一つで、言っている者たちのことを聞くならば、無法な男たちがあなたがたの中から出て行き、彼らの地に住んでいるすべての者を離れさせ、あなたがたが知らなかった他の神々に行って仕えようと言った。そして緊張と質問があり、汝は非常に探求するであろう、そして見よ、その言葉は明らかに真実であり、このおぞましきことが汝らの中で起こった。あなたはあの地に住んでいるすべての者たちを剣によって完全に滅ぼすであろう。あなたがたはそれとその中のすべてのものを呪いとして奉納するであろう。そしてあなたはその全ての戦利品をその通りに集め、その都市を火で焼き、その全ての戦利品を全ての民と共にあなたの神である主の前で焼くだろう。そしてそれは永遠に無人となり、もはや再建されることはないだろう。そしてあなたの手には奉納物から何も結びつけられないだろう。主がその激しい怒りから離れ、あなたに憐れみを与え、あなたを憐れみ、あなたを増やすためである。それはあなたの父たちに誓われた通りである。もしあなたがあなたの神、主の声を聞き、私が今日あなたに命じる彼の命令を守り、あなたの神、主の前で良いことと喜ばしいことを行うならば。

14

あなたがたは、あなたがたの神、主の息子たちである。死者のために、あなたがたの目の間に禿げを作ってはならない。なぜなら、あなたはあなたの神である主にとって聖なる民であり、あ

なたの神である主は、地上のすべての国々の中からあなたを選んで、ご自分の特別な民とされたからである。あなたがたはすべての忌むべきものを食べてはならない。これらは、あなたがたが食べてよい家畜である。牛からは子牛、羊からは子羊、そして山羊からは子山羊。鹿、ガゼル、ピュガルグ、オリックス、そして、キリン。ひづめが分かれており、二つに裂けた爪を持ち、家畜の中で反芻するものはすべて、これらを食べてよい。そして、これらはあなたがたが食べてはならないものである。反芻するものから、ひづめを分けるものから、爪を持つものから、すなわちラクダ、毛深い足のもの、岩ダヌキである。なぜなら、彼らは反芻するが、ひづめを分けないからである。これらはあなたがたにとって汚れたものである。そして豚については、これはひづめを分け、ひづめの爪を裂くが、これは反芻しないので、これはあなたがたにとって汚れている。それらの肉からあなたがたは食べてはならず、それらの死体に触れてはならない。

そしてこれらをあなたがたは食べるであろう。水の中にあるすべてのものから、それらの中にひれとうろこがあるすべてのものを、あなたがたは食べるであろう。そして鰭と鱗が無い全てのものを、汝らは食べてはならない、それらは汝らにとって汚れたものである。すべての清い鳥を、あなたがたは食べてよい。そして、これらをあなたがたは食べてはならない。鷲と、グリフィンと、ミサゴである。そしてハゲワシ、トビ、およびそれに類するものを、そして、スズメ、フクロウ、カモメ、そして鷺、白鳥、朱鷺を、そして鶉と鷹と、それに類するもの、ヤツガシラと夜鶇、そしてペリカン、そしてチドリ、そしてそれに類似したもの、そしてムラサキバン、そしてコウモリ。すべての鳥の這うものは、あなたがたにとって汚れたものである。あなたがたはそれらを食べてはならない。すべての清い鳥を、あなたがたは食べてよい。すべての死骸を食べてはならない。あなたの町々にいる寄留者に与えられ、彼は食べるだろう。または、あなたは外国人に

売るだろう。なぜなら、あなたはあなたの神、主の聖なる民だからである。あなたは子羊をその母の乳で煮てはならない。

あなたは、あなたの種のすべての産物、あなたの畑の産物の十分の一を、毎年十分の一税として納めなければならない。そしてあなたはそれを、主あなたの神が御名をそこに置くために選ばれる場所で食べるであろう。あなたの穀物、葡萄酒、油の十分の一と、あなたの牛と羊の初子をそこに運ぶであろう。それは、あなたが生涯にわたって主あなたの神を恐れることを学ぶためである。もしあなたからその道が遠くなり、あなたがそれらを捧げることができないならば――なぜなら、あなたの神である主が御名をそこに置くために選ばれるその場所があなたから遠いからである――、あなたの神である主があなたを祝福されるので、そしてあなたはそれらを銀で売り、その銀をあなたの手に取り、そしてあなたの神、主が選ぶその場所へ行くだろう。そしてあなたは、あなたの魂が欲するすべてのもの――牛や羊、ぶどう酒や強い飲み物、あるいはあなたの魂が欲するすべてのもの――に銀を与え、そこであなたの神、主の前で食べ、あなたとあなたの家は喜ぶであろう。そして、あなたの町々にいるレビ人を忘れてはならない。なぜなら、彼にはあなたと共に分け前も相続地もないからである。

三年の後、あなたはあなたの産物のすべての十分の一を運び出し、その年にそれをあなたの町々に置くであろう。そしてレビ人は来るだろう、なぜなら彼にはあなたと共に割り当ても相続地も無いからである、そして寄留者と孤児と寡婦があなたの町々の中にいる、そして彼らは食べて満たされるだろう、そのためにあなたの神である主があなたの行うすべての業においてあなたを祝福するだろう。

七年ごとにあなたは解放を行わなければならない。そしてこのように解放の命令として、あなたの隣人があなたに負っているすべての負債を免除し、あなたの兄弟に返済を要求してはならない。なぜなら、あなたの神である主に対する解放が宣言されているからである。外国人には、彼があなたに負っているものがどれだけあっても要求してよい。しかし、あなたの兄弟には、負債の免除を行わなければならない。なぜならあなたのうちに欠けている者はいないであろう、なぜなら主、あなたの神が、主、あなたの神があなたに相続地として与える地において、あなたを祝福し祝福するのであるから、あなたがそれを相続するために。

もしあなたがたが、あなたがたの神、主の声をよく聞き、私が今日あなたに命じるこれらすべての戒めを守り行うならば、なぜなら、主であるあなたの神が、あなたに語った通りの方法で、あなたを祝福したからである。そして、あなたは多くの国々に貸すだろうが、あなたは借りることはないだろう。そして、あなたは多くの国々を支配するだろうが、彼らはあなたを支配することはないだろう。

もしあなたの神である主があなたに与える地において、あなたの町の一つに、あなたの兄弟たちの中から欠けている者が生じたならば、あなたはその心を硬くしてはならず、また必要としているあなたの兄弟に対して手を閉じてはならない。あなたは必ず彼にあなたの手を開き、そして彼が欠乏しているだけ、彼が必要とするだけ、彼に貸し付けるであろう。あなた自身に注意せよ。あなたの心の中に隠れた不法な言葉が生じないように。すなわち七年目、解放の年が近づいていると言って、あなたの目があなたの困窮している兄弟に対して悪くなり、あなたが彼に与えず、彼があなたについて主に向かって叫び、あなたに大きな罪が生じることのないように。あなたは彼に惜しみなく与え、彼が必要としているだけ貸すだろう。そしてあなたが彼に与える時、あなたの心は悲しまないだろう。なぜならこの言葉のゆえに、主なるあな

たの神は、すべての働きにおいて、またあなたが手をかけるすべてのことにおいて、あなたを祝福するだろうから。あなたの地から貧しい者が絶えることはないので、それゆえ私はあなたにこの言葉を行うよう命じる。すなわち、あなたはあなたの地にいるあなたの兄弟、貧しい者、そして困窮している者に、あなたの手を大きく開かなければならない。

もしあなたの兄弟であるヘブライ人、またはヘブライ人女性があなたに売られたならば、六年間あなたに仕え、七年目にあなたは彼を自由にしてあなたのもとから送り出さなければならぬ。しかしあなたが彼をあなたのもとから自由にして送り去るときは、彼を空手で送り去ってはならない。あなたの羊から、あなたの穀物から、あなたの葡萄酒から、彼に供給を与えなさい。あなたの神、主があなたを祝福されたように、あなたは彼に与えなさい。

そしてあなたは思い出すだろう、あなたがエジプトの地で家僕であったことを、そして主、あなたの神が、そこからあなたを贖ったことを。このゆえに、私はあなたに、この言葉を行うことを命じる。もしも彼があなたに向かって私はあなたのもとから出て行かないと言うならば、それは彼があなたとあなたの家を愛したからであり、彼にとってあなたのもとにいたことが良いからである。そしてあなたはその錐を取り、彼の耳をその戸に向かって穿ち、そして彼はあなたに永遠に僕となるだろう、そしてあなたの女奴隷にも同様にするだろう。あなたの前で彼らを自由にしてあなたのもとから送り出すことは、厳しくないであろう。なぜなら彼は雇われた者の年ごとの賃金で六年間あなたに仕えたからである。そして主、あなたの神は、あなたが行うすべてのことにおいてあなたを祝福するであろう。

あなたの牛とあなたの羊に生まれるすべての初子の雄を、あなたの神である主に聖別しなさい。あなたの初子の子牛で働いて

はならず、あなたの羊の初子を剪ってはならない。主の前で、年ごとに、あなたの神である主が選ぶ場所で、あなたとあなたの家族はそれを食べるであろう。もしそれに傷があれば、足萎えまたは盲目、悪い傷があれば、あなたはそれをあなたの神、主に犠牲として捧げてはならない。

あなたの町々でそれを食べなさい。汚れた者もあなたのところにいる清い者も、同様にガゼルや鹿のように食べるであろう。ただし、血は食べてはならない。それを水のように地の上に注ぎなさい。

16

新月の月を守り、あなたの神である主に過越祭を行いなさい。なぜなら、新月の月に、あなたは夜にエジプトから出たからである。そしてあなたは、主であるあなたの神に過越の羊と牛を犠牲として捧げるだろう。主であるあなたの神が御名をそこに置くために選ばれる場所において。あなたはそれの上にパン種を食べてはならない。七日間、あなたはそれの上に種なしパンを、苦しみのパンを食べなければならない。なぜなら、あなたがたは急いでエジプトから出たからである。それは、あなたがたがエジプトの地から出発した日を、あなたがたの生涯のすべての日々において思い出すためである。あなたには七日間、あなたのすべての境界内でパン種が見られないであろう。そして、最初の日の夕方にあなたが犠牲にする肉から、朝まで残るものはないであろう。あなたは過越の犠牲を捧げることができない、あなたの神、主があなたに与える都市のいずれにおいても。しかし、主あなたの神が御名をそこに置くために選ばれる場所で、あなたがエジプトから出て行った時刻である日没に向かって、夕方に過越の犠牲を捧げなければならない。そしてあなたは煮て、焼いて、主なるあなたの神が選ばれる場所で食べなさい。そして朝になったら引き返して、あなたの家に帰りなさい。六日間、あなたは種なしパンを

食べる。そして七日目は、あなたの神である主への閉会の祭りである。あなたはその日にいかなる仕事もしてはならない。ただし、魂のためになされることを除く。

七週間をあなた自身のために数えなさい。あなたが収穫に鎌をかけ始めたとき、七週間を数え始めなさい。そして、あなたは主なるあなたの神に週の祭りをを行うだろう、あなたの手が強いように、主なるあなたの神が与えるだけ多く。

そしてあなたは、あなたの神、主の前で喜ぶであろう。あなたと、あなたの息子と、あなたの娘と、あなたの僕と、あなたの女僕と、レビ人と、寄留者と、孤児と、あなたがたの中にいる寡婦が、あなたの神、主が御名をそこに置くために選ばれる場所で。

そして、あなたはエジプトの地で僕であったことを思い出すだろう、そして、あなたはこれらの戒めを守り、行うだろう。あなたは、あなたの脱穀場とあなたの酒ぶねから収穫を集める時に、七日間、自分のために仮庵の祭りを行わなければならない。そしてあなたはあなたの祭りにおいて喜ぶであろう、あなたとあなたの息子、そしてあなたの娘、あなたの僕、そしてあなたの女僕、そしてレビ人、そして寄留者、そして孤児、そしてあなたの町々にいる寡婦。七日間、あなたの神である主が選ばれる場所で、あなたの神である主に祝いなさい。もしあなたの神である主が、あなたのすべての産物において、またあなたの手のすべての業において、あなたを祝福されるならば、あなたは喜ぶ者となるであろう。

年に三度、あなたのすべての男子は、主があなたの神が選ばれる場所で、あなたの神である主の前に現れなければならない。種なしパンの祭り、週の祭り、仮庵の祭りにおいてである。あなたの神である主の前に空手で現れてはならない。各々、あなたが

たの手の力に応じて、主なるあなたの神があなたに与えられた祝福に応じて。

裁判官たちと書記官たちを、あなたの神である主があなたに与える町々に、部族ごとに任命しなさい。そして彼らは民を正しい裁きで裁くであろう。彼らは裁きを曲げず、また贈り物を受け取らない。なぜなら、贈り物は賢者の目を盲目にし、正しい者の言葉を取り除くからである。正しく正義を追求せよ、それはあなたが生き、入って行き、あなたの神、主があなたに与える地を相続するためである。

あなたの神の祭壇のそばに、あなた自身のために聖なる木立を、いかなる木も植えてはならず、あなた自身のためにそれを作ってはならない。あなたは自分のために柱を立ててはならない。それをあなたの神、主は憎まれた。

17

あなたの神である主に、傷のある子牛または羊を犠牲として捧げてはならない。すべての悪い欠陥があるものは、あなたの神である主にとって忌み嫌われるものだからである。

もしあなたの神、主があなたに与える都市の一つで、あなたの神、主の前で悪を行い、その契約を破る男または女が見つかったならばそして来て、他の神々に仕え、それらを礼拝するように、太陽に、または月に、または天の世界から出た全てのものに礼拝するように、それはわたしがあなたに命じなかったものである、そしてそれがあなたに報告され、あなたが非常に熱心に調査し、そして見よ、その言葉は真実に起こり、この忌まわしいことがイスラエルの中で起こった、そして、あなたはその男、またはその女を連れ出し、彼らを石で石打ちし、彼らは死ぬだろう。二人または三人の証人によって、死ぬべき者は死刑に処せられる。

一人の証人によっては死刑に処せられない。そして証人たちの手が最初に彼の上にあつて彼を死に至らしめ、そして民の手が最後にあり、そしてあなたがたは彼らの中から悪を取り除くであろう。

もしあなたにとって、血と血の間、裁きと裁きの間、触れと触れの間、論争と論争の間の裁きにおいて言葉が不可能になるならば、すなわちあなたたちの町々における裁きの言葉たちが不可能になるならば、立ち上がってあなたは、主があなたの神がそこを選ぶであろう場所へ上って行くだろう。そしてあなたはレビ人である祭司たちのもとへ、そしてその時代にいる裁判官のもとへ行き、彼らは調査した後、あなたに判決を告知させるだろう。そして、あなたは、主、あなたの神が選ぶ場所から、彼らがあなたに報告する事柄に従って行い、あなたに定められるすべてのことを行うように守らなければならない。法に従って、また彼らがあなたに告げる裁きに従って、あなたは行わなければならない。彼らがあなたに告げる言葉から、右にも左にもそれではならない。

もし人が傲慢にふるまい、あなたの神である主の名において仕えるために立っている祭司、またはその時の裁判官に従わないならば、その人は死ななければならない。あなたはイスラエルから悪を取り除かなければならない。そして民は皆、聞いて恐れ、もはや不敬虔な行いをしないだろう。

もしあなたが、主であるあなたの神があなたに与える土地に入り、それを相続し、そこに住み、そして私の周りの他の国々のように、私は自分の上に支配者を立てようと言うならば、任命する際には、あなたは自分の上に支配者を任命しなければならない。主なる神が選ぶ者を。あなたの兄弟たちの中から、あなたは自分の上に支配者を任命しなければならない。あなたは自分の上に外国の人を任命することはできない。なぜなら、彼はあなたの

兄弟ではないからである。なぜなら、彼は自分のために馬を増やさず、また民をエジプトに引き返させて自分のために馬を増やすことがないようにするからである。しかし主は言われた、あなたがたはもはやこの道によって引き返してはならない。そして彼は自分自身のために妻たちを増やさないだろう、彼の心が離れないように。そして銀と金を自分自身のために非常に増やさないだろう。

そして彼が彼の統治の座に着くとき、彼はレビ人の祭司たちからこの申命記を書物に書き写すだろう。そして、それは彼と共にあり、彼は生涯のすべての日々においてそれを読むであろう。それは、彼があなたの神である主を恐れることを学び、これらすべての戒めを守り、これらのおきてを行うためである。彼の心が彼の兄弟たちから高められないために、戒めから右にも左にも逸脱しないために、彼自身と彼の息子たちがイスラエルの子らの中で、彼の支配の上に日々を延ばすために。

18

祭司たち、レビ人たち、レビの全部族には、イスラエルと共に分け前も相続地もないであろう。主の供え物が彼らの相続地であり、彼らはそれらを食べるであろう。しかし、彼らには兄弟たちの中でくじがないだろう。主ご自身が彼のくじである、ちょうど彼に言われたように。そしてこれは祭司たちの裁きである。民から、犠牲を捧げる者たちから受け取る犠牲について、それが子牛であれ羊であれ、あなたは祭司にその腕と頬と胃を与えなければならない。そしてあなたの穀物の初穂、あなたのぶどう酒、あなたの油、そしてあなたの羊の毛刈りの初穂を、あなたは彼に与えなければならない。なぜなら主があなたのすべての部族の中から彼を選んだのは、主なる神の前に立ち、仕え、そして御名によって祝福するためであり、彼自身とその息子たちがイスラエルの子らの中にいるからである。

もしレビ人がイスラエルのすべての息子たちの町々の一つから、彼自身が寄留しているところから、やって来るならば、彼の魂が欲するままに、彼が選ぶであろう場所へ彼は彼の神、主の名において仕えるでしょう、ちょうど彼のすべての兄弟たち、そこにあなたの神、主の前に立っているレビ人たちのように。彼は分けられた部分を食べるだろう、家族による売却を除いて。もしあなたがあなたの神、主があなたに与える地に入るならば、あなたはそれらの国々の忌まわしいことに従って行うことを学んではならない。

あなたの中に、火で自分の息子と娘を清める者、予言を占う者、前兆を占う者、鳥占いをする者、魔術を使う者が見出されてはならない。呪文を唱えながら歌い掛け、霊媒師であり、前兆の占い師であり、死者たちに尋ねている。これらを行う者はすべて、あなたの神、主にとって憎むべきものであるからである。なぜなら、これらの憎むべきもののゆえに、主は彼らをあなたの前から滅ぼすであろう。あなたは、あなたの神である主の前に完全でなければならない。なぜならこれらの諸国民、あなたが追い払うこれらの者たちは、前兆や占いに聞き従うであろうが、あなたには主、あなたの神はそうにはお与えにならなかったからである。

主なるあなたの神は、あなたの兄弟たちの中から私のような預言者をあなたのために立てられる。あなたたちは彼の言葉を聞かなければならない。あなたがホレブにおいて集会の日にああなたの神、主に求めたすべてのことに従って、私たちはあなたの神、主の声を再び聞くことはしません。そしてこの大いなる火を私たちはもはや見ません。私たちが死なないようにと言った。そして主は私に言われた、彼らがあなたに話したことはすべて正しい。わたしは彼らの兄弟たちの中から、あなたのような預言者を彼らのために立てるだろう。そしてわたしは彼の口に言葉を与えるだろう。そして彼はわたしが彼に命じることすべてを彼らに話すだ

ろう。そして、私の名において、あの預言者が語ることを聞かない者がいれば、私は彼を罰する。しかし、私が語ることを命じなかった言葉を私の名において不敬虔にも語る預言者、および他の神々の名において語る者は、その預言者は死ななければならない。もしあなたが心の中で私たちはどのようにして主が語らなかった言葉を知ることができるだろうかと言うならば。もしその預言者が主の名において語ったことが実現せず、起こらなかったならば、それは主が語られなかった言葉である。その預言者は不敬虔にも語ったのであり、あなたがたは彼を恐れてはならない。

19

もしあなたの神である主が、神があなたに土地を与える諸国民を滅ぼし、そしてあなたがたが彼らを相続し、そしてあなたがたが彼らの諸都市と彼らの諸家屋に住むならば、三つの都市を、あなたの神である主があなたに与える地の真ん中で、あなた自身のために分けるだろう。あなたに道を考えよ。そしてあなたの地の境界を三つに分けるだろう。それを主あなたの神があなたに分配する。そしてそれはすべての殺人者の避難所となるだろう。これが殺人者の命令であるだろう。誰がそこへ逃亡し、生きるだろう。誰が彼の隣人を知らずに打ち、この者が昨日と三日目の前に彼を憎んでいなかった者である。そしてもし誰かが隣人と共に森へ入り、木を集めるために、そして斧で木を切っている時に彼の手が滑り、そして鉄が木から落ちて隣人に当たり、そして死ぬならば、この者はこれらの都市の一つへ逃れ、そして生きるであろう。血の復讐者が心に熱くなって殺人者の後を追跡し、もし道がより長ければ彼に追いつき、彼の魂を打つことがないようにするためである。そしてこれには死の裁きがない、なぜなら彼は昨日の前にも三日前にも彼を憎んでいなかったからである。このゆえに、私はあなたにこの言葉を命じて言う。三つの都市をあなた自身のために分けよ。

もしもあなたの神である主が、あなたの父たちに誓った通りにあなたの境界を拡大し、そしてあなたの父たちに与えると言ったすべての地を主があなたに与えるならばもしあなたが、私が今日あなたに命じるこれらすべての戒めを行うことを聞き、あなたの神である主を愛し、そのすべての道においてすべての日々歩むならば、あなたはこれら三つの町に加えて、さらに三つの町をあなた自身のために定めるであろう。そして無実の血はその地に注がれることはないだろう。その地は主あなたの神があなたに相続地として与えるものである。そしてあなたは血について有罪とならないだろう。

もしもあなたのところに隣人を憎んでいる人がいて、彼を待ち伏せし、彼に立ち向かい、彼の魂を打ち、彼が死に、そしてこれらの都市の一つへ逃げるならば、そして彼の都市の長老会議は彼らを送り、彼らはそこから彼を連れ出し、彼を血の復讐者たちの手に引き渡し、彼は死ぬだろう。あなたの目は彼を惜しんではない。あなたは無実の血をイスラエルから清め、そうすればあなたには幸いがあるであろう。

あなたは隣人の境界を動かしてはならない。それらは、主なるあなたの神があなたにくじで与える地において、あなたが相続した相続地に、あなたの父たちが立てたものである。一人の証人は、人に対するすべての不正、すべての罪について証言するために立つことはない。もし罪を犯すなら、二人の証人の口によって、そして三人の証人の口によって、すべての言葉は立つであろう。もしも不正な証人が人に対して立ち、その者の不敬虔を告発するならばそして、争いを持つ二人の人々は、主の前に、祭司たちの前に、そして、その時代にいる裁き人たちの前に立つであろう。そして裁判官たちは正確に調べるべきである。そして見よ、不正な証人が不正なことを証言し、自分の兄弟に敵対した。そしてあなたがたは、彼が自分の兄弟に対して邪悪に行動しようとしたのと同じ方法で、彼に対して行わなければならない。そしてあ

なたがたは、あなたがたの中から悪を取り除かなければならぬ。そして残りの者たちは聞いて恐れるだろう、そして彼らはもはやこの悪い言葉に従って行うことをあなたがたの中で繰り返さないだろう。あなたの目は彼を容赦しないだろう、魂には魂を、目には目を、歯には歯を、手には手を、足には足を。

20

もしあなたがあなたの敵に対して戦争に出て行き、馬と騎手とあなたより多い民を見ても、彼らを恐れてはならない。なぜなら、あなたの神である主があなたと共におられるからである。その方はあなたをエジプトの地から連れ上った方である。そして、あなたが戦争に近づくときはいつでも、祭司が近づいて民に話すだろう。そして彼は彼らに向かって言うだろう、聞け、イスラエルよ。あなたがたは今日、あなたがたの敵に対する戦いへと進む。あなたがたの心を弱くさせるな。恐れるな。打ち碎かれるな。彼らの前から退くな。なぜなら、あなたがたの神である主が、あなたがたと共に先に進み、あなたがたの敵と戦い、あなたがたを救うからである。

そして書記官たちは民に向かって言いながら話すだろう、新しい家を建てたが、それを奉献していない人は誰か。その者を行かせ、彼の家に帰らせよ。戦争で彼が死に、別の人がそれを奉献することのないように。そして、ぶどう園を植えたが、それから喜びを得なかった者は誰か?その者は行って自分の家に帰らせよ。戦争で死んで、別の者がそれから喜びを得ることがないように。そして、女と婚約したが、まだ彼女を娶っていない男は誰か?彼を行かせ、彼の家に帰らせよ。戦争で死んで、別の男が彼女を娶ることのないように。そして書記官たちは民に向かって更に語り、こう言うだろう。心に恐れを抱き臆病な者は誰か。その者は去って自分の家に帰らせよ。自分の心のように兄弟の心を臆病にさせないために。そして、書記たちが民に向かって話すことを

やめる時、彼らは軍隊の支配者たちを民を率いる者として任命するだろう。

もしあなたが都市に近づいて彼らと戦争するなら、彼らを平和のうちに呼び出せ。もし彼らがあなたに平和的に答え、あなたに門を開くならば、そこに見出されるすべての民は、あなたに貢ぎ物を納める者となり、あなたに従属する者となるだろう。もし彼らがあなたに従わず、あなたに向かって戦争を仕掛けるならば、あなたはそれを包囲する、主、あなたの神が、それをあなたの手に引き渡すまで、そして、あなたは剣によって、すべての男性を打つだろう。女たちと荷物を除いて、すべての家畜、そして都市に存在するすべてのもの、そしてすべての装備を、あなたは自分のために略奪するであろう。そしてあなたの神である主があなたに与える敵たちの略奪品すべてを食べるであろう。このように、あなたから非常に遠くにあるすべての都市に対して行うであろう。これらの国民の都市に対してではなく。主があなたの神があなたに与えて相続させる彼らの地において。あなたがたは息をするものをすべて生かしておいてはならない。しかし、あなたがたは彼らを、ヘテ人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人、ギルガシ人を、呪いによって滅ぼさなければならぬ。あなたの神、主があなたに命じられた通りに。彼らがあなたがたに、彼らの神々に行ったすべての忌まわしいことを行うように教えて、あなたがたがあなたがたの神、主の前に罪を犯すことがないようにするためである。

もしあなたが一つの都市を多くの日々包囲してそれに対して戦争をし、それを占領しようとするならば、あなたはその木々を破壊してはならない。それらの上に鉄を置いてはならない。しかしあなたはそれから食べてもよい。ただしそれを切り倒してはならない。畑の中の木は人間なのか、あなたの前から柵の中へ入るために? しかし、果実を食べるものではないとあなたが知っている木を、これをあなたは破壊し、切り倒すであろう。そして、あ

なたに対して戦争をする町に対して包囲工事を築くであろう、それが引き渡されるまで。

21

もしあなたの神、主があなたに相続させるために与える地で、負傷者が平野に倒れているのが見つけられ、打った者を誰も知らないならば あなたの長老会議とあなたの裁判官たちが出て行き、殺された者の周りの都市たちまで測るだろう。そして、負傷した者に最も近い都市があるだろう、そして、あの都市の長老会議は、牛の群れから雌の子牛を受け取るだろう、それはまだ働かされていない、そして、それはまだ軛を引いていない。そしてその都市の長老会議は若い雌牛を荒れた谷へ連れて行くだろう、その谷は耕されたこともなく種を蒔かれたこともない、そして彼らはその若い雌牛の首をその谷で折るだろう。そしてレビ人の祭司たちが近づくだろう、なぜなら主なる神が彼らを選んで彼の前に立たせ、彼の名において祝福させるからである、そして彼らの口によってすべての論争とすべての接触が裁かれるだろう。そしてあの町の全ての長老会議の、その負傷した者に近づいている者たちは、その谷において首を折られた雌子牛の頭の上で手を洗うであろう。そして答えて、彼らは言うだろう、私たちの手はこの血を注ぎ出しませんでした、そして私たちの目は見ていません。慈悲深くあれ、あなたが贖ったあなたの民イスラエルに、主よ、罪のない血があなたの民イスラエルの中にあることがないように、そしてその血は彼らのために贖われるだろう。あなたは、もしあなたがあなたの神、主の前に良いことと喜ばしいことを行うならば、彼らの中からその無実の血を取り除くだろう。

もしあなたが戦争に出て行ってあなたの敵に対し、そしてあなたの神、主があなたの手に彼らを引き渡し、そしてあなたが彼らの略奪品を略奪するならば、そして、あなたが略奪品の中に姿の美しい女を見て、彼女を欲し、彼女を自分の妻として取るなら

ば、そしてあなたはそれをあなたの家の中に連れて来て、その頭を剃り、その爪を切るだろう、そしてあなたは彼女から捕囚の衣服を取り除くであろう。そして彼女はあなたの家に座るであろう。そして彼女は父と母を一ヶ月の間泣くであろう。そしてその後、あなたは彼女のところへ入るであろう。そしてあなたは彼女と共に住むであろう。そして彼女はあなたの妻となるであろう。

そして、もしあなたがそれを望まないならば、あなたはそれを自由にして去らせなければならない。そして、それは銀のために売られてはならない。あなたはそれを粗末に扱ってはならない、なぜならあなたはそれを辱めたからである。

もし人に二人の妻ができ、一人は愛され、一人は憎まれ、愛された妻と憎まれた妻が彼に子を産み、憎まれた妻の長子が生まれたならば、そして、もし彼が自分の息子たちに自分の所有物を相続として分配する日には、憎まれた女の長子である息子を見送って、愛された女の息子に長子の権利を与えることはできないだろう。しかし、憎まれた女の長子である息子を認め、彼に見出されるすべてのものから二倍を与えなければならない。なぜなら、この者は彼の子供たちの始まりであり、この者に長子の権利がふさわしいからである。もしある人に不従順で反抗的な息子がいて、父の声と母の声に従わず、彼らが彼を訓練しても、彼が彼らの言うことを聞かないならば、そして彼の父と彼の母が彼を捕らえて、彼の都市の長老会議のもとへ、そしてその場所の門のもとへ彼を連れ出すだろう。そして彼らは町の男たちに言うだろう、この我々の息子は従わず、挑発し、我々の声に聞き従わず、偽金作りで大酒飲みである。そして彼の都市の男たちは石で彼を打ち殺すだろう、そして彼は死ぬだろう、そしてあなたたちは彼らの中から悪を取り除くだろう、そして残りの者たちは聞いて恐れるだろう。

もしある者に死の判決となる罪があつて、死に、そして彼を木に吊るすならば彼の体を木の上に眠らせてはならない。しかし、あなたがたはその日にそれを埋葬しなければならない。なぜなら、木に吊るされている者はすべて神によって呪われているからである。そして、あなたがたの神、主があなたに相続地として与える地を汚してはならない。

22

あなたの兄弟の子牛、または彼の羊が道で迷っているのを見て、それらを見過ごしてはならない。必ずそれらをあなたの兄弟のもとに連れ戻し、彼に返しなさい。もしあなたの兄弟があなたに近づかず、またあなたが彼を知らないなら、あなたはそれをあなたの家の中に集め、そしてあなたの兄弟がそれらを探すまであなたののもとに置き、そしてあなたは彼に返すであろう。このようにあなたは彼のろばにし、このようにあなたは彼の衣服にし、このようにあなたの兄弟から失われたすべてのものについてもするであろう。もしあなたがそれを見つけたならば、見過ごすことはできない。あなたの兄弟のろばまたは彼の子牛が道に倒れているのを見て、それらを見過ごしてはならない、彼と共にそれらを起こさなければならない。

女が男の器物を身につけてはならず、また男が女の衣服を着てはならない。なぜなら、これらを行う者はすべて、あなたの神、主にとって忌まわしいものだからである。もしあなたが道中で、木の上で、または地上で、雛か卵のある鳥の巣に出会い、母がその雛または卵を温めているならば、母をその子供と共に取ってはならない。あなたは必ず母を送り去り、子供たちはあなた自身のために取るだろう。それはあなたに良いことが起こり、あなたが長命になるためである。

もしあなたが新しい家を建てるなら、あなたの屋根に欄干を作りなさい。そうすれば、人が屋根から落ちて、あなたの家で殺人を引き起こすことはないだろう。あなたのぶどう園に異なる種を蒔いてはならない。その産物と、あなたが蒔く種が、あなたのぶどう園の産物と共に聖別されないために。子牛とロバを一緒にして耕してはならない。混ぜ物の羊毛と亜麻を同じものに着てはならない。あなたが身につける外套の四隅に、ねじれた房をあなた自身のために作らなければならない。

もしある人が妻を娶り、彼女と共に住み、そして彼女を憎むならば。そして彼が彼女に口実となる言葉を置き、彼女の名を悪く貶め、そして言う、この女を私は娶ったが、彼女に近づいたとき、彼女の処女性を見出さなかった。そして、その子の父と母は、その子の処女性の証拠を門のところにいる長老会議へ持って行くであろう。そして、その子の父は長老会議に言うだろう、私のこの娘をこの男に妻として与えた、そして彼は彼女を憎んだ。今、この者は彼女に口実となる言葉を課し、あなたの娘に処女性を見つけませんでしたと言っています。そしてこれが私の娘の処女性の証拠です。そして彼らはその町の長老会議の前でその衣を広げるでしょう。そして、その都市の長老会議は、その男を受け取り、彼を教えるだろう。そして彼らは彼に百シェケルの罰金を科し、若い女の父にそれを与える。なぜなら彼はイスラエル人の処女に悪い名を持ち出したからである。そして彼女は彼の妻となり、彼は生涯彼女を追い出すことができない。

もしこの言葉が真実となり、その若い女に処女性が見出されなかったならば。そして彼らはその若い女を彼女の父の家の戸口に連れ出し、彼らは石で彼女を石打ちし、彼女は死ぬだろう。なぜなら彼女はイスラエルの息子たちの中で愚行を行い、彼女の父の家を姦淫したからである。そしてあなたがたは彼らの中から悪を取り除くだろう。

もし男が、夫のいる女と共に寝ているところを見つけられたならば、両方を殺さなければならない。その女と共に寝ている男と、その女を。そしてあなたはその悪をイスラエルから除き去らなければならない。もしまた、男に婚約された処女の少女がいて、人が都市において彼女を見つけて彼女と寝たならば、あなたは両者を彼らの町の門に連れ出し、石で石打ちにされ、彼らは死ぬであろう。若い女は町の中で叫ばなかったので、そして男は隣人の妻を辱めたので。そしてあなたはあなたがたの中から悪を取り除くであろう。もしも平野で男が婚約された娘を見つけ、強制して彼女と寝たならば、彼女と寝た者のみを殺すべし。そしてその若い女には死の罪はない。もし人が隣人に対して立ち上がり、彼の魂を殺すように、この事柄もそのようである。なぜなら野で彼が彼女を見つけたとき、婚約された若い女は叫んだが、彼女を助ける者はいなかったからである。

もし誰かが、婚約されていない処女を見つけ、強制して彼女と寝て、そしてそれが発覚したならば彼女と寝た男は、その若い女の父に銀五十デイドラクマを与えるだろう、そして彼女は彼の妻となるだろう、彼が彼女を辱めたので、彼は一生彼女を追い出すことができないだろう。

23

人は自分の父の妻をめとってはならず、自分の父の覆いを露わにしてはならない。

辜丸を潰された者も、切り取られた者も、主の集会に入ることとはできない。娼婦から生まれた者は、主の集会に入ることができない。

アンモン人とモアブ人は主の集会に入ってはならない。十代目までも主の集会に入ってはならず、永遠に入ってはならない。

彼らがあなたがたに、パンと水をもって道で会わなかったことから、あなたがたがエジプトから出て行くとき、そして彼らがあなたを呪うためにメソポタミアからベオルの息子バラムを雇ったことのゆえに。そしてあなたの神、主はバラムの言うことを聞こうとはしなかった。そしてあなたの神、主はその呪いを祝福に変えた、なぜならあなたの神、主はあなたを愛したからである。あなたは彼らに平和的なことや有益なことを呼びかけてはならない、あなたの全ての日々において、永遠に。あなたはイドウマヤ人を嫌悪してはならない。彼はあなたの兄弟だからである。あなたはエジプト人を嫌悪してはならない。あなたは彼の地で寄留者となったからである。もし彼らに息子たちが生まれるなら、三代目は主の集会に入るだろう。

もしあなたが出て行って、あなたの敵に対して陣を張るならば、すべての邪惡な言葉から身を守りなさい。もしあなたのうちに、夜の漏出によって清くない男がいるならば、彼は宿營の外へ出て行き、宿營の中へは入らないであろう。そして夕方になると、彼は自分の体を水で洗い、太陽が沈んだ後、陣營に入るであろう。場所が陣營の外にあなたのために設けられるだろう、そしてあなたはそこへ外に出て行くだろう。そして枕はあなたの帯の上にあるだろう。そしてあなたが外に座るときには、あなたはそれで掘るだろう。そしてそれを使ってあなたの排泄物を覆うだろう。なぜなら、あなたの神である主が、あなたを救い出し、あなたの敵をあなたの前に引き渡すために、あなたの陣營の中を歩き回られるからである。それゆえ、あなたの陣營は聖なるものでなければならず、あなたの中に恥ずべきことが見られてはならない。そうでなければ、主はあなたから離れ去られるであろう。

あなたは彼の主人から逃れてあなたのもとに来た子を、その主人に引き渡してはならない。彼はあなたと共に住み、あなたたちの中で彼が望む場所に住むだろう。あなたは彼を苦しめてはならない。イスラエルの娘たちから娼婦は出ないであろう、そして

イスラエルの息子たちから身売る者は出ないであろう、イスラエルの娘たちから秘儀執行者は出ないであろう、そしてイスラエルの息子たちから秘儀を受ける者は出ないであろう。あなたは娼婦の賃金も犬の交換物も、いかなる誓願のためにも、あなたの神、主の家に持ち来たってはならない。なぜなら、それら両方ともあなたの神、主にとって憎むべきものだからである。

あなたの兄弟に利息を課してはならない。銀の利息も、食物の利息も、貸し付けるすべての物の利息も。外国人には利息を課してもよいが、あなたの兄弟には利息を課してはならない。それは、主なるあなたの神が、あなたが入って行ってそこで相続する地において、あなたのすべての働きにおいてあなたを祝福するためである。

もしあなたがあなたの神、主に誓いを立てるならば、それを果たすことを遅らせてはならない。なぜなら、あなたの神、主は必ずあなたにそれを求められるからであり、それはあなたにとって罪となるであろう。しかしもしあなたが祈ることを望まないなら、あなたに罪はない。あなたの唇から出ることを守り、あなたが主なる神に誓った通りの方法で行い、あなたの口で語った贈り物を果たすべし。

もしあなたが隣人の収穫に入り、あなたの手で穂を集めるなら、鎌をあなたの隣人の収穫に置いてはならない。もしあなたの隣人のぶどう園に入るなら、あなたの魂が満たされるだけぶどうを食べてよいが、器の中には入れてはならない。

24

もし誰かが妻を娶り、彼女と同居したが、彼女の中に不体裁な事を見つけたために、彼の前で好意を得られないことがあるならば、彼は彼女に離縁の書を書き、それを彼女の手渡し、彼女

を彼の家から送り出すだろう。そして去って別の男のものになり、そして最後の男が彼女を憎み、離婚の書を書いて彼女の手に渡し、彼女を自分の家から送り出し、そして彼女を妻として娶った最後の男が死んだ場合、彼女を送り去った最初の男は、彼女が汚された後、戻って彼女を自分の妻として取ることはできないだろう、なぜならそれはあなたの神、主の前で忌まわしいことであるから、そしてあなたがたは、あなたの神、主があなたに相続地として与える地を汚してはならない。

もし誰かが最近妻を娶ったならば、彼は戦争に出て行かず、また彼に何の義務も課されない。彼は自分の家で一年間、免除され、自分が娶った妻を喜ばせるであろう。

あなたは白を質に取ってはならない、また上白も質に取ってはならない、なぜならこれは魂を質に取るからである。もしも人が、彼の兄弟たち、すなわちイスラエルの息子たちの中から魂を盗み、彼を抑圧して売るならば、その盗人は死ななければならない。そしてあなたたちは、あなたたちの中から悪を取り除かなければならない。らい病に触れることについて、あなた自身に注意せよ。レビ人である祭司たちがあなたがたに告げるすべての律法に従って行うことを、非常に注意深く守るべし。私があなたがたに命じた方法を守って行え。思い出しなさい、あなたの神である主が、あなたたちがエジプトから出て行く道中で、マリামムに対して行ったすべてのことを。

もしあなたの隣人に何らかの債務があるなら、あなたは彼の質物を取るために彼の家に入ってはならない。外であなたは立ち、あなたの貸付がある男が、その質をあなたのもとへ外へ運び出すだろう。もしその人が貧しくなったなら、あなたは彼の質物の中で横たわってはならない。あなたは日没までに彼の質物を必ず返さなければならない。そうすれば彼は自分の衣で眠ることができ、あなたを祝福するであろう。そしてそれは、あなたの神で

ある主の前で、あなたにとって憐れみの行いとなるであろう。あなたは、あなたの兄弟たちの中から、またはあなたの町々にいる寄留者たちの中から、貧しく欠乏している人の賃金を不正に扱ってはならない。同じ日に、あなたは彼の賃金を返さなければならない。太陽は彼の上に沈んではならない。なぜなら、彼は貧しく、そしてそれに希望を持っているからである。そして彼はあなたについて主に向かって叫ぶであろう。そしてそれはあなたにおいて罪となるであろう。父たちは子供たちのために死ぬことはなく、そして息子たちは父たちのために死ぬことはない、各々は自分自身の罪において死ぬであろう。あなたは寄留者と孤児と寡婦の裁きを曲げてはならない。あなたは寡婦の衣服を質に取ってはならない。あなたはエジプトの地において家僕であったことを思い出さなければならない。主、あなたの神が、そこからあなたを贖われた。それゆえに、私はあなたに、この言葉を行うよう命じる。

もしあなたがあなたの畑で収穫を刈り、あなたの畑で束を忘れたなら、あなたはそれを取るために戻ってはならない。それは寄留者と孤児と寡婦のものとなる。それは、主、あなたの神が、あなたの手のすべての働きにおいてあなたを祝福するためである。もしあなたがオリーブを摘み集めるならば、あなたの後ろに残ったものを集めるために戻ってはならない。それは寄留者と孤児と寡婦のものとなる。そしてあなたは思い出さなければならない、あなたがエジプトの地で僕であったことを。このゆえに私はあなたにこの言葉を行うよう命じるのである。もしあなたがあなたのぶどう園を収穫するなら、その後ろを再び拾い集めてはならない。それは寄留者と孤児と寡婦のものとなるだろう。そして、あなたはエジプトの地で家僕であったことを思い出すだろう。このゆえに、私はあなたにこの言葉を行うよう命じる。

もしも人間たちの間に争いが生じ、そして彼らが裁きに来て、そして裁き、そして正しい者を義とし、そして不敬虔な者を罪に定めるならば、そして、もしその不敬虔な者が打撃に値するならば、あなたは裁判官たちの前で彼を伏させ、彼らは彼の不敬虔に従って彼の前で彼を鞭打つだろう。そして四十回の数において、彼らは彼を鞭打つだろう、それ以上加えてはならない。もしこれらの打撃より多く鞭打つために加えるならば、あなたの兄弟はあなたの前で恥辱を受けるだろう。脱穀している牛に口輪をはめてはならない。

もし兄弟たちが共に住んでいて、そのうちの一人が死に、しかし彼に子がなかった場合、死んだ者の妻は外の近親でない男のものとなってはならない。彼女の夫の兄弟が彼女のところに入り、彼女を自分の妻として娶り、彼女と共に住むだろう。そして、もし彼女が産む子供は、故人の名によって立てられ、彼の名はイスラエルから消し去られることはないだろう。

もしその男が彼の兄弟の妻を娶ることを望まないならば、その女は門の長老会議のところへ上って行き、そして言うだろう、私の夫の兄弟は、イスラエルにおいて彼の兄弟の名を起すことを望みません。私の夫の兄弟は望みませんでした。そして彼の都市の長老会議が彼を呼び、彼に言うだろう。そして立って彼が言う、私は彼女を娶ることを望まない。そして彼の兄弟の女が長老会議の前に近づき、彼の足から彼のサンダルの一つを外し、彼の顔に唾を吐き、答えて言うであろう、このように彼らはイスラエルにおいて彼の兄弟の家を建てない男に対してするであろう。そして彼の名はイスラエルにおいて、サンダルを解いた者の家と呼ばれるだろう。

もし人々が互いに戦い、人が自分の兄弟と共に戦っていて、そして彼らの一人の妻が近づいて、彼女の夫を彼を打っている者の手から救い出そうとし、そして手を伸ばして彼の睪丸を掴むな

ら、あなたはその手を切り落とすであろう、あなたの目はこれを
憐れまないであろう。

あなたの袋の中に、大小の異なる重りがあってはならない。
あなたの家に、大小の異なる升があつてはならない。真実で正しい
重りがあなたのものとなり、真実で正しい升があなたのものとな
るであろう。それは、主なるあなたの神がくじによってあなた
に与える地の上で、あなたが長く生きるためである。なぜなら、
これらを行うすべての者、不正を行うすべての者は、あなたの
神、主にとって忌み嫌うべきものだからである。

思い出せ、あなたがエジプトの地から出て行くとき、その道
においてアマレクがあなたに行ったすべてのことを。彼がどのよ
うに道中であなたに立ち向かい、あなたの後衛を、あなたの後ろ
にいる疲れている者たちを襲ったか、あなたは飢えて疲れていた
のに、彼は神を恐れなかった。そして、主、あなたの神が、あな
たに相続させるために与える地において、あなたの周りのすべて
の敵からあなたを休ませる時、あなたはアマレクの名を天の下か
ら消し去るだろう。そして忘れてはならない。

26

そしてもしあなたが、主であるあなたの神があなたに相続さ
せるために与える地に入り、それを所有し、そしてそこに住むな
らば、そしてあなたは、主なるあなたの神があなたに与える地の
果実の初穂から取り、籠に入れ、主なるあなたの神がその名を呼
ばれるために選ぶであろう場所へ行くであろう。そしてあなた
は、その時代にいる祭司のもとに行き、彼に言いなさい、私は今
日、私の神である主に申し上げます。主が私たちの先祖に誓って
私たちに与えると約束された地に、私は入りました。そして祭司
はあなたの手からその籠を取り、あなたの神、主の祭壇の前にそ
れを置くだろう。そして答えて、あなたの神である主の前に言う

だろう、私の父はシリアを捨て、そしてエジプトへ下り、そしてそこに少ない数で寄留し、そしてそこで大きい国民と多い群衆になった。そしてエジプト人たちは私たちを虐げ、私たちを屈辱し、私たちに過酷な労働を課した。そして私たちは、私たちの神である主に向かって叫んだ。そして主は私たちの声を聞き、私たちの屈辱と、私たちの労苦と、私たちの苦難を見た。そして主は、彼自身の大いなる力において、強き手において、高き腕において、大いなる幻において、しるしにおいて、そして不思議において、私たちをエジプトから導き出した。そして彼は私たちをこの場所へ導き入れ、私たちにこの地を与えた。乳と蜜の流れる地を。そして今、見よ、私はあなたが私に与えてくださった地、乳と蜜の流れる地の産物の初穂を持ってきました、主よ。そしてあなたはそれをあなたの神、主の前に置き、あなたの神、主の前で礼拝するでしょう。そしてあなたは、主あなたの神があなたに与えたすべての良いものを喜ぶであろう。あなたの家も、レビ人も、あなたのもとにいる寄留者も同様に。

もしあなたが第三の年にあなたの産物のすべての十分の一を納めることを完了するならば、その第二の十分の一をレビ人と寄留者と孤児と寡婦に与えなさい。そうすれば彼らはあなたの町々で食べ、喜ぶであろう。

そして、あなたはあなたの神、主の前で言うでしょう。私は聖なるものを私の家から取り除き、それらをレビ人と寄留者と孤児と寡婦に与えました。あなたが私に命じたすべての戒めに従って。私はあなたの戒めに違反しませんでした。そして私は忘れませんでした。そして私はそれらを私の痛みの中で食べず、それらから汚れたものへ果実を取らず、それらから死者に与えず、私たちの神、主の声に従い、あなたが私に命じたとおりに行った。あなたの聖なる家から、天から見下ろし、あなたの民イスラエルを祝福してください。そして、あなたが私たちの父祖たちに誓われ

たように、私たちに与えてくださった地、乳と蜜の流れる地を祝福してください。

この日に、あなたの神である主は、すべての掟と裁きを行うことをあなたに命じられた。あなたがたは心を尽くし、魂を尽くして、それらを守り行わなければならない。あなたは今日、神をあなたの神として選び、彼のすべての道を歩み、その掟と裁きを守り、その声に従うことを選んだ。そして主は今日、あなたを選び、あなたが彼の特別な民となることを定めた。それは彼が言ったとおりであり、あなたは彼の戒めを守るのである。そしてあなたがすべての国々の上にあること、彼があなたを名高く、誇りとし、栄光あるものとしたように、あなたが主であるあなたの神の聖なる民であること、彼が語ったように。

27

そしてモーセとイスラエルの長老会は命じて言った、私が今日あなたたちに命じるこれらすべての戒めを守れ。そして、あなたがヨルダン川を渡って、主なるあなたの神があなたに与える地へ入る日に、あなたは自分のために大きな石を立て、それらを漆喰で塗るだろう。そして、あなたがたがヨルダンを渡り、あなたの父たちの神である主があなたに与える地、乳と蜜の流れる地に入る時、あなたはこれらの石の上にこの律法のすべての言葉を書かなければならない。あなたの父たちの神である主があなたに言われた通りに。そして、あなたがたがヨルダンを渡るとき、私が今日あなたに命じるこれらの石をガイバル山に立て、それらを漆喰で塗りなさい。そしてあなたはそこにあなたの神、主に祭壇を建てるだろう。石から成る祭壇を。あなたはその上に鉄を置いてはならない。完全な石であなたの神、主に祭壇を建て、その上にあなたの神、主に全焼の捧げ物を捧げなさい。そして、あなたはそこで救いの犠牲を捧げ、食べ、満たされ、あなたの神、主の前

で喜ぶだろう。そして、あなたはこのすべての律法を、その石の上に非常に明瞭に書くであろう。

そしてモーセと祭司たちレビ人たちはすべてのイスラエルに話して言った、静かにして聞け、イスラエルよ。この日にあなたは主、あなたの神の民となった。そして、あなたはあなたの神、主の声を聞き、私が今日あなたに命じるすべての彼の戒めと彼の律法を行うだろう。

そしてモーセはその日に民に命じて、言った これらの者たちは、ヨルダンを渡って、ゲリジム山で民を祝福するために立つだろう。シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ヨセフ、そしてベニヤミンである。そして、これらは呪いの上に立つだろう、ガイバル山において、ルベン、ガド、アシェル、ゼブルン、ダン、そしてナフタリが。

そしてレビ人たちは答えて、すべてのイスラエルに大きな声で言うだろう。呪われるべきは、彫像と鋳像を造る者である。それは主にとって忌まわしいもの、職人の手の業である。そして彼はそれを秘密の場所に置くだろう。そしてすべての民は答えて言うだろう、そのようになるようにと。呪われよ、自分の父または母を軽んじる者は。そして、すべての民は言うだろう、そうなれと。隣人の境界を移す者は呪われる。そしてすべての民はそうなるようにと言うだろう。盲目の者を道で惑わす者は呪われる、そしてすべての民は言うであろう、そのようになるようにと。呪われよ、寄留者と孤児と寡婦の裁きを曲げる者は。そして、すべての民は言った、そうなるようにと。呪われよ、その父の妻と寝る者は、なぜなら彼は父の覆いを取ったからである。そして民は皆言うであろう、そうなれと。呪われよ、すべての獣と寝る者。そして、すべての民は言うだろう、そうなりますようにと。呪われよ、父または母を同じくする姉妹と寝る者は。そして、すべての民は言うだろう、アーメン。呪われよ、自分の花嫁と寝る者は。

そしてすべての民は言うだろう、そうなるようにと。呪われよ、自分の妻の姉妹と寝る者は。そしてすべての民は言うだろう、そうなるようにと。欺きによって隣人を打つ者は呪われる。そして民はすべてそうなりますようにと言うだろう。呪われた者である、無実の血の魂を打つために贈り物を受け取る者は。そしてすべての民は言うだろう、そうなるようにと。呪われよ、この律法のすべての言葉に留まらず、それらを行わないすべての人は。そしてすべての民は言うだろう、そうなれ、と。

28

そしてもしあなたがあなたの神、主の声を聞いて聞き従い、私が今日あなたに命じるこれらすべての戒めを守り行うならば、あなたの神、主はあなたを地のすべての国々の上に置かれるだろう。そして、これらすべての祝福があなたの上に来て、あなたを見つかるだろう、もし、あなたがあなたの神、主の声に聞き従うならば。あなたは都市において祝福され、そしてあなたは野において祝福される。あなたの胎の子孫は祝福され、あなたの地の産物、あなたの牛の群れ、あなたの羊の群れも祝福される。あなたの倉庫とあなたの残り物は祝福されている。あなたが入る時、あなたは祝福され、あなたが出て行く時、あなたは祝福される。

主なるあなたの神は、あなたに抵抗する敵たちを打ち砕いてあなたの前に引き渡されるだろう。彼らは一つの道であなたに向かって出て来るが、七つの道であなたの前から逃げ去るだろう。主はあなたの上に祝福を送り、あなたの倉の中に、そしてあなたが手を置くすべてのものの上に、主あなたの神があなたに与える地において。主があなたを立ち上がらせて、ご自身のために聖なる民とされる。それは主があなたの父たちに誓われたとおりである。もしあなたが、あなたの神、主の声を聞き、そのすべての道に歩むならば。そして地のすべての国々があなたを見るだろう、なぜなら主の名があなたに呼ばれているから、そして彼らはあな

たを恐れるだろう。そしてあなたの神である主は、あなたの胎の子孫において、あなたの家畜の子孫において、そしてあなたの地の産物において、あなたを良いことへと増やすだろう。主があなたの父たちに誓って、あなたに与えると約束したあなたの地の上で。

主はあなたに、その良い宝である天を開き、時にかなってあなたの地に雨を与え、あなたの手のすべての働きを祝福されるだろう。そしてあなたは多くの国々に貸すが、借りることはない。そしてあなたは多くの国々を支配するが、彼らはあなたを支配しない。主であるあなたの神があなたを頭として確立し、尾としてではなく、そしてあなたはそのとき上におり、下にはいないであろう。もしあなたがあなたの神である主の声を聞き、私が今日あなたに命じることすべてを守るならば。あなたは、私が今日あなたに命じるすべての戒めから、右にも左にも逸れて、他の神々に従い、それらに仕えてはならない。

そして、もしあなたがあなたの神、主の声に聞き従わず、私が今日あなたに命じる彼のすべての戒めを守らないならば、これらすべての呪いがあなたの上に来て、あなたに追いつくだろう。あなたは都市において呪われ、そしてあなたは野原において呪われる。呪われよ、あなたの倉庫、そしてあなたの残り物。呪われるであろう、あなたの胎の子孫、あなたの地の産物、あなたの牛の群れ、そしてあなたの羊の群れは。あなたが入る時、あなたは呪われ、あなたが出て行く時、あなたは呪われる。

主はあなたの上に欠乏と消耗と消費を送られる。あなたが手を置くすべてのものの上に、主があなたを滅ぼすまで、そしてあなたの悪い行いのゆえに速やかにあなたを滅ぼすまで。なぜならあなたは私を見捨てたからである。主はあなたに死を付着させ、あなたがそこに入って相続する地から、あなたを完全に滅ぼし尽くすまで続くだろう。主はあなたを困難と熱と悪寒と炎症と胴枯

病と黄疸をもって打ち、そしてそれらはあなたを滅ぼすまで追跡するだろう。そして、あなたの頭の上の天は青銅となり、あなたの下の地は鉄となるだろう。あなたの神、主が、あなたの地に降る雨を塵とし、天から塵が降り注ぐであろう。彼があなたを滅ぼすまで、そして速やかにあなたを滅ぼし尽くすまで。主があなたを敵たちの前で打撃に遭わせるように。あなたは一つの道で彼らに向かって出て行くが、七つの道で彼らの顔から逃げるであろう。そしてあなたは地のすべての王国において離散となるであろう。そして、あなたがたの死者は天の鳥と地の獣の餌食となり、それを追い払う者はいないだろう。主はあなたを打つであろう、エジプトの腫れ物で尻に、そして激しい疥癬で、そして痒みで、それであなたは癒されることができない。主があなたを狂気と盲目と心の錯乱で打たれるだろう。そしてあなたは真昼に手探りするだろう、盲目の者が暗闇の中で手探りするように。あなたの道々は繁栄せず、あなたは常に不正を受け、略奪され続けるだろう。すべての日々において、助ける者はいないだろう。

妻を娶るだろう、そして別の男がそれを持つだろう。家を建てるだろう、そしてその中に住まないだろう。ぶどう園を植えるだろう、そして決してそれを収穫しないだろう。あなたの子牛があなたの前で屠られても、あなたはそれを食べることができず、あなたのロバがあなたから奪われても、それはあなたに返されず、あなたの羊があなたの敵に与えられ、そして、あなたを助ける者はいないだろう。あなたの息子たちとあなたの娘たちは別の国民に与えられ、あなたの目はそれらを見ながら衰え、あなたの手には力がないだろう。あなたの地の産物とすべてのあなたの労苦を、あなたの知らない国民が食べるだろう。そしてあなたはすべての日々、不正を受け、打ち砕かれた者となるだろう。そして、あなたは自分の目で見える光景によって狂気に打たれるだろう。

主があなたを邪惡な腫れ物で打ち、膝と脛に、足の裏から頭の頂まで癒されることができないようにする。

主があなたと、あなたが自分の上に任命するであろうあなたの支配者たちを、あなたもあなたの父たちも知らない国民のもとへ連れ去るかもしれない。そしてあなたはそこで他の神々、木と石に仕えるであろう。そしてあなたは、主があなたをそこへ導き去るであろうすべての国々において、謎とたとえ話と物語の中にあるだろう。

種を多く平野へ運び出すだろう、そして少なく運び入れるだろう、なぜならばイナゴがそれらを食い尽くすだろうから。ぶどう園を植え、耕すだろうが、ぶどう酒を飲むこともなく、それから喜ぶこともないだろう。なぜなら、虫がそれらを食い尽くすからである。オリーブの木はあなたのすべての境界にあるだろう、しかし油を塗ることはないだろう、なぜならあなたのオリーブの木は実を落とすからである。息子たちと娘たちを生むが、彼らはあなたのものとならないだろう。なぜなら彼らは捕囚として去るからである。さびが、あなたのすべての木製のものと、あなたの地の産物を消費するだろう。あなたのもとにいる寄留者は、どんどん上へ上がっていくが、あなたはどんどん下へ下がっていくだろう。この者はあなたに貸すだろう、しかしあなたはこの者に貸さないだろう、この者は頭となるだろう、しかしあなたは尾となるだろう。

そしてこれらすべての呪いがあなたの上に来て、あなたを追ひ、あなたを捕らえ、あなたを滅ぼし尽くすまで、あなたを失わせるまで続くだろう。なぜならあなたはあなたの神、主の声を聞かず、彼があなたに命じた戒めと律法を守らなかったからである。そしてしるしがあなたにあり、不思議があなたの子孫に永遠まであるだろう。あなたがすべての豊かさのゆえに、喜びと善い心をもって、あなたの神、主に仕えなかったのだ。

そしてあなたは、主があなたに送る敵たちに仕えることになる。飢饉において、渇きにおいて、裸において、そしてすべてのものの欠乏において。そして彼があなたを滅ぼすまで、鉄の首輪があなたの首に置かれるだろう。主はあなたの上に、地の果てから遠くから国を連れてくるだろう。驚の襲撃のように、あなたがその声を聞かない国を。恥知らずな国で、老人の顔を尊敬せず、若者を憐れまない者。そして、あなたの家畜の子とあなたの地の産物を食い尽くし、あなたに穀物、ぶどう酒、油、あなたの牛の群れ、あなたの羊の群れを残さず、ついにはあなたを滅ぼすだろう。そして彼はあなたをあなたの町々において滅ぼすであろう、高くて堅固な城壁が取り壊されるまで。それらはあなたが信頼していたものであり、あなたの全土にあるものである。そして彼はあなたをあなたの町々において苦しめるであろう、それらは彼があなたに与えた町々である。そしてあなたは、あなたの腹の子孫、すなわちあなたに与えられたあなたの息子たちと娘たちの肉を食べるだろう。あなたの敵があなたを苦しめる苦難と苦しみににおいて。

あなたの中の柔らかく、非常に繊細な者は、彼の目で彼の兄弟を妬み、彼の胸にいる妻を妬み、そして残された子供たちを妬むだろう。彼には何も残されないので、自分が食べる子供たちの肉の一部を彼らの誰にも与えないほどになる。これはあなたの苦難において、そしてあなたの敵たちがあなたのすべての町々においてあなたを苦しめる苦悩においてである。

そしてあなたがたの中の柔らかく優雅な女、その足が優雅さと柔らかさのゆえに地の上を歩く経験をしたことがなかった女は、彼女の目をもって、彼女の胸にいる夫と、彼女の息子と娘を妬むであろう。そして、彼女の股から出た後産と、彼女が産む子を、すべてのものの欠乏のために秘密に食い尽くすだろう。あなたの窮迫において、そしてあなたの苦難において、あなたの敵があなたの町々であなたを苦しめるその苦難において。もしあなた

がこの律法のすべての言葉、この書物に書かれたものを行うために聞かず、この尊く驚くべき名、主あなたの神を恐れないならば。そして主はあなたの打撃と、あなたの子孫の打撃を、大きく驚くべきものとし、悪く執拗な病気をもたらすだろう。そして彼は、あなたが彼らの面前から避けたエジプトのすべての邪悪な痛みを戻すであろう、そしてそれらはあなたにまわりつくであろう。そして、すべての病気、すべての書かれていない災い、そしてこの律法の書に書かれているすべてのものを、主はあなたの上にもたらし、あなたを滅ぼすまで続けるであろう。そしてあなたがたは少数で残されるだろう、あなたがたが天の星のように多数であったのに代わって、なぜならあなたがたはあなたの神、主の声を聞かなかったからである。

そして、主があなたがたの上に喜んで、あなたがたに良くし、あなたがたを増やしたその方法と同じように、主はあなたがたの上に喜んで、あなたがたを滅ぼすであろう。そして、あなたがたは速やかにその地から取り去られるであろう、その地へあなたがたはそこに入り、それを相続するのである。そしてあなたの神である主は、あなたを地の果てから地の果てまで、すべての国々へ散らすだろう。そしてあなたはそこで他の神々、木や石に仕えるだろう。それらはあなたもあなたの父たちも信じなかったものである。しかし、その諸国民においても、あなたは休むことができず、あなたの足の裏に安息もないであろう。主はそこであなたに不従順な心、衰える目、そして衰弱する魂を与えるであろう。そして、あなたの命はあなたの目の前に吊るされ、あなたは昼も夜も恐れ、あなたは自分の命を信じることができないだろう。朝にあなたはどのように夕べになるだろうかと言い、夕べにはどのように朝になるだろうかと言うだろう。それはあなたの心が抱く恐れ、あなたが恐れるものから、そしてあなたの目に映る幻、あなたが見るものからである。そして主はあなたを船でエジプトへ戻すだろう、その道について私はあなたは二度とそれを見ることはないだろうと言った。そしてあなたたちはそこであなたたち

の敵に奴隷の男子と女子として売られるだろう、しかし買う者はいないだろう。

これらは、主がモーセに命じてモアブの地でイスラエルの子らと立てさせた契約の言葉である。ホレブで彼らと結んだ契約とは別のものである。

29

そしてモーセはイスラエルのすべての息子たちを呼び、彼らに向かつて言った、あなたたちは、主がエジプトの地であなたたちの前でファラオと彼の従者たちと彼のすべての地に対して行ったすべてのことを見た。あなたの目が見た大きな試練、そのしるしと大いなる不思議を。そして主なる神は、この日まで、あなたがたに知るための心と、見るための目と、聞くための耳を与えなかった。そして四十年の間、荒野であなたがたを導いた。あなたがたの衣服は古くならず、あなたがたのサンダルは足からすり減らなかった。あなたがたはパンを食べず、ぶどう酒と強い飲み物を飲まなかった。それは、私があなたがたの神、主であることを知るためである。そしてあなたがたはこの場所まで来た。そしてヘシュボンの王シホンとバシヤンの王オグが、戦いにおいて私たちに会うために出て来た。そして我々は彼らを打ち、彼らの地を取り、私はそれをくじでルベン、ガド、そしてマナセの半部族に与えた。そして、あなたがたはこの契約のすべての言葉を守り行うであろう。それは、あなたがたが行うすべてのことを理解するためである。

あなたがたは皆、今日、あなたがたの神、主の前に立っている。あなたがたの部族長たち、あなたがたの長老会議、あなたがたの裁判官たち、あなたがたの書記官たち、イスラエルのすべての男たちが。あなたたちの妻たち、そしてあなたたちの子孫、そしてあなたたちの宿営の中にいる寄留者、あなたたちの木こりか

らあなたたちの水汲みまで、あなたがたの神、主の契約と、その呪いの中を通り過ぎるために、主、あなたの神が今日あなたに定められるすべてのものにおいて、彼があなたを彼の民として確立し、彼自身があなたの神となるために、彼があなたに言ったように、また彼があなたの父たちアブラハム、イサク、ヤコブに誓ったように。そして、私はあなたがただけにこの契約とこの呪いを確立するのではない。しかし、今日ここであなたがたの神、主の前にあなたがたと共にいる者たちと、そして今日ここであなたがたと共にいない者たちにも。

あなたたちは知っている、私たちがどのようにエジプトの地に住んだか、そして私たちがあなたたちの通った諸国民の真ん中を通ったかを。そして、彼らの忌まわしいものと偶像を見よ。木と石、銀と金で作られたそれらは、彼らのもとにある。あなたがたの中に、男であれ、女であれ、家族であれ、部族であれ、その心が主なるあなたがたの神から離れて、それらの国々の神々に仕えるために行った者がいないか。あなたがたの中に、胆汁と苦味のうちに上に向かって生えている根がないか。そして、もし彼がこの呪いの言葉を聞き、心の中で自分自身に私は無事でいられるだろう、なぜなら私は自分の心の迷いのままに歩むのだから、罪人が罪なき者を共に滅ぼさないためにと言うならば、そうなるだろう。神は彼に慈悲を示そうとはしない。むしろその時、主の怒りと熱情がその人に燃え上がり、この契約のすべての呪い、この書に書かれたものが彼にまわりつく。そして主は天の下から彼の名を消し去る。そして主は、この律法の書に書かれた契約のすべての呪いに従って、彼をイスラエルのすべての息子たちの中から悪へと分離するだろう。

そして、あなたがたの後に立ち上がるあなたがたの息子たちである他の世代、および遠くの地から来る異邦人は言うだろう。そして彼らは、主があゝの地に送ったその地の打撃とその病気を見るだろう。硫黄と塩で焼き尽くされ、その地は全て種が蒔かれる

ことなく、芽生えることもなく、その上に緑のものが何一つ生えることもないであろう。ちょうど主が怒りと憤りをもって覆されたソドムとゴモラ、アダマとセボイムのように。そして全ての国々は言うだろう、なぜ主はこの地にこのようなことをしたのか。この大いなる怒りの憤りとは何か。そして彼らは言うだろう、彼らは彼らの父たちの神である主の契約を捨てた。その契約は、主が彼らの父たちをエジプトの地から導き出した時に、彼らの父たちと結んだものであると。そして彼らは行って、他の神々に仕えた、彼らが知らなかった神々に、また彼が彼らに分配しなかった神々に。そして主は怒りをもってその地に対して怒られた、この律法の書に書かれたすべての呪いをその上にもたらすために。そして主は彼らを彼らの地から怒りと憤りと非常に大きな激怒をもって取り除き、そして彼らを別の地へ今のように追い出した。

隠されたことは我々の神である主に属し、明らかなことは我々と我々の子供たちに永遠に属する。この律法のすべての言葉を行うためである。隠されたことは我らの神、主のものであり、明らかなことは我らと我らの子らのものである、永遠に、この律法のすべての言葉を行うために。

30

そして、これらすべての言葉、すなわち私があなたの前に与えた祝福と呪いが、あなたの上に来るとき、そして、主があなたをそこに散らすすべての国々の中で、あなたがそれをあなたの心に受け取るとき、そしてあなたはあなたの神である主に立ち返り、今日私があなたに命じるすべてのことに従って、心を尽くし、魂を尽くして、その御声に聞き従うだろう。そして主はあなたの罪を癒し、あなたを憐れみ、再び主があなたをそこに散らしたすべての国々から、あなたを集めるだろう。もしあなたの離散が天の果てから天の果てまでであるならば、そこから主なるあな

たの神はあなたを集め、そこから主なるあなたの神はあなたを連れ戻されるであろう。そして、あなたの神はあなたをそこから、あなたの父たちが相続した地へ連れて行くだろう。そして、あなたはそれを相続するだろう。そして、あなたを幸いにするだろう。そして、あなたをあなたの父たちよりも数多くするだろう。そして主はあなたの心とあなたの子孫の心を徹底的に清め、あなたが心の全てと魂の全てから主あなたの神を愛し、あなたが生きるためである。

そして、あなたの神である主は、これらの呪いを、あなたの敵たち、およびあなたを憎み迫害した者たちの上に下すだろう。そしてあなたは立ち返り、あなたの神、主の声を聞き、私が今日あなたに命じるすべての彼の戒めを行うだろう。そしてあなたの神、主は、あなたの手のすべての業において、あなたの胎の子孫において、あなたの家畜の子孫において、そしてあなたの地の産物において、あなたを祝福するだろう。なぜなら、あなたの神、主は、あなたの父たちを喜ばれたように、良いことのためにあなたを喜ぶために戻られるからである。もしあなたがあなたの神、主の声に聞き従い、この律法の書に書かれている彼の戒めと彼の掟と彼の裁きを守り、もしあなたがあなたの心の全てとあなたの魂の全てをもってあなたの神、主に立ち返るならば。なぜなら、私が今日あなたに命じるこの戒めは、難しすぎるものではなく、またあなたから遠いものでもないからである。それは上の天にあるのではない。誰が私たちのために天に登り、私たちのためにそれを取って来て、私たちがそれを聞いて行うようにするのかと言っているのではない。また海の向こうにあるのでもなく、誰が私たちのために海の向こうへ渡り、それを私たちのために取り、それを私たちに聞こえるようにしてくれるのか、そうすれば私たちは行おうと言うのでもない。その言葉はあなたに非常に近く、あなたの口の中に、あなたの心の中に、そしてあなたの手の中にあり、それを行うためである。

見よ、私は今日、あなたの前に生命と死、善と悪を与えた。もしあなたが、私が今日あなたに命じる、あなたの神である主の戒めを聞き、あなたの神である主を愛し、彼のすべての道を歩み、彼の掟と彼の裁きを守るならば、あなたがたは生き、あなたがたは多くなり、あなたの神である主は、あなたがそこに入って受け継ぐすべての地において、あなたを祝福するであろう。そしてもしあなたの心が離れ去り、聞かず、迷わされて他の神々を拝み、それらに仕えるならば、私は今日あなたに宣言する。あなたたちは破壊によって滅びるだろう。そしてあなたたちは、ヨルダンを渡ってそこでそれを相続するために行くその地の上で、長命にはならないだろう。

私は今日、あなたがたに天と地を証人として呼ぶ。私はあなたがたの前に生命と死、祝福と呪いを置いた。あなたは生命を選べ。そうすればあなたとあなたの子孫は生きるであろう。あなたの神である主を愛し、その声に聞き従い、彼にしがみつきなさい。なぜなら、これがあなたの命であり、あなたの日々を長くするものだからである。それは、主があなたの父祖たちアブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた地に住むためである。

31

そしてモーセは、これらすべての言葉をイスラエルのすべての子らに語り終えた。そして彼らに言った、私は今日百二十歳である。もはや出入りすることができない。しかし主は私に言われた、あなたはこのヨルダンを渡ることはないあなたの神である主、あなたの前を行く方が、これらの諸国民をあなたの前から滅ぼされるであろう。そしてあなたは彼らを相続するであろう。そしてヨシュアがあなたの前を行く、主が語られたように。そしてあなたの神である主は、彼らに対して、ヨルダンの向こうにいたアモリ人の二人の王、シホンとオグに行ったように、また彼らの地に行ったように、彼らを完全に滅ぼしたのと同じように行うだ

ろう。そして主は彼らをあなたがたに引き渡した。あなたがたは、私あなたがたに命じたとおりに彼らに行うであろう。勇敢であれ、そして強くあれ。恐れるな、おじけづくな、彼らの前でおびえるな。なぜなら、主なるあなたの神が、あなたがたと共に、あなたがたの中で先に進まれるからである。神はあなたを離れることなく、あなたを見捨てることもない。そしてモーセはヨシュアを呼び、全イスラエルの前で彼に言った、雄々しくあれ、そして強くあれ。あなたはこの民の前に立って、主が彼らの父たちに与えると誓われた地へ入るであろう。そしてあなたは彼らにそれを相続させるであろう。そして、あなたと共に旅する主は、あなたを放さず、またあなたを見捨てない。恐れるな、また臆病になるな。

そしてモーセはこの律法の言葉を書物に書き、そして主の契約の箱を運ぶレビの息子たちである祭司たちと、イスラエルの息子たちの長老たちに与えた。

そしてモーセはその日に彼らに命じて言った、七年の後、解放の年の時に、仮庵の祭りにおいてすべてのイスラエルが一緒に旅して、あなたがたの神である主の前に現れる時に、主が選ぶその場所で、あなたがたはこの律法をすべてのイスラエルの前で彼らの耳に読むであろう。民を集めて、その男たちと女たちと子孫と、あなたがたの町々にいる寄留者を集めて、彼らが聞き、あなたがたの神、主を恐れることを学び、この律法のすべての言葉を行うことを聞くためである。そして知らない彼らの息子たちは聞き、あなたの神である主を恐れることを学ぶだろう。彼らが生きるすべての日々、あなたたちがヨルダンを渡ってそこで相続するその地の上で。

そして主はモーセに向かって言った、見よ、あなたの死の日々が近づいた。ヨシュアを呼べ、そして証の幕屋の戸のそばに立て、そして私は彼に命じる。そしてモーセとヨシュアは証の幕

屋へと行った、そして証の幕屋の戸のそばに立った。そして主は雲の中に降りて、証の天幕の戸口のそばに立った。そして雲の柱は証の天幕の戸口のそばに立った。そして主はモーセに言われた、見よ、あなたはあなたの父たちと共に眠る。そしてこの民は立ち上がって、彼らが入って行く地の異国の神々を追って姦淫するであろう。そして彼らは私を見捨て、私が彼らと結んだ私の契約を破るであろう。そして私はあの日に怒りをもって彼らに対して怒り、彼らを見捨て、私の顔を彼らから背けるだろう。そして彼は食物となり、多くの悪と苦難が彼を見つけるだろう。そしてあの日に彼は言うだろう、主なる私の神が私の中にいないので、これらの悪が私を見つけたと。しかし私は、あの日に彼らのすべての悪のゆえに、私の顔を彼らから背き去るだろう。なぜなら彼らは異国の神々へ背き去ったからである。

そして今、この歌の言葉を書き、それをイスラエルの子らに教え、それを彼らの口に入れよ。この歌が私のために証しとして、イスラエルの子らの前に立つように。私は彼らを、私が彼らの父たちに与えると誓った良い地、乳と蜜の流れる地へ連れて行くだろう。そして彼らは食べ、満たされて満足するだろう。そして彼らは異国の神々に向きを変え、それらに仕えるだろう。そして彼らは私を挑発し、私の契約を破るだろう。そしてこの歌は彼らの面前で証言するものとして代わりに置かれるだろう。なぜならそれは彼らの口から、また彼らの子孫の口から忘れられることはないからである。私は彼らの邪悪を知っている。彼らが今日ここで行っていることのすべてを。私が彼らを、彼らの父祖たちに誓った良い地へ導き入れる前に。

そしてモーセはこの歌をその日に書き、そしてそれをイスラエルの息子たちに教えた。そして彼はヨシュアに命じて言った、勇気を持て、そして強くあれ。なぜならあなたはイスラエルの子らを、主が彼らに誓われたその地へ導き入れるであろう。そして彼があなたとともにおられるであろう。

そして、モーセがこの律法のすべての言葉を書物に書き終えたとき、そして、主の契約の箱を運ぶレビ人たちに命じて、言った。この律法の書を取って、あなたがたの神、主の契約の箱の側面に置きなさい。そうすれば、それはそこにあって、あなたに対する証しとなるでしょう。なぜなら、私はあなたの反抗心と、あなたの頑なな態度を知っているからである。私がまだあなたたちと共に生きている今日でさえ、あなたたちは神に対して反抗していたのだから、私の死後はなおさらではないか。あなたがたの部族長たち、あなたがたの長老たち、あなたがたの裁判官たち、あなたがたの書記官たちを私のもとに集めよ。私が彼らの耳にこれらすべての言葉を語り、そして彼らに天と地を証人として立てるために。私は知っている。私の死の後、あなたがたは不法に行い、私があなたがたに命じた道から離れるだろう。そして、終わりの日に、悪いことがあなたがたに降りかかるだろう。なぜなら、あなたがたは主の前で邪悪なことを行い、あなたがたの手の働きによって彼を怒らせるからである。

そしてモーセは全集会の耳に、この歌の言葉を終わりまで話した。

32

天よ、注意を払え、そして私は話そう。地よ、私の口からの言葉を聞け。私の言葉は雨のように待たれ、私の言葉たちは露のように降りよ、草の上の雨のように、そして草の上の雪のように。私が主の名を呼んだので、私たちの神に偉大さを帰せよ。神よ、その御業は真実であり、そのすべての道は裁きである。神は忠実であり、不正はなく、主は正しく聖なる方である。彼らは罪を犯した。彼の子供たちではない、非難されるべき者たち、曲がった、そしてねじ曲げられた世代。これらのことを主に報いるのか?このように愚かで賢くない民よ?この方こそがあなたの父であり、あなたを得て、あなたを造り、あなたを形作ったのではな

いか? 永遠の日々を思い出し、代々の年月を理解せよ。あなたの父に尋ねよ、そうすれば彼はあなたに告げるだろう。あなたの長老たちに尋ねよ、そうすれば彼らはあなたに言うだろう。

最も高き方が諸国民を分けたとき、アダムの息子たちを散らしたとき、神の天使たちの数に従って諸国民の境界を定めた。そして主の部分は彼の民ヤコブとなり、彼の相続財産の測られた部分はイスラエルとなった。彼は荒野で、焼けるような暑さの渇きの中で、水のない地で、彼を支えた。彼は彼を囲み、彼を訓練し、そして目の瞳のように彼を守った。鷲が自分の巣を覆うように、そして自分の雛たちの上で切望し、自分の翼を広げて彼らを受け取り、そして自分の背中の上に彼らを取り上げた。主は独りで彼らを導いた、彼らと共に異国の神はいなかった。彼は彼らを地の力の上に引き上げ、彼らに畑の産物を食べさせ、彼らは岩から蜜を吸い、固い岩から油を得た。牛のバターと羊のミルク、子羊と雄羊の脂肪と共に、雄牛の息子たちと山羊、小麦の腎臓の脂肪と共に、そしてぶどうの血であるワインを彼は飲んだ。そしてヤコブは食べて満たされ、愛された者は蹴った。彼は太り、厚くなり、広くなった。そして彼を造った神を見捨て、彼の救い主なる神から離れた。

彼らは異国のものによって私を挑発し、彼らの忌まわしいことによって私を憤らせた。彼らは悪霊たちに犠牲を捧げた、神にではなく、彼らが知らなかった神々に、新しく最近来た神々に、彼らの父たちが知らなかった神々に。あなたを生んだ神をあなたは見捨て、そしてあなたを養う神を忘れた。

そして主は見て、熱心になり、彼の息子たちと娘たちの怒りによって激怒した。そして言った、私は彼らから私の顔を背けるだろう、そして彼らに最後の日々に何が起こるかを示すだろう、なぜなら曲がった世代であるから、彼らの中に信仰がない息子たちである。

彼ら自身は神でないものによって私を嫉妬に駆り立て、彼らの偶像によって私を怒らせた。そして私は国民でないものによって彼らを嫉妬に駆り立て、愚かな国民によって彼らを怒りに駆り立てるだろう。なぜなら火は私の怒りから燃え上がり、下のハデスまで燃えるだろう。地とその産物を食い尽くし、山々の基礎を燃やすだろう。私は彼らに悪を集め、私の矢を彼らとの戦いに費やすだろう。飢饉によって衰弱し、鳥に食われ、不治の破傷風に苦しみ、野獣の歯を私は彼らに送るであろう、地上を引きずる者たちの怒りと共に。外では剣が彼らから子を奪い、倉の中からは恐怖が、若い男も処女も、乳飲み子も老人も共に。私は言った、私は彼らを散らし、人間たちから彼らの記念を絶やすだろう。もし敵たちの怒りによるのであれば、彼らが長引かせないために、敵対者たちが共に攻撃しないために、彼らが私たちの高き手が、主ではなく、これらすべてをなしたと言わないために。

国民は助言を失っており、彼らには知識が存在しない。彼らは理解することを思慮しなかったので、来たる時代にこれらのことを受け入れさせよ。どのようにして一人が千人を追い、二人が万人を退かせることができようか、もし神が彼らを売り渡し、主が彼らを引き渡さなかったならば? なぜなら、彼らの神々は私たちの神のようではなく、私たちの敵は愚かである。なぜなら、彼らのぶどうの木はソドムのぶどうの木から出ており、彼らの枝はゴモラから出ているからである。彼らのぶどうは胆汁のぶどうであり、苦味の房が彼らのものである。彼らのぶどう酒は竜たちの怒りであり、そして毒蛇たちの不治の怒りである。否、見よ、これらは私のもとに集められ、私の宝庫に封印されているではないか? 復讐の日に私は報いる、彼らの足がつかずく時、なぜなら滅びの日が彼らに近づいており、備えられたものがあなたがたに臨んでいる。なぜなら主は御自分の民を裁き、御自分のしもべたちを憐れまれるだろう。彼らが弱められ、襲来の中で力尽き、疲れ果てたのを見たからである。そして主は言われた、彼らが信頼していた彼らの神々はどこにあるのか。あなたがたがその犠牲の脂

肪を食べ、その注酒の葡萄酒を飲んでいた者たちよ、彼らを立ち上がらせ、あなたがたを助けさせ、あなたがたの保護者とならせよ。見よ見よ、わたしこそがあり、わたしの他に神はいない。わたしは殺し、生かし、打ち、そしてわたしは癒す。わたしの手から救い出す者はいない。なぜなら私は天へ私の手を上げ、私の右手にかけて誓い、そして言うだろう、私は永遠に生きると、なぜなら、私は稲妻のように私の剣を研ぎ、私の手は裁きを握り、私は敵たちに罰を返し、私を憎む者たちに報いるだろう。私は私の矢を血で酔わせ、私の剣は負傷者の血と捕囚の肉を食べるだろう、敵の支配者たちの頭から。

天よ、彼と共に喜べ。そして神のすべての天使たちよ、彼を礼拝せよ。諸国民よ、彼の民と共に喜べ。そして神のすべての子らよ、彼によって強められよ。なぜなら、彼の子らの血は復讐されるからである。そして復讐し、敵たちに罰を報い、憎む者たちに報いる。そして主は彼の民の地を清める。

そしてモーセはあの日にこの歌を書き、それをイスラエルの子らに教えた。そしてモーセは入り、この律法のすべての言葉を民の耳に語った、彼自身とヌンの子ヨシュアが。そしてモーセはすべてのイスラエルに話すことを完了した。そして彼らに向かって言った、これらすべての言葉に心を留めなさい。それらは私が今日あなたたちに証言するものであり、あなたたちは自分の息子たちに命じて、この律法のすべての言葉を守り行わせなければならない。なぜなら、この言葉はあなたがたにとって空しいものではないからである。なぜなら、これはあなたがたの命であり、そして、この言葉のゆえに、あなたがたはその地の上で長く生きるであろう。その地へあなたがたはヨルダンを渡って、そこで相続するために行くのである。そして主はこの日にモーセに向かって話し、言った、アバリムの山、すなわちモアブの地にあつてエリコに面するナバウ山に登り、カナンの地を見よ。それを私はイスラエルの子らに与える。そして、あなたがそこに登るその山で死

に、あなたの民に加えられよ。あなたの兄弟アロンがホル山で死に、彼の民に加えられたのと同じように。あなたがたがイスラエルの民の中で、シンの荒野のカデシュにある争いの水のところで、私の言葉に従わず、イスラエルの民の中で私を聖なる者としなかったからである。あなたは向かい側にその地を見るだろう、しかしそこには入らないだろう。

33

そしてこれは、神の人モーセが彼の死の前にイスラエルの息子たちを祝福した祝福である。そして言った、主はシナイから来られ、セイルから我々に現れ、パランの山から急ぎ来られた。カデシュの無数と共に、彼の右には天使たちが彼と共にいる。そして彼は自分の民を惜しみ、あなたの手によって聖別された者たち全員、これらの者たちはあなたのもとにあり、彼の言葉を受け入れた。モーセが私たちに命じた法は、ヤコブの会衆たちへの相続である。そして、愛された者の中に支配者がいるであろう、民たちの支配者たちがイスラエルの部族たちと共に集められた時。ルベンよ生きよ、そして死ぬことなく、その数において多くあれ。

そしてこれはユダについてである。主よ、ユダの声を聞いてください。そしてあなたが彼の民のもとに来られますように。彼の手が彼のために区別し、そしてあなたは敵たちからの助け者となるでしょう。

そして、レビに言った、レビに彼の明確な印と彼の真理を、聖なる者に与えよ。彼らは試練において彼を試し、争いの水のところで彼を罵った。父と母にあなたを見たことがないと言い、自分の兄弟たちを認めず、自分の息子たちを見捨てた者は、あなたの言葉を守り、あなたの契約を保った。彼らはあなたの法令をヤコブに宣言し、あなたの律法をイスラエルに宣言するであろう。彼らはあなたの怒りに対して絶えず香をあなたの祭壇の上に置く

であろう。主よ、彼の力を祝福し、彼の手の業を受け入れてください。彼に立ち向かった敵の腰を打ち砕き、彼を憎む者たちを立ち上がらせないでください。そしてベニヤミンに言った、主に愛された者は信頼して住むであろう、神は彼の上に全ての日々覆い、そして彼の肩の間に休ませた。

そしてヨセフに言った、主の祝福により彼の地は、天の季節から、そして露、そして下からの深淵の泉から祝福される。そして産物の季節に従う太陽の転回、そして月の会合から、山々の頂きの始まりから、そして永遠なる丘々の頂きから地の満ちる時に従って、茨の中に現れた方に受け入れられるものが、ヨセフの頭の上に来ますように。また、兄弟たちの間で栄光を受けた者の頂の上に。初子の雄牛の美しさは彼のものであり、一角獣の角は彼の角である。それらによって国々を同時に突き刺すであろう、地の果てまで。これらはエフライムの万であり、これらはマナセの千である。そしてゼブルンに言った、ゼブルンよ、あなたの出発において喜べ、そしてイッサカルよ、彼の天幕において喜べ。諸国は滅ぼされるだろう、そしてあなたたちはそこで呼び、そこで正義の犠牲を捧げるだろう。なぜなら海の富があなたを育て、沿岸に住む者たちの交易があるからである。

そして、ガドに言った。祝福されよ、ガドを拡大する者。ライオンのように休み、腕と支配者を砕いた。そして彼は自分の初穂を見た。なぜならそこで、集められた支配者たちと民族の指導者たちと共に、地が分けられたからである。主は義を行い、イスラエルと共に御自分の裁きを行った。

そして、ダンに言った。ダンはライオンの子であり、バシャンから跳び出すだろう。そしてナフタリに言った、ナフタリは受け入れられるものに満ち足り、主からの祝福で満たされよ。海と南を相続するであろう。そしてアシェルに言った、アシェルは子供たちから祝福され、そして彼の兄弟たちに受け入れられるだろう。

う、彼は油に彼の足を浸すだろう。鉄と青銅が彼のサンダルとなり、あなたの日々のように、あなたの力もあるだろう。

愛された者の神のような方はいません。その方は天を踏み、あなたの助け手であり、大空の壮麗な方です。そして神の初めがあなたを覆い、永遠の御腕の力によって、あなたの前から敵を追ひ払い、滅びよと言われるだろう。そしてイスラエルは信頼して、ヤコブの地に一人で住むだろう。穀物とぶどう酒の上に、そして天はあなたに露で曇るだろう。祝福されたあなた、イスラエルよ。主によって救われる民として、誰があなたに似ているだろうか。あなたの助け手が守り、剣があなたの誇りとなる。あなたの敵たちはあなたに偽りを言い、あなたは彼らの首を踏むだろう。

34

そしてモーセはモアブのアラボスから、イエリコの前にあるファスガの頂上、ナバウ山に登った。そして主は彼にギラアドからダンまでのすべての地を示した。そしてナフタリのすべての地、そしてエフライムのすべての地、そしてマナセ、そしてユダのすべての地を最も遠い海まで、そしてその荒野、そしてエリコの周辺地域、ヤシの木の町を、ツォアルまで。そして主はモーセに言われた、これは私がアブラハムとイサクとヤコブに誓った地である。あなたがたの子孫にこれを与えると行って誓ったのである。そして私はあなたの目にそれを示した。しかしあなたはそこに入ることはない。

そしてモーセ、主の僕は、主の言葉によってモアブの地で死んだ。そして彼らは彼をフォゴールの家の近くのガイに埋葬した。そして誰も彼の埋葬を見なかった、この日まで。モーセは死ぬ時に百二十歳であったが、彼の目は曇らされず、彼の亀も衰えなかった。

そしてイスラエルの子らは、エリコに近いヨルダンのほとりのモアブのアラボスで、モーセのために三十日間泣いた。そしてモーセのための嘆きと泣きの日々は終わった。そしてナウエの子イエスは理解の霊で満たされた。なぜならモーセスが彼の上に手を置いたからである。そしてイスラエルの子らは彼の言うことを聞き、主がモーセスに命じたとおりに行った。

そして、イスラエルにはモーセのような預言者はもはや現れなかった。主が顔と顔を合わせて知った者である。すべてのしるしと不思議なわざにおいて、主が彼を遣わしてエジプトの地でファラオと彼の従者たちと彼のすべての地においてそれらを行わせたことにおいて、その偉大な驚異と、その力強い御手を、モーセがすべてのイスラエルの前で行った。

ヨシュア記

1

そしてモーセの死の後、主はモーセの助手であるヌンの子ヨシュアに言われた、私の助手モーセは死んだ。だから今、立ち上がってヨルダンを渡れ、あなたとこのすべての民は、私が彼らに与える地へ。あなたがたがその足の裏で踏むすべての場所を、私がモーセに言ったように、あなたがたに与えるだろう。その荒野とアンティレバノンと、その大きな川、エウフラテス川まで、そして太陽の西からその最果ての海まで、あなたがたの境界となるであろう。あなたの生涯のすべての日々において、あなたの前に立ち向かう者はいないだろう。そして、ちょうど私がモーセと共にいたように、私はあなたと共にいるだろう。私はあなたを見捨てず、見過ごすこともない。強くあれ、そして雄々しくあれ。なぜなら、あなたはこの民に、私が彼らの父祖たちに与えると誓ったその地を分け与えるからである。それゆえ強くあれ、そして勇敢であれ。私の僕モーセがあなたに命じたことを守り、行うように。そしてあなたはそれらから右にも左にも曲がってはならない。それはあなたが行うすべてのことにおいて繁栄するためである。そしてこの律法の書はあなたの口から離れることはなく、あなたは昼も夜もそれを黙想し、書かれたすべてのことを行うことを知るであろう。そのときあなたは栄え、あなたの道を栄えさせるであろう。そのときあなたは理解するであろう。見よ、わたしはあなたに命じた。強くあれ、そして雄々しくあれ。恐れるな、また怖がるな。なぜなら、あなたの神、主が、あなたの行くすべての所で、あなたと共にいるからである。そしてヨシュアは民の書記たちに命じて言った。民の陣営の真ん中に入り、民に命じて言いなさい、食糧を準備せよ。なぜならまだ三日あり、あなたがたはこのヨルダンを渡って入り、あなたがたの父たちの神である主があなたがたに与える地を掴むためである。

そしてルベンに、そしてガドに、そしてマナセ部族の半分に、ヨシュアは言った、主の僕モーセがあなたがたに命じた言葉を思い出しなさい。彼は言った、あなたがたの神、主があなたがたを休ませ、そしてあなたがたにこの地を与えたと。あなたたちの妻たちと、あなたたちの子供たちと、あなたたちの家畜は、彼があなたたちに与えた地に住ませよ。しかし、あなたたちは武装して、あなたたちの兄弟たちより先に渡り、強い者は皆、彼らを助けるであろう。主である私たちの神が、あなたがたと同じように、あなたがたの兄弟たちを休ませ、そして彼らもまた、主である私たちの神が彼らに与える地を相続するまで、あなたがたは各々、モーセがヨルダンの向こう側、太陽の昇る東の方であなたがたに与えた自分の相続地へと帰るであろう。そして彼らはヨシュアに答えて言った、あなたが私たちに命じるすべてのことを、私たちは行います。そしてあなたが私たちを送るすべての場所へ、私たちは行きます。私たちがモーセに聞いたすべてのことに従って、私たちはあなたに聞き従うだろう。ただし、主なる私たちの神が、モーセと共におられたように、あなたと共におられますように。しかし、あなたに従わない者、また、あなたが命じるあなたの言葉を聞かない者は誰でも、死なせよ。ただし、強くあれ、そして勇敢であれ。

2

そして、ヌンの息子ヨシュアは、シッティムから二人の若い男たちを偵察のために送り、言った、上って行き、その地とエリコを見よ。そして、その二人の若い男たちは行って、エリコに入り、ラハブという名の遊女の家に入った。そして、彼らはそこに宿泊した。

そして、エリコの王に報告された、イスラエルの子らの男たちがこの地を偵察するためにここに入りましたと言って。そしてエリコの王は使いを送り、ラハブに向かって言った、今夜あなた

の家に入った男たちを連れ出せ。というのは彼らはその地を偵察するために来たのだから、そして女は二人の男たちを連れて彼らを隠し、彼らに言った、男たちが私のところに来ましたと。門が暗闇の中で閉じられていた時、男たちは出て行った。私は彼らがどこへ行ったか知らない。彼らの後を追え。そうすれば追いつけるかもしれない。しかし、この女は彼らを屋根の上に連れて行き、屋根の上に積み重ねられた亜麻の茎の中に彼らを隠した。そして男たちは彼らの後を追って、ヨルダンへの道の渡し場まで追跡し、門は閉じられた。

追跡者たちが彼らの後を追って出て行ったとき、そして彼らが眠る前に、この女は屋根の上の彼らのところへ上がった。そして彼らに言った、私は知っています、主があなたがたにこの地を与えられたことを。なぜなら、あなたがたへの恐れが私たちに降りかかったからです。私たちは聞きました、主なる神が、あなたがたがエジプトの地から出て行ったとき、あなたがたの前で紅海を干上がらせたこと、そして、ヨルダンの向こう側にいたアモリ人の二人の王、シホンとオグに、彼が行ったすべてのこと、あなたがたが彼らを滅ぼしたことを。そして私たちはそれを聞いて心に驚き、もはや私たちの誰の中にも、あなたたちの前で霊は立たなくなった。なぜならあなたたちの主なる神は、上の天と下の地における神だからである。そして今、私に主なる神にかけて誓ってください。私があなたたちに憐れみを施すので、あなたたちもまた私の父の家に憐れみを施してください。そして、私の父の家、私の母、私の兄弟たち、私のすべての家、そして彼らに属するすべてのものを生かしておいてください。そして、私の魂を死から救い出してください。

そしてその男たちは彼女に言った、私たちの魂はあなたたちの代わりに死へと、そして彼女は言った、主があなたたちにその町を引き渡す時、あなたたちは私に憐れみと真実を行うでしょう。そして彼らをその窓から降ろした。そして彼は彼らに言っ

た、その山がちの地へ行きなさい、追跡者たちがあなたたち不会ないように。そしてそこに三日間隠れなさい、追跡者たちがあなたたちの後ろから戻るまで。その後、あなたたちは自分の道へ行くだろう。

そして男たちは彼女に向かって言った、私たちはあなたのこの誓いに対して無罪である。見よ、私たちは都市の一部に入っていく。あなたはこのしるし、この緋色の綱を、私たちをそれを通して降ろした窓に垂らしなさい。そしてあなたの父、あなたの母、あなたの兄弟たち、そしてあなたの父の家のすべてを、あなたの家のあなた自身のもとへ集めなさい。そして、あなたの家の戸を出て外へ行く者は皆、自分自身に対して有罪となるだろう。しかし我々は、あなたのこの誓いに対して無罪である。そして、あなたの家の中であなたと共にいる者たちについては、我々が有罪となるだろう。もし誰かが私たちを害するか、あるいは私たちのこれらの言葉を明らかにするならば、私たちはあなたのこの誓いに対して無罪であろう。そして彼は彼らに言った、あなたがたの言葉の通りにせよ。そして彼は彼らを送り出し、彼らは去って行った。そして彼らは山地へ来て、そこに三日間留まった。そして追跡している者たちはすべての道を探し出したが、見つけなかった。

そして二人の若者たちは戻り、山から下り、ヌンの子ヨシュアのもとへ渡って行き、彼らに起こったすべての出来事を彼に語った。そして彼らはイエスに言った、主が私たちの手にすべての地を引き渡されました。あの地に住んでいるすべての者が私たちの前に恐れおののいています。

3

そしてヨシュアは朝早く起き、シッティムから出発した。そして彼らはヨルダンまで来て、渡る前にそこに宿泊した。そして

三日の後、書記官たちが陣営を通り抜けた。そして彼らは民に命じて言った、あなたがたが私たちの神である主の契約の箱と、それを運んでいる私たちの祭司たちとレビ人たちを見るとき、あなたがたは自分たちの場所から出発し、その後ろに従って行きなさい。しかし、あなたがたとあれの間に遠く離れていなさい。二千キュビトほど立ちなさい。これに近づいてはならない。それは、あなたがたが行くべき道を知るためである。なぜなら、あなたがたは昨日や一昨日からその道を行ったことがないからである。

そして、ヨシュアは民に言った、明日のために身を清めなさい。なぜなら、明日、主があなたがたの中で驚くべき業を行われるからである。そしてヨシュアは祭司たちに言った、主の契約の箱を持ち上げて、民の先に進めと。そして祭司たちは主の契約の箱を持ち上げて、民の前を行った。そして主はヨシュアに言われた、この日に私はあなたをすべてのイスラエルの子らの前で高め始める。それは彼らが知るためである、私がモーセと共にいたように、そのように私はあなたと共にいるであろうことを。そして今、契約の箱を運ぶ祭司たちに命じて、言え、あなたがたがヨルダンの水の端に入ったならば、ヨルダンの中に立て。

そしてヨシュアはイスラエルの息子たちに言った、ここに近づき、私たちの神、主の言葉を聞け。このことによって、あなたがたは知るであろう。生ける神があなたがたの中におられ、私たちの前からカナン人、ヘテ人、ペリジ人、ヒビ人、アモリ人、ギルガシ人、エブス人を必ず滅ぼされることを。見よ、全地の主の契約の箱がヨルダン川を渡る。あなたがたはイスラエルの息子たちから十二人の男たちを選びなさい、それぞれの部族から一人ずつ。そして、全地の主の契約の箱を運んでいる祭司たちの足がヨルダンの水に止まるとき、ヨルダンの水は絶え、下って来る水は立ち止まるだろう。

そして民は彼らの天幕から出発してヨルダンを渡るために進み、祭司たちは主の契約の箱を民の前に運んだ。そして、契約の箱を運んでいる祭司たちがヨルダン川に入って行き、主の契約の箱を運んでいる祭司たちの足がヨルダン川の水の一部に浸されたとき、ヨルダン川は小麦の収穫の時期のように、その土手全体にわたって満ちていた。そして上から下降していた水たちは立ち止まり、一つの凝固した塊となって非常に遠く離れて立ち、カリアティアリムの地域まで達した。しかし下降していた水は、アラバの海、塩の海へと下り、終わりまで流れて止んだ。そして民はエリコの向かい側に立っていた。そして、主の契約の箱を運んでいる祭司たちは、ヨルダン川の真ん中の乾いた地の上に立った。そして、イスラエルのすべての子らは乾いた地を通して渡っていた、すべての民がヨルダン川を渡り終えるまで。

4

そして、全ての民がヨルダンを渡り終えた時、主はヨシュアに言われた、人々の中から男たちを、それぞれの部族から一人ずつ取った後彼らに命令せよ。ヨルダン川の真ん中から準備された十二の石を取り上げ、これらをあなたがたと共に運び渡し、その夜野営する場所のあなたがたの陣営にそれらを置け。

そしてヨシュアは、イスラエルの息子たちの中から名誉ある十二人の男たちを、各部族から一人ずつ召喚した。彼は彼らに言った、主の御前、私の前に、ヨルダンの真ん中へ進み出なさい。そしてそこから各々石を取り上げ、イスラエルの十二部族の数に従って、その肩の上に担ぎなさい。これらがあなたがたにとって絶えず置かれたしるしとして存在するように、そしてあなたの息子が明日あなたに尋ねてこれらの石は私たちににとって何ですかと言う時のために。そしてあなたは、あなたの息子に告げるだろう、こう言いながら、全地の主の契約の箱の前からヨルダン川が

止まった、それが渡っていた時に。そしてこれらの石は、イスラエルの子らにとって、永遠に記念となるだろう。

そしてイスラエルの子らは、主がヨシュアに命じられたように、このように行った。そして彼らは、イスラエルの子らの渡りが完了した時に主がヨシュアに命じられたように、ヨルダン川の真ん中から十二の石を取り上げた。そして彼らはそれらを自分たちと一緒に陣営へ運び、そこに置いた。ヨシュアはまた、ヨルダン川の中に、主の契約の箱を運んでいる祭司たちの足の下になった場所に、他の十二の石を立てた。そしてそれらは今日までそこにある。

しかし、契約の箱を運んでいる祭司たちは、主が民に告げるよう命じたすべてのことをヨシュアが完了するまで、ヨルダンの中に立っていた。そして民は急いで渡った。そしてすべての民が渡り終えたとき、主の契約の箱と石たちが彼らの前を渡った。そしてルベンの息子たち、ガドの息子たち、そしてマナセ部族の半分が、イスラエルの息子たちの前に準備されて渡った、ちょうどモーセが彼らに命じたように。四万の武装した者たちが主の前で戦いのために渡り、エリコの町へ向かって戦争に進んだ。その日に、主はイスラエルのすべての民の前でヨシュアを大いなる者とされた。そして彼らは、モーセを恐れたように、彼が生きの間ずっと彼を恐れた。

そして主はヨシュアに言われた、主の証しの契約の箱を運ぶ祭司たちに、ヨルダンから出るように命じよ。そしてヨシュアは祭司たちに命じて言った、ヨルダンから出て来なさい。そして、主の契約の箱を運んでいる祭司たちがヨルダンから上陸し、その足を地の上に置いたとき、ヨルダンの水は元の場所に突進し、以前のように、土手全体にわたって流れた。

そして人々は第一の月の十日にヨルダンから上がり、イスラエルの子らはエリコから東の方角のギルガルに宿営した。そして、ヨシュアはヨルダンから取ったこれら十二の石をギルガルに立てた。あなたたちの息子たちがこれらの石は何ですかと尋ねる時と言ってあなたがたの息子たちに告げよ、イスラエルがこのヨルダン川を乾いた地の上を渡ったことを。我らの神である主がヨルダンの水を彼らの前から乾かして彼らが渡るまでにされたのは、ちょうど我らの神である主が紅海を我らの前で乾かして我らが通り過ぎるまでにされたのと同じように、地のすべての諸国民が、主の力が強いことを知るように、そしてあなたがたが、すべての業において私たちの神である主を崇拝するように。

5

そして、ヨルダンの向こう側にいたアモリ人の王たちと、海のそばにいたフェニキアの王たちが、主なる神がイスラエルの子らが渡るときにヨルダン川を彼らの前で乾かしたということを聞いたとき、彼らの心は溶け、恐怖に打たれ、イスラエルの子らの前に彼らには何の思慮もなかった。

そしてこの時に、主はヨシュアに言った、鋭い岩から石の剣をあなた自身のために作れ、そして座って、イスラエルの息子たちに二度目の割礼を施せ。そしてヨシュアは鋭い石の剣を作り、そして呼ばれた場所、包皮の丘の上でイスラエルの息子たちに割礼した。しかしヨシュアがイスラエルの子らを清めた方法は、道中で生まれた者たち全員と、エジプトから出て来た者たちのうち割礼を受けていなかった者たち全員についてであった。ヨシュアはこれらすべての者に割礼を施した、なぜならイスラエルは四十二年間マバダリティドの荒野でさまよったからである。それゆえ、エジプトの地から出て来た戦士たちの大部分は割礼を受けていなかった。彼らは神の戒めに従わなかった者たちであり、主が彼らの父祖たちに与えると誓われた地、乳と蜜の流れる地を見る

ことがないように、神は彼らに対して定められた。しかし、これらの代わりに彼は彼らの息子たちを代わりに立て、ヨシュアは彼らに割礼を施した。なぜなら彼らが道中で割礼を受けずに生まれたからである。割礼を受けた後、彼らは陣営の中でそこに座って静かにしていた、癒されるまで。そして主はヌンの子ヨシュアに言った、今日、わたしはエジプトの非難をあなたたちから取り除いたと。そして彼はその場所の名をギルガルと呼んだ。

そして、イスラエルの息子たちは、その月の第十四日の夕方から、エリコの西、ヨルダンの向こう側の平野で過越祭を行った。そして彼らはその地の穀物から種なしパンと新しいものを食べた。この日に、彼らがその地の穀物を食べた後、マナは絶えた。そしてもはやイスラエルの子らにマナは存在しなくなった。しかし彼らはその年、ヤシの木々の地を収穫した。

そしてヨシュアがエリコにいたとき、こうなった。目を上げて見ると、彼の前に一人の人が立っているのを見た。その手には剣が抜かれていた。ヨシュアは近づいて彼に言った、あなたは我々の者か、それとも敵の者か。しかし彼は彼に言った、私は主の軍勢の司令官である。今到着した。そしてヨシュアは地に顔を伏せて倒れ、彼に言った、主人よ、あなたの僕に何を命じられますか。そして主の司令官はヨシュアに言った、あなたの足から履物を脱げ。なぜなら、あなたが今立っているその場所は聖なるものだからである。

6

そしてエリコは閉ざされ、要塞化されており、誰もそこから出て行かず、誰も入って行かなかった。そして主はヨシュアに言われた、見よ、私はエリコとその王、そしてその中にいる力ある勇士たちをあなたの手に渡す。あなたはこれの周りに戦士たちを配置せよ。そして、あなたがたがラッパを吹くとき、すべての民

を同時に叫ばせよ。彼らが叫んだとき、その町の城壁は自然に倒れるだろう。そしてすべての民は、各々が真正面から突進して、その町に入るだろう。

そしてヌンの子ヨシュアは祭司たちのもとへ入った。そして彼は彼らに言った、民に命令せよ、回って町を囲むように。そして戦士たちは武装して主の前を行進させよ。そして七人の祭司たちが七つの神聖なラッパを持って、同様に主の前を通過させよ。そして力強く合図させよ。そして主の契約の箱が後に続かせよ。しかし、戦士たちは前に行進させよ、そして祭司たちは主の契約の箱の後ろで後衛し、ラッパを吹きながら進ませよ。しかし、ヨシュアは人々に命じて言った、叫ぶな。また、彼自身が叫ぶべき日を告げるまでは、誰もあなたがたの声を聞かせてはならない。そしてその時、あなたがたは叫ぶであろう。そして神の契約の箱は周りを回り、直ちに陣営へ去り、そしてそこで眠った。

そして二日目に、ヨシュアは朝早く起き上がり、祭司たちは主の契約の箱を取り上げた。そして七本のラッパを運んでいる七人の祭司たちが主の前を進んでいた。そしてこれらの後に戦士たちが入っていた。そして残りの群衆が主の契約の箱の後ろにいた。祭司たちはラッパを鳴らし、残りの群衆全てが都市を近くから六回囲み、再び陣営へ去った。このように六日間行った。

そして七日目に、彼らは夜明けに起き上がり、その日、七回その町を行進した。そして七回目の周回のときに祭司たちがラッパを吹き鳴らした、そしてヨシュアはイスラエルの子らに言った、叫べ、なぜなら主があなたたちにその都市を引き渡したからである。そしてその都市は呪われたものとなるだろう。これとその中にあるすべてのものは万軍の主のものである。ただし遊女ラハブは生かしておけ。彼女と彼女の家の中にあるすべてのものを。しかしあなたがたは、その奉納物から非常に身を守らなければならない。さもないと、あなたがた自身が考えて、その奉納物

から取り、イスラエルの子らの陣営を呪われたものとし、私たちを滅ぼすことになる。そして全ての銀または金、または青銅または鉄は、主に対して聖なるものとなり、主の宝物庫に運び込まれるであろう。

そして祭司たちがラッパを鳴らした。そして民がそのラッパの音を聞いたとき、すべての民が同時に大きく強い雄叫びをあげて叫んだ。そして城壁がすべて周りに倒れた。そしてすべての民がその町へ上がった。そしてヨシュアはそれを奉納し、その都市にあったすべてのものの、男から女まで、若者から老人まで、そして子牛と荷役獣までを、剣の刃によって滅ぼした。

そして偵察した二人の若い男たちにヨシュアは言った、その女の家に入り、そして彼女をそこから連れ出せ、そして彼女に属するすべてのものも。そして、町を偵察した二人の若者たちは、その女の家に入り、遊女ラハブと彼女の父、彼女の母、彼女の兄弟たち、彼女の親族、そして彼女に属するすべてのものを連れ出し、彼女をイスラエルの陣営の外に置いた。そして、その都市は火で焼かれ、その中のすべてのものと共に焼かれた。ただし、銀と金と青銅と鉄は除かれ、それらは主の宝物庫に運び込まれるために与えられた。

ヨシュアは遊女ラハブと彼女の父方の家族全員を生かし、イスラエルの中に住ませた。今日に至るまで、なぜなら彼女はヨシュアがエリコを偵察するために送った偵察者たちを隠したからである。そしてヨシュアはその日、主の前で誓わせて言った、呪われよ、その都市を建てる者は。彼は長子を犠牲にしてその基礎を据え、最も若い子を犠牲にしてその門を立てるであろう。そしてこのようにベテル出身のウザンは行った。長子アビロンを犠牲にしてその基礎を据え、救われた最も若い子を犠牲にしてその門を立てた。

そして主はヨシュアと共におられ、彼の名はすべての地に広まった。

7

そしてイスラエルの子らは大きな違反を犯し、奉納物から横領した。ユダ部族のゼラの子ザムブリの子カルミの子アカルが奉納物から取ったのである。そして主は怒りをもってイスラエルの子らに対して憤られた。

そしてヨシュアは男たちをガイへ送った。それはベテルの近くにある。彼は言った、そのガイを偵察せよ。そして男たちは上がって、ガイを偵察した。そして彼らはヨシュアのもとに戻り、彼に言った。すべての民を上がらせてはなりません。およそ二千か三千の男たちを上がらせて、町を包囲させてください。すべての民をそこに連れて上がってはなりません。彼らは少ないのですから。そして約三千人の男たちが上って行ったが、彼らはガイの男たちの前から逃げた。そしてガイの男たちは彼らのうちから三十六人の男たちを殺し、門から彼らを追跡し、下り坂で彼らを打ち碎いた。そして民の心は恐れおののき、水のようになった。

そしてヨシュアは自分の衣を引き裂き、主の前に地にひれ伏して夕方まで倒れていた。彼自身とイスラエルの長老たちは、彼らの頭の上に塵をかぶった。そしてヨシュアは言った、主よ、私は懇願します、なぜあなたの僕はこの民をヨルダンを渡らせて、彼をアモリ人に引き渡し、私たちを滅ぼすためだったのですか。もし私たちがヨルダンのそばに留まって定住していたならば。そして、イスラエルがその敵の前で首を背けたのに、私は何を言おうか。そしてカナン人が聞いて、その地に住んでいるすべての者たちが私たちを囲み、私たちをその地から滅ぼすでしょう。そしてあなたはあなたの大いなる名をどうなさるのですか？

そして主はヨシュアに言った、起きよ、なぜあなたはこのようにあなたの顔の上に倒れているのか。民は罪を犯し、私が彼らと立てた契約に違反した。奉納物から盗み、それを彼らの器の中に入れた。イスラエルの子らは敵の前に立ち向かうことができず、敵の前で背を向けて逃げるであろう。なぜなら彼らは呪われたものとなったからである。もしあなたがたが自分たちの中から呪われたものを取り除かないなら、私はもはやあなたがたと共にいない。立ち上がって民を聖別せよ、そして明日聖別されるように言え。イスラエルの神、主はこれらのことを言われる。呪われたものがあなたがたの中にある。あなたがたの中から呪われたものを取り除くまで、あなたがたは敵の前に立ち向かうことができないであろう。そしてあなたがたは皆、朝に部族ごとに集められるであろう。そして主が示される部族を、あなたがたは氏族ごとに連れて来るであろう。そして主が示される氏族を、あなたがたは家ごとに連れて来るであろう。そして主が受け取られる家を、あなたがたは人ごとに連れて来るであろう。そして示される者は火で焼かれるだろう、そして彼に属する全てのものも、なぜなら彼は主の契約に違反し、イスラエルにおいて不法を行ったからである。

そしてヨシュアは早く起き上がり、民を部族ごとに近づけた。そしてユダの部族が示された。そして氏族ごとに連れて来られ、ゼラフの民が示された。そして男ごとに連れて来られ、そしてアカルが示された。ザンブリの息子、ザラの息子である。

そしてヨシュアはアカルに言った、今日、イスラエルの主なる神に栄光を帰し、告白をし、あなたが何をしたか私に告げなさい、そして私から隠してはならない。そして、アカルはヨシュアに答えて言った、真に私はイスラエルの神、主の前に罪を犯しました。このように、このように私は行いました。私は略奪品の中に、多彩な裸の外套と、銀二百ディドラクマと、金の舌一つ五十ディドラクモンを見た。そしてそれらを欲しいと思い、私は取っ

た。そして見よ、それらは私の天幕の中に隠されており、銀はそれらの下に隠されている。そしてヨシュアは使者たちを送り、彼らは陣営の天幕の中へ走った。そしてこれらは彼の天幕の中に隠されていた。そして銀はそれらの下にあった。そして彼らはそれらを天幕から持ち出し、ヨシュアとイスラエルの長老たちのもとへ持って来て、主の前にそれらを置いた。

そしてヨシュアはゼラの息子アカルを取り、彼をアコルの谷へ連れて行った。そして彼の息子たち、彼の娘たち、彼の子牛たち、彼の荷役獣たち、彼のすべての羊たち、彼の天幕、彼のすべての所有物を連れて行き、すべての民が彼と共にいた。そして彼らをエメクアコルへ連れて行った。そしてヨシュアはアカルに言った、なぜあなたは私たちを滅ぼしたのか?主が今日あなたを滅ぼすように。そして全イスラエルは彼を石で石打ちし、彼の上に大きな石の山を立てた。そして主の憤りの怒りは止んだ。このゆえに彼はそれをエメカコルと名付けた、この日まで。

8

そして主はヨシュアに向かって言った、恐れるな、また臆するな。あなたと共にすべての戦士たちを連れて、立ち上がってガイへ上れ。見よ、わたしはガイの王と彼の地をあなたの手に与えた。そしてあなたはガイを、あなたがイェリコにしたのと同じ方法で扱うだろう。そしてその王を、そして家畜の略奪品をあなた自身のために略奪するだろう。しかしあなた自身のために町の後方に待ち伏せを設置せよ。

そしてヨシュアとすべての戦士である民が立ち上がり、ガイへ上って行くようにした。しかしヨシュアは力において強い三万人の男たちを選び、そして夜に彼らを送った。そして彼は彼らに命じて言った、あなたたちはその町の後ろに待ち伏せしなさい。その町から遠く離れてはならない。そしてあなたたちは皆、準備

ができてるようにしなさい。そして私と私と共にいるすべての者たちは町に向かって近づくだろう。そしてガイに住んでいる者たちが、ちょうどこの前のように、私たちに会うために出て来る時、私たちは彼らの前から逃げるだろう。そして彼らが私たちの後を追って出て来たら、私たちは彼らを都市から引き離すだろう。そして彼らは言うだろう、これらの者たちは私たちから逃げる、前と同じ方法でと。あなたたちは待ち伏せから立ち上がり、その町へ行くだろう。この言葉に従ってあなたがたは行いなさい。見よ、私はあなたがたに命じたのである。そしてヨシュアは彼らを送り、彼らは待ち伏せの場所へ行き、ベテルとアイの間、アイの西側に陣取った。

そしてヨシュアは朝早く起きて民を訪れた。そして彼と長老たちは民の先頭に立ってガイへ上って行った。そしてすべての民、その戦士たちは彼とともに上って行き、進みながら東から都市の向かいに来た。そして、海からの都市の待ち伏せ。ガイの王が見たとき、急いで出て行き、彼らと会うためにまっすぐに戦いへ向かった。彼自身と彼と共にいるすべての民が向かった。しかし彼は、待ち伏せが町の後ろに彼のために設けられていることを知らなかった。そして見ると、ヨシュアとイスラエルは彼らの前から退いた。そして彼らはイスラエルの息子たちの後を追跡し、そして彼ら自身は町から離れた。ガイには誰一人残されなかった。イスラエルの後を追わなかった者はいなかった。そして彼らは都市を開いたまま残し、イスラエルの後を追った。

そして主はヨシュアに言った、あなたの手にある槍であなたの手をその町に向かって伸ばせ、なぜなら私はそれをあなたの手に引き渡したからである、そして伏兵は速やかに彼らの場所から立ち上がるであろう。そしてヨシュアは彼の手を槍とともにその町に向かって伸ばした、そして伏兵は速やかに彼らの場所から立ち上がり、彼が手を伸ばした時に出て行き、その都市に入り、それを捕らえ、急いでその都市を火で燃やした。そしてガイの住民

たちが彼らの後ろを振り返って見ると、煙がその都市から天へ上っているのを見た。そして彼らはもはやここへもあそこへも逃げる場所を持っていなかった。ヨシュアと全イスラエルは、伏兵が町を取ったこと、そして町の煙が天へ上がったのを見た。そして向きを変えて、ガイの男たちを打った。そしてこれらの者は都市から出て行き迎え撃つために向かい、陣営の間に挟まれた。これらの者はこちら側から、そしてこれらの者はあちら側から、彼らを打ち、生存者も逃亡者も一人も残らないまでにした。そして、彼らはガイの王を生きたまま捕らえ、彼をヨシュアのもとへ連れて来た。

そしてイスラエルの息子たちがガイにいるすべての者、平野にいる者、そして彼らがそこから終わりまで追跡した下りの山にいる者を殺すことを止めたとき、ヨシュアはガイに戻り、剣の刃でそれを打った。そしてその日に倒れた者たちは、男から女まで、十二千人となった、ガイに住んでいる者すべてであった。ただし、その都市の中の戦利品のすべてを、イスラエルの子らは主の命令によって自分たちのために略奪した、主がヨシュアに命じた通りに。

そしてヨシュアはその都市を火で焼き、それを永遠に人の住まない廃墟とした、今日に至るまで。そしてガイの王を二股の木に吊るし、夕方まで木の上にあった。そして太陽が沈みつつある時、ヨシュアは命じ、彼らは彼の体を木から取り下ろし、それを穴に投げ入れ、その上に石の山を立てた。この日まで。

9

そして、アモリ人の王たちが聞いたとき、ヨルダンの向こう側にいる者たち、山地にいる者たち、そして平野にいる者たち、そして大海のすべての海岸地域にいる者たち、そしてアンチレバノンに向かっている者たち、そしてヒッタイト人たち、そしてカ

ナン人たち、そしてペリジ人たち、そしてエウアイ人たち、そしてアモリ人たち、そしてギルガシ人たち、そしてエブス人たち、

彼らは皆、同時にヨシュアとイスラエルに対して戦争するために一緒に集まった。

そしてギベオンに住んでいる者たちは、主がエリコとガイに行つたすべてのことを聞いた。そして彼らもまた狡猾さをもって行動した。彼らは来て食糧を調達し、準備を整えた。そして古い荒布を肩に取り、古くて破れて繕われたぶどう酒の革袋を取つた。そして彼らの履物のくぼみ、そして彼らのサンダルは古く、つぎはぎされて彼らの足にあり、そして彼らの衣服はすり切れて彼らの上にあり、そして彼らの食糧のパンは乾いて、カビて、ぼろぼろになっていた。

そして彼らはギルガルにあるイスラエルの陣営へヨシュアのもとに來た。そして彼らはヨシュアとイスラエルに言った、我々は遠くの地から來ました。そして今、我々と契約を結んでください。そしてイスラエルの子らはそのホリ人に言った、見よ、あなたは我々の中に住んでいるのではないか。どうしてあなたと契約を結べようか。そして彼らはヨシュアに言った、我々はあなたの家僕ですと。そしてヨシュアは彼らに言った、あなたたちはどこから來たのか、そしてどこから來たのかと。そして彼らは言った、あなたの僕たちは、あなたの神、主の名において、非常に遠い地から來ました。私たちは彼の名と、彼がエジプトで行つたすべてのことを聞いたからです。そして、彼がヨルダンの向こう側にいたアモリ人の王たち、すなわちアモリ人の王シホンと、アシタロテとエデレイに住んでいたバシャンの王オグに対して行つたすべてのこと。そして、私たちの長老たちと私たちの地に住むすべての者たちが聞いて、私たちに言いました。道のために自分たちで食糧を取り、彼らに会いに行き、彼らに言いなさい。私たちはあなたの僕です。今、私たちと契約を結んでくださいと。こ

これらのパンは、私たちがあなたがたのところへ来るために出発した日に、温かいものを用意しました。しかし今は乾いてしまい、カビが生えてしまいました。そして、私たちが新しく満たしたこれらのぶどう酒袋は破裂し、私たちの衣服とサンダルは、非常に長い道のりのためにすり切れました。

そして指導者たちは彼らの食糧を取ったが、主に尋ねなかった。そしてヨシュアは彼らと平和を結び、彼らを救うために彼らと契約を結び、会衆の指導者たちは彼らに誓った。

そして三日後、彼らと契約を結んだ後に、彼らが近くにいること、そして彼らの中に住んでいることを聞いた。そしてイスラエルの息子たちは出発し、彼らの町々へ来た。その町々は、ギバオン、ケフィラ、ベエロト、そしてヤリンの町々であった。そしてイスラエルの息子たちは彼らと戦わなかった。なぜならすべての支配者たちがイスラエルの神、主にかけて彼らに誓ったからである。そしてすべての会衆は支配者たちに対して不平を言った。

そして支配者たちはすべての会衆に言った、私たちは彼らにイスラエルの神、主を誓った。そして今、私たちは彼らに触れることができないだろう。これを我々が行うだろう。彼らを生け捕りにし、彼らを保存するだろう。そして我々に対する怒りは存在しないだろう、我々が彼らに誓った誓いのゆえに。彼らは生きるだろう、そして全ての会衆のために木こりたちと水運び人たちとなるだろう、ちょうど支配者たちが彼らに言った通りに。

そしてヨシュアは彼らを呼び集めて、彼らに言った、なぜあなたがたは私を欺いて、私たちはあなたから非常に遠くにいますと言ったのか。しかしあなたがたは私たちの中に住んでいる者たちの近隣の者である。そして今、あなたたちは呪われている。あなたたちから奴隷が絶えることはなく、木こりも水運びも、私と私の神のために働くことになる。そして彼らはヨシュアに答えて

言った、主であるあなたの神がその僕モーセに命じられたことが、われわれに報告されました。すなわち、あなたがたにこの地を与え、あなたがたの前から、われわれとその地に住むすべての者を滅ぼすことです。それでわれわれは、あなたがたの前で、われわれの命について非常に恐れ、このことを行いました。そして今、見よ、我々はあなたたちに従属している。あなたたちの喜ぶように、そしてあなたたちの良いと思うように、我々になせ。

そして彼らは彼らにこのように行った。そしてヨシュアはその日、彼らをイスラエルの息子たちの手から救い出した。そして彼らは彼らを殺さなかった。そしてヨシュアはその日に彼らを薪切る者たちと水運ぶ者たちとして、すべての会衆のため、そして神の祭壇のために任命した。このゆえにギベオンに住んでいる者たちは、神の祭壇の薪切る者たちと水運ぶ者たちとなった、今日の日まで、そして主が選ぶであろう場所において。

10

エルサレムの王アドニベゼクは、ヨシュアがガイを取り、それを完全に破壊したこと、彼らがエリコとその王にしたように、ガイとその王にもそのようにしたこと、そしてギバオンに住んでいる者たちがヨシュアとイスラエルに投降したことを聞いた。そして彼らは彼らのことを非常に恐れた。なぜなら彼は知っていたからである、ギベオンは大きな都市であり、王都の一つのようであり、そしてその男たちは皆強かったことを。そしてエルサレムの王アドニベゼクは、ヘブロン王エラムへ、ヒエレイムト王ピドンへ、ラキシシュ王イエフタへ、そしてオドラム王ダベインへ使いを送って言った、来い、私のもとへ上がって来て、私を助けよ。そしてギベオンと戦おう。なぜなら彼らはヨシュアとイスラエルの子らに寝返ったからだ。そしてエブス人の五人の王たち、すなわちエルサレムの王、ヘブロン王、ヒエリムト王、ラキシシュ王、オドラム王が、彼らとそのすべての民とともに

上って来た。そして彼らはギバオンの周囲に陣を敷き、それを包囲した。

そしてギバオンに住む者たちは、ギルガルにあるイスラエルの陣営へヨシュアに使いを送り、言った、あなたの僕たちから手を緩めないでください。速やかに私たちのところへ上って来て、私たちを助け、私たちを救い出してください。なぜなら、山地に住むアモリ人のすべての王たちが私たちに対して集まっているからです。そしてヨシュアはギルガルから上った。彼と共にすべての戦士の民が、力において有能なすべての者が従った。

そして主はヨシュアに言われた、彼らを恐れるな。わたしは彼らをあなたの手に引き渡したからである。彼らの中から誰一人、あなたたちの前に残る者はいないだろう。

そして、ヨシュアが突然彼らのもとに来たので、一晩中ギルガルから進軍した。そして主はイスラエルの子らの前で彼らを混乱させ、そして主はギバオンで大なる打撃で彼らを打ち砕き、そして彼らはベテホロンの登りの道で彼らを追跡し、そしてアゼカまで、そしてマケダまで彼らを切り倒した。彼らがイスラエルの子らの前からホロニムの下り坂で逃げている時、主は天から彼らに雹の石を投げつけ、アゼカまで続いた。そして雹の石によって死んだ者たちは、イスラエルの子らが戦いで剣によって殺した者たちよりも多かった。

その時、ヨシュアは主に向かって語った。その日、神がアモリ人をイスラエルの手の下に引き渡し、彼が彼らをギバオンで打ち砕き、彼らがイスラエルの子らの前で打ち砕かれた時であった。そしてヨシュアは言った、太陽よ、ギバオンの上に留まれ。月よ、アイロンの谷の上に留まれ。そして太陽は立ち止まり、月は静止した。神が彼らの敵を討つまで。そして太陽は天の真ん中に立ち止まり、一日が終わるまで西へ進まなかった。そのような

日は以前にも最後にも起こらなかった。神が人の声を聞いたのは、主がイスラエルと共に戦ったからである。そして、これら五人の王たちは逃げ、マケダにある洞窟に隠れた。そして、ヨシュアに報告された、五人の王たちがマケダの洞窟に隠れているのが見つかりましたと言って。そしてヨシュアは言った、洞窟の口の上に石を転がし、彼らを見張るために男たちを任命せよ。あなたたちは立ち止まってはならない、あなたたちの敵の後を追撃し、彼らの後衛を捕らえよ、そして彼らが彼らの都市に入ることを許してはならない、というのも主である私たちの神が彼らを私たちの手に引き渡したからである。そしてヨシュアとイスラエルのすべての子らが彼らを非常に大きな打撃で終わりまで打ち続けることをやめたとき、生き残った者たちは要塞化された都市へと逃れた。

そして、すべての民は無事にマケダのヨシュアのもとへ引き返した。そして、イスラエルの子らの誰一人として、舌を鳴らす者はいなかった。

そしてヨシュアは言った、その洞窟を開け、そしてこれら五人の王たちをその洞窟から連れ出せ。そして彼らは五人の王たちを洞窟から連れ出した。エルサレムの王、ヘブロン王、イエリムト王、ラキシウ王、オドラム王である。そして彼らがヨシュアのもとに彼らを導き出して以来、ヨシュアは全イスラエルと、彼に同行した戦争を始める者たちを呼び集め、彼らに言った、進み出て、あなたがたの足を彼らの首の上に置けと。そして近づいて、彼らは彼らの足を彼らの首の上に置いた。そしてヨシュアは彼らに言った、彼らを恐れるな、また恐れるな。勇気を持って、そして強くあれ。なぜなら主は、あなたがたが戦うすべての敵たちに、このように行うであろうから。そしてヨシュアは彼らを殺し、彼らを五つの木の上に吊るした。そして彼らは夕方まで木の上に吊るされていた。そして太陽が沈む頃、ヨシュアは命じ、彼らは木から彼らを引き下ろし、彼らが逃げ込んでいたその

洞窟の中へ彼らを投げ込み、洞窟の上に石を転がして今日の日まで至った。

そしてその日、彼らはマケダを占領し、剣の刃でそれを打ち、その中にいたすべての息あるものを完全に滅ぼした。その中には、生き残った者も逃れた者も一人も残されなかった。そして彼らはマケダの王に、エリコの王にしたのと同じようにした。

そしてヨシュアとすべてのイスラエルは彼と共にマケダからリブナへ去り、そしてリブナを包囲した。そして主はそれをイスラエルの手に引き渡し、彼らはそれとその王を取り、剣の刃でそれを殺し、その中のすべての呼吸するものを殺した。その中に救われた者も逃げた者も残されなかった。そして彼らはその王に、エリコの王にしたのと同じ方法で行った。

そしてヨシュアとすべてのイスラエルは彼と共にレブナからラキシユへ去り、それを包囲して攻撃した。そして主はラキシユをイスラエルの手に引き渡した。彼らは二日目にそれを取り、剣の刃でそれを打ち、リブナに行ったのと同じ方法でそれを完全に滅ぼした。その時、ガゼルの王エラムがラキシユを助けるために上って来た。そしてヨシュアは彼を剣の刃で打ち、彼の民も、彼らの生存者も逃亡者も一人も残らないまでに打った。

そしてヨシュアとすべてのイスラエルは彼と共にラキシユからオドラムへ去り、それを包囲し、それを攻囲した。そして主はそれをイスラエルの手に引き渡し、彼らはその日にそれを取り、剣の刃でそれを殺し、その中のすべての息するものを破壊して殺した、彼らがラキシユに行ったその方法で。

そしてヨシュアとすべてのイスラエルが彼と共にヘブロンへ去り、そしてそれを包囲した。そして彼らは剣の刃でそれを打ち、その中にいたすべての息あるものを打った。一人も残された

者はなく、オドラムにしたのと同じ方法で、彼らはそれを完全に滅ぼし、その中にいたすべてのものを滅ぼした。

そしてヨシュアと全イスラエルはデビルへ戻り、そしてそれを包囲した。彼らはそれとその王とその村々を取り、剣の刃でそれを打ち、それとその中のすべての息あるものを完全に滅ぼし、生き残った者を一人も残さなかった。彼らがヘブロンとその王にしたのと同じ方法で、デビルとその王にもそのようにした。

そしてヨシュアは山地の全ての地、ネゲブ、平地、アセドス、そしてそれらの王たちを打った。彼らは生存者を残さず、すべて息をする生き物を完全に滅ぼした。主イスラエルの神が命じた通りに。カデシュ・バルネからガザまで、ゴセム全土をギベオンまで。そしてヨシュアは彼らの全ての王たちと彼らの地を一度に打った。なぜなら、イスラエルの神である主がイスラエルと共に戦ったからである。

11

アソルの王イアビスが聞いたとき、彼はマロンの王ヨバブに、シュモオンの王に、そしてアジフの王に使者を送った。そして大シドンの王たちに向かって、山地へ、そしてケネロテの向かい側のアラバへ、そして平野へ、そしてフェナエドルへ、そして東から沿岸のカナン人たちへ、そして沿岸のアモリ人たちへ、そしてヘテ人たち、ペリジ人たち、山にいるエブス人たち、そしてヒビ人たち、そしてヘルモンのもとにいる者たち、マッシマの地へ。そして彼らと彼らの王たちは出て行った、その数はちょうど海の砂のようであり、そして馬と戦車が非常に多かった。そして全ての王たち自身が集まり、共に到着し、マロンの水のほとりに陣を張って、イスラエルと戦った。

そして主はヨシュアに言った、彼らの顔を恐れるな、なぜなら明日のこの時、私は彼らを敗走させてイスラエルの前に引き渡す。あなたは彼らの馬の腿を切り、彼らの戦車を火で焼き尽くすであろう。そしてヨシュアとすべての民の戦士たちが、マロンの水のところで突然彼らの上に来て、山地で彼らに襲いかかった。そして主は彼らをイスラエルの支配下に引き渡し、彼らを打ちながら大シドンまで、マセロンまで、そして東のマソクの平原まで追跡し、彼らの生存者が一人も残らないまで彼らを打ち倒した。そしてヨシュアは主が彼に命じた方法で彼らにそうした、彼らの馬たちの腿を切り、そして彼らの戦車たちを火で燃やした。

そしてヨシュアはその時に戻り、ハゾルとその王を捕らえた。ハゾルは以前、これらすべての王国を支配していた。そして彼らはこの中のすべての息するものを剣で殺し、すべてを完全に破壊した。そしてこの中に息するものは残されず、ハゾルを火で焼いた。そしてヨシュアは王国の全ての都市と彼らの王たちを取り、剣の刃で彼らを殺し、主の僕モーセが命じた通りの方法で彼らを徹底的に滅ぼした。しかし、イスラエルはすべての要塞化された都市を焼かなかった。ただし、ハゾルのみをイスラエルは焼いた。そしてイスラエルの子らは、その戦利品をすべて自分たちのために略奪した。しかし彼らは、すべての者を剣の刃で完全に滅ぼし、彼らを滅ぼし尽くすまで、彼らの中から息をしているものを何一つ残さなかった。主がその僕モーセに命じた方法で、モーセは同様にヨシュアに命じ、ヨシュアはこのように行った。彼はモーセが彼に命じたすべてのことから何一つ違反しなかった。

そしてヨシュアはすべての山地と、すべてのネゲブの地と、すべてのゴシェンの地と、平地と、西方と、イスラエルの山と、低地を取った。山に向かって、ケルカ山から、セイルへ登るもの、そしてバラガドまで、そしてアエルモン山の下にあるレバノンの平野、そして彼らの全ての王たちを捕らえ、滅ぼし、殺し

た。そしてヨシュアはこれらの王たちに対して、長い日々、戦争を行った。

そして、イスラエルが取らなかった都市はなかった。すべてを彼らは戦争において取った。主によって彼らの心が強められ、イスラエルとの戦いに臨むようになったのは、彼らが滅ぼされるため、彼らに憐れみが与えられないため、そして彼らが滅ぼされるためであった。主がモーセに語られた通りである。

そしてヨシュアはその時に来て、山地からアナキム人を滅ぼした。ヘブロンから、デビルから、アナボテから、そしてユダの全土から、彼らの町々と共に滅ぼした。アナキムはイスラエルの子らの地には残されなかったが、ガザ、ガテ、アシュドドには残された。

そして、ヨシュアは主がモーセに命じられた通りに、すべての地を取った。そして、ヨシュアは彼らの部族に従った分配において、相続としてイスラエルにそれを与えた。そして、その地は戦争から解放されて休んだ。

12

そしてこれらは地の王たちであり、イスラエルの子らが殺し、ヨルダンの向こう側、日の昇る東、アルノンの谷からヘルモン山まで、そして東のアラバの地すべてを相続地として受け継いだ。アモリ人の王シホンは、ヘシュボンに住み、アルノンから支配していた。アルノンは谷にあり、谷の一部に沿っている。そしてギレアデの半分を、ヤボクまで、アモンの子らの境界まで支配していた。そしてアラバは東のキネレテの海まで、そしてアラバの海、すなわち東からの塩の海まで、アセイモテに至る道、テマンからアセドテ・ファスガの麓まで。そして、バシヤンの王オグは巨人たちの中から残された者であり、アシュタロテとエドレイ

に住んでいた。ヘルモン山とセクカイから支配し、ゲルゲシの境界までのバシャン全土、マキ、そしてヘシュボンの王シホンの境界までのギレアドの半分を治めた支配者。主のしもべモーセとイスラエルの子らは彼らを打ち、そしてモーセはそれをルベン、ガド、そしてマナセの半部族に相続地として与えた。

そしてこれらはアモリ人の王たちであり、ヨシュアとイスラエルの子らがヨルダンの向こう側、バアルガドの海からレバノンの平野において、そしてセイルへ登っていくケルカの山まで殺した者たちである。そしてヨシュアはそれを、イスラエルの部族たちが彼らのくじに従って相続するために与えた。山地において、平野において、アラバにおいて、アセドテにおいて、荒野において、そしてネゲブにおいて、ヘテ人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、そしてエブス人を。

エリコの王、そしてベテルの隣にあるガイの王、エルサレムの王を、ヘブロンを、イエリムトの王、ラキシユの王、エイラムの王、ゲゼルの王、デビルの王、ガデルの王、王ヘルマト、王アデル、レブナの王、オドラムの王、王は行った、タフート王、オフエル王、アロクの王オフェク、アソム王、王シュモオン、王マムブロト、王アジフ、カデシュの王、ザハークの王、マレドスの王、カルメルのイエコム王、オドラムの王、フェンネアドルの王、ガリラヤのゲイの王、ティルツアの王、これらすべての王は二十九人である。

13

ヨシュアは年を重ねて高齢になっていた。主はヨシュアに言われた、あなたは高齢になった。そして多くの地が相続のために残されている。そして、これは捨てられた地、ペリシテ人の境界、ゲシル人、そしてカナン人である。エジプトに面した無人の地から、カナン人の左側にあるエクロンの境界まで、ペリシテ人

の五つの太守領、すなわちガザ人、アシュドド人、アシュケロン人、ガテ人、エクロン人、そしてエウアイ人に数えられる。テマンから、そしてカナンのすべての地、ガザの前方、そしてシドン人たちはアフЕКまで、アモリ人たちの境界までそしてペリシテ人のガリアテの全ての土地、そして太陽の昇るところから、ギルガルからヘルモン山の麓を経てハマテの入口まで、全てのレバノン、レバノンからマセレテ・メンフォマイムまでの山地に住んでいるすべての者、すべてのシドン人たちを、私はイスラエルの前から滅ぼすだろう。しかし、私があなたに命じた方法で、それを経くじによってイスラエルに分配せよ。

そして今、この地を九つの部族と、マナセの半部族に相続として分けよ。ヨルダンから大いなる海まで、太陽の沈む方角に従ってそれを与えよ、大いなる海が境界を定めるであろう。その二つの部族と、マナセの半部族、すなわちルベンとガドに、モーセはヨルダンの向こう側、太陽の昇る東の方で与えた。主の僕モーセが彼らに与えたのである。アロエルから、それはアルノンの急流の縁の上にある、そして谷の真ん中にある都市、そして全てのミソルをメデバから、アモリ人の王シホンのすべての都市、ヘシュボンで統治した者の、アンモンの子らの境界まで、そしてそのガラアディティスを、そしてその境界ゲシリを、そしてそのマカティを、すべての山ヘルモンを、そしてすべてのバサニティスをアカまで、バサンにおけるオグのすべての王国。彼はアシュタロテとエデレイにおいて統治した。この者は巨人たちの残された者であった。モーセは彼を打ち、滅ぼした。そしてイスラエルの息子たちはゲシリ人とマアカ人とカナン人を完全に滅ぼさなかった。そしてゲシリの王とマアカ人はイスラエルの息子たちの中に今日の日まで住んだ。

ただし、レビの部族には相続地は与えられなかった。主、イスラエルの神、この方が彼らの相続地である、主が彼らに言われたように。そしてこれが分配である、モーセがイスラエルの子ら

に分配したもので、ヨルダンの向こう側、エリコに面したアラボテ・モアブにおいてである。

そしてモーセは、彼らの氏族に従って、ルベンの部族に与えた。そして彼らの境界は、アルノンの谷の前にあるアロエルから、アルノンの谷の中にある町、そしてミソル全土となった。ヘシュボンまで、そしてミソルにあるすべての町々、そしてディボン、そしてバモト・バアル、そしてメエルボトの家、そしてバシヤン、そしてバモテ、そしてメファアテ、そしてキリアタイム。そしてセバマ、セラダ、エナブの山にあるシオン、そしてバイトフォゴル、そしてアセドト・ファスガ、そしてバイトタセイノト、そしてミソルの全ての都市と、アモライ人の王シホンの全ての王国。モーセが彼とミディアンの指導者たち、エウイ、ロボク、スル、ウル、そしてシオンで殺された支配者ロベ、およびシオンに住んでいた者たちを打った。

そして彼らは、ベオルの子である古い師バラアムを、その転換点において殺した。

そしてルベンの境界が定められた。ヨルダンが境界である。これがルベンの息子たちの相続地であり、彼らの氏族に従って、彼らの都市と彼らの農場である。

そして、モーセはガドの息子たちに、彼らの氏族に従って与えた。そして彼らの境界はヤゼル、ギルアデのすべての町々、そしてアンモンの子らの地の半分、アラデの前にあるアラバまでとなった。そしてエセボンからアラボトまで、マッセファに従って、ボタニム、マアン、ディボンの境界まで、そしてエナドム、オタルガイ、バイインタナブラ、ソクコタ、サファン、そしてヘシュボンの王シホンの残りの王国。そしてヨルダンは、ヨルダンの向こう側、東のキンネレトの海の一部まで境界を定める。これはガドの息子たちの相続であり、彼らの氏族に従い、また彼らの町々

に従う。彼らの氏族に従って、彼らは敵たちの前で首を返すだろう。なぜなら、彼らの氏族に従って彼らの町々と彼らの農地が存在するようになったからである。

そしてモーセは、マナセ部族の半分に、彼らの氏族に従って与えた。そして彼らの境界は、マアンから、そしてバシヤンのすべての王国、そしてバシヤンの王オグのすべての王国、そしてバシヤン地方にあるヤイルのすべての村々、六十の町々となった。そしてギレアデの半分、そしてアシュタロテとエデレイにあるバシヤンのオグの王国の町々は、マナセの子マキルの子らと、マナセの子マキルの半分の子らに、彼らの氏族ごとに与えられた。これらは、モーセがヨルダンの向こう側、モアブのアラボテにおいて、エリコに面したヨルダンの向こう側、東の方から相続させた者たちである。

14

そして、これらはカナンの地においてイスラエルの子らに相続地を分配した者たちである。祭司エレアザル、ヌンの子イエース、そしてイスラエルの子らの部族の父祖たちの長たちが、彼らに相続地を分配した。彼らはくじに従って相続した。主がヨシュアの手を通して九つの部族と半部族に命じた方法に従って。ヨルダンの向こう側から。そしてレビ人たちには、彼らの間で相続地を与えなかった。なぜなら、ヨセフの息子たちはマナセとエフライムの二つの部族であり、レビ人たちには地において割り当てが与えられず、ただ住むための町々と、彼らの家畜のために分離されたものと、彼らの家畜があったからである。主がモーセに命じた方法のとおり、イスラエルの子らは行い、そして土地を分割した。

そして、ユダの息子たちはギルガルでヨシュアに近づいた。そして、ケナズ人イエフネの子カレブは彼に言った、あなたは、

主がカデシュ・バルネアで神の人モーセに私とあなたについて語った言葉を知っている。私が四十歳であった時、神のしもべモーセが私をカデシュ・バルネアから遣わして、その地を偵察させ、そして私は彼の心に従って彼に言葉を答えた。私の兄弟たちは、私と共に上がった者たちだが、民の心を変えた。しかし私は、私の神である主に従うことを完全に決意した。そしてモーセはあの日に誓って言った、あなたが踏んだその地は、くじによってあなたとあなたの子供たちに永遠に与えられるだろう、なぜならあなたは私たちの神である主に従うことに献身したからである。そして今、主は私を養ってくださった、主が言われた通りに。これは四十五年目である、主がこの言葉をモーセに語られてから、そしてイスラエルが荒野を旅していた時から。そして今、見よ、私は今日八十五歳である。私は今日もまだ強い、モーセが私を送った時のように、同様に私は今も強く、戦争へ出て行き入ることができる。そして今、私はあなたにこの山を求めます。主があの日に言われた通りです。なぜなら、あなたはあの日にこの言葉を聞いたからです。今、しかしアナキム人たちがそこにおり、要塞化された大きな都市たちがあります。もし主が私と共におられるならば、私は彼らを滅ぼすでしょう。主が私に言われた通りに。

そしてヨシュアは彼を祝福し、ケナズの子エフネの子であるカレブに、ヘブロンを相続地として与えた。このゆえに、ヘブロンはエフネの子ケナズ人カレブの相続地となった、この日まで、彼が主なるイスラエルの神の命令に従ったゆえに。しかしヘブロンの名前は、以前はアルゴブという都市であり、エナキムの主要都市であった。そしてその地は戦争がやんだ。

15

そして、ユダ部族の境界は、彼らの氏族に従って、イドゥメアの境界から、シンの荒野から、カデシュまで、南に向かって定められた。

そして彼らの境界は、南へ導く尾根から、南の塩の海の一部まで定められた。そしてアクラビンの登りの向かいを通過し、セナを回って進み、南からカデシュ・バルネアへ登り、ヘツロンを出て、サラダへ登って行き、カデシュの西へ出て行く。そして、セルモナンの上に出て行き、エジプトの谷まで通り抜け、その境界の出口は海の上になるだろう。これが南からの彼らの境界である。

そして東からの境界は、ヨルダンに至るまでのすべての塩の海である。そして彼らの境界は、北から、海の尾根から、そしてヨルダンの部分からである。境界はベタグライムに至り、北からベトラバを通り過ぎ、そして境界はルベンの子バイオンの石に上る。そして境界はアコルの谷の四分の一の所まで上り、ギルガルへ下る。それは谷の南側にあるアドゥミムの登り坂の向かいにある。そして太陽の泉の水の所を通り抜け、その出口はロゲルの泉となる。そして境界はエンノムの谷へ上り、南からイエブースの背の上に至る。これはエルサレムである。そして境界は山の頂上を通り抜ける。それはエンノムの谷に面して海へ向かい、北のラファイン地の部分からである。そして境界は山の頂上から水の泉ナフトへ通り抜け、エフロン山へ通り抜け、境界はバアルへ導かれるであろう。これはイアリムの町である。そして境界はバアルから海へと回り、アッサル山へと進み、北からイアリンの町の背後を通る。これはカスロンである。そして太陽の町へと下り、南へと進むだろう。そして境界はアッカロンの背に従って北へ通り抜け、境界たちをソッコトへ投げ出し、境界たちは南へ通り過ぎ、レブナへ投げ出し、境界たちの出口は海へあるであろう。そして彼らの境界は海から、大海が境界を定める。これらはユダの子らの境界である、その氏族ごとに周囲を。

そして、神の命令によって、イエフォネの息子カレブに、ユダの子孫の中で一つの地所が与えられた。そしてヨシュアは彼にエナクの母都市アルボク、すなわちヘブロンという都市を与え

た。そして、そこからカレブ、イエフネの息子が、エナクの三人の息子たち、シェシャイとタルマイとアヒマンを完全に破壊した。そして、カレブはそこからダビルの住民のところへ上った。ダビルの名前は以前、文字の町であった。

そしてカレブは言った、誰が文字の都市を取り、攻め落とし、それを征服するならば、私は彼に私の娘アクサを妻として与えよう。そして、カレブの兄弟ケネズの息子ゴトニエルがそれを取った、そして彼は彼に自分の娘アクサを妻として与えた。そして彼女が出て行く時にそれは起こった、そして彼女は彼に助言して言った、私は私の父に畑を求めるだろう、そして彼女はろばから叫んだ、そしてカレブは彼女に言った、あなたに何があるのか。そして彼女は彼に言った、私に祝福を与えてください。あなたは私をネゲブの地に与えたのですから、私にボタニスを与えてください。そして彼は彼女に上のゴナスラと下のゴナスラを与えた。

これはユダの息子たちの部族の相続地である。そして彼らの都市たちは、荒野のエドムの境界上にある、ユダの息子たちの部族に属する都市たちとなった。そしてバイセレエル、そしてアラ、そしてアソル。そしてイカム、レグマ、そしてアロウエル、カデシュ、アソリオナイン、そして、マイナム。そしてバルマイナン、そしてそれらの村々、そしてアセロンの都市たち、これはアソル、そしてシン、そしてサルマ、そしてモラダ、そしてセリとバイファラト、そしてコラセオラ、そしてベエルシェバ、そしてそれらの村々、そしてそれらの農場、ベラ、バコク、そしてアソム、そしてエルボウダド、そしてベテル、そしてホルマ、そしてジクラグ、そしてマカリム、そしてセテンナク、そしてラボス、そしてサレ、そしてエロモス、二十九の都市、そしてそれらの村。

平野の中に、アシュタオル、ゾラ、そしてエシュタオル。そして縫われた者、伸ばされた者、イルトート、そして助産婦、そしてイエルムース、そしてオドラム、そしてメンブラ、そしてサオコ、そしてイアゼカ。そしてサカリム、ガデラ、およびその農場、十四の都市、ならびにそれらの村。センナ、アダサン、マガダルガド、そしてダラド、そしてミツパ、そしてイアカレエル、そしてバセドス、そしてイデアダレア、そしてカブラ、マケス、そしてマアコス。そしてゲドル、バガディエル、ノマン、マケダン、十六の都市とそれらの村。レブナ、イタク、そしてエノク、そしてイアナ、そしてナシブ、ケイラム、アキエジ、ケジブ、バテサル、アイロム、十の都市とそれらの村。エクロン、そしてその村々、そしてそれらの農場、エクロンからゲムナ、そしてアセドスの近くにあるすべて、そしてそれらの村々、アシエドスとその村々とその農場、ガザとその村々とその農場、エジプトの急流まで、そして大海が境界を定める。

そして丘陵地にサミル、イエテル、ソカ、そして流れる川、そして文字の都市、これはデビルである。そしてアノン、エス、マン、そしてアイサム。ゴセン、ハル、ハンナ、ギロム、十一の都市、そしてそれらの村々。アイレム、レムナ、そしてソマ。そしてイエマイン、バエタチュ、パコウア、そしてエウマ、都市アルボク、これはヘブロンである、そしてソライス、九つの都市とそれらの農場。マオン、カルメル、ジフ、そしてユタ、イアリエル、アリカム、ザカナイム。そしてギベア、そしてティムナ、九つの都市、そしてそれらの村々 アイロウア、ベトスル、そしてゲドン。そしてマガロス、ベタナム、テクム、六つの都市、そしてそれらの村々。キリアテ・バアル、これはイアリムの町、そしてソテバ、二つの町とそれらの農地。そしてバダルゲイス、そしてタラバアム、そしてアイノン、そしてアイオキオザ、そしてナフラズン、そしてサドンの都市たち、そしてアルカデス、七つの都市、そしてそれらの村々。

そして、エブス人はエルサレムに住んでいた。ユダの子らは彼らを滅ぼすことができず、エブス人たちはこの日までエルサレムに住み続けた。

16

そしてヨセフの息子たちの境界は、エリコに沿ったヨルダンから東から始まり、エリコから山地、荒野を通してベテル・ルザへ上るだろう。そしてベテルへ出て行き、アハタロティの境界を通り過ぎるだろう。そして海を通してアプタリムの境界を過ぎ、下ベトホロンの境界に至り、その出口は海に面するだろう。そして、ヨセフの息子たち、エフライムとマナセは相続した。

そしてエフライムの息子たちの境界が彼らの氏族に従って定められ、そして彼らの相続の境界が東から定められた、アタロテ、そしてエロク、上のベトホロンまで、そしてガザラ。そして境界は北のテルマから海上のイカスモンへ来て、東を回ってテナサとセレスへ行き、東からイアノカへ通り過ぎるだろう。そしてマコへ、そしてアタロトへ、そしてそれらの村々、そしてエリコに至り、そしてヨルダンに出るだろう。そして墓から境界は海へ、ケルカナへ進むであろう。そして彼らの出口は海の上にあるであろう。これはエフライム部族の相続地であり、彼らの氏族に従う。

そして、エフライムの息子たちのために分離された都市たち、マナセの息子たちの相続地の間にある、すべての都市たちとそれらの村々。そしてエフライムはゲゼルに住んでいるカナン人を滅ぼさなかった。カナン人はエフライムの中に住んでいた、この日まで、エジプトの王ファラオが上って来るまで。そして彼はそれを取り、それを火で焼き、カナン人たちとペリジ人たちとゲゼルに住んでいる者たちを刺し殺した。そしてファラオはそれを彼の娘への持参金として与えた。

そして、マナセの息子たちの部族の境界が定められた。なぜなら、この者はヨセフの長子であり、マナセの長子マキル、ギレアデの父に与えられたからである。彼は戦士であつたので、ギレアデとバシャンを得た。残りのマナセの息子たちに、彼らの氏族に従って、それが起こった。イエジの息子たち、ケレズの息子たち、イエジエルの息子たち、シュケムの息子たち、シュマリムの息子たち、オフエルの息子たち、これらは彼らの氏族に従った男性たちである。

そしてオフエルの息子サルパアドには息子たちがおらず、娘たちだけがいた。そしてサルパアドの娘たちの名前はこれらである。マアラ、ヌア、エグラ、メルカ、そしてテルサ。そして彼女らは祭司エレアザルの前に、ヨシュアの前に、そして支配者たちの前に立ち、言った。神はモーセの手を通して、私たちの兄弟たちの中で私たちに相続財産を与えることを命じました。そして主の命令によって、彼女らの父の兄弟たちの中で彼女らにくじが与えられた。そして彼らの縄張りは、アナッサから、そしてヨルダンの向こう側にあるギレアデの地のラベク平野から、落ちた。なぜなら、マナセの息子たちの娘たちは、彼らの兄弟たちの中で相続地を相続したからである。そして、ギレアデの地は、残されたマナセの息子たちのものとなった。

そしてマナセの息子たちの境界はデラナトとなった。それはアナトの息子たちに面しており、ヤミンとヤシブを経て境界へ進み、タフトトの泉へ至る。マナセに属するであろう。そしてマナセの境界上のタファトは、エフライムの息子たちに属する。そして境界はカラナの谷へ下り、南へ、ヤリエルの谷に従って、エフライムのテレビンスの木とマナセの町の間に至る。そしてマナセの境界は北の急流へと向かい、その出口は海となるだろう。南はエフライムに属し、北はマナセに属し、海が彼らの境界となり、

北ではアシェルと接し、東ではイッサカルと接するだろう。そしてマナセには、イッサカルとアシェルにおいて、バイタンとその村々、ドルの住民とその村々、メギドの住民とその村々、マフェタの三番目とその村々があるだろう。

そして、マナセの息子たちはこれらの都市を滅ぼすことができなかった。そして、カナン人はこの地に住み始めた。そして、イスラエルの息子たちが勝利を収めて以来、彼らはカナン人たちを従属民としたが、しかし彼らを滅ぼすことはしなかった。

しかし、ヨセフの息子たちはヨシュアに答えて言った、なぜあなたは私たちに一つのくじと一つの測り縄を相続させたのですか。私は多い民であり、そして神は私を祝福しました。そしてヨシュアは彼らに言った、もしあなたが多くの民であるなら、その森へ上り、あなた自身のために切り開きなさい。もしエフライムの山があなたを狭くするなら。そして彼らは言った、エフライムの山は私たちには不十分です。ベテシャンとその村々、およびイズレエルの谷に住んでいるカナン人には、精鋭の馬と鉄の戦車があります。そしてヨシュアはヨセフの息子たちに言った、もしあなたが多くの民であり、大きな力を持つならば、あなたに一つのくじはないだろう。その森はあなたのもとなるだろう。なぜならそれは森であり、あなたはそれを切り開くだろうし、それはあなたのもとなるだろう。そしてあなたがカナン人を完全に滅ぼす時、選ばれた馬が彼にあるが、あなたは彼に勝るからである。

18

そしてイスラエルの息子たちのすべての会衆がシロに集められ、彼らはそこに証しの天幕を張り、その地は彼らによって征服された。

そして、相続しなかったイスラエルの息子たち、七つの部族が残された。そしてヨシュアはイスラエルの子らに言った、いつまであなたがたは怠けているのか、我々の神、主が与えた地を相続することを。あなたがたの部族から三人の男たちを出しなさい。そして彼らを立ち上がらせ、その地を通らせ、それを分割する必要に応じて、私の前でそれを記述させなさい。そして彼らは彼のところへ行った。そして彼は彼らに七つの部分を分けた。ユダは南から彼らに境界を定めるだろう、そしてヨセフの息子たちは北から彼らに定めるだろう。あなたたちは、その地を七つの部分に分け、ここに私のところへ持って来なさい。そして私は、私たちの神、主の前で、あなたたちにくじを出すだろう。レビの息子たちには、あなたがたの中に分け前がない。なぜなら、主の祭司職が彼の分け前だからである。そして、ガドとルベンとマナセの半部族は、ヨルダンの向こう側、東の方で、彼らの相続地を受け取った。それは主のしもべモーセが彼らに与えたものである。

そして男たちは立ち上がって行った。そしてヨシュアは、その地を測量するために行く男たちに命じて言った、行って、その地を測量し、私のもとに来なさい。そうすれば私はここシロで主の前であなたがたのためにくじを引くだろう。そして彼らは行き、その地を横断し、それを見て、都市ごとに七つの部分に分けてそれを書物に書き、ヨシュアのもとへ持って来た。そしてヨシュアは主の前でシロにおいて彼らにくじを投げた。

そして、ベニヤミン部族のくじが彼らの氏族ごとに最初に出され、彼らのくじの境界はユダの子孫とヨセフの子孫の間に定められた。

そして彼らの境界は北から、ヨルダンから定められた。その境界は北からエリコの背後に従って上がり、山の上へ、海の上へと上がる。そしてその出口はマブダリティス・ベトンとなる。そして境界はそこからルザを通過し、ルザの背の南側に至る。これ

はベテルである。そして境界はマアタロブ・オレクから山地へ下る。それは下ベトロンの南に向かっている。

そして境界を通過し、海のそばを見る部分を、南から、ベトホロンに面する山から南へと通り過ぎるだろう。そしてその出口はカリアテ・バアルへと至るだろう。これはカリアティアリン、ユダの子らの町である。これが海に向かう部分である。

そして南へ向かう部分はカリアテ・バアルの部分から始まり、境界はガシンを通過してナフトの水の泉に至るであろう。そして境界線はある部分に下り、これはソンナムの谷の前であり、それは北からのエメク・ラファインの部分から出ている。そしてガイエンナは南からイエブサイの背後に下り、ロゲルの泉に下る。そして、ベトシエメシュの泉を通過し、ガリロトを通り過ぎるだろう。それはエタムの登りの向かい側にある。そして、ルベンの息子たちのバイオンの石へ下るだろう。そして北からベトラバの背に沿って通過し、北から海の背の境界へ下るだろう。そして境界の出口は、南から塩の海の尾根の上、北のヨルダンの部分へととなる。これらが南からの境界である。

そしてヨルダンは東の部分から境界を定める。これはベニヤミンの息子たちの相続地であり、その境界線は氏族に従って周囲に定められる。

そしてベニヤミンの息子たちの都市たちは彼らの氏族に従ってエリコ、ベテガイ、アメカシスとなった。そしてバイタバラ、そしてサライ、そしてベサナ、そしてアイエン、そしてファラ、そしてエフラタ、そしてカラファ、そしてケフィラ、そしてモニ、そしてギベア、十二の都市、そしてそれらの村々。ギベオン、ラマ、ベエロタ、そしてマッセマ、そしてミロン、そしてアモケ、フィラ、カファン、ナカン、ゼレカン、タレエラ、そしてイエブース、これはエルサレムである、そしてガバオテ、イアリ

ム、十三の都市、そして彼らの村々、これはベニヤミンの息子たちの彼らの氏族による相続である。

19

そして第二のくじがシメオンの息子たちに出た、そして彼らの相続地はユダの息子たちの相続地の間にあった。そして彼らのくじはベエルシェバ、サマア、カラダムとなった。そしてアルソラ、ボラ、イアソン。そしてエルトゥラ、そして計画、そしてホルマ、そして、シケラク、バイトマケレブ、サルスシン、そしてバタロトとそれらの畑、十三の都市とそれらの村。エレンモーン、タルカ、イエテル、アサン、四つの都市とそれらの村々。彼らの都市の周囲、南方のバメトへ向かうバレクまで、これはシメオンの子らの部族の相続地である、その氏族ごとに。ユダのくじから、シメオンの息子たちの部族の相続地があった。なぜなら、ユダの息子たちの割り当てが彼らのものより大きくなったので、シメオンの息子たちは彼らのくじの中で相続したからである。

そして三番目のくじがゼブルンのために、彼らの氏族に従って出た。彼らの相続地の境界はエセデクゴラであり、彼らの境界は、その海とマゲルダ、そしてベタラバの上で、イエクマンの前にある谷の中へと合流するだろう。そしてセドゥクから、ベトシエメシュの東の反対側から戻り、カセロタイトの境界に至り、ダビロトを通過し、ファンガイに上るだろう。そしてそこから、反対側の東の方へ回り、ゲベレへ、カタセムの町へ向かい、そしてレンモナア・マタラオザへ通過するだろう。そして境界は北のハマテを回り、その出口はジフロンのに至るだろう。カタナト、ナバル、シュモオン、イエリコ、そしてバイトマン。これはゼブルンの息子たちの部族の相続地であり、彼らの氏族ごとの都市とその村々である。

そして、イッサカルに四番目のくじが出た。そして彼らの境界は、イアジエル、カサロス、スナムとなった。そしてアギン、そしてシオナ、そしてレエロト、そしてアナケレト、そしてダビロン、そしてキシヨン、そしてレベス、レンマス、イエオン、トンマン、アイマレク、そしてベルサフェス。そして境界はガイスボルとサリムの上で海に従って会い、ベトシェメシュに至り、その境界の出口はヨルダンとなるだろう。これはイッサカルの息子たちの部族の相続地であり、彼らの氏族によるもので、その町々とその村々である。

そして五番目のくじが出た、アシエルに、彼らの氏族に従って。そして彼らの境界は、エクセレケト、アレフ、バイトク、ケアフとなった。そしてエリメレク、そしてアミエル、そしてマアサ、そして海に沿ってカルメルと合流するだろう、そしてシオン、そしてラバナト。そして太陽の東から戻り、ベテゲネテと結合し、ゼブルンとエクガイに接し、フタイエルは北に従い、サフタイバイトメの境界に入り、イナエルを経て、コバマソメルへ通過するだろう。そしてエルボン、そしてラハブ、そしてエメマオン、そしてカンタンから大いなるシドンまで。そして境界はラマへ戻り、マスファサトの泉まで、ティルス人たちのところまで及び、境界はヤシフへ戻るだろう。その出口は海となり、アポレブとエコゾブに至る。アルコブ、アフエク、ラアウ。これはアシエルの息子たちの部族の相続地であり、彼らの氏族ごとの都市とその村々である。

そしてナフタリに、六番目のくじが出た。そして彼らの境界はモーラム、モーラ、ベセミーン、アルメ、ナボク、イエフタマイとなり、ドダムに至った。そしてその出口はヨルダンとなった。そして境界は海の上のアトタボルにおいて戻り、そこからイアカナを通過し、南からゼブルンに接合するだろう。そしてアシエルは海に従って接合し、ヨルダンは太陽の東からである。

そして、ティリア人の城壁のある都市は、ティルス、オマタダケト、ケネレト、そしてアルマイス、そしてアラエル、そしてアソル、そしてカデス、そしてアッサリ、そしてアソルの泉、そしてケロエ、そしてメガラアリム、そしてバイトタメ、そしてテッサミュス。これはナフタリの息子たちの部族の相続地である。

そしてダンに七番目のくじが出た。そして彼らの境界はサラト、アサ、そしてサンマウスの都市たちとなった。そしてサラミス、砂、シラタ、そしてエロンを取り、ティムナを、そしてエクロンを、そしてアルカタ、ベゲトン、ゲベエラン、そしてアゾル、そしてバナイバカト、そしてゲスレンモン。そして、ホークスの海からの境界は、ヨッパの近くである。これはダンの息子たちの部族の相続地であり、彼らの氏族に従って、彼らの町々とその村々である。

そしてダンの息子たちは行き、ラキシユと戦い、それを捕らえ、剣の刃でそれを打ち、そこに住み、その名をラセندانと呼んだ。

そして彼らは、自分たちの境界に従ってその土地を取得するために行った。そしてイスラエルの子らは、ヌンの子ヨシュアに、彼らの中で相続地を与えた。神の命令によって、彼らは彼が求めたティムナテ・セラという都市を彼に与えた。それはエフライムの山にあり、彼はその都市を建て、そこに住んだ。

これらは、祭司エレアザルと、ヌンの子イエシュアと、イスラエルの部族における家族の長たちが、シロにおいて主の前で、証しの天幕の戸口のそばで、くじによって相続として割り当てた分割である。そして彼らはその地を占領するために行った。

そして主はヨシュアに語って言われた、イスラエルの子らに告げて言え、わたしがモーセを通してあなたがたに告げた避難の町々を設けよ。意図せずに魂を打った殺人者への避難所、そしてその町々はあなたがたへの避難所となるだろう、そして殺人者は血の復讐者によって死ぬことはないだろう、会衆の前に裁きへと立つまで。そして彼はガリラヤのナフタリの山にあるカデシュ、エフライムの山にあるシケム、そしてユダの山にあるアルボク(これはヘブロンである)という町を区別した。

そしてヨルダンの向こうに、荒野の平野にルベン部族からボソルを与え、ギラアデにガド部族からアレモトを、そしてバサンにマナセ部族からガウロンを与えた。

これらの都市は、イスラエルの息子たちと彼らの中に滞在している寄留者のために指定されたものであり、意図せず魂を打ったすべての者がそこに逃れるためのものである。それは、血の復讐者の手によって死なないようにするため、会衆の前に裁きのために立つまでである。

21

そして、レビの息子たちの族長たちが、祭司エレアザルと、ヌンの子ヨシュアと、イスラエルの部族の家族の部族長たちに近づいた。そして私たちは、カナンの地のシロにおいて彼らに言った、主はモーセを通して、私たちに住むための都市と、私たちの家畜のための牧草地を与えるよう命じられたと。そしてイスラエルの息子たちは、主の命令によって相続することにおいて、レビ人たちにその町々とその放牧地を与えた。

そしてくじがカアテの民に出た。そしてアロンの息子たちである祭司たち、レビ人たちに、ユダ部族とシメオン部族とベニヤミン部族から、くじによって十三の町々が与えられた。

そして、残されたカアテの息子たちに、エフライムの部族から、ダンの部族から、そして、マナセの半分の部族から、くじによって、十の町々が与えられた。

そして、ゲドソンの息子たちには、イッサカルの部族から、アシェルの部族から、ネフタリの部族から、そしてマナセの半部族から、バシヤンにおいて、十三の都市が与えられた。

そしてメラリの息子たちに、彼らの氏族に従って、ルベンの部族から、ガドの部族から、そしてゼブルンの部族から、くじによって十二の町が与えられた。

そしてイスラエルの子らはレビ人たちに町々とその放牧地を与えた、主がモーセに命じられた通りに、くじによって。

そしてユダの子孫の部族とシメオンの子孫の部族とベニヤミンの子孫の部族から、これらの町々を与え、それらは呼ばれた。アアロンの息子たちに、レビの息子たちのカアトの民から与えられた。なぜなら、これらの者にくじが当たったからである。そして彼は彼らにエナクの母都市カリアタルボクを与えた。これはユダの山にあるヘブロンである。しかしその周りの牧草地は、そして、その町の畑と、その村々を、ヨシュアはエフネの子カレブの息子たちに所有として与えた。

そしてアロンの息子たちに、殺人者のための避難所の町ヘブロンと、それに付随する分離された土地を与え、またレムナと、それに付随する分離された土地を与えた。そして、アイロムとそれに付属する分離された地を、そして、テマとそれに付属する分離された地を、そしてゲラとこれに分離されたもの、そしてダビルとこれに分離されたもの、そしてアサとそれに割り当てられた地、そしてタヌとそれに割り当てられた地、そしてバイトサムスとそれに割り当てられた地、これら二つの部族から九つの町。そ

してベニヤミンの部族から、ガバオンとそれに付属する土地、そしてガテトとそれに付属する土地、そしてアナトテとそれに付属する分離地、そしてガマラとそれに付属する分離地、四つの町。アロンの息子たち、すなわち祭司たちのすべての都市は十三である。

そして、残されたカアトの子孫であるレビ人たちの民に、彼らの祭司たちの都市がエフライムの部族から与えられた。そして彼らは彼らに避難所の都市、殺人者のための都市、シケムとそれに付属する分離されたもの、そしてガザラとそれに付属するもの、そしてそれに付属する分離されたものを与えた。そしてベトホロン、そしてこれに割り当てられた町々四つ。そしてダンの部族から、エルコタイムとこれに分離されたもの、そしてゲテダンとこれに分離されたもの、そしてアイヤロンとそれに付属する土地、そしてゲテレモンとそれに付属する土地、四つの都市。そしてマナセの半部族から、タナクとその放牧地、イエバタとその放牧地、二つの都市。すべての都市は十であり、カアトの息子たちの残された民に、これに分離されたもの、それらに属するものとともに。

そしてレビ人であるゲドソンの息子たちに、マナセの半部族から、殺人者たちのために分離された都市たち、すなわちバサニティディにあるガウロンとそれに付属する分離地、そしてボソランとそれに付属する分離地、二つの都市を与えた。そして、イッサカル部族から、キシヨンとそれに割り当てられた地、デッバとそれに割り当てられた地、そしてラモテとそれに付属する分離された土地、そして文字の泉とそれに付属する分離された土地、四つの都市を。そして、アシェル族からバセランとその割り当て地、ダボンとその割り当て地、そして、ケルカトとそれに付属する分離地、ラハブとそれに付属する分離地、合わせて四つの町。そしてナフタリの部族から、殺人者のために分離された都市、ガリラヤのカデシュとそれに付属する分離されたもの、そしてネマ

トとそれに付属する分離されたもの、そしてテモンとそれに付属する分離されたもの、三つの都市。ゲドソンのすべての都市は、その氏族ごとに十三の都市である。

そして残りのレビ人であるメラリの子らの民に、ゼブルン部族から、マアンとその放牧地、カデシュとその放牧地、そしてセラとその周辺地、三つの都市。そしてヨルダンの向こう、エリコに面したところ、ルベン部族から、殺人者の避難所である町、荒野のボソル、ミソとその放牧地、そしてヤゼルとその放牧地。そしてデクモンとその周辺地、そしてマファとその周辺地、四つの都市。そしてガド部族から、殺人者の避難所である都市、ギレアデのラモテとその放牧地、カミンとその放牧地、そしてヘシュボンとその牧草地、そしてヤゼルとその牧草地、すべての町々は四つである。メラリの息子たちに残されたレビ部族から、彼らの氏族に従ってすべての町々、そしてその境界となった町々は十二であった。

レビ人のすべての町々は、イスラエルの子らの所有地の中にあり、四十八の町々と、それらの放牧地である。これらの都市の周りに、都市とその都市の周りの牧草地が、これらすべての都市にあった。

そして主はイスラエルに、彼らの父たちに与えることを誓ったすべての地を与え、彼らはそれを相続し、そこに住んだ。そして主は、彼らの父たちに誓ったように、彼らを周りで休ませた。彼らの全ての敵たちの中から、彼らの前に立ち上がった者は誰もいなかった。主は彼らの全ての敵たちを彼らの手に引き渡した。主がイスラエルの息子たちに語った良い言葉のすべてから、何一つ失敗しなかった。すべてが実現した。

その時、ヨシュアはルベンの息子たち、ガドの息子たち、そしてマナセの半部族を呼び集めた。そして彼は彼らに言った、あなたがたは、主のしもべモーセがあなたがたに命じたすべてのことを聞き、また私の声に従い、私があなたがたに命じたすべてのことに従った。あなたがたは、これらの多くの日々、今日まで、あなたがたの兄弟たちを見捨てることなく、あなたがたの神である主の戒めを守ってきた。今、主なる私たちの神が、私たちの兄弟たちに言われた通りに、彼らを休ませられた。それゆえ今、向きを変えて、あなたたちの家々へ、そしてモーセがヨルダンの向こう側であなたたちに与えたあなたたちの所有地へ去りなさい。しかし、非常に注意して守りなさい、その戒めと律法を行うことを。それは主の僕モーセが私たちに命じたものである。私たちの神である主を愛し、彼のすべての道を歩み、彼の戒めを守り、彼に付き従い、あなたがたの心を尽くし、あなたがたの魂を尽くして彼に仕えなさい。そしてヨシュアは彼らを祝福し、彼らを送り出した。そして彼らは自分たちの家へ行った。

そしてマナセ部族の半分にモーセはバシヤンの地で与え、そして半分にヨシュアは彼の兄弟たちと共にヨルダンの向こう側、海の傍らで与えた。そしてヨシュアが彼らを彼らの家々へ送り出した時、彼らを祝福した。そして彼らは多くの富とともに自分たちの家へ去った。そして非常に多くの家畜、銀、金、鉄、多くの衣服という敵の略奪品を、彼らは自分たちの兄弟たちとともに分けた。

そして、ルベンの息子たち、ガドの息子たち、そしてマナセの半部族は、カナン地のシロにいるイスラエルの息子たちのもとから、彼らがモーセの手による主の命令によって相続した彼らの所有地であるギレアデの地へ去るために出発した。

そして彼らはヨルダンのギレアデに来了。それはカナン地にある。そしてルベンの子孫とガドの子孫とマナセ部族の半分

は、そこヨルダンのほとりに祭壇を建てた。目に見える大きな祭壇を。

そしてイスラエルの子らは聞いた、見よ、ルベンの子らと、ガドの子らと、マナセの半部族が、カナンの地の境界に、ヨルダンのギレアデに、イスラエルの子らの向こう側に祭壇を建てたと言われているのを。そして、イスラエルの全ての息子たちがシロに集められた。その結果、上って行って彼らに対して戦争をするためであった。

そしてイスラエルの息子たちは、ルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの半部族の息子たちに向かって、ギレアデの地へ、大祭司アロンの息子エレアザルの息子ピネハスを送った。そして彼と共に十人の支配者たち、イスラエルの全ての部族から各家族の家から一人の支配者、彼らは家族の家々の支配者たちでありイスラエルの千人隊長たちである。そして彼らはルベンの息子たちのところへ、ガドの息子たちのところへ、そしてマナセ部族の半分のところへ、ギレアデの地に到着し、彼らに話しかけて言った、主の全会衆はこれらのことを言う。あなたがたがイスラエルの神の前に犯したこの違反は何か。今日主から背を向け、あなたがた自身のために祭壇を建て、主から離れて背教者となるとは。ポゴルの罪は私たちにとって小さくないのか。なぜなら私たちはこの日まで、それから清められていないからである。そして主の会衆に災いが起こった。そしてあなたがたは今日、主から背を向けた。もしあなたがたが今日、主から離れるならば、明日、その怒りはすべてのイスラエルの上に下るだろう。そして今、もしあなたがたの所有の地が小さいならば、主の所有の地へ渡りなさい。そこには主の幕屋が住んでいる。そしてあなたがたは私たちの中で相続地を得るであろう。神に対する反逆者となってはならない。また、あなたがたも主から離れてはならない。私たちの神である主の祭壇の外に祭壇を建てることによって。見よ、ゼラの子アカルは奉納物について違反を犯したではないか。そしてイ

スラエルの全会衆の上に怒りが起こった。そして彼はただ一人で自分自身の罪によって死んだのではなかった。

そしてルベンの息子たち、ガドの息子たち、そしてマナセの半部族が答えて、イスラエルの指揮官たちに話して言った、神である神、主である。そして神である神、彼自身が知っている。そしてイスラエルも彼自身が知るだろう。もし我々が反逆において主の前に違反したのなら、この日に彼が我々を救わないように。もし私たちが自分たちのために祭壇を建てて、私たちの神である主から離れ、その上に全焼のいけにえを捧げ、その上に和解のいけにえを行ったら、主が探し出されるであろう。

しかし、言葉の慎重さのために、私たちはこれを行いました。明日、あなたたちの子供たちが私たちの子供たちにあなたたちにイスラエルの神、主と何の関係があるのかと言わないようにするためです。そして主は我らと汝らの間にヨルダンを境界として置いた。そして汝らには主の分は無い。そして汝らの息子たちは我らの息子たちを疎外するであろう、主を崇拜しないように。そして私たちは、この祭壇を建てることを、供え物のためでもなく、犠牲のためでもなく、このようにすると言った。しかし、これが私たちとあなたがたの間、そして私たちの後の世代の間の証しとなるように、すなわち私たちの捧げ物と犠牲と平和の捧げ物において、主の前で主に仕える奉仕をするためであり、そしてあなたがたの子供たちが明日私たちの子供たちにあなたがたには主における分がないと言わないようにするためである。そして私たちは言った。もしいつか、彼らが私たちに、または明日私たちの子孫に向かって話し、見よ、主の祭壇の似姿を。私たちの父たちがそれを作ったのは、供え物のためでも犠牲のためでもなく、あなたがたと私たちの間、そして私たちの子孫の間の証しであると言うならば。したがって、私たちが今日という日に主から背を向け、主から離れて、果物の捧げ物と犠牲とサラミスと救いの犠牲

のために祭壇を建てることのないように。ただし、彼の幕屋の前にある主の祭壇は除いて。

そして祭司フィネハスとイスラエルの会衆のすべての支配者たち、彼と共にいた者たちは、ルベンの子孫とガドの子孫とマナセの半部族が語ったことばを聞いた。そしてそれは彼らの心になった。祭司ピネハスはルベンの子孫、ガドの子孫、そしてマナセの半部族に言った。今日、私たちは主が私たちと共におられることを知った。なぜなら、あなたがたは主の前で違反を犯さず、イスラエルの子孫を主の手から救い出したからである。そしてピネハス祭司と支配者たちは、ルベンの息子たちから、ガドの息子たちから、そしてマナセの半部族から、ギレアデからカナン之地へ、イスラエルの息子たちのもとへ引き返し、そして彼らに言葉を答えた。そしてイスラエルの息子たちは喜び、イスラエルの息子たちに話し、イスラエルの息子たちの神を祝福し、もはや彼らのところへ戦争に上って行き、ルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの半部族の地を滅ぼすことはないと言った。そして彼らはその地に住んだ。

そしてヨシュアはルベン、ガド、マナセの半部族の祭壇を名付け、そして言った、それは彼らの間の証である、主が彼らの神であることの。

23

そして、主がイスラエルを周囲のすべての敵から休ませてから多くの日々が経った後、ヨシュアは年を重ねて老いていた。そしてヨシュアはイスラエルのすべての息子たち、彼らの長老会議、彼らの支配者たち、彼らの裁判官たち、彼らの書記たちを召集し、彼らに言った、私は老い、日々を重ねた。あなたがたは、私たちの主なる神が、私たちの前でこれらすべての国々に対してなされたことをことごとく見た。なぜなら、あなたがたの主なる

神が、あなたがたのために戦われたからである。見よ、私はあなたがたに、ヨルダンからのすべての諸国民のうち、あなたがたのために残された諸国民を、あなたがたの部族への相続地として割り当てた。そして私はそれらを滅ぼした。そして大いなる海から太陽の沈む西へと境界が定められるであろう。

しかし、私たちの神である主は、彼らが滅びるまで私たちの前から彼らを滅ぼし、彼らとその王たちをあなたがたの前から滅ぼすまで彼らに野獣を送るだろう。そして、私たちの神である主があなたがたに語られたように、あなたがたは彼らの地を相続するだろう。したがって、非常に強くあり、モーセの律法の書に書かれたすべてのことを守り行いなさい。右にも左にも曲がらないために。これら残されている諸国民の中へあなたがたが入らないように、また彼らの神々の名があなたがたの間で唱えられないように、またあなたがたがそれらに仕えないように、またあなたがたがそれらを拝まないように、しかし、あなたがたは私たちの主なる神に固執するだろう、ちょうどこの日まであなたがたが行ったように。そして主はあなたがたの前から、大きくて強い諸国民を滅ぼされるだろう、そして今日まで誰も私たちの前に立ち向かう者はいなかった。あなたたちの一人が千人を追撃した。なぜなら、主である私たちの神が、私たちに言われたとおりに、あなたたちのために戦われたからである。

そして、私たちの神である主を愛することを非常に守りなさい。もしあなたがたが背を向けて、あなたがたと共にいるこれらの残された諸国民に加わり、彼らと婚姻を結び、彼らと混じり合い、また彼らもあなたがたと混じり合うならば、あなたがたは知りなさい。主はこれらの諸国民をあなたがたの前から滅ぼすことを、もはや続けられないことを。そして彼らはあなたがたにとって罨となり、つまずきの石となり、あなたがたのかかどに刺さる釘となり、あなたがたの目に突き刺さる矢となるだろう。あなた

がたがこの良い地から滅びるまで、それはあなたがたの神、主があなたがたに与えられたものである。

私はすべての地上の者たちと同じように、その道を去る。そしてあなたがたは自分の心と魂で知るだろう、なぜなら私たちの主なる神が私たちに属するすべてのものについて語られたすべての言葉の中から、一つの言葉も落ちることなく、それらの中から一つも失われなかったからである。そして、主があなたたちに語られたすべての良い言葉が私たちに実現したその方法と同じように、主なる神はあなたたちにすべての悪い言葉をもたらし、主があなたたちに与えられたこの良い地からあなたたちを滅ぼされるまで続くであろう。あなたがたが、私たちの神である主が私たちに命じられた契約を違反し、行って他の神々に仕え、それらを拝むならば。

24

そしてヨシュアはイスラエルのすべての部族をシロに集め、彼らの長老たち、書記たち、裁判官たちを召集し、彼らを神の前に立たせた。

そしてヨシュアはすべての民に向かって言った、イスラエルの神、主はこれらのことを言われる。あなたがたの父たちは初めに川の向こう側に住んでいた。アブラハムの父テラとナホルの父は、他の神々に仕えていた。そして私はあなたがたの父アブラハムを川の向こう側から取り、彼をすべての地において導き、彼の子孫を増やし、彼にイサクを与えた。そしてイサクにヤコブとエサウを与え、エサウにはセイルの山を相続させた。ヤコブとその息子たちはエジプトへ下り、そこで大きく、数多く、強い国民となった。そしてエジプト人たちは彼らを虐げた。そして私はエジプトを、その中で行ったしるしによって打った。そしてこれらの後、彼は私たちの父たちをエジプトから導き出し、あなたがたは

紅海の中へ入った。そしてエジプト人たちは戦車と馬で私たちの父たちを追跡し、紅海の中へ入った。そして私たちは主に向かって叫び、主は雲と暗闇を私たちとエジプト人たちの間に与え、彼らの上に海をもたらし彼らを覆った。あなたたちの目は主がエジプトの地で行ったことを見た。そしてあなたたちは荒野に多くの日々を過ごした。

そして彼は私たちをヨルダンの向こう側に住んでいるアモリ人の地へと導き、主は彼らを私たちの手に引き渡し、あなたがたは彼らの地を相続し、あなたがたは彼らをあなたがたの前から滅ぼした。

そして、ツイポルの子バラク、モアブの王が起き上がり、イスラエルに対して戦列を整え、使いを送ってバラアムを呼び、私たちに呪わせようとした。そして主、あなたの神は、あなたを滅ぼすことを望まず、祝福をもって私たちに祝福し、私たちに彼らの手から救い出し、そして彼らを引き渡した。そしてあなたたちはヨルダンを渡り、エリコに来た。そしてエリコに住んでいる者たち、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人、ヘテ人、ギルガシ人が私たちに向かって戦った。そして主は彼らを私たちの手に引き渡した。そして私はあなたがたに先立ってスズメバチを送り、それが私たちの前からアモリ人の十二人の王たちを追ひ払った。あなたの剣によってではなく、またあなたの弓によってでもなく。

そして彼はあなたたちに土地を与えた。その上であなたたちは労働しなかった土地を。そして都市を、あなたたちが建てなかった都市を。そしてあなたたちはそれらの中に定住させられた。そしてぶどう園とオリーブ園を、あなたたちが植えなかったものを、あなたたちは食べる。

そして今、主を恐れ、正直さと正義をもって彼に仕えよ。そして私たちの父たちが川の向こう側とエジプトで仕えた異国の神々を取り除き、主に仕えよ。もしあなたがたが主に仕えることを喜ばないならば、今日、誰に仕えるべきか自分たちで選びなさい。川の向こう側にいたあなたがたの父祖の神々か、それともあなたがたが住んでいるこの地のアモリ人の神々か。しかし私と私の家は主に仕えます。主は聖なる方だからです。

そして民は答えて言った、私たちが主を残して、他の神々に仕えることなどあつてはなりません。主なる私たちの神、その方がこそ神である。その方が私たちと私たちの父祖たちをエジプトから導き上げ、私たちが歩んだすべての道において私たちを守り、また私たちが通過したすべての国々において私たちを守られた。そして主は、私たちの前からアモリ人と、その地に住んでいたすべての諸国民を追い出した。しかし私たちもまた主に仕えるでしょう。というのは、この方が私たちの神だからである。

そしてヨシュアは民に向かって言った、あなたがたは主に仕えることができない。なぜなら神は聖なる方であり、この方は嫉妬深く、あなたがたの罪とあなたがたの不法な行為を赦さないからである。あなたがたが主を見捨てて他の神々に仕えるならば、主は来襲してあなたがたを害し、あなたがたによくしてくださったのに代わって、あなたがたを滅ぼし尽くすであろう。民はヨシュアに言った、いいえ、私たちは主に仕えます。

そしてヨシュアは民に言った、あなたたちは自分自身に対する証人である、あなたたちが主に仕えるために主を選んだことの。そして今、あなたがたの中にある異国の神々を取り除き、あなたがたの心を主イスラエルの神に向けなさい。そして民たちはヨシュアに言った、私たちは主に仕え、彼の声を聞くであろう。

そしてヨシュアはその日、民と契約を結び、シロにおいてイスラエルの神の幕屋の前で、彼に律法と裁きを与えた。そしてこれらの言葉を神の律法の書に書き記し、大きな石を取り、ヨシュアはそれを主の前のテレビンの木の下に立てた。そしてヨシュアは人々に向かって言った、見よ、この石はあなたがたの中に証言としてあるだろう。なぜならそれ自身が、主によってそれに語られたすべてのこと、すなわち主が今日あなたがたに向かって話したことを聞いたからである。そしてこれは、あなたがたが私の神である主に対して偽りを行う時、最後の日々においてあなたがたの中に証言としてあるだろう。そしてヨシュアはその民を送り、各々は自分の場所へ行った。そしてイスラエルは主に仕えた、ヨシュアのすべての日々、そしてヨシュアの後に時を引き延ばした長老たちのすべての日々、そして主がイスラエルに行ったすべての業を見た者たちのすべての日々。

そしてそれらの後に起こった、そして主の僕であるヌンの子ヨシュアが百十歳で死んだ。そして彼らは彼を、彼の相続地の境界に、エフライムの山のタムナサラに、ギレアデの山の北に埋葬した

そして、ヨセフの骨を、イスラエルの子らはエジプトから携え上げ、シケムに埋めた。それは、ヤコブがシケムに住むアモリ人たちから百頭の子羊で獲得した畑の一部であり、それをヨセフに相続地として与えた。

そしてこれらの後に起こった、アロンの息子である大祭司エレアザルが死んだ、そして彼はエフライムの山にある、彼の息子ピネハスに与えられたギブアに埋葬された。